

# 杉並区高齢者実態調査報告書

- 地域包括ケアモデル実態調査
- 日常生活圏域二一ズ調査
- 介護保険に関する調査

平成26年3月

杉 並 区



# 目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の種類及び対象者	3
3. 調査実施方法	3
4. 回収結果	3
5. 地域区分	4
6. 報告書を見る際の注意事項	4
第2章 地域包括ケアモデル実態調査	5
1. 回答者の属性	7
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢	7
(2) 要支援・要介護認定の有無と認定状況	9
(3) 要支援・要介護認定の介護度	10
(4) 介護サービスの利用状況	11
(5) 介助・介護の必要有無	13
2. 家族・生活の状況について	15
(1) 家族構成	15
(2) 日中にひとりである頻度	16
(3) 親族との会話・連絡の頻度	17
(4) 主な収入の種類	18
(5) 世帯の収入額	19
3. 住まいについて	20
(1) 住居形態	20
(2) 将来希望する介護形態	22
(3) 家賃・介護費用負担可能額	24
(4) 在宅生活のために必要なサービス	25

4. 社会参加について.....	26
(1) 社会参加の有無.....	26
(2) 現在やっている、または今後やってみたいこと.....	27
5. 日常生活について.....	28
(1) 日常生活で行っていること（その1）.....	28
(2) 日常生活で行っていること（その2）.....	29
(3) 食事を自分で食べられるか.....	30
(4) 老研式活動能力指標の分析結果.....	31
6. 記憶・判断について.....	32
(1) 記憶・判断について.....	32
(2) 認知機能の分析結果.....	33
7. 転倒予防について.....	34
(1) 転倒予防について.....	34
(2) 転倒リスクの分析結果.....	35
8. 地域との関わりについて.....	36
(1) 近所の方との付き合いの有無.....	36
(2) 日常生活で手助けをしてほしいこと.....	37
9. 健康について.....	40
(1) 通院・往診の状況.....	40
(2) 通院・往診の頻度.....	42
(3) 往診の内容.....	43
(4) 服用している薬の種類.....	45
(5) 1年間での入院有無.....	46
10. その他.....	47
(1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度.....	47
(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無.....	48
11. 介護者への設問.....	49
(1) 介護保険サービスによる負担の軽減感.....	49
(2) 介助・介護のことで困ったときの相談先.....	51
(3) 介助・介護者が必要とするサービス.....	53

1 2. 社会的孤立の状況について.....	55
1 3. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	56
第3章 日常生活圏域ニーズ調査.....	59
I. 要支援・要介護を受けていない人への調査.....	61
1. 回答者の属性.....	63
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢.....	63
(2) 介助・介護の必要有無.....	65
2. 家族・生活の状況について.....	66
(1) 家族構成.....	66
(2) 日中にひとりでのいる頻度.....	68
(3) 親族との会話・連絡の頻度.....	69
(4) 主な収入の種類.....	70
(5) 世帯の収入額.....	71
3. 住まいについて.....	72
(1) 住居形態.....	72
(2) 将来希望する介護形態.....	74
(3) 家賃・介護費用負担可能額.....	76
(4) 在宅生活のために必要なサービス.....	78
4. 社会参加について.....	79
(1) 社会参加の有無.....	79
(2) 生きがいを感じるかについて.....	80
(3) 現在やっている、または今後やってみたいこと.....	82
(4) 近所の方との付き合いの有無.....	84
5. 日常生活について.....	86
(1) 日常生活で行っていること（その1）.....	86
(2) 日常生活で行っていること（その2）.....	87
(3) 老研式活動能力指標の分析結果.....	88
(4) 外出の頻度.....	89

(5) 一日における食事の回数.....	91
(6) ほかの人と食事をともにする機会の有無.....	92
(7) 日常生活で手助けをしてほしいこと.....	93
6. 記憶・判断について.....	95
(1) 記憶・判断について.....	95
(2) 認知機能の分析結果.....	96
7. 転倒予防について.....	97
(1) 転倒予防について.....	97
(2) 転倒リスクの分析結果.....	98
8. 健康について.....	99
(1) 主観的な健康感について.....	99
(2) 健康に気を使っていること.....	101
(3) 悩みやストレスの有無.....	102
(4) 悩みやストレスの原因.....	104
(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先.....	105
(6) 通院・往診の状況.....	106
(7) 通院・往診の頻度.....	108
(8) 服用している薬の種類.....	109
(9) 1年間での入院有無.....	110
9. その他.....	111
(1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度.....	111
(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無.....	113
(3) 長寿応援ポイント事業の認知度.....	115
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無.....	117
(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化.....	119
(6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由.....	120
(7) 介護保険の認定.....	121
(8) 介護保険料とサービスのあり方について.....	122
(9) 今後充実して欲しい高齢者施策について.....	124
10. 社会的孤立の状況について.....	126
11. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	127

II. 要支援 1・2 の認定を受けた人への調査	129
1. 回答者の属性	131
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢	131
(2) 介助・介護の必要有無	133
2. 家族・生活の状況について	134
(1) 家族構成	134
(2) 日中にひとりでいる頻度	136
(3) 親族との会話・連絡の頻度	137
(4) 主な収入の種類	138
(5) 世帯の収入額	139
3. 住まいについて	140
(1) 住居形態	140
(2) 将来希望する介護形態	142
(3) 家賃・介護費用負担可能額	144
(4) 在宅生活のために必要なサービス	146
4. 社会参加について	147
(1) 社会参加の有無	147
(2) 生きがいを感じるかについて	148
(3) 現在やっている、または今後やってみたいこと	150
(4) 近所の方との付き合いの有無	152
5. 日常生活について	154
(1) 日常生活で行っていること (その1)	154
(2) 日常生活で行っていること (その2)	155
(3) 老研式活動能力指標の分析結果	156
(4) 外出の頻度	157
(5) 一日における食事の回数	159
(6) ほかの人と食事をともにする機会の有無	160
(7) 日常生活で手助けをしてほしいこと	161
6. 記憶・判断について	163
(1) 記憶・判断について	163
(2) 認知機能の分析結果	164

7. 運動機能について.....	165
(1) 運動機能について.....	165
(2) 転倒に対する不安.....	166
(3) 階段の昇り降り.....	167
(4) 椅子からの立ち上がり.....	168
(5) 連続歩行.....	169
(6) 転倒リスクの分析結果.....	170
8. 健康について.....	171
(1) 主観的な健康感について.....	171
(2) 健康に気を使っていること.....	173
(3) 悩みやストレスの有無.....	174
(4) 悩みやストレスの原因.....	176
(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先.....	177
(6) 通院・往診の状況.....	178
(7) 通院・往診の頻度.....	180
(8) 服用している薬の種類.....	181
(9) 1年間での入院有無.....	182
9. 介護保険サービスの利用・制度について.....	183
(1) 介護保険の認定.....	183
(2) 介護保険サービスの利用有無.....	185
(3) 介護保険サービスを利用していない理由.....	186
(4) 介護保険料とサービスのあり方について.....	187
10. その他.....	188
(1) 今後充実した方が良くと思う高齢者施策について.....	188
(2) 長寿応援ポイント事業の認知度.....	190
(3) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無.....	192
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化.....	194
(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動へ参加していない理由.....	195



1 1. 介助・介護者への設問.....	196
(1) 介護保険サービスによる負担の軽減感.....	196
(2) 介助・介護のことで困ったときの相談先.....	197
(3) 介助・介護者が必要とするサービス.....	198
1 2. 社会的孤立の状況について.....	200
1 3. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	201
Ⅲ. 回答の経年比較.....	203
1. ニーズ調査の経年比較.....	205
(1) 主な収入の種類.....	205
(2) 世帯の収入額.....	206
(3) 居住形態.....	207
(4) 生きがいを感じるかについて.....	208
(5) 現在やっている、または今後やってみたいこと.....	209
(6) 近所の方との付き合いの有無.....	210
(7) 外出の頻度.....	211
(8) 主観的な健康感について.....	212
(9) 健康に気を使っていること.....	213
(10) 悩みやストレスの有無.....	214
(11) 悩みやストレスの原因.....	215
(12) 生活の中で不安に思った時の相談先.....	216
(13) 長寿応援ポイント事業の認知度.....	217
第4章 介護保険に関する調査.....	219
1. 回答者の属性.....	221
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢.....	221
(2) 家族構成.....	223
(3) 現在の要介護度.....	225

2. 日常生活の状況について.....	226
(1) 日常生活における自立度.....	226
(2) 生活の中で不安に思ったときの相談先.....	227
3. 健康について.....	229
(1) 通院・往診の状況.....	229
(2) 通院・往診の頻度.....	230
(3) 往診の内容.....	231
4. サービスの利用状況.....	232
(1) 介護保険サービスの利用有無.....	232
(2) 介護保険サービスを利用していない理由.....	233
(3) ショートステイの利用有無.....	235
(4) ショートステイを利用できないときの対応.....	236
(5) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の認知度.....	237
(6) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を知った経緯.....	238
(7) 高齢者在宅サービスの利用有無.....	239
5. 住まいについて.....	242
(1) 住居形態.....	242
(2) 現在の住居が在宅生活に適しているかについて.....	243
(3) 現在の住居が在宅生活に適していない理由.....	245
6. 施設入所について.....	246
(1) 施設入所の希望.....	246
(2) 入所を希望する施設.....	247
(3) 入所を希望する理由.....	248
7. 介護保険制度について.....	250
(1) 介護保険サービスの満足度.....	250
(2) 介護保険料の負担感.....	252
(3) 介護保険料とサービスのあり方について.....	254
(4) 介護保険サービス利用費お知らせの確認について.....	256
(5) ケアマネジャーの事業所を知った経緯.....	257
(6) 今後、区が力を入れていくべきと思う施策.....	258

8. 介助・介護者への設問.....	259
(1) 主な介護者.....	259
(2) 主な介護者の性別.....	261
(3) 主な介護者の年齢.....	262
(4) 主な介護者の健康状態.....	263
(5) 主な介護者のご本人との同居の状況.....	264
(6) 主な介護者の介護の時間帯.....	265
(7) 主な介護者の介護年数.....	266
(8) 主な介護者以外の介護者の有無.....	268
(9) 介護保険による介護負担の軽減感.....	269
(10) 介護者から見た介護保険の満足度.....	271
(11) 介護をする上で困っていること.....	273
(12) 介護に関する相談先.....	275
(13) 介護者が必要とするサービス.....	276
(14) 介護者の状態.....	278
(15) 「こころの健康チェック」の分析結果.....	279
(16) 今後の在宅介護の見通し.....	280
(17) 本人と衝突した経験.....	282
(18) 本人の認知状況について.....	284
9. 社会的孤立の状況について.....	285
10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	286

資料 調査票.....	289
-------------	-----



## 1. 調査の目的

本調査は、保健福祉計画策定、第6期介護保険事業計画策定、地域包括ケアシステム構築及び今後の高齢者施策検討のための基礎調査として実施した。

## 2. 調査の種類及び対象者

本調査では「地域包括ケアモデル実態調査」「日常生活圏域ニーズ調査」「介護保険に関する調査」の3種類の調査を実施した。各調査の対象者については下表に示すとおりである。なお、「日常生活圏域ニーズ調査」については「①要支援・要介護認定を受けていない第1号被保険者」、「②要支援1・2の認定を受けた第1号被保険者」において、調査内容が一部異なるため、それぞれ別の調査票を使用した。

図表1 調査の種類及び対象者

調査種類	対象者の条件		対象者数	調査時期
地域包括ケアモデル実態調査	高井戸、成田、方南地域で、医療・介護サービス、インフォーマルサービス等が集積している右記の地区に居住する75歳以上の区民	○高井戸西1丁目（ただし、高井戸西1-12浴風会を除く） ○高井戸西2丁目5番1号～3号 ○阿佐谷南3丁目 ○方南2丁目	1,921名	平成25年8月1日～31日
日常生活圏域ニーズ調査	①要支援・要介護認定を受けていない第1号被保険者	7地域別※に無作為抽出	2,000名	平成25年9月1日～30日
	②要支援1・2の認定を受けた第1号被保険者	7地域別※に無作為抽出	2,000名	
介護保険に関する調査	要介護認定者のうち、施設サービス受給者を除いた第1号被保険者	7地域別※・要介護度別に無作為抽出	2,000名	平成25年9月15日～10月15日

※「7地域別」の区分については5. 地域区分を参照

## 3. 調査実施方法

本調査は、郵送（配布、回収）によるアンケート調査とした。

## 4. 回収結果

本調査での回収結果は下表に示すとおりである。

図表2 回収結果

調査名		発送数	回収数	回収率
地域包括ケアモデル実態調査		1,921件	1,279件	66.6%
日常生活圏域ニーズ調査	①要支援・要介護認定を受けていない第1号被保険者	2,000件	1,426件	71.3%
	②要支援1・2の認定を受けた第1号被保険者	2,000件	1,450件	72.5%
介護保険に関する調査		2,000件	1,187件	59.4%

※「介護保険に関する調査」回収数のうち、在宅及び6ヶ月未満の入院者である（822名）が集計対象である。

## 5. 地域区分

本調査で用いた地域区分は以下の7区域である。

- ① 井草地域
- ② 西荻地域
- ③ 荻窪地域
- ④ 阿佐谷地域
- ⑤ 高円寺地域
- ⑥ 高井戸地域
- ⑦ 方南・和泉地域

図表3 各地域の説明



## 6. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (2) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%にならない場合がある。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) クロス集計の合計は、当該質問に対する全ての内訳ではないので、全体の合計とは合わない場合がある。
- (5) 回答数が 30 未満と少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

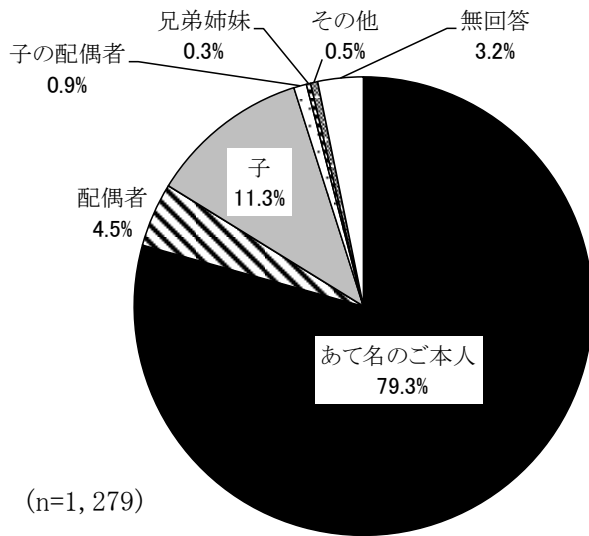
# 1. 回答者の属性

## (1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

### ○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

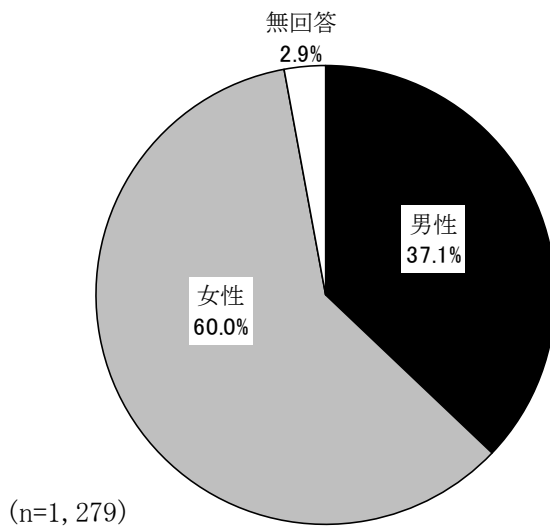


	基数	構成比[%]
あて名のご本人	1014	79.3
配偶者	57	4.5
子	144	11.3
子の配偶者	12	0.9
兄弟姉妹	4	0.3
その他	7	0.5
無回答	41	3.2
全体	1279	100.0

### ○対象者の性別

問2 あなたの性別は。

図表2-1 対象者の性別

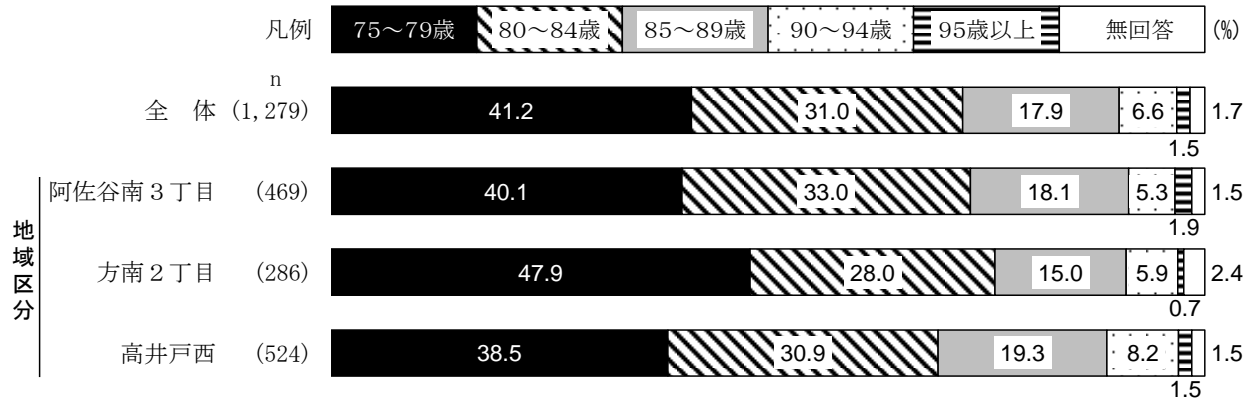


	基数	構成比[%]
男性	474	37.1
女性	768	60.0
無回答	37	2.9
全体	1279	100.0

○対象者の年齢

問3 あなたの年齢は。

図表3-1 対象者の年齢（地域区分別）



	全体	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	無回答	
全体	1279	527	397	229	85	19	22	
	100.0	41.2	31.0	17.9	6.6	1.5	1.7	
地域	阿佐谷南3丁目	469	188	155	85	25	9	7
		100.0	40.1	33.0	18.1	5.3	1.9	1.5
	方南2丁目	286	137	80	43	17	2	7
	100.0	47.9	28.0	15.0	5.9	0.7	2.4	
	高井戸西	524	202	162	101	43	8	8
	100.0	38.5	30.9	19.3	8.2	1.5	1.5	

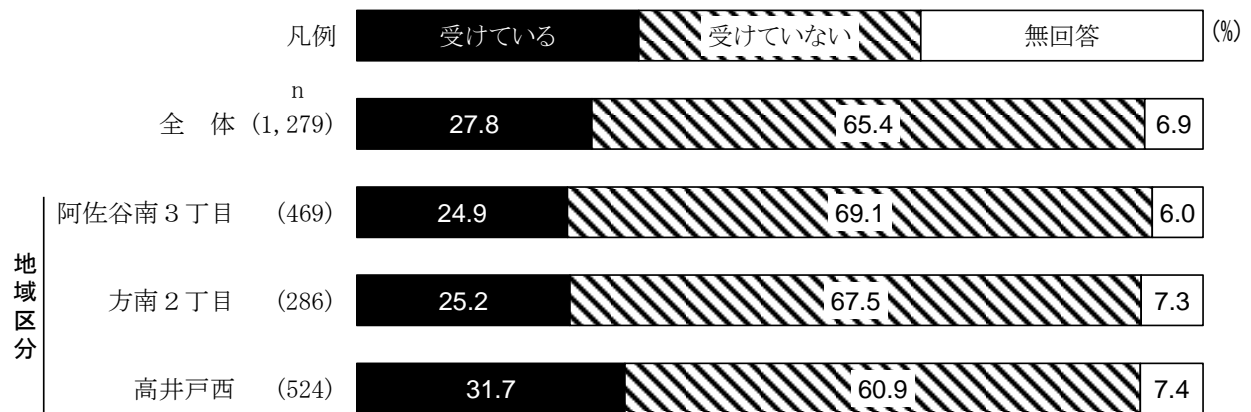


## (2) 要支援・要介護認定の有無と認定状況

問4 あなたは要支援・要介護認定を受けていますか。

「受けている」が27.8%、「受けていない」が65.4%。

図表4-1 要支援・要介護認定の有無（地域区分別）



要支援・要介護認定の有無について、「受けている」が27.8%、「受けていない」が65.4%となっている。

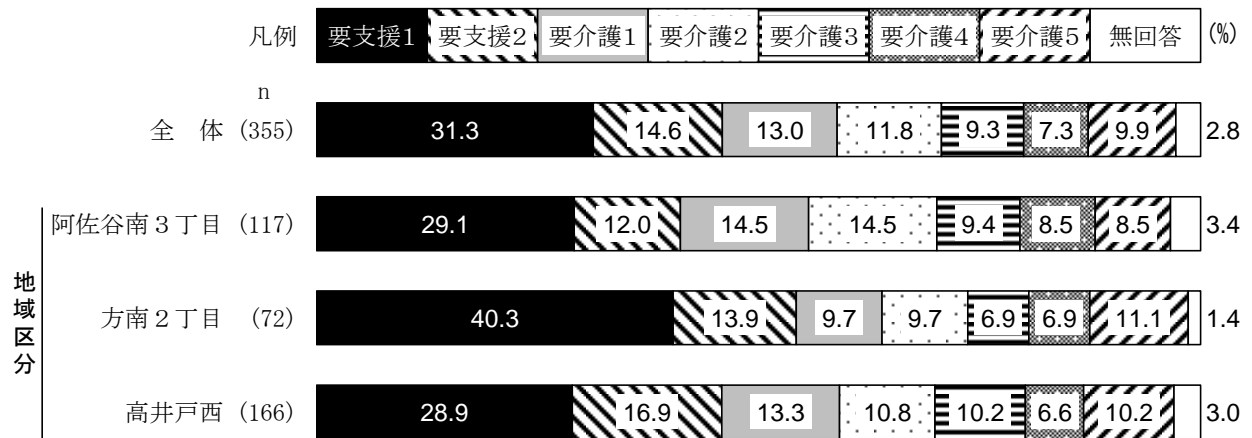
地域区分別についてみると、高井戸西において「受けている」が31.7%と他の地域に比べ多く、次いで、方南2丁目25.2%、阿佐谷南3丁目24.9%となっている。「受けていない」については阿佐谷南3丁目69.1%と最も多く、次いで、方南2丁目67.5%、高井戸西60.9%となっている。(図表4-1)

### (3) 要支援・要介護認定の介護度

問5 (問4で「1. 受けている」と回答された方におたずねします。)  
あなたの現在の認定状況を教えてください。

「要支援1」が31.3%、「要支援2」が14.6%、「要介護1」が13.0%。

図表5-1 認定状況(地域区分別)



要支援・要介護認定を受けている人の認定状況について、「要支援1」が31.3%、「要支援2」が14.6%、「要介護1」が13.0%、「要介護2」が11.8%の順で多くなっている。

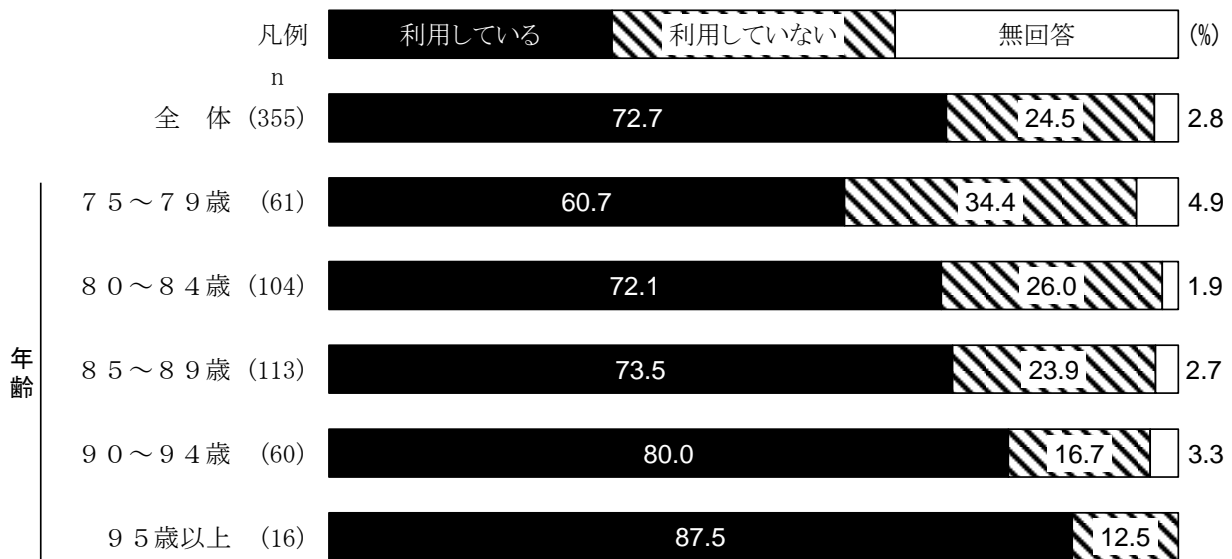
地域区分別でみると「要支援1」では方南2丁目(40.3%)と他の地域に比べ多く、阿佐谷南3丁目では29.1%、高井戸西では28.9%となっている。「要支援2」については高井戸西が16.9%で多く、「要介護1」では阿佐谷南3丁目(14.5%)と最も多くなっている。(図表5-1)

#### (4) 介護サービスの利用状況

問6 (問4で「1. 受けている」と回答された方におたずねします。)  
あなたは介護サービスを利用していますか。

「利用している」が72.7%、「利用していない」が24.5%。

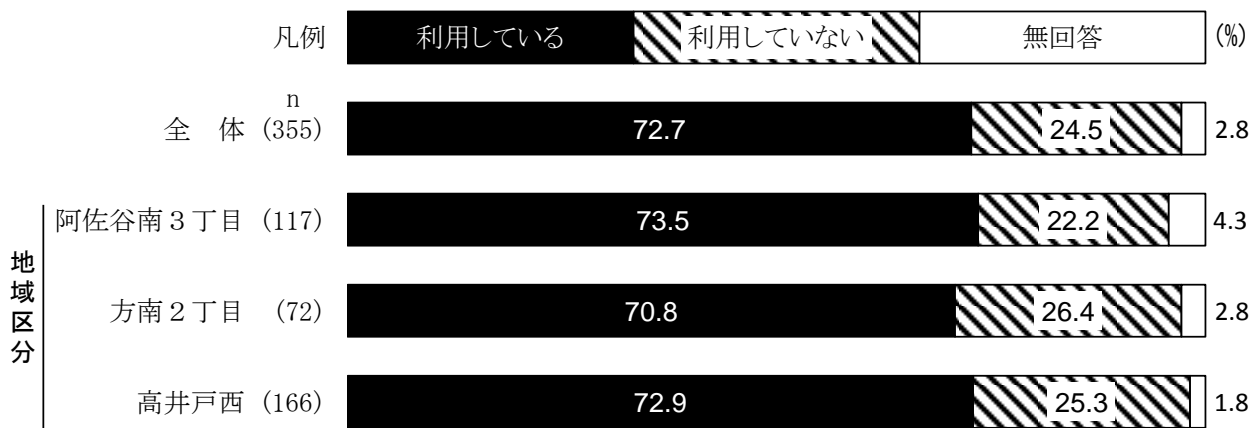
図表6-1 利用状況（年齢別）



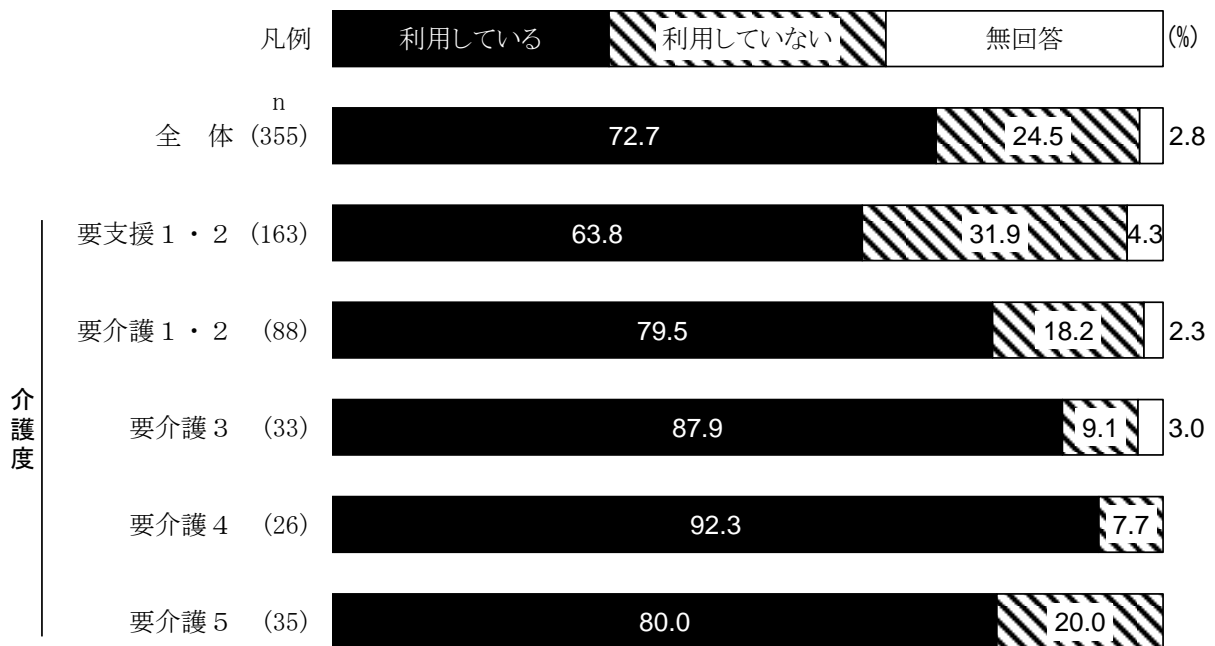
要支援・要介護認定を受けている人の介護サービスの利用状況について、「利用している」が72.7%、「利用していない」が24.5%と「利用している」が7割を超えている。

年齢別に「利用している」をみると、75～79歳では60.7%に対し、85～89歳では73.5%、90～94歳では80.0%となっており、年齢が高くなるにつれ「利用している」が多くなっている。(図表6-1)

図表 6-2 利用状況（地域区分別）



図表 6-3 利用状況（介護度別）



地域区分別で「利用している」をみると、阿佐谷南3丁目では73.5%、高井戸西で72.9%、方南2丁目では70.8%となっている。（図表6-2）

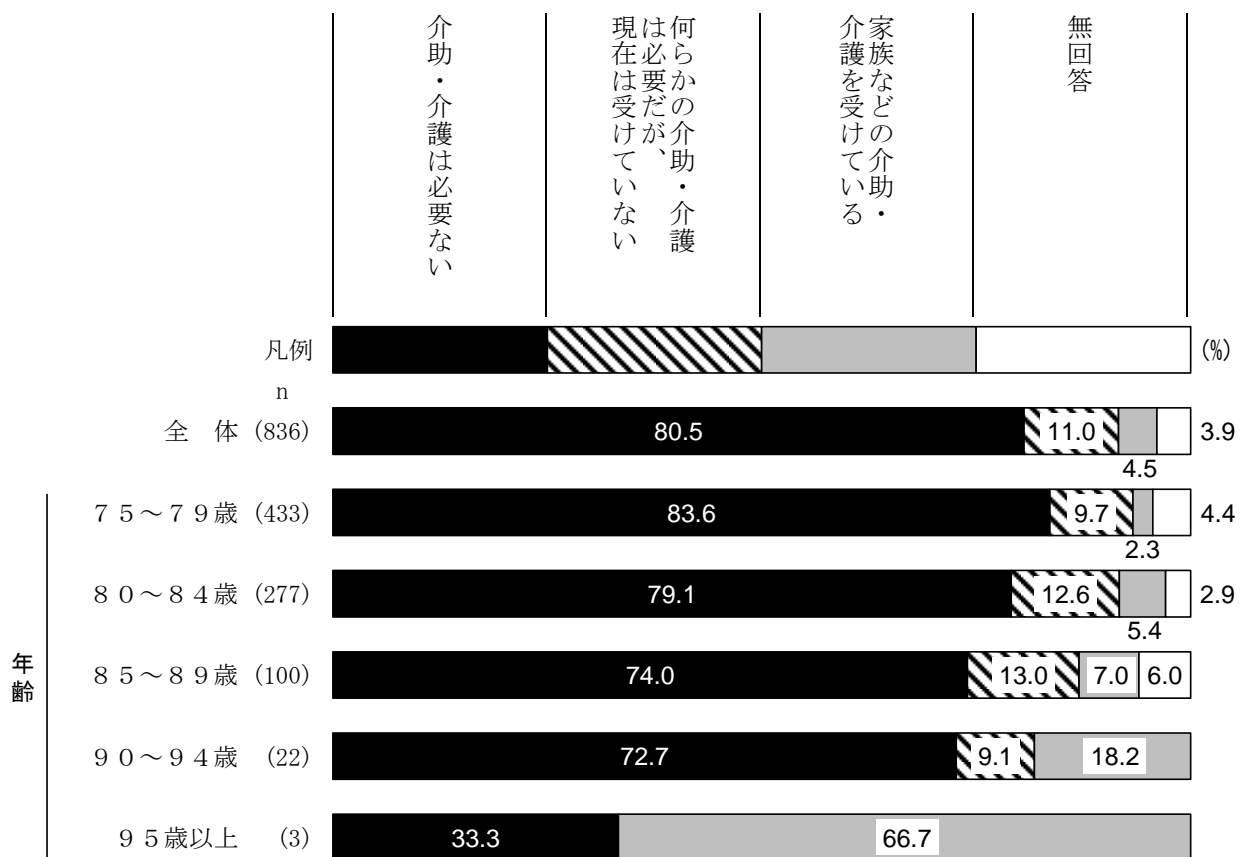
介護度別では、要支援1・2の63.8%に対し、要介護1・2では79.5%、要介護3では87.9%と介護度が高くなるにつれ利用している割合が高まる。しかし、要介護5ではやや下回る結果となった。（図表6-3）

(5) 介助・介護の必要有無

問7 (問4で要支援・要介護を「2. 受けていない」と回答された方におたずねします。) 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1つに○)

「介助・介護は必要ない」が80.5%、「何らかの介助・介護は必要だが現在は受けていない」が11.0%。

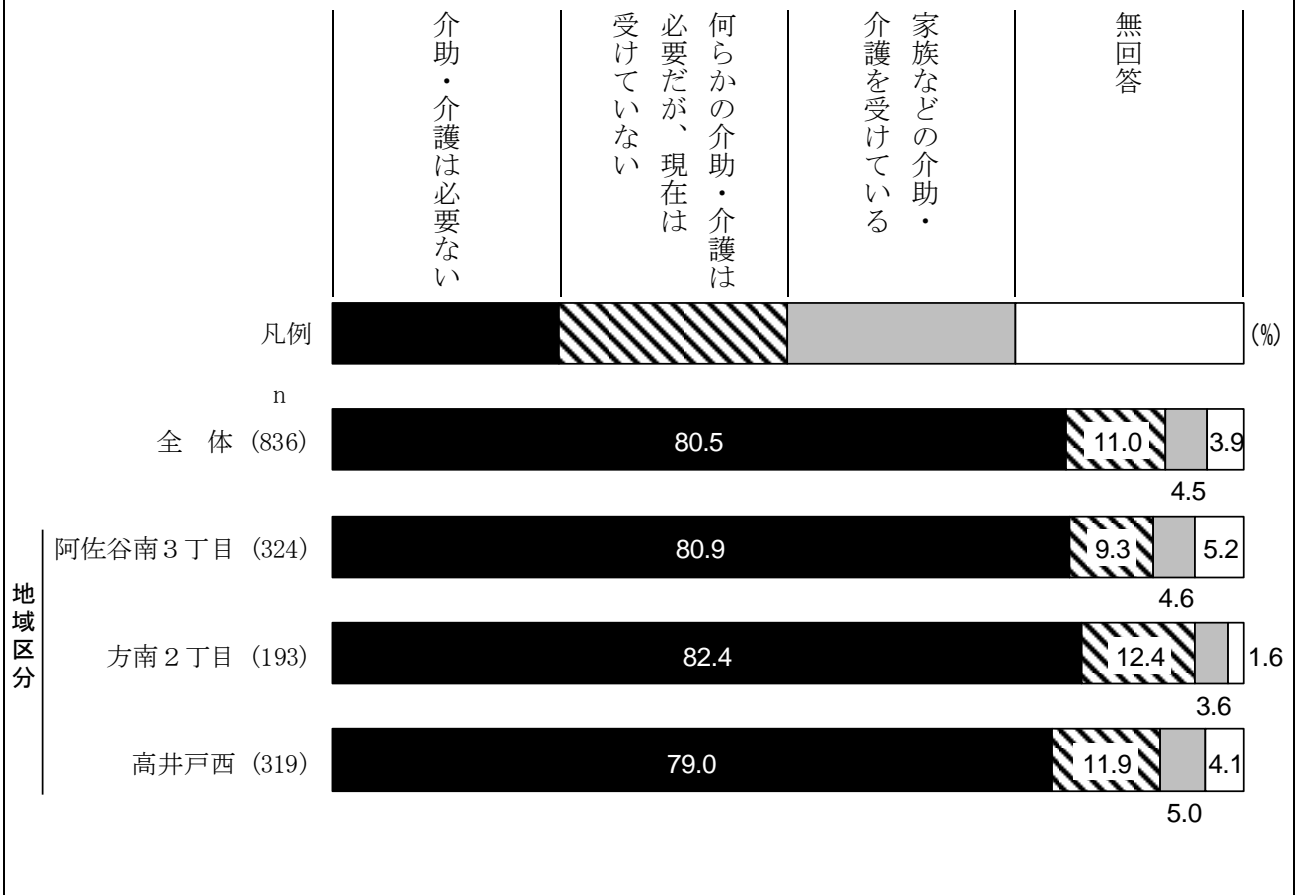
図表7-1 介助・介護の必要有無・状況(年齢別)



要支援・要介護認定を受けていない人における介助・介護の必要有無・状況について、「介助・介護は必要ない」が80.5%、「何らかの介助・介護は必要だが現在は受けていない」が11.0%、「家族などの介助・介護を受けている」は4.5%となっている。

年齢別についてみると「介助・介護は必要ない」は75～79歳では83.6%に対し、80～84歳で79.1%、85～89歳で74.0%と年齢が高くなるにつれ少なくなっている。一方、「家族などの介助・介護を受けている」は75～79歳では2.3%に対し、80～84歳で5.4%、85～89歳で7.0%と年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表7-1)

図表 7-2 介助・介護の必要有無・状況（地域区分別）



地域区分別についてみると、「介助・介護は必要ない」は方南2丁目（82.4%）と他の地域に比べて多く、高井戸西では79.0%と少ない。一方、「家族などの介助・介護を受けている」は方南2丁目（3.6%）と他の地域に比べて少なく、高井戸西では5.0%と多くなっている。「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」は、方南2丁目では12.4%と最も多く、阿佐谷南3丁目では9.3%と最も少なくなっている。（図表7-2）

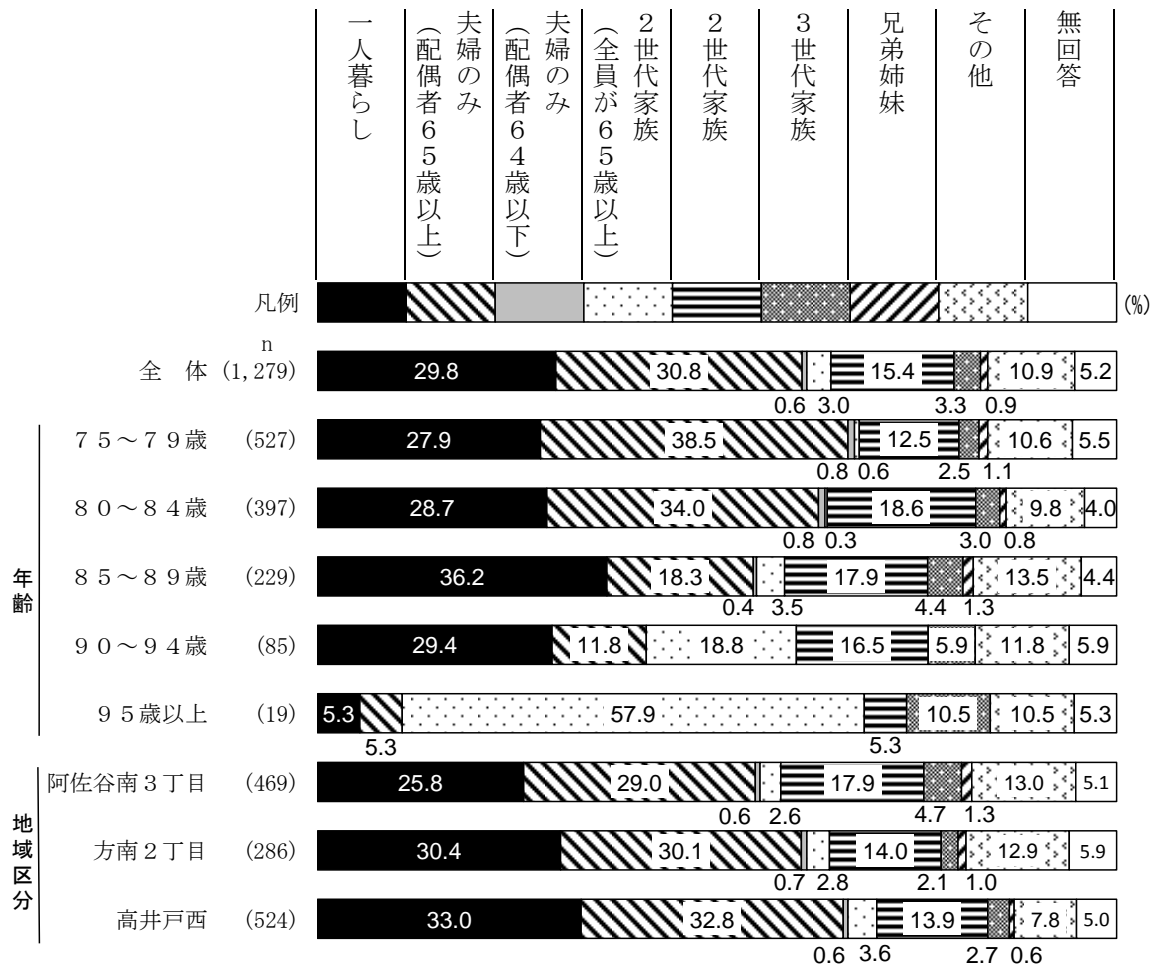
## 2. 家族・生活の状況について

### (1) 家族構成

問8 家族構成を教えてください。(1つに○)

「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が30.8%、「一人暮らし」が29.8%。

図表8-1 家族構成(年齢別/地域区分別)



家族構成について、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」の割合が30.8%で最も多く、次いで「一人暮らし」(29.8%)、「2世代家族」(15.4%)の順となっている。

年齢別でみると、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が75~79歳では38.5%、85~89歳で18.3%、90~94歳で11.8%と、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。一方、「2世代家族(全員が65歳以上)」は年齢が高くなるにつれ多くなっている。

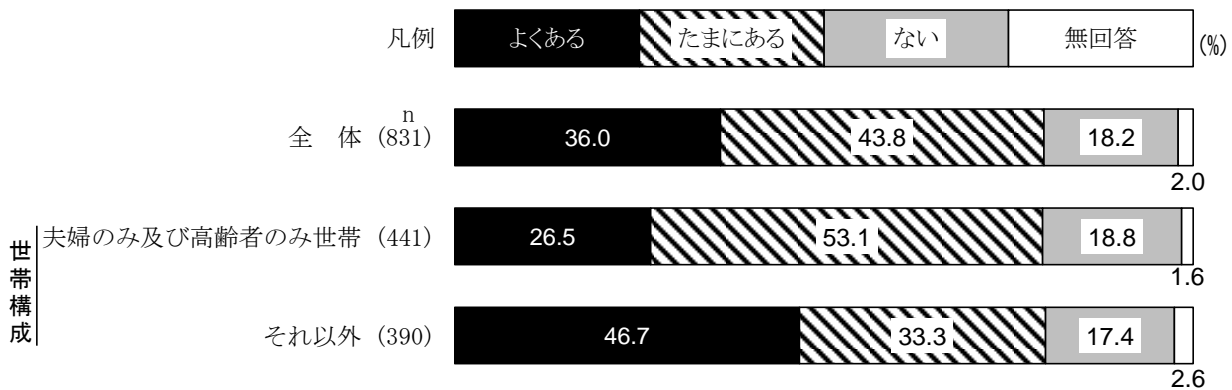
地域区分別でみると、高井戸西が「一人暮らし」(33.0%)、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」(32.8%)と、他の地域に比べて多くなっている。(図表8-1)

## (2) 日中にひとりでのいる頻度

問9 (問8で「1. 一人暮らし」以外を回答された方におたずねします。  
日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

「よくある」が 36.0%、「たまにある」が 43.8%。日中にひとりでのいることがある人は 79.8%。

図表9-1 日中にひとりでのいる頻度(世帯構成別)



日中にひとりでのいる頻度について、「たまにある」の割合が 43.8%で最も多く、次いで「よくある」(36.0%)、「ない」(18.2%)の順となっている。「よくある」「たまにある」を合わせて、ひとりになることがある人は 79.8%となっている。

世帯構成別でみると、「よくある」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯(26.5%)に比べ、それ以外の世帯構成(2世代家族、3世代家族など)(46.7%)の方が多くなっており、一方、「たまにある」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯(53.1%)に比べ、それ以外の世帯構成(33.3%)の方が少なくなっている。「ない」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯では 18.8%、それ以外では 17.4%となっており、「よくある」「たまにある」に比べ、世帯構成による差は少なくなっている。(図表9-1)



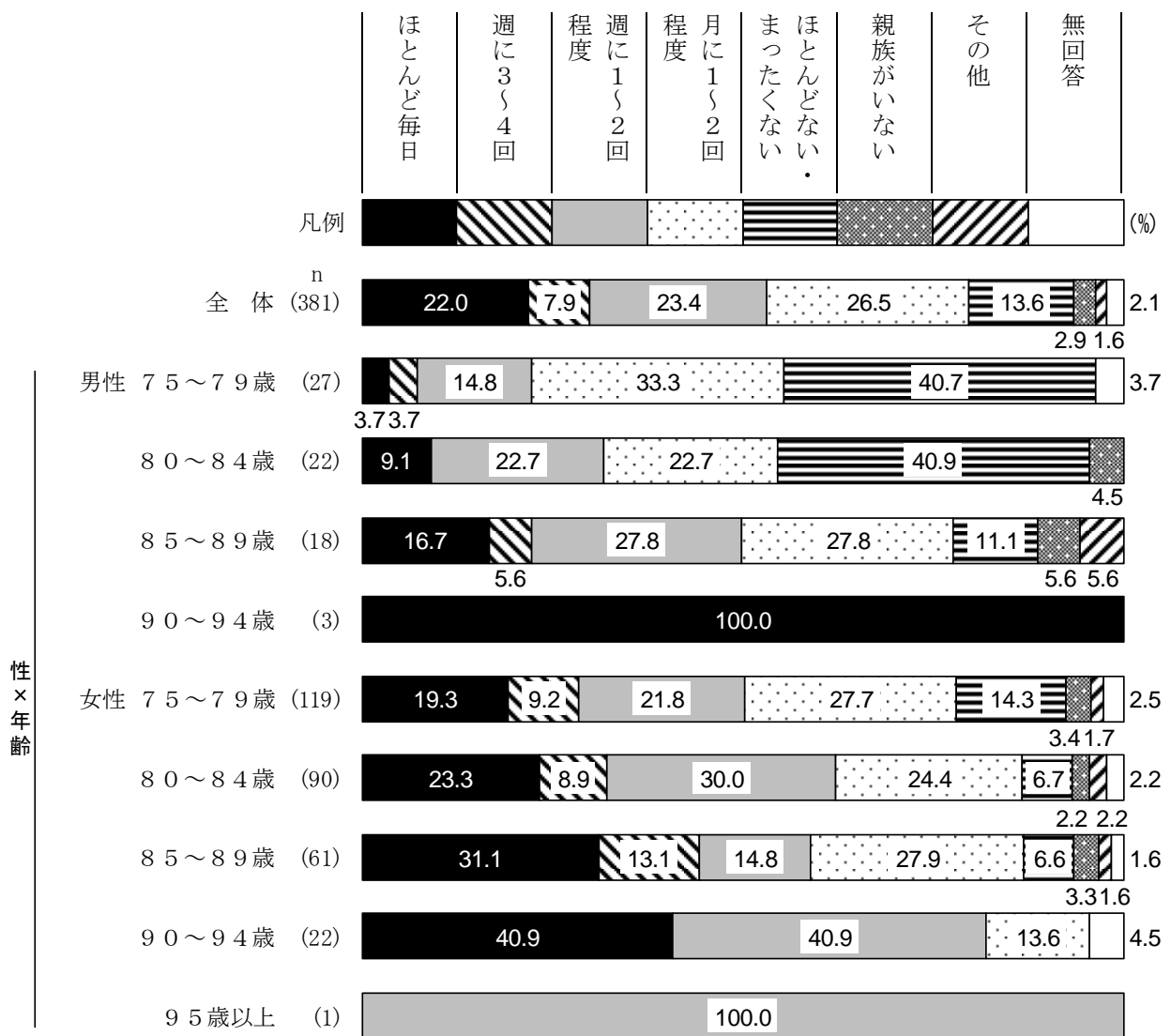
### (3) 親族との会話・連絡の頻度

問10 (問8で「1. 一人暮らし」と回答された方におたずねします。)

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

「月に1～2回程度」が最も多く26.5%、「週に1～2回程度」が23.4%。全体的には女性の方が親族と連絡を取る頻度が高い。

図表10-1 親族との会話・連絡の頻度(性×年齢別)



※男性95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

親族との会話・連絡の頻度について、「月に1～2回程度」の割合が26.5%で最も多く、次いで、「週に1～2回程度」(23.4%)、「ほとんど毎日」(22.0%)の順となっている。

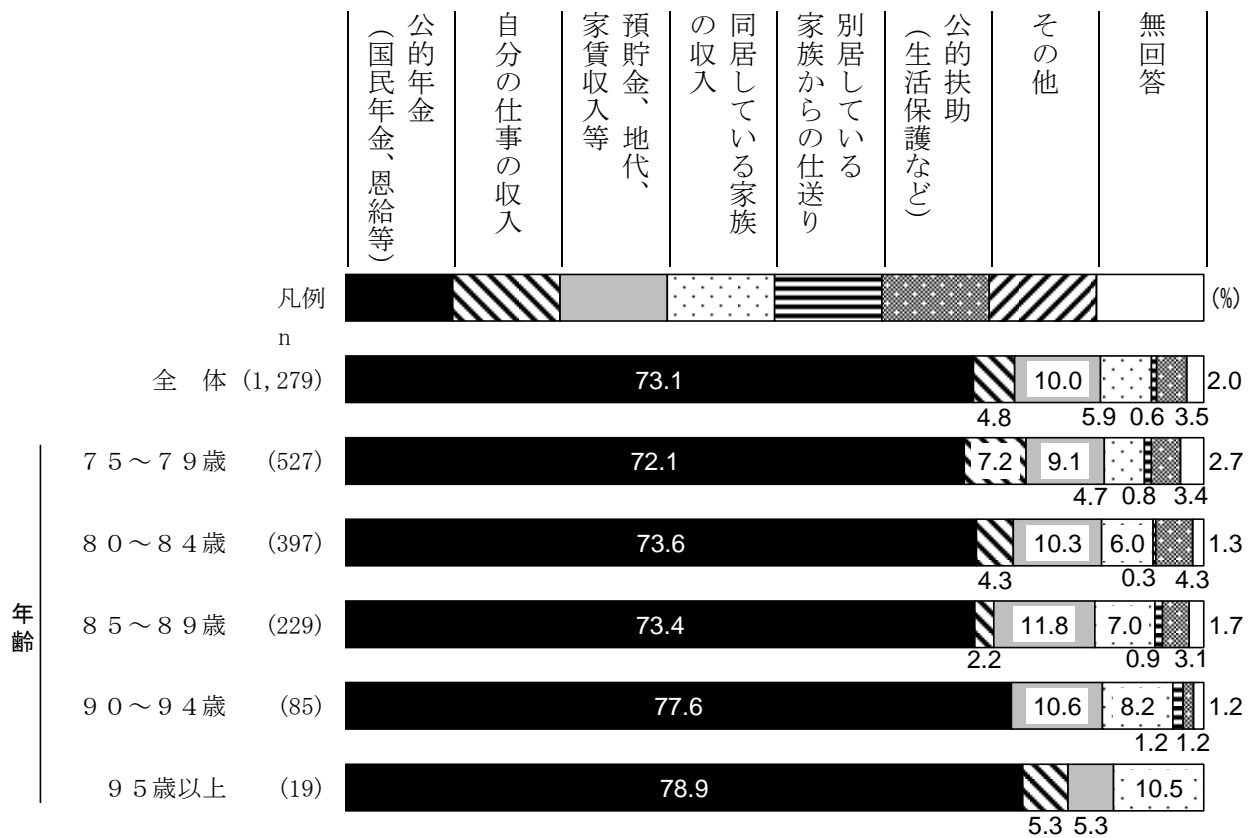
性×年齢別でみると、「ほとんど毎日」「週に3～4回程度」は女性の方が多く、90歳未満の全ての年齢において、男性の同年齢の割合を上回っている。また、男女ともに、年齢が高くなるにつれ親族との会話・連絡の頻度が高くなる傾向がみられる。(図表10-1)

### (4) 主な収入の種類

問11 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。

「公的年金（国民年金、恩給等）」が73.1%、「預貯金、地代、家賃収入等」が10.0%。

図表11-1 主な収入の種類（年齢別）



主な収入の種類について、「公的年金（国民年金、恩給等）」が73.1%と最も多く、次いで、「預貯金、地代、家賃収入等」（10.0%）、「同居している家族の収入」（5.9%）の順となっている。

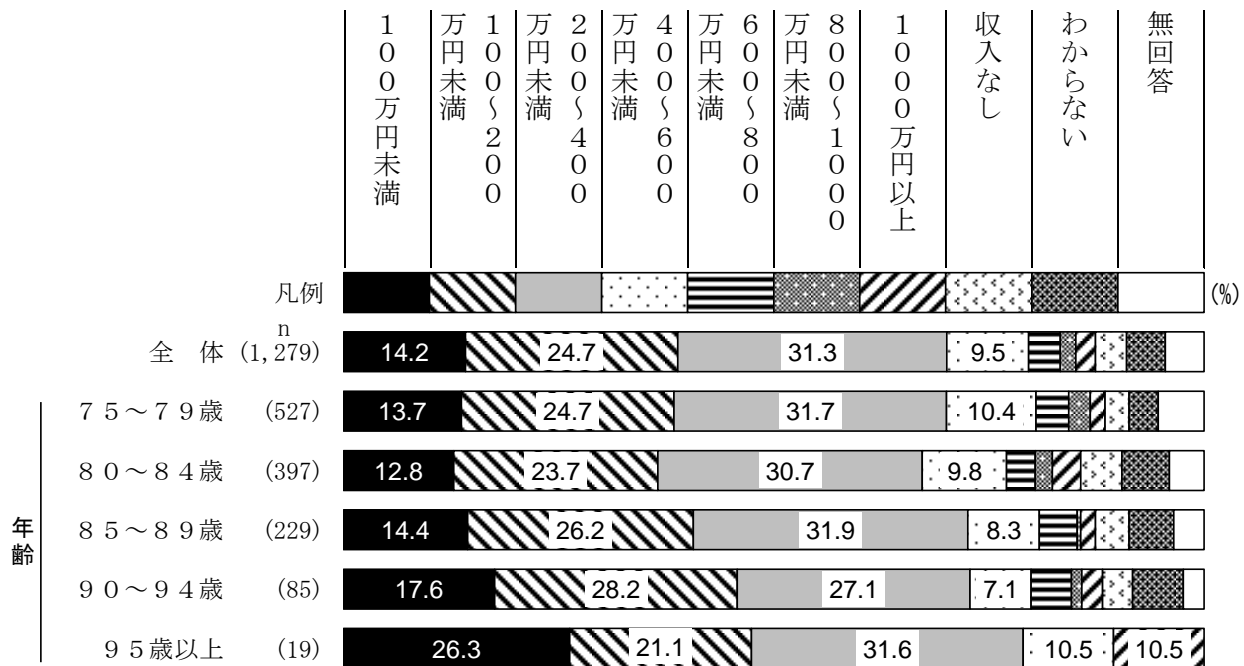
年齢別でみると、「公的年金（国民年金、恩給等）」「同居している家族の収入」について、年齢が高くなるにつれ多くなっている。一方、「自分の仕事の収入」について、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。（図表11-1）

(5) 世帯の収入額

問12 昨年1年間の世帯の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

「200～400万円未満」が31.3%、「100～200万円未満」が24.7%。

図表12-1 世帯の収入額（年齢別）



	100万円未満	100～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	収入なし	わからない	無回答
全体 (1,279)	14.2	24.7	31.3	9.5	3.7	1.8	2.3	3.6	4.5	4.5
75～79歳 (527)	13.7	24.7	31.7	10.4	3.8	2.5	1.7	2.8	3.4	5.3
80～84歳 (397)	12.8	23.7	30.7	9.8	3.3	2.0	3.3	4.8	5.5	4.0
85～89歳 (229)	14.4	26.2	31.9	8.3	4.4	0.4	1.7	3.9	5.2	3.5
90～94歳 (85)	17.6	28.2	27.1	7.1	4.7	1.2	2.4	3.5	5.9	2.4
95歳以上 (19)	26.3	21.1	31.6	10.5	-	-	10.5	-	-	-

世帯の収入額について、「200～400万円未満」が31.3%と最も多く、次いで、「100～200万円未満」(24.7%)、「100万円未満」(14.2%)の順となっている。

年齢別でみると、90～94歳を除くどの年齢でも「200～400万円未満」が最も多い。「100万円未満」について、75～79歳では13.7%、90～94歳では17.6%と、年齢が高くなるにつれその割合が多くなる傾向がみられ、「100～200万円未満」についても同様となっている。(図表12-1)

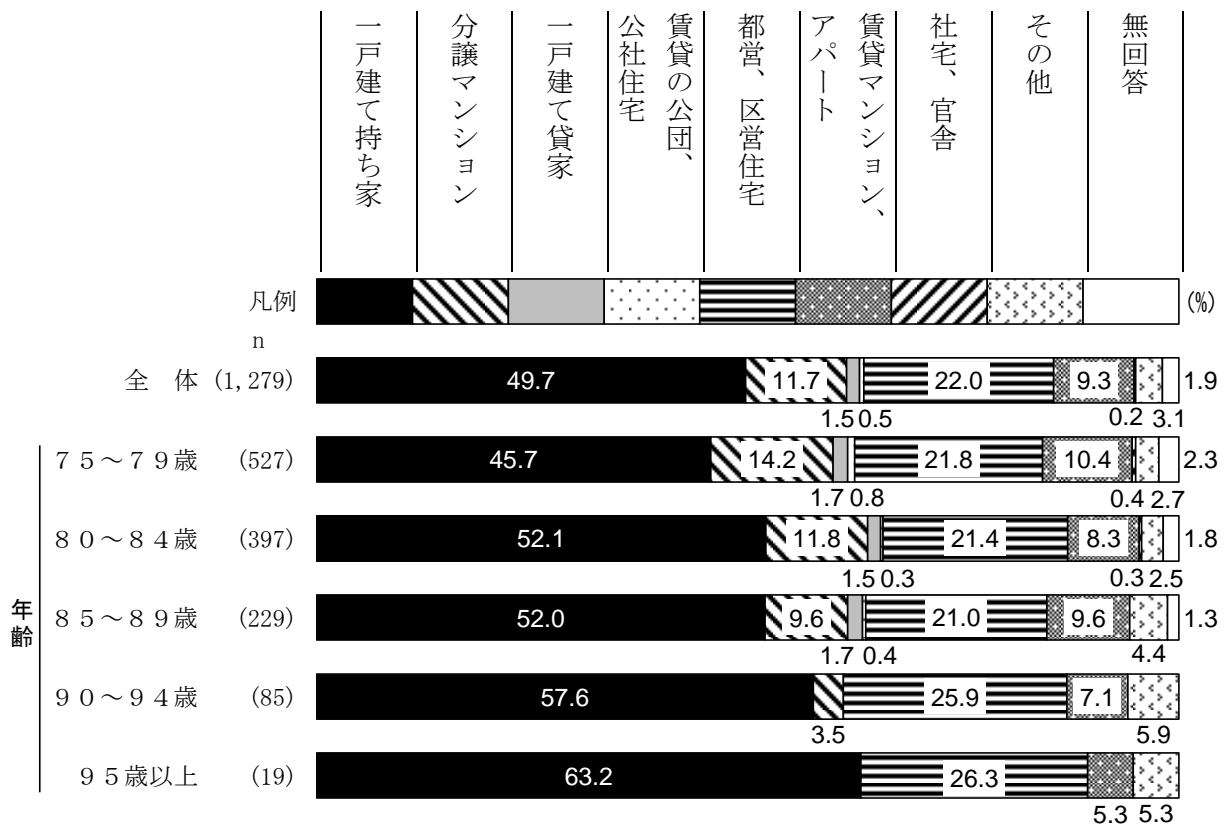
### 3. 住まいについて

#### (1) 住居形態

問13 お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「一戸建て持ち家」が49.7%、「都営、区営住宅」が22.0%。

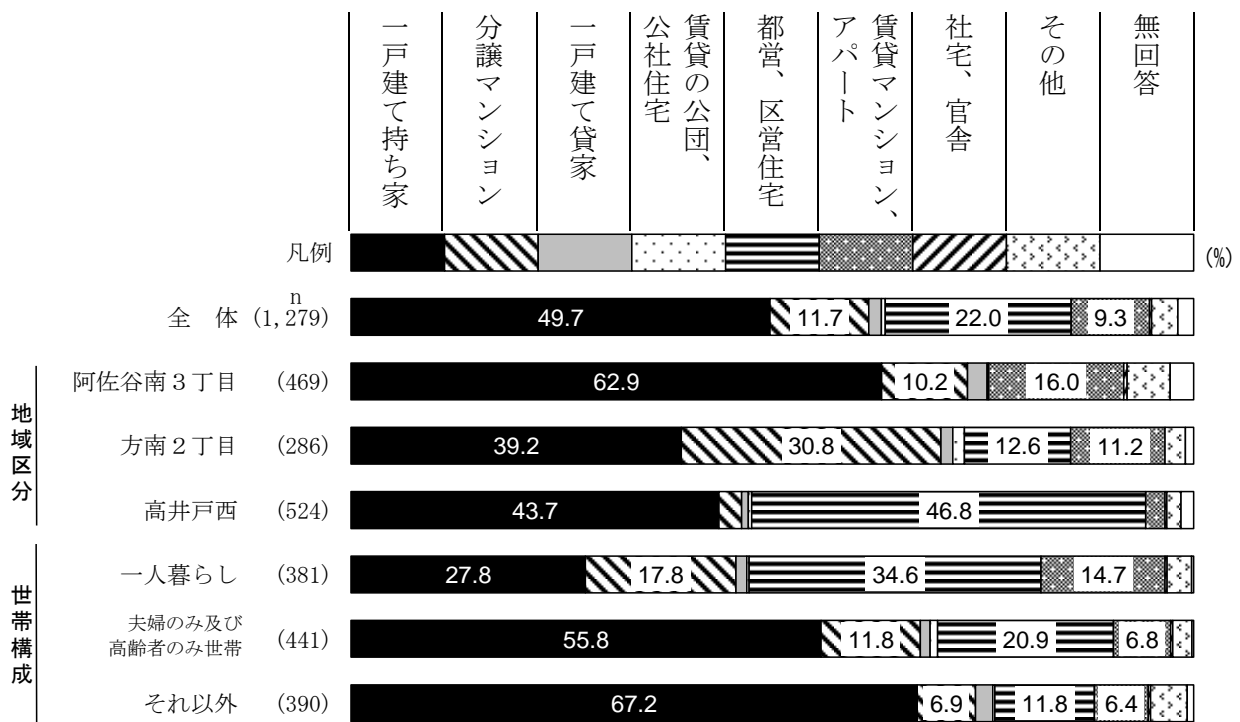
図表13-1 住居形態（年齢別）



住居形態について、「一戸建て持ち家」が49.7%と最も多く、次いで「都営、区営住宅」(22.0%)、「分譲マンション」(11.7%)の順となっている。

年齢別でみると、「一戸建て持ち家」が、75～79歳では45.7%、90～94歳では57.6%と、年齢が高くなるにつれ割合が多くなっている。一方、「分譲マンション」「賃貸マンション、アパート」は、年齢が高くなるにつれ割合が少なくなる傾向がみられる。(図表13-1)

図表 1 3 - 2 住居形態（地域区分別／世帯構成別）



	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	その他	無回答
全体 (1,279)	49.7	11.7	1.5	0.5	22.0	9.3	0.2	3.1	1.9
阿佐谷南3丁目 (469)	62.9	10.2	2.3	-	0.2	16.0	0.4	5.1	2.8
方南2丁目 (286)	39.2	30.8	1.4	1.4	12.6	11.2	-	2.4	1.0
高井戸西 (524)	43.7	2.7	0.8	0.4	46.8	2.3	0.2	1.7	1.5
一人暮らし (381)	27.8	17.8	1.3	0.3	34.6	14.7	0.3	2.9	0.3
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (441)	55.8	11.8	1.1	0.9	20.9	6.8	0.2	2.3	0.2
それ以外 (390)	67.2	6.9	2.1	0.3	11.8	6.4	0.3	4.4	0.8

地域区分別でみると、阿佐谷南3丁目と方南2丁目について、「一戸建て持ち家」が最も多く、それぞれ 62.9%および 39.2%となっており、一方、高井戸西は「都営、区営住宅」(46.8%) が最も多くなっている。

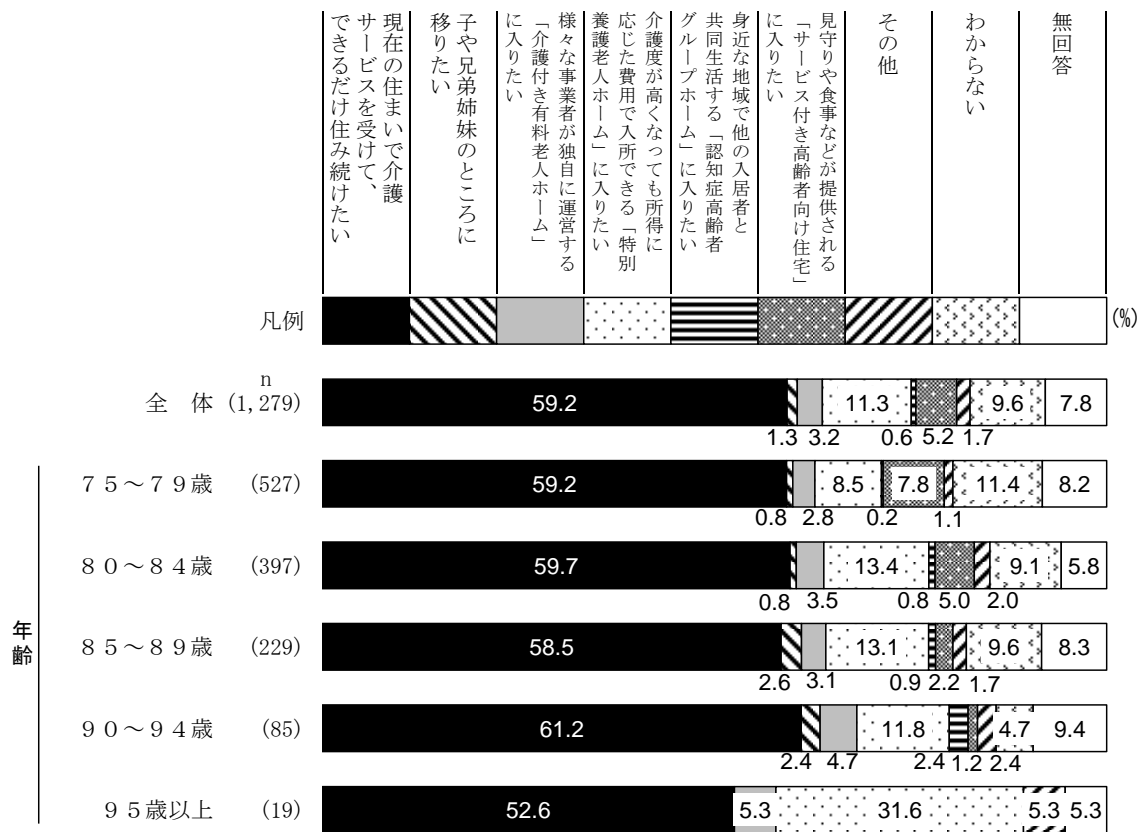
世帯構成別でみると、一人暮らしの世帯においては「都営、区営住宅」が、34.6%と最も多くなっている。夫婦のみ及び高齢者のみ世帯およびそれ以外の世帯では「一戸建て持ち家」が最も多く、それぞれ 55.8%、67.2%となっている。(図表 1 3 - 2)

(2) 将来希望する介護形態

問14 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1つに○）

「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が59.2%、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」が11.3%。

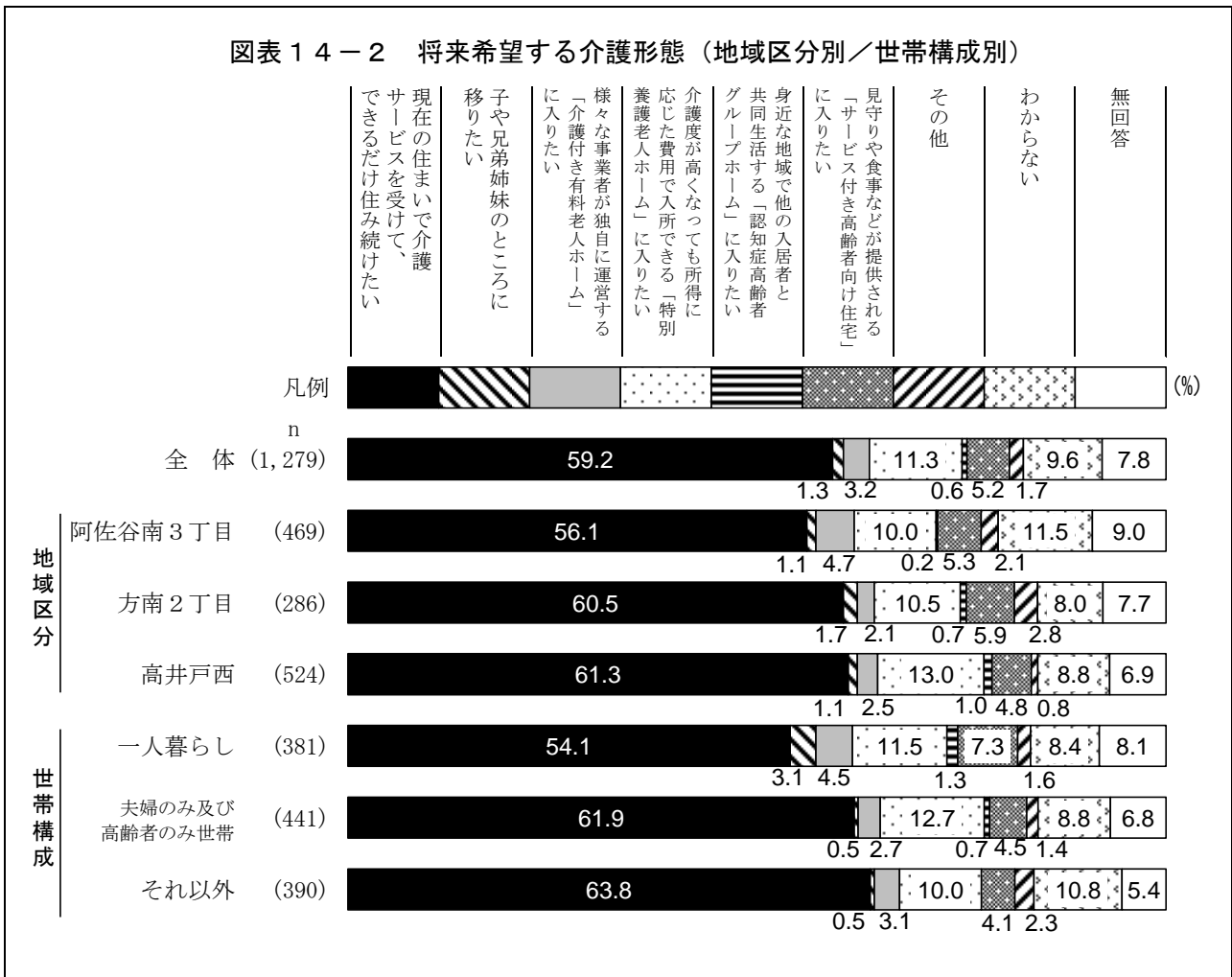
図表14-1 将来希望する介護形態（年齢別）



将来希望する介護形態について、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が59.2%と最も多く、次いで「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」(11.3%)、「見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」(5.2%)の順となっている。

年齢別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が90～94歳で61.2%の他、どの年齢でも6割前後と多い。「様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい」が、75～79歳では2.8%、90～94歳では4.7%と、年齢が高くなるにつれ割合が大きくなる傾向がみられる。一方、「見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」が、75～79歳では7.8%、90～94歳では1.2%と、年齢が高くなるにつれ割合が小さくなっている。(図表14-1)

図表 1 4 - 2 将来希望する介護形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別で見ると、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」の割合が最も多いのは高井戸西の 13.0%、最も少ないのは阿佐谷南3丁目の 10.0%となっている。

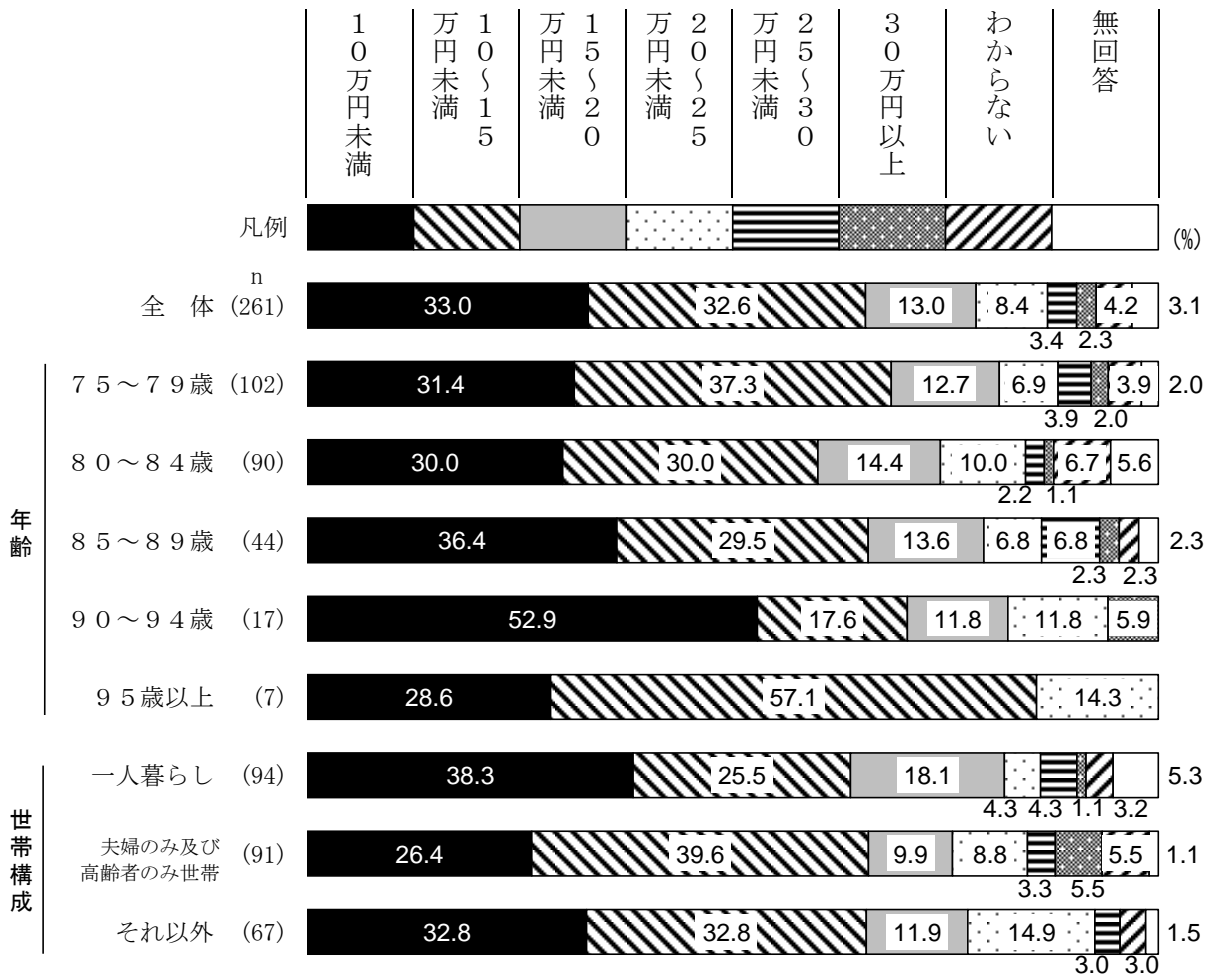
世帯構成別で見ると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」の割合が最も少ないのは一人暮らしの世帯の 54.1%で、一方、「子や兄弟姉妹のところに移りたい」「様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい」「見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」について、それぞれ 3.1%、4.5%、7.3%と、他の世帯構成と比べて多くなっている。(図表 1 4 - 2)

### (3) 家賃・介護費用負担可能額

問15 (問14で「3・4・5・6」と回答された方におたずねします。  
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

「10万円未満」が33.0%、「10～15万円未満」が32.6%。

図表15-1 家賃・介護費用負担可能額 (年齢別/世帯構成別)



家賃・介護費用負担可能額について、「10万円未満」が33.0%と最も多く、次いで、「10～15万円未満」(32.6%)、「15～20万円未満」(13.0%)の順となっている。

年齢別でみると、75～79歳では「10～15万円未満」が37.3%と多く、85～89歳では「10万円未満」が36.4%と多くなっている。

世帯構成別でみると、一人暮らしの世帯において「10万円未満」が、38.3%と最も多くなっている。一方、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯では「10～15万円未満」が、39.6%と最も多くなっている。それ以外の世帯では「10万円未満」と「10～15万円未満」のいずれも32.8%となっている。(図表15-1)

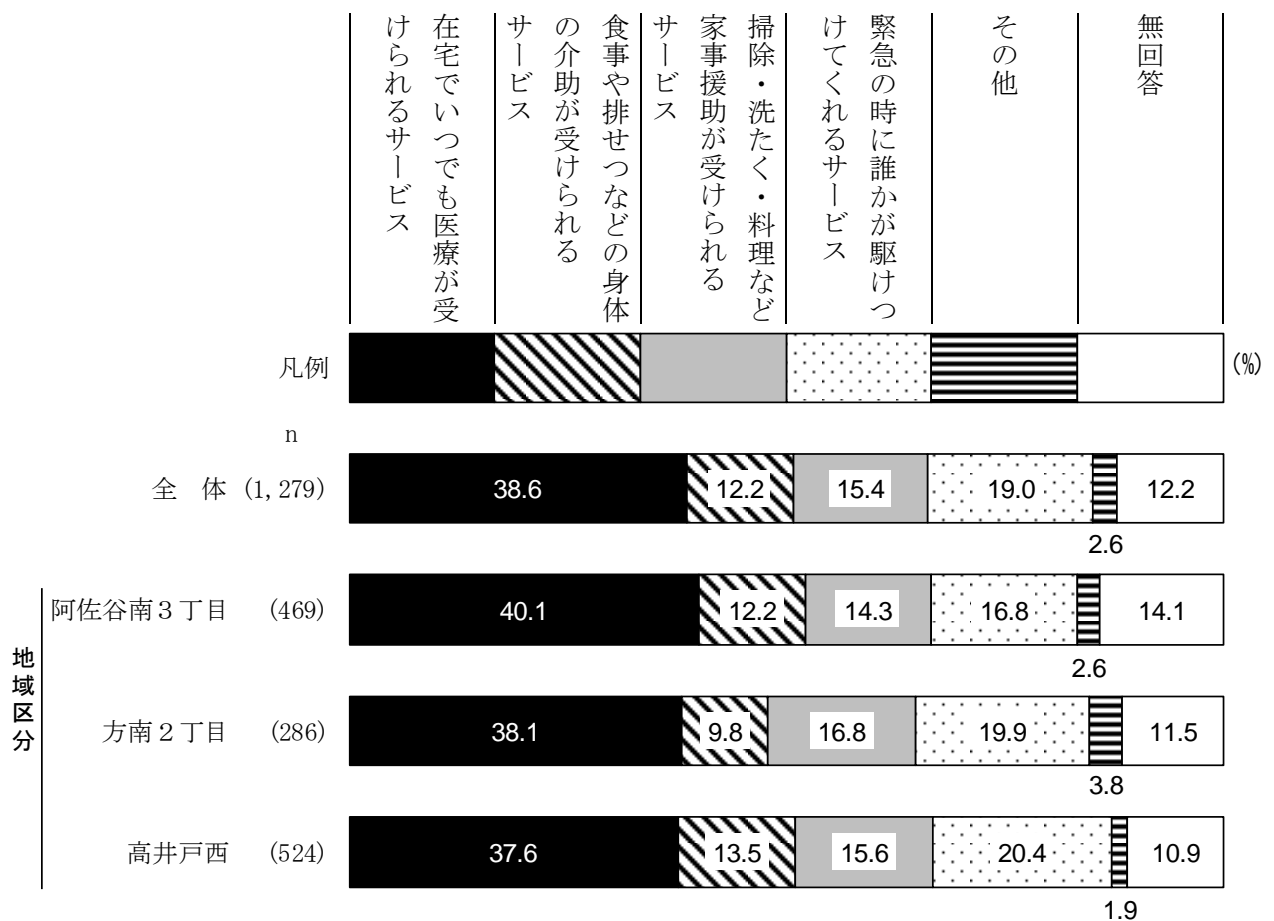


### (4) 在宅生活のために必要なサービス

問16 できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(一番必要と思うもの1つに○)

「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が38.6%、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」が19.0%。

図表16-1 在宅生活のために必要なサービス（地域区分別）



在宅生活のために必要なサービスは、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」の割合が38.6%で最も多く、次いで、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(19.0%)、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(15.4%)の順となっている。

地域区分別で見ると、阿佐谷南3丁目では「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が40.1%、と他の地域に比べて多く、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(14.3%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(16.8%)が少なくなっている。一方、高井戸西では「食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス」(13.5%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(20.4%)が他の地域に比べて多く、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」(37.6%)が少なくなっている。(図表16-1)

## 4. 社会参加について

### (1) 社会参加の有無

(問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。)

問17 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

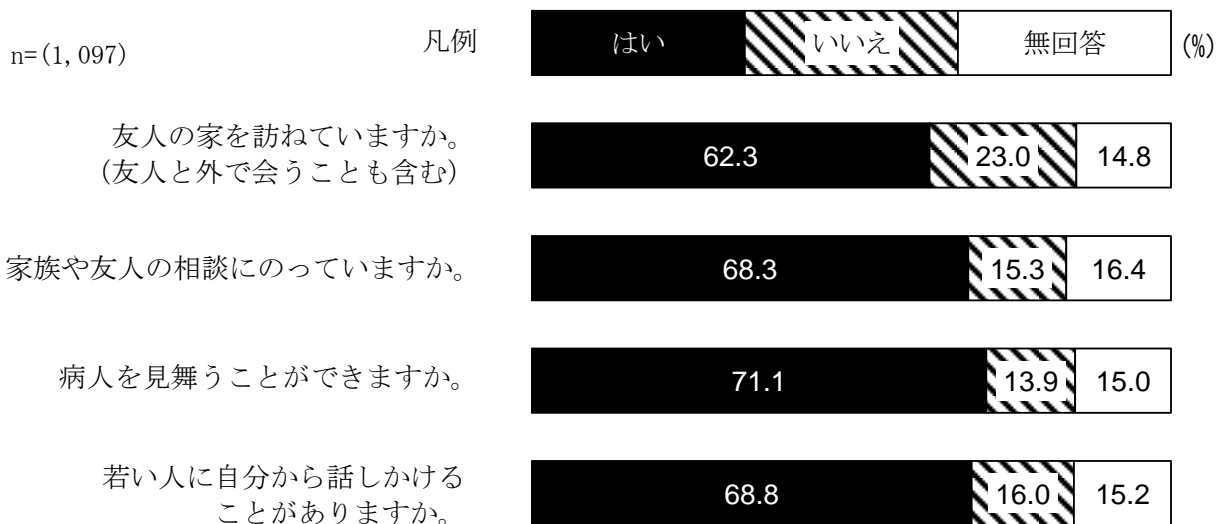
問18 家族や友人の相談にのっていますか。

問19 病人を見舞うことができますか。

問20 若い人に自分から話しかけることがありますか。

「はい」の割合が最も多いのは、『病人を見舞うことができますか』(71.1%)、最も少ないのは、『友人の家を訪ねていますか』(62.3%)。いずれの社会参加についても「はい」が6割以上となっている。

図表17-1 社会参加の有無



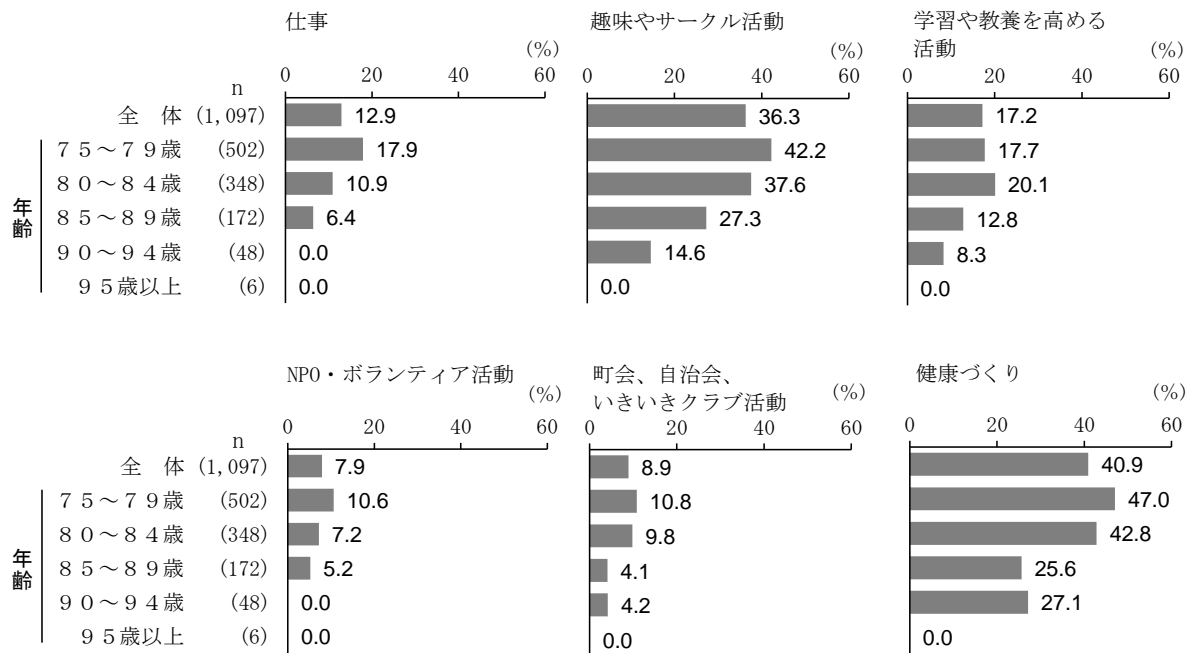
社会参加の有無について、「はい」の割合が最も多いのは、『病人を見舞うことができますか』(71.1%)で、次いで『若い人に自分から話しかけることがありますか』(68.8%)、『家族や友人の相談にのっていますか』(68.3%)、『友人の家を訪ねていますか』(62.3%)の順になっている。(図表17-1)

## (2) 現在やっている、または今後やってみたいこと

問21 (問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。) 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。(いくつでも○)

「健康づくり」が40.9%、「趣味やサークル活動」が36.3%。

図表21-1 現在やっている、または今後やってみたいこと (年齢別)



現在やっている、または今後やってみたいことについて、「健康づくり」が40.9%と最も多く、次いで「趣味やサークル活動」(36.3%)、「学習や教養を高める活動」(17.2%)の順となっている。その一方で、「NPO・ボランティア活動」(7.9%)や「町会、自治会、いきいきクラブ活動」(8.9%)について回答している割合は少なくなっている。

年齢別でみると、「健康づくり」は75～79歳は47.0%であるのに対し、95歳以上は27.1%と少なくなっている。いずれの活動においても、おおむね年齢が高くなるにつれ回答が少なくなっている。(図表21-1)

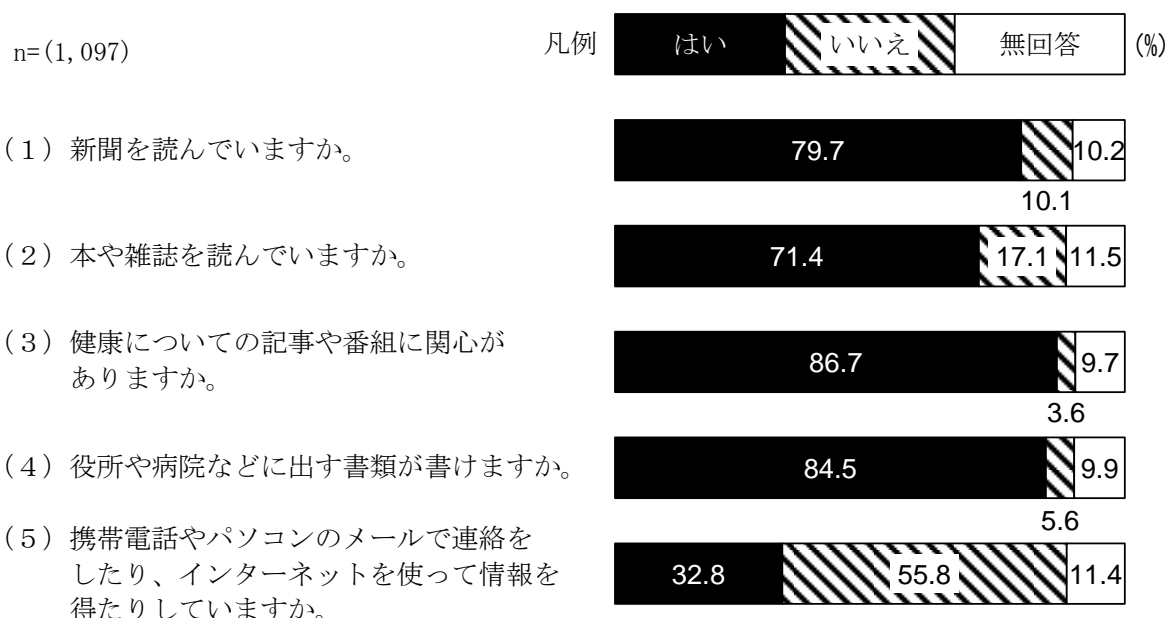
## 5. 日常生活について

### (1) 日常生活で行っていること (その1)

問22 (問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。) 次の(1)～(10)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つつ〇をつけてください。

「はい」が最も多いのは、『健康についての記事や番組に関心がありますか』(86.7%)。最も少ないのは、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか』(32.8%)。

図表22-1 日常生活で行っていること (1)

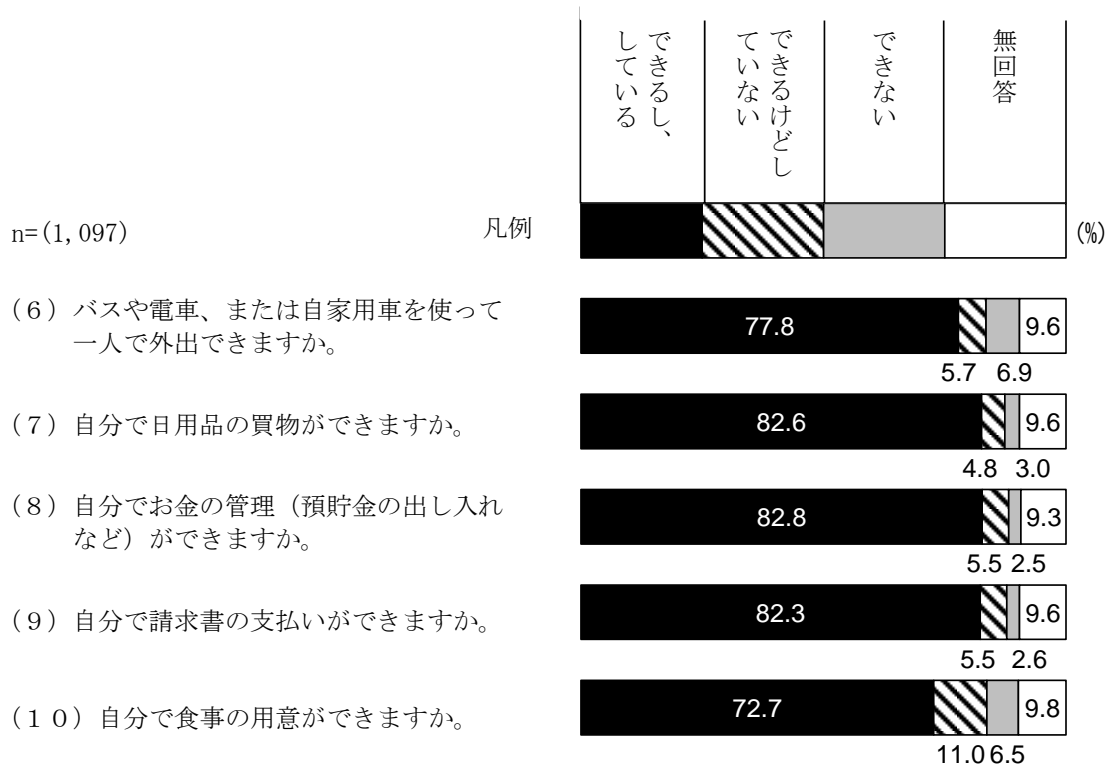


日常生活で行っていることについてたずねた質問で、「はい」が最も多いのは、『健康についての記事や番組に関心がありますか』(86.7%)、次いで『役所や病院などに出す書類が書けますか』(84.5%)となっている。「はい」が最も少ないのは、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか』(32.8%)となっている。(図表22-1)

(2) 日常生活で行っていること (その2)

「できるし、している」の割合が最も多いのは、『自分でお金の管理（預貯金の出し入れなど）ができますか』（82.8%）。最も少ないのは、『自分で食事の用意ができますか』（72.7%）。

図表 2 2 - 2 日常生活で行っていること (2)



日常生活で行っていることを、そのことができるかたずねた質問について、「できるし、している」が最も多いのは、『お金の管理（預貯金の出し入れなど）』（82.8%）、次いで『日用品の買い物』（82.6%）。最も少ないのは、『食事の用意』（72.7%）である。

「できるけどしていない」が最も多いのは、『食事の用意』（11.0%）、次いで『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』（5.7%）。最も少ないのは、『日用品の買い物』（4.8%）である。

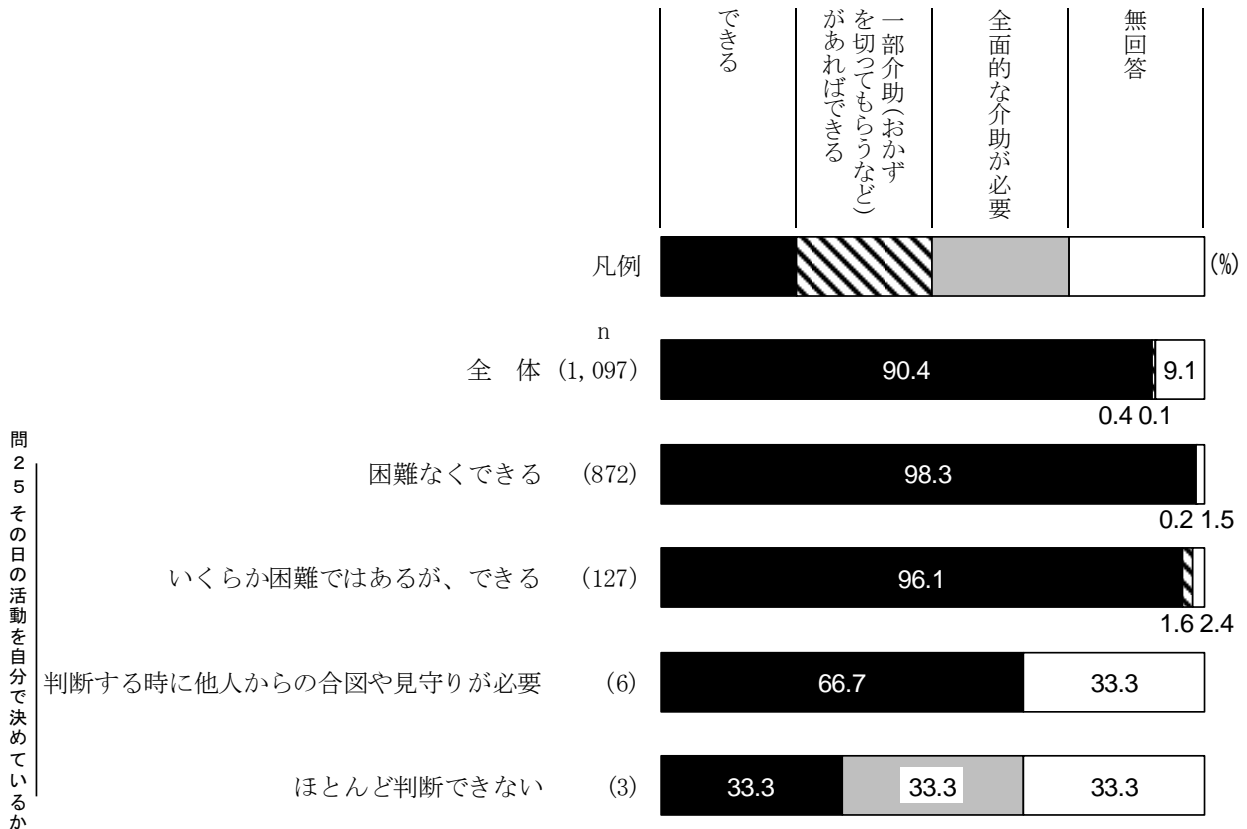
「できない」が最も多いのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』（6.9%）、次いで『食事の用意』（6.5%）。最も少ないのは、『お金の管理（預貯金の出し入れなど）』（2.5%）である。（図表 2 2 - 2）

### (3) 食事を自分で食べられるか

問23 (問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。) 食事は自分で食べられますか。

「できる」が90.4%。活動を自分で決められなくなっていくと、食事の自立度が下がる。

図表23-1 食事を自分で食べられるか(「その日の活動を自分で決めているか」の回答別)



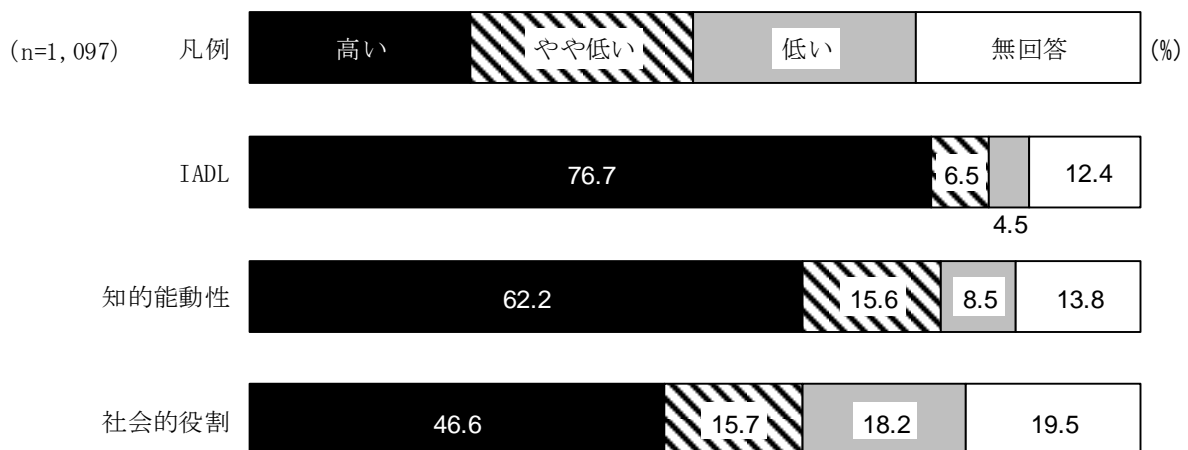
食事を自分で食べられるかについて、「できる」が90.4%となっている。

問25「その日の活動を自分で決めているか」の回答別にみると、「できる」の割合は、介助必要度が上がるにつれ少なくなる。(図表23-1)

## (4) 老研式活動能力指標の分析結果

IADLにおいて「高い」は76.7%、「低い」は4.5%。知的能動性において「高い」は62.2%、「低い」は8.5%。社会的役割において、「高い」は46.6%、「低い」は18.2%。

図表 a-1 老研式活動能力指標の分析結果（「IADL」「知的能動性」「社会的役割」）



図表 a-2 老研式活動能力指標の分析結果（総合評価）



## ・老研式活動能力指標

東京都健康長寿医療センター研究所で開発された、生活機能を評価する指標。

自立している場合は点数が高い。

## ・IADL（手段的日常生活動作）

日常生活を送るうえで必要な動作のうち、買いもの、家事全般、金銭管理等の複雑な動作のこと。

問17～問22の回答を点数化し、老研式活動能力指標の分析を行った。なお、IADLは問22(6)～(10)、知的能動性は問22(1)～(4)、社会的役割は問17～問20の回答により判定した。

その結果、いずれの評価も「高い」が「やや低い」「低い」を上回っており、それぞれ個別にみると、IADLでは、「高い」は76.7%と最も多く、次いで「やや低い」(6.5%)、「低い」(4.5%)の順となっている。社会的能動性では、「高い」は62.2%と最も多く、次いで「やや低い」(15.6%)、「低い」(8.5%)の順となっている。社会的役割では、「高い」は46.6%で最も多く、次いで「低い」(18.2%)、「やや低い」(15.7%)の順となっている。(図表a-1)

総合評価は、3項目の合計点を13点満点で評価し、「高い」(11点以上)が59.1%で最も多く、「やや低い」(9～10点)が8.8%、「低い」(8点以下)が6.0%の順となっている。(図表a-2)

## 6. 記憶・判断について

### (1) 記憶・判断について

(問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。)

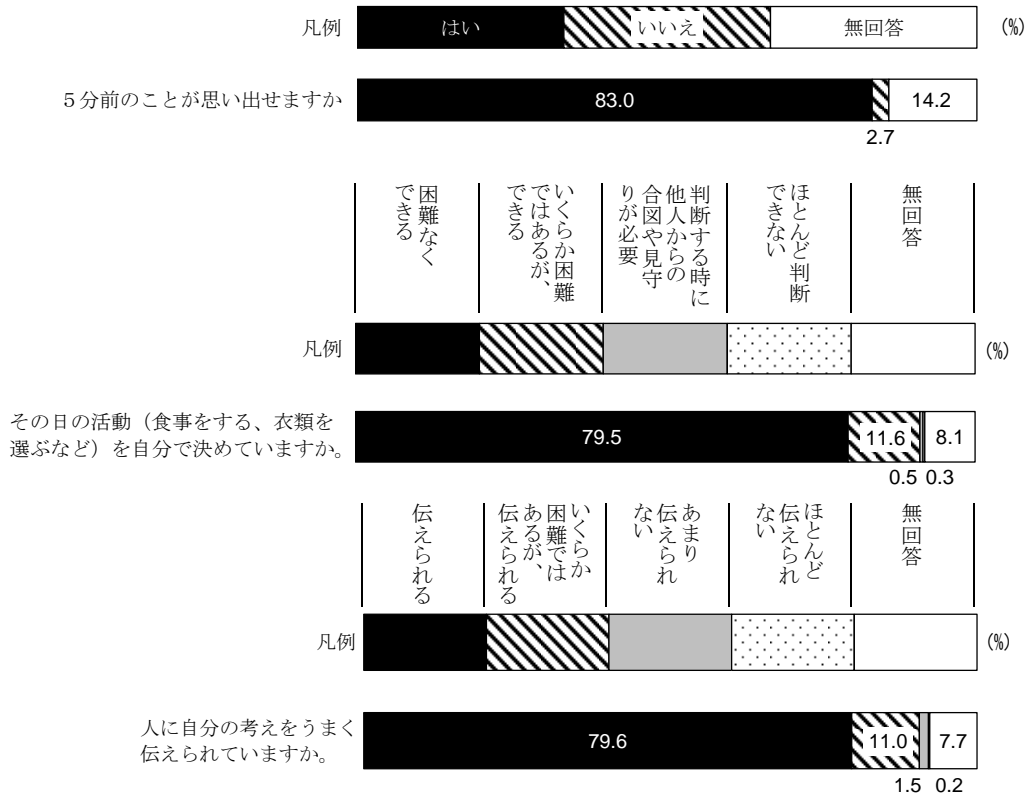
問24 5分前のことが思い出せますか。

問25 その日の活動(食事をする、衣類を選ぶなど)を自分で決めていますか。(1つに○)

問26 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)

5分前のことが思い出せる人は83.0%、その日の活動を自分で決めることが困難なくできる人は79.5%、人に自分の考えをうまく伝えられる人は79.6%と、いずれもほぼ8割となっている。

図表24-1 記憶・判断について



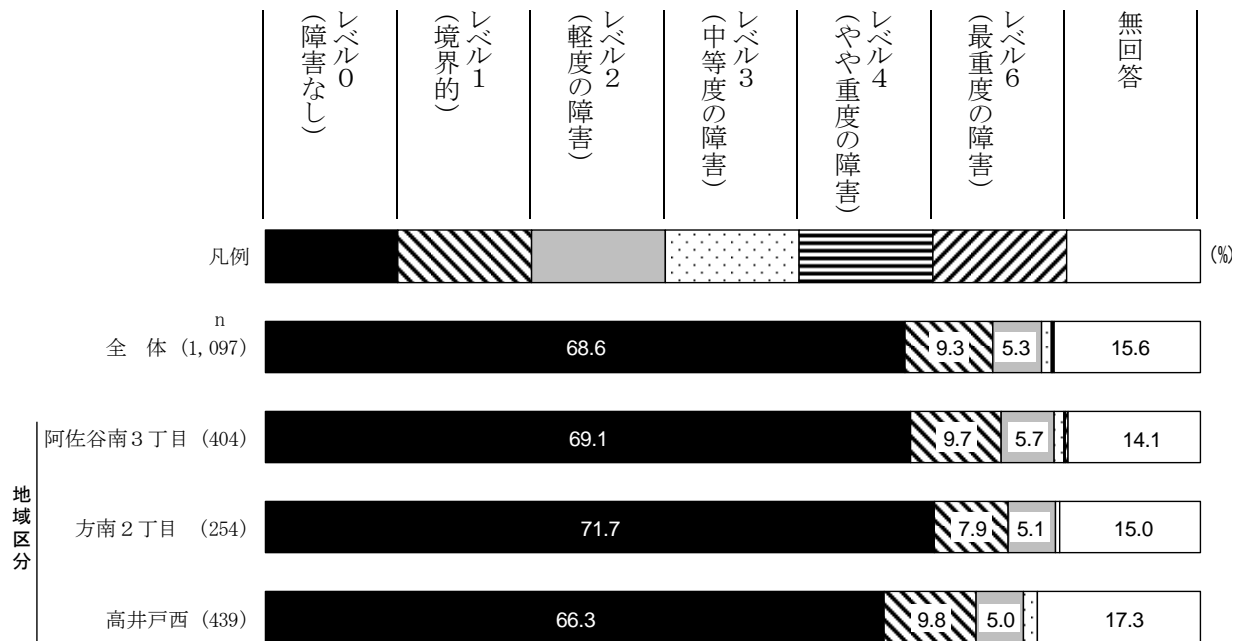
記憶・判断について、『5分前のことが思い出せますか』で「はい」と答えた人は83.0%、『その日の活動を自分で決めていますか』で「困難なくできる」と答えた人は79.5%、『人に自分の考えをうまく伝えられていますか』で「伝えられる」と答えた人は79.6%と、いずれもほぼ8割となっており、質問間では大きな違いは見られなかった。(図表24-1)



(2) 認知機能の分析結果

「レベル0」(障害なし)が68.6%、「レベル1」(境界的)が9.3%。

図表 b-1 認知機能の分析結果



※レベル5(重度の障害)は該当者がいなかったため図より省略する

	レベル0 (障害なし)	レベル1 (境界的)	レベル2 (軽度の障害)	レベル3 (中等度の障害)	レベル4 (やや重度の障害)	レベル5 (重度の障害)	レベル6 (最重度の障害)	無回答
全体 (1,097)	68.6	9.3	5.3	1.1	0.1	-	0.1	15.6
阿佐谷南3丁目 (404)	69.1	9.7	5.7	1.0	0.2	-	0.2	14.1
方南2丁目 (254)	71.7	7.9	5.1	0.4	-	-	-	15.0
高井戸西 (439)	66.3	9.8	5.0	1.6	-	-	-	17.3

問23～問26の回答の組み合わせをもとに、認知機能の分析を行った。その結果、認知機能が「レベル0 (障害なし)」である人が68.6%と最も多く、次いで「レベル1 (境界的)」(9.3%)、「レベル2 (軽度の障害)」(5.3%)の順となっている。

地域区分別でみると、「レベル0」が占める割合は、方南2丁目71.7%と最も多く、高井戸西で66.3%と最も少なくなっている。(図表b-1)

## 7. 転倒予防について

### (1) 転倒予防について

(問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。)

問27 この1年間に転んだことはありますか。

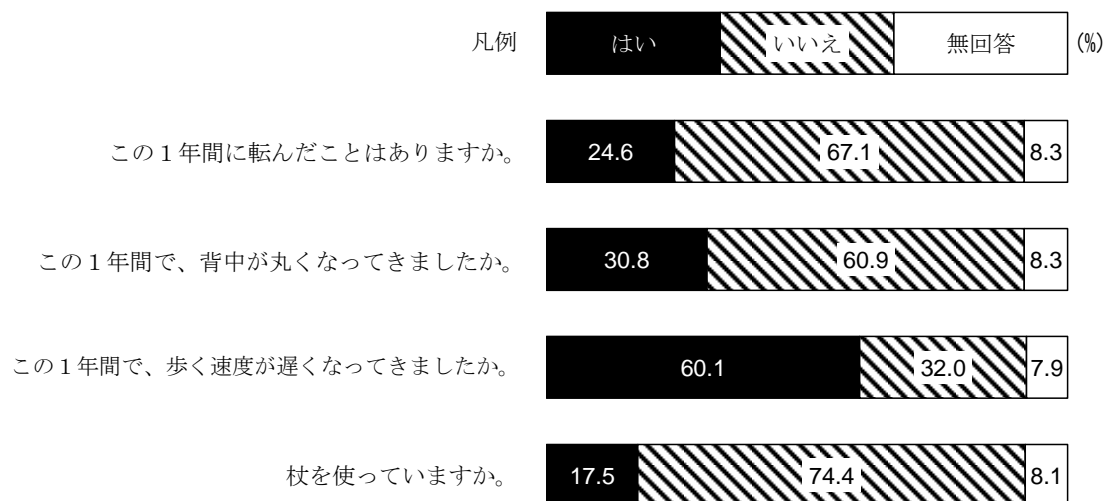
問28 この1年間で、背中が丸くなってきましたか。

問29 この1年間で、歩く速度が遅くなってきましたか。

問30 杖を使っていますか。

この1年間で、背中が丸くなってきた人は30.8%、歩く速度が遅くなってきた人は60.1%。

図表27-1 転倒予防について



転倒予防について、『この1年間で、歩く速度が遅くなってきましたか』で「はい」を回答した人は60.1%と最も多く、次いで『背中が丸くなってきましたか』(30.8%)、『転んだことがありますか』(24.6%)の順となっている。割合が少ないのは、『杖を使っていますか』の17.5%である。(図表27-1)

## (2) 転倒リスクの分析結果

「リスクなし」が55.3%、「リスクあり」が31.5%。

図表 c-1 転倒リスクの分析結果



問27～問30および問36の回答の組み合わせをもとに、転倒リスクの分析を行った。

その結果、「リスクなし」が55.3%であり、「リスクあり」が31.5%である。転倒のリスクがない人が、半数以上を占めている。(図表 c-1)

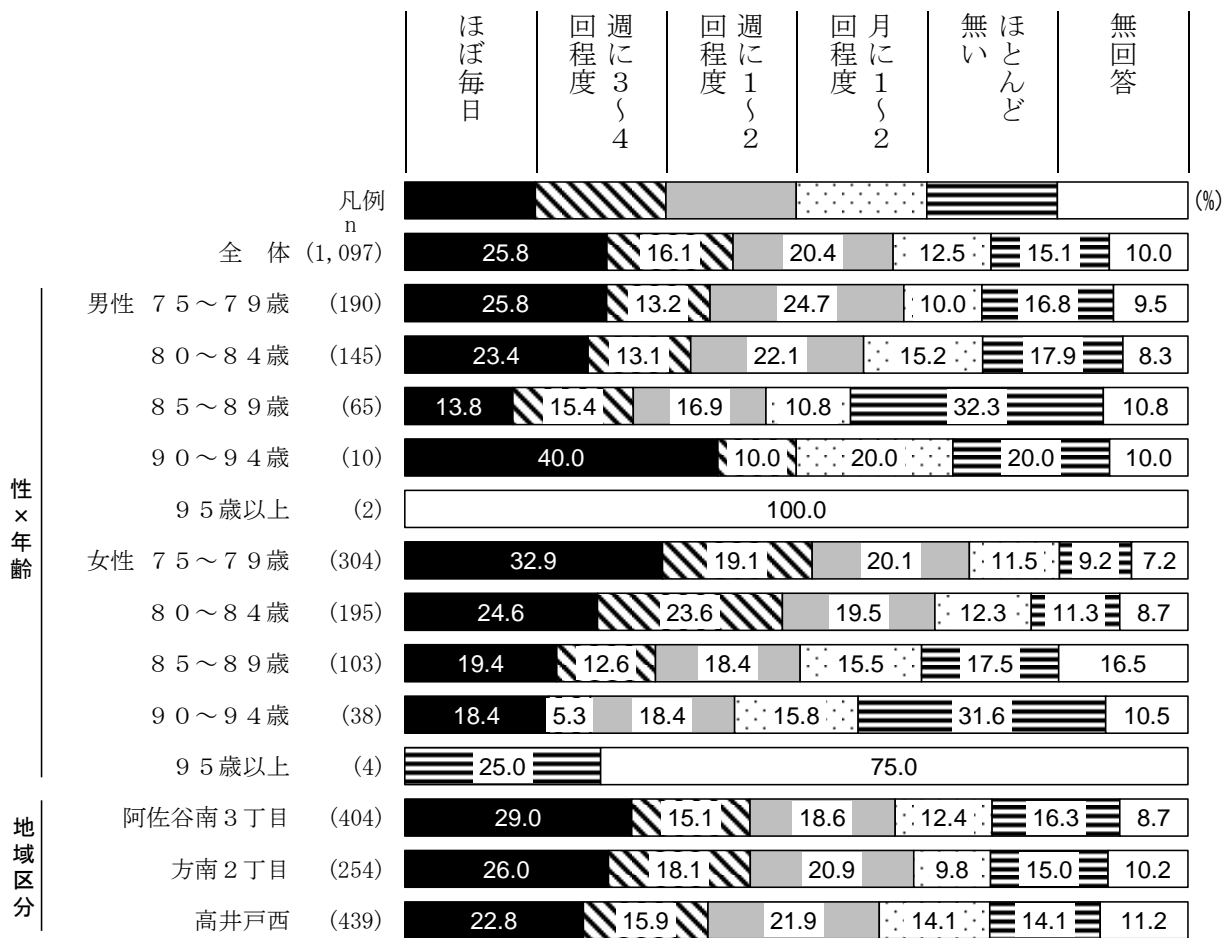
## 8. 地域との関わりについて

### (1) 近所の方との付き合いの有無

問3 1 (問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。) 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

「ほぼ毎日」が25.8%、「週に1～2回程度」が20.4%。

図表3 1-1 近所の方との付き合いの有無 (性×年齢別/地域区分別)



近所の方との付き合いの有無について、「ほぼ毎日」が25.8%と最も多く、次いで「週に1～2回程度」(20.4%)、週に3～4回程度(16.1%)の順となっている。

年齢別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、75～79歳で男性では25.8%、女性では32.9%と最も多く、男女ともにおおむね年齢が高くなるにつれその割合は少なくなっている。

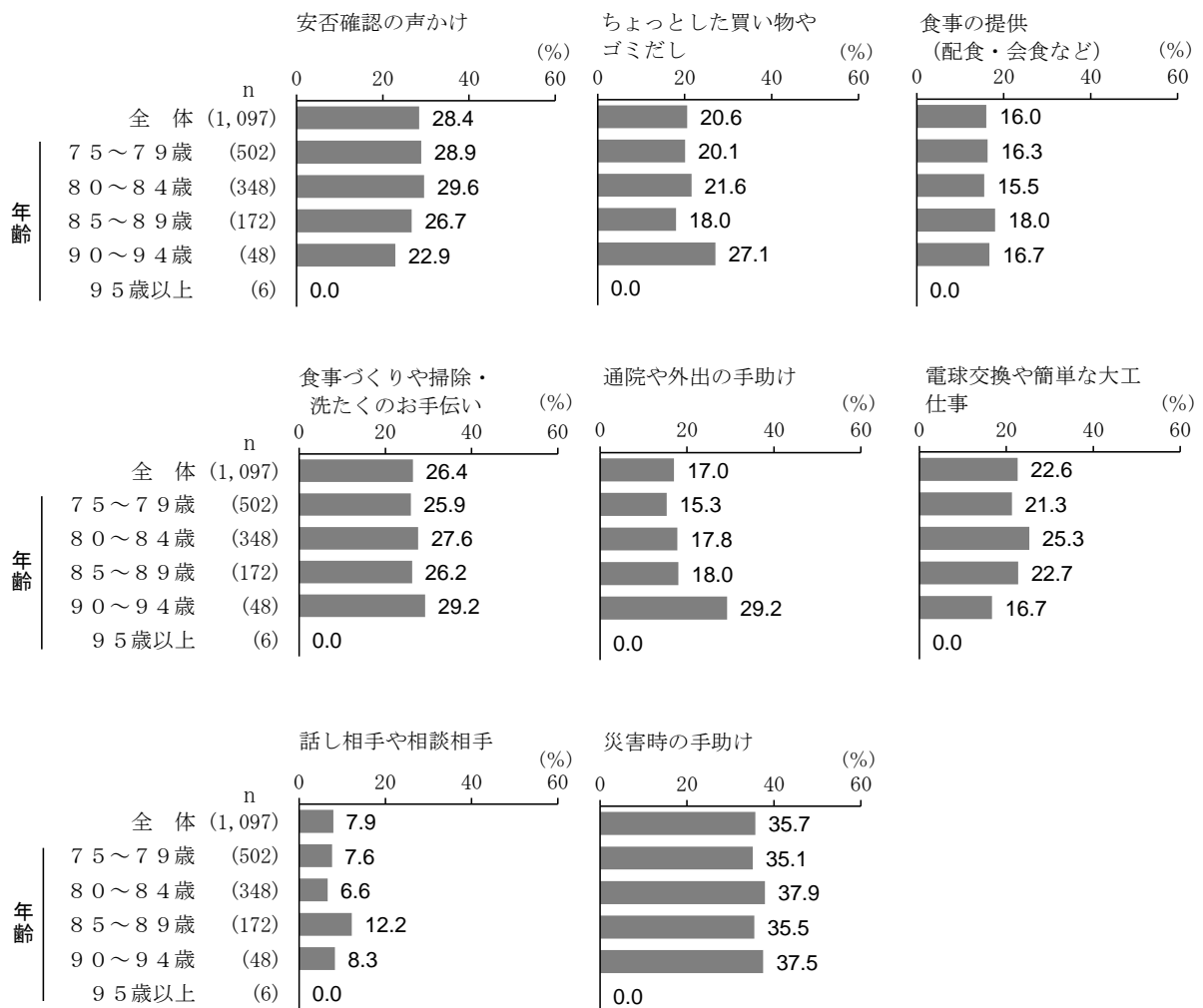
地域区分別でみると、「ほぼ毎日」の占める割合は、阿佐谷南3丁目(29.0%)と最も多く、方南2丁目(26.0%)、高井戸西(22.8%)の順になっている。(図表3 1-1)

## (2) 日常生活で手助けをしてほしいこと

問3 2 (問5で要介護1～5の認定を受けているとご回答されていない方におたずねします。)  
 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか。(あてはまる  
 と思うものを3つまで○をつけてください)

「災害時の手助け」が35.7%、「安否確認の声かけ」が28.4%。

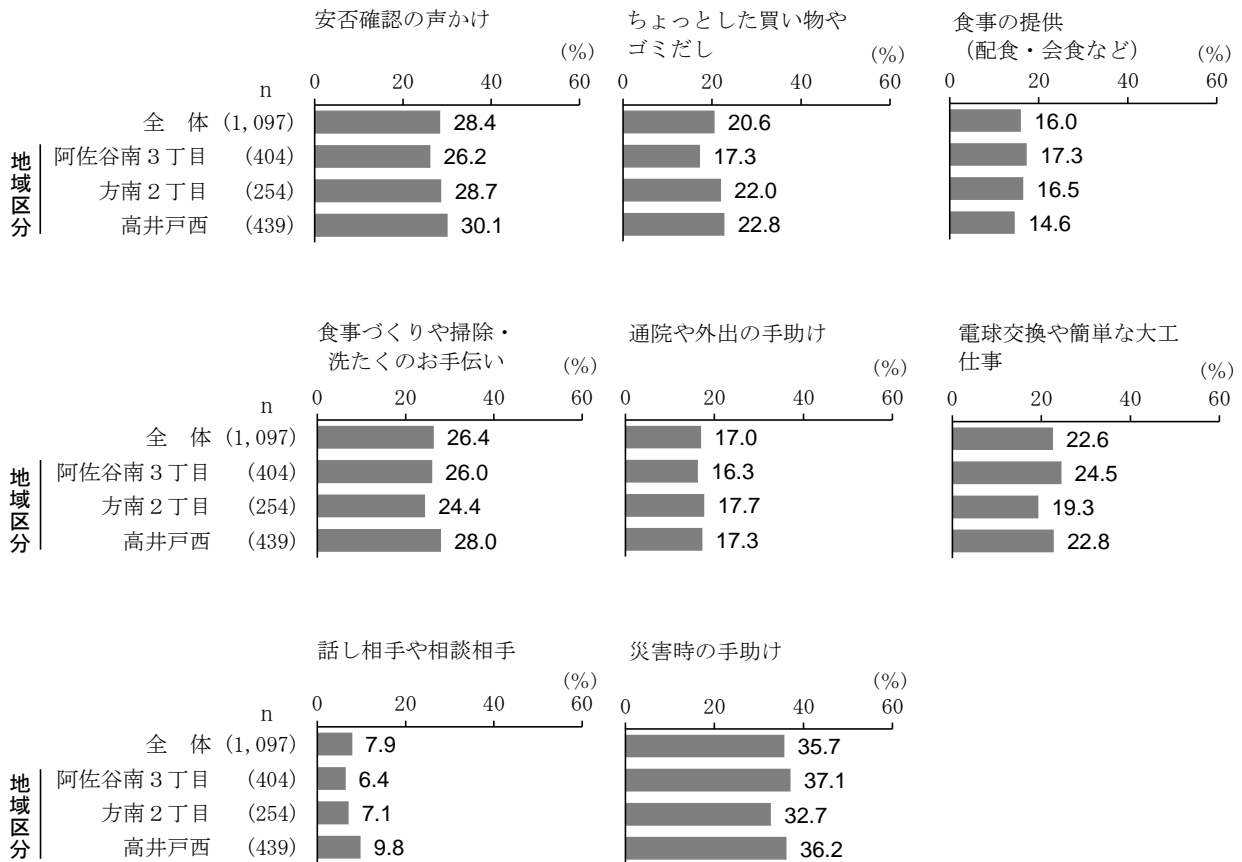
図表3 2 - 1 日常生活で手助けをしてほしいこと (年齢別)



日常生活で手助けをしてほしいことについて、「災害時の手助け」が35.7%と最も多く、次いで「安否確認の声かけ」(28.4%)、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(26.4%)、の順となっている。

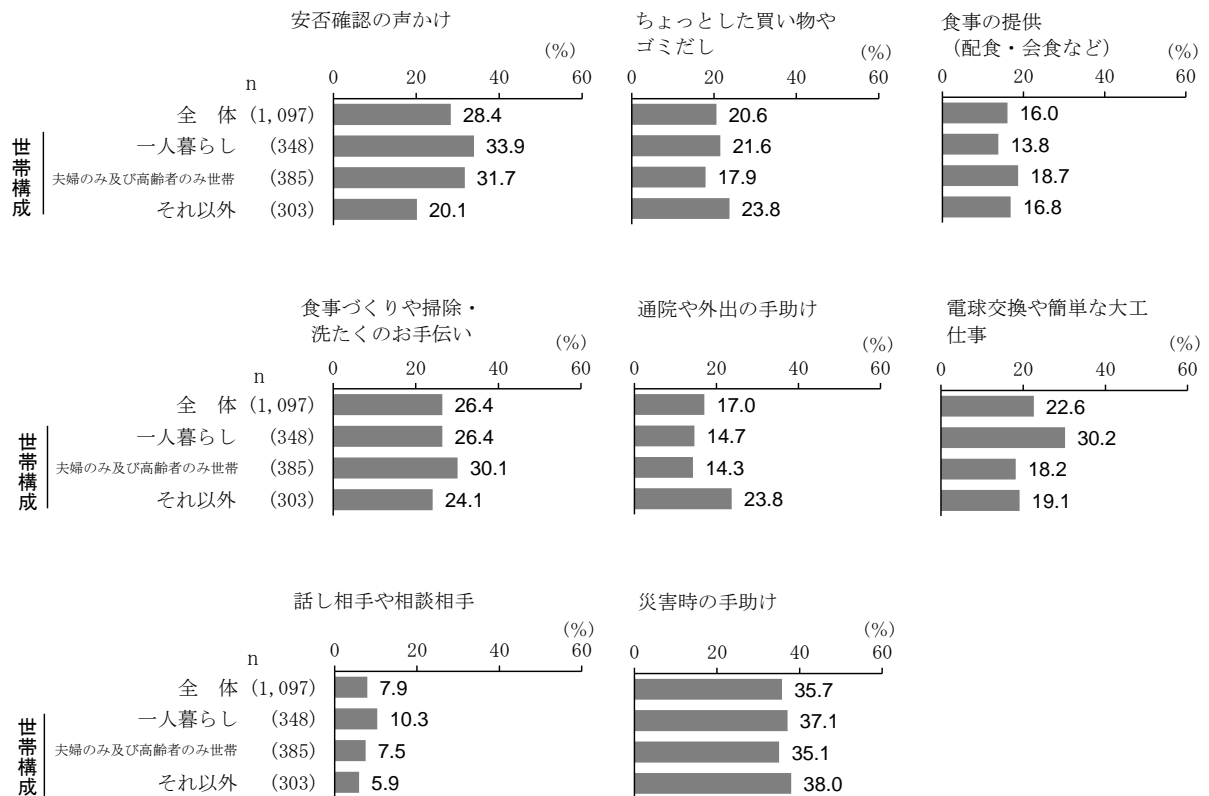
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ちょっとした買い物やゴミだし」、「通院や外出の手助け」の占める割合が多くなる傾向がみられる。その一方で「安否の声かけ」「電球交換や簡単な大工仕事」は少なくなる傾向がみられる。(図表3 2 - 1)

図表3 2-2 日常生活で手助けをしてほしいこと（地域区分別）



地域区分別については、阿佐谷南3丁目ではほかの地域よりも割合が多くなっているのは、「災害時の手助け」(37.1%)、「電球交換や簡単な大工仕事」(24.5%)、「食事の提供(配食・会食など)」(17.3%)である。方南二丁目では、「通院や外出の手助け」(17.7%)でわずかに割合が多くなっている。高井戸西では、「安否確認の声かけ」(30.1%)、「ちょっとした買い物やゴミだし」(22.8%)、「食事づくりや掃除洗たくのお手伝い」(28.0%)、「話し相手や相談相手」(9.8%)で割合が多くなっている。(図表3 2-2)

図表 3 2 - 3 日常生活で手助けをしてほしいこと（世帯構成別）



世帯構成別については、一人暮らしにおいて、他の世帯構成に比べて要望の高い項目をみると「安否確認の声かけ」(33.9%)、「電球交換や簡単な大工仕事」(30.2%)、「話し相手や相談相手」(10.3%)がある。

また、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯において、他の世帯構成に比べて多い項目をみると「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(30.1%)、「食事の提供(配食・会食など)」(18.7%)がある。

それ以外の世帯で、他の世帯構成に比べて多い項目をみると「災害時の手助け」(38.0%)、「通院や外出の手助け」(23.8%)、「ちょっとした買い物やゴミだし」(23.8%)となっている。「災害時の手助け」は、いずれの世帯構成でも3割を超えており、どの世帯構成でも要望の多い結果となっている。(図表 3 2 - 3)

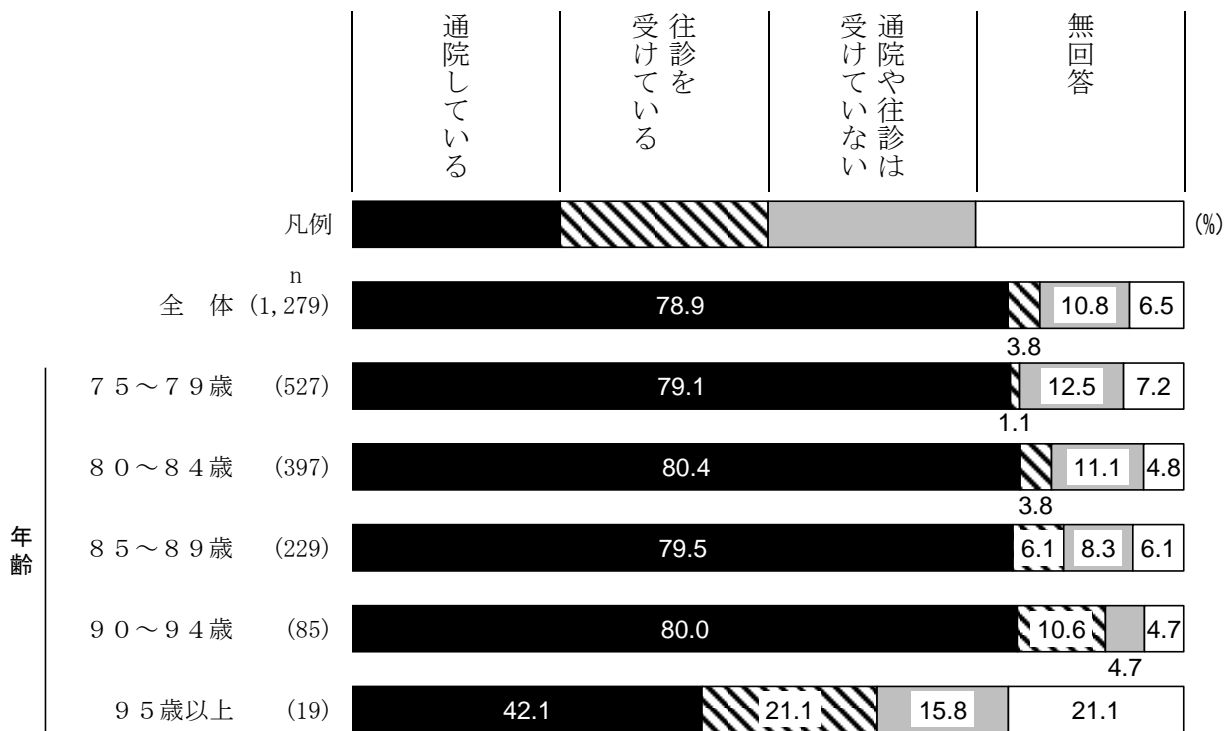
## 9. 健康について

### (1) 通院・往診の状況

問33-1 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が78.9%、「通院や往診は受けていない」が10.8%。

図表33-1 通院・往診の状況（年齢別）

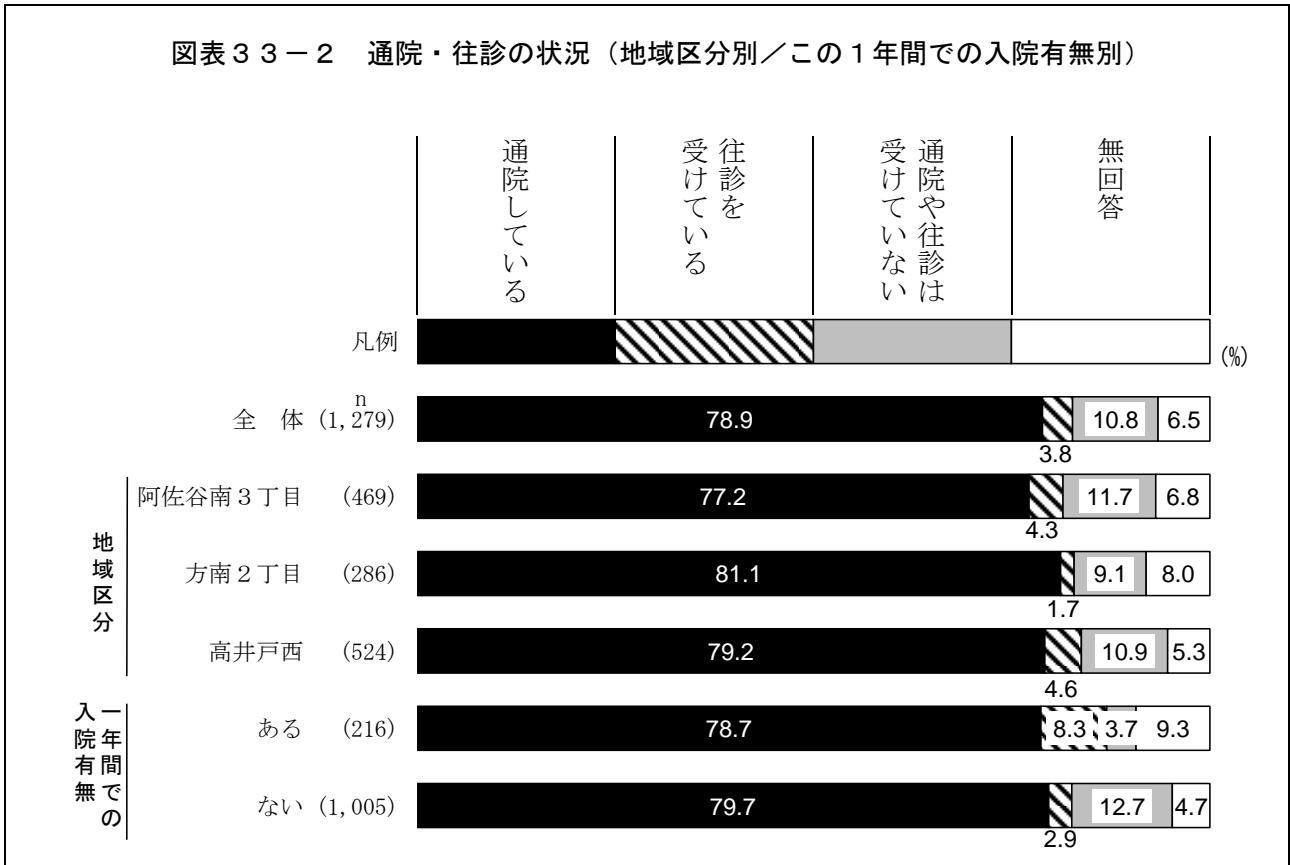


現在の通院・往診の状況について、「通院している」が78.9%と最も多く、次いで「通院や往診は受けていない」(10.8%)、「往診を受けている」(3.8%)の順となっている。

年齢別でみると、95歳以上を除くどの年齢でも「通院している」が最も多く、8割前後を占めており、年齢による変化はあまり見られない。一方、「通院や往診は受けていない」は、75～79歳では12.5%、90～94歳では4.7%と、年齢とともに割合が少なくなっており、「往診を受けている」は、75～79歳では1.1%、90～94歳では10.6%と、年齢とともに割合が多くなっている。(図表33-1)



図表 3 3 - 2 通院・往診の状況（地域区分別／この1年間での入院有無別）



地域区分別で見ると、いずれの地域でも「通院している」が最も多く、方南2丁目（81.1%）、高井戸西（79.2%）、阿佐谷南3丁目（77.2%）の順に多い。

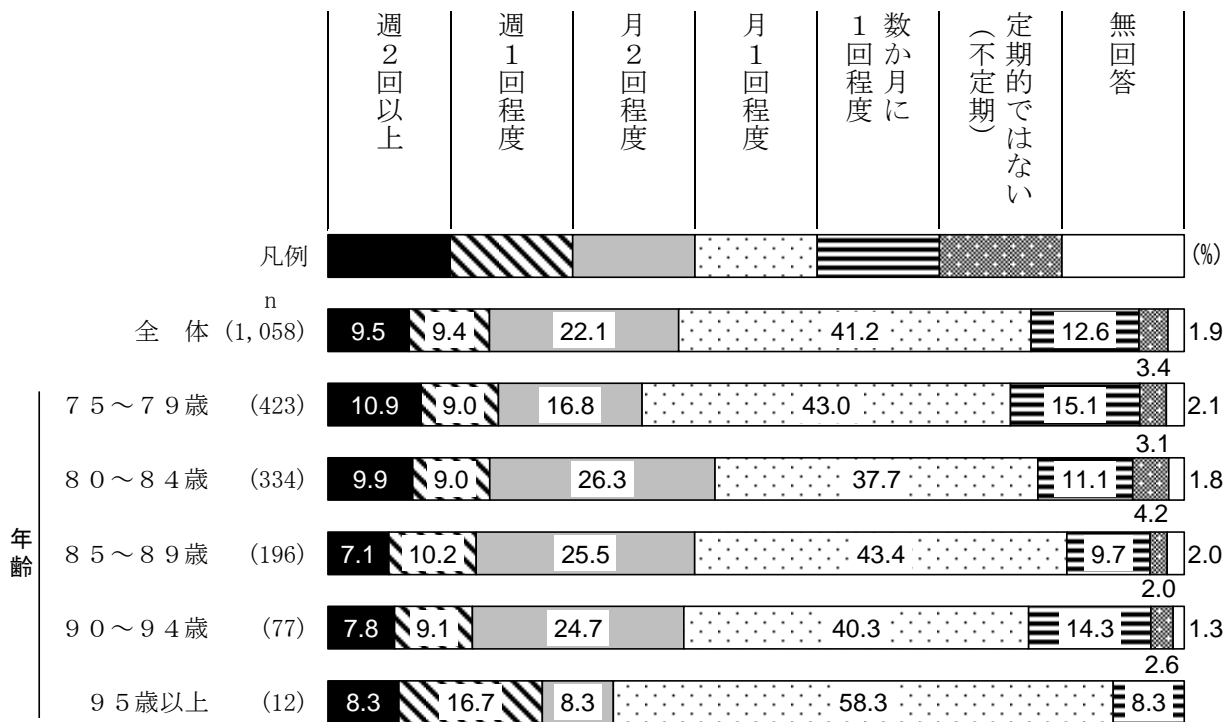
この1年間での入院有無別についてみると、「往診を受けている」は入院ありでは8.3%、入院なしでは2.9%となっており、一方、「通院や往診は受けていない」は、入院ありでは3.7%であるのに対し、入院なしでは12.7%となっている。（図表33-2）

(2) 通院・往診の頻度

問34 (問33で「1. 通院している」「2. 往診を受けている」と回答された方におたずねします。) 通院や往診の頻度を教えてください。(1つに○)

「月1回程度」が41.2%、「月2回程度」が22.1%。どの年齢層でも「月1回程度」が最も多い。

図表34-1 通院・往診の頻度(年齢別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が41.2%と最も多く、次いで「月2回程度」(22.1%)、「数か月に1回程度」(12.6%)の順となっている。

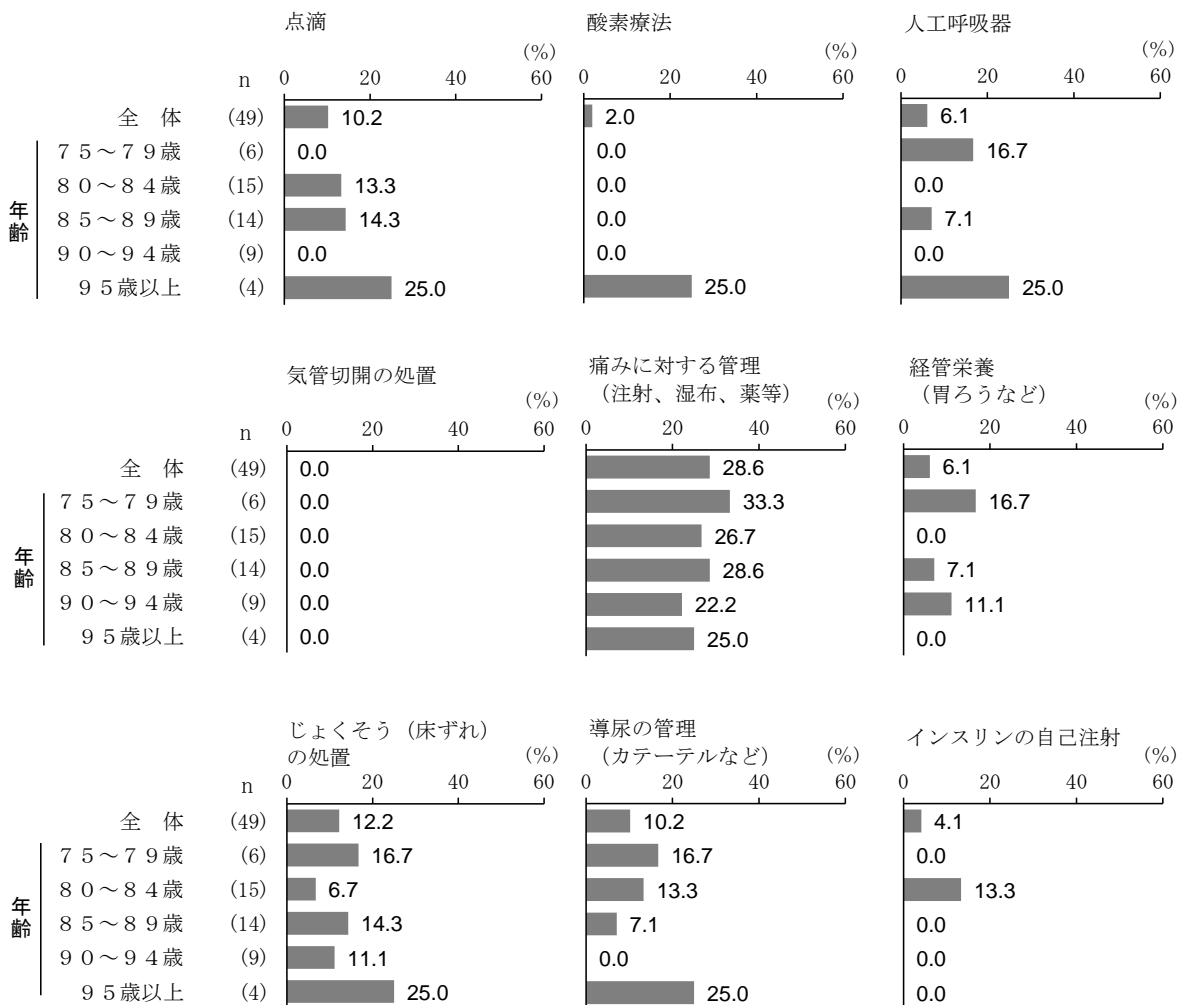
年齢別でみると、「週2回以上」の割合は、75~79歳では10.9%、90~94歳では7.8%と、おおむね年齢が高くなるにつれてその割合は少なくなっている。また、80~84歳では、他の年齢と比べて「月2回程度」の割合26.3%と多く、「月1回程度」の割合が37.7%と少なくなっている。(図表34-1)

(3) 往診の内容

問35 (問33で「2. 往診を受けている」と回答された方におたずねします。) 往診を受けているのは、どのような内容ですか。(いくつでも○)

「痛みに対する管理(注射、湿布、薬等)」が28.6%、「じょくそう(床ずれ)の処置」が12.2%、導尿の管理(カテーテルなど)が10.2%。

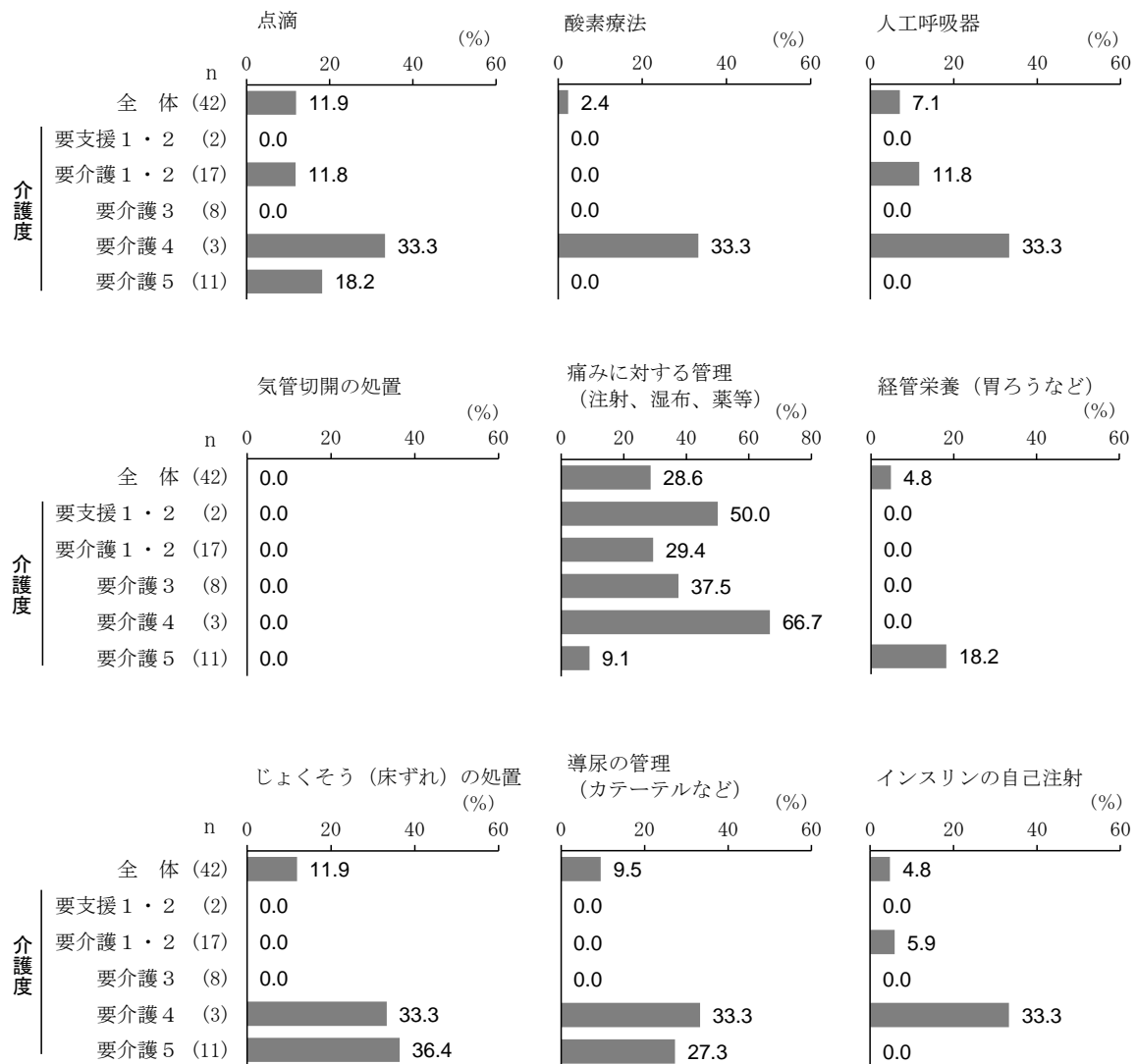
図表35-1 往診の内容(年齢別)



往診の内容について、「痛みに対する管理(注射、湿布、薬等)」が28.6%と最も多く、次いで「じょくそう(床ずれ)の処置」(12.2%)、「導尿の管理(カテーテルなど)」(10.2%)の順となっている。「気管切開の処置」への回答はなかった。

年齢別について、各属性別の回答者数が少ないため、参考としてグラフの記載にとどめることとする。(図表35-1)

図表 3 5 - 2 往診の内容（介護度別）



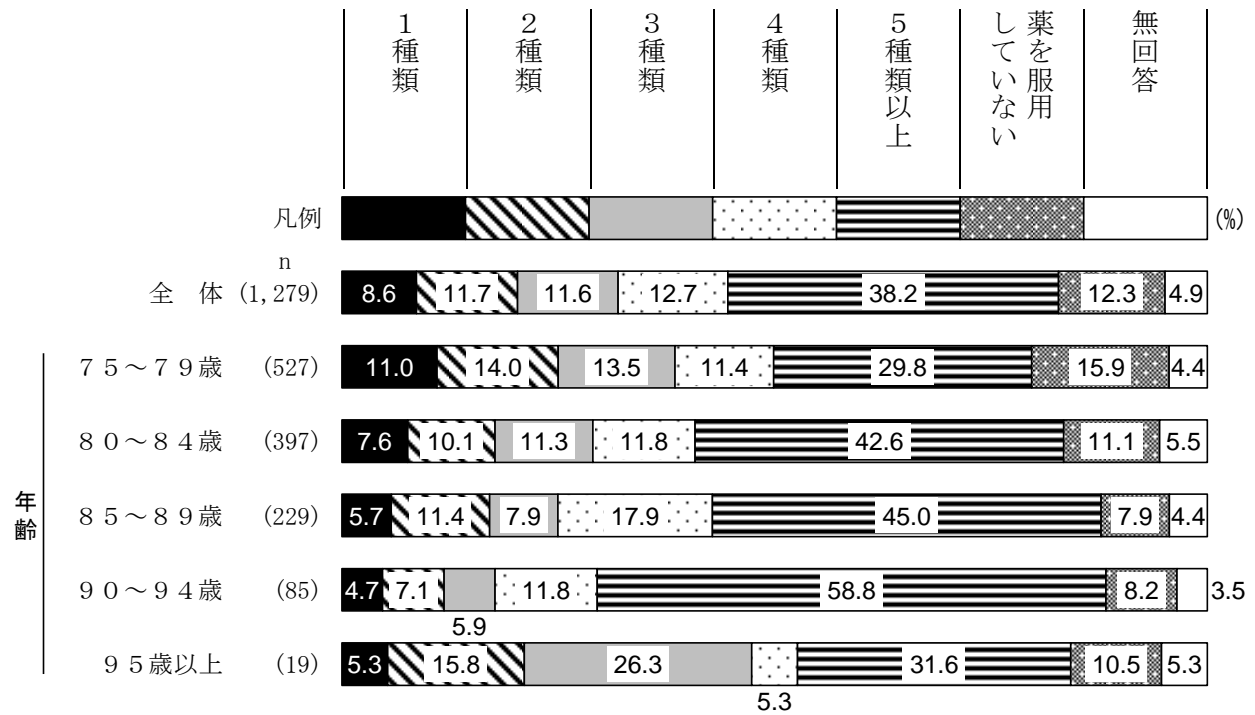
介護度別について、各属性別の回答者数が少ないため、参考としてグラフの記載にとどめることとする。(図表 3 5 - 2)

### (4) 服用している薬の種類

問36 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。(1つに○)

「5種類以上」が38.2%、「4種類」が12.7%。

図表36-1 服用している薬の種類（年齢別）



現在飲んでいる薬の種類について、「5種類以上」が38.2%と最も多く、次いで「4種類」(12.7%)、「薬を服用していない」(12.3%)の順となっている。

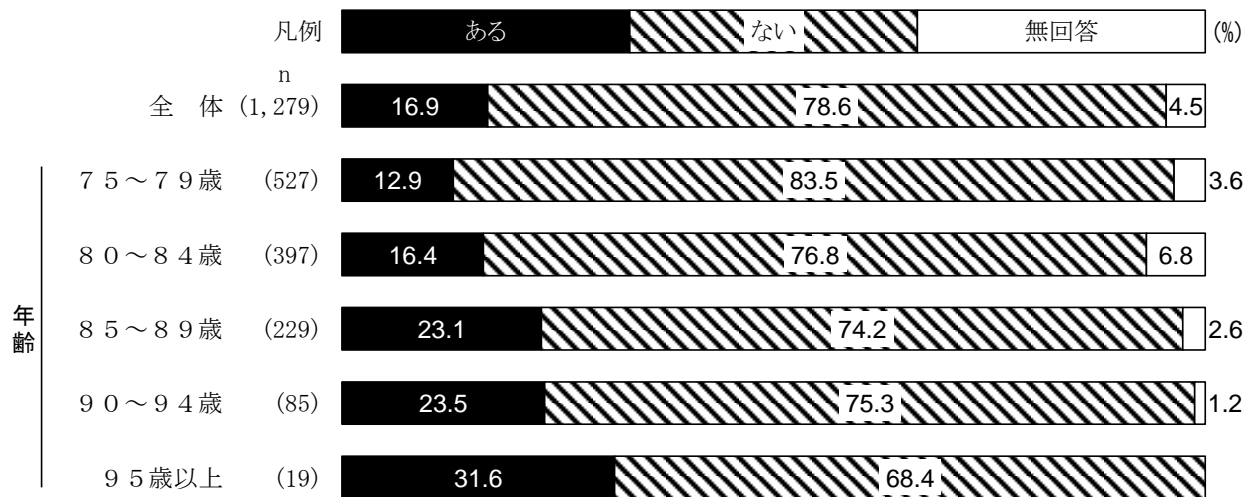
年齢別で見ると、4種類以上の薬を処方されている人の占める割合が、75～79歳では41.2%、90～94歳では70.6%と、おおむね年齢が高くなるにつれその割合は多くなっている。(図表36-1)

(5) 1年間での入院有無

問37 この1年間で入院したことがありますか。

「ある」が16.9%、「ない」が78.6%。

図表37-1 1年間での入院有無（年齢別）



1年間での入院有無について、「ある」が16.9%、「ない」が78.6%となっている。

年齢別でみると、どの年齢でも「ない」が多く、7割近くを占めている。一方、「ある」は、75～79歳では12.9%、90～94歳では23.5%と、年齢が高くなるにつれその割合が多くなっている。（図表37-1）

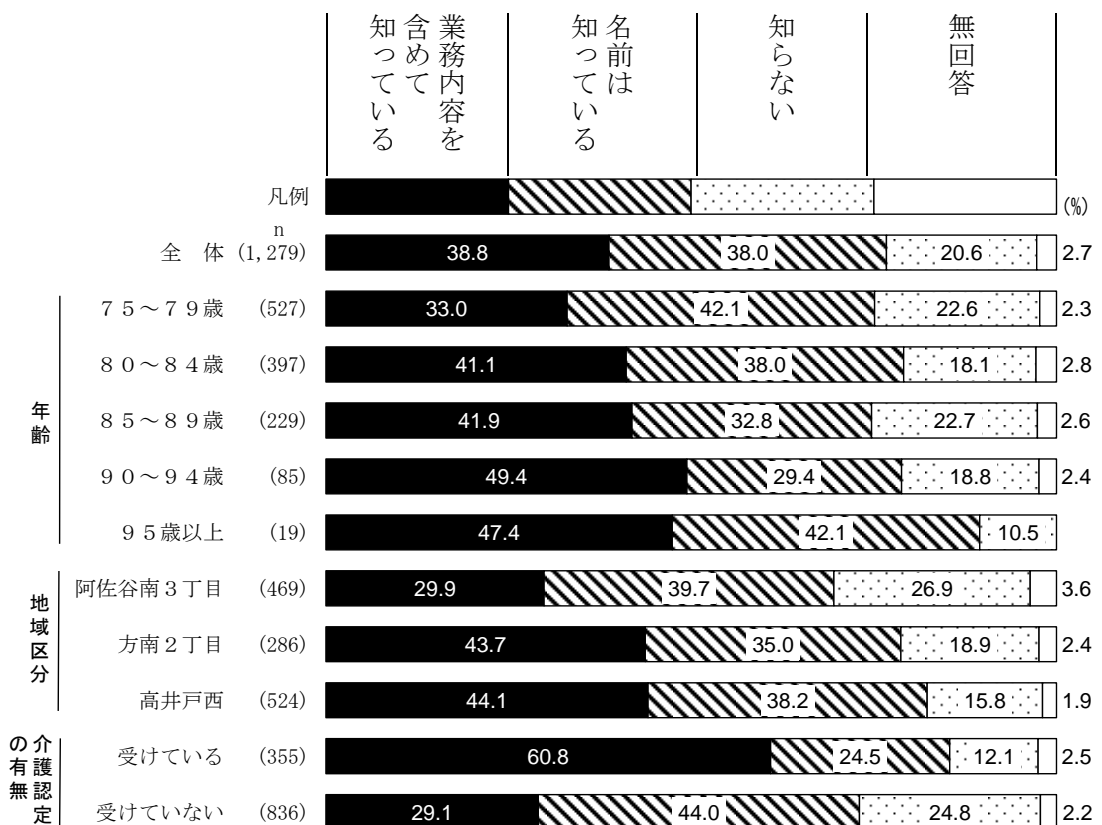
## 10. その他

### (1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度

問38 地域包括支援センター（ケア24）を知っていますか。

「業務内容を含めて知っている」が38.8%、「名前は知っている」が38.0%。

図表38-1 地域包括支援センター（ケア24）の認知度（年齢別／地域区分別／介護認定の有無別）



地域包括支援センター（ケア24）の認知度について、「業務内容を含めて知っている」が38.8%、次いで「名前は知っている」（38.0%）、「知らない」（20.6%）の順となっている。

年齢別で見ると、95歳以上を除き、年齢が高くなるにつれ「業務内容を含めて知っている」の割合が多くなっている。

地域区分別で見ると、阿佐谷南3丁目では、「名前は知っている」が39.7%と最も多くなっている。一方、方南2丁目と高井戸西では、「業務内容を含めて知っている」がそれぞれ43.7%と44.1%と最も多くなっている。

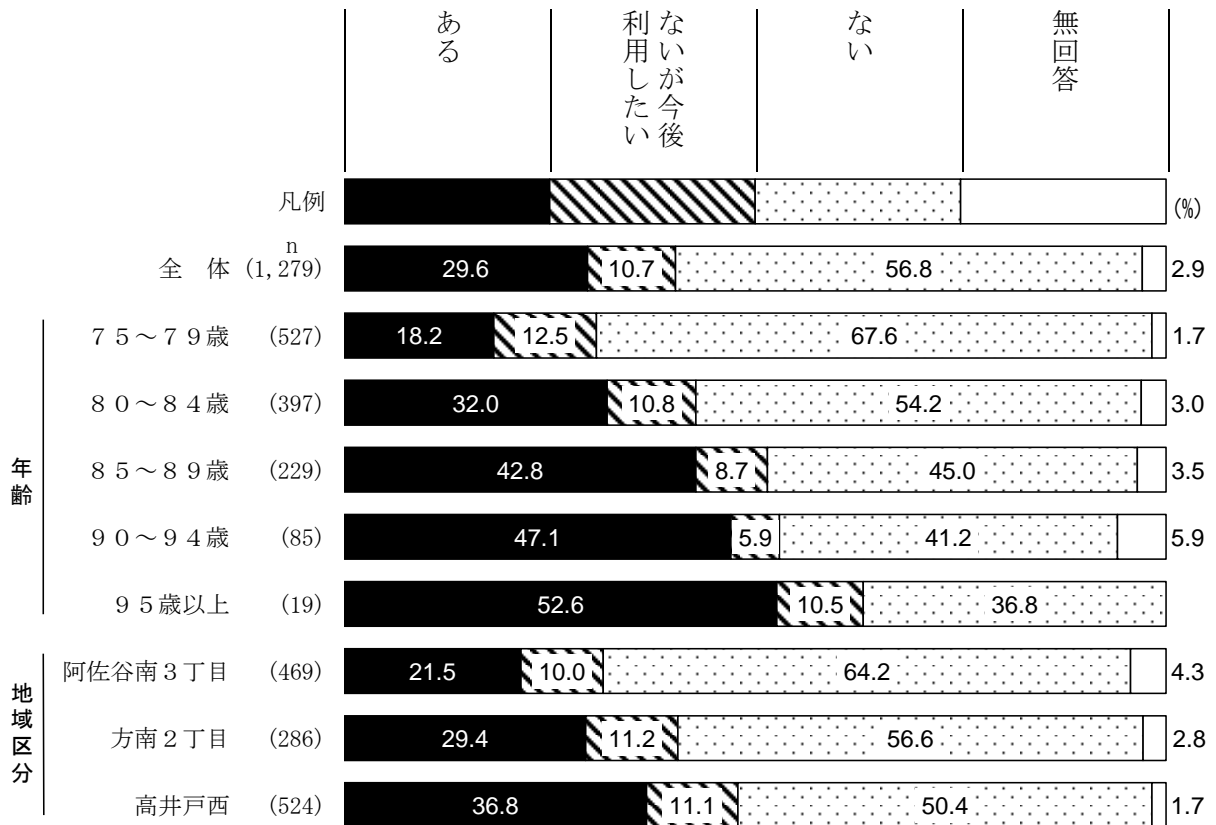
介護認定の有無別で見ると、「業務内容を含めて知っている」は、介護認定を受けている人では60.8%であるのに対し、受けていない人では29.1%と、その割合が少なくなっている。（図表38-1）

(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無

問39 地域包括支援センター（ケア24）を利用したことはありますか。

「ない」が56.8%、「ある」が29.6%。地域区分別では、高井戸西、方南2丁目、阿佐谷南3丁目の順に、「ある」の割合が多くなっている。

図表39-1 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無（年齢別／地域区分別）



地域包括支援センター（ケア24）の利用有無について、「ない」が56.8%、「ある」が29.6%となっている。年齢別では、「ある」は、75～79歳では18.2%、90～94歳では47.1%であり、年齢が高くなるにつれ「ある」の割合が多くなっている。

地域区分別でみると、高井戸西、方南2丁目、阿佐谷南3丁目の順に、「ある」の割合が多くなっている。（図表39-1）



## 1.1. 介護者への設問

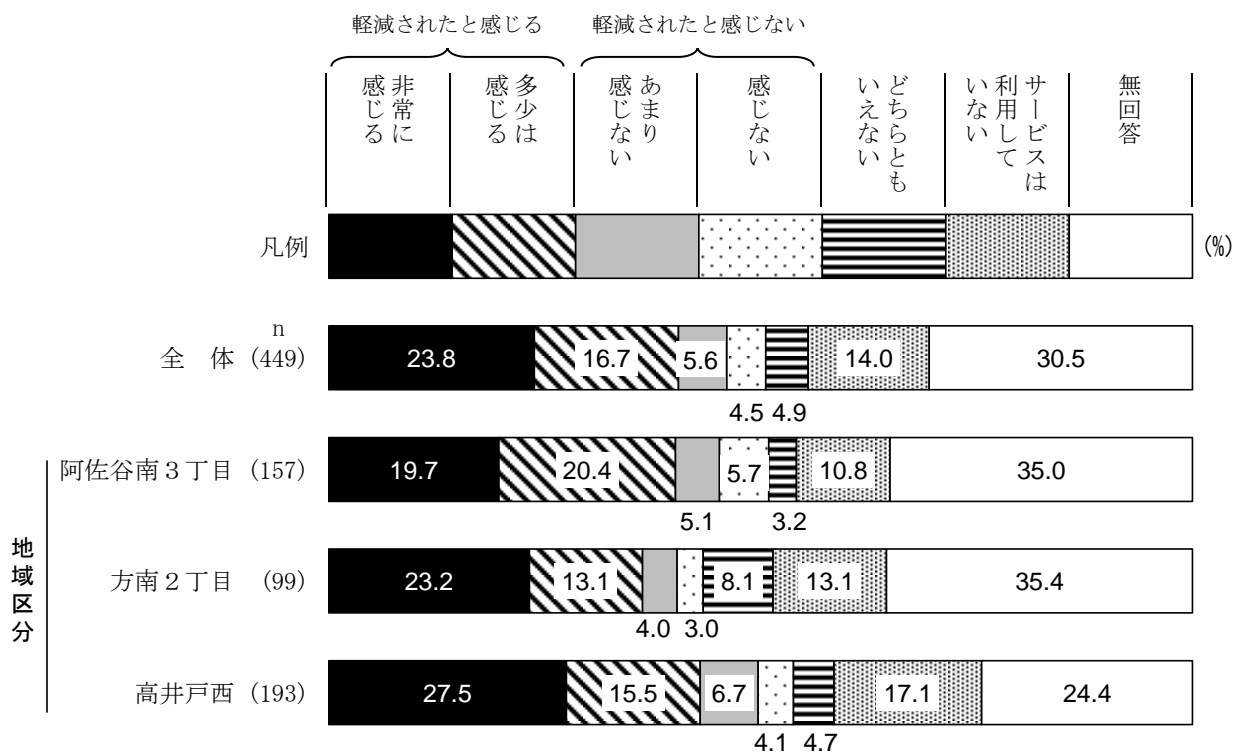
### (1) 介護保険サービスによる負担の軽減感

問40 (介助・介護している方におたずねします)

介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(1つに○)

軽減されたと「非常に感じる」が23.8%、「多少は感じる」が16.7%。

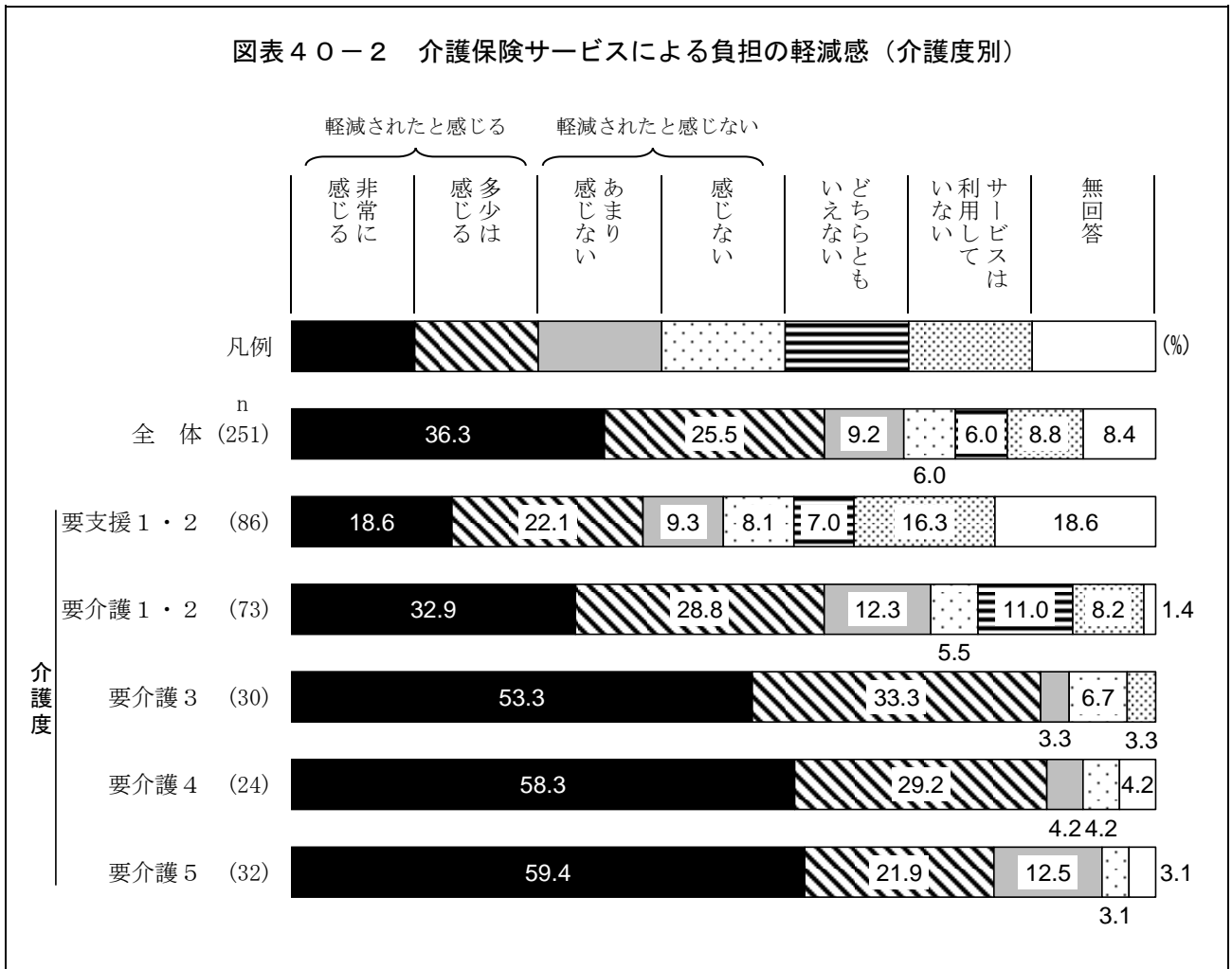
図表40-1 介護保険サービスによる負担の軽減感(地域区分別)



介護保険サービスによる負担の軽減感について、軽減されたと「非常に感じる」が23.8%、次いで「多少は感じる」(16.7%)、「サービスは利用していない」(14.0%)の順となっている。「非常に感じる」と「多少は感じる」を合わせた『軽減されたと感じる』の割合は、40.5%となっており、「あまり感じない」「感じない」を合わせた『軽減されたと感じない』の10.1%を上回っている。

地域区分別でみると、「非常に感じる」の占める割合が最も多い地域は高井戸西の27.5%で、最も少ないのは阿佐谷南3丁目の19.7%となっている。いずれの地域においても『軽減されたと感じる』が『軽減されたと感じない』を上回っている。(図表40-1)

図表40-2 介護保険サービスによる負担の軽減感（介護度別）



介護度別で見ると、負担の軽減を「非常に感じる」とするのは、要支援1・2では18.6%であるのに対し、要介護5では59.4%となっている。介護度のレベルが上がるにつれ負担の軽減を「非常に感じる」とする割合が多くなっている。（図表40-2）

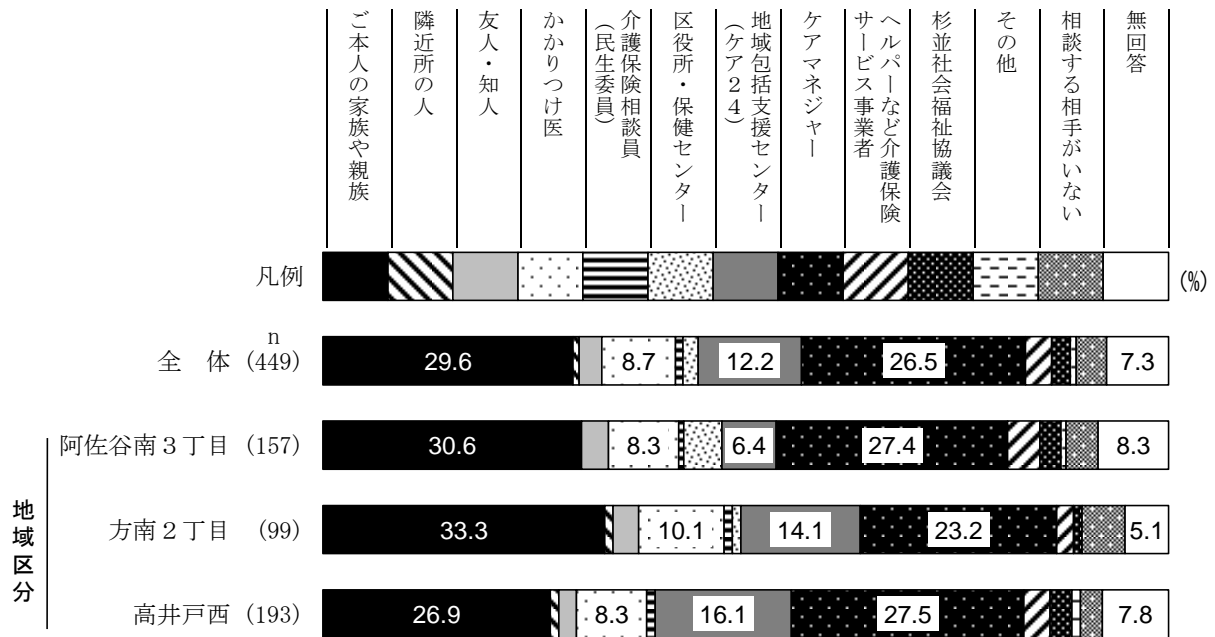
## (2) 介助・介護のことで困ったときの相談先

問4 1 (介助・介護している方におたずねします)

介助・介護のことで困ったときの相談先はありますか。(1つに○)

「ご本人の家族や親族」が29.6%、「ケアマネジャー」が26.5%。

図表4 1-1 介助・介護のことで困ったときの相談先 (地域区分別)

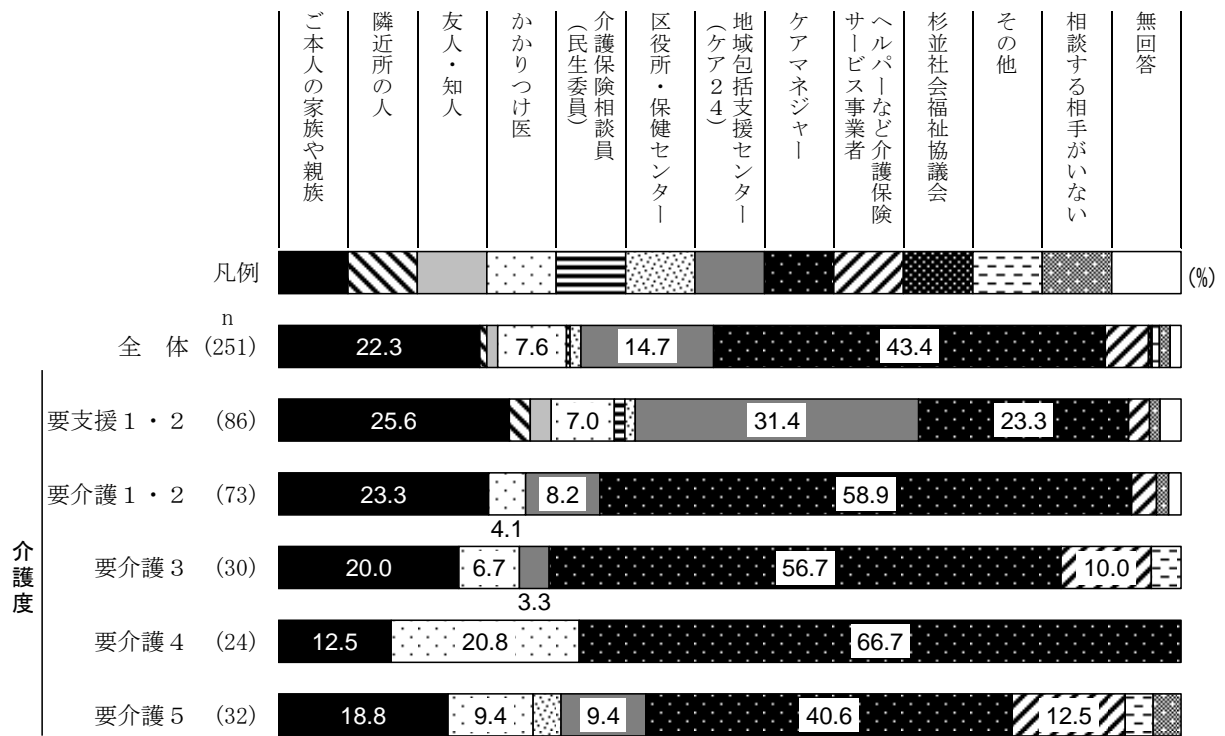


	やご本人の家族や親族	隣近所の人	友人・知人	かかりつけ医	相談員 (民生委員)	介護保険 相談員	区役所・ 保健センター	地域包括 支援センター (ケア24)	ケアマネ ジャー	ヘルパーなど 介護保険サ ービス事業 者	協 議 会	杉 並 社 会 福 祉	そ の 他	相 談 す る 相 手 が な い	相 談 す る	無 回 答
全体 (449)	29.6	0.7	2.7	8.7	0.9	1.8	12.2	26.5	3.1	2.2	0.7	3.6	7.3			
阿佐谷南3丁目 (157)	30.6	-	3.2	8.3	0.6	4.5	6.4	27.4	3.8	2.5	0.6	3.8	8.3			
方南2丁目 (99)	33.3	1.0	3.0	10.1	1.0	1.0	14.1	23.2	2.0	1.0	-	5.1	5.1			
高井戸西 (193)	26.9	1.0	2.1	8.3	1.0	-	16.1	27.5	3.1	2.6	1.0	2.6	7.8			

介助・介護のことで困ったときの相談先について、「ご本人の家族や親族」が29.6%、次いで「ケアマネジャー」(26.5%)、「地域包括支援センター (ケア24)」(12.2%)の順となっている。

地域区分別でみると、「ご本人の家族や親族」の占める割合は、方南2丁目では33.3%と多く、高井戸西では26.9%と少なくなっている。「地域包括支援センター (ケア24)」の割合は、高井戸西では16.1%であるのに対し、阿佐谷南3丁目では6.4%と少なくなっている。(図表4 1-1)

図表 4 1 - 2 介助・介護のことで困ったときの相談先（介護度別※）



	やご本人の家族	隣近所の人	友人・知人	かかりつけ医	相談員 (民生委員)	保健センター	地域包括支援センター (ケア24)	ケアマネ	ヘルパーなど介護保険サービス事業者	協議会	その他	相談する相手がない	無回答
要支援1・2 (86)	25.6	2.3	2.3	7.0	1.2	1.2	31.4	23.3	2.3	-	-	1.2	2.3
要介護1・2 (73)	23.3	-	-	4.1	-	-	8.2	58.9	2.7	-	-	1.4	1.4
要介護3 (30)	20.0	-	-	6.7	-	-	3.3	56.7	10.0	-	3.3	-	-
要介護4 (24)	12.5	-	-	20.8	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-
要介護5 (32)	18.8	-	-	9.4	-	3.1	9.4	40.6	12.5	-	3.1	3.1	-

(※問41の回答者のうち、要支援・要介護認定を受けている人のみについて集計したため、全体のnは図表41-1ものよりも少なくなっている。)

介護度別でみると、「ケアマネジャー」は、要介護を受けている場合に割合が多く、要支援1・2を除きいずれの要介護度の区分においても40%を超えている。その一方で、要支援1・2では、「地域包括支援センター（ケア24）」が最も多く、31.4%となっている。「ご本人の家族や親族」の割合は、要支援1・2では25.6%、要介護4では12.5%となっており、要介護度5を除くと、介護度が上がるにつれて「ご本人の家族や親族」の割合は少なくなっている。(図表41-2)

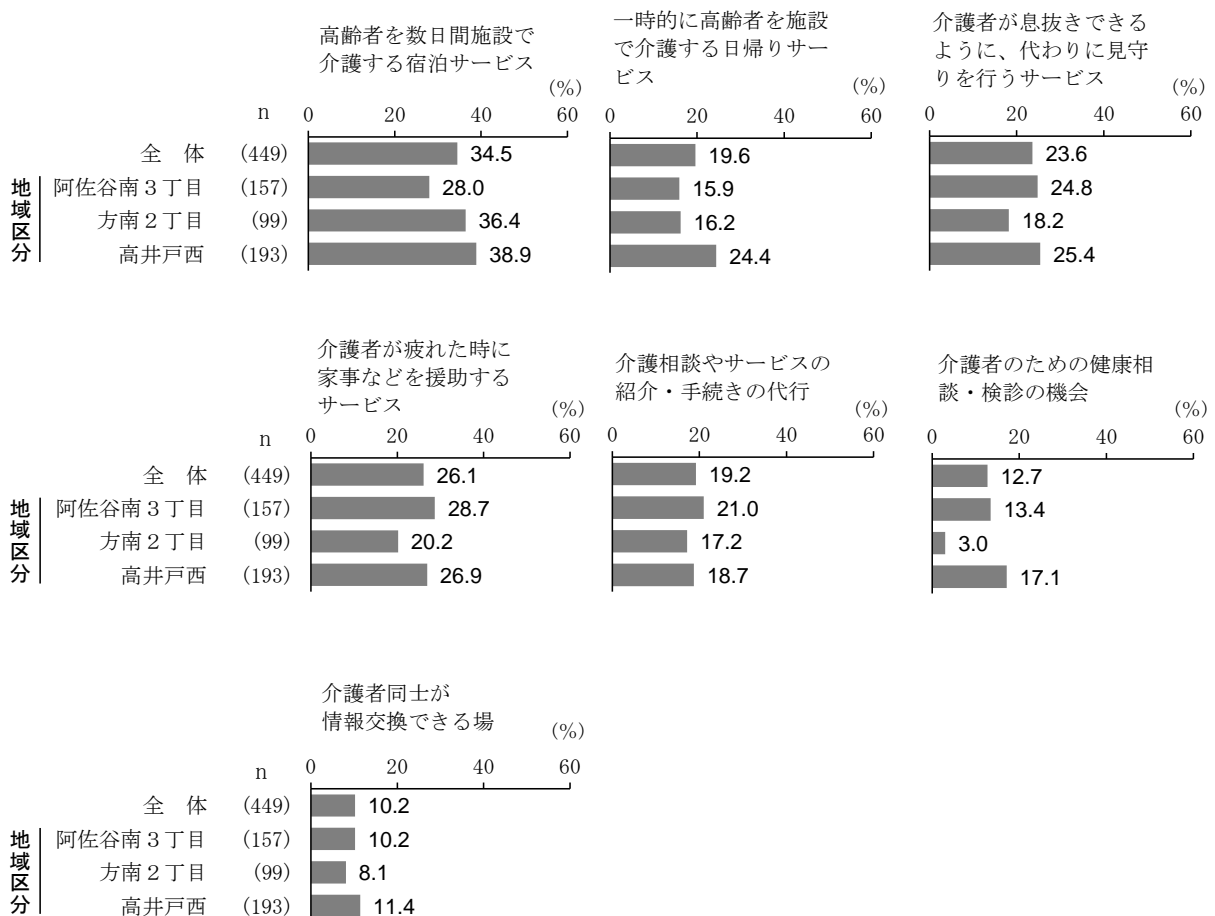
### (3) 介助・介護が必要とするサービス

問42 (介助・介護している方におたずねします)

介助・介護をしているあなたが必要とするサービスはなんですか。(いくつでも○)

「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が34.5%、「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」が26.1%。

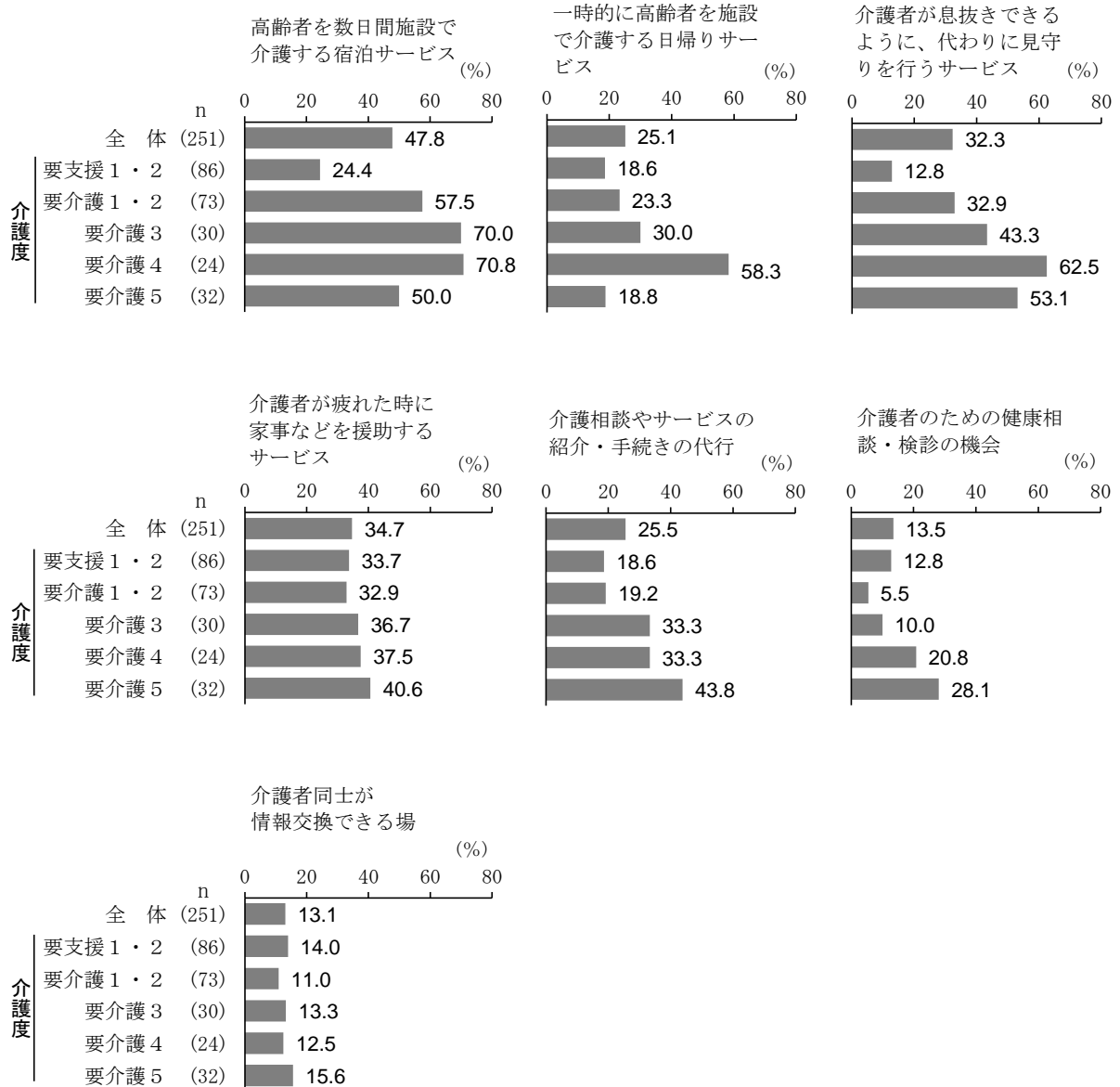
図表42-1 介助・介護が必要とするサービス（地域区分別）



介助・介護が必要とするサービスについて、「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が34.5%と最も多く、次いで「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」(26.1%)、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」(23.6%)の順となっている。

地域区分別でみると、「介護者のための健康相談・検診の機会」は、方南2丁目(3.0%)と、他の地域が10%以上であるのに比べ、その割合が少ない。(図表42-1)

図表42-2 介助・介護者が必要とするサービス（介護度別）



(※問41の回答者のうち、要支援・要介護認定を受けているの人のみについて集計したため、全体のnは図表41-1のものよりも少なくなっている。)

介護度別では、要支援・要介護認定を受けている人の「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が47.8%と最も多く、次いで「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」(34.7%)、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」(32.3%)の順となっている。「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」で、要支援1・2では12.8%、要介護5では53.1%になるなど、多くのサービスにおいて、介護度が高くなるにつれ必要であると回答する割合が多くなっている。(図表42-2)

## 1 2. 社会的孤立の状況について

問10 親族とどのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡していますか

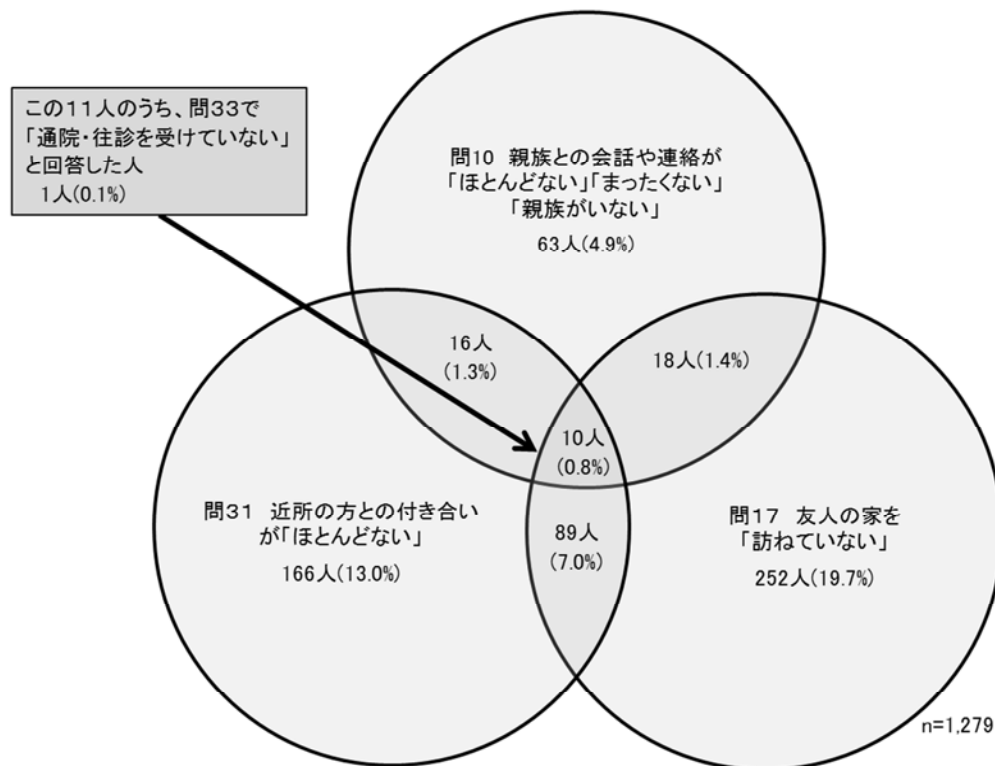
問17 友人の家を訪ねていますか

問31 近所の方と会話をするなど、お付き合いはありますか

問33 現在、通院や往診を受けていますか

親族の方との会話や連絡がなく、友人宅の訪問、近所の方との付き合いがない人は 10 人 (0.8%) となっている。

図表 d-1 社会的孤立の状況について



親族の方との会話や連絡の頻度（問10）、友人の家への訪問の有無（問17）、近所の方との付き合いの頻度（問31）、通院・往診の有無（問33）の社会的孤立にかかわる4項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者1,279人のうち、親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いの3項目がすべてない人は10人（0.8%）であり、さらに通院・往診を受けていない人は1人（0.1%）となっている。（図表d-1）

### 1.3. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、359人からの回答があった。記載内容を区分し、いくつかの意見について以下に示す。

#### 【施設の基盤整備について (48件)】

- ・区内または近距離の場所に特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホームをできるだけ多く作ってほしい。(特養等の施設拡充希望 ほか24件)
- ・年金生活でも入居できる施設の建設を望む。
- ・高齢者低所得者向住宅の充実を図ってほしい。
- ・必要になった時に、すぐに(待機期間をできるだけ短く)入居できるようになることを望む。

#### 【福祉施策について (35件)】

- ・医療と介護を同時に受けられる体制があると良い。(往診をお願いした時に、ヘルパーさんに見てもらえないので会社を休まなければならない。)
- ・高齢者本人の年齢よりも、介護する者の年齢に応じた福祉を充実して欲しい。老々介護で、介護者の老後の生活が自由にならない。
- ・本当に必要な介助・介護サービスが得られていない。介護者の視点に立った制度の欠陥を是正すべきである。

#### 【情報、相談について (17件)】

- ・一人暮らしの人は、手助けが必要でも、どのようにしたらよいかわからないという人が多いと思う。インターネットを使えない人が多いと思うので、一人暮らしの方が情報に置いていかれないようにして欲しい。
- ・ケア24の業務内容がよくわからないので、知りたい。

#### 【医療、医療費、病院について (19件)】

- ・訪問の医師が連絡したらすぐ来てくれるようになったらいいと思う。足や腰が悪い時は病院に行けないので安心する。
- ・夫が右半身不随で、えん下障害があるため、医師からの提案を受けて胃ろうの手術を受けた。その後、申し込んでいた特養は胃ろう患者は入所不可とわかり、病院を転々とする状況になってしまった。新しい治療を提示された時に即答せず、メリット、デメリットを調べるべきだったと悔やんでいる。

#### 【生きがい、社会参加について (16件)】

- ・基本的に日中ずっとひとりなので、活動(交流)の機会をつくってもらえるようなサービスをもっと充実してほしい。
- ・日常生活は、出来るかぎり近くのゆうゆう館などに行き、仲間をつくり、体力、活性化を進めたい。



## 【今後の介護について (31件)】

- ・自分で何でもできる体力のある年代では福祉もあまり考えないで過ごして来たが、だんだん思う様に行動できなくなると、老後をどのように過ごし一生を終えることができるか不安である。
- ・妻と2人暮らしだが、妻が倒れた時にどうしたら良いか、日常生活を一人で処理して行くことが難しいとなった時にどうしたら良いか不安である。

## 【介護保険制度について (10件)】

- ・介護度が上がってくるとグループホームにいられなくなるため、老人ホームを探そうと思っている。介護保険の充実を望んでいる。
- ・アルツハイマー症の母を介護する上で、介護保険制度は大変役にたった。今は有料老人ホームに入所しているが、経済的負担は大きい。
- ・現在介護保険を利用していないが、利用していない人の経済的負担が大きい。

## 【サービス、スタッフの質について (26件)】

- ・ヘルパーのレベルがまちまちである。教育、指導をもっと充実してほしい。
- ・支援に変わりなくても手続きが必要で、いつも煩わしく思う。事務を簡素化して欲しい。
- ・現在ヘルパー派遣を受けているが、制約がありすぎる。ヘルパーの仕事の見直しをして欲しい。

## 【介護保険料について (13件)】

- ・介護保険料の負担を軽減してもらいたい。年金だけだと生活するのに負担が大きすぎる。高齢化、少子化が進み福祉の見直しが必要である。

## 【健康増進、予防について (16件)】

- ・健康維持のためのいろいろな支援と場所の提供（参加しやすいイベントづくり等）が必要。
- ・高齢者福祉についてなすべきことは山積みだが、中でも「認知症対策」が喫緊の課題だと思う。

## 【在宅サービスについて (27件)】

- ・サービスの内容が決まると、それ以外のことはやってもらえない。その時に必要な援助をしてもらえたら、助かるし、感謝の気持ちも大きくなる。サービス内容に幅があるとよいと感じている。

## 【高齢者という認識はない (2件)】

- ・敬老会の案内状をもらい、急に老人になってしまったような精神的ショックがあった。

## 【介護職の待遇改善について (4件)】

- ・看護、介護の仕事をしていたので、どこに相談したらよいかわかっていたため、母の介護はスムーズにできた。まったく知らない人もいるし、今多い「独身男性が親の介護」という時、地域との関わりの意識をどうもっていくか課題だと思う。給料を良くして、介護職に就く人が増えると良いと思う。
- ・介護職の人の労働条件が厳しすぎると感じる。金銭面での行政の補助が必要かと思う。

【アンケートについて (6件)】

- ・もう少し簡単な内容にして欲しい。
- ・調査をするのであれば結果も報告してほしい。そうでなければ、こういう調査には応じられない。

【経済的負担等について (21件)】

- ・民間の有料老人ホームに2年余り入所していたが、当初想定していなかった支出がかなりあり、やむを得ず退所した。こういう施設は、経済的に余裕があるか慎重に考えないといけない。
- ・年金が少なく、経済的に不安。今後、介護保険サービスの自己負担割合が増えたら、サービスを利用することができない。

【上記以外の制度・施策について (18件)】

- ・福祉や社会保障に使う予算が多すぎる。
- ・すまい、道路、駅のエレベーター設置等の環境整備をして欲しい。

【その他 (50件)】

- ・周りに迷惑をかけないようにがんばりたいと思う。
- ・できるだけ自分でやっていきたいが、いざという時には助けてほしい。

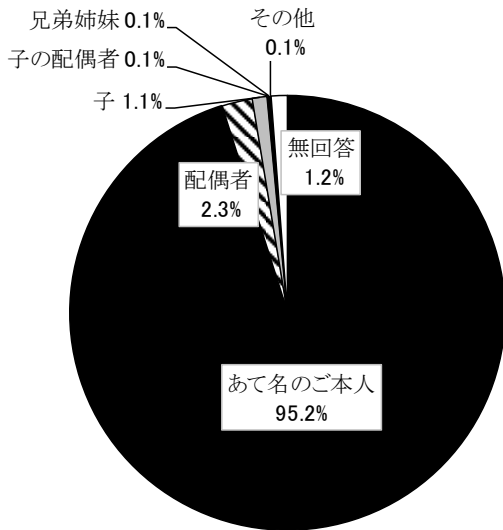
# 1. 回答者の属性

## (1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

### ○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

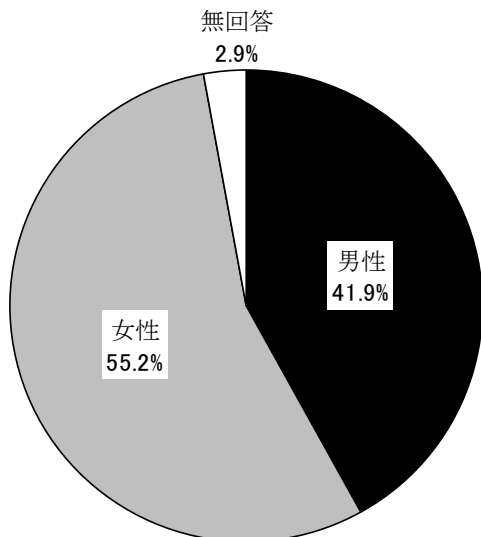


	基数	構成比
本人	1357	95.2%
配偶者	33	2.3%
子	15	1.1%
子の配偶者	2	0.1%
兄弟姉妹	1	0.1%
その他	1	0.1%
無回答	17	1.2%
全体	1426	100.0%

### ○対象者の性別

問2 あなたの性別は。

図表2-1 対象者の性別



	基数	構成比
男性	598	41.9%
女性	786	55.2%
無回答	42	2.9%
全体	1426	100.0%

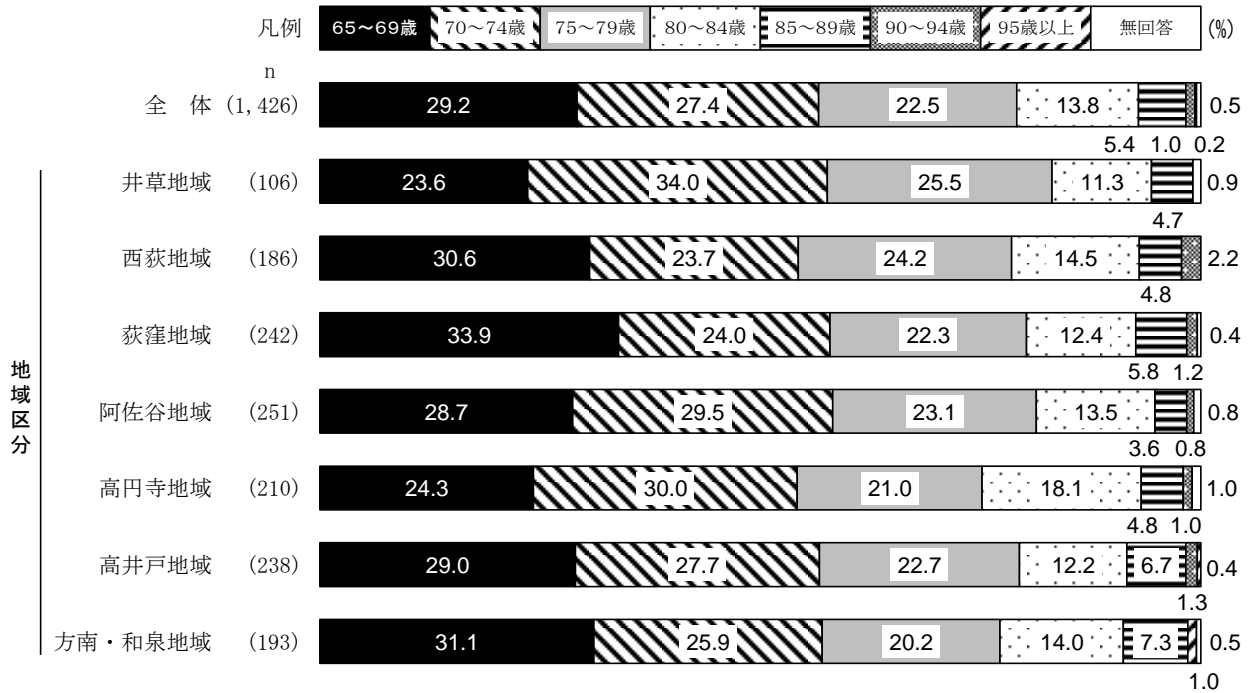
### ○対象者の年齢

問3 あなたの年齢は。

図表3-1 対象者の年齢（性別）



図表3-2 対象者の年齢（地域区分別）

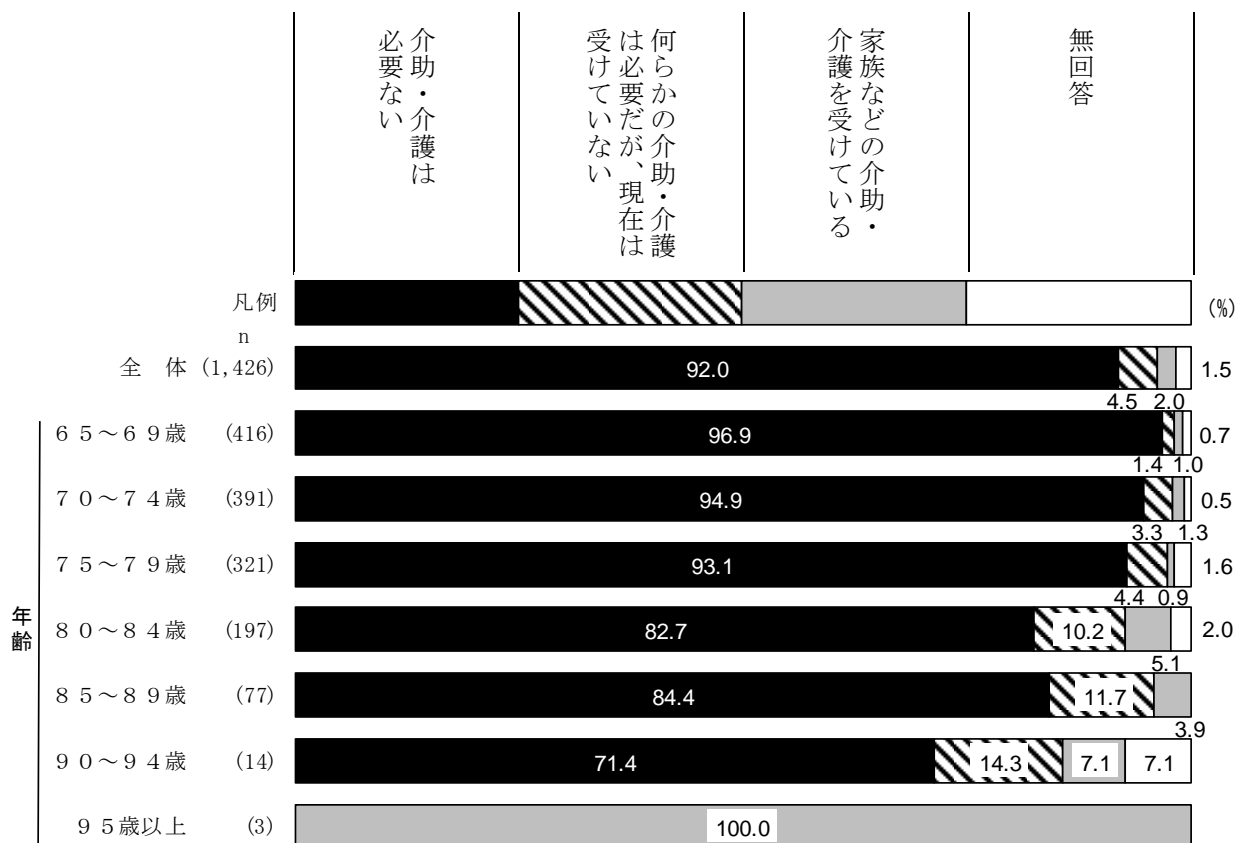


## (2) 介助・介護の必要有無

問4 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1つに○)

「介助・介護は必要ない」が92.0%、「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」が4.5%。

図表4-1 介助・介護の必要有無（年齢別）



介助・介護の必要有無・状況について、「介助・介護は必要ない」が92.0%と最も多く、次いで「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」(4.5%)、「家族などの介助・介護を受けている」(2.0%)の順となっている。

年齢別でみると、どの年齢においても「介助・介護は必要ない」が最も多いが、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表4-1)

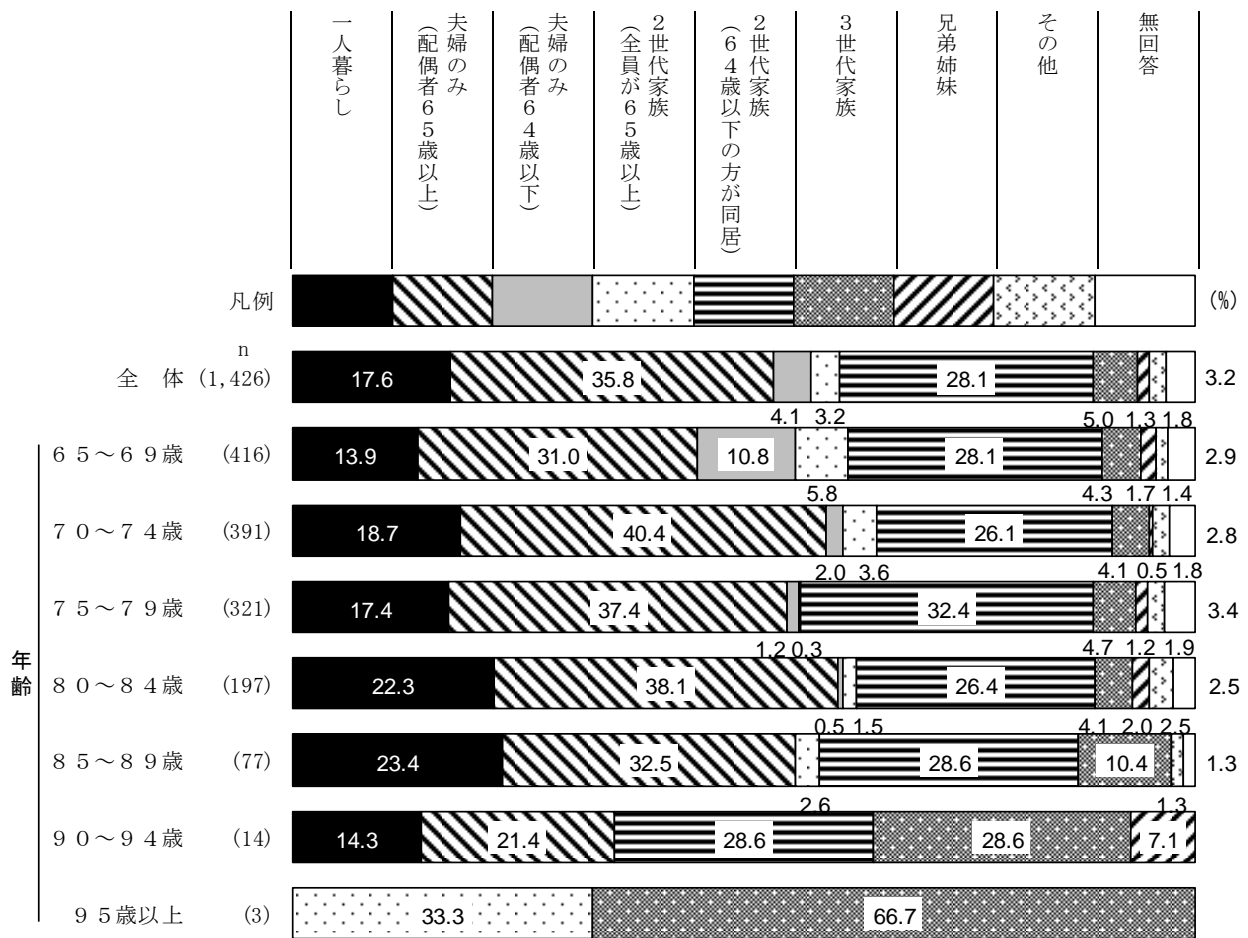
## 2. 家族・生活の状況について

### (1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください(1つに○)

「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が35.8%、「2世代家族(64歳以下の方が同居)」が28.1%。

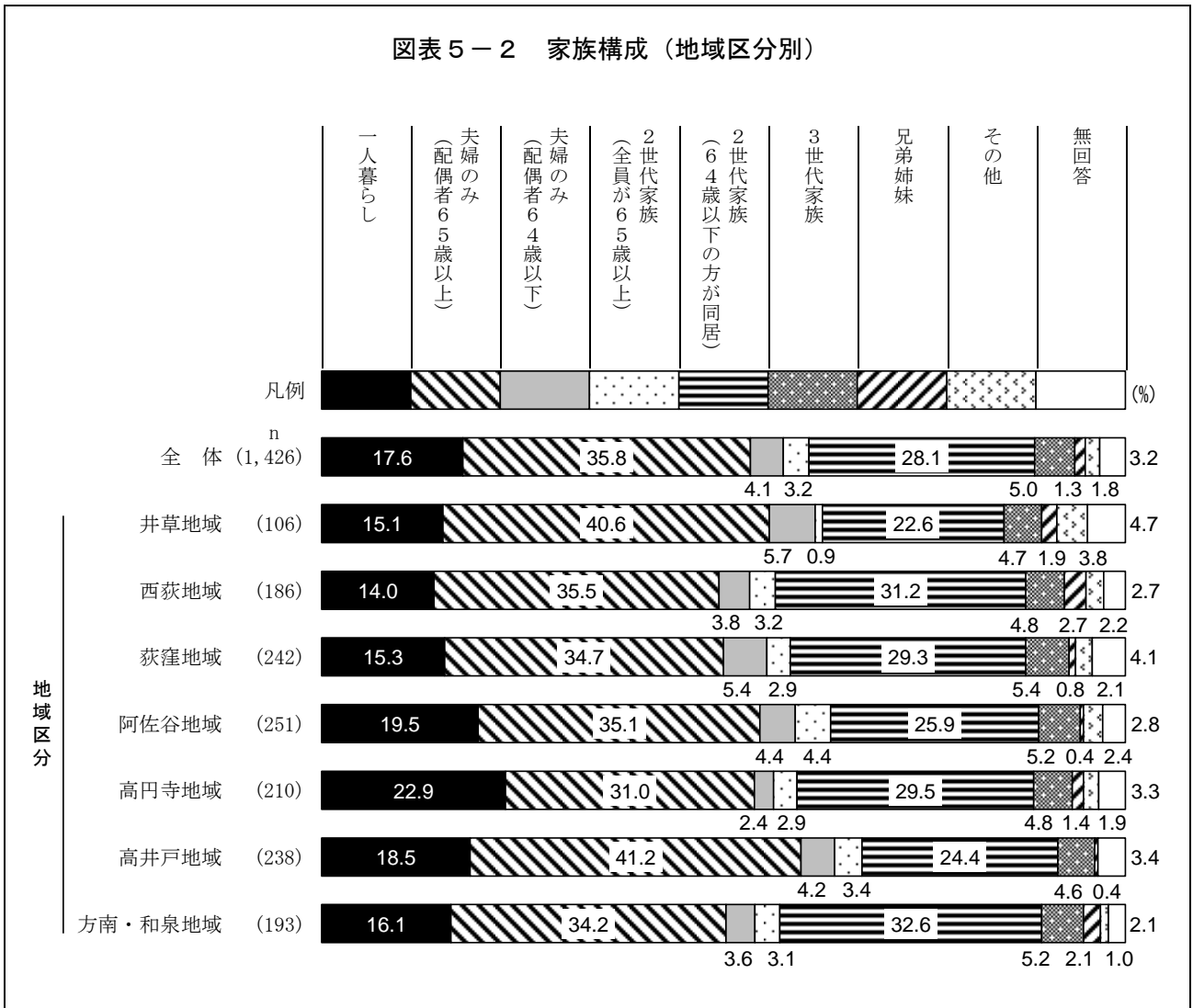
図表5-1 家族構成(年齢別)



家族構成について、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が35.8%と最も多く、次いで、「2世代家族(64歳以下の方が同居)」(28.1%)、「一人暮らし」(17.6%)の順となっている。

年齢別でみると、「一人暮らし」が、65~69歳では13.9%、85~89歳では23.4%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表5-1)

図表 5-2 家族構成（地域区分別）



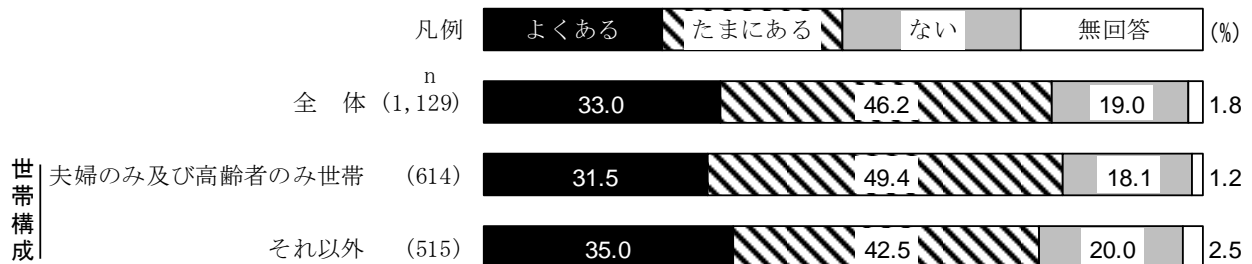
地域区分別でみると、「一人暮らし」は、高円寺地域でほかの地域と比べ 22.9%と多くなっており、西荻地域で 14.0%と少なくなっている。「夫婦のみ（配偶者 65 歳以上）」は、高井戸地域で 41.2%、井草地域で 40.6%と 4 割を超えているのに対し、高円寺地域では 31.0%とほかの地域と比べ少なくなっている。「2 世代家族（64 歳以下の方が同居）」は、方南・和泉地域が 32.6%、西荻地域が 31.2%と 3 割を超えているのに対し、井草地域では 22.6%とほかの地域と比べ少ない。（図表 5-2）

## (2) 日中にひとりでいる頻度

問6 (問5で「1.一人暮らし」以外に回答された方におたずねします。) 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

「たまにある」が 46.2%、「よくある」が 33.0%。日中にひとりでいることがある人は、79.2%。

図表6-1 日中にひとりでいる頻度(世帯構成別)



日中にひとりでいる頻度について、「たまにある」が 46.2%と最も多く、次いで「よくある」(33.0%)、「ない」(19.0%)の順となっている。

世帯構成別でみると、「よくある」と「たまにある」の合計は、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯で 80.9%、それ以外の世帯で 77.5%であり、日中にひとりでいることがある人は、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯で多くなっている。一方、「ない」については、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯は 18.1%に対し、それ以外は 20.0%と割合が多くなっている。(図表6-1)

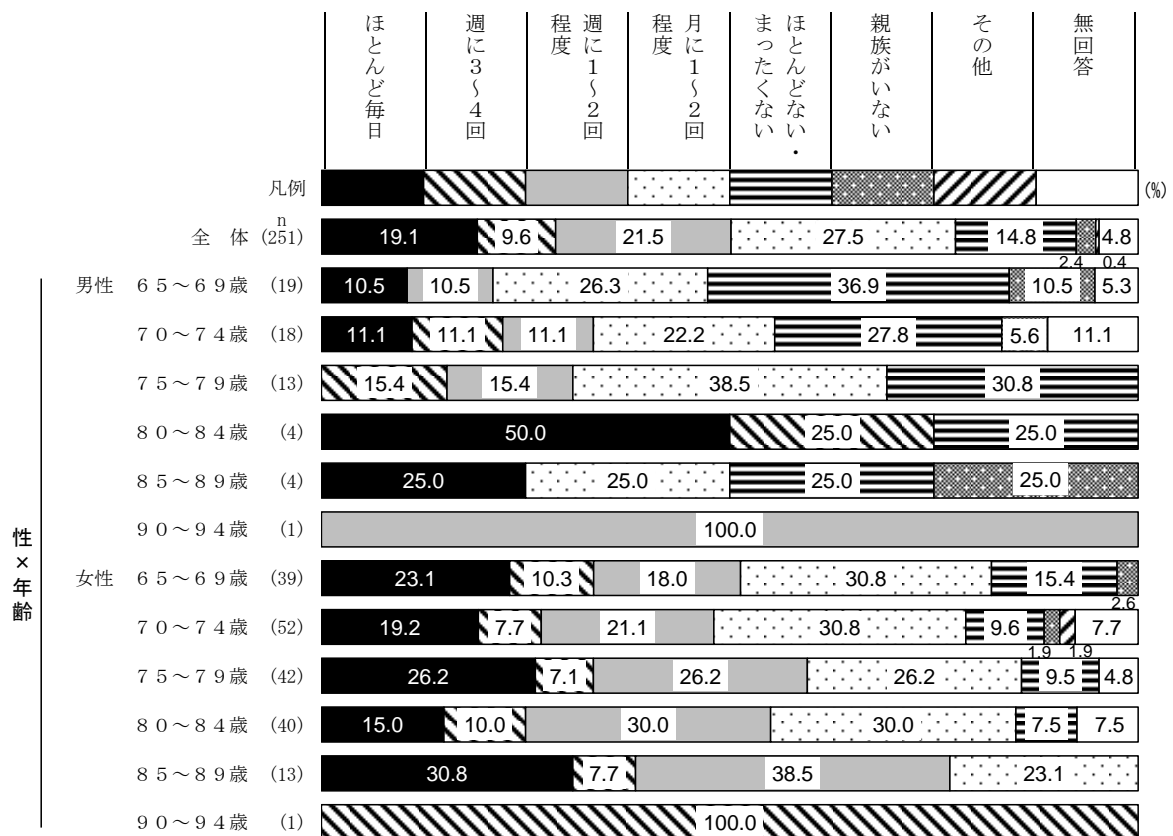


### (3) 親族との会話・連絡の頻度

問7 (問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。) お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

「月に1~2回程度」が27.5%、「週に1~2回程度」が21.5%。

図表7-1 親族との会話・連絡の頻度 (性×年齢別)



※男性女性共に95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

親族との会話・連絡の頻度について、「月に1~2回程度」が27.5%と最も多く、次いで「週に1~2回程度」(21.6%)、「ほとんど毎日」(19.1%)の順となっている。

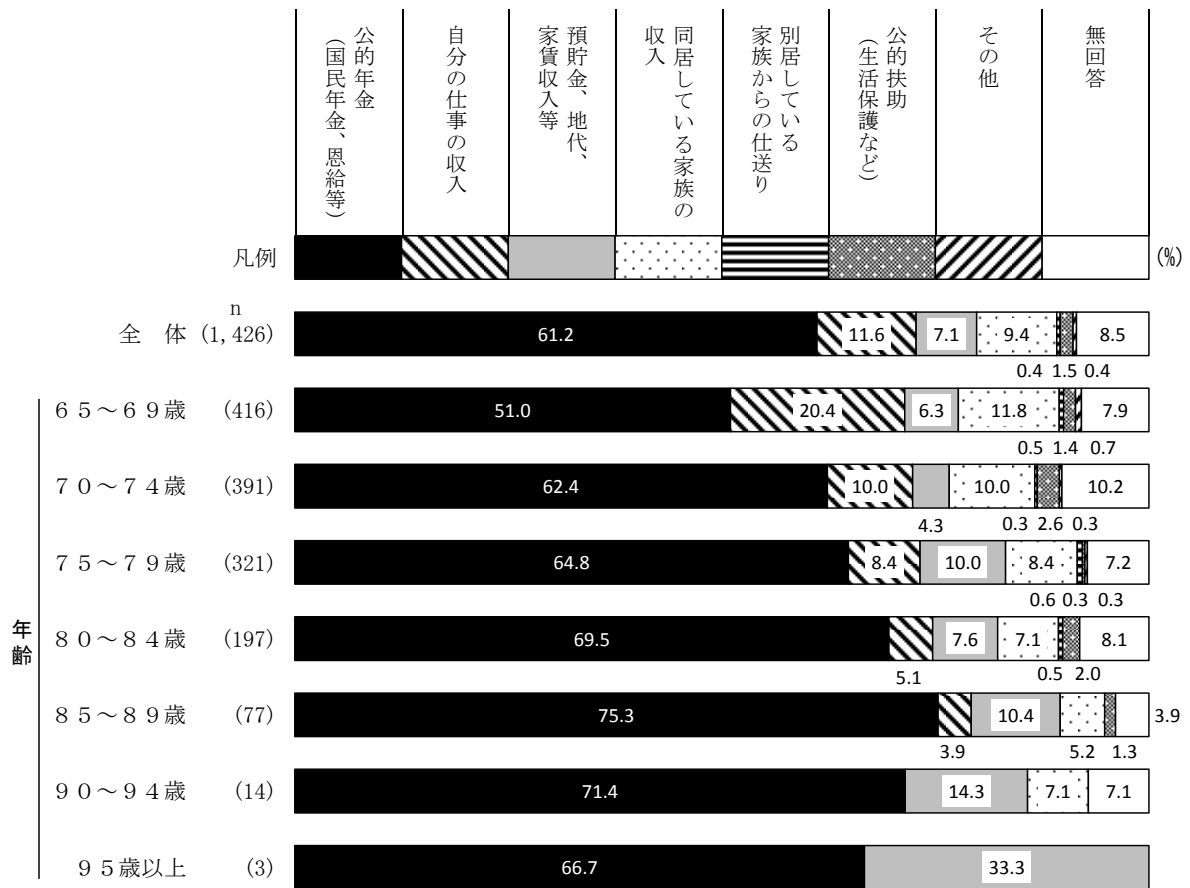
性×年齢別でみると、どの年齢層においても、女性の方が連絡をとっている割合が多い。「ほとんどない・まったくない」の割合は男性の方が多く、男女による差が見られる。(図表7-1)

### (4) 主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

「公的年金（国民年金、恩給等）」が61.2%、「自分の仕事の収入」が11.6%。

図表8-1 主な収入の種類（年齢別）



主な収入の種類については、「公的年金（国民年金、恩給等）」が61.2%と最も多く、次いで「自分の仕事の収入」（11.6%）、「同居している家族の収入」（9.4%）の順となっている。

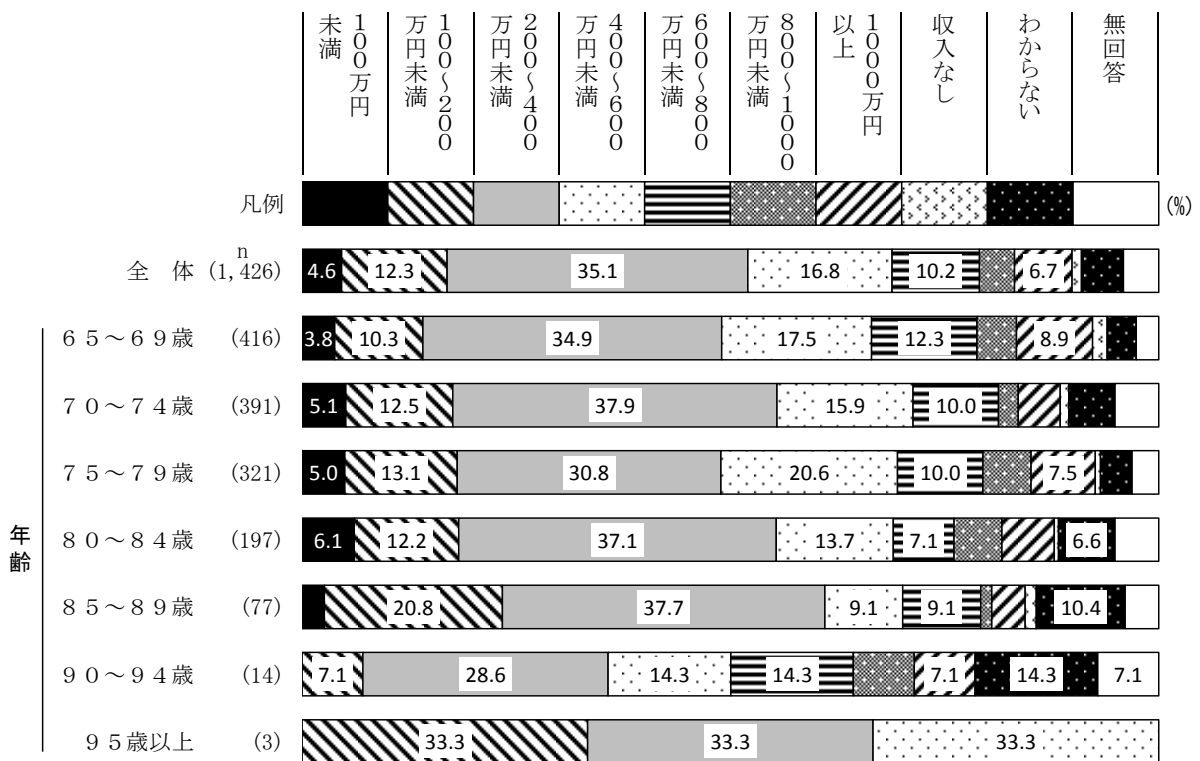
年齢別でみると、どの年齢でも「公的年金（国民年金、恩給等）」が収入の中心となっている。一方、「自分の仕事の収入」は、65～69歳では20.4%、85～89歳では3.9%。「同居している家族からの仕送り」は、65～69歳では11.8%、85～89歳では5.2%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。（図表8-1）

(5) 世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。（1つに○）

「200～400万円未満」が35.1%、「400～600万円未満」が16.8%。

図表9-1 世帯の収入額（年齢別）



	100万円未満	100～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	収入なし	わからない	無回答
全体 (1,426)	4.6	12.3	35.1	16.8	10.2	4.1	6.7	1.1	4.9	4.1
65～69歳 (416)	3.8	10.3	34.9	17.5	12.3	4.6	8.9	1.7	3.4	2.6
70～74歳 (391)	5.1	12.5	37.9	15.9	10.0	2.3	4.9	1.0	5.4	5.1
75～79歳 (321)	5.0	13.1	30.8	20.6	10.0	5.6	7.5	0.6	3.7	3.1
80～84歳 (197)	6.1	12.2	37.1	13.7	7.1	5.6	6.1	0.5	6.6	5.1
85～89歳 (77)	2.6	20.8	37.7	9.1	9.1	1.3	3.9	1.3	10.4	3.9
90～94歳 (14)	-	7.1	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	-	14.3	7.1
95歳以上 (3)	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-

世帯の収入額については「200～400万円未満」が35.1%と最も多く、次いで「400～600万円未満」(16.8%)、「100～200万円未満」(12.3%)の順となっている。

年齢別で見ると、どの年齢でも「200～400万円未満」が3割前後で、最も多い回答となっている。(図表9-1)

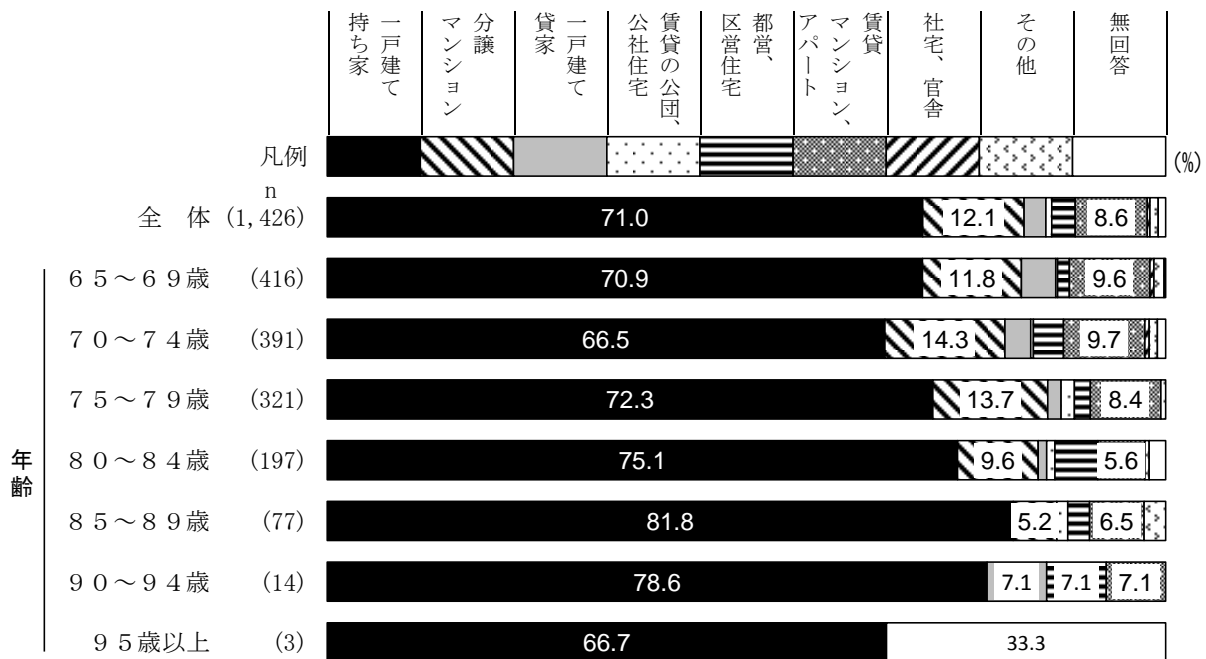
### 3. 住まいについて

#### (1) 住居形態

問10 お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「一戸建て持ち家」が71.0%、「分譲マンション」が12.1%。一人暮らし世帯では「賃貸マンション、アパート」が25.5%。

図表10-1 住居形態（年齢別）

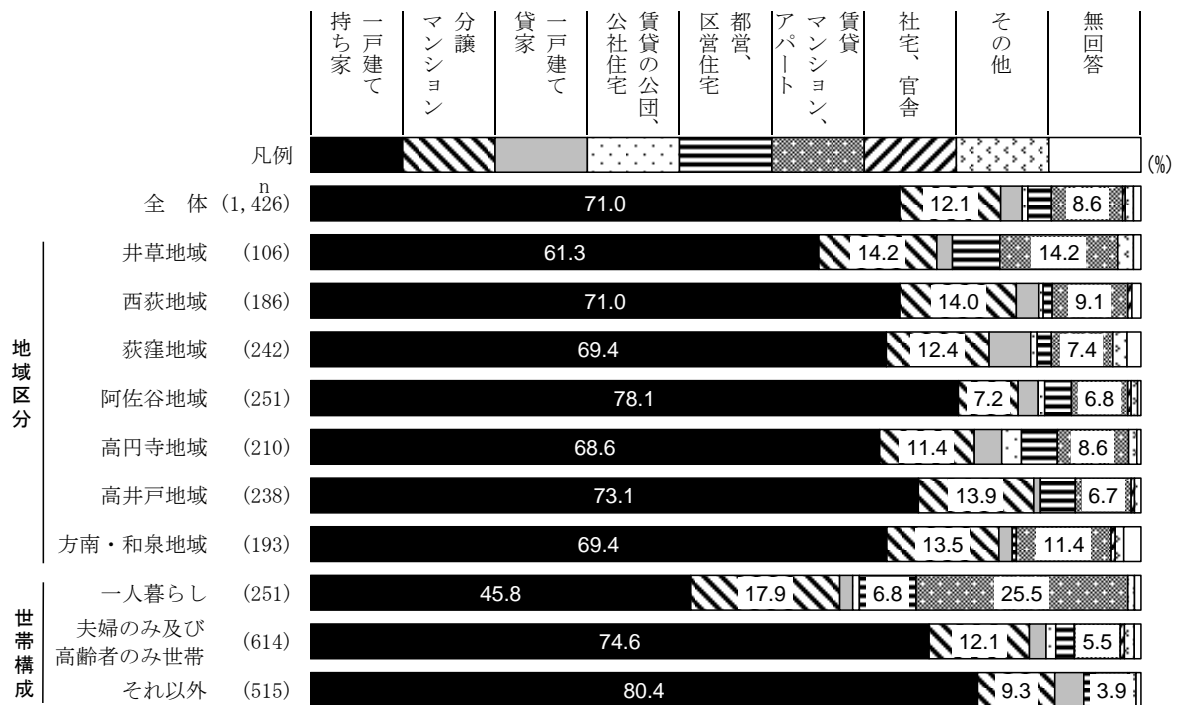


	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	その他	無回答
全体 (1,426)	71.0	12.1	2.6	0.7	2.8	8.6	0.3	1.0	0.9
65～69歳 (416)	70.9	11.8	4.1	0.2	1.4	9.6	0.5	1.2	0.2
70～74歳 (391)	66.5	14.3	3.1	0.3	3.6	9.7	0.5	1.0	1.0
75～79歳 (321)	72.3	13.7	1.6	1.6	1.9	8.4	-	0.6	-
80～84歳 (197)	75.1	9.6	1.0	1.0	5.1	5.6	-	0.5	2.0
85～89歳 (77)	81.8	5.2	-	1.3	2.6	6.5	-	2.6	-
90～94歳 (14)	78.6	-	7.1	-	7.1	7.1	-	-	-
95歳以上 (3)	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3

住居形態については、「一戸建て持ち家」が71.0%と最も多く、次いで「分譲マンション」(12.1%)、「賃貸マンション、アパート」(8.6%)の順となっている。

年齢別でみると、「一戸建て持ち家」が、65～69歳では70.9%、85～89歳では81.8%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表10-1)

図表 10-2 住居形態（地域区分別／世帯構成別）



	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	その他	無回答
全体 (1,426)	71.0	12.1	2.6	0.7	2.8	8.6	0.3	1.0	0.9
井草地域 (106)	61.3	14.2	1.9	-	5.7	14.2	-	1.9	0.9
西荻地域 (186)	71.0	14.0	2.7	0.5	1.1	9.1	0.5	-	1.1
荻窪地域 (242)	69.4	12.4	5.0	0.8	1.7	7.4	-	1.7	1.7
阿佐谷地域 (251)	78.1	7.2	2.4	0.8	3.2	6.8	0.4	0.8	0.4
高円寺地域 (210)	68.6	11.4	3.3	2.4	4.3	8.6	-	1.0	0.5
高井戸地域 (238)	73.1	13.9	0.8	-	4.2	6.7	0.4	0.8	-
方南・和泉地域 (193)	69.4	13.5	1.6	-	0.5	11.4	0.5	1.0	2.1
一人暮らし (251)	45.8	17.9	1.6	0.8	6.8	25.5	-	0.8	0.8
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (614)	74.6	12.1	2.0	1.2	2.3	5.5	0.5	1.1	0.8
それ以外 (515)	80.4	9.3	3.5	0.0	1.4	3.9	0.2	0.8	0.6

地域区分別でみると、「一戸建て持ち家」は阿佐谷地域で78.1%と、他の地域と比べて多く、「分譲マンション」、「賃貸マンション、アパート」は、井草地域でそれぞれ14.2%と多くなっている。

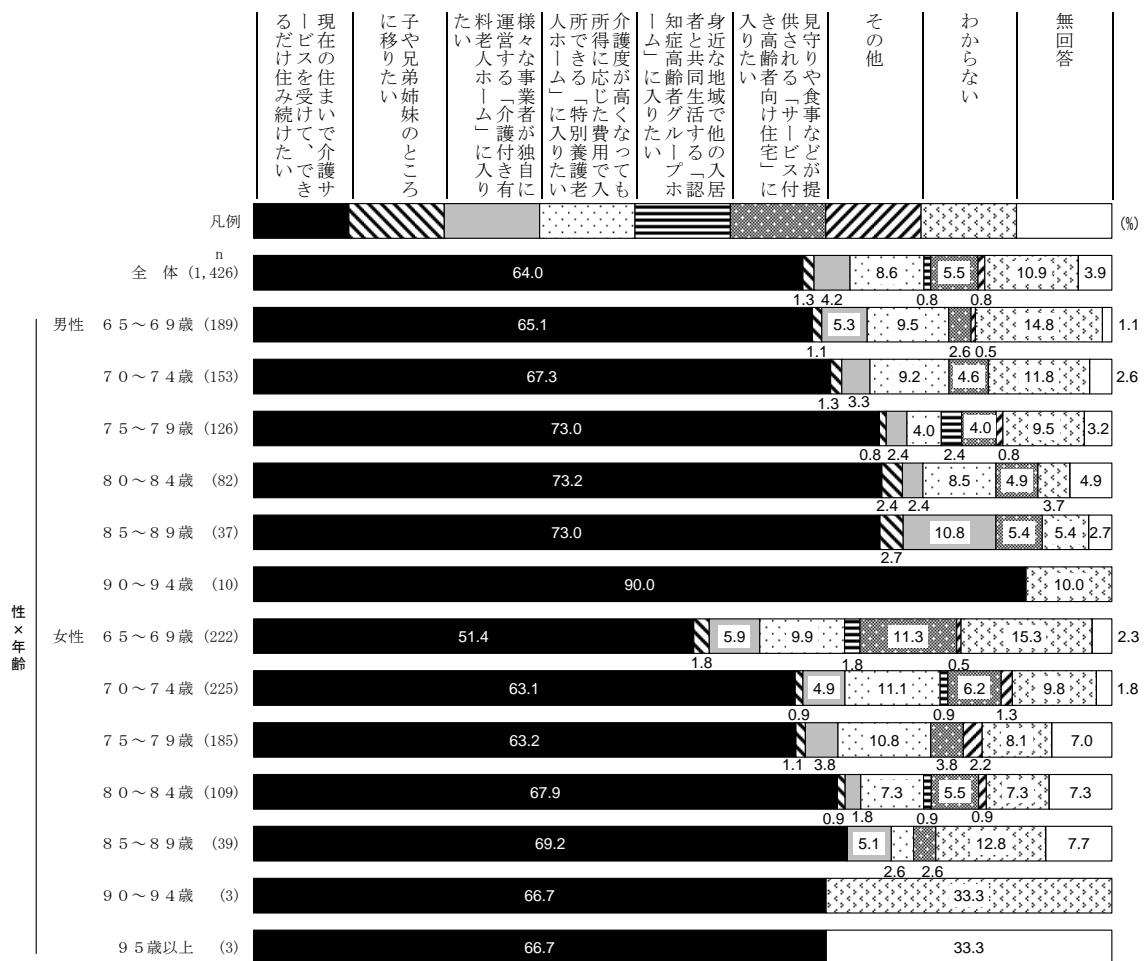
世帯構成別でみると、「賃貸マンション、アパート」は一人暮らしで25.5%と、他の世帯構成に比べて多くなっている。(図表10-2)

## (2) 将来希望する介護形態

問 1 1 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1つに○）

「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が64.0%、「わからない」が10.9%。

図表 1 1 - 1 将来希望する介護形態（性×年齢別）

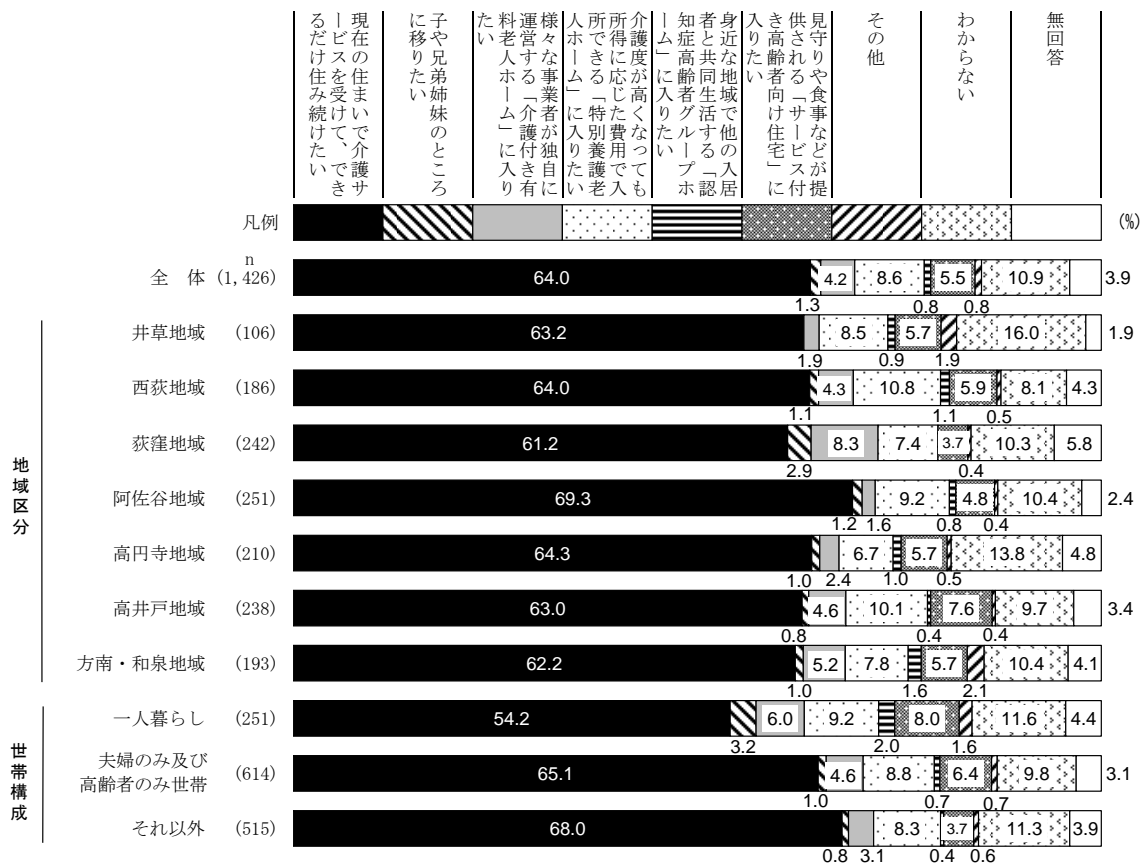


※男性95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

将来希望する介護形態について、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が64.0%と最も多く、次いで「わからない」(10.9%)、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」(8.6%)の順となっている。

性×年齢別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が、65～69歳は男性で65.1%、女性で51.4%、85～89歳は男性で73.0%、女性で69.2%となっており、男女ともにおおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表11-1)

図表 1 1 - 2 将来希望する介護形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は阿佐谷地域で69.3%と多く、荻窪地域で61.2%と少なくなっている。「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」は、西荻地域で10.8%と多く、高円寺地域は6.7%と少なくなっている。

世帯構成別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は、一人暮らしで54.2%とほかの世帯構成に比べ少なく、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯(65.1%)、それ以外(68.0%)の順に多くなっている。(図表 1 1 - 2)

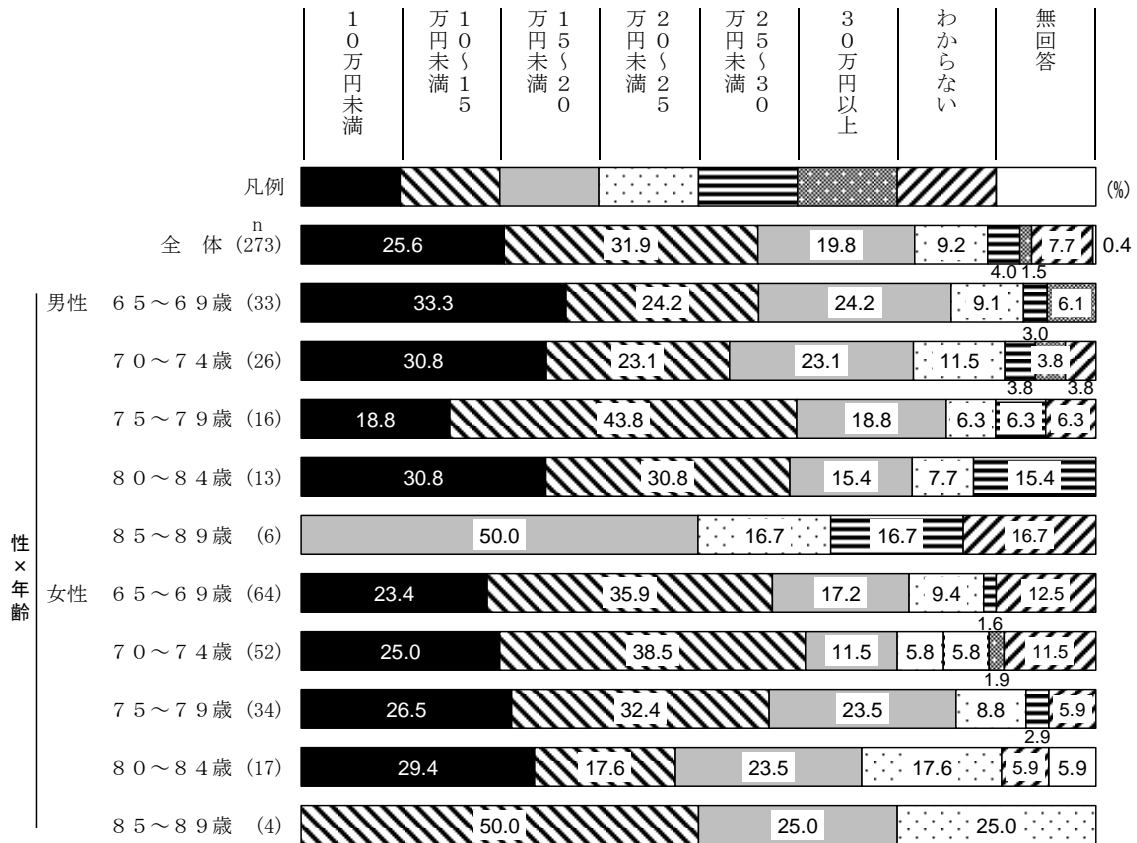
### (3) 家賃・介護費用負担可能額

問12 (問11で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。)

家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

「10～15万円未満」が31.9%、「10万円未満」が25.6%。

図表12-1 家賃・介護費用負担可能額 (性×年齢別)



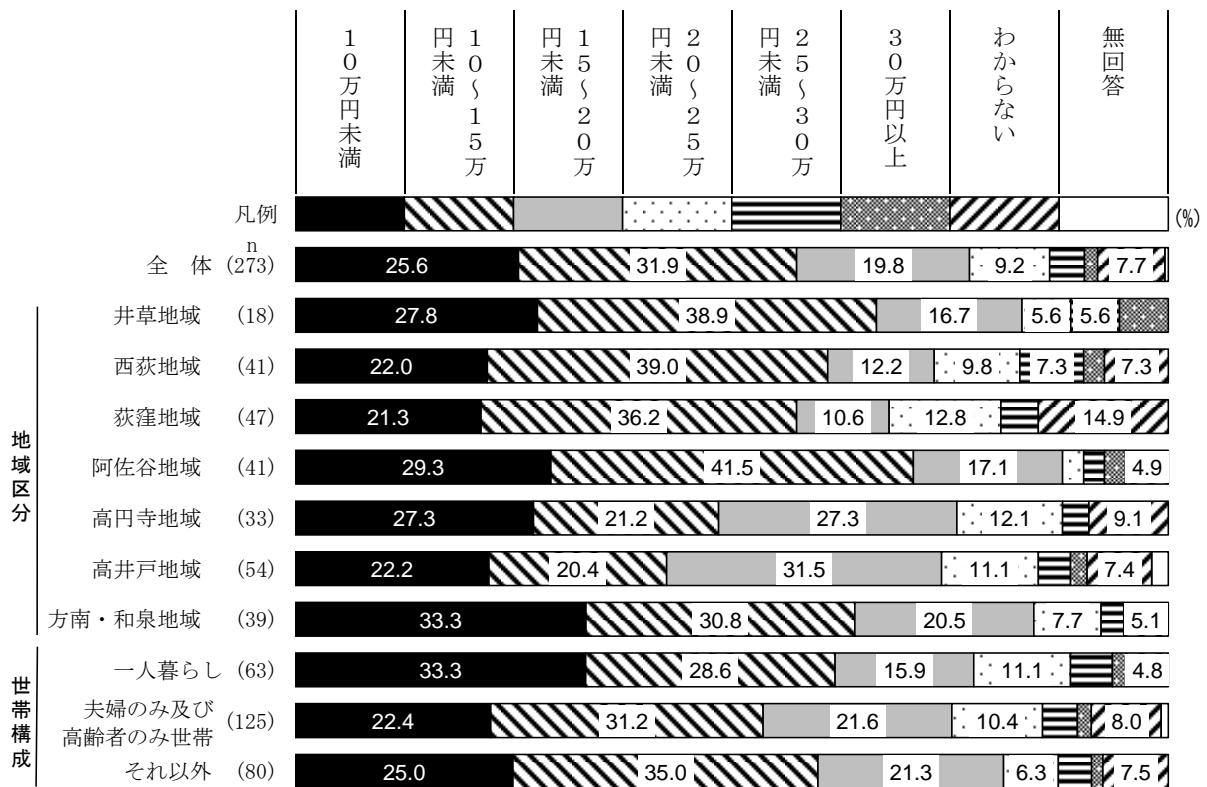
※男性女性共に90歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

家賃・介護費用負担可能額について、「10～15万円未満」が31.9%と最も多く、次いで「10万円未満」(25.6%)、「15～20万円未満」(19.8%)の順となっている。

性×年齢別で見ると、65～69歳において、男性は女性に比べ「10万円未満」および「15～20万円未満」が多く、「10～15万円未満」が少なくなっている。(図表12-1)



図表 1 2 - 2 家賃・介護費用負担可能額（地域区分別／世帯構成別）



	10万円未満	10~15万円未満	15~20万円未満	20~25万円未満	25~30万円未満	30万円以上	わからない	無回答
全体 (273)	25.6	31.9	19.8	9.2	4.0	1.5	7.7	0.4
井草地域 (18)	27.8	38.9	16.7	5.6	5.6	5.6	-	-
西荻地域 (41)	22.0	39.0	12.2	9.8	7.3	2.4	7.3	-
荻窪地域 (47)	21.3	36.2	10.6	12.8	4.3	-	14.9	-
阿佐谷地域 (41)	29.3	41.5	17.1	2.4	2.4	2.4	4.9	-
高円寺地域 (33)	27.3	21.2	27.3	12.1	3.0	-	9.1	-
高井戸地域 (54)	22.2	20.4	31.5	11.1	3.7	1.9	7.4	1.9
方南・和泉地域 (39)	33.3	30.8	20.5	7.7	2.6	-	5.1	-
一人暮らし (63)	33.3	28.6	15.9	11.1	4.8	1.6	4.8	-
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (125)	22.4	31.2	21.6	10.4	4.0	1.6	8.0	0.8
それ以外 (80)	25.0	35.0	21.3	6.3	3.8	1.3	7.5	-

地域区分別でみると、西荻地域、荻窪地域、阿佐谷地域において「10～15万円未満」が4割前後と最も多くを占めており、高井戸地域では「15～20万円未満」が31.5%と最も多くを占めている。

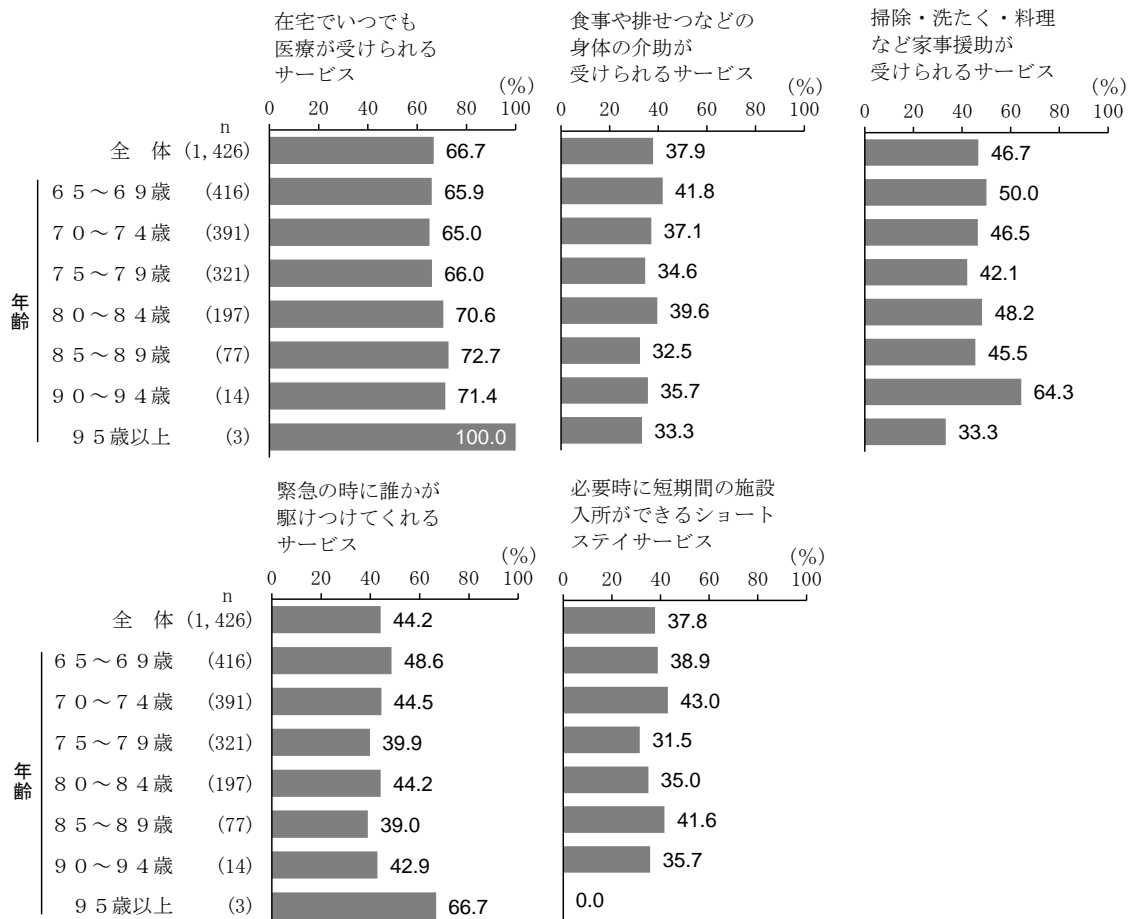
世帯構成別でみると、「10万円未満」は、一人暮らしが33.3%と最も多く、次いでそれ以外(25.0%)、夫婦及び高齢者のみの世帯(22.4%)の順となっている。(図表12-2)

### (4) 在宅生活のために必要なサービス

問13 できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が66.7%、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」が46.7%。

図表13-1 在宅生活のために必要なサービス（年齢別）



在宅生活のために必要なサービスについて、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が66.7%と最も多く、次いで「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(46.7%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(44.2%)の順となっている。

年齢別でみると、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」は、65～69歳は65.9%、85～89歳は72.7%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表13-1)

## 4. 社会参加について

### (1) 社会参加の有無

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

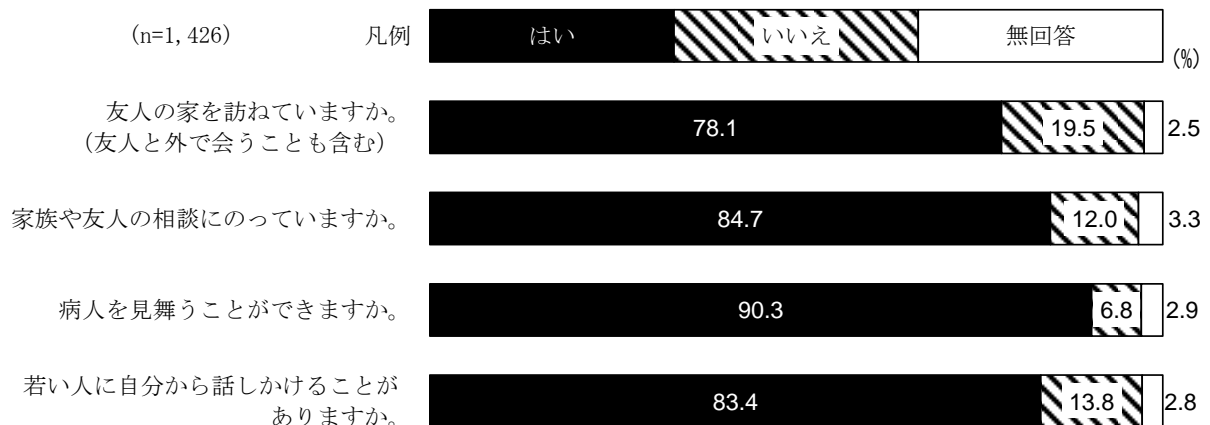
問15 家族や友人の相談にのっていますか。

問16 病人を見舞うことができますか。

問17 若い人に自分から話しかけることがありますか。

各問における「はい」の割合は、『病人を見舞うことができますか』(90.3%)、『家族や友人の相談にのっていますか』(84.7%)、『若い人に自分から話しかけることがありますか』(83.4%)、『友人の家をたずねていますか』(78.1%)。

図表14-1 社会参加の有無①



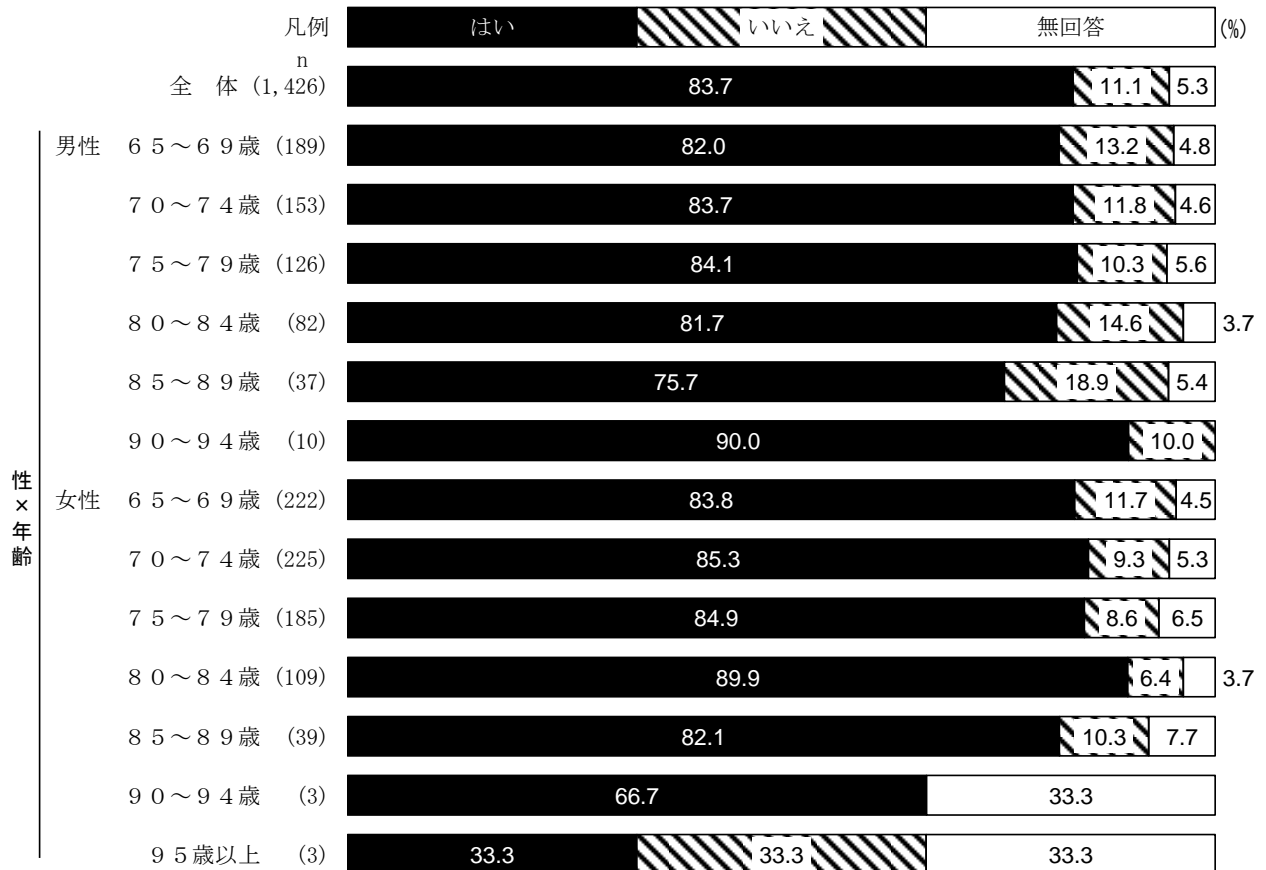
社会参加の有無について、各問における「はい」の割合は、『病人を見舞うことができますか』(90.3%)、『家族や友人の相談にのっていますか』(84.7%)、『若い人に自分から話しかけることがありますか(友人と外で会うことも含む)』(83.4%)、『友人の家を訪ねていますか』(78.1%)の順になっており、全ての質問で、「はい」が7割以上となっている。(図表14-1)

## (2) 生きがいを感じるかについて

問18 生きがいを感じていますか。

「はい」が83.7%、「いいえ」が11.1%。健康だと思っている人の方が生きがいを感じている割合が多い。

図表18-1 生きがいを感じるか（性×年齢別）

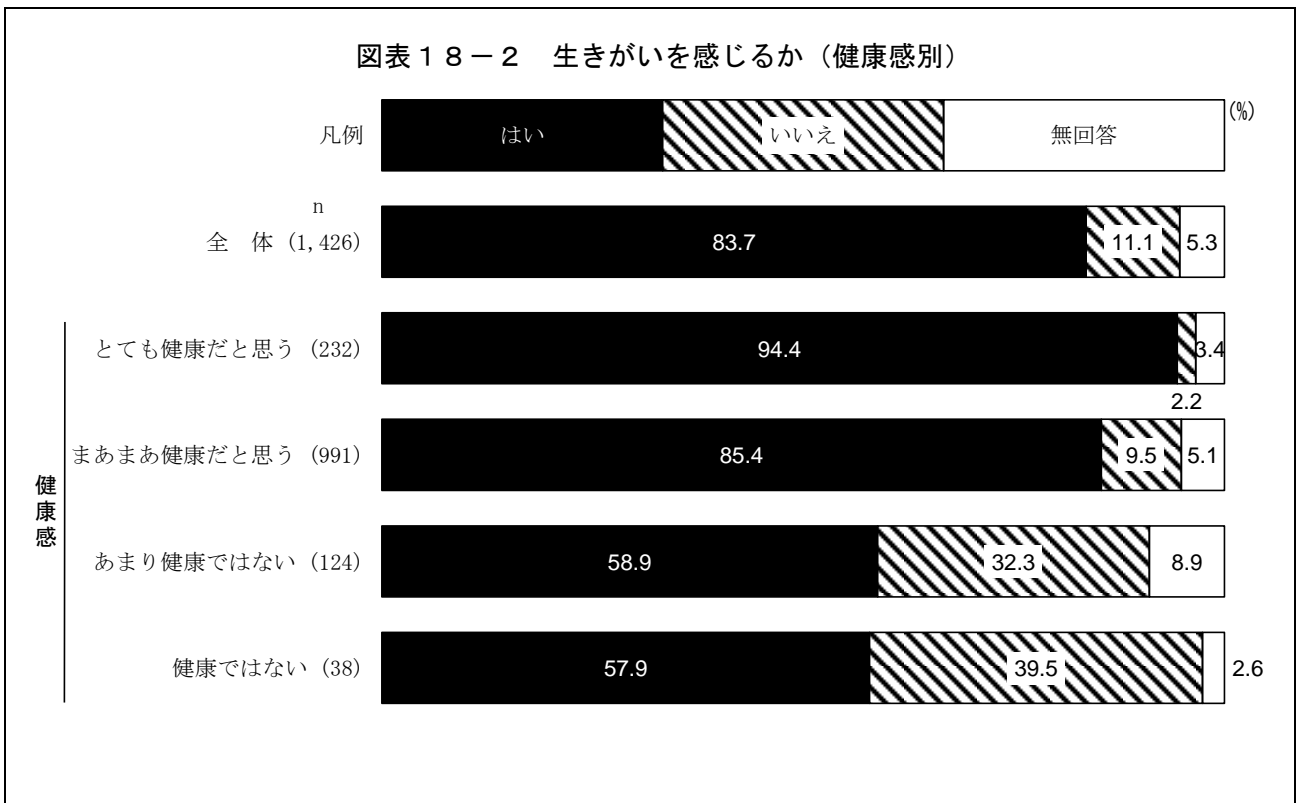


※男性95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

生きがいを感じるかについて、「はい」が83.7%、「いいえ」が11.1%を占めている。

性×年齢別でみると、「はい」は、85～89歳は男性で75.7%、女性で82.1%となっており、男女ともに85～89歳が、他の年齢に比べ少なくなっている。(図表18-1)

図表 18-2 生きがいを感じるか（健康感別）



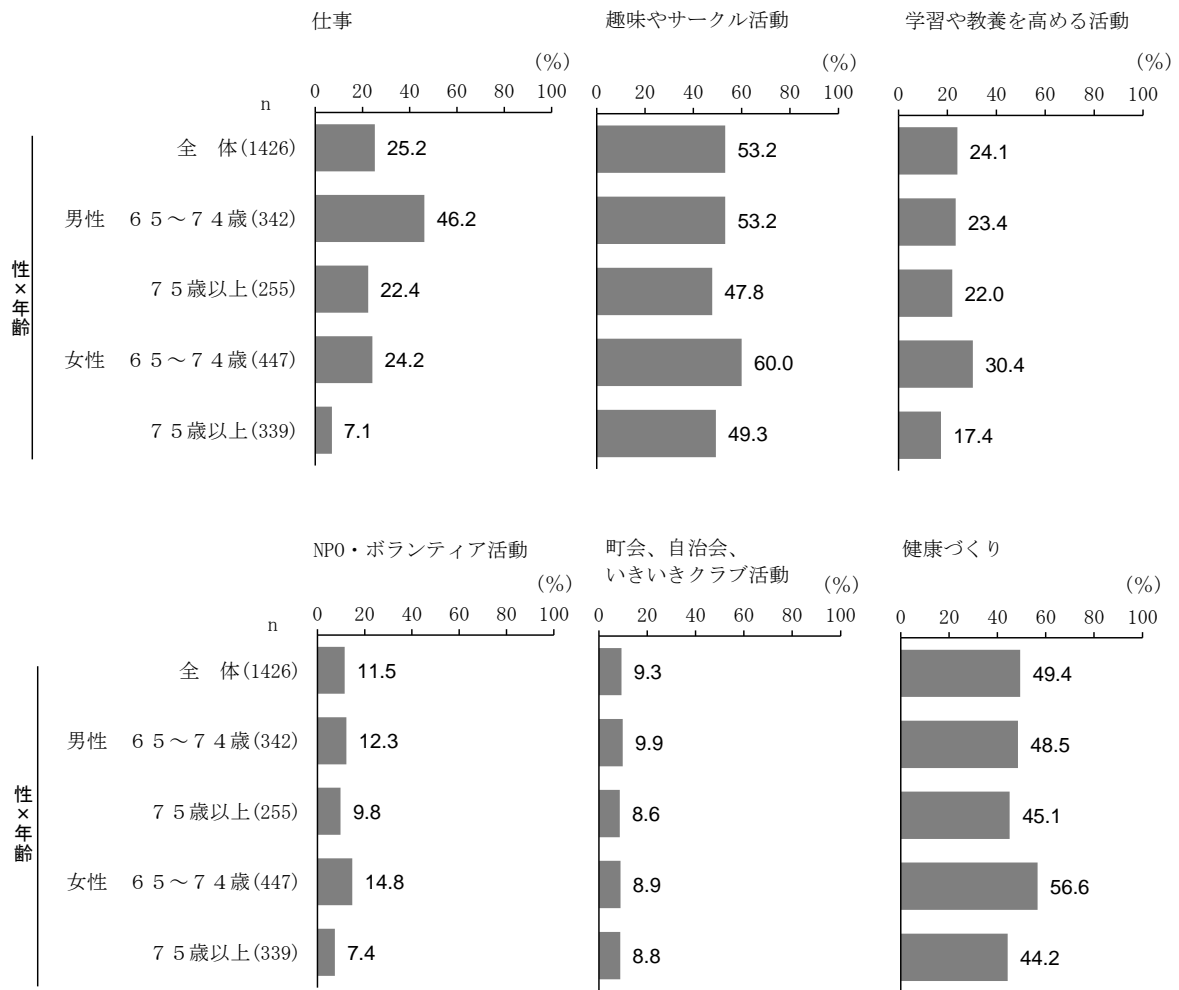
健康感別でみると、「はい」は、とても健康だと思うで94.4%と最も多く、次いで、まあまあ健康だと思う（85.4%）、あまり健康ではない（58.9%）、健康ではない（57.9%）の順になっており、健康だと思うと回答したの方が生きがいを感じている割合が多くなっている。（図表18-2）

### (3) 現在やっている、または今後やってみたいこと

問19 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。(いくつでも○)

「趣味やサークル活動」が53.2%、「健康づくり」が49.4%。

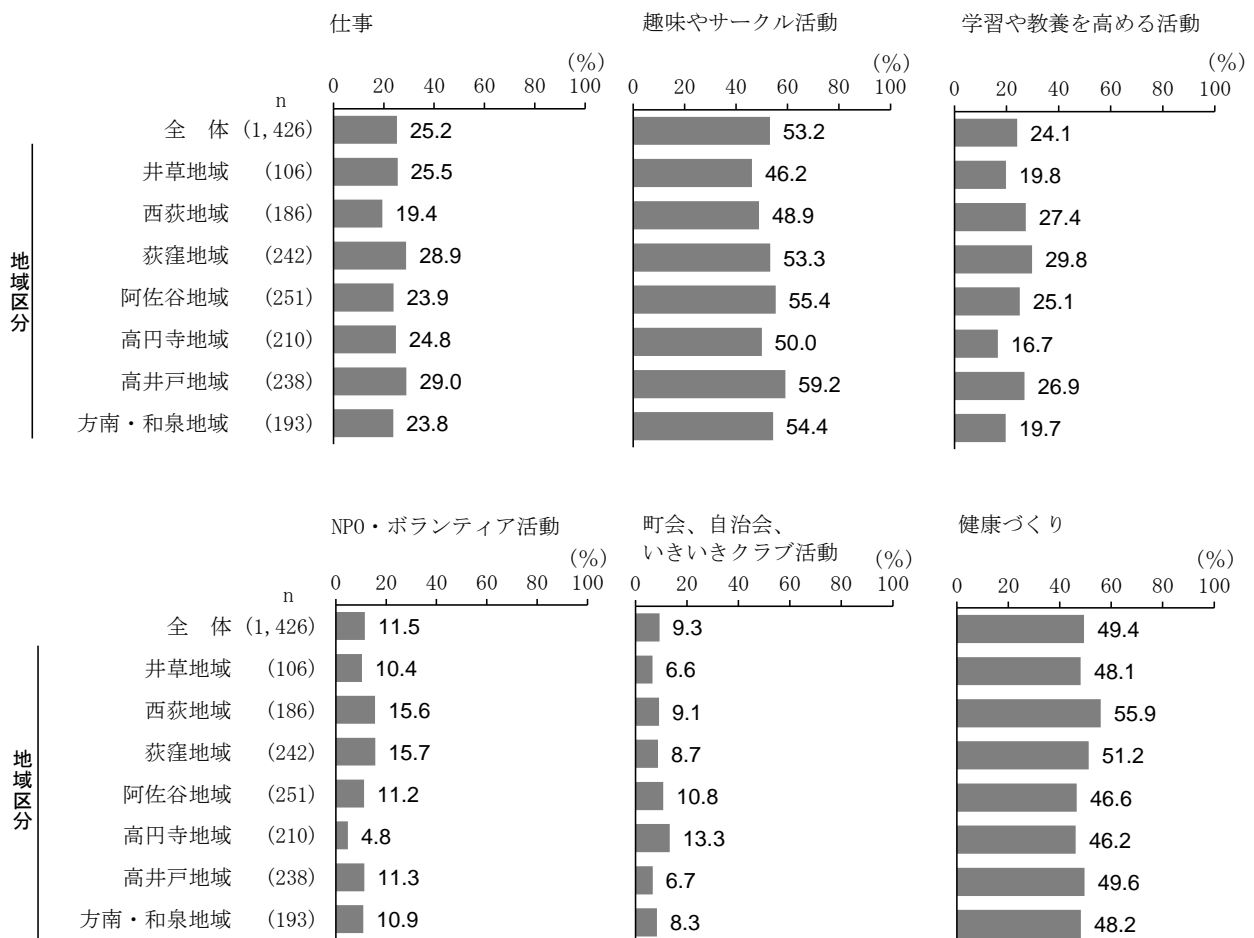
図表19-1 現在やっている、または今後やってみたいこと（性×年齢別）



現在やっている、または今後やってみたいことについて、「趣味やサークル活動」の53.2%が最も多く、次いで「健康づくり」(49.4%)、「仕事」(25.2%)の順となっている。

性×年齢別でみると、「仕事」は、65~74歳が男性で46.2%、女性で24.2%に対し、75歳以上が男性で22.4%、女性で7.1%となっており、男女ともに高い年齢において少なくなっている。また、「健康づくり」「学習や教養を高める活動」は、女性の65~74歳が、56.6%および30.4%と、他の性×年齢に比べ最も多くなっている。(図表19-1)

図表 19-2 現在やっている、または今後やりたいこと（地域区分別）



地域区分で見ると、西荻地域においてほかの地域に比べて多かったものは健康づくり（55.9%）、となっている。同様に、荻窪地域において「学習や教養を高める活動」（29.8%）、「NPO・ボランティア活動」（15.7%）、高円寺地域において「町会、自治会、いきいきクラブ活動」（13.3%）、高井戸地域において「仕事」（29.0%）、「趣味やサークル活動」（59.2%）で、ほかの地域に比べて多くなっている。

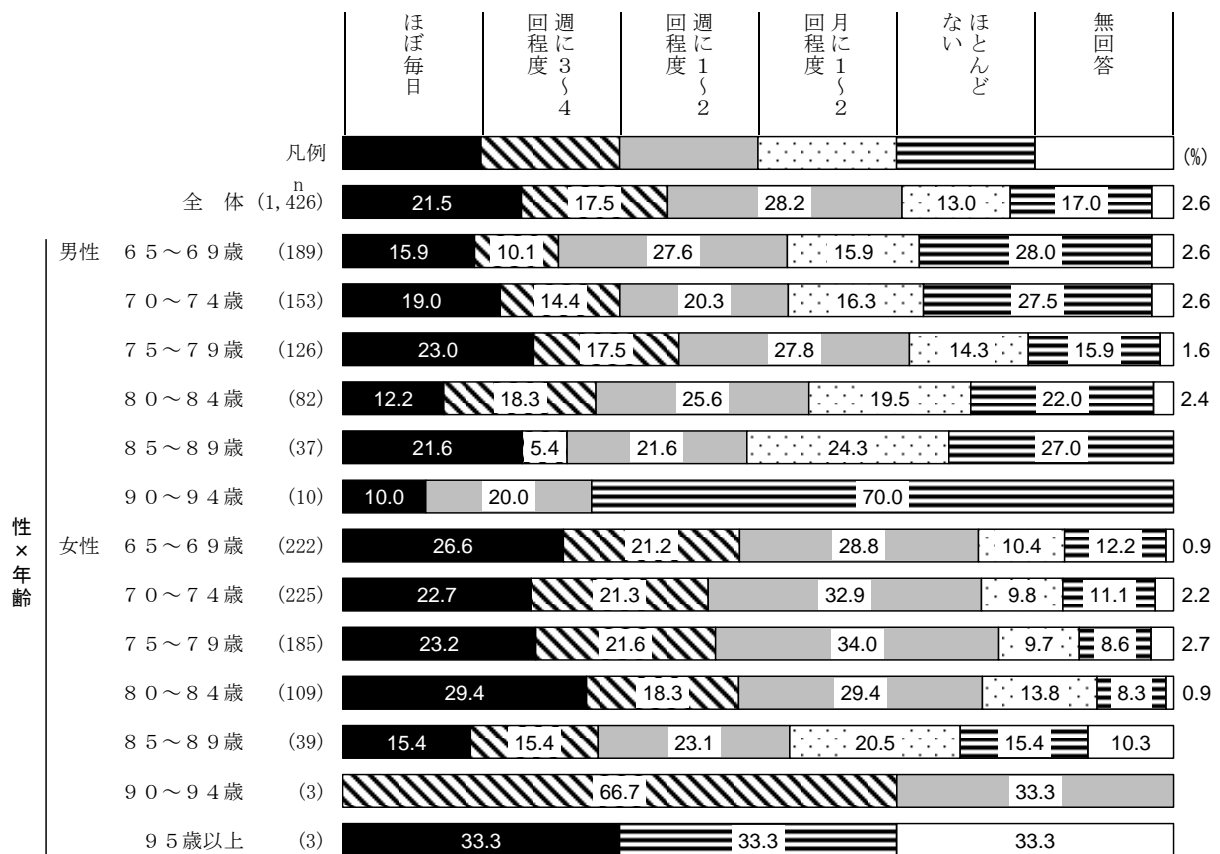
一方、各地域において他の地域に比べ少なかったものは、井草地域において「趣味やサークル活動」（46.2%）、「町会、自治会、いきいきクラブ活動」（6.6%）、西荻地域において「仕事」（19.4%）、高円寺地域において「学習や教養を高める活動」（16.7%）、「NPO・ボランティア活動」（4.8%）、「健康づくり」（46.2%）となっている。（図表 19-2）

### (4) 近所の方との付き合いの有無

問20 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

「週に1～2回程度」が28.3%、「ほぼ毎日」が21.5%。

図表20-1 近所の方との付き合いの有無(性×年齢別)



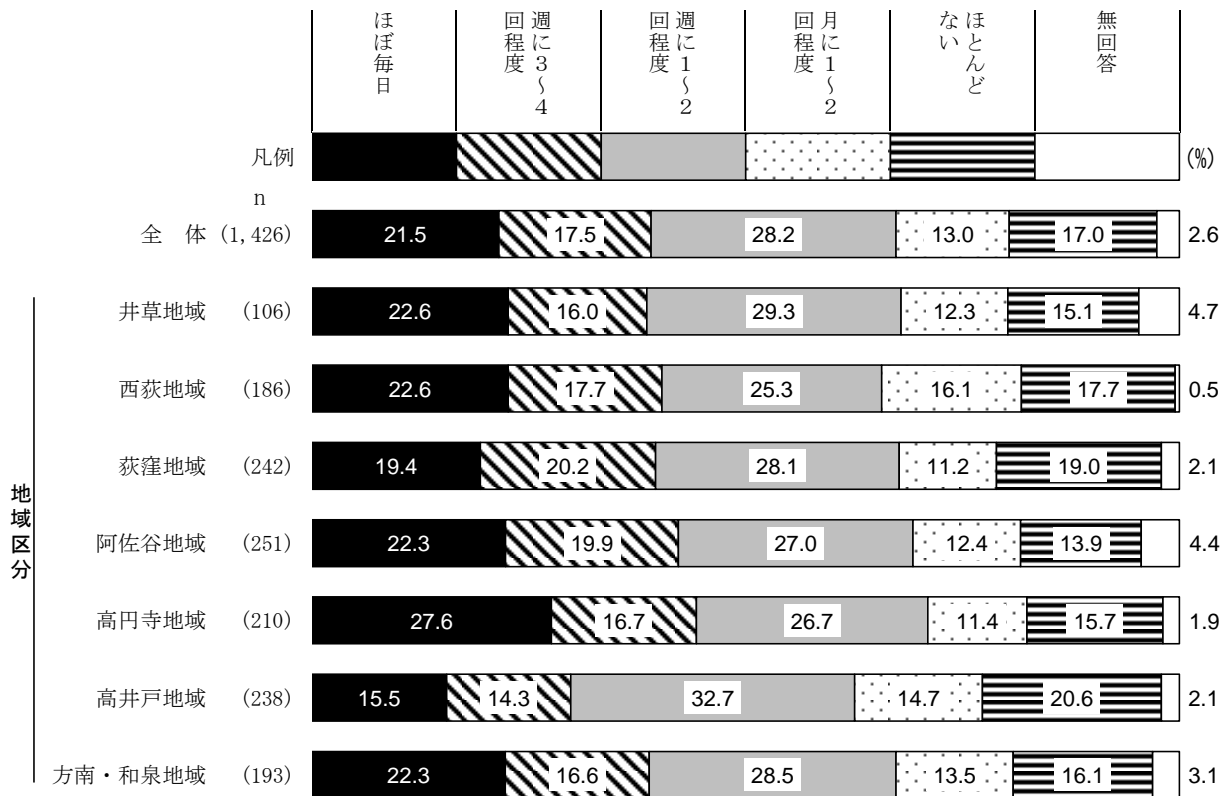
※男性95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

近所の方との付き合いの有無について、「週に1～2回程度」が28.2%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」(21.5%)、「週に3～4回」(17.5%)の順となっている。

年齢別でみると、同じ年齢の女性と男性を比較すると、おおむね女性の方が近所の方との付き合いの頻度が高くなっている。(図表20-1)



図表 20-2 近所の方との付き合いの有無（地域区分別）



地域区分でみると、「ほぼ毎日」は、他の地域に比べて高円寺地域で 27.6%と多く、高井戸地域で 15.5%と少なくなっている。

同様に「ほとんどない」は、他の地域に比べて高井戸地域で 20.6%と多く、阿佐谷地域で 13.9%と少なくなっている。(図表 20-2)

## 5. 日常生活について

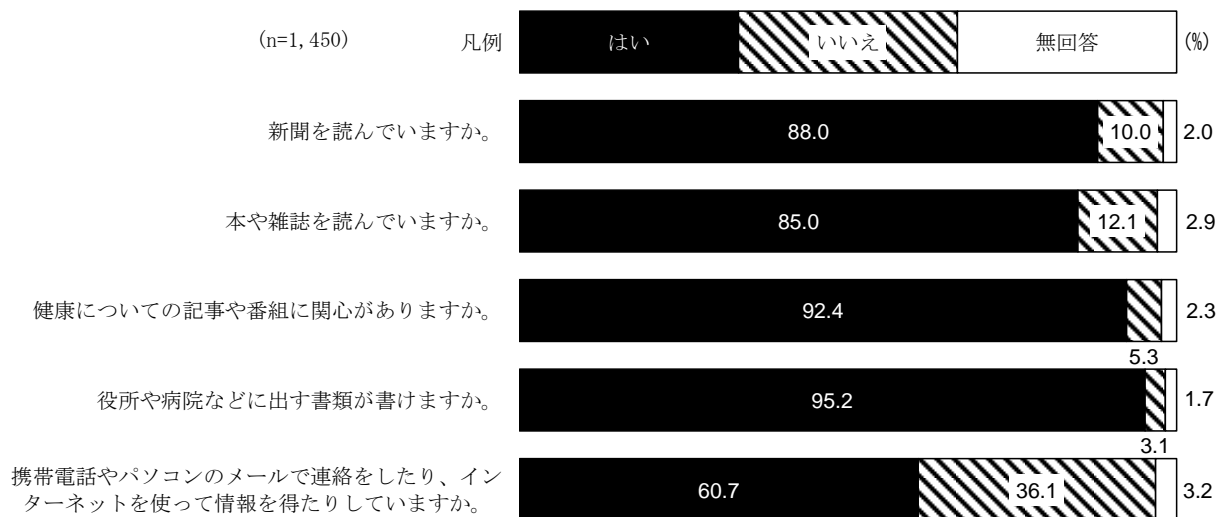
### (1) 日常生活で行っていること（その1）

問 2 1

- (1) 新聞を読んでいますか。
- (2) 本や雑誌を読んでいますか。
- (3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。
- (4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。
- (5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。

「はい」は、『役所や病院などに出す書類が書けますか』が 95.2%、『健康についての記事や番組に関心がありますか』が 92.4%、『携帯電話やパソコンのメールで連絡したり、インターネットを使って情報を得たりしていますか』は 60.7%。

図表 2 1 - 1 日常生活で行っていること（1）



日常生活で行っていることの有無をたずねた質問について、「はい」は、『役所や病院などに出す書類が書けますか』において 95.2%、『健康についての記事や番組に関心がありますか』において 92.4%と、多くなっている。

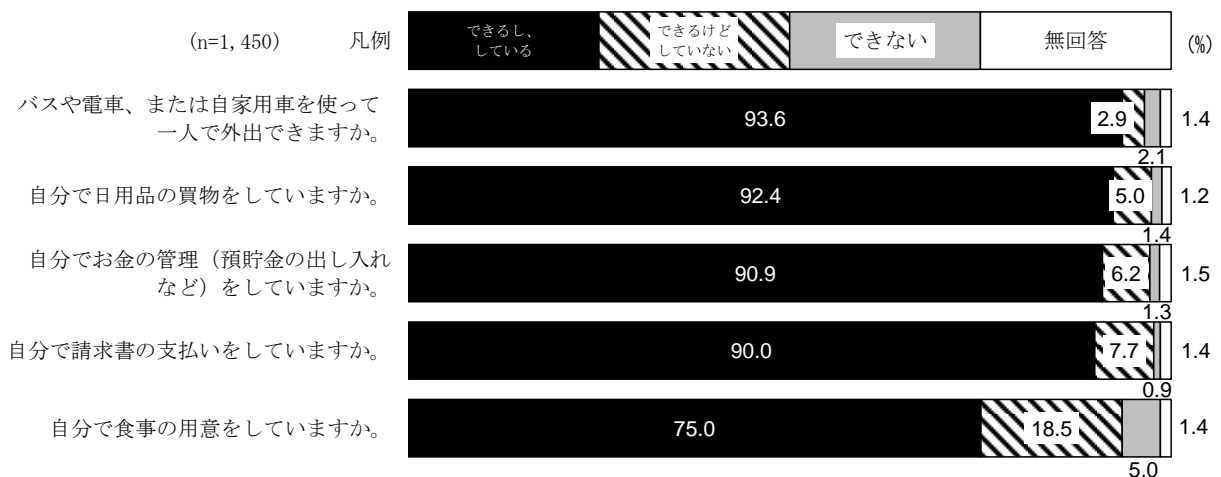
一方、『携帯電話やパソコンのメールで連絡したり、インターネットを使って情報を得たりしていますか』は 60.7%と、他の項目に比べ少なくなっている。(図表 2 1 - 1)

## (2) 日常生活で行っていること (その2)

- (6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。
- (7) 自分で日用品の買物をしていますか。
- (8) 自分でお金の管理 (預貯金の出し入れなど) をしていますか。
- (9) 自分で請求書の支払いをしていますか。
- (10) 自分で食事の用意をしていますか。

『バスや電車等を使って一人で外出』・『日用品の買物』・『お金の管理』・『請求書の支払い』は9割以上が「できるし、している」。

図表 2 1 - 2 日常生活で行っていること (2)



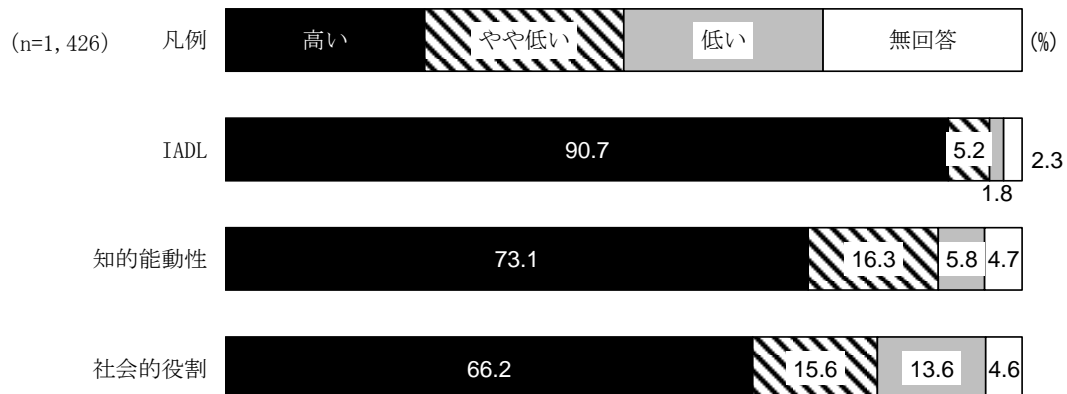
日常生活で行っていることを、そのことができるかたずねた質問について、「できるし、している」は、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』で93.6%と最も多く、次いで『自分で日用品の買物』で92.4%となっている。

同様に、「できるけどしていない」は、『自分で食事の用意』が18.5%と最も多く、次いで『自分で請求書の支払い』(7.7%)となっている。「できない」は、『自分で食事の用意』が5.0%と最も多く、次いで『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』(2.1%)となっている。(図表 2 1 - 2)

### (3) 老研式活動能力指標の分析結果

IADLにおいて、「高い」は90.7%、「低い」は1.8%。知的能動性において、「高い」は73.1%、「低い」は5.8%。社会的役割において、「高い」は66.2%、「低い」は13.6%。

図表 a-1 老研式活動能力指標の分析結果（「IADL」「知的能動性」「社会的役割」）



図表 a-2 老研式活動能力指標の分析結果（「総合評価」）



- ・老研式活動能力指標  
東京都健康長寿医療センター研究所で開発された、生活機能を評価する指標。  
自立している場合は点数が高い。
- ・IADL（手段的日常生活動作）  
日常生活を送るうえで必要な動作のうち、買いもの、家事全般、金銭管理等の複雑な動作のこと。

問14～問16及び問21の回答を点数化し、老研式活動能力指標の分析を行った。なお、IADLは問21(6)～(10)、知的能動性は問21(1)～(4)、社会的役割は問14～問16の回答により判定した。

その結果、いずれの評価も「高い」が最も多かった。それぞれ個別にみると、IADLにおいて、「高い」は90.7%、「やや低い」は5.2%、「低い」は1.8%、知的能動性において、「高い」は73.1%、「やや低い」は16.3%、「低い」は5.8%、社会的役割において、「高い」は66.2%、「やや低い」15.6%、「低い」13.6%となっている。(図表 a-1)

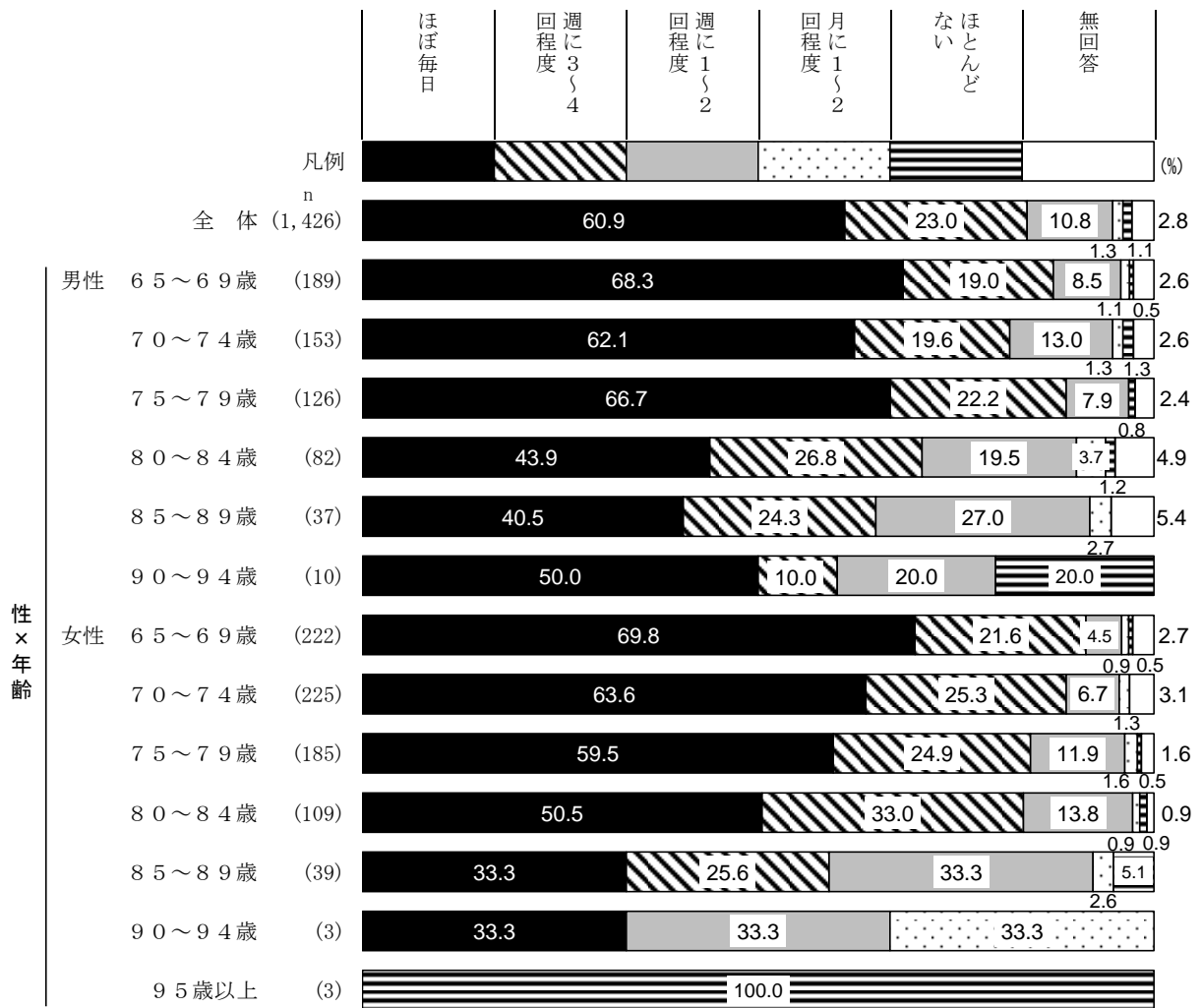
総合評価は、3項目の合計点を13点満点で評価し、「高い」(11点以上)が79.9%で最も多く、「やや低い」(9～10点)が7.7%、「低い」(8点以下)が3.2%の順となっている。(図表 a-2)

### (4) 外出の頻度

問 2 2 散歩や買い物など、外出の回数ほどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

「ほぼ毎日」が60.9%、「週に3～4回程度」が23.0%。

図表 2 2 - 1 外出の頻度（性×年齢別）

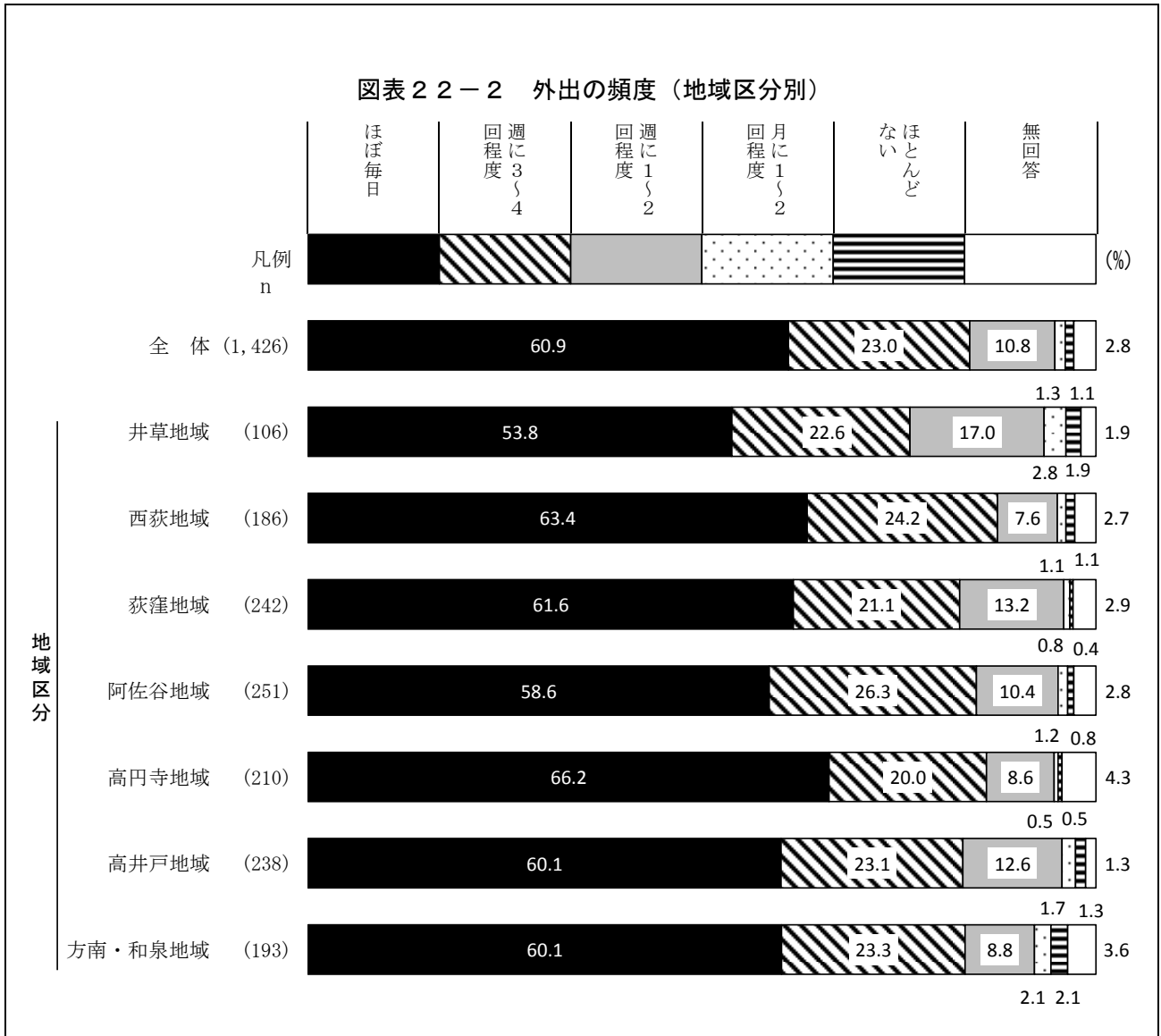


※男性95歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

外出の頻度について、「ほぼ毎日」が60.9%と最も多く、次いで「週に3～4回程度」(23.0%)、「週に1～2回程度」(10.8%)の順になっている。

性×年齢別でみると、「ほぼ毎日」において65～69歳の男性は68.3%、女性は69.8%、85～89歳の男性は40.5%、女性は33.3%となる等、男女ともに、おおむね年齢が高くなるにつれ外出の頻度が少なくなっている。また、同じ年齢における男女の比較では、おおむね男性よりも女性のほうが、外出の頻度が多くなっている。(図表22-1)

図表 2 2 - 2 外出の頻度（地域区分別）



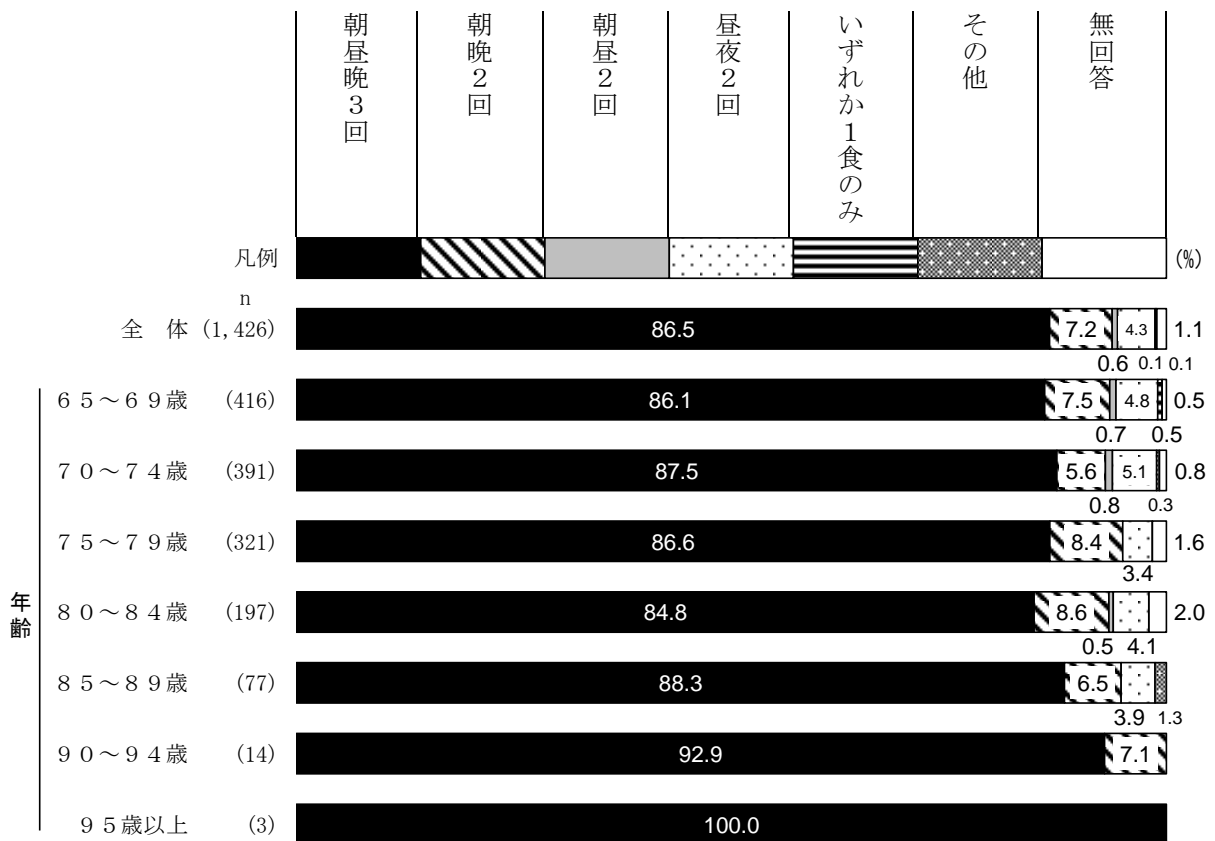
地域区分別でみると、「ほぼ毎日」において、他の地域に比べ高円寺地域は66.2%と最も多くなっており、次いで西荻地域（63.4%）、荻窪地域（61.6%）の順になっている。すべての地域で、「ほぼ毎日」は5割以上を占めている。「週に3～4回程度」において、他の地域に比べ阿佐谷地域は26.3%と最も多くなっており、次いで西荻地域（24.2%）、方南・和泉地域（23.3%）の順になっている。（図表 2 2 - 2）

### (5) 一日における食事の回数

問 2 3 1 日の食事の回数は何回ですか（普段の生活から平均的な回数）（1つに○）

「朝昼晩3回」が86.5%、「朝晩2回」が7.2%。

図表 2 3 - 1 一日における食事の回数（年齢別）



一日における食事の回数について、「朝昼晩3回」が86.5%と最も多く、次いで「朝晩2回」(7.2%)「昼夜2回」(4.3%)の順となっている。

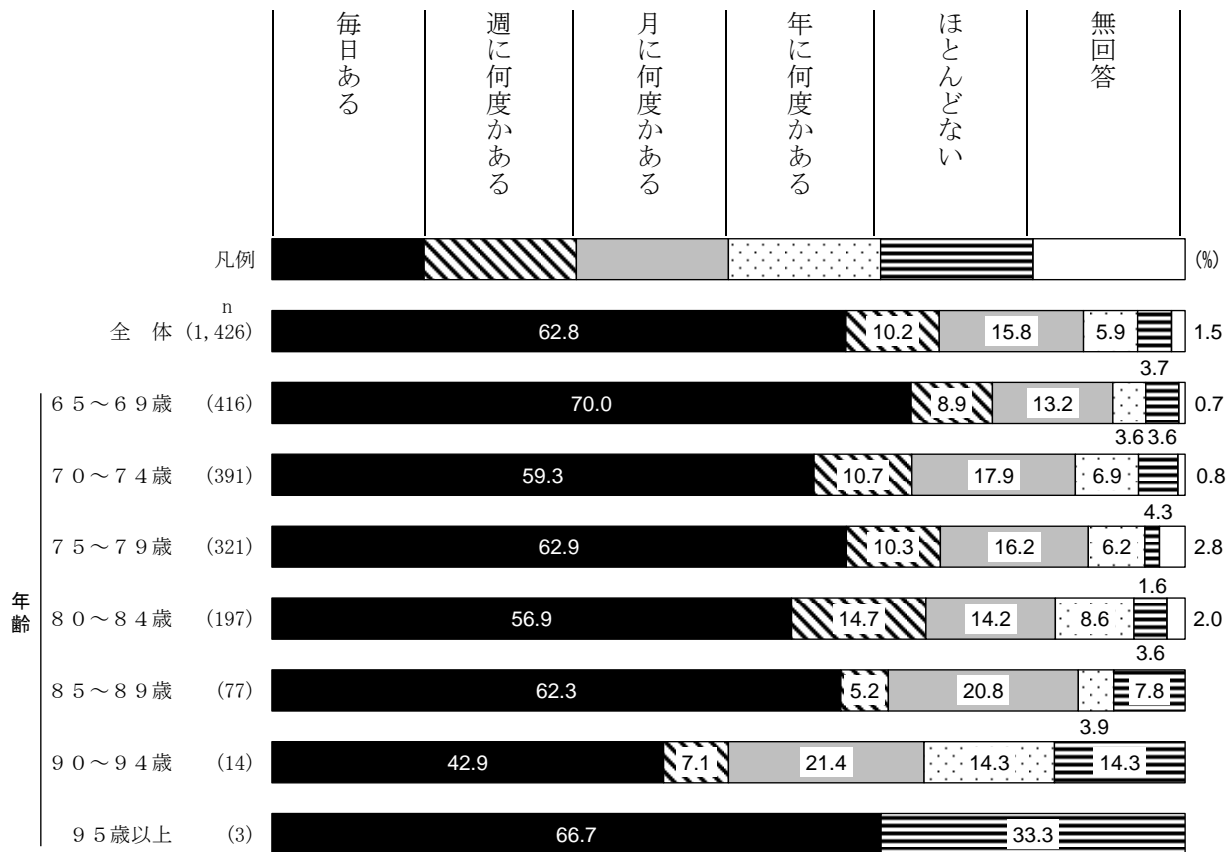
年齢別でみると、「朝昼晩3回」において、他の年齢に比べ80～84歳は84.8%と最も少なくなっており、次いで65～69歳(86.1%)、75～79歳(86.6%)の順となっている。(図表23-1)

### (6) ほかに人と食事をとにもする機会の有無

問24 自分一人ではなく、どなたかと食事をとにもする機会はありますか（1つに○）

「毎日ある」が62.8%、「月に何度かある」が15.8%。

図表24-1 ほかに人と食事をとにもする機会の有無（年齢別）



ほかに人と食事をとにもする機会の有無について、「毎日ある」は62.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」(15.8%)、「週に何度かある」(10.2%)となっている。

年齢別でみると、「毎日ある」は、65～69歳が70.0%と、他の年齢に比べ多くなっており、「ほとんどない」は、85～89歳が20.8%と多くなっている。(図表24-1)

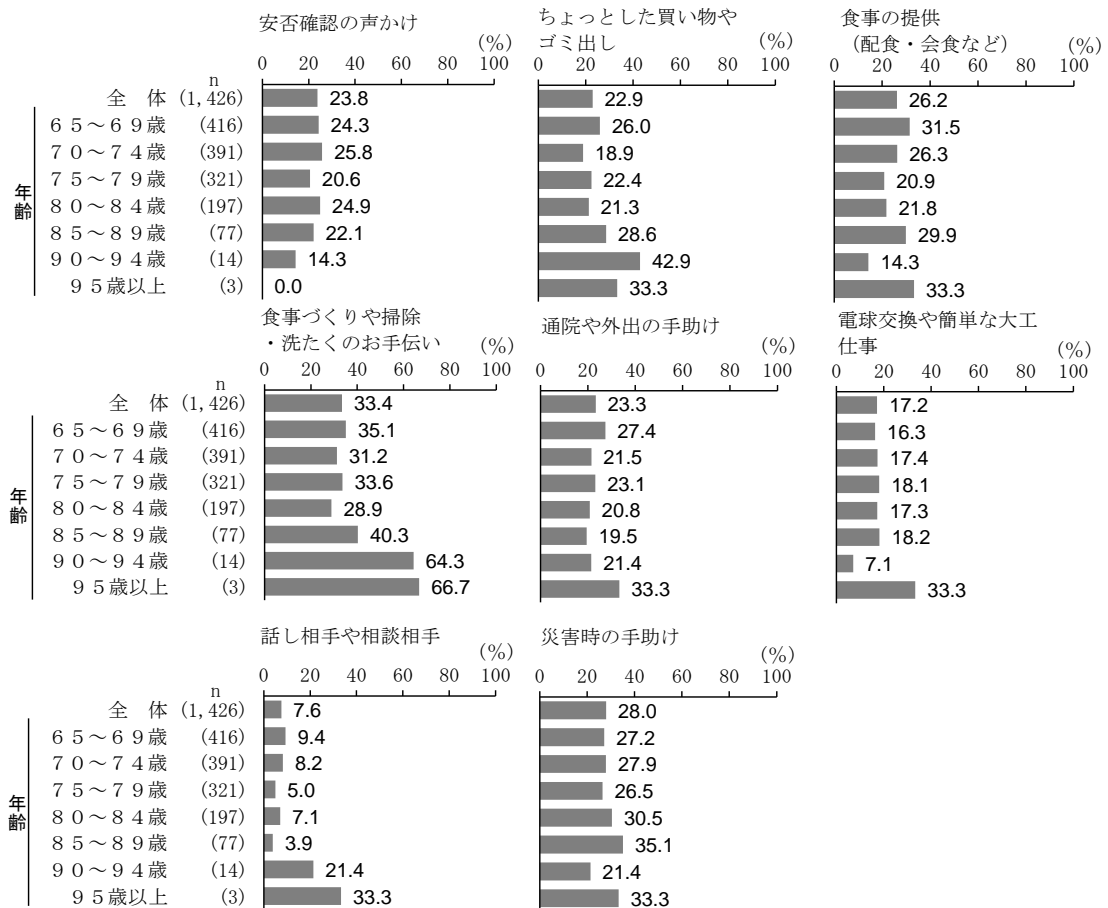


(7) 日常生活で手助けをしてほしいこと

問25 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか（3つまで○）

「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が33.4%、「災害時の手助け」が28.0%。

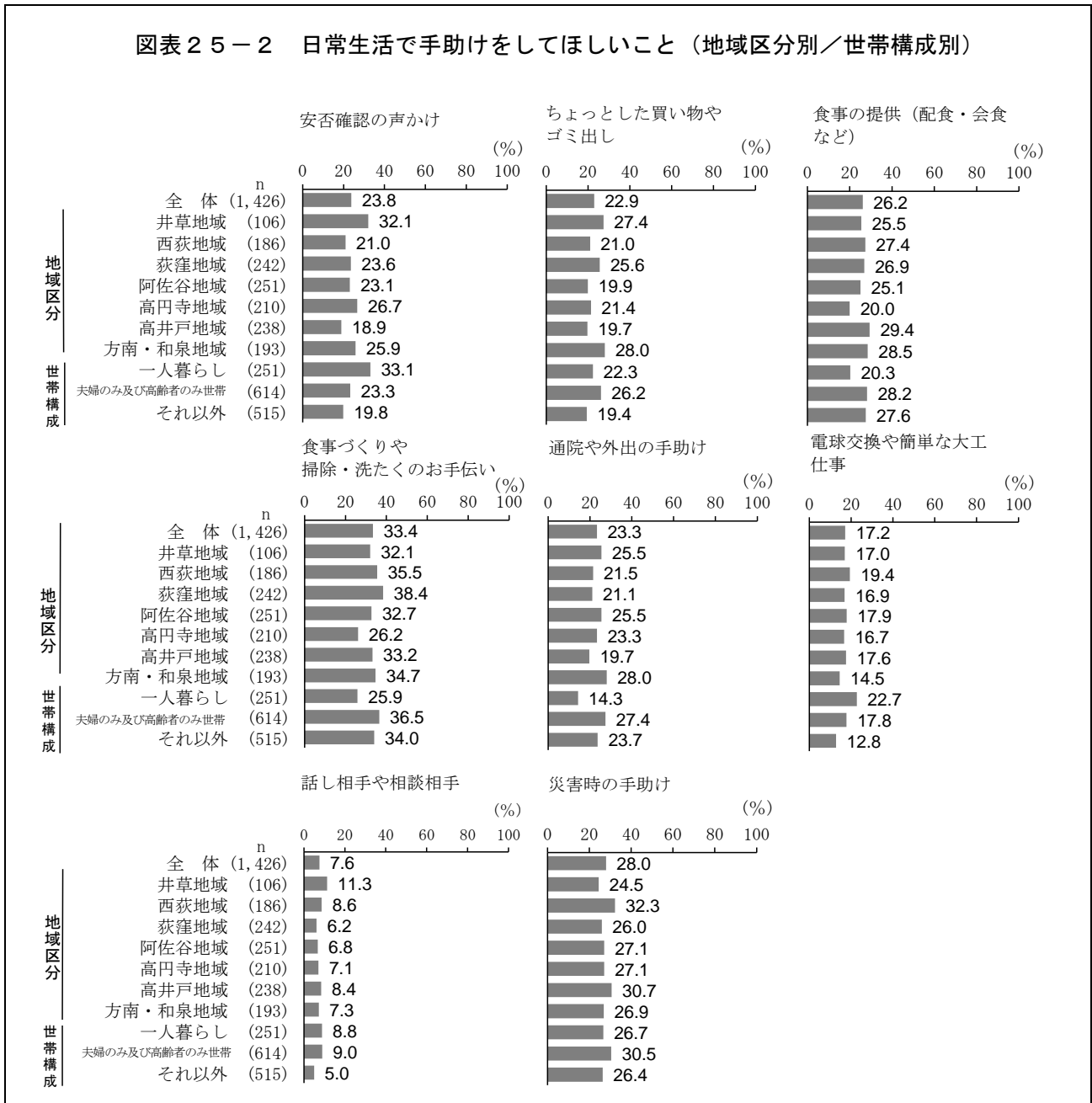
図表25-1 日常生活で手助けをしてほしいこと（年齢別）



日常生活で手助けをしてほしいことについて、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が33.4%と最も多く、次いで、「災害時の手助け」(28.0%)、「食事の提供(配食・会食など)」(26.2%)の順となっている。

年齢別でみると、「災害時の手助け」が65～69歳は27.2%、85～89歳は35.1%となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表25-1)

図表 25-2 日常生活で手助けをしてほしいこと（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、他の地域に比べ井草地域において多いものは「安否の声かけ」(32.1%)、「話し相手や相談相手」(11.3%)となっている。同様に他の地域に比べ、西荻地域において多いものは「電球交換や簡単な大工仕事」(19.4%)、「災害時の手助け」(32.3%)、荻窪地域において多いものは、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(38.4%)、高井戸地域において多いものは「食事の提供 (配食・会食など)」(29.4%)、方南・和泉地域において多いものは「ちょっとした買い物やゴミ出し」(28.0%)、「通院や外出の手助け」(28.0%)となっている。

世帯構成別でみると、他の世帯構成と比べ一人暮らしにおいて多いものは「安否の声かけ」(33.1%)、「電球交換や簡単な大工仕事」(22.7%)となっている。同様に他の世帯構成と比べ夫婦のみ及び高齢者のみ世帯において多いものは「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(36.5%)、「災害時の手助け」(30.5%)、「食事の提供 (配食・会食など)」(28.2%)、「通院や外出の手助け」(27.4%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(26.2%)、「話し相手や相談相手」(9.0%)となっている。(図表 25-2)

## 6. 記憶・判断について

### (1) 記憶・判断について

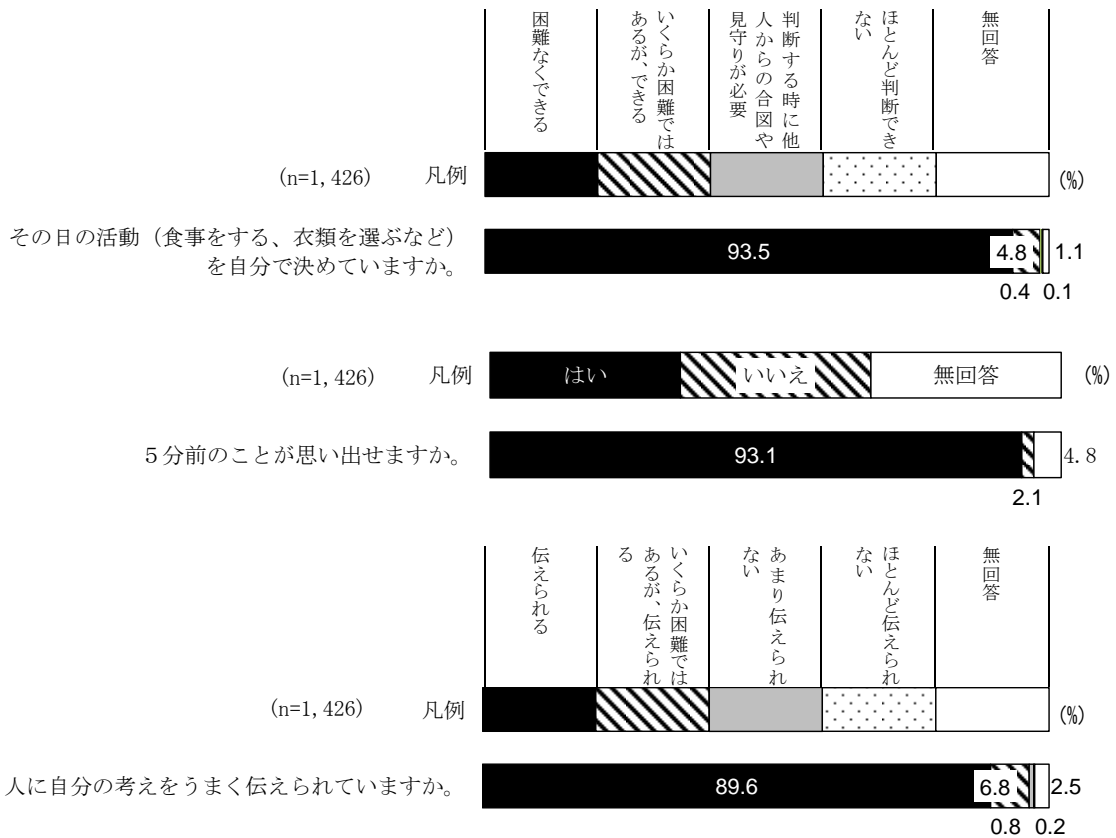
問26 その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。（1つに○）

問27 5分前のことが思い出せますか。

問28 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。（1つに○）

その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決められる人は93.5%、5分前のことが思い出せる人は93.1%、人に自分の考えをうまく伝えられる人は89.6%。

図表26-1 記憶・判断について

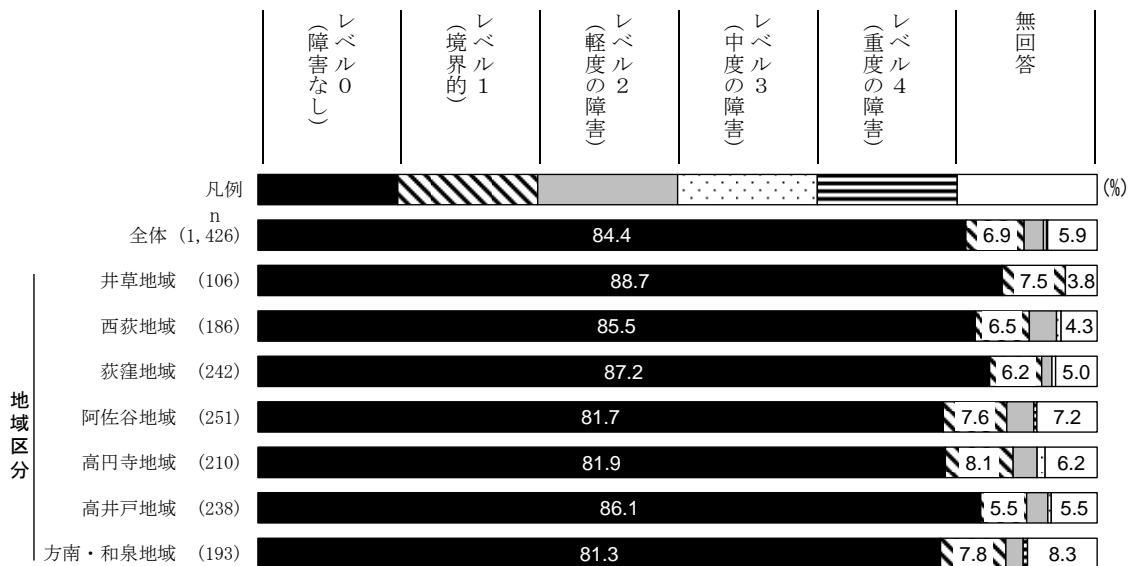


記憶・判断について、『その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか』で「困難なくできる」と回答した人は93.5%、『5分前のことが思い出せますか』で「はい」と回答した人は93.1%、『人に自分の考えをうまく伝えられていますか』で「伝えられる」と回答した人は89.6%と、いずれも9割前後となっている。（図表26-1）

## (2) 認知機能の分析結果

「レベル0（障害なし）」は84.4%、「レベル1（境界的）」は6.9%。

図表 b-1 認知機能の分析結果



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	無回答
全体 (1,426)	84.4	6.9	2.3	0.4	0.1	5.9
井草地域 (106)	88.7	7.5	-	-	-	3.8
西荻地域 (186)	85.5	6.5	3.2	0.5	-	4.3
荻窪地域 (242)	87.2	6.2	1.2	0.4	-	5.0
阿佐谷地域 (251)	81.7	7.6	3.2	-	0.4	7.2
高円寺地域 (210)	81.9	8.1	2.9	1.0	-	6.2
高井戸地域 (238)	86.1	5.5	2.5	0.4	-	5.5
方南・和泉地域 (193)	81.3	7.8	2.1	-	0.5	8.3

問26～問28の回答の組み合わせをもとに認知機能判定を行った。その結果、「レベル0（障害なし）」が84.4%と最も多く、次いで「レベル1（境界的）」（6.9%）、「レベル2（軽度の障害）」（2.3%）の順になっている。

地域区分別でみると、「レベル0（障害なし）」は、井草地域が88.7%と他の地域に比べ最も多く、次いで「荻窪地域」（87.2%）、「高井戸地域」（86.1%）の順になっている。一方「レベル0（障害なし）」が最も少ないのは方南・和泉地域の81.3%である。（図表b-1）

## 7. 転倒予防について

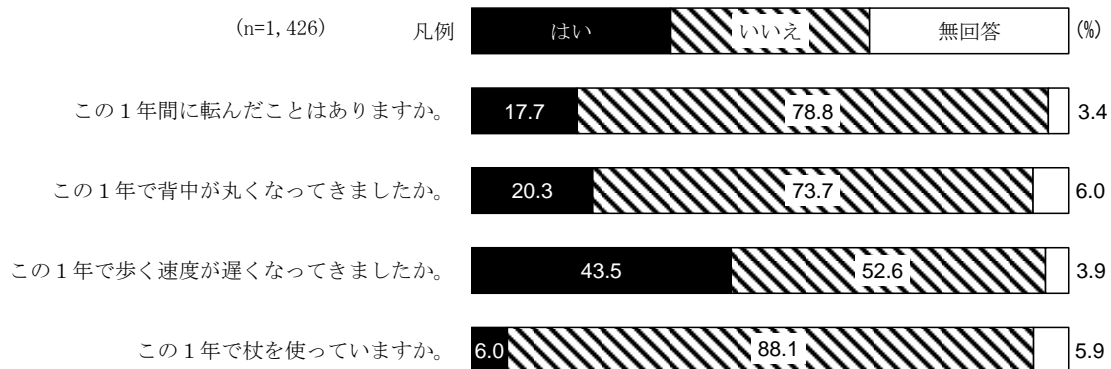
### (1) 転倒予防について

問29

- (1) この1年間に転んだことはありますか。
- (2) この1年で背中が丸くなってきましたか。
- (3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。
- (4) この1年で杖を使っていますか。

この1年で、歩く速度が遅くなってきた人は43.5%、背中が丸くなってきた人は20.3%。

図表29-1 転倒予防について



『この1年で歩く速度が遅くなってきましたか』で「はい」を回答した人は43.5%と最も多く、次いで『この1年で背中が丸くなってきましたか』(20.3%)、『この1年間に転んだことはありますか』(17.7%)の順となっている。割合が少ないのは、『この1年で杖を使っていますか』の6.0%となっている。(図表29-1)

## (2) 転倒リスクの分析結果

「リスクなし」は70.8%と7割以上を占め、「リスクあり」は17.9%。

図表 c-1 転倒リスクの分析結果



問29(1)～(4)および問37の回答の組み合わせをもとに、転倒リスクの分析を行った。

その結果、「リスクなし」が70.8%、「リスクあり」が17.9%となっている。転倒のリスクがない人が7割以上を占めている。(図表c-1)

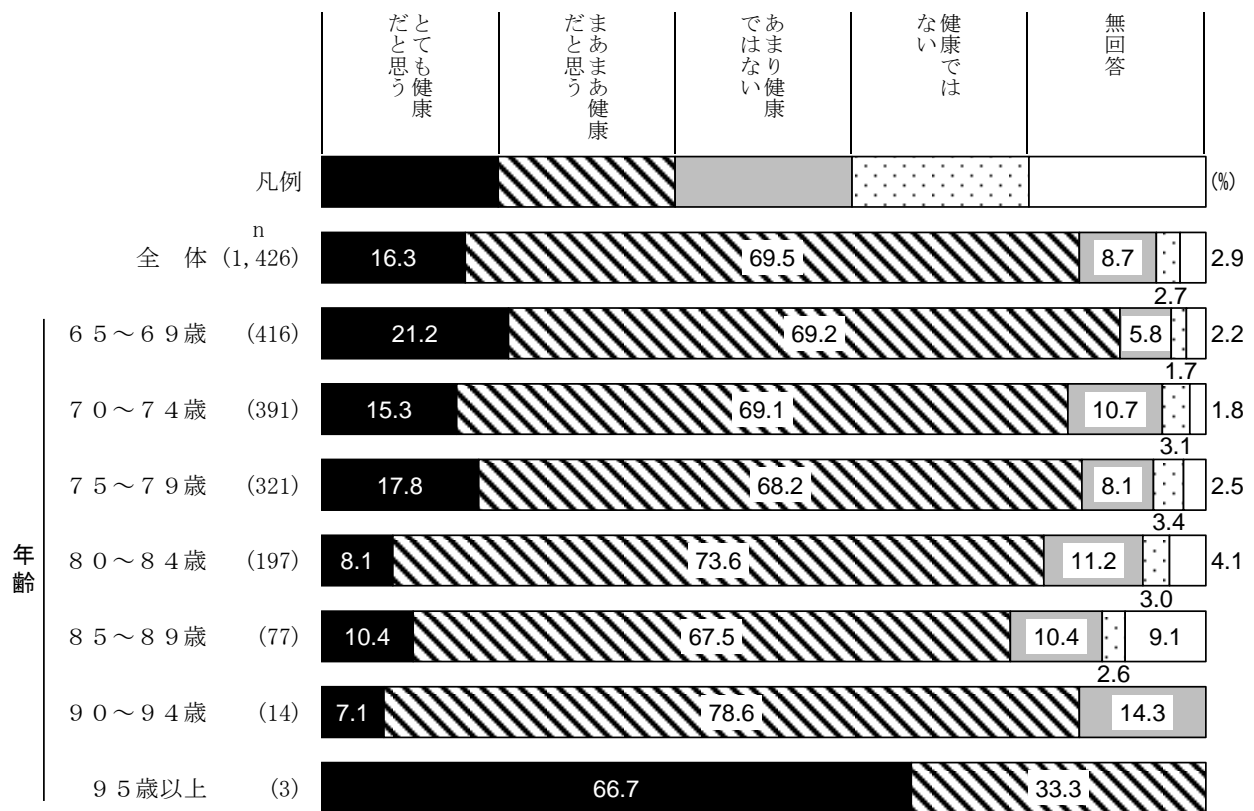
## 8. 健康について

### (1) 主観的な健康感について

問30 ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

「まあまあ健康だと思う」が69.5%、「とても健康だと思う」が16.3%。

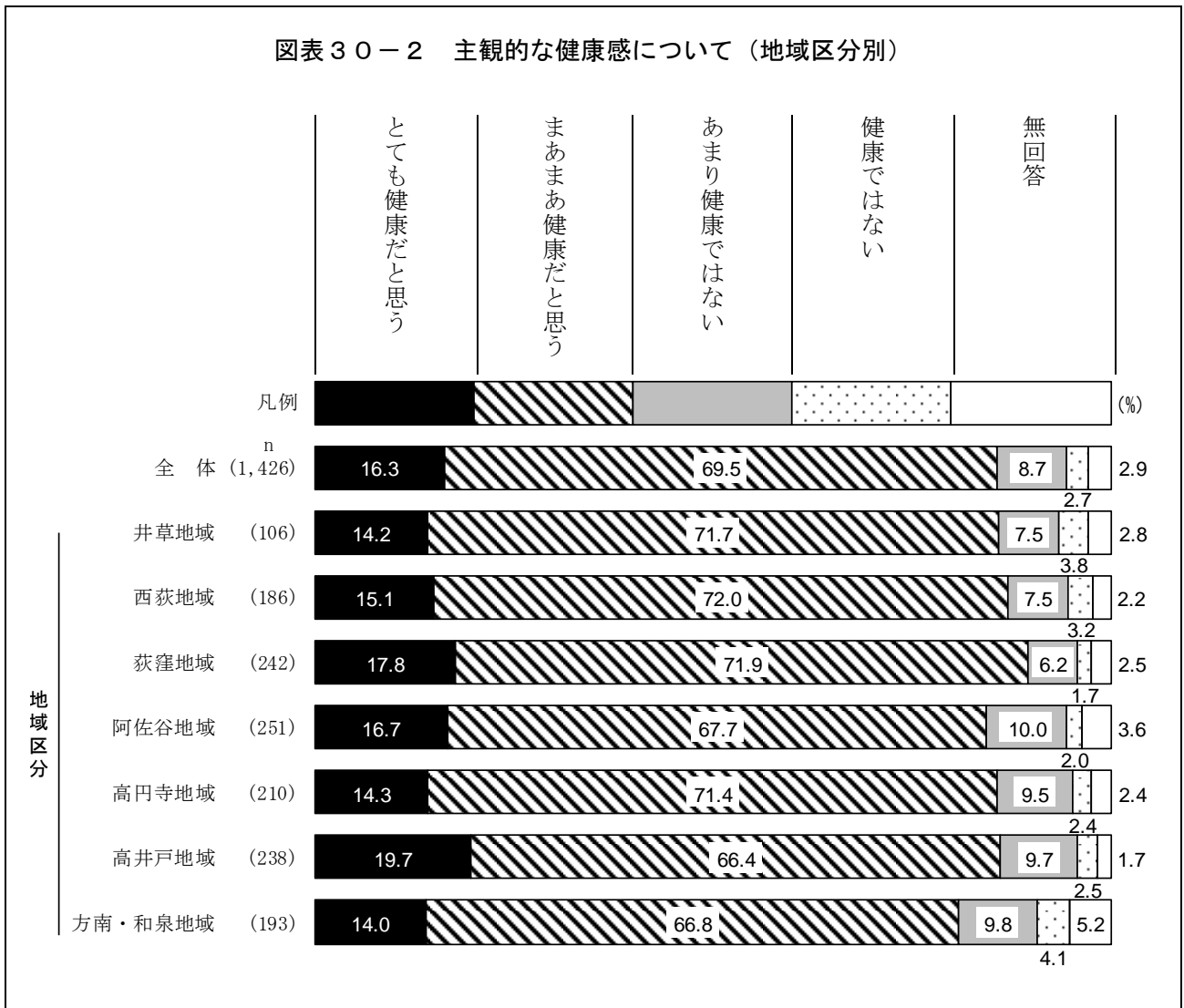
図表30-1 主観的な健康感について(年齢別)



主観的な健康感について、「まあまあ健康だと思う」が69.5%と最も多く、次いで「とても健康だと思う」(16.3%)、「あまり健康ではない」(8.7%)の順となっている。

年齢別でみると、「とても健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」の合計は、65～69歳では90.4%、85～89歳では77.9%と、おおむね年齢が高くなるにつれ健康だと思う人の割合が少なくなっている。(図表30-1)

図表30-2 主観的な健康感について（地域区分別）



地域区分別でみると、高井戸地域は「とても健康だと思う」が19.7%と、他の地域よりも多くなっており、方南・和泉地域は14.0%と少なくなっている。一方、方南・和泉地域では、「健康ではない」が4.1%と他の地域よりも多くなっており、荻窪は1.7%と少なくなっている。「まあまあ健康だと思う」は、いずれの地域でも7割前後を占めている。(図表30-2)

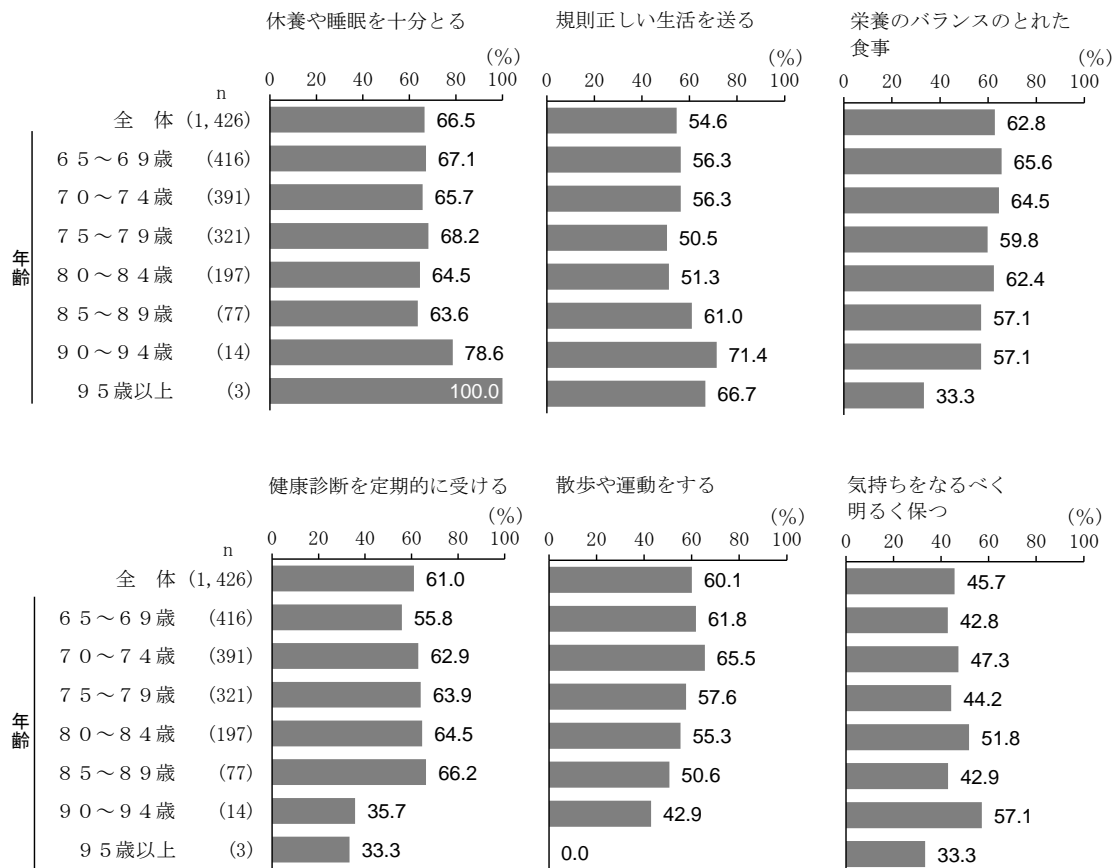


## (2) 健康に気を使っていること

問3 1 健康に気を使っていることはありますか (いくつでも○)

「休養や睡眠を十分とる」が66.5%、「栄養のバランスのとれた食事」が62.8%。

図表3 1-1 健康に気を使っていること (年齢別)



健康に気を使っていることについて、「休養や睡眠を十分とる」が66.5%と最も多く、次いで「栄養のバランスのとれた食事」(62.8%)、「健康診断を定期的に受ける」(61.0%)の順になっている。

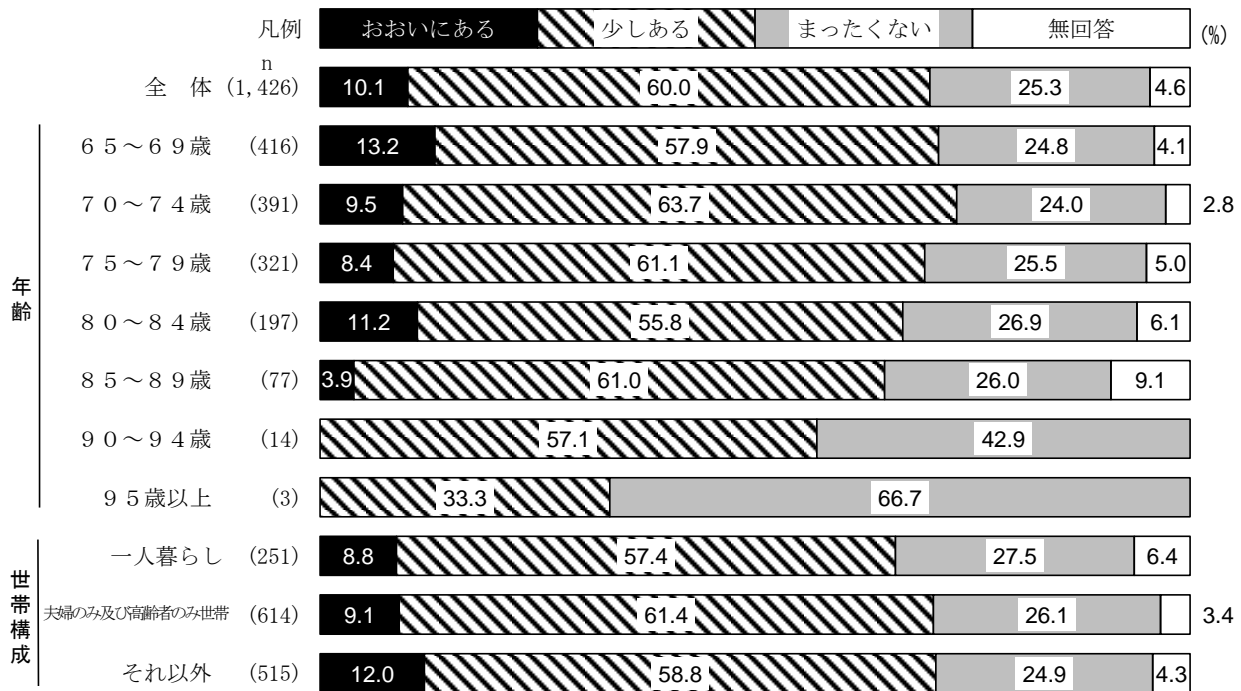
年齢別でみると、「健康診断を定期的に受ける」は65~69歳が55.8%、85~89歳が66.2%となっており、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。一方、「栄養バランスのとれた食事」は65~69歳が65.6%、85~89歳が57.1%、「散歩や運動をする」は65~69歳が61.8%、85~89歳が50.6%となっており、年齢が高くなるにつれおおむね少なくなっている。(図表3 1-1)

### (3) 悩みやストレスの有無

問3 2 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

「少しある」が60.0%、「おおいにある」が10.1%。

図表3 2-1 悩みやストレスの有無(年齢別/世帯構成別)

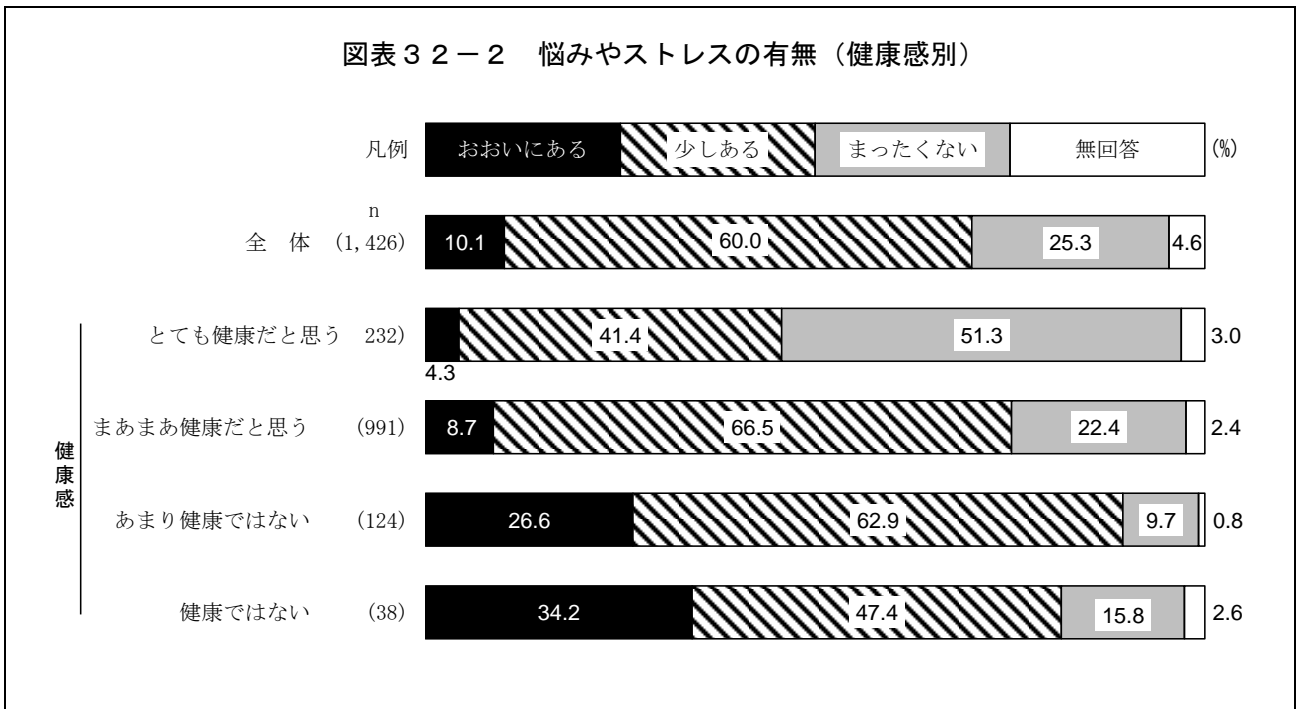


悩みやストレスの有無について、「少しある」が60.0%と最も多く、次いで「まったくない」(25.3%)、「おおいにある」(10.1%)の順となっている。

年齢別でみると、「おおいにある」と「少しある」の合計は、65～69歳が71.1%、85～89歳が64.9%となっており、ストレスがあると回答した人は、年齢が高くなるにつれおおむね少なくなっている。

世帯構成別でみると、「おおいにある」については、それ以外が12.0%と、他の世帯構成に比べて多くなっている。一方、「まったくない」については、一人暮らしが27.5%と、他の世帯構成に比べて多くなっている。(図表3 2-1)

図表 3 2 - 2 悩みやストレスの有無（健康感別）



健康感別でみると、「おおいいある」が、とても健康だと思う人で 4.3%、健康ではない人で 34.2%となっており、健康ではないと思う人ほどストレスを感じている傾向がみられる。一方、「まったくない」は、とても健康だと思う人で 51.3%、健康ではない人で 15.8%となっている。（図表 3 2 - 2）

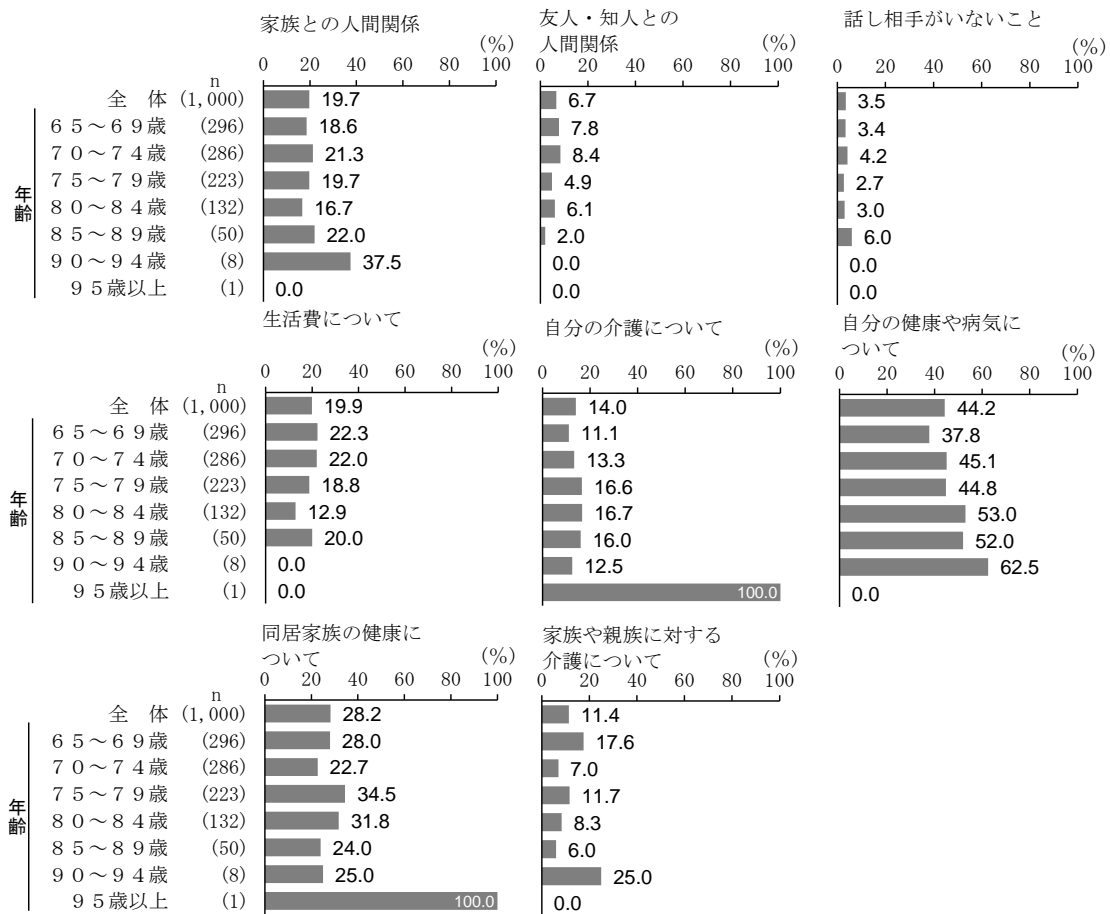
### (4) 悩みやストレスの原因

問33 (問32で「1」「2」と回答された方におたずねします。)

その原因は何ですか。(いくつでも○)

「自分の健康や病気について」が44.2%、「同居家族の健康について」が28.2%。

図表32-1 悩みやストレスの原因(年齢別)



悩みやストレスの原因について、「自分の健康や病気について」が44.2%と最も多く、次いで「同居家族の健康について」(28.2%)、「生活費について」(19.9%)の順になっている。

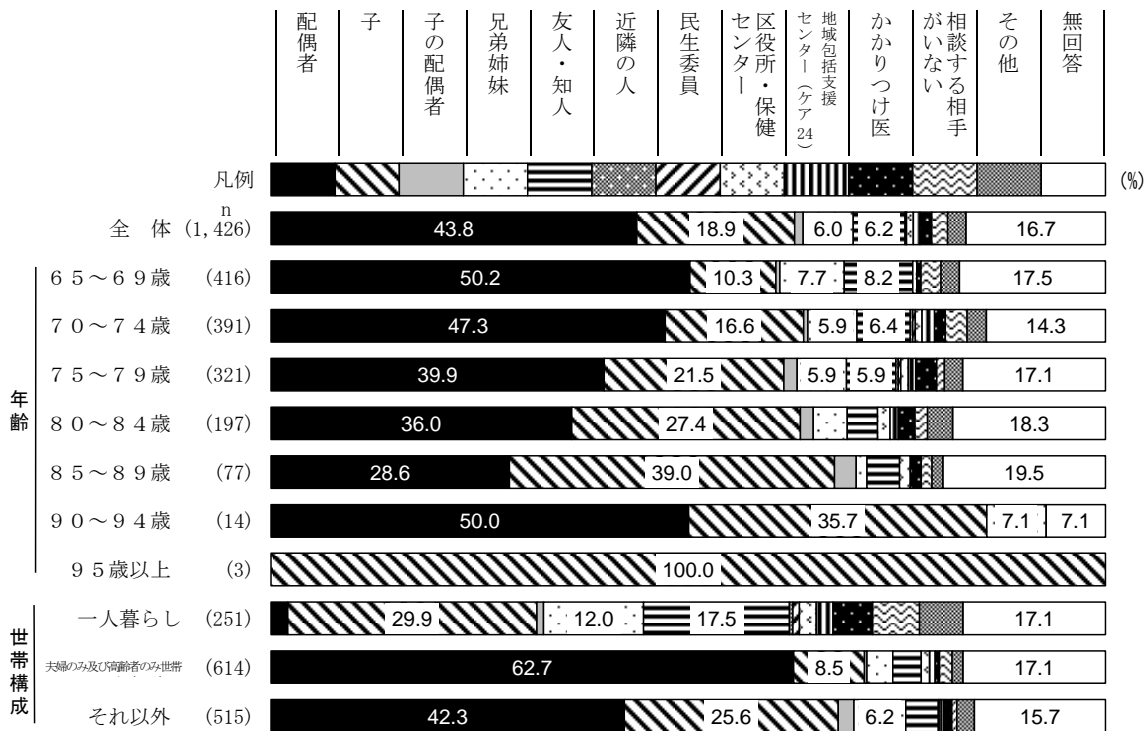
年齢別でみると、「自分の健康や病気について」が、65~69歳は37.8%、85~89歳は52.2%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表32-1)

### (5) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問34 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。(もっともよくあてはまるもの1つに○)

「配偶者」が43.8%、「子」が18.9%。年齢が高くなるにつれ「配偶者」が少なくなり、「子」が多くなる。

図表34-1 生活の中で不安に思ったときの相談先(年齢別/世帯構成別)



	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近隣の人	民生委員	区役所・保健センター	地域包括支援センター(ケア24)	かかりつけ医	相談する相手がいない	その他	無回答
全体 (1,426)	43.8	18.9	1.0	6.0	6.2	0.1	0.1	0.8	0.8	1.4	1.9	2.2	16.7
65~69歳 (416)	50.2	10.3	0.5	7.7	8.2	-	-	0.5	-	0.5	2.4	2.2	17.5
70~74歳 (391)	47.3	16.6	0.5	5.9	6.4	0.3	0.3	0.8	1.5	1.3	2.6	2.3	14.3
75~79歳 (321)	39.9	21.5	1.6	5.9	5.9	0.3	0.3	0.9	0.9	2.5	0.9	2.2	17.1
80~84歳 (197)	36.0	27.4	1.5	4.1	3.6	-	-	1.5	1.0	2.0	1.5	3.0	18.3
85~89歳 (77)	28.6	39.0	2.6	1.3	3.9	-	-	1.3	-	1.3	1.3	1.3	19.5
90~94歳 (14)	50.0	35.7	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1
95歳以上 (3)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一人暮らし (251)	2.0	29.9	0.8	12.0	17.5	0.4	0.8	2.0	2.0	4.8	5.6	5.2	17.1
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (614)	62.7	8.5	0.3	3.1	3.4	-	-	1.0	0.7	0.5	1.5	1.3	17.1
それ以外 (515)	42.3	25.6	1.9	6.2	3.9	0.2	-	0.2	0.4	0.8	0.6	2.1	15.7

生活の中で不安に思ったときの相談先について、「配偶者」が43.8%と最も多く、次いで「子」(18.9%)、「友人・知人」(6.2%)の順となっている。

年齢別でみると、「配偶者」が、65~69歳は50.2%、85~89歳は28.6%となっており、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。一方、「子」は、65~69歳は10.3%、85~89歳は39.0%と、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。

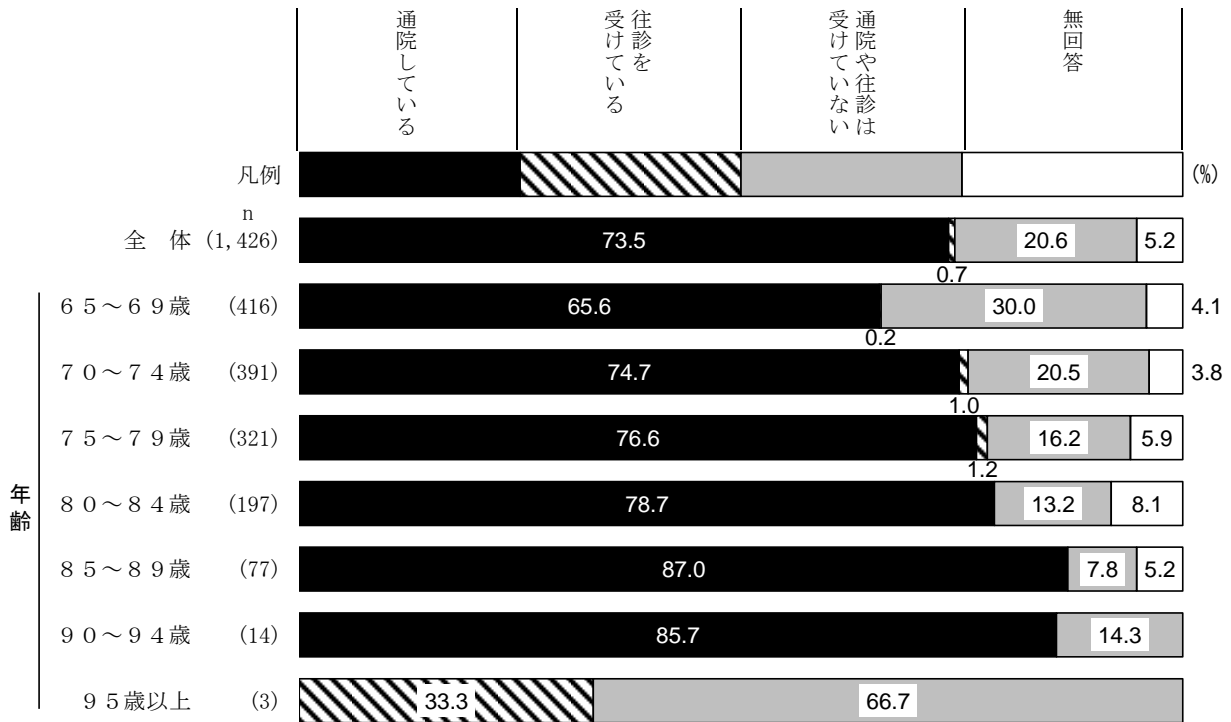
世帯構成別でみると、一人暮らしにおいては「子」が29.9%と最も多く、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯とそれ以外の世帯は「配偶者」が、それぞれ62.7%、42.3%と最も多くなっている。(図表34-1)

(6) 通院・往診の状況

問35 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が73.5%、「通院や往診は受けていない」が20.6%。

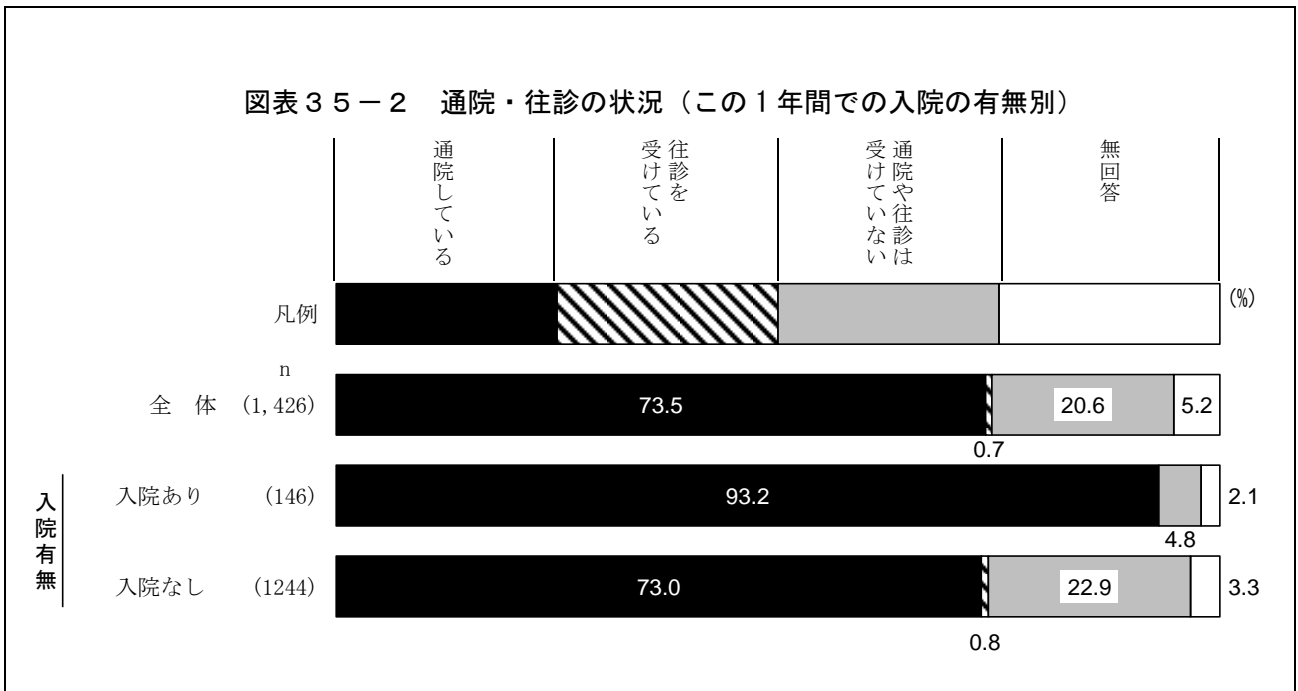
図表35-1 通院・往診の状況（年齢別）



通院・往診の状況について、「通院している」が73.5%と最も多く、次いで「通院や往診は受けていない」(20.6%)、「往診を受けている」(0.7%)の順となっている。

年齢別でみると、どの年齢でも「通院している」が多く、65～69歳では65.6%、85～89歳では87.0%と、年齢が高くなるにつれ「通院している」が多くなる傾向がみられる。一方、「通院や往診は受けていない」は、65～69歳では30.0%、85～89歳では7.8%と、年齢とともに少なくなる傾向がみられる。(図表35-1)

図表 3 5 - 2 通院・往診の状況（この1年間での入院の有無別）



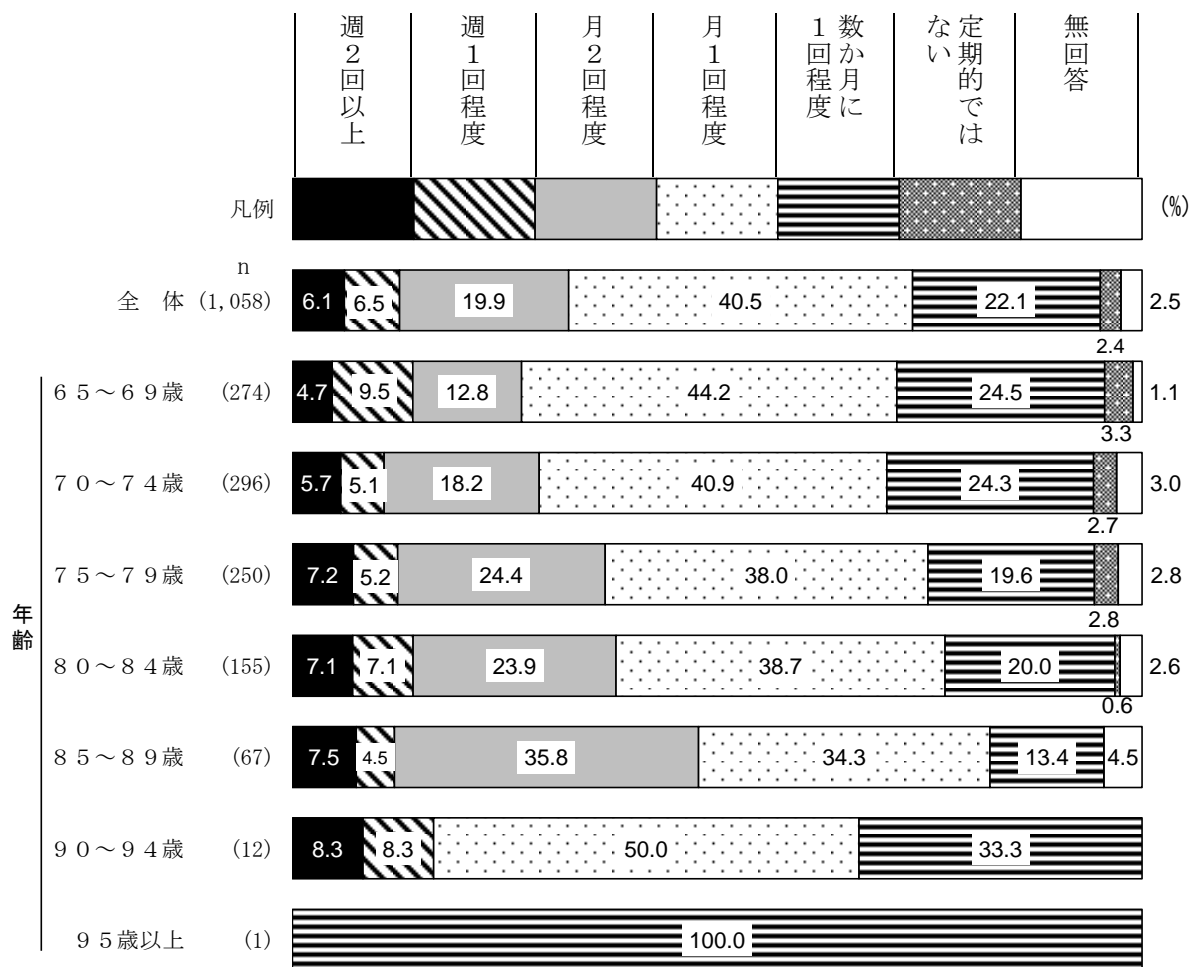
この1年間での入院有無別で見ると、入院したことがある人では、「通院している」が93.2%と、入院なしの人の73.0%よりも多くなっている。(図表35-2)

(7) 通院・往診の頻度

問36 (問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。) 通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)

「月1回程度」が40.5%、「数か月に1回程度」が22.1%。

図表36-1 通院・往診の頻度(年齢別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が40.5%と最も多く、次いで「数か月に1回程度」(22.1%)、「月2回程度」(19.9%)の順になっている。

年齢別でみると、「数か月に1回程度」65歳~69歳で24.5%、85~89歳で13.4%と、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。また、「定期的ではない」は、65歳~69歳で3.3%、85~89歳で0.0%であり、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。また月2回以上の頻度の占める割合は、65歳~69歳で約3割、85~89歳で約5割となっている。(図表36-1)

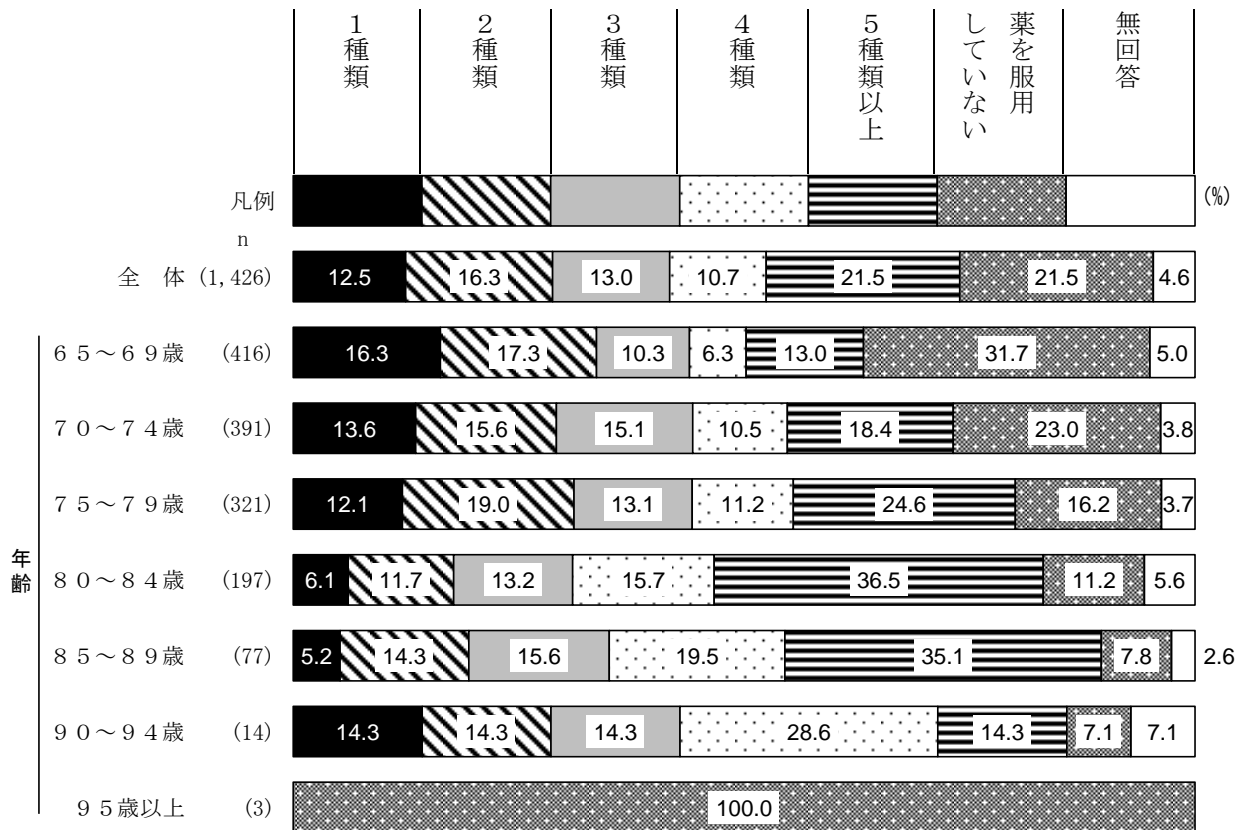


(8) 服用している薬の種類

問37 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。(1つに○)

「薬を服用していない」および「5種類以上」がいずれも21.5%。

図表37-1 服用している薬の種類(年齢別)



服用している薬の種類について、「薬を服用していない」および「5種類以上」がいずれも21.5%と多く、次いで2種類(16.3%)、「3種類」(13.0%)の順になっている。

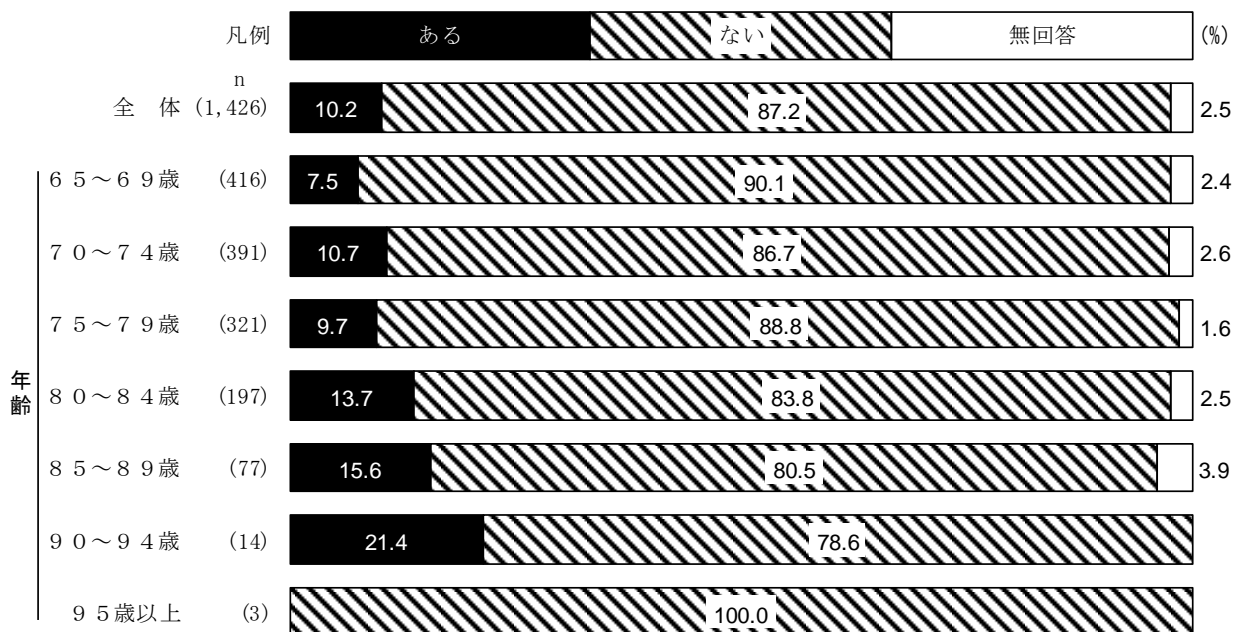
年齢別でみると、「薬を服用していない」は、65～69歳が31.7%、85～89歳は7.8%、「1種類」は65～69歳が16.3%、85～89歳は5.2%となっており、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。一方、「5種類以上」は、65～69歳が13.0%、85～89歳は35.1%となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表37-1)

### (9) 1年間での入院有無

問38 この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)

「ない」が87.2%、「ある」が10.2%。

図表38-1 1年間での入院有無（年齢別）



1年間での入院有無について、「ない」が87.2%と多く、「ある」は10.2%となっている。

年齢別で見ると、すべての年齢で「ない」が多く、およそ8割以上を占めている。一方、「ある」は、65～69歳では7.5%、85～89歳では15.6%と、おおむね年齢とともに割合が多くなっている。(図表38-1)

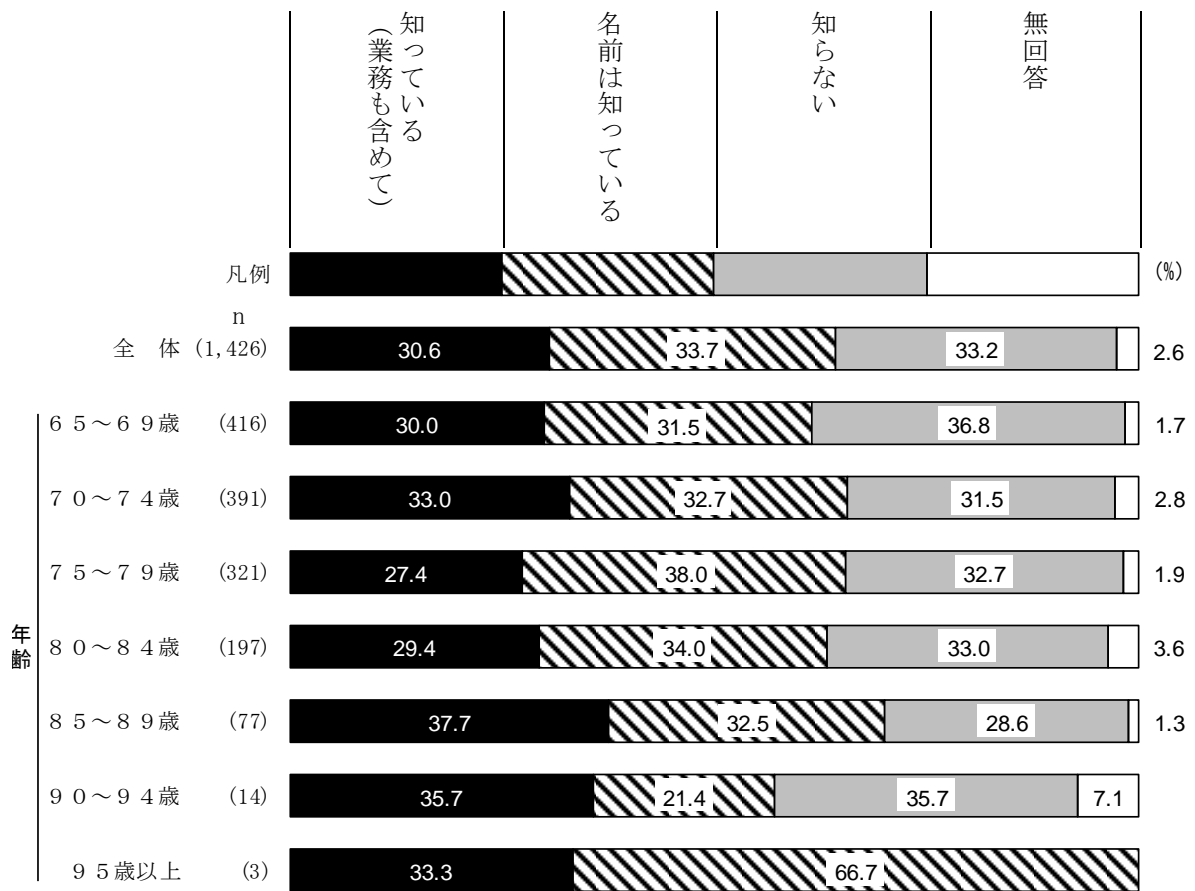
## 9. その他

### (1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度

問39 地域包括支援センター（ケア24）を知っていますか。（1つに○）

「名前は知っている」が33.7%、「知らない」が33.2%。

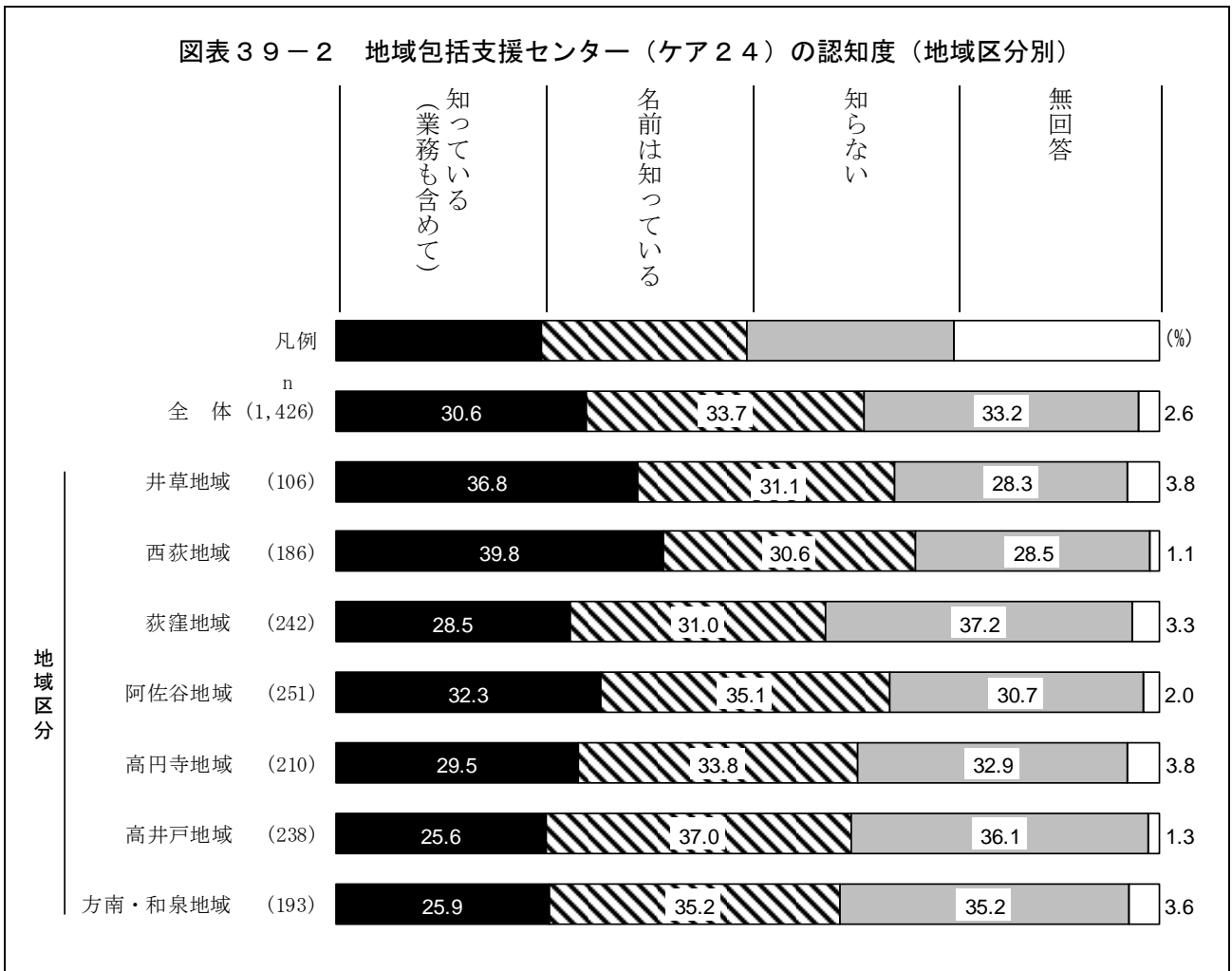
図表39-1 地域包括支援センター（ケア24）の認知度（年齢別）



地域包括支援センター（ケア24）の認知度について、「名前は知っている」が33.7%と最も多く、次いで「知らない」(33.2%)、「知っている（業務内容も含めて）」(30.6%)の順になっている。

年齢別でみると、「知っている（業務内容も含めて）」は、85～89歳が37.7%と、他の年齢に比べ最も多い。「知らない」が多いのは65～69歳で36.8%となっている。（図表39-1）

図表 39-2 地域包括支援センター（ケア24）の認知度（地域区分別）



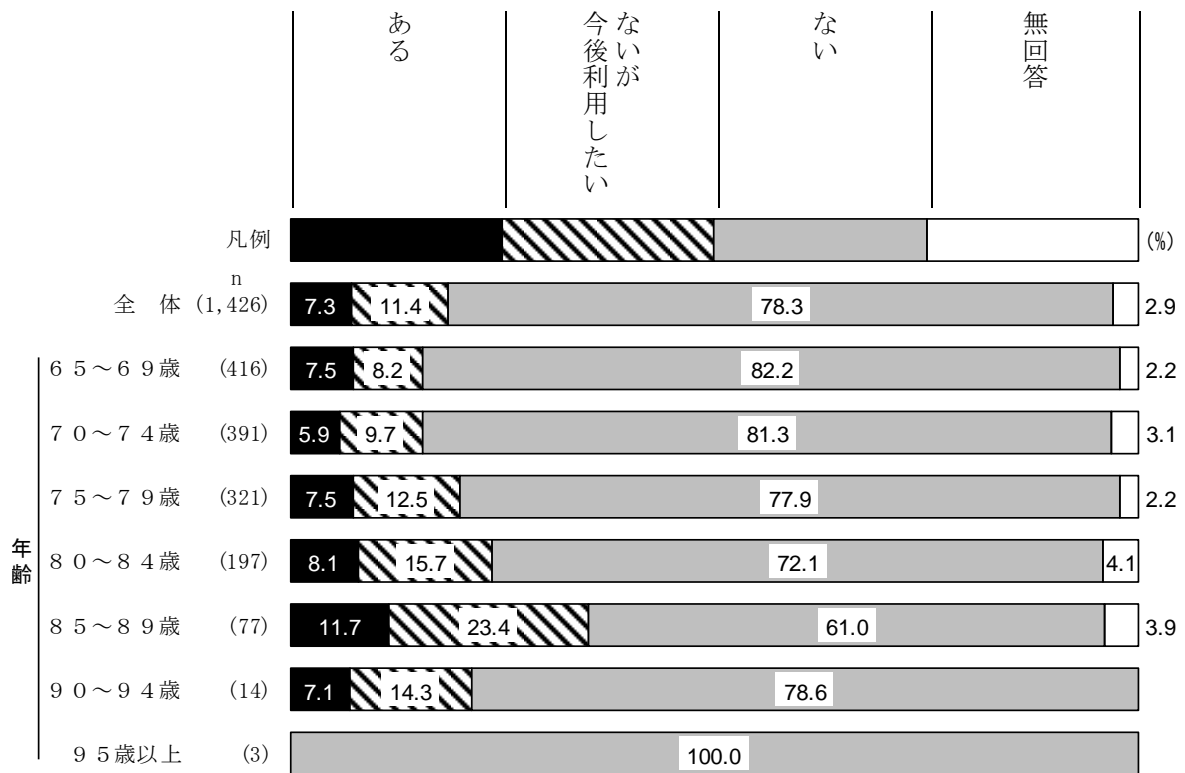
地域区分別でみると、西荻地域は、「知っている（業務内容も含めて）」が 39.8%と、他の地域よりも多くなっている。一方、荻窪地域は、「知らない」が 37.2%と、他の地域よりも多くなっている。（図表 39-2）

(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無

問40 地域包括支援センター（ケア24）を利用したことはありますか。（1つに○）

「ない」が78.3%、「ないが今後利用したい」が11.4%。

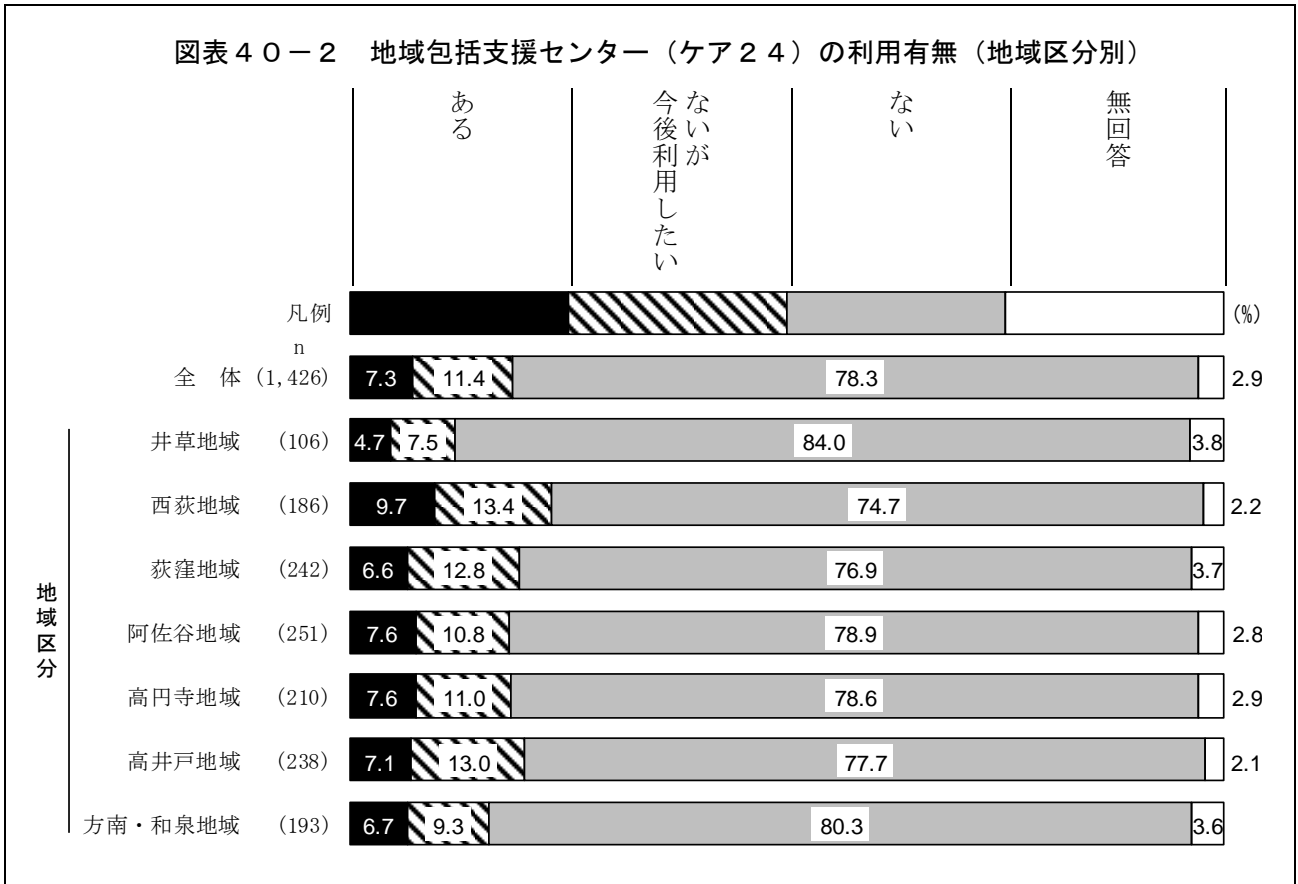
図表40-1 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無（年齢別）



地域包括支援センター（ケア24）の利用有無について、「ない」が78.3%で最も多く、次いで「ないが今後利用したい」（11.4%）、「ある」（7.3%）の順になっている。

年齢別でみると、「ある」は65～69歳が7.5%、85～89歳が11.7%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。また、「今後利用したい」は65～69歳が8.2%、85～89歳が23.4%と、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。一方、「ない」は65～69歳が82.2%、85～89歳が61.0%と、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。（図表40-1）

図表 40-2 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無（地域区分別）



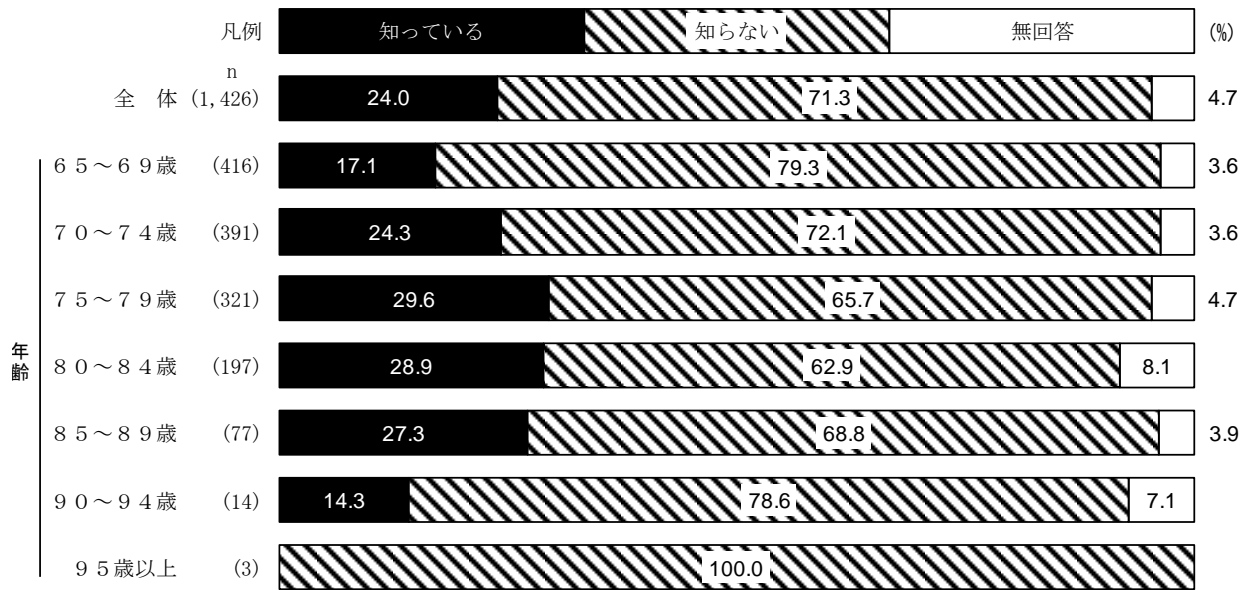
地域区分別では、西荻地域は、「ある」が9.7%、「今後利用したい」が13.4%と、他の地域に比べ多くなっている。一方、井草地域は「ない」が84.0%と、他の地域に比べ多くなっている。(図表40-2)

### (3) 長寿応援ポイント事業の認知度

問4-1 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

「知らない」が71.3%、「知っている」が24.0%。

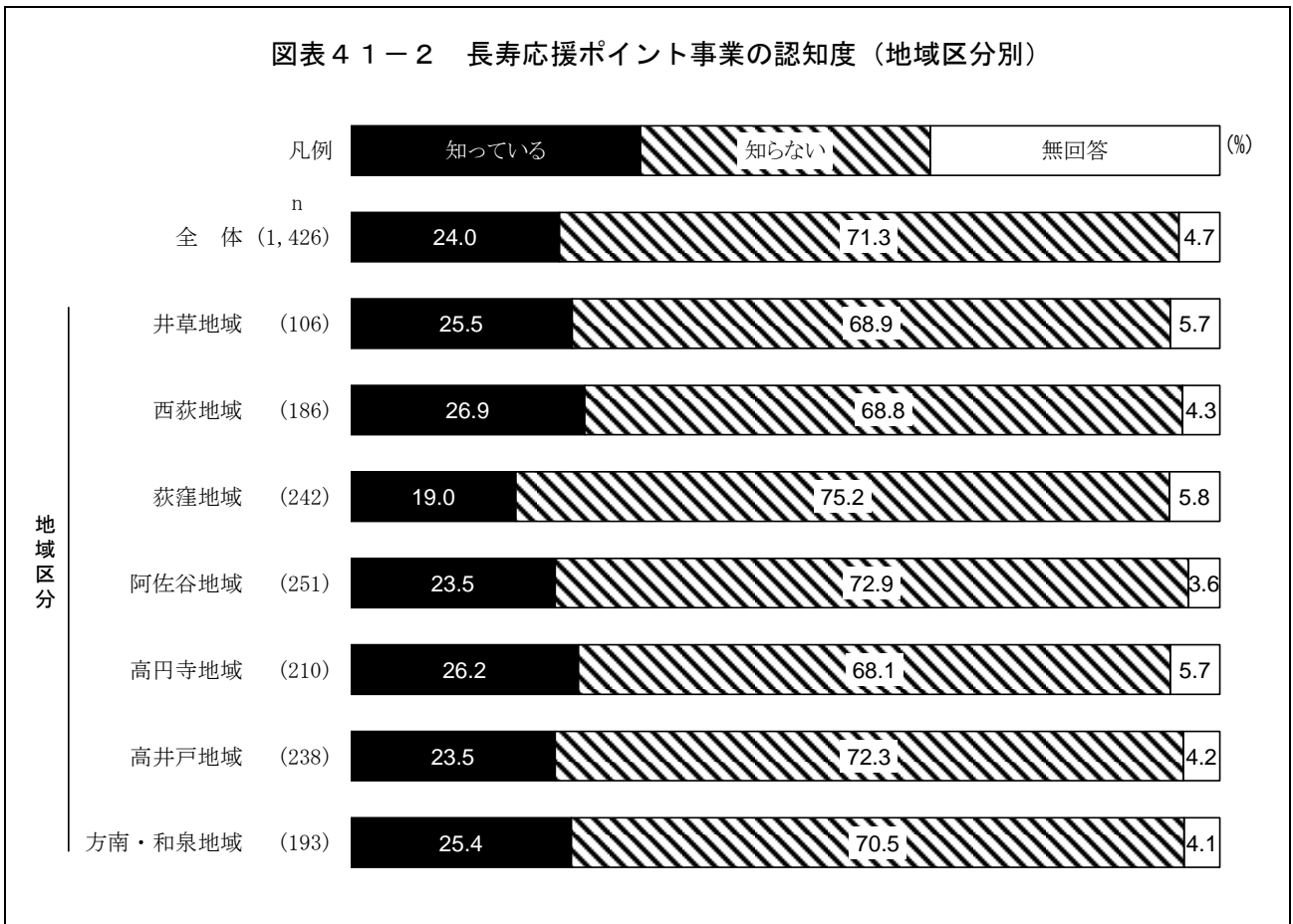
図表4-1-1 長寿応援ポイント事業の認知度（年齢別）



長寿応援ポイント事業の認知度について、「知らない」が71.3%と最も多く、次いで「知っている」(24.0%)の順となっている。

年齢別でみると、「知っている」は、75～79歳が29.6%と最も多く、65～69歳が17.1%と最も少なくなっている。(図表4-1-1)

図表 4 1 - 2 長寿応援ポイント事業の認知度（地域区分別）



地域区分別でみると、「知っている」は西荻地域で 26.9%と他の地域に比べ多く、荻窪地域で 19.0%と他の地域に比べ少なくなっている。(図表 4 1 - 2)



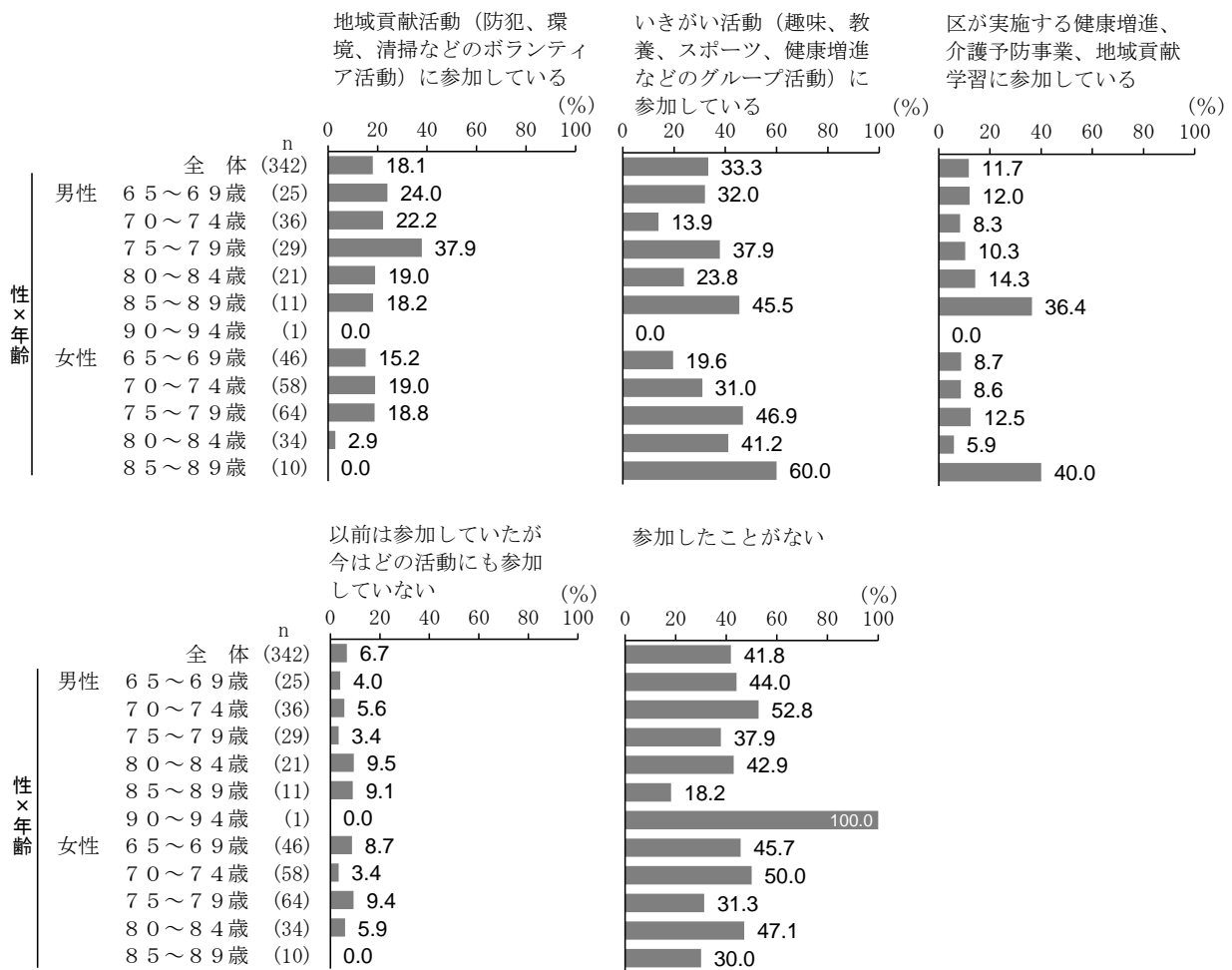
### (4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無

問42 (問41で「1」と回答された方におたずねします。)

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。(いくつでも○)

「参加したことがない」が41.8%、「いきがい活動に参加している」が33.3%。

図表42-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無(性×年齢別)

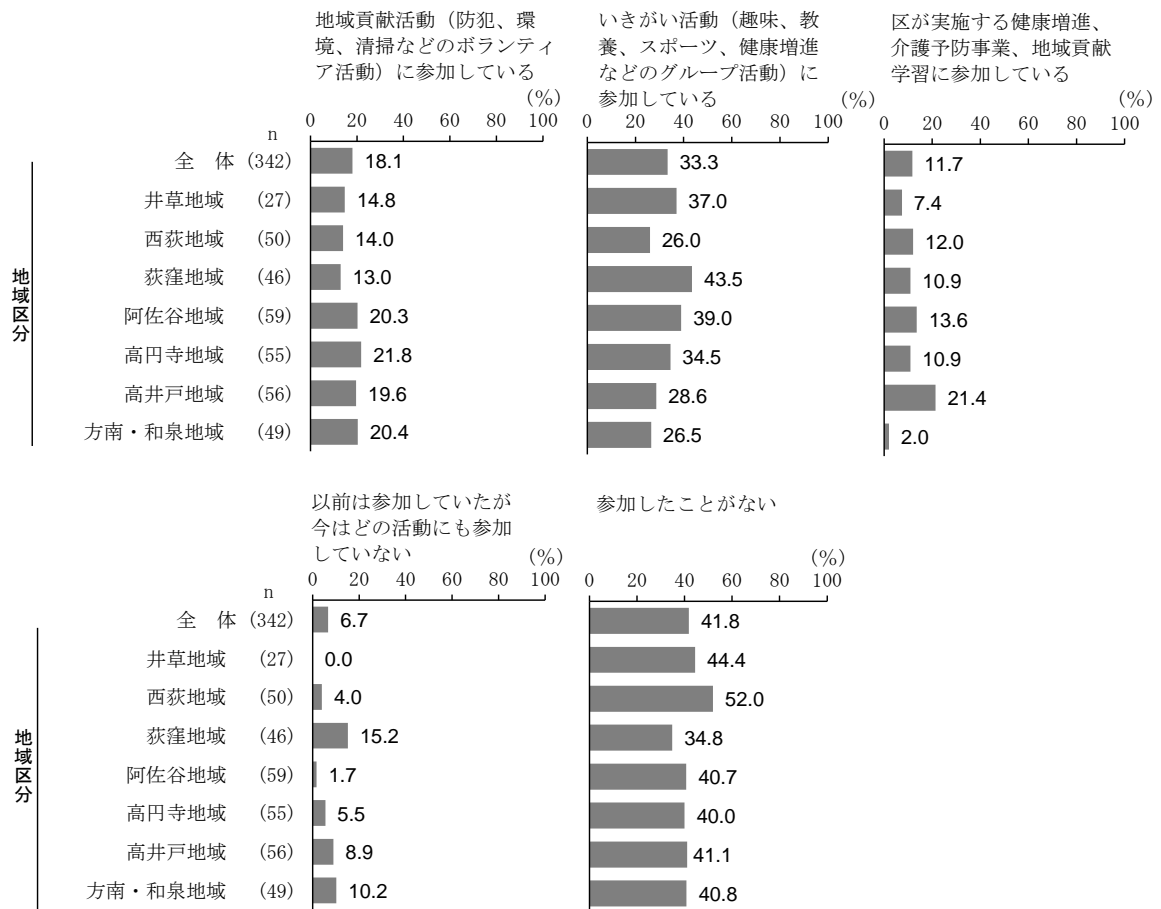


※男性95歳以上、及び、女性90歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無について、「参加したことがない」が41.8%と最も多く、次いで「いきがい活動に参加している」(33.3%)、「地域貢献活動に参加している」(18.1%)の順になっている。

性×年齢別でみると、「いきがい活動に参加している」は、女性の65~69歳が19.6%、80~84歳が41.2%となっており、女性において、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表42-1)

図表 4 2 - 2 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無（地域区分別）



地域区分別でみると、「いきがい活動に参加している」は、荻窪地域は 43.5%と、他の地域に比べて多く、西荻地域は 26.0%と、他の地域に比べ少ない。「参加したことがない」は、西荻地域の 52.0%が多くなっている。「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している」は、高井戸地域は 21.4%と他の地域に比べて多くなっている。（図表 4 2 - 2）

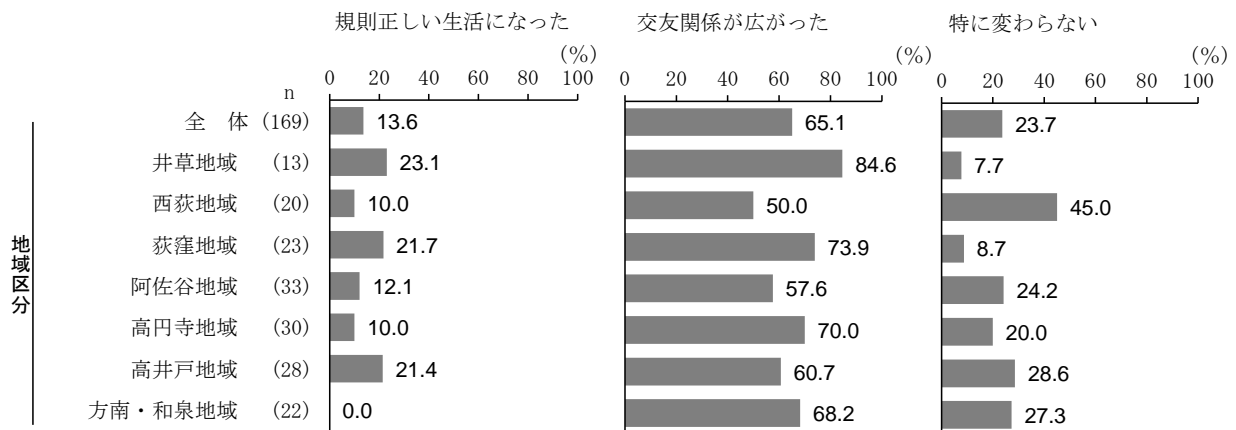
(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化

問43 (問42で「1」～「3」と回答された方におたずねします。)

参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

「交友関係が広がった」が65.1%、「特に変わらない」が23.7%。

図表43-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化(地域区分別)



長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化について、「交友関係が広がった」が65.1%、「特に変わらない」が23.7%となっている。

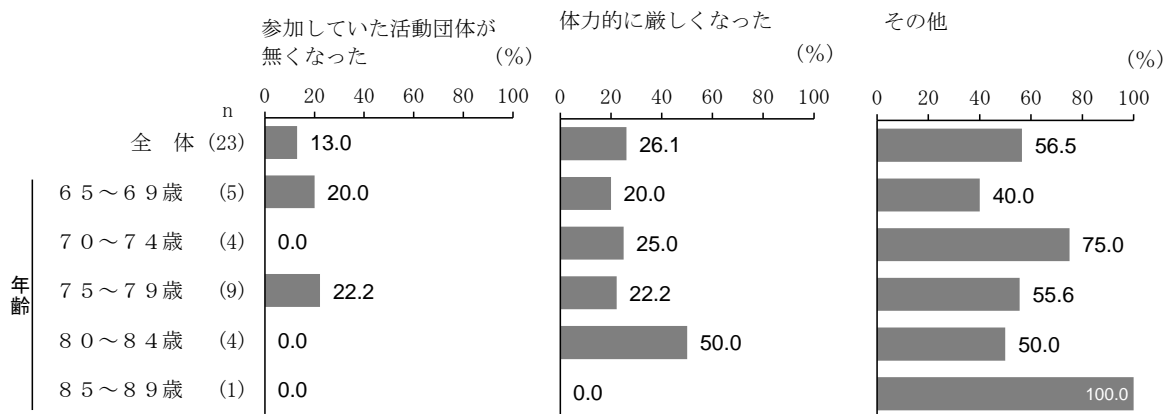
地域区分別でみると、井草地域は「規則正しい生活になった」が23.1%、「交友関係が広がった」が84.6%と、他の地域に比べ多くなっており、西荻地域は「特に変わらない」が45.0%と、他の地域に比べ多くなっている。(図表43-1)

## (6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由

問44 (問42で「4」と回答された方におたずねします。)  
今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

「体力的に厳しくなった」が26.1%、「参加していた活動団体が無くなった」が13.0%。

図表44-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由(年齢別)



※90歳以上は該当者がいなかったため、表示していない

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由について、「体力的に厳しくなった」が26.1%、「参加していた活動団体が無くなった」が13.0%、その他が56.5%となっている。

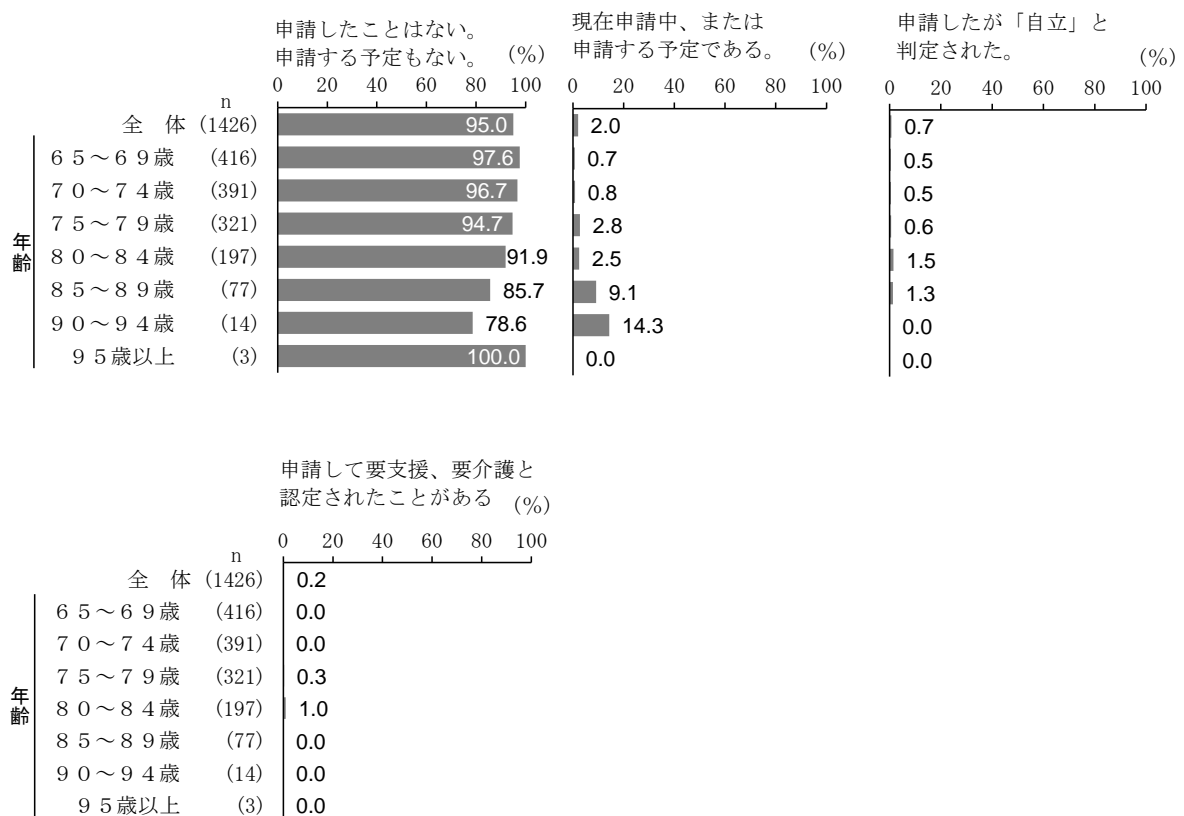
年齢別については、各属性別の回答者数が少ないため、参考としてグラフの記載にとどめることとする。(図表44-1)

## (7) 介護保険の認定

問45 あなたはこれまでに介護保険の認定を申請したことがありますか。(いくつでも○)

「申請したことはない。申請する予定もない」が95.0%、「現在申請中、または申請する予定である」が2.0%。

図表45-1 介護保険の認定（年齢別）



介護保険の認定について、「申請したことはない。申請する予定もない」が95.0%と最も多く、次いで「現在申請中、または申請する予定である」(2.0%)、「申請したが「自立」と判定された」(0.7%)となっている。

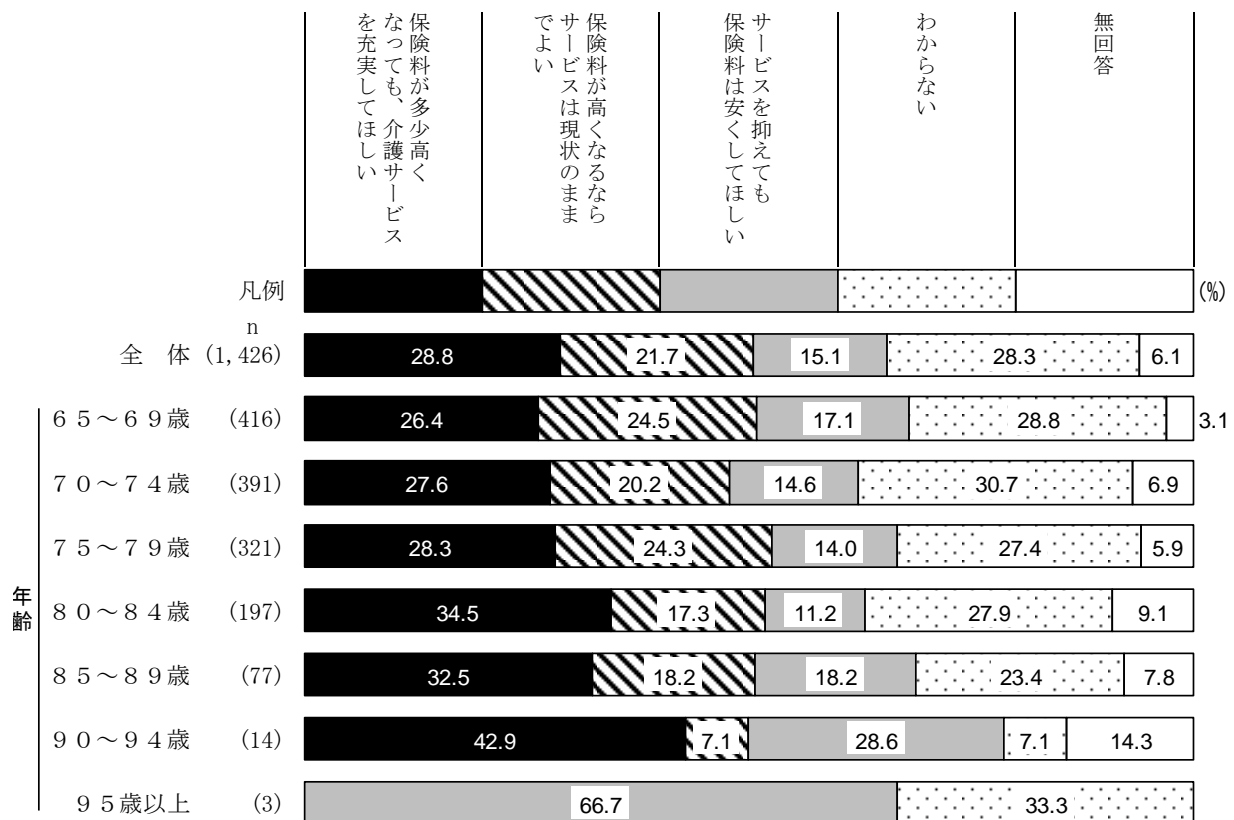
年齢別でみると、「申請したことはない。申請する予定もない」が、65～69歳は97.6%、85～89歳は85.7%となっており、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。一方、「現在申請中、または申請する予定である」が、65～69歳は0.7%、85～89歳が9.1%となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表45-1)

(8) 介護保険料とサービスのあり方について

問46 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか  
(1つに○)

「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が28.8%、「わからない」が28.3%。

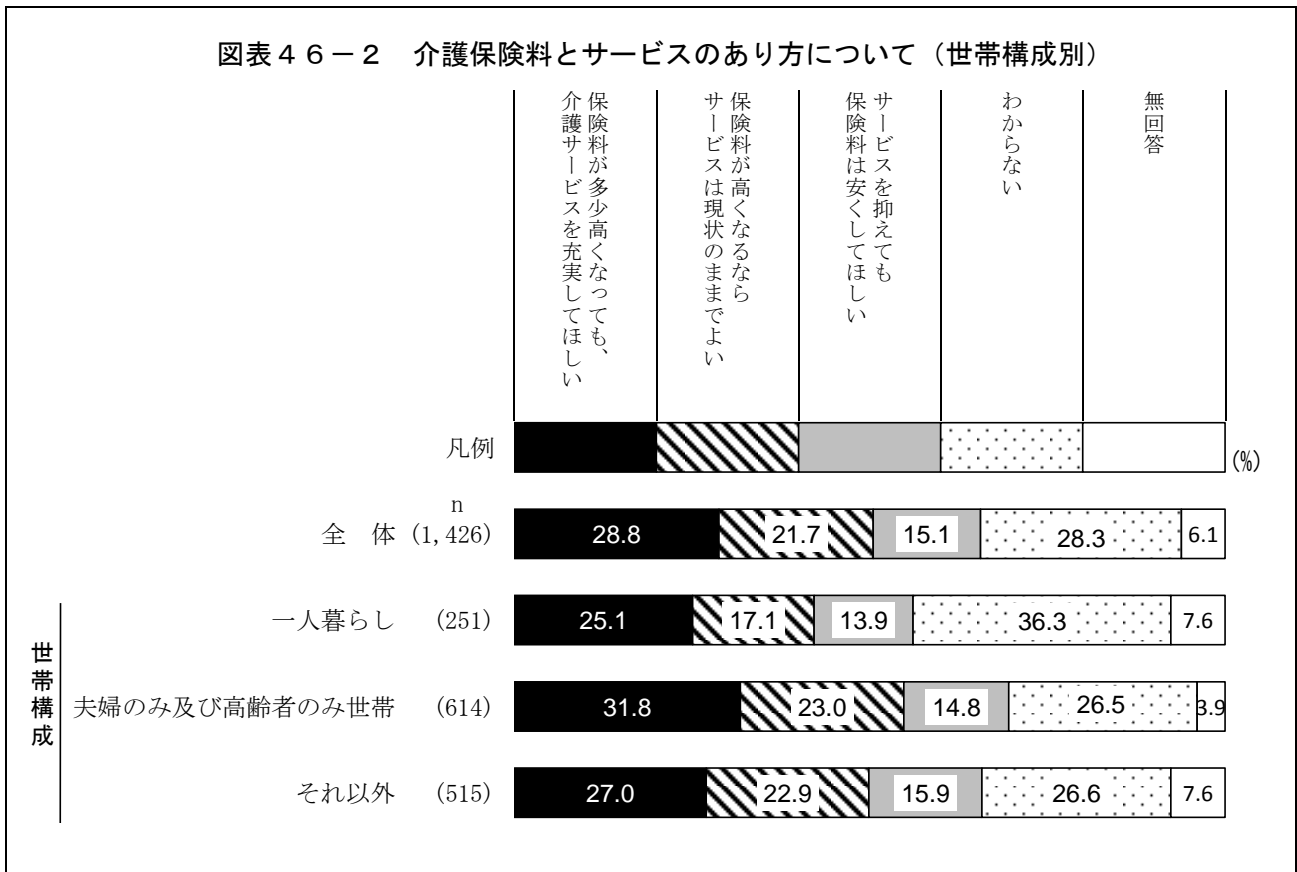
図表46-1 介護保険料とサービスのあり方について（年齢別）



介護保険料とサービスのあり方について、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が28.8%と最も多く、「わからない」(28.3%)、「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」(21.7%)の順になっている。

年齢別でみると、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が、65～69歳は26.4%、85～89歳は32.5%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表46-1)

図表46-2 介護保険料とサービスのあり方について（世帯構成別）



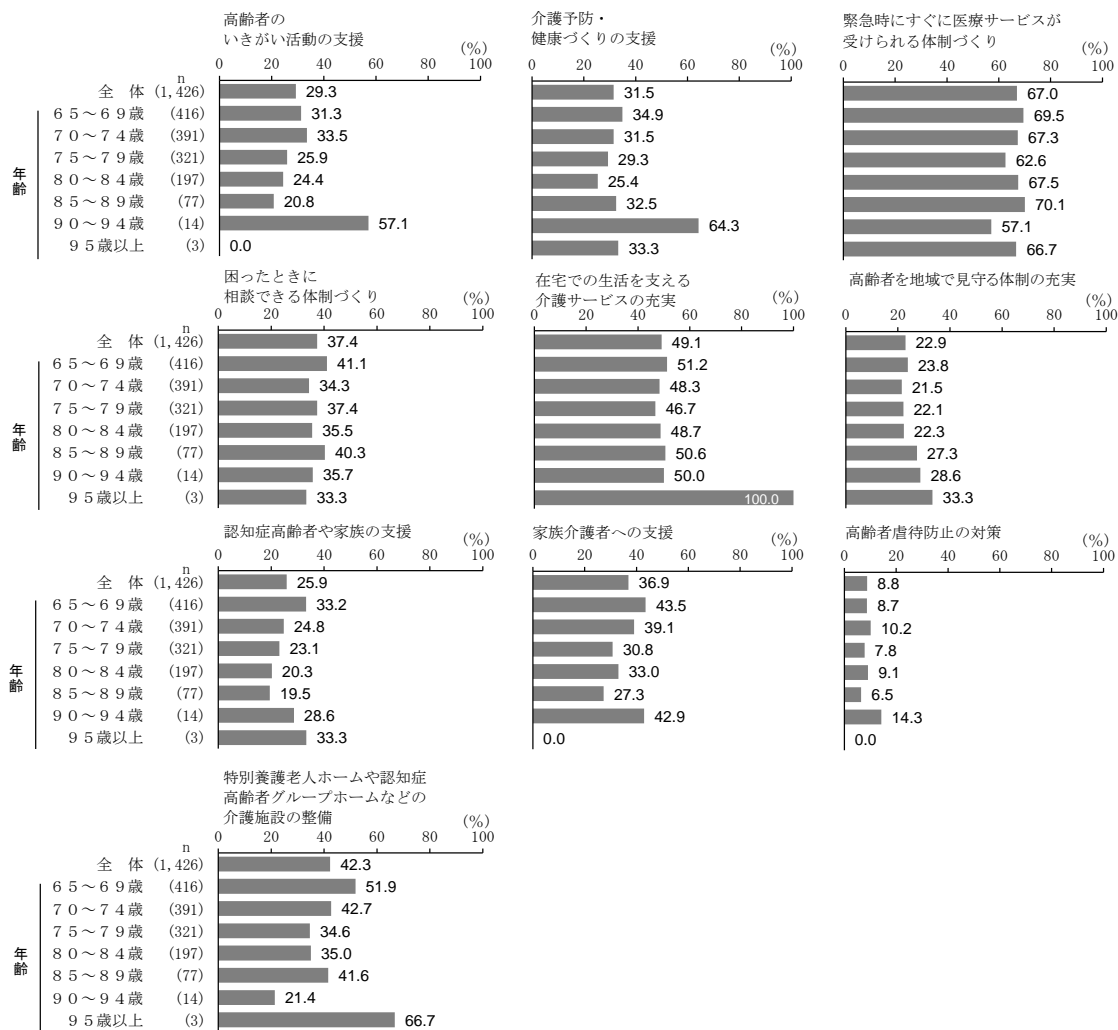
世帯構成別でみると、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯は「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が31.8%、「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」が23.0%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。一方、一人暮らしは「わからない」が36.3%、それ以外は「サービスを抑えても保険料は安くしてほしい」が15.9%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。（図表46-2）

## (9) 今後充実して欲しい高齢者施策について

問47 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。(いくつでも○)

「緊急時にすぐ医療サービスが受けられる体制づくり」が67.0%、「在宅での生活を支える介護サービスの充実」が49.1%。

図表47-1 今後充実して欲しい高齢者施策について（年齢別）

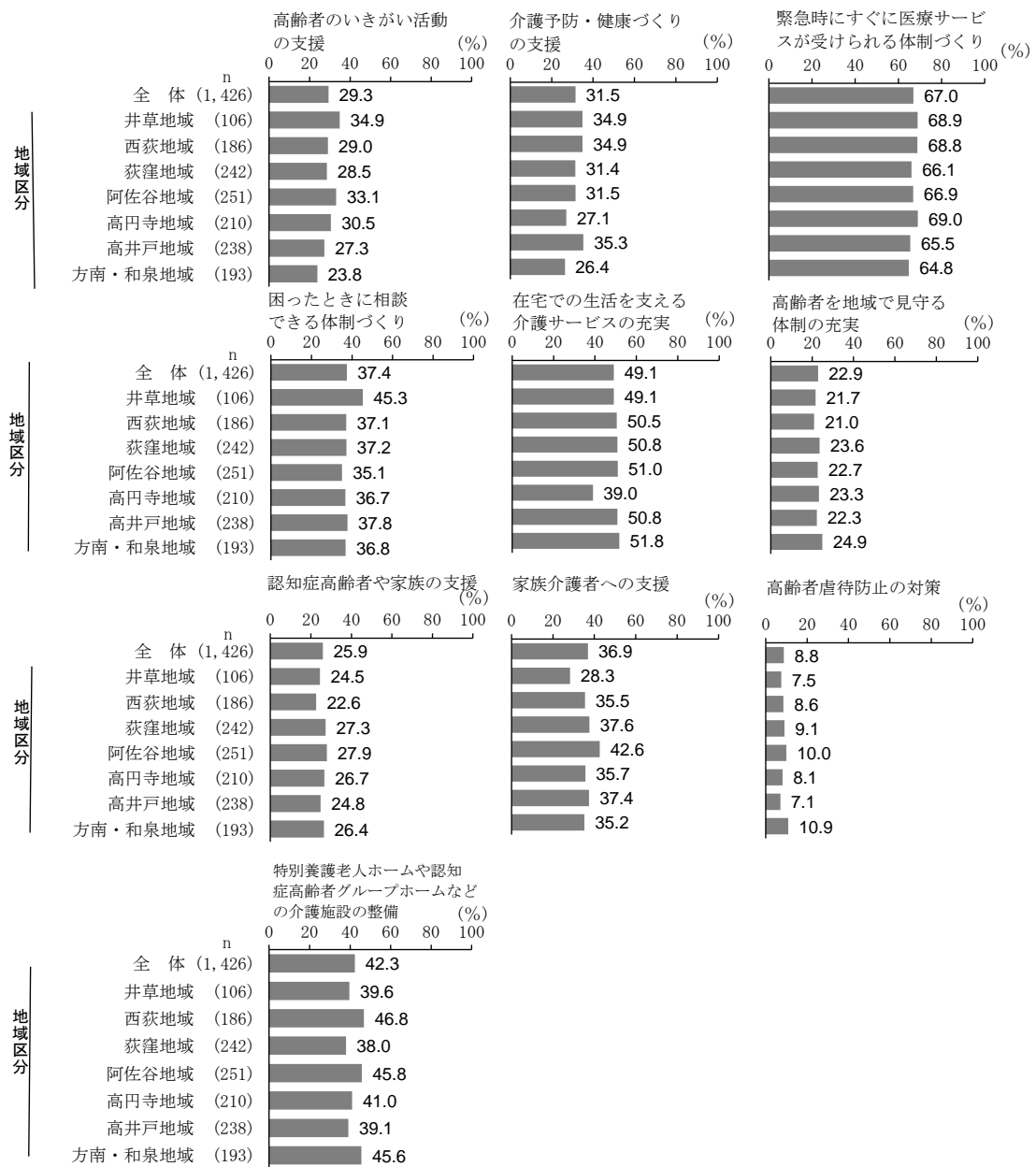


今後充実して欲しい高齢者施策について、「緊急時にすぐ医療サービスが受けられる体制づくり」が67.0%と最も多く、次いで「在宅での生活を支える介護サービスの充実」(49.1%)、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備」(42.3%)の順となっている。

年齢別でみると、「高齢者の生きがい活動の支援」は、65～69歳が31.3%、85～89歳が20.8%、「認知症高齢者や家族の支援」は、65～69歳が33.2%、85～89歳が19.5%、「家族介護者への支援」は、65～69歳が43.5%、85～89歳が27.3%、となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表47-1)



図表 4 7 - 2 今後充実して欲しい高齢者施策について（地域区分別）



地域区分別でみると、「緊急時にすぐ医療サービスが受けられる体制づくり」は、高円寺地域が 69.0% と他の地域に比べ多くなっており、方南・和泉地域が 64.8% と他の地域に比べ少なくなっている。一方、「在宅での生活を支える介護サービスの充実」は、高円寺地域が 39.0% と他の地域に比べ少なくなっている。「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備」は、西荻地域が 46.8% と他の地域に比べ多くなっており、荻窪地域が 38.0% と他の地域に比べ少なくなっている。(図表 4 7 - 2)

## 10. 社会的孤立の状況について

問7 親族とどのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡していますか

問14 友人の家を訪ねていますか

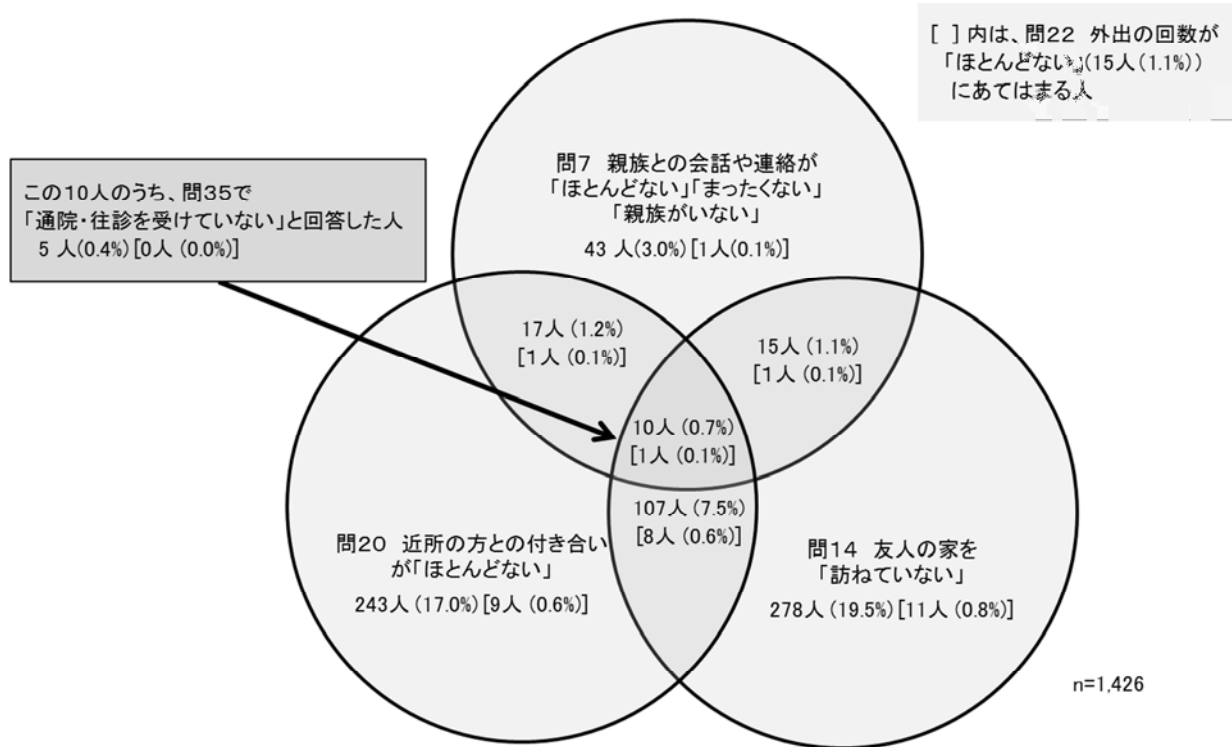
問20 近所の方と会話をするなど、お付き合いはありますか

問22 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）

問35 現在、通院や往診を受けていますか

親族の方との会話や連絡がなく、友人宅の訪問、近所の方との付き合いがない人は 10 人 (0.7%) となっている。

図表 d-1 社会的孤立の状況について



親族の方との会話や連絡の頻度（問7）、友人の家への訪問の有無（問14）、近所の方との付き合いの頻度（問20）、外出の回数（問22）、通院・往診の有無（問35）の社会的孤立にかかわる5項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者1,426人のうち、親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いの3項目がすべてない人は10人(0.7%)であり、さらに外出の回数がほとんどない人は1人(0.1%)、通院・往診を受けていない人は5人(0.4%)となっている。5項目すべてがない人は見られない。(図表d-1)

## 1.1. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、313人からの回答があった。記載内容を区分し、いくつかの意見について以下に示す。

### 【施設の基盤整備について (38件)】

- ・自宅での生活が難しくなった時に、低所得者であってもすぐに入れる「特養ホーム」をつくって欲しい。
- ・一番の不安は住宅である。みどりの里のような住宅を増やしてほしい。サービス付き高齢者住宅の募集があったが、家賃が高すぎると感じた。単身で低所得者が入居できる住宅を増やしてほしい。

### 【福祉施策について (35件)】

- ・国の政策は「自宅で」という面を強くしているが、本当の福祉に逆行していると思う。実際に自宅で介護すると「老々介護」となり、悲劇の原因となっている。介護は社会全体で行うべき。
- ・自分でできることを自分でやっていくことが基本だと思う。それができない人（心身的、経済的）に共助、公的な援助をしてほしい。

### 【情報、相談について (29件)】

- ・公助ではなく、自助、共助の努力が求められるだろう。そのためにも実のある相談事業の強化が必要になると思う。
- ・身近に親族、相談にのってくれる友人、又は実際に助けてくれる友人知人がいない独身高齢者をしっかり把握し、定期的にケアをしてあげて欲しい
- ・インターネットとかITだけに頼らない情報、お知らせ、サービスを今後も続けて欲しい。

### 【医療、医療費、病院について (20件)】

- ・24時間、緊急時にすぐ医療を受けられる体制を整えてほしい。

### 【生きがい、社会参加について (12件)】

- ・高齢者自身が運営し、活動をしていけるような支援サービスを、今後も継続して提供してほしい。（活動している団体が有しているスキル、情報などを、他のグループが活用できるようにする等。）
- ・最近プライバシーや個人情報等、あまりにも個を重視する傾向が強い。相互信頼を深める施策をすすめられないだろうか。
- ・高齢者の集まりでなく、高齢者と若者が一緒になって何かする場、世代の距離間がなくなる場を多く作ってほしいと思う。

### 【今後の介護について (24件)】

- ・基本的には身体が多少不自由になっても、買物サービスや自宅で医療サービスが受けられれば良いと思う。老々介護への不安もある。
- ・介護は、必要になった時に考えればと軽く考える事が多いが、今からきちんと先を見据えた知識を持つことも大事だと最近特に思う。わかりやすく教えてほしい。

【介護保険制度について (17 件)】

- ・高齢者が高齢者を介護する家族が増えていることに対し、家族介護者への支援の充実が必要だと思う。

【サービス、スタッフの質について (16 件)】

- ・家族との同居が理由でサービスを受けられないのは、納得がいかない。
- ・できるだけ自宅で過ごしたいので、ホームヘルプサービスの充実を希望する。

【介護保険料について (12 件)】

- ・介護保険サービスの未利用者には、祝い金または保険料減額のような形で還元してほしい。
- ・介護保険の趣旨は理解しているが、保険料が高く負担感が大きい。

【健康増進、予防について (16 件)】

- ・介護予防の充実が大事だと思う。

【在宅サービスについて (6 件)】

- ・特に認知症の人を地域で見守る体制や家族への支援、ショートステイの充実などの施策を充実してほしい。

【高齢者という認識はない (14 件)】

- ・今は元気に過ごしているので、介護が必要になった時のことがイメージできない。

【経済的負担等について (11 件)】

- ・年金受給額が少なく、医療費負担の増加が心配。

【その他 (59 件)】

その他、アンケートに関するもの、上記以外の制度・施策に関するものなどの意見が見られた。

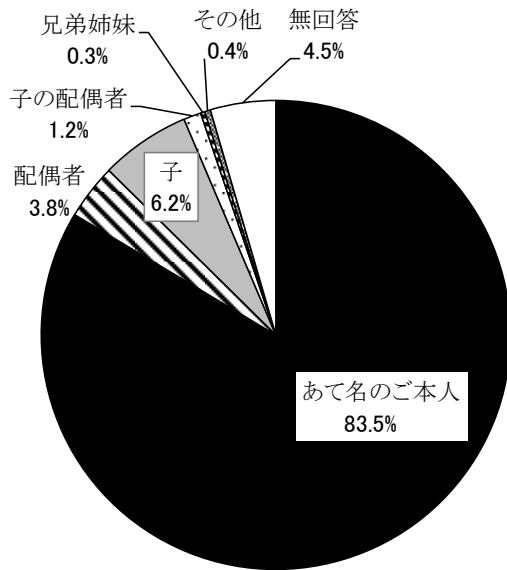
# 1. 回答者の属性

## (1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

### ○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

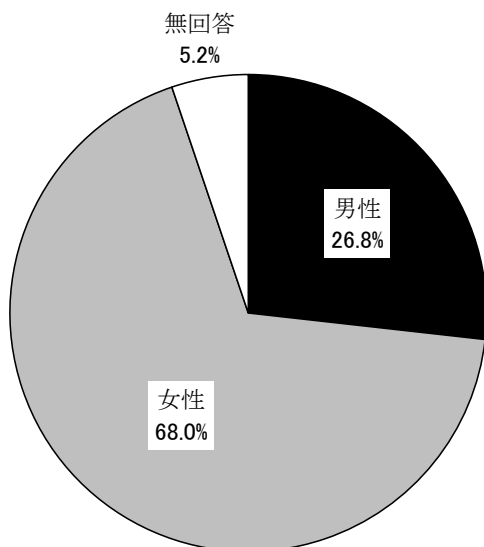


	基数	構成比[%]
本人	1211	83.5
配偶者	55	3.8
子	90	6.2
子の配偶者	18	1.2
兄弟姉妹	5	0.3
その他	6	0.4
無回答	65	4.5
全体	1450	100.0

### ○対象者の性別

問2 あなたの性別は。

図表2-1 対象者の性別

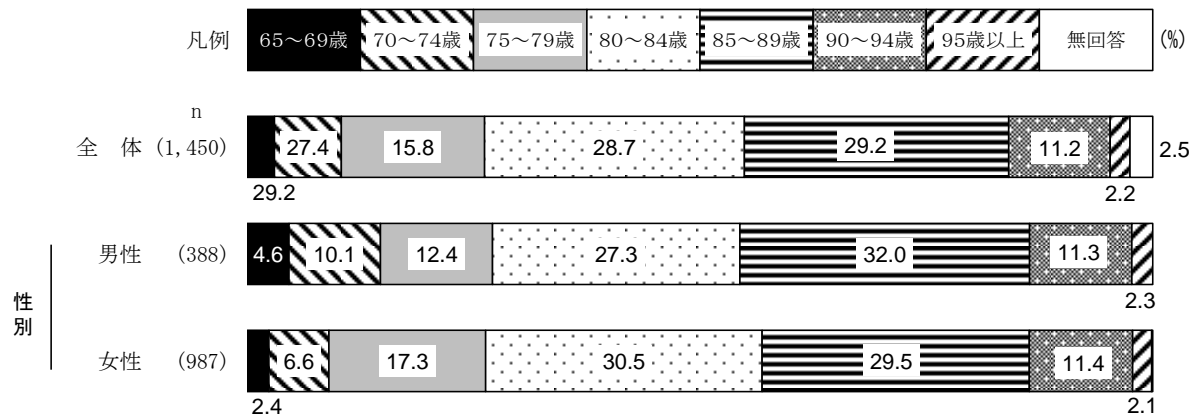


	基数	構成比
男性	388	26.8
女性	987	68.0
無回答	75	5.2
全体	1450	100.0

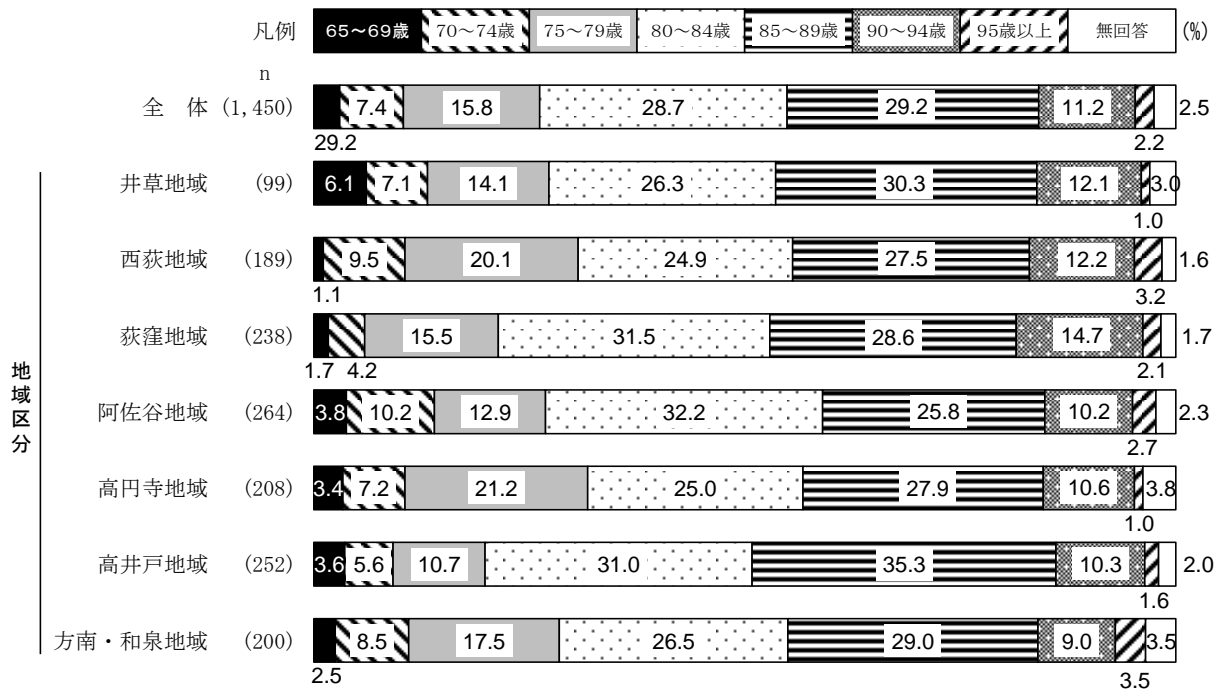
○対象者の年齢

問3 あなたの年齢は。

図表3-1 対象者の年齢(性別)



図表3-2 対象者の年齢(地域区分別)

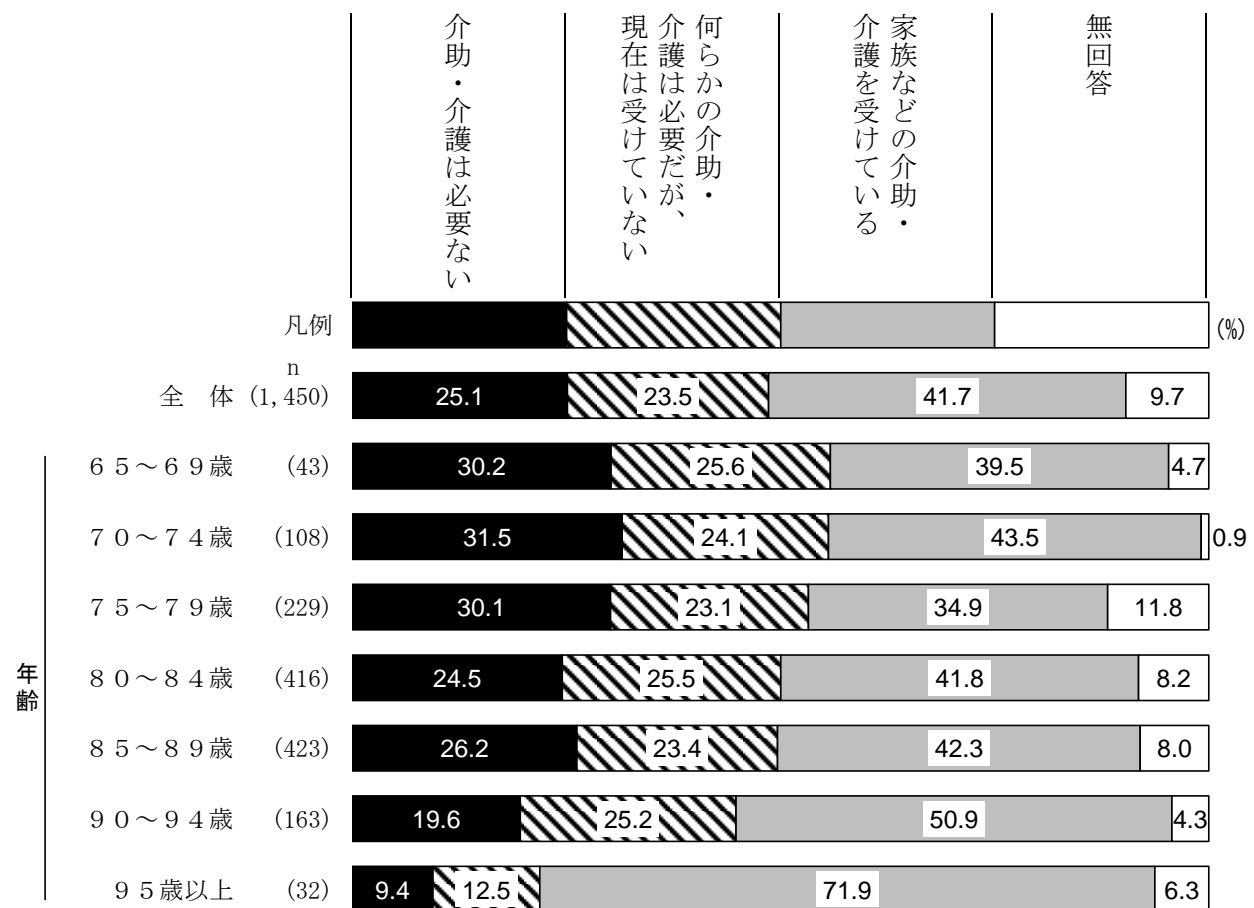


(2) 介助・介護の必要有無

問4 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1つに○)

「家族などの介助・介護を受けている」が41.7%、「介助・介護は必要ない」が25.1%。

図表4-1 介助・介護の必要有無(年齢別)



介助・介護の必要有無・状況について、「家族などの介助・介護を受けている」が41.7%と最も多く、次いで「介助・介護は必要ない」(25.1%)、「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」(23.5%)の順となっている。

年齢別でみると、「介助・介護は必要ない」は、70～74歳では31.5%と最も多く、95歳以上では9.4%と少なくなっている。「家族などの介助・介護を受けている」は、75～79歳では34.9%、95歳以上では71.9%と、75歳以上においては年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表4-1)

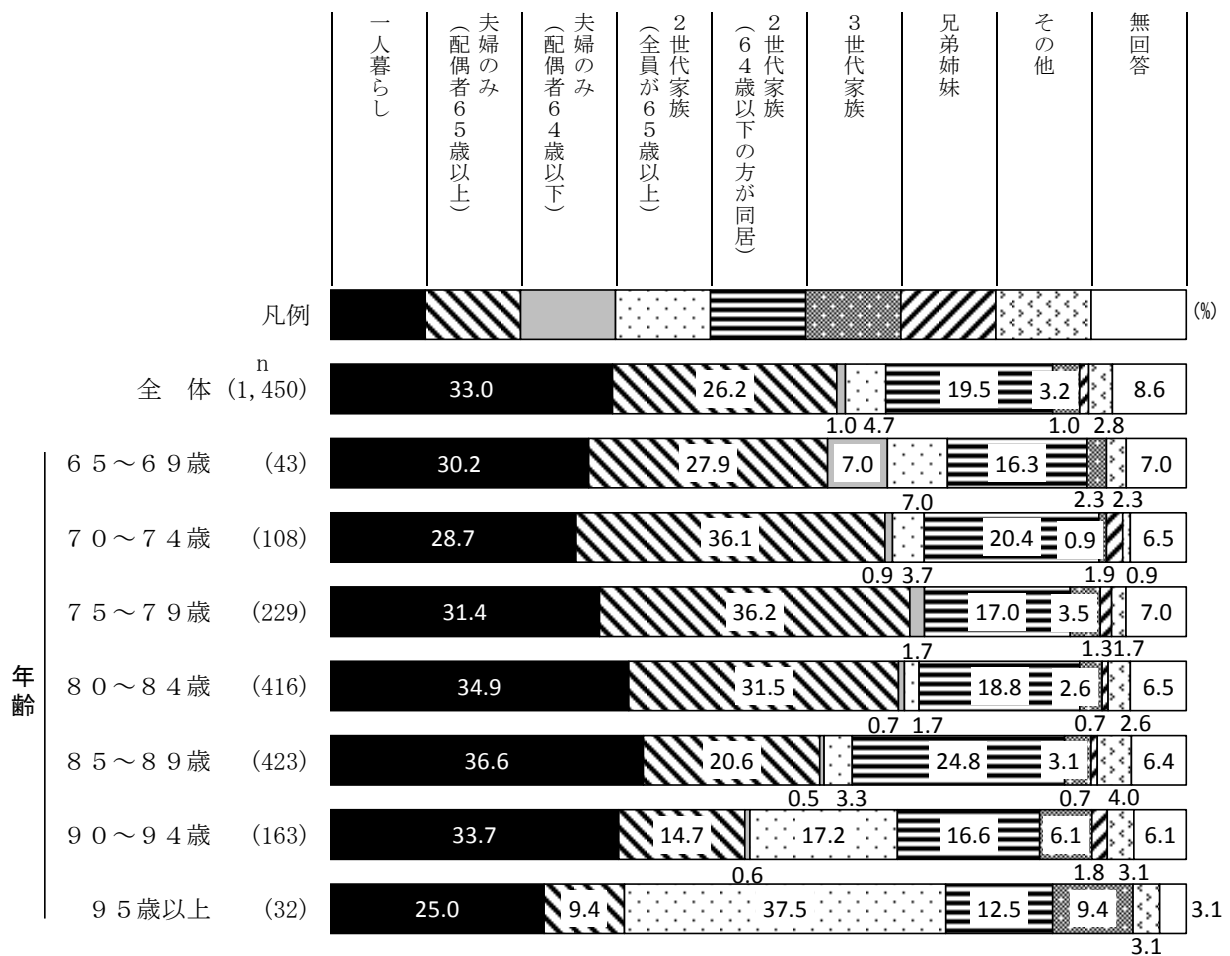
## 2. 家族・生活の状況について

### (1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください(1つに○)

「一人暮らし」が33.0%、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が26.2%。「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」は、75歳以上で年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

図表5-1 家族構成(年齢別)

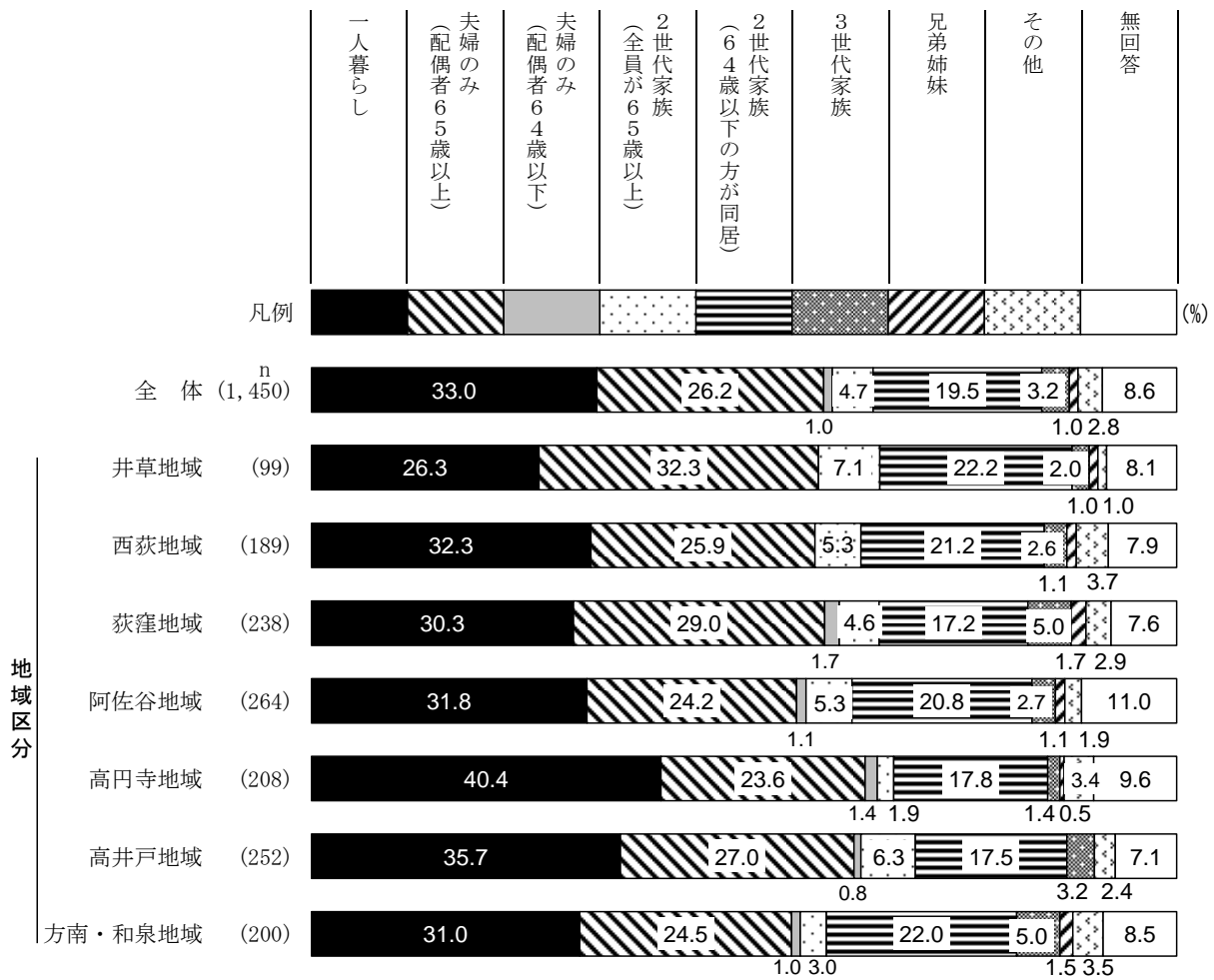


家族構成について、「一人暮らし」が33.0%と最も多く、次いで、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」(26.2%)、「2世代家族(64歳以下の方が同居)」(19.5%)の順となっている。

年齢別でみると、「一人暮らし」が、95歳以上では25.0%と少なく、85～89歳では36.6%と多くなっている。75歳以上では、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」は年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表5-1)



図表5-2 家族構成（地域区分別）



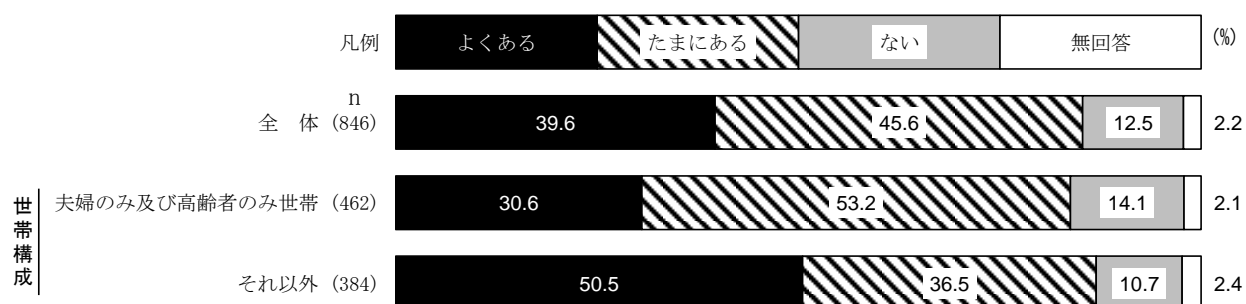
地域区分別でみると、「一人暮らし」は、高円寺地域では40.4%と、他の地域と比べ多くなっており、井草地域では26.3%と少なくなっている。「夫婦のみ（配偶者65歳以上）」は、井草地域では32.3%と、他の地域と比べ多くなっており、高円寺地域では23.6%と少なくなっている。（図表5-2）

## (2) 日中にひとりでのいる頻度

問6 (問5で「1.一人暮らし」以外に回答された方におたずねします。)  
日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

「たまにある」が45.6%、「よくある」が39.6%。日中にひとりであることがある人は、85.2%。

図表6-1 日中にひとりでのいる頻度(世帯構成別)



日中にひとりでのいる頻度について、「たまにある」が45.6%と最も多く、次いで「よくある」(39.6%)、「ない」(12.5%)の順となっている。「よくある」と「たまにある」を合わせて、日中にひとりであることがあると回答した人は85.2%となっている。

世帯構成別でみると、「よくある」は、それ以外の世帯が50.5%に対し、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯は30.6%と、少なくなっている。(図表6-1)

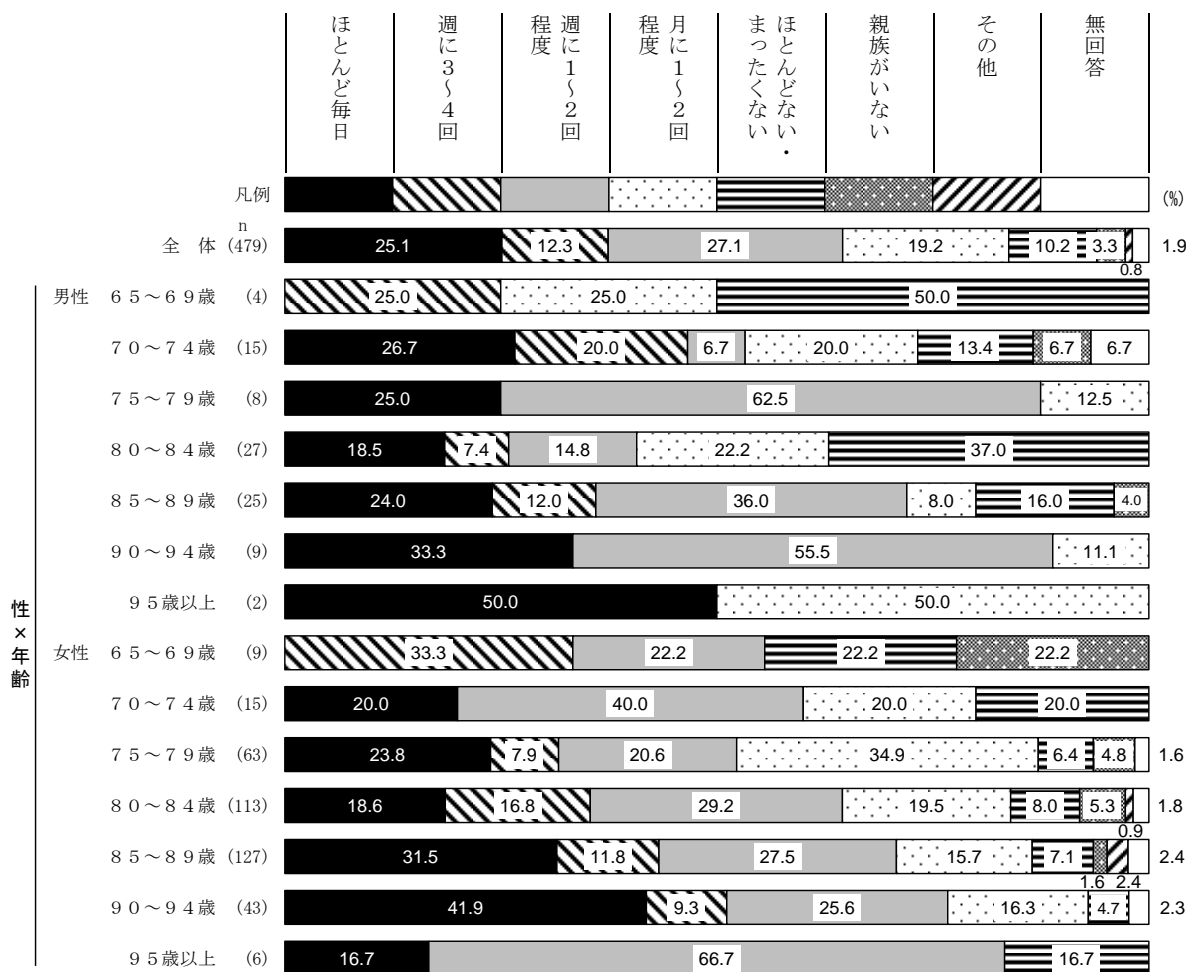
### (3) 親族との会話・連絡の頻度

問7 (問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。)

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

「週に1～2回程度」が27.1%、「ほとんど毎日」が25.1%。

図表7-1 親族との会話・連絡の頻度(性×年齢別)



親族との会話・連絡の頻度について、「週に1～2回程度」が27.1%と最も多く、次いで「ほとんど毎日」(25.1%)、「月に1～2回程度」(19.2%)の順となっている。

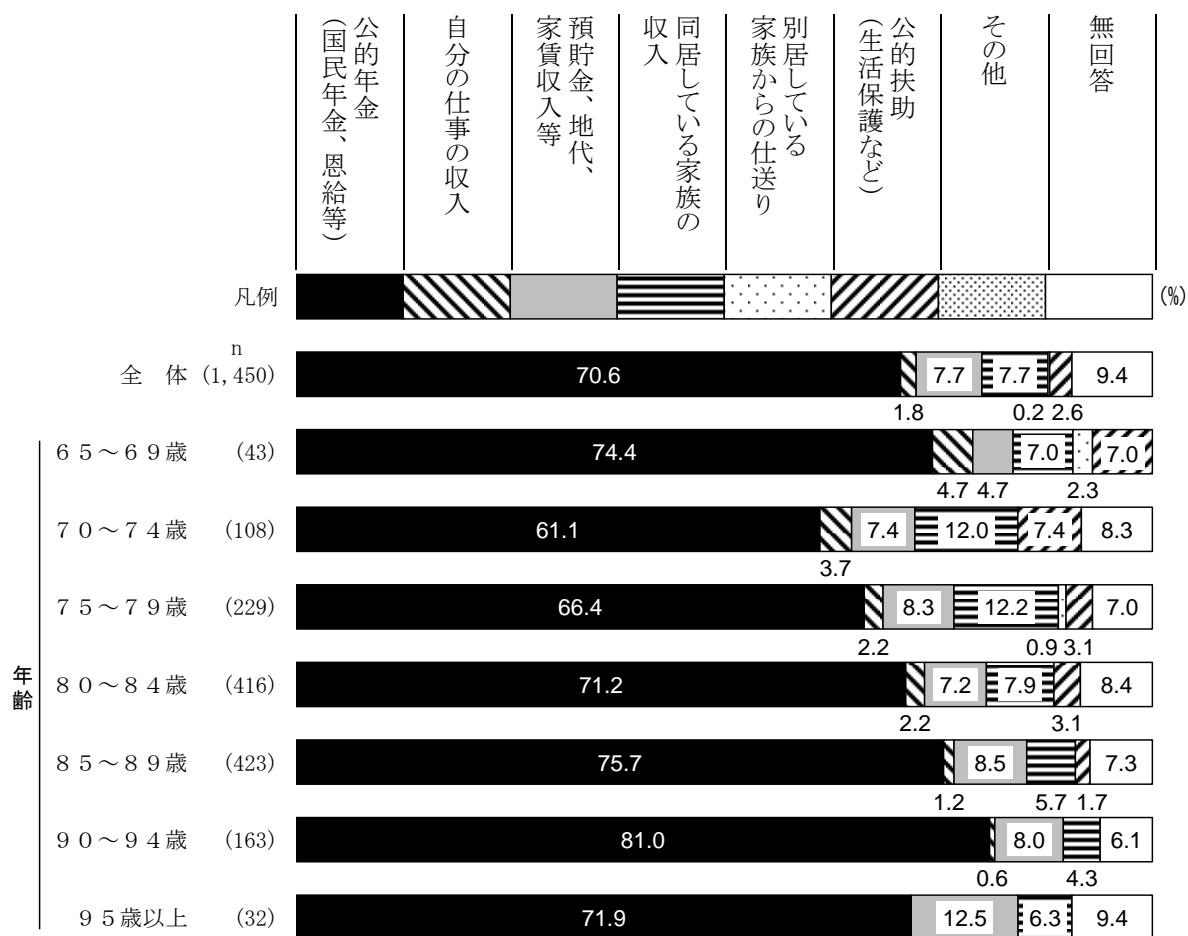
性×年齢別でみると、「ほとんど毎日」は、女性の場合、90～94歳では41.9%と他の年齢に比べ多く、80～84歳では18.6%と少ない。週1回以上(「週に1～2回程度」「週に3～4回」「ほとんど毎日」)でみると、女性の場合、75～79歳では52.3%、90～94歳では76.8%と、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。(図表7-1)

### (4) 主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

「公的年金(国民年金、恩給等)」が70.6%、「預貯金、地代、家賃収入等」が7.7%、「同居している家族の収入」が7.7%。

図表8-1 主な収入の種類(年齢別)



主な収入の種類について、「公的年金(国民年金、恩給等)」が70.6%と最も多く、次いで「預貯金、地代、家賃収入等」(7.7%)、「同居している家族の収入」(7.7%)の順となっている。

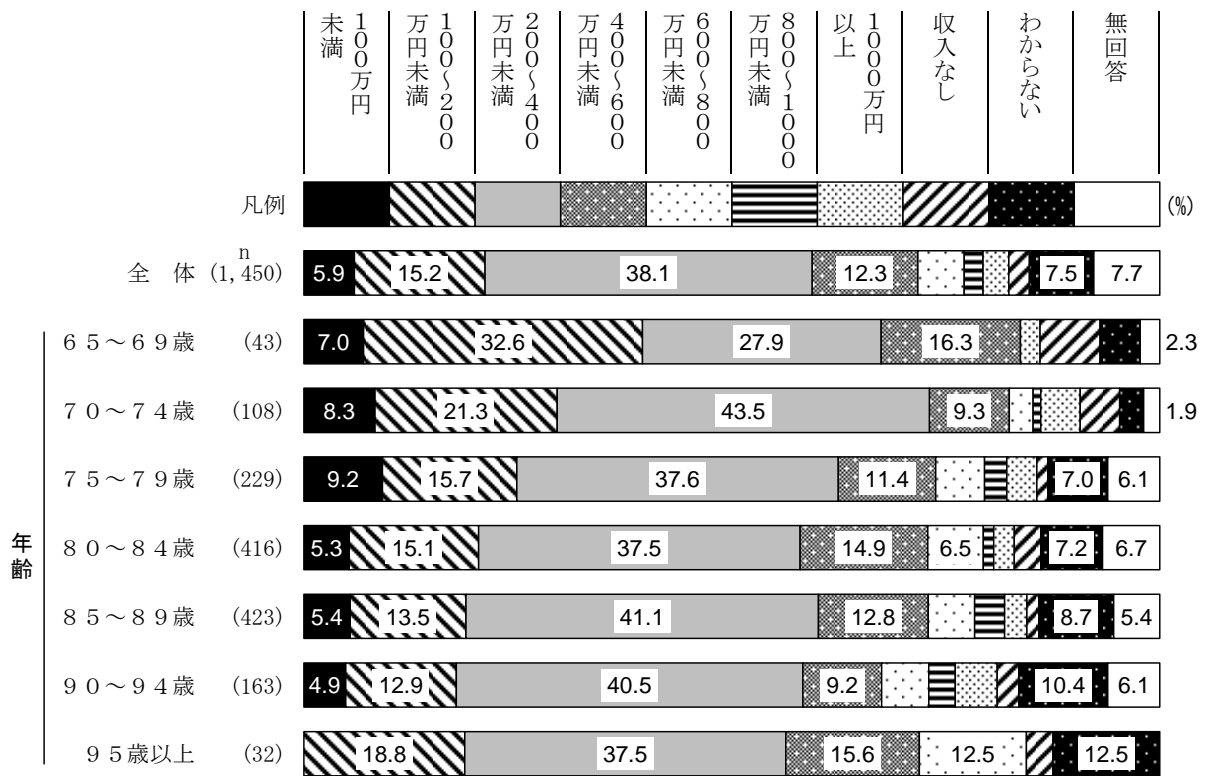
年齢別でみると、「公的年金(国民年金、恩給等)」は70~74歳では61.1%、90~94歳では81.0%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。一方、「同居している家族の収入」は、70~74歳では12.0%、90~94歳では4.3%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表8-1)

(5) 世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

「200～400万円未満」が38.1%、「100～200万円未満」が15.2%。

図表9-1 世帯の収入額(年齢別)



	100万円未満	100～200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	収入なし	わからない	無回答
全体 (1,450)	5.9	15.2	38.1	12.3	5.4	2.2	3.0	2.4	7.5	7.7
65～69歳 (43)	7.0	32.6	27.9	16.3	-	-	2.3	7.0	4.7	2.3
70～74歳 (108)	8.3	21.3	43.5	9.3	2.8	0.9	4.6	4.6	2.8	1.9
75～79歳 (229)	9.2	15.7	37.6	11.4	5.7	2.6	3.5	1.3	7.0	6.1
80～84歳 (416)	5.3	15.1	37.5	14.9	6.5	1.2	2.4	3.1	7.2	6.7
85～89歳 (423)	5.4	13.5	41.1	12.8	5.4	3.5	2.6	1.4	8.7	5.4
90～94歳 (163)	4.9	12.9	40.5	9.2	5.5	3.1	4.9	2.5	10.4	6.1
95歳以上 (32)	-	18.8	37.5	15.6	12.5	-	-	3.1	12.5	-

世帯の収入額について、「200～400万円未満」が38.1%と最も多く、次いで「100～200万円未満」(15.2%)、「400～600万円未満」(12.3%)の順となっている。

年齢別でみると、「100万円未満」と「100～200万円未満」を合わせた200万円未満は、65～69歳では39.6%、70～74歳では29.6%、95歳以上では18.8%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表9-1)

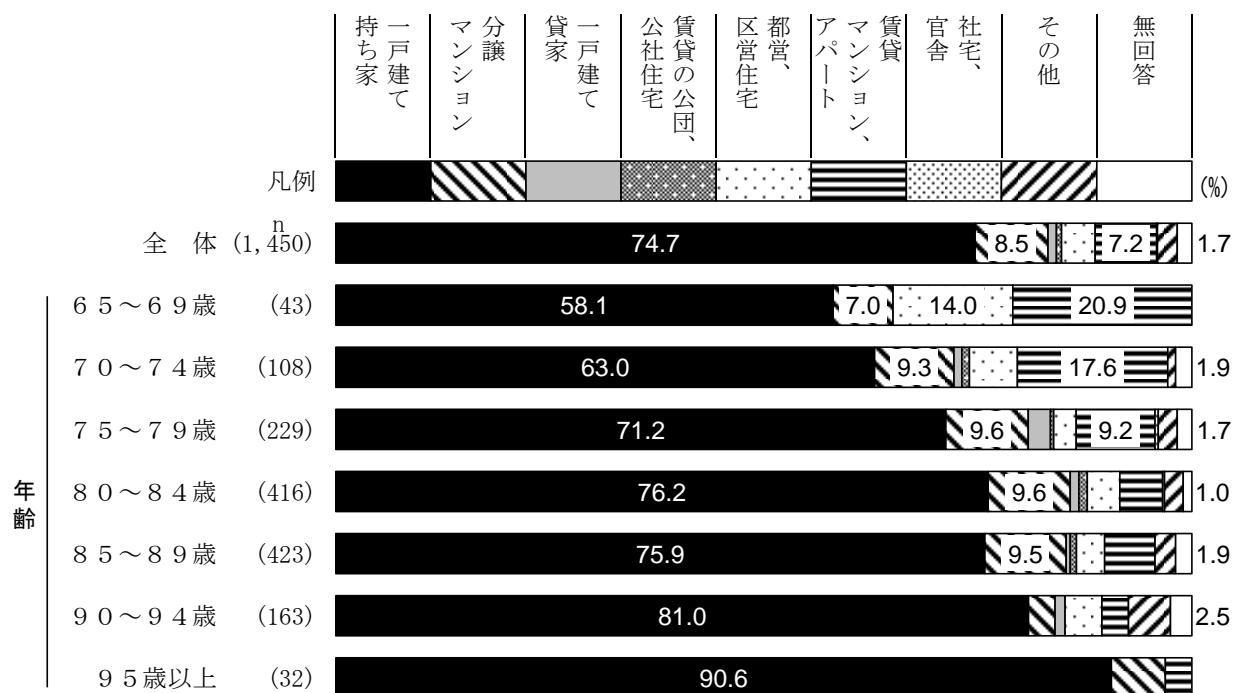
### 3. 住まいについて

#### (1) 住居形態

問10 お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「一戸建て持ち家」が74.7%、「分譲マンション」が8.5%。

図表10-1 住居形態（年齢別）

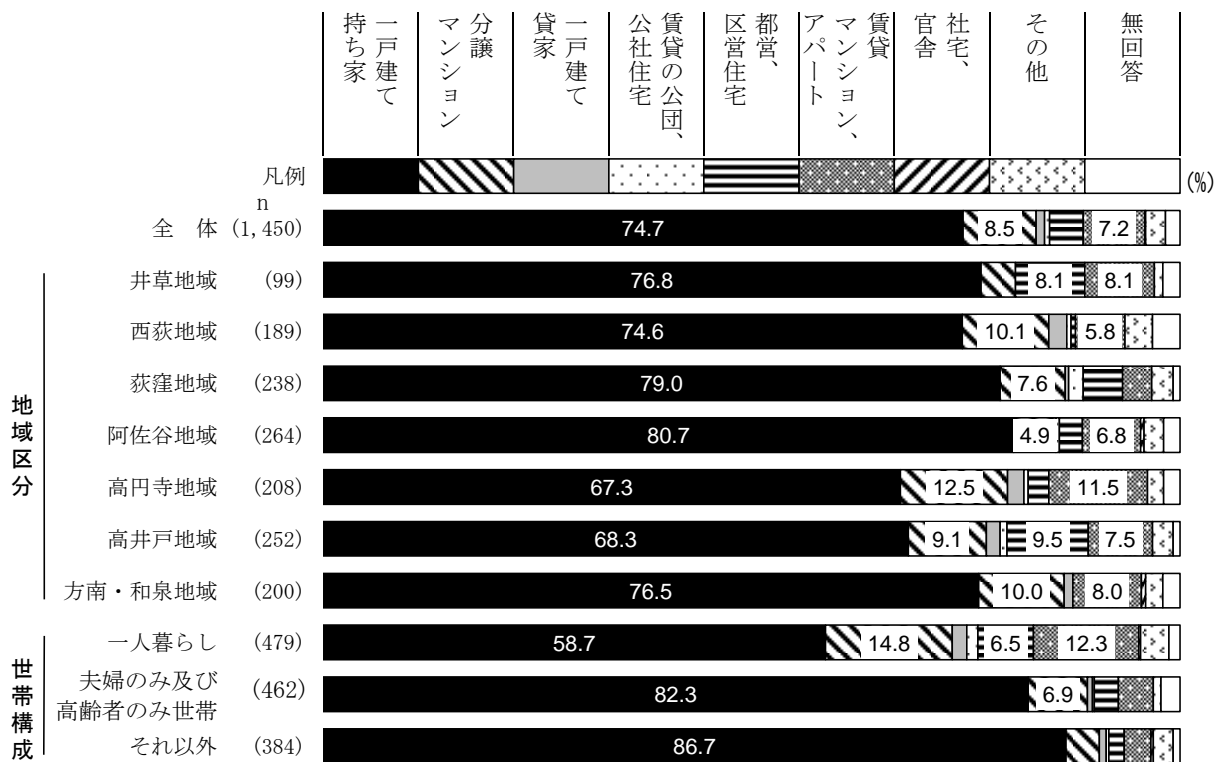


	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	その他	無回答
全体 (1,450)	74.7	8.5	1.0	0.6	3.9	7.2	0.1	2.3	1.7
65～69歳 (43)	58.1	7.0	-	-	14.0	20.9	-	-	-
70～74歳 (108)	63.0	9.3	0.9	0.9	5.6	17.6	-	0.9	1.9
75～79歳 (229)	71.2	9.6	2.6	0.4	2.6	9.2	0.4	2.2	1.7
80～84歳 (416)	76.2	9.6	1.0	1.0	3.8	5.0	0.2	2.2	1.0
85～89歳 (423)	75.9	9.5	0.5	0.7	3.3	5.9	-	2.4	1.9
90～94歳 (163)	81.0	3.1	1.2	-	4.3	3.1	-	4.9	2.5
95歳以上 (32)	90.6	6.3	-	-	-	3.1	-	-	-

住居形態について、「一戸建て持ち家」が74.7%と最も多く、次いで「分譲マンション」(8.5%)、「賃貸マンション、アパート」(7.2%)の順となっている。

年齢別でみると、「一戸建て持ち家」が、65～69歳では58.1%、70～74歳では63.0%、95歳以上では90.6%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。一方、「賃貸マンション・アパート」は65～69歳では20.9%、95歳以上では3.1%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表10-1)

図表 10-2 住居形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「一戸建て持ち家」は阿佐谷地域では80.7%と、他の地域と比べて多く、「分譲マンション」、「賃貸マンション、アパート」は高円寺地域ではそれぞれ12.5%、11.5%と、他の地域と比べて多くなっている。

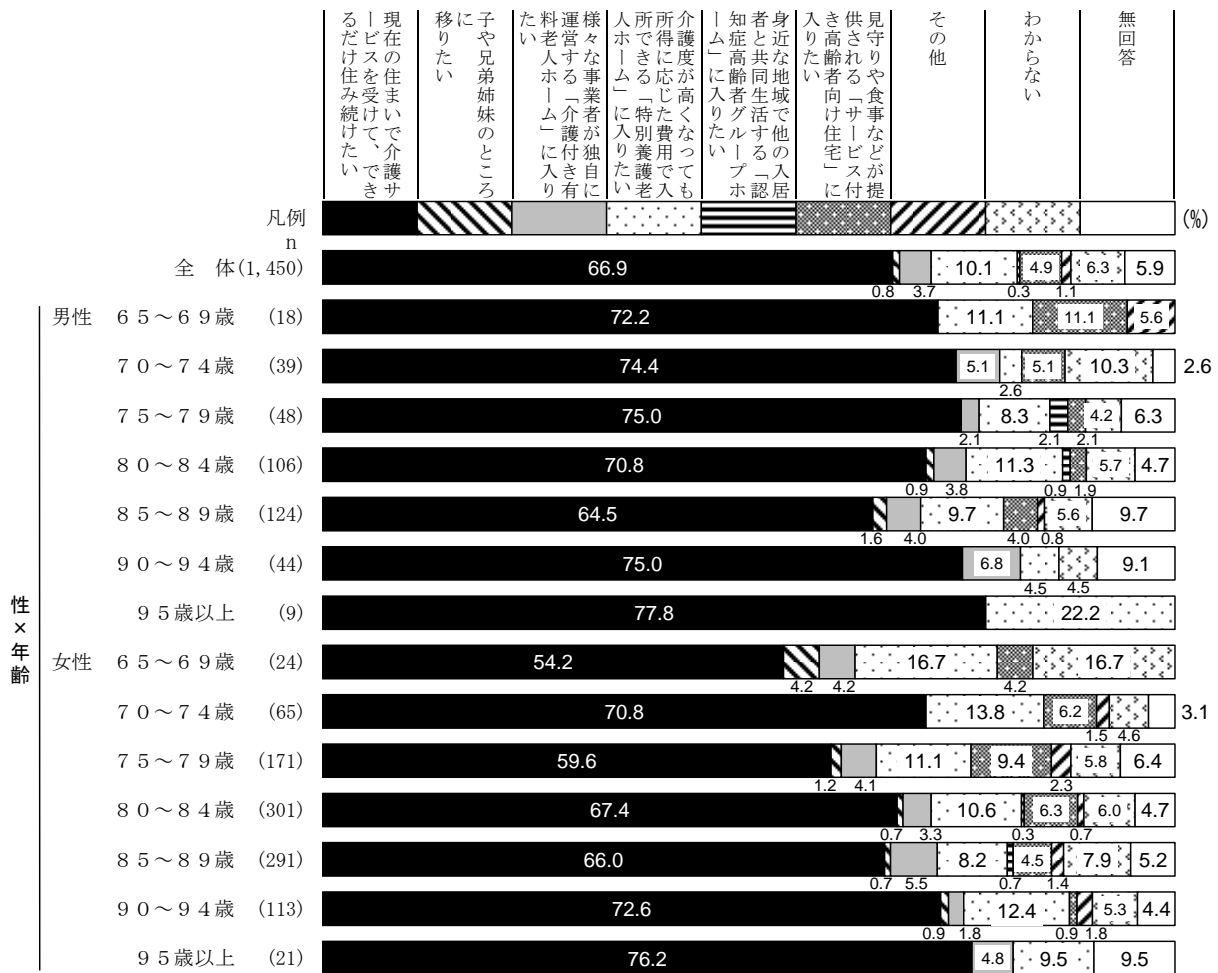
世帯構成別でみると、一人暮らしでは「分譲マンション」、「賃貸マンション、アパート」がそれぞれ14.8%、12.3%と、他の世帯構成に比べて多く、一方、「一戸建て持ち家」は58.7%と少なくなっている。（図表10-2）

## (2) 将来希望する介護形態

問1-1 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1つに○）

「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が66.9%、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」が10.1%。

図表11-1 将来希望する介護形態（性×年齢別）

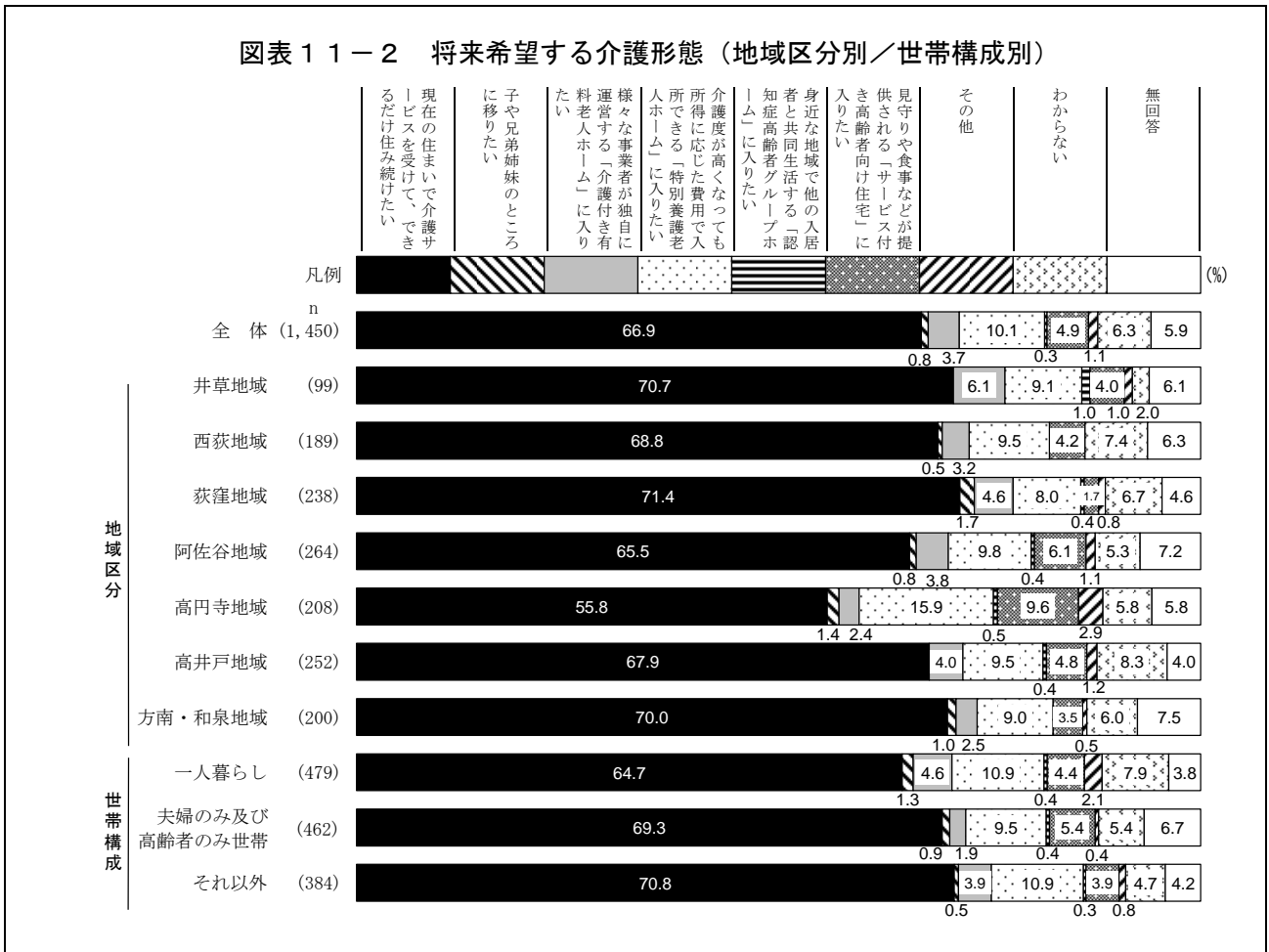


将来希望する介護形態について、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が66.9%と最も多く、次いで「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」(10.1%)の順となっている。

性×年齢別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」では、女性の場合は75～79歳では59.6%、90～94歳では72.6%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。一方、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」は、70～74歳では13.8%、85～89歳では8.2%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表11-1)



図表 1 1 - 2 将来希望する介護形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は荻窪地域では71.4%と、他の地域と比べて多く、高円寺地域では55.8%と少なくなっている。一方、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」、「見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」は高円寺地域でそれぞれ15.9%、9.6%と、他の地域と比べて多く、荻窪ではそれぞれ8.0%、1.7%と少なくなっている。

世帯構成別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は一人暮らしでは64.7%と、他の世帯構成に比べて少なくなっている。(図表 1 1 - 2)

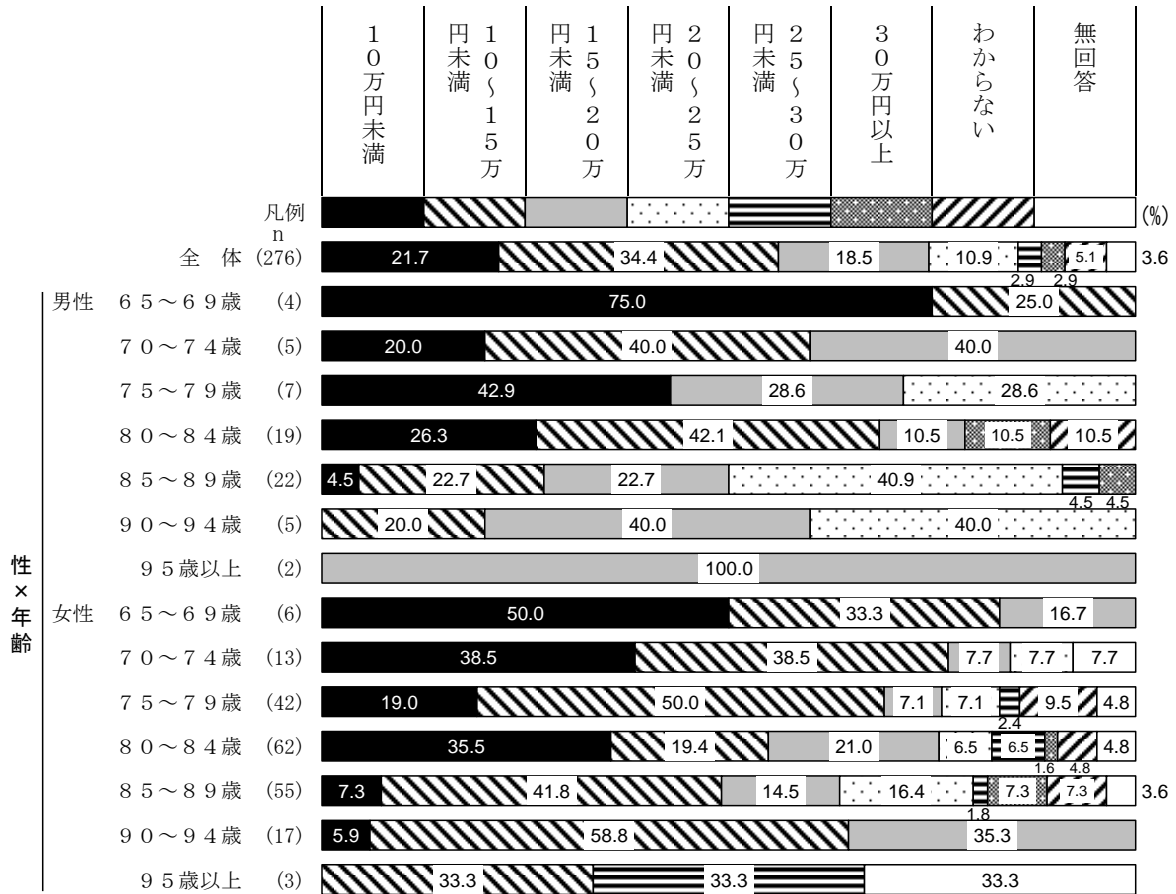
### (3) 家賃・介護費用負担可能額

問12 問11で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。

家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

「10～15万円未満」が34.4%、「10万円未満」が21.7%。

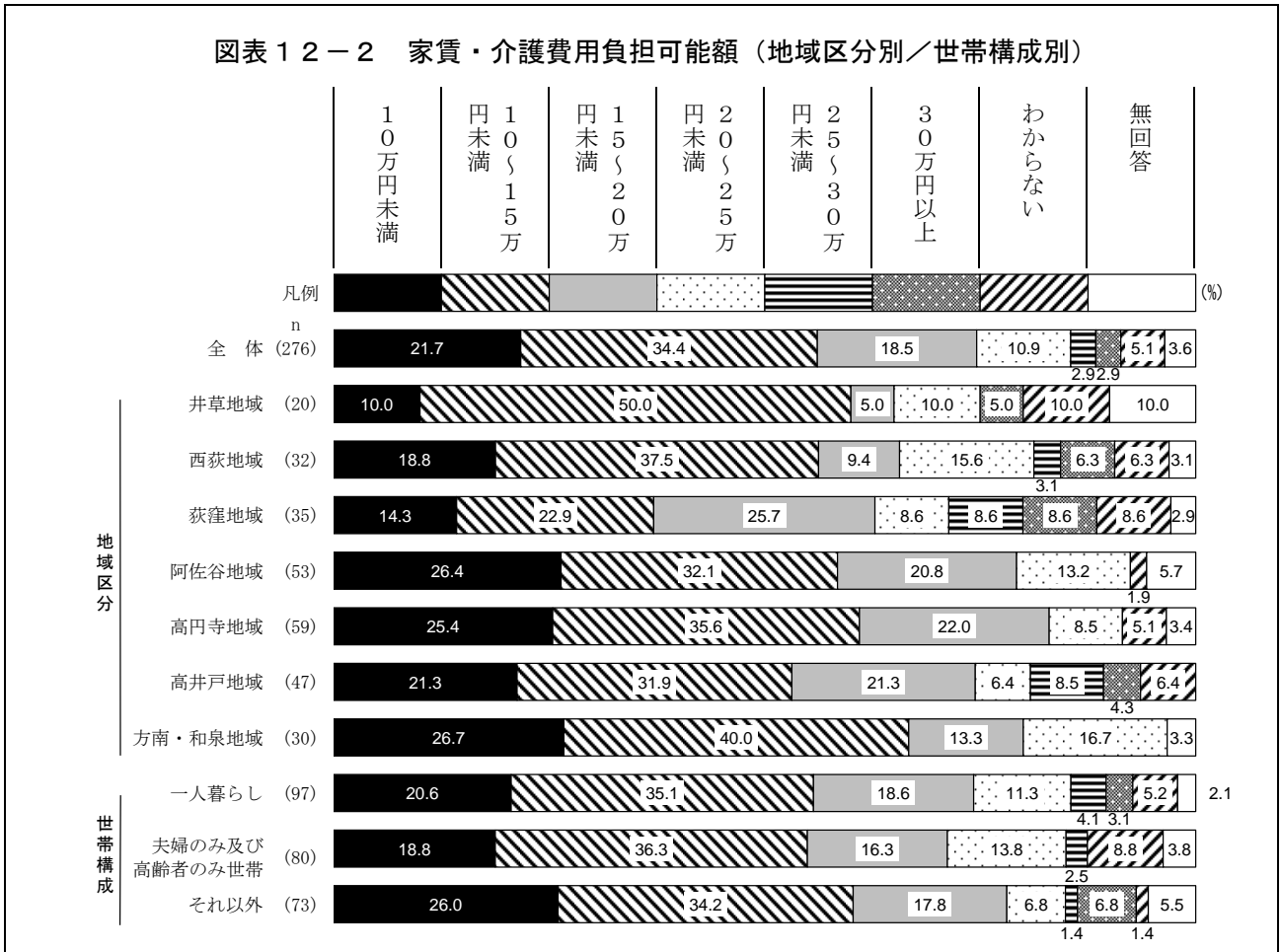
図表12-1 家賃・介護費用負担可能額（性×年齢別）



家賃・介護費用負担可能額については、「10～15万円未満」が34.4%と最も多く、次いで、「10万円未満」(21.7%)、「15～20万円未満」(18.5%)の順となっている。

性×年齢別でみると、女性の場合、「10万円未満」と「10～15万円未満」を合わせた15万円未満は、75～79歳では69.0%、80～84歳では54.9%、85～89歳では49.1%と、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表12-1)

図表12-2 家賃・介護費用負担可能額（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「10万円未満」は方南・和泉地域が26.7%と、他の地域と比べて多くなっており、荻窪地域では14.3%と少なくなっている。

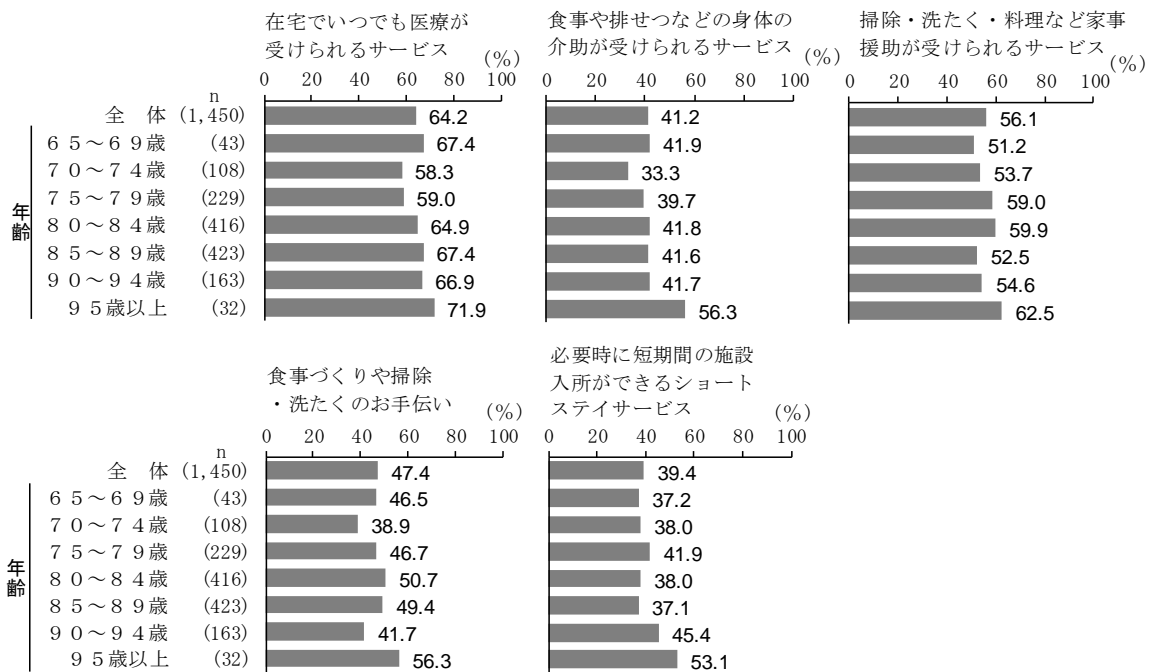
世帯構成別でみると、「10～15万円未満」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯では36.3%と、他の世帯構成に比べて多くなっている。一方、「10万円未満」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯では18.8%と他の世帯構成に比べ少なくなっている。(図表12-2)

### (4) 在宅生活のために必要なサービス

問13 できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が64.2%、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」が56.1%。

図表13-1 在宅生活のために必要なサービス（年齢別）



在宅生活のために必要なサービスについて、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が64.2%で最も多く、次いで、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(56.1%)、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(47.4%)の順となっている。

年齢別でみると、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」は、70～74歳では58.3%であるのに対し95歳以上では71.9%と多くなっており、おおむね年齢が高くなるにつれ回答している人が多くなっている。(図表13-1)

## 4. 社会参加について

### (1) 社会参加の有無

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

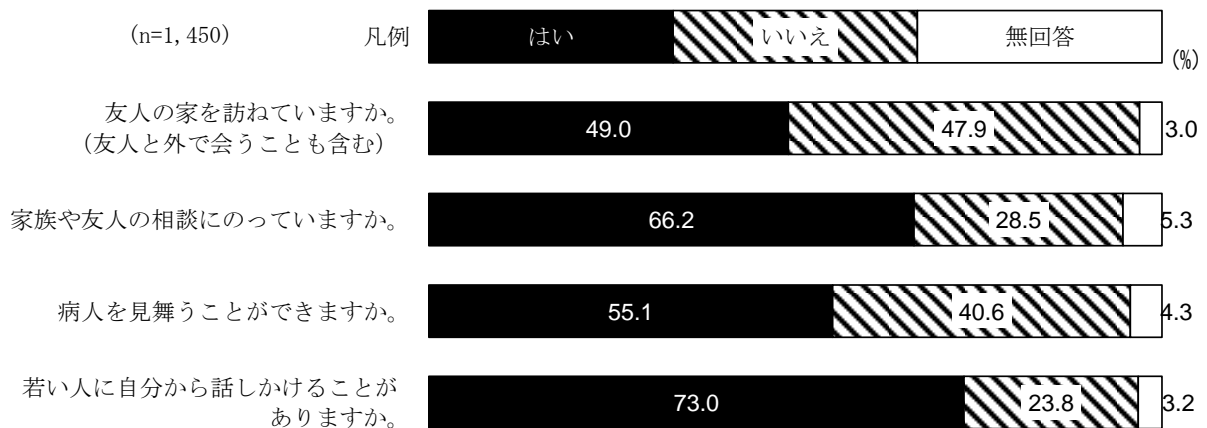
問15 家族や友人の相談にのっていますか。

問16 病人を見舞うことができますか。

問17 若い人に自分から話しかけることがありますか。

各問における「はい」の割合は、『若い人に自分から話しかけることがありますか』(73.0%)、『家族や友人の相談にのっていますか』(66.2%)、『病人を見舞うことができますか』(55.1%)、『友人の家を訪ねていますか』(49.0%)。

図表14-1 社会参加の有無



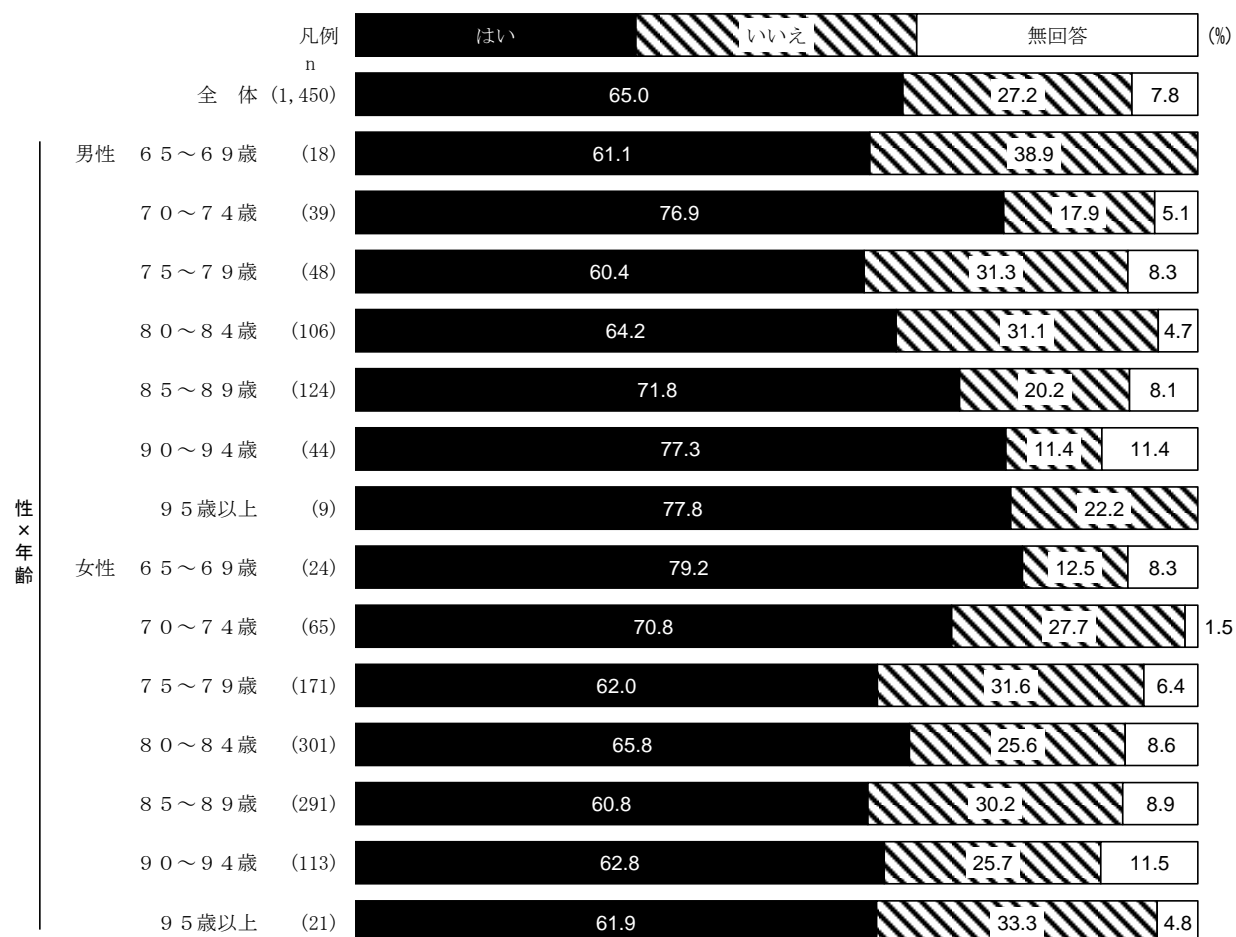
社会参加の有無について、各問における「はい」の割合は、『若い人に自分から話しかけることがありますか』(73.0%)、『家族や友人の相談にのっていますか』(66.2%)、『病人を見舞うことができますか』(55.1%)の順となっており、最も少ないのは、『友人の家を訪ねていますか(友人と外で会うことも含む)』(49.0%)となっている。(図表14-1)

## (2) 生きがいを感じるかについて

問18 生きがいを感じていますか。

「はい」が65.0%、「いいえ」が27.2%。

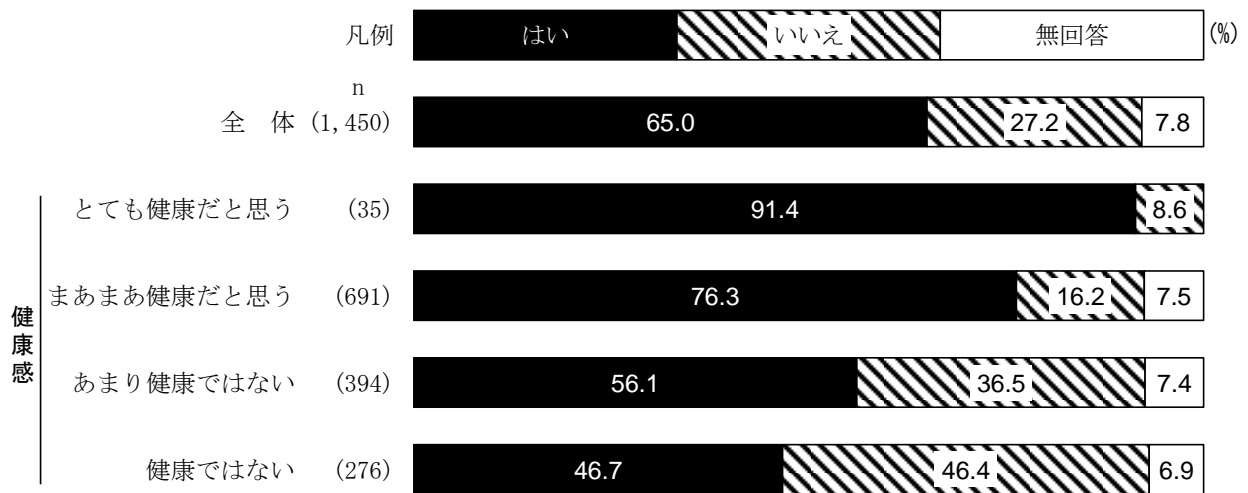
図表18-1 生きがいを感じるか（性×年齢別）



生きがいを感じるかについて、「はい」が65.0%、「いいえ」が27.2%となっている。

性×年齢別でみると、男性の場合、「はい」は、75～79歳では60.4%、90～94歳では77.3%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。女性の場合は逆に、年齢が高くなるにつれ「はい」の回答割合が少なくなっている。(図表18-1)

図表 1 8 - 2 生きがいを感じるか（健康感別）



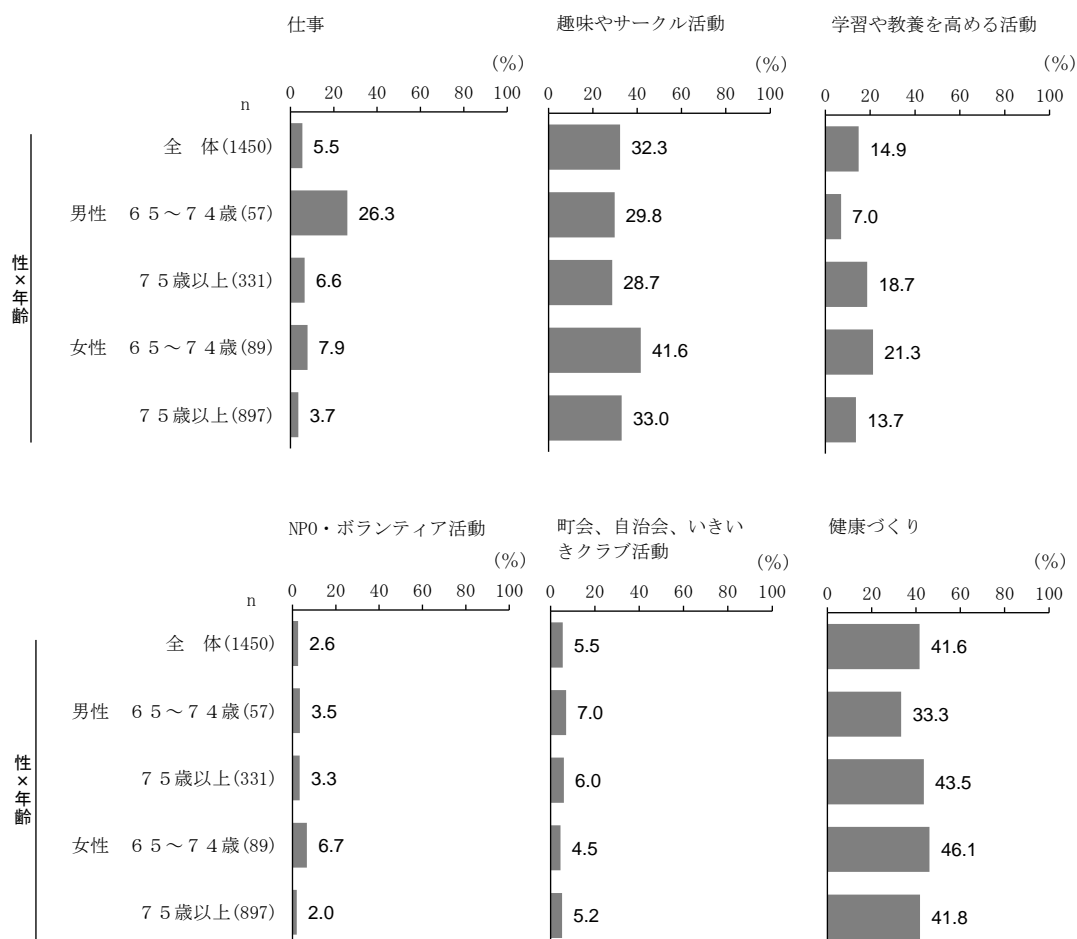
健康感別でみると、「はい」は、とても健康だと思うで91.4%、健康ではないで46.7%と、健康だと思っている人ほど、生きがいを感じている割合が多くなっている。（図表 1 8 - 2）

### (3) 現在やっている、または今後やってみたいこと

問19 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。(いくつでも○)

「健康づくり」が41.6%、「趣味やサークル活動」が32.3%。

図表19-1 現在やっている、または今後やってみたいこと(性×年齢別)

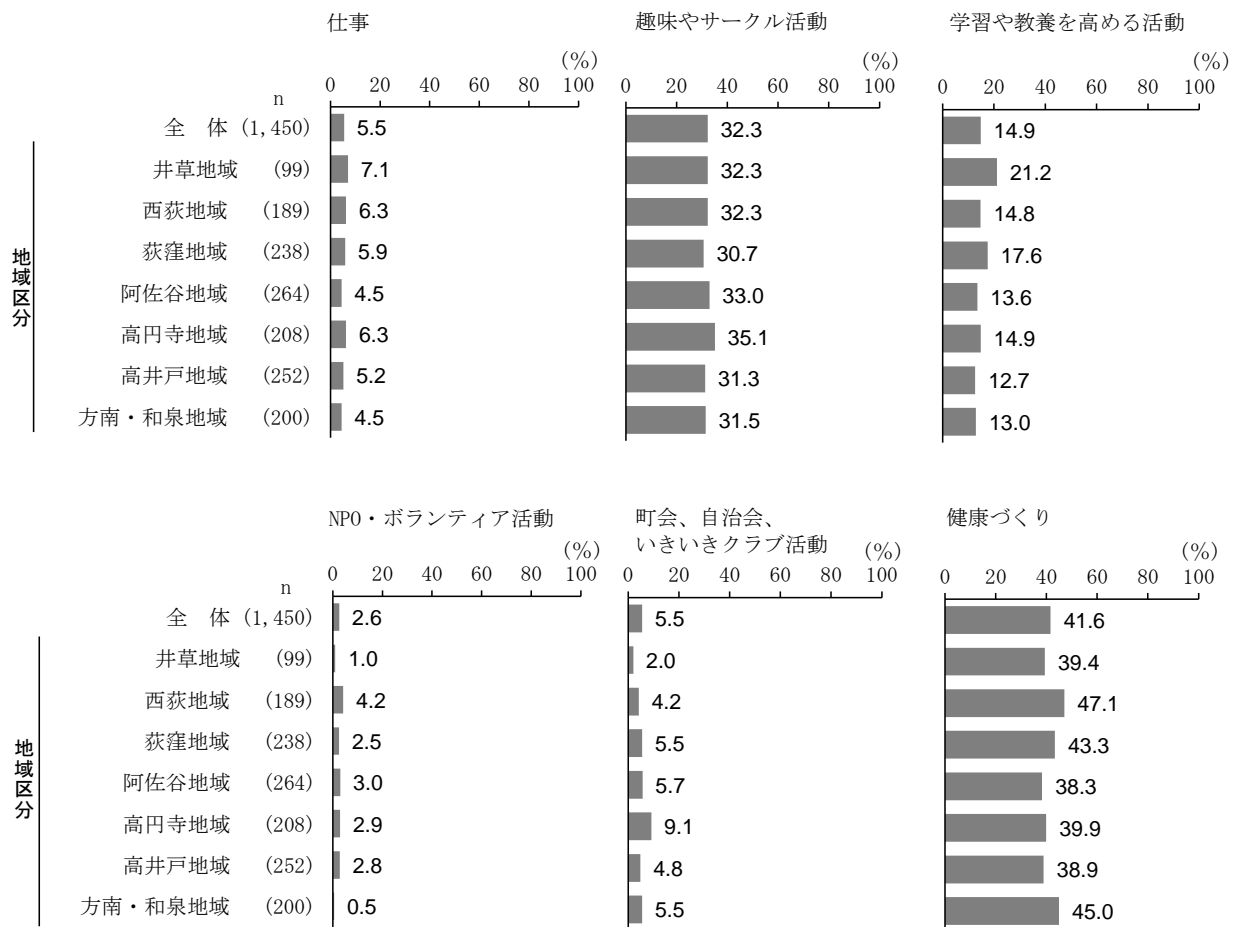


現在やっている、または今後やってみたいことについて、「健康づくり」が41.6%と最も多く、次いで「趣味やサークル活動」(32.3%)、「学習や教養を高める活動」(14.9%)の順となっている。一方、「NPO・ボランティア活動」(2.6%)や「町会、自治会、いきいきクラブ活動」(5.5%)は少なくなっている。

性×年齢別でみると、「仕事」は、男性の場合、65~74歳では26.3%であり、他の性×年齢に比べて多くなっている。また、「趣味やサークル活動」は、男性の場合、65~74歳では29.8%、75歳以上では28.7%であるのに対し、女性の場合、65~74歳では41.6%、75歳以上では33.0%と、同じ年齢で比べると男性よりも女性の方が多くなっている。(図表19-1)



図表19-2 現在やっている、または今後やってみたいこと（地域区分別）



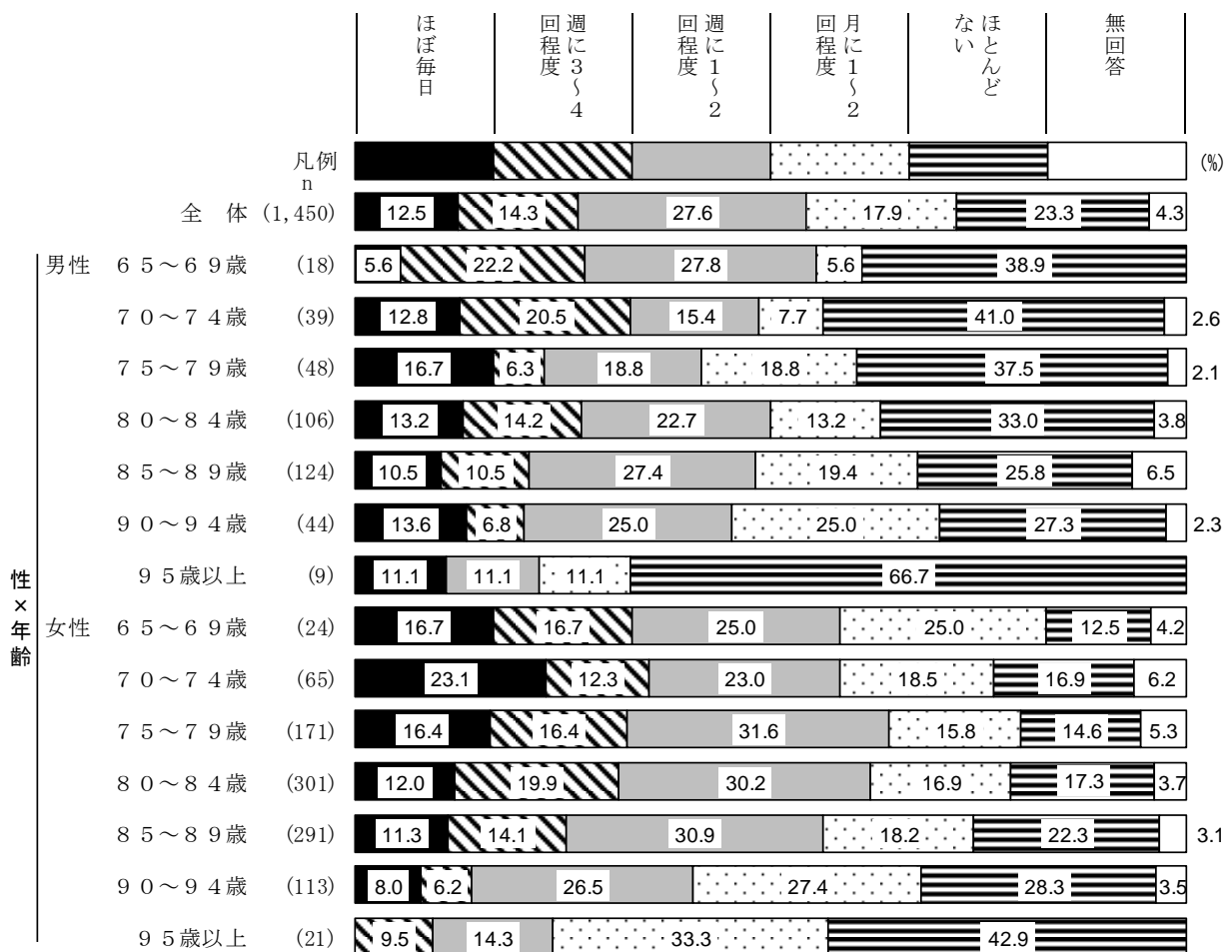
地域区分別でみると、「健康づくり」は、西萩地域では47.1%であるのに対し高円寺地域では38.3%と少なくなっている。「趣味やサークル活動」は、いずれの地域でも3割以上を占めており、地域差はあまり見られない。(図表19-2)

(4) 近所の方との付き合いの有無

問20 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

「週に1~2回程度」が27.6%、「ほとんどない」が23.3%。

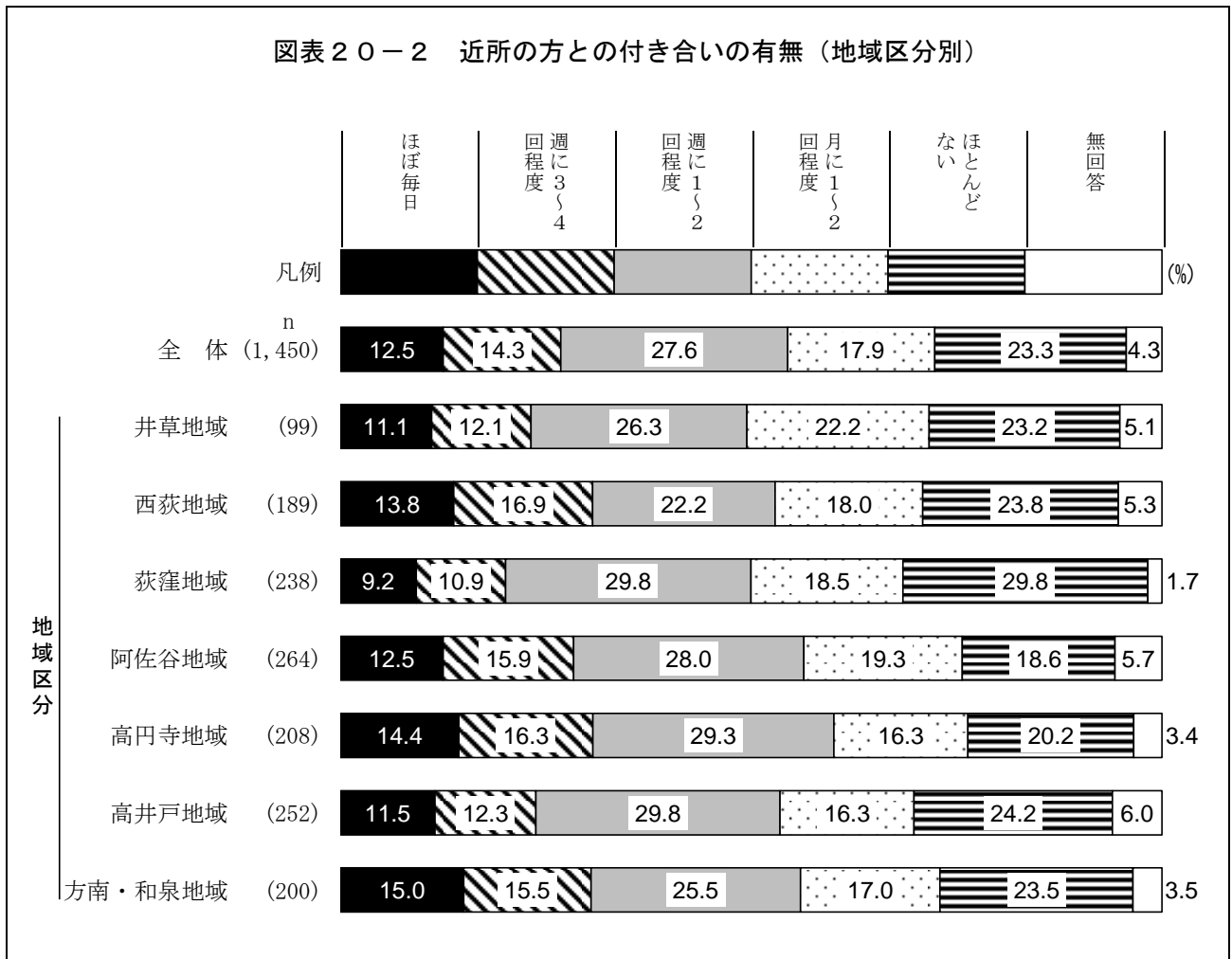
図表20-1 近所の方との付き合いの有無(性×年齢別)



近所の方との付き合いの有無について、「週に1~2回程度」が27.6%と最も多く、次いで「ほとんどない」(23.3%)、「月に1~2回程度」(17.9%)の順となっている。

性×年齢別でみると、女性の場合、「ほぼ毎日」は、70~74歳は23.1%、90~94歳は8.0%と、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。「ほとんどない」は、75~79歳では14.6%、90~94歳では28.3%と、年齢が高くなるにつれ多くなっている。一方、男性の場合は「ほとんどない」の割合は年齢とともにその割合は少なくなっている(図表20-1)

図表 20-2 近所の方との付き合いの有無（地域区分別）



地域区分別でみると、「週に1～2回程度」は荻窪地域、高井戸地域ではともに29.8%と、他の地域と比べて多く、西荻地域では22.2%と少なくなっている。「ほぼ毎日」は方南・和泉地域では15.0%と多く、荻窪地域では9.2%と少なくなっている。(図表20-2)

## 5. 日常生活について

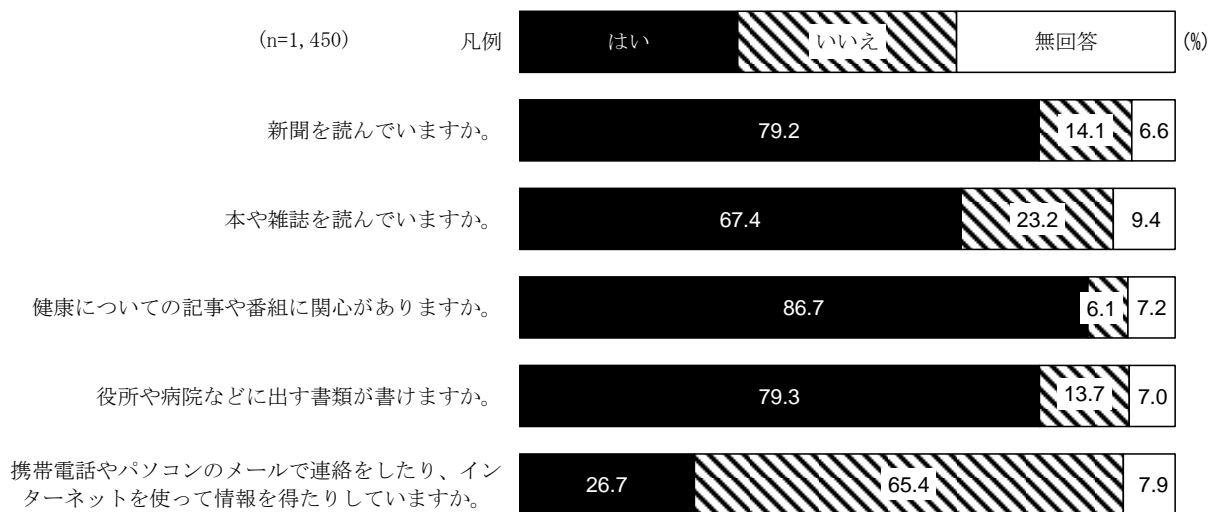
### (1) 日常生活で行っていること（その1）

問21

- (1) 新聞を読んでいますか。
- (2) 本や雑誌を読んでいますか。
- (3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。
- (4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。
- (5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。

「はい」が最も多いのは、『健康についての記事や番組に関心がありますか。』（86.7%）。最も少ないのは、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。』（26.7%）。

図表21-1 日常生活で行っていること（その1）



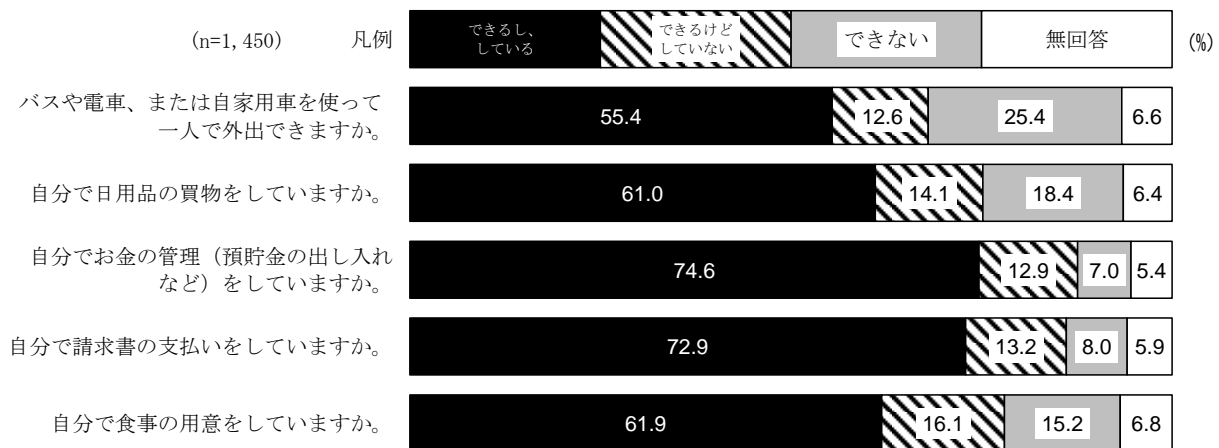
日常生活で行っていることの有無をたずねた質問について、「はい」が最も多いのは、『健康についての記事や番組に関心がありますか。』（86.7%）、次いで『役所や病院などに出す書類が書けますか。』（79.3%）となっている。「はい」が最も少ないのは、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。』で、他の項目は6割以上が「はい」であるのに対し、26.7%と少なくなっている。（図表21-1）

## (2) 日常生活で行っていること (その2)

- (6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。  
 (7) 自分で日用品の買物をしていますか。  
 (8) 自分でお金の管理 (預貯金の出し入れなど) をしていますか。  
 (9) 自分で請求書の支払いをしていますか。  
 (10) 自分で食事の用意をしていますか。

「できるし、している」が最も多いのは、『自分でお金の管理 (預貯金の出し入れなど) をしていますか。』(74.6%)。最も少ないのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。』(55.4%)。

図表 2 1 - 2 日常生活で行っていること (その2)



日常生活で行っていることを、そのことができるかたずねた質問で、「できるし、している」が最も多いのは、『お金の管理 (預貯金の出し入れなど)』(74.6%) であり、次いで『請求書の支払い』(72.9%) となっている。最も少ないのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』(55.4%) となっている。

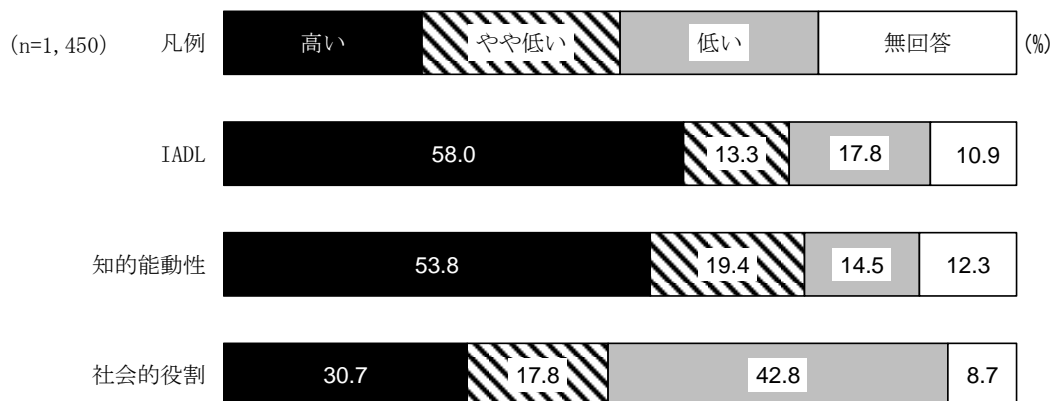
「できるけどしていない」が最も多いのは、『食事の用意』(16.1%) であり、次いで『日用品の買物』(14.1%) となっている。最も少ないのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』(12.6%) となっている。

「できない」が最も多いのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』(25.4%)、次いで『日用品の買物』(18.4%) となっている。最も少ないのは、『お金の管理 (預貯金の出し入れなど)』(7.0%) となっている。(図表 2 1 - 2)

### (3) 老研式活動能力指標の分析結果

IADLにおいて「高い」は58.0%、「低い」は17.8%。知的能動性において「高い」は53.8%、「低い」は14.5%。社会的役割において、「高い」は30.7%、「低い」は42.8%。

図表 a-1 老研式活動能力指標の分析結果（「IADL」「知的能動性」「社会的役割」）



図表 a-2 老研式活動能力指標の分析結果（「総合評価」）



- ・老研式活動能力指標  
東京都健康長寿医療センター研究所で開発された、生活機能を評価する指標。  
自立している場合は点数が高い。
- ・IADL（手段的日常生活動作）  
日常生活を送るうえで必要な動作のうち、買いもの、家事全般、金銭管理等の複雑な動作のこと。

問14～問16及び問21の回答を点数化し、老研式活動能力指標の分析を行った。なお、IADLは問21(6)～(10)、知的能動性は問21(1)～(4)、社会的役割は問14～問16の回答により判定した。

その結果、IADLでは、「高い」は58.0%と最も多く、次いで「低い」(17.8%)、「やや低い」(13.3%)の順となっている。社会的能動性では、「高い」は53.8%と最も多く、次いで「やや低い」(19.4%)、「低い」(14.5%)の順となっている。社会的役割では、「低い」は42.8%で最も多く、次いで「高い」(30.7%)、「やや低い」(17.8%)の順となっている。(図表 a-1)

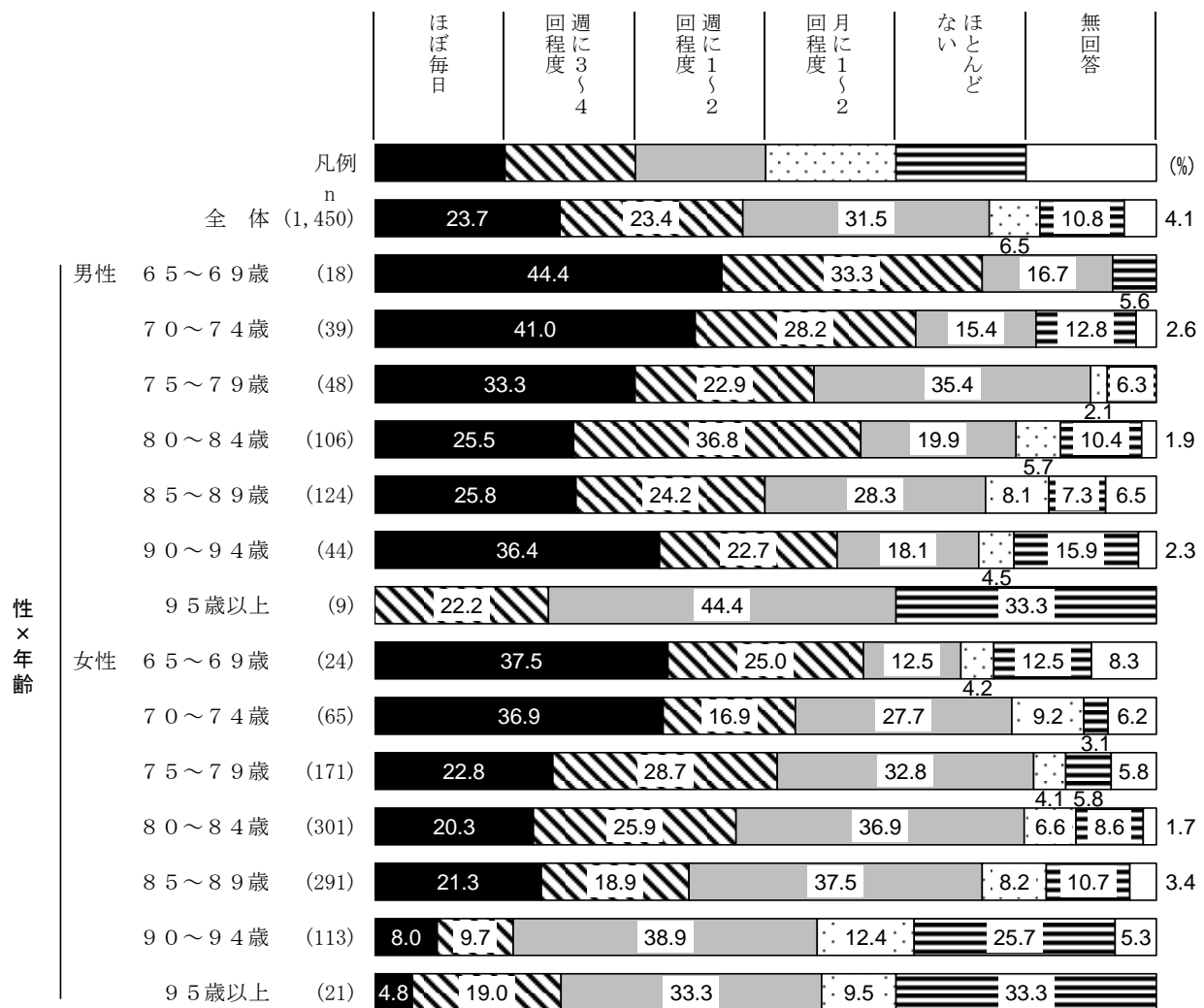
総合評価は3項目の合計点を13点満点で評価し、「高い」(11点以上)が43.6%で最も多く、「低い」(9～10点)が19.7%、「やや低い」(8点以下)が15.9%の順となっている。(図表 a-2)

### (4) 外出の頻度

問22 散歩や買い物など、外出の回数ほどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

「週に1～2回程度」が31.5%、「ほぼ毎日」が23.7%。

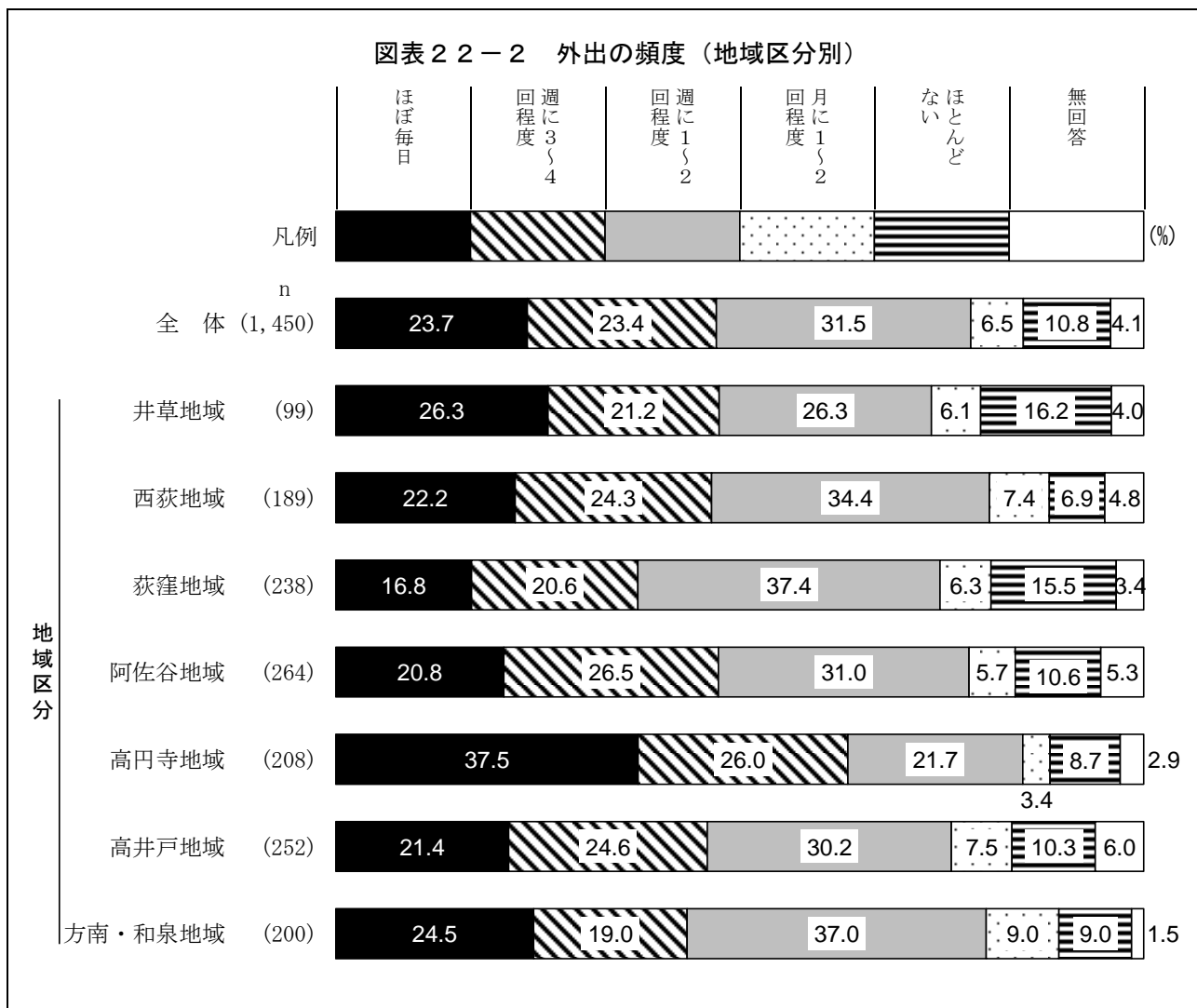
図表22-1 外出の頻度（性×年齢別）



外出の頻度について、「週に1～2回程度」が31.5%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」(23.7%)、「週に3～4回程度」(23.4%)の順になっている。

性×年齢別でみると、「ほぼ毎日」において、女性は65～69歳が37.5%、90～94歳が8.0%と、おおむね年齢が高くなるにつれその割合が少なくなっている。一方、「週に1～2回程度」は、女性は65～69歳は27.7%、90～94歳は38.9%と、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。(図表22-1)

図表 2 2 - 2 外出の頻度（地域区分別）



地域区分別でみると、「ほぼ毎日」において、他の地域に比べ高円寺地域は37.5%と最も多くなっており、次いで井草地域(26.3%)、方南・和泉地域(24.5%)の順になっている。「ほとんどない」において、井草地域は他の地域と比べて16.2%と最も多くなっており、次いで荻窪地域(15.5%)、阿佐谷地域(10.6%)の順となっている。(図表 2 2 - 2)

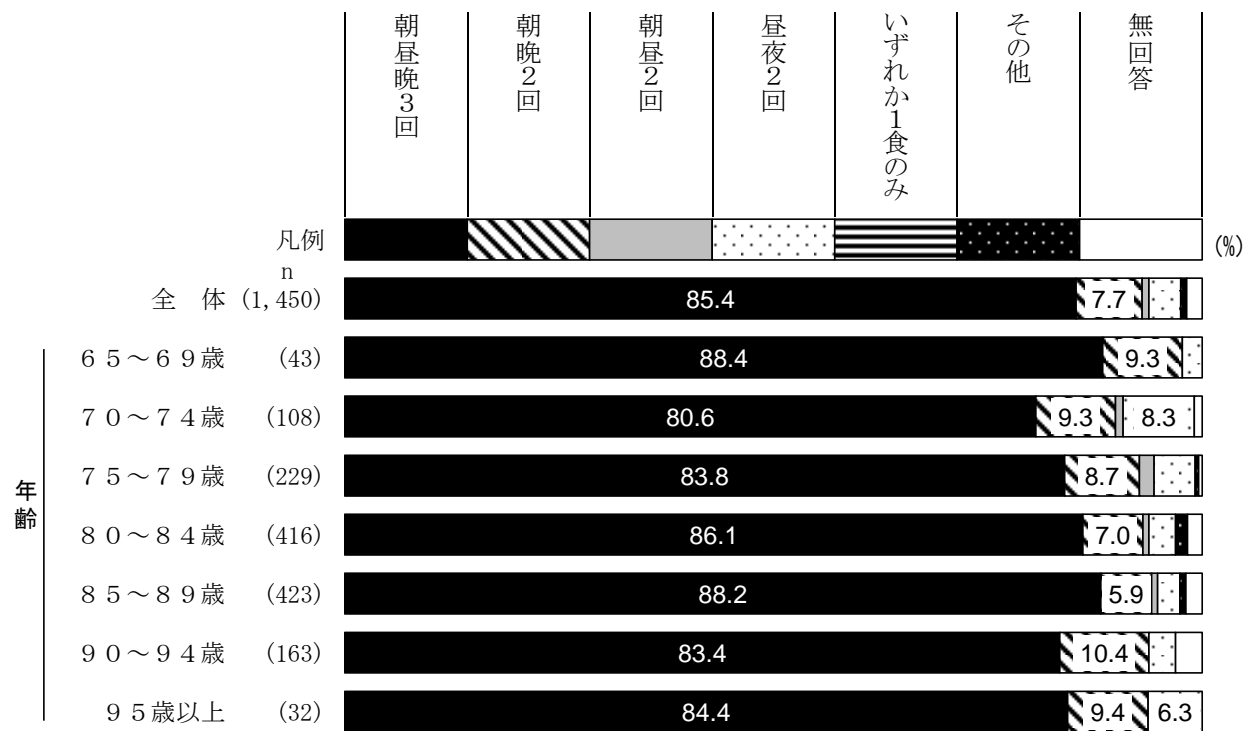


### (5) 一日における食事の回数

問 2 3 1日の食事の回数は何回ですか（普段の生活から平均的な回数）（1つに○）

「朝昼晩3回」が85.4%、「朝晩2回」が7.7%。

図表 2 3 - 1 一日における食事の回数（年齢別）



	朝昼晩3回	朝晩2回	朝昼2回	昼夜2回	いずれか1食のみ	その他	無回答
全体 (1,450)	85.4	7.7	0.8	3.7	-	0.7	1.8
65～69歳 (43)	88.4	9.3	-	2.3	-	-	-
70～74歳 (108)	80.6	9.3	0.9	8.3	-	-	0.9
75～79歳 (229)	83.8	8.7	1.7	4.8	-	0.4	0.4
80～84歳 (416)	86.1	7.0	0.7	3.1	-	1.4	1.7
85～89歳 (423)	88.2	5.9	0.7	2.6	-	0.7	1.9
90～94歳 (163)	83.4	10.4	-	3.1	-	-	3.1
95歳以上 (32)	84.4	9.4	-	6.3	-	-	-

一日における食事の回数について、「朝昼晩3回」が85.4%と最も多く、次いで「朝晩2回」(7.7%)「昼夜2回」(3.7%)の順となっている。

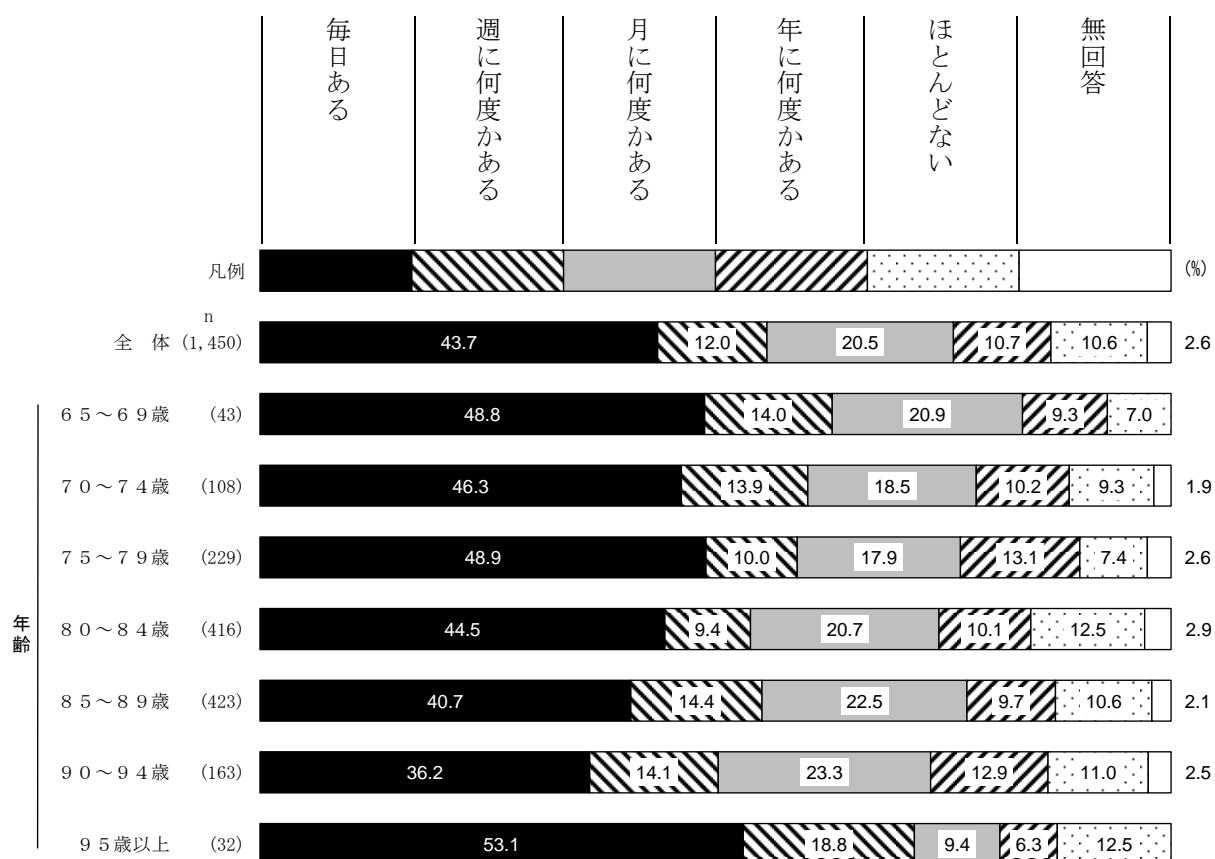
年齢別でみると、「朝昼晩3回」において、70～74歳は他の年齢に比べ80.6%と最も少なくなっており、次いで90～94歳(83.4%)、75～79歳(83.8%)の順となっている。(図表23-1)

### (6) ほかに人と食事をとにもする機会の有無

問24 自分一人ではなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか（1つに○）

「毎日ある」が43.7%、「月に何度かある」が20.5%。

図表24-1 ほかに人と食事をとにもする機会の有無（年齢別）



ほかに人と食事をとにもする機会の有無について、「毎日ある」が43.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」(20.5%)、「週に何度かある」(12.0%)となっている。

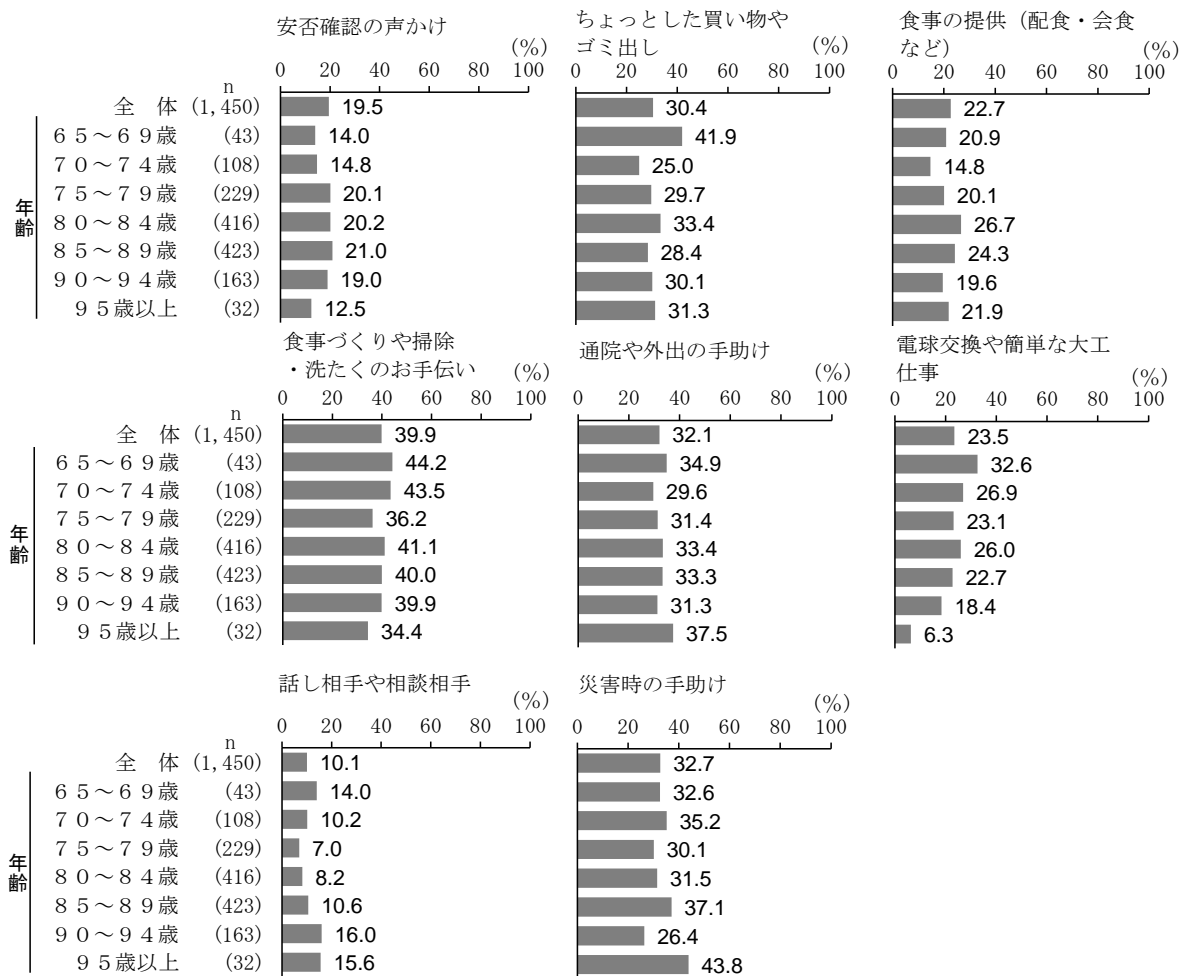
年齢別でみると、「毎日ある」は、95歳以上が53.1%と、他の年齢に比べ多く、90～94歳が36.2%と他の年齢に比べ少なくなっている。(図表24-1)

(7) 日常生活で手助けをしてほしいこと

問25 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか（3つまで○）

「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が39.9%、「災害時の手助け」が32.7%。

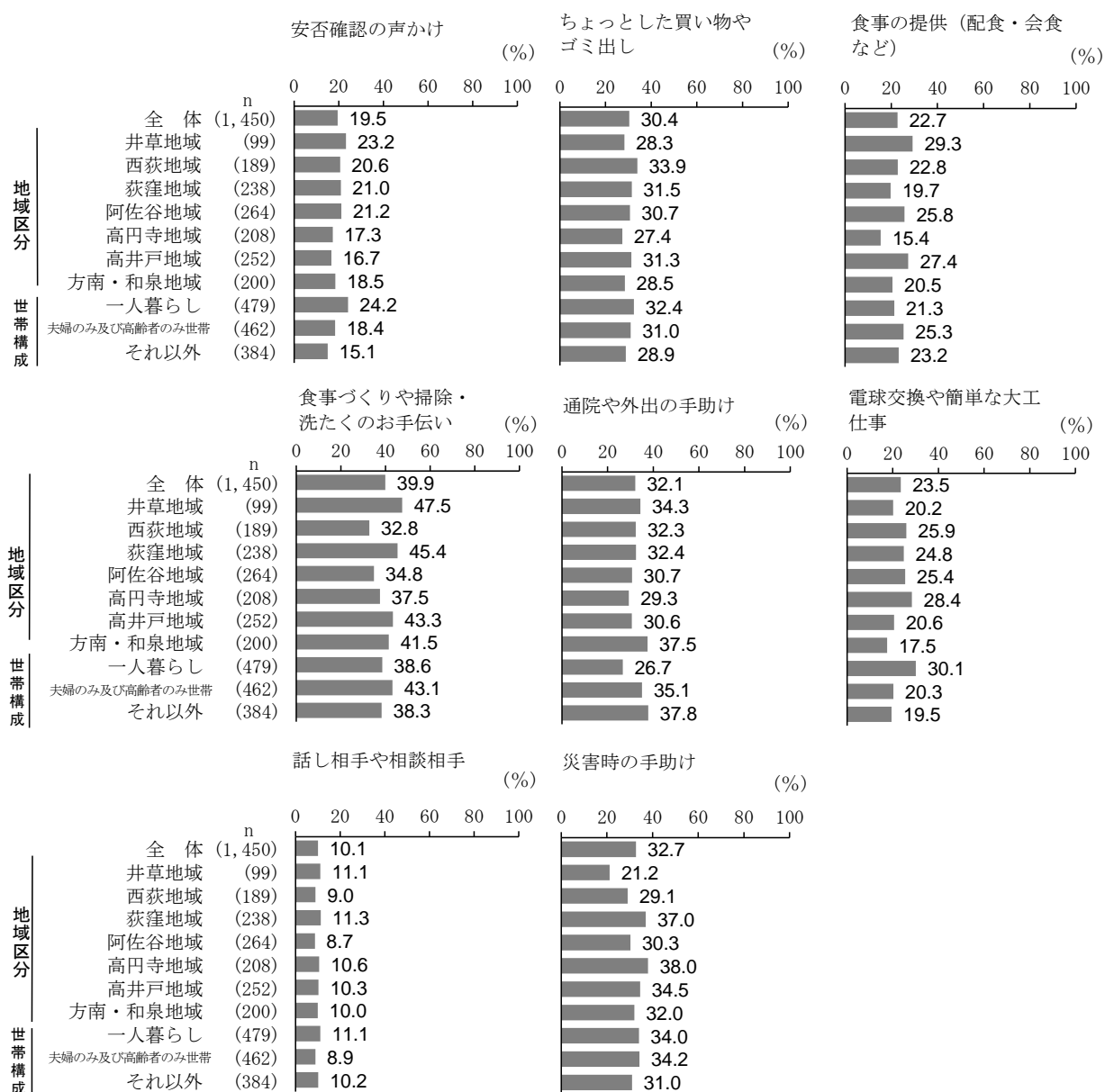
図表25-1 日常生活で手助けをしてほしいこと（年齢別）



日常生活で手助けをしてほしいことについて、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が39.9%と最も多く、次いで、「災害時の手助け」(32.7%)、「通院や外食の手助け」(32.1%)の順となっている。

年齢別でみると、「電球交換や簡単な大工仕事」は、65～69歳は32.6%、95歳以上は6.3%となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表25-1)

図表 25-2 日常生活で手助けをしてほしいこと（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「食事づくりや掃除洗濯のお手伝い」は井草地域が 47.5%、「災害時の手助け」は高円寺地域が 38.0%と、他の地域に比べ多くなっている。「通院や外出の手助け」は方南・和泉地域が 37.5%と、他の地域に比べ多くなっている。

世帯構成別でみると、一人暮らしは「安否の声かけ」(24.2%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(32.4%)、「電球交換や簡単な大工仕事」(30.1%)、「話し相手や相談相手」(11.1%)が、他の世帯構成と比べて多くなっている。(図表 25-2)

## 6. 記憶・判断について

### (1) 記憶・判断について

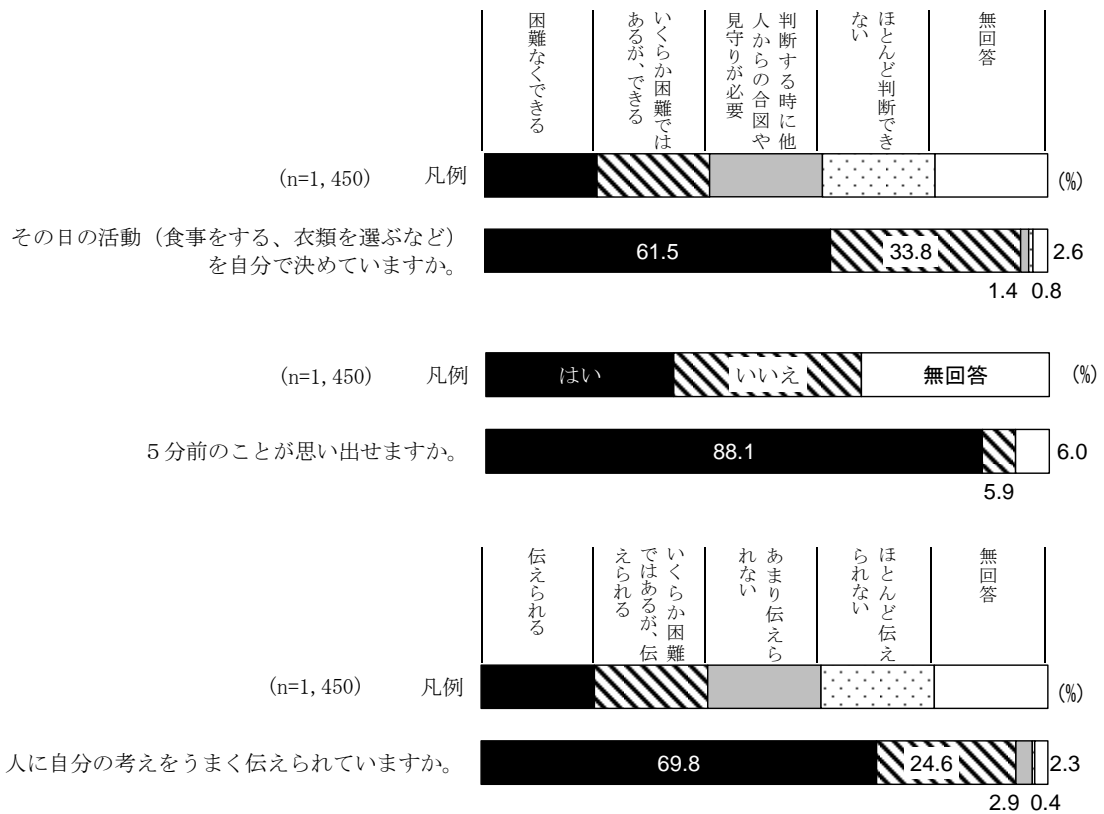
問26 その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。（1つに○）

問27 5分前のことが思い出せますか。

問28 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。（1つに○）

その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決められる人は61.5%、5分前のことが思い出せる人は88.1%、人に自分の考えをうまく伝えられる人は69.8%。

図表26-1 記憶・判断について



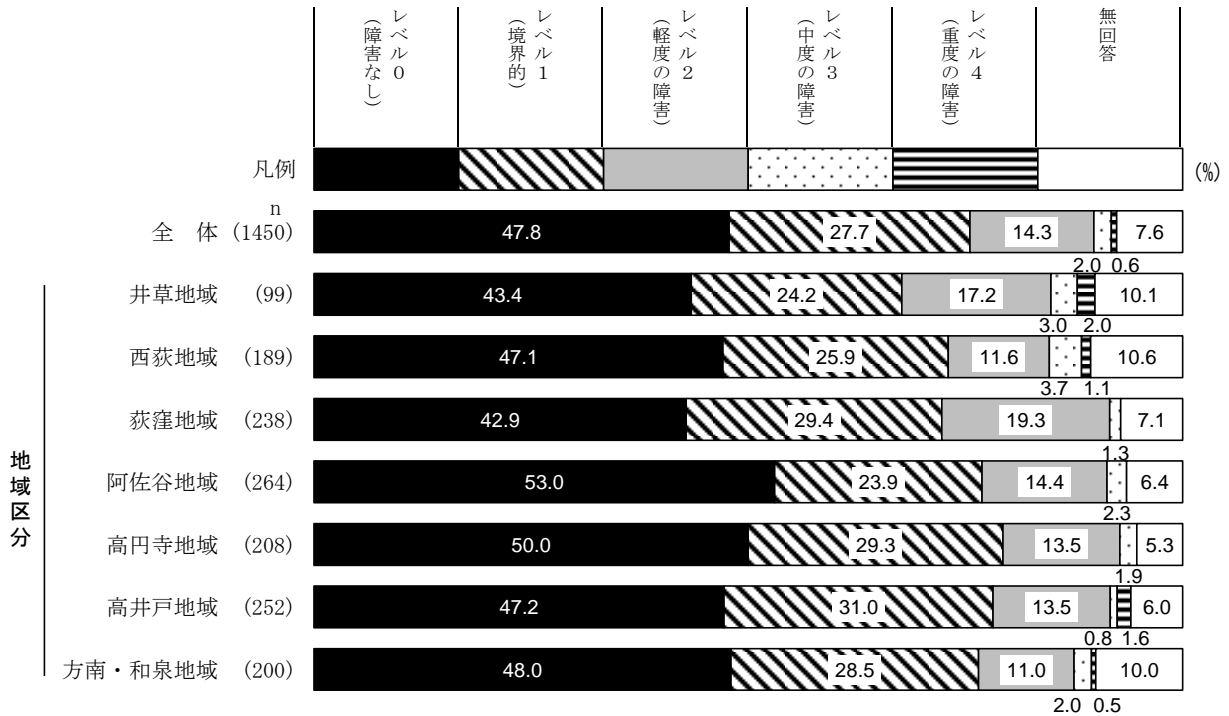
記憶・判断について、『その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか』で「困難なくできる」と回答した人は61.5%、『5分前のことが思い出せますか』で「はい」と回答した人は88.1%、『人に自分の考えをうまく伝えられていますか』で「伝えられる」と回答した人は69.8%となっている。

いくらか困難である人を合わせると、いずれの質問においてもできると回答した人が95%前後となっている。（図表26-1）

(2) 認知機能の分析結果

「レベル0 (障害なし)」は47.8%、「レベル1 (境界的)」は27.7%。

図表 b-1 認知機能の分析結果



問26～問28の回答の組み合わせをもとに認知機能判定を行った。その結果、「レベル0 (障害なし)」が47.8%と最も多く、次いで「レベル1 (境界的)」(27.7%)、「レベル2 (軽度の障害)」(14.3%)の順になっている。

地域区分別でみると、「レベル0 (障害なし)」は、阿佐谷地域が53.0%と他の地域に比べ多く、荻窪地域が42.9%と少なくなっている。一方、「レベル1 (境界的)」は、高井戸地域が31.0%と他の地域に比べ多く、井草地域が24.2%と少なくなっている。(図表b-1)

## 7. 運動機能について

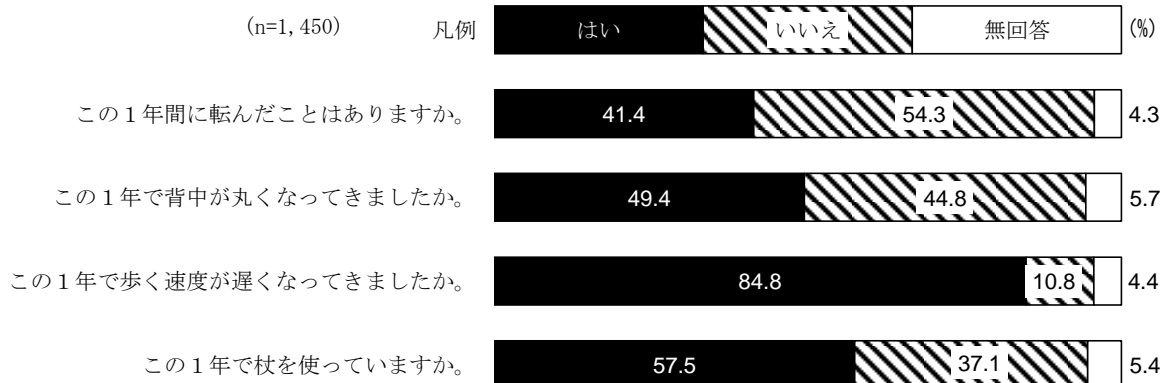
### (1) 運動機能について

問29

- (1) この1年間に転んだことはありますか。  
 (2) この1年で背中が丸くなってきましたか。  
 (3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。  
 (4) この1年で杖を使っていますか。

この1年で、歩く速度が遅くなってきた人は84.8%、この1年で杖を使っている人は57.5%。

図表29-1 運動機能について



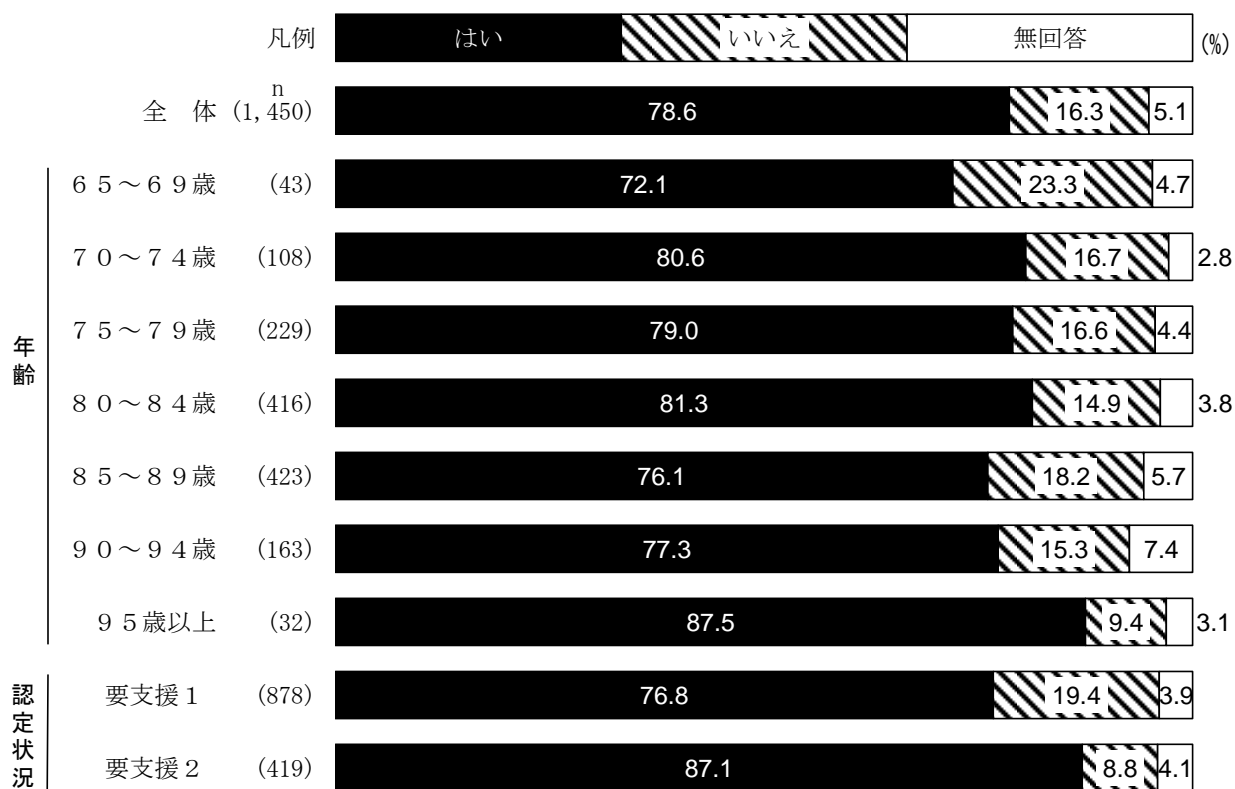
運動機能について、『この1年で歩く速度が遅くなってきましたか』で「はい」を回答した人は84.8%と最も多く、次いで『この1年で杖を使っていますか』(57.5%)、『この1年で背中が丸くなってきましたか』(49.4%)の順となっている。割合が少ないものは、『この1年間に転んだことはありますか』の41.4%となっている。(図表29-1)

## (2) 転倒に対する不安

問29 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(いずれかに必ず〇)

「はい」は78.6%、「いいえ」は16.3%。

図表29-2 転倒に対する不安(年齢別/認定状況別)



転倒に対する不安について、「はい」は78.6%、「いいえ」は16.3%となっている。

年代別で見ると、すべての年齢層で7割以上が不安を感じている。

認定状況別で見ると、要支援2において、「はい」は87.1%と、要支援1の76.8%にくらべ多くなっている。(図表29-2)

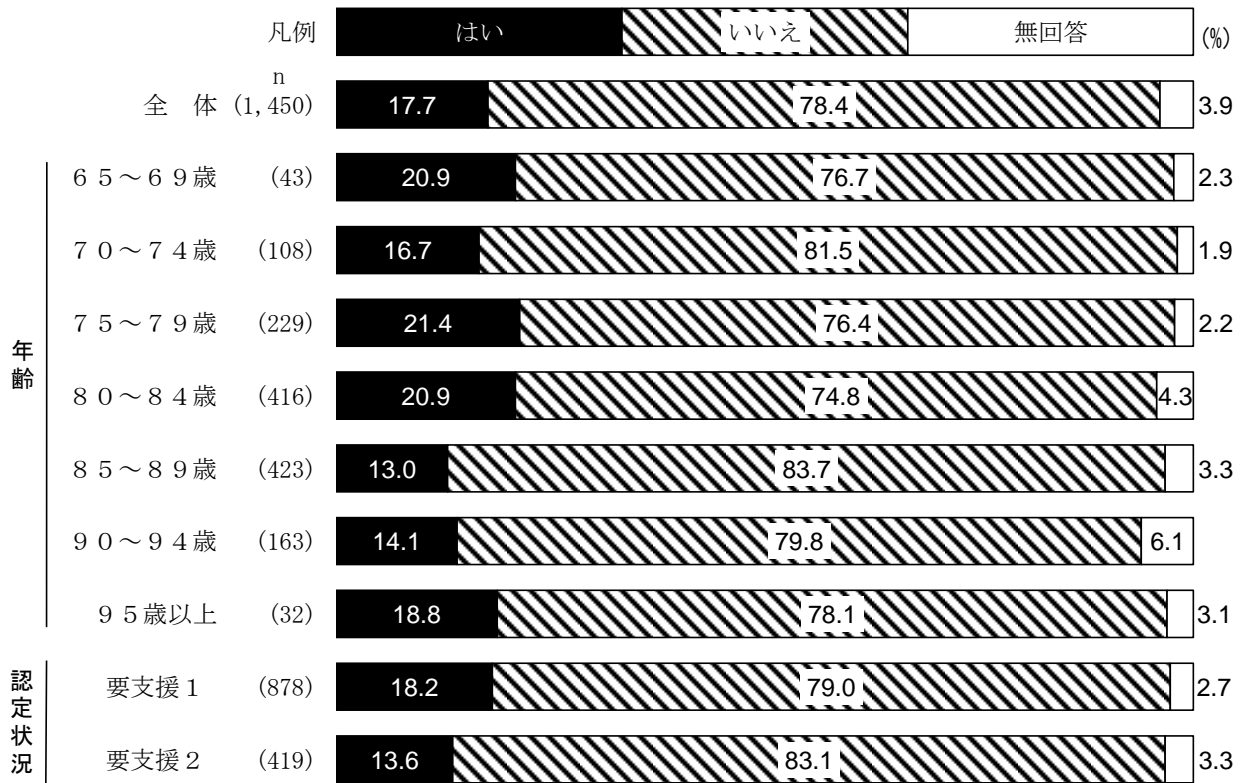


### (3) 階段の昇り降り

問29 (6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしていますか。(いずれかに必ず○)

「はい」が17.7%、「いいえ」が78.4%。

図表29-3 手すり等を使用せずに階段を昇り降りできるか(年齢別/認定状況別)



手すり等を使用せずに階段を昇り降りできるかについて、「はい」が17.7%、「いいえ」が78.4%となっている。

年齢別でみると、「はい」は、75～79歳が21.4%と、他の年齢に比べ多く、85～89歳が13.0%と、少なくなっている。

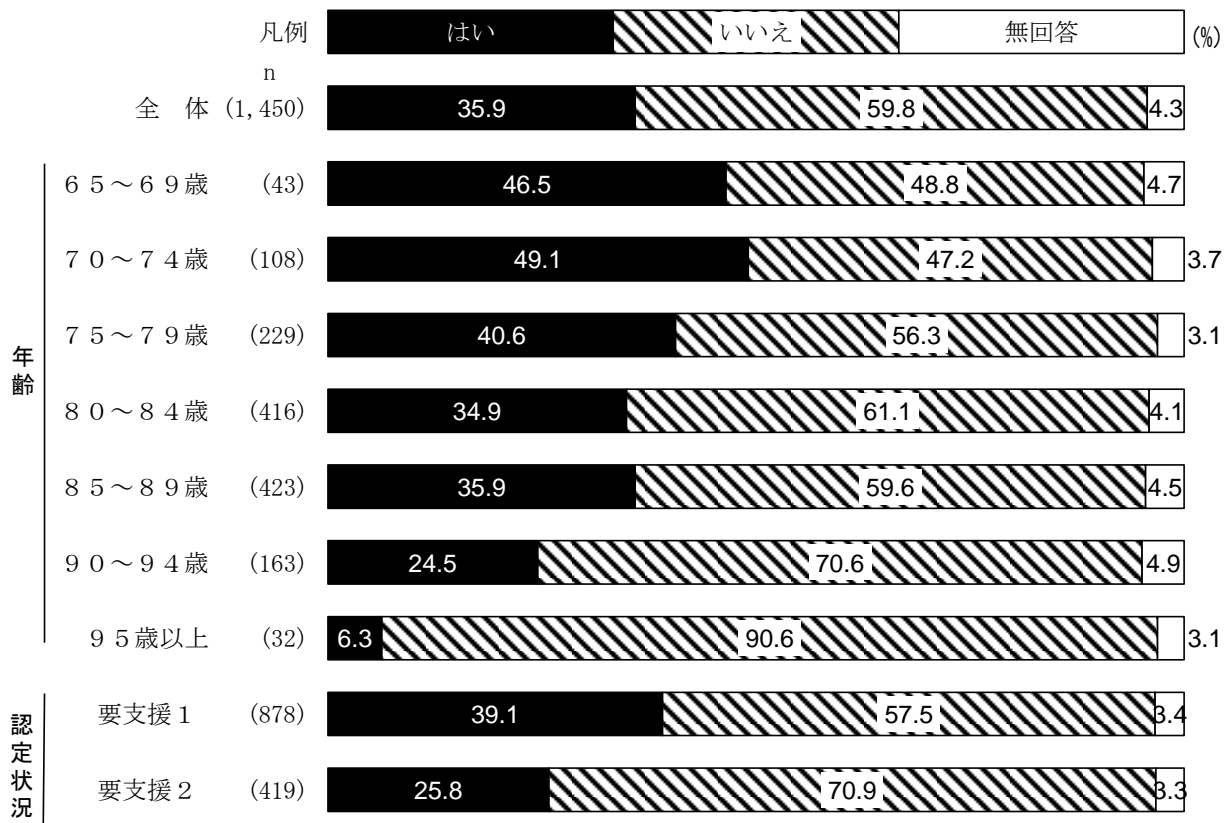
認定状況別でみると、要支援1における「はい」は、18.2%と、要支援2の13.6%に比べ多くなっている。(図表29-3)

### (4) 椅子からの立ち上がり

問29 (7) 椅子に座った状態から何も捕まらずに立ち上がっていますか。(いずれかに必ず○)

「はい」が35.9%、「いいえ」が59.8%。

図表29-4 何も捕まらずに椅子から立ち上がれるか(年齢別/認定状況別)



何も捕まらずに椅子から立ち上がれるかについて、「はい」が35.9%、「いいえ」が59.8%となっている。

年齢別でみると、「はい」は、65～69歳が46.5%、95歳以上が6.3%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

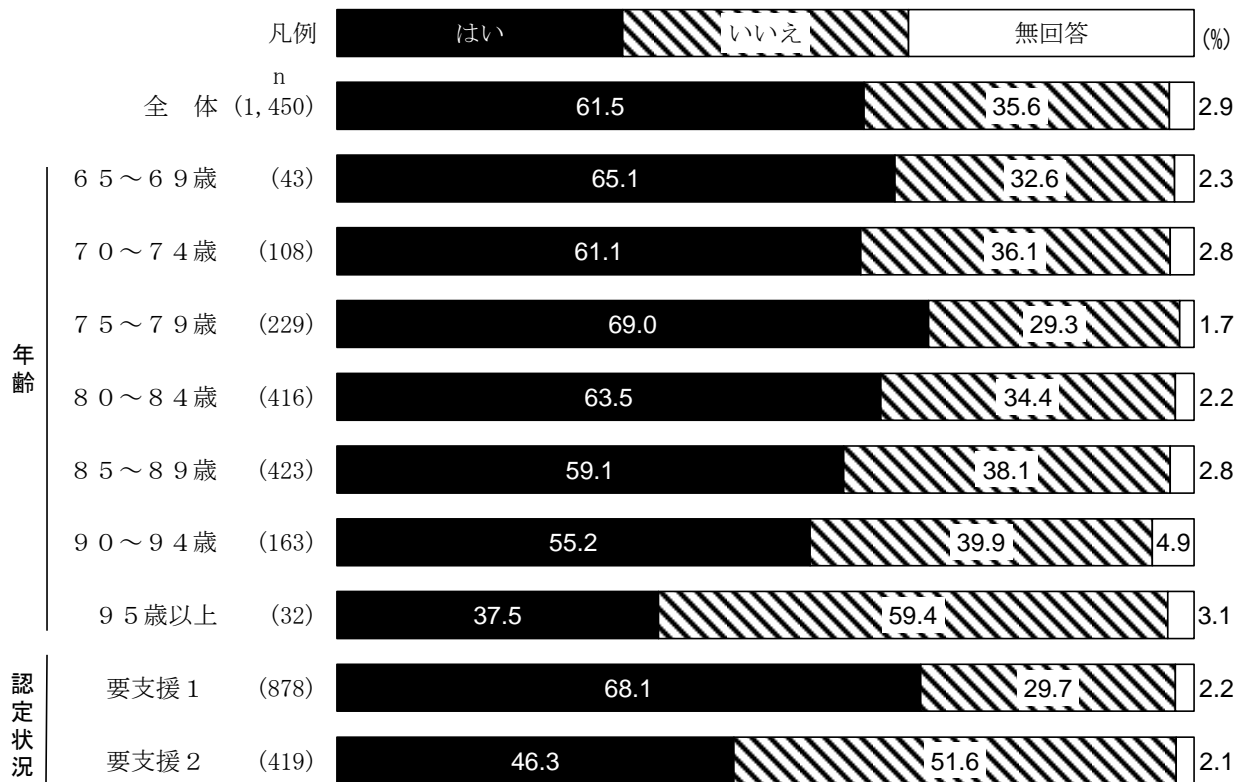
認定状況別でみると、「はい」は、要支援1で39.1%と、要支援2の25.8%に比べ、多くなっている。(図表29-4)

(5) 連続歩行

問29 (8) 15分くらい続けて歩いていますか。(いずれかに必ず○)

「はい」が61.5%、「いいえ」が35.6%。

図表29-5 連続して歩行できるか(年齢別/認定状況別)



連続して歩行できるかについて、「はい」は61.5%、「いいえ」が35.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が少なくなっている。

認定状況別にみると、「はい」は、要支援1が68.1%であり、要支援2の46.3%に比べ多くなっている。

(図表29-5)

## (6) 転倒リスクの分析結果

「リスクあり」は61.6%と6割以上を占め、「リスクなし」は25.6%。

図表 c-1 転倒リスクの分析結果



問29(1)～(4)および問37の回答の組み合わせをもとに、転倒リスクの分析を行った。その結果、「転倒リスクあり」が61.6%、「転倒リスクなし」が25.6%となっている。(図表c-1)

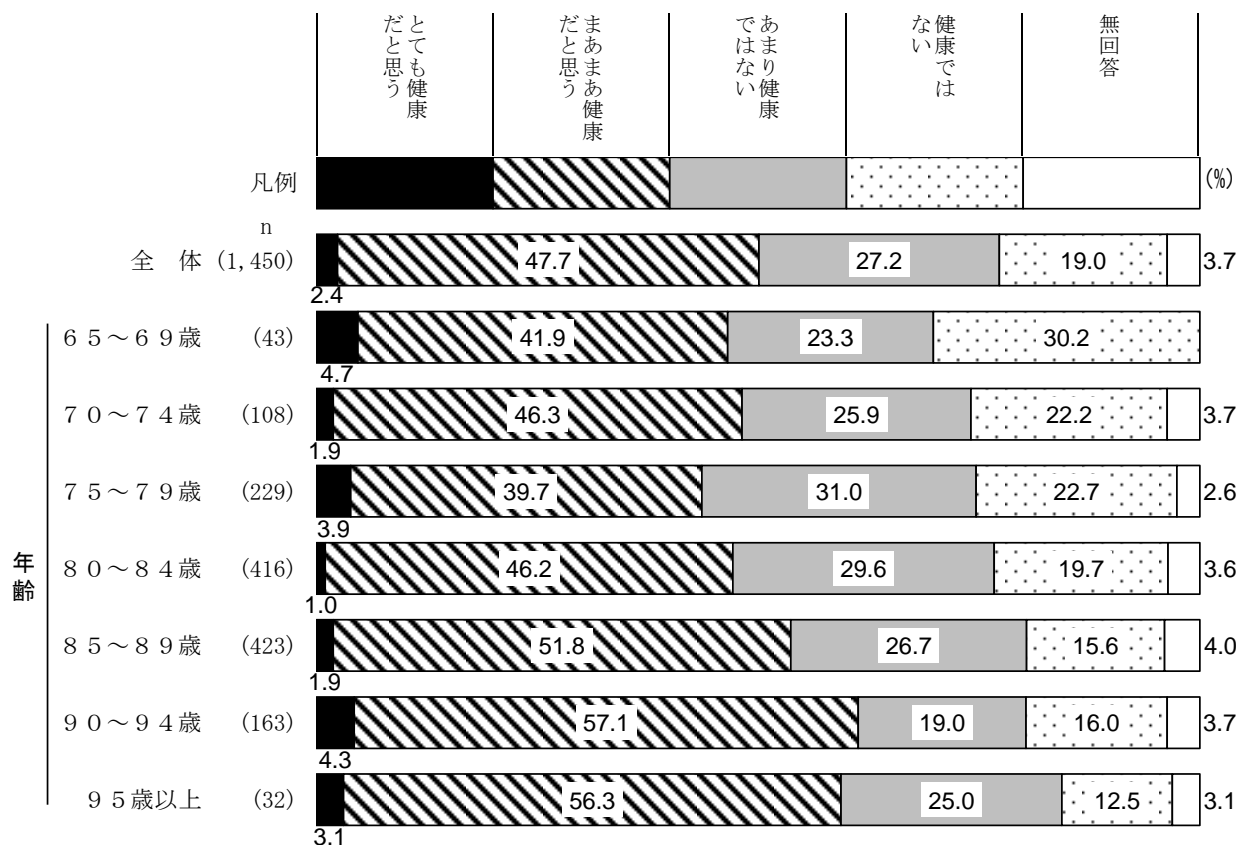
## 8. 健康について

### (1) 主観的な健康感について

問30 ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

「まあまあ健康だと思う」が47.7%、「あまり健康ではない」が27.2%。

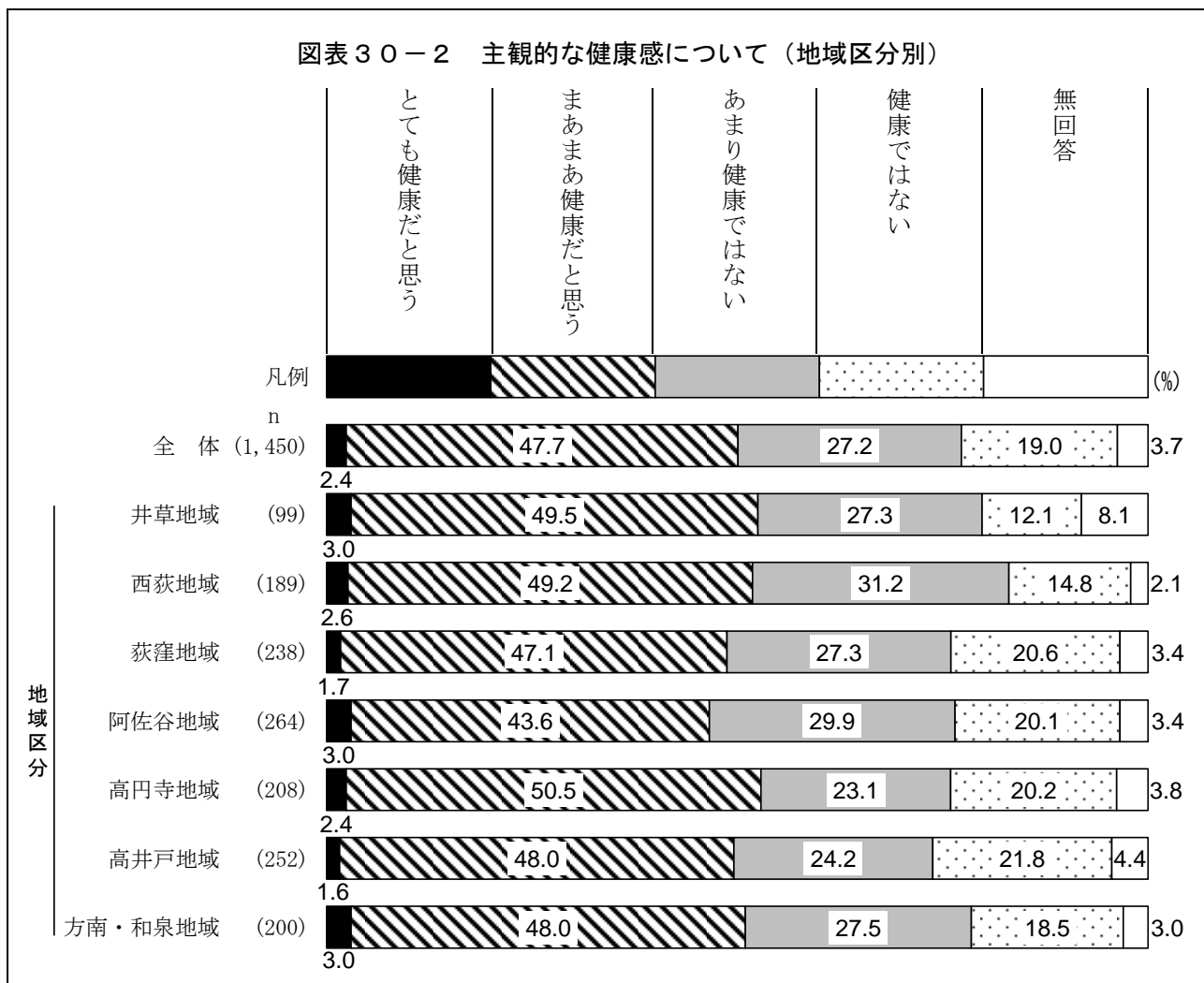
図表30-1 主観的な健康感について（年齢別）



主観的な健康感について、「まあまあ健康だと思う」が47.7%と最も多く、ついで「あまり健康ではない」(27.2%)、「健康ではない」(19.0%)の順になっている。

年齢別でみると、「健康ではない」は、65～69歳が30.2%、95歳以上が12.5%となっており、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。(図表30-1)

図表30-2 主観的な健康感について（地域区分別）



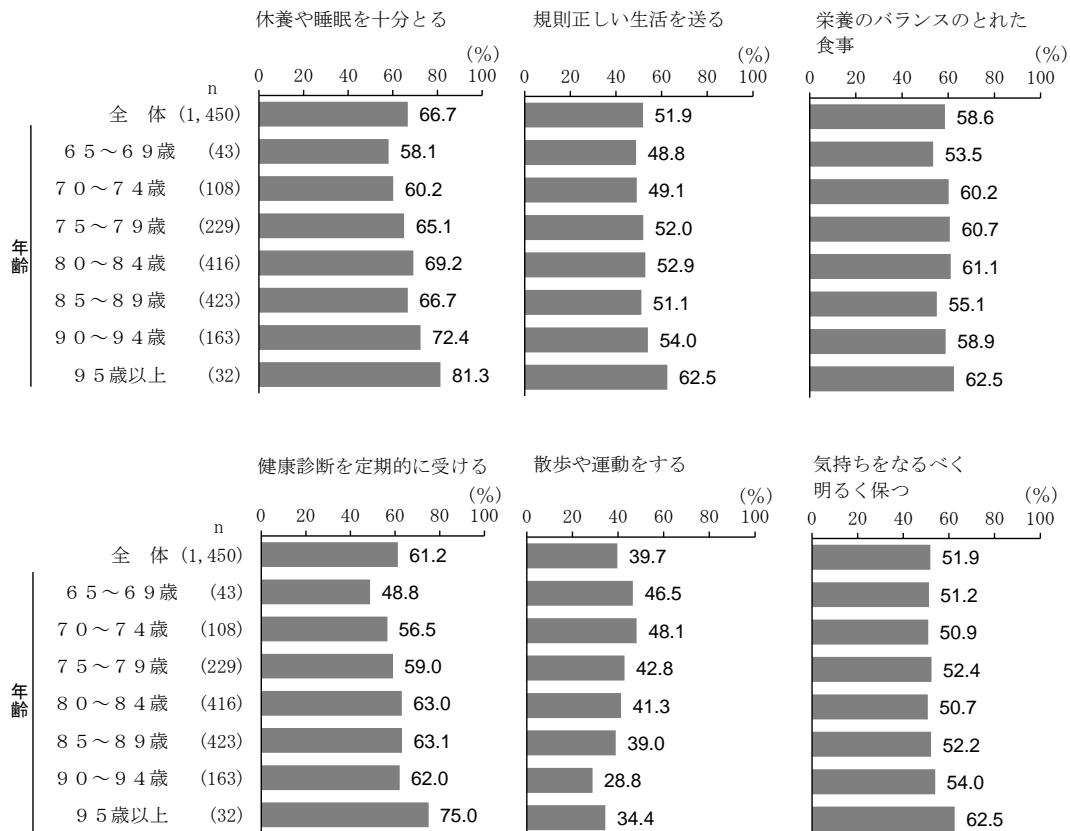
地域区分別でみると、「まあまあ健康だと思う」は、高円寺地域が50.5%と、他の地域よりも多くなっている。一方、「健康ではない」は、高井戸地域が21.8%と、他の地域よりも多くなっている。(図表30-2)

## (2) 健康に気を使っていること

問3 1 健康に気を使っていることはありますか (いくつでも○)

「休養や睡眠を十分とる」が66.7%、「健康診断を定期的に受ける」が61.2%。

図表3 1-1 健康に気を使っていること (年齢別)



健康に気を使っていることについて、「休養や睡眠を十分とる」が66.7%と最も多く、次いで「健康診断を定期的に受ける」(61.2%)、「栄養のバランスのとれた食事」(58.6%)と続いている。

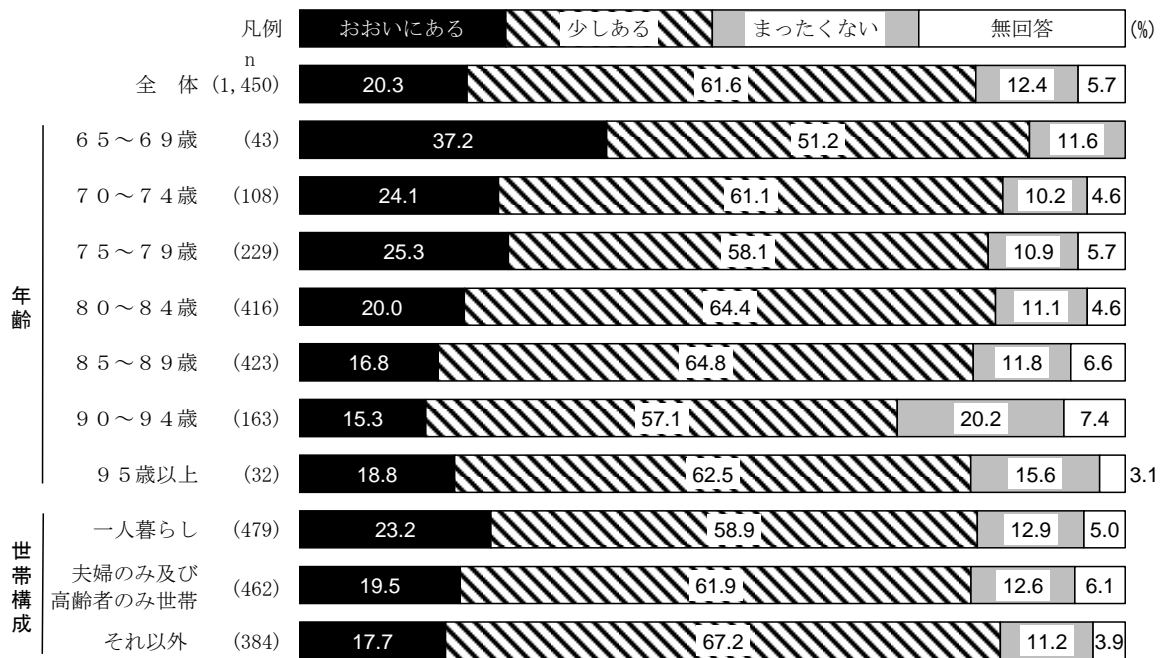
年齢別でみると、「休養や睡眠を十分とる」は65~69歳が58.1%、95歳以上が81.3%、「健康診断を定期的に受ける」は65~69歳が48.8%、95歳以上が75.0%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表3 1-1)

### (3) 悩みやストレスの有無

問3 2 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

「少しある」が61.6%、「おおいにある」が20.3%。

図表3 2-1 悩みやストレスの有無(年齢別/世帯構成別)



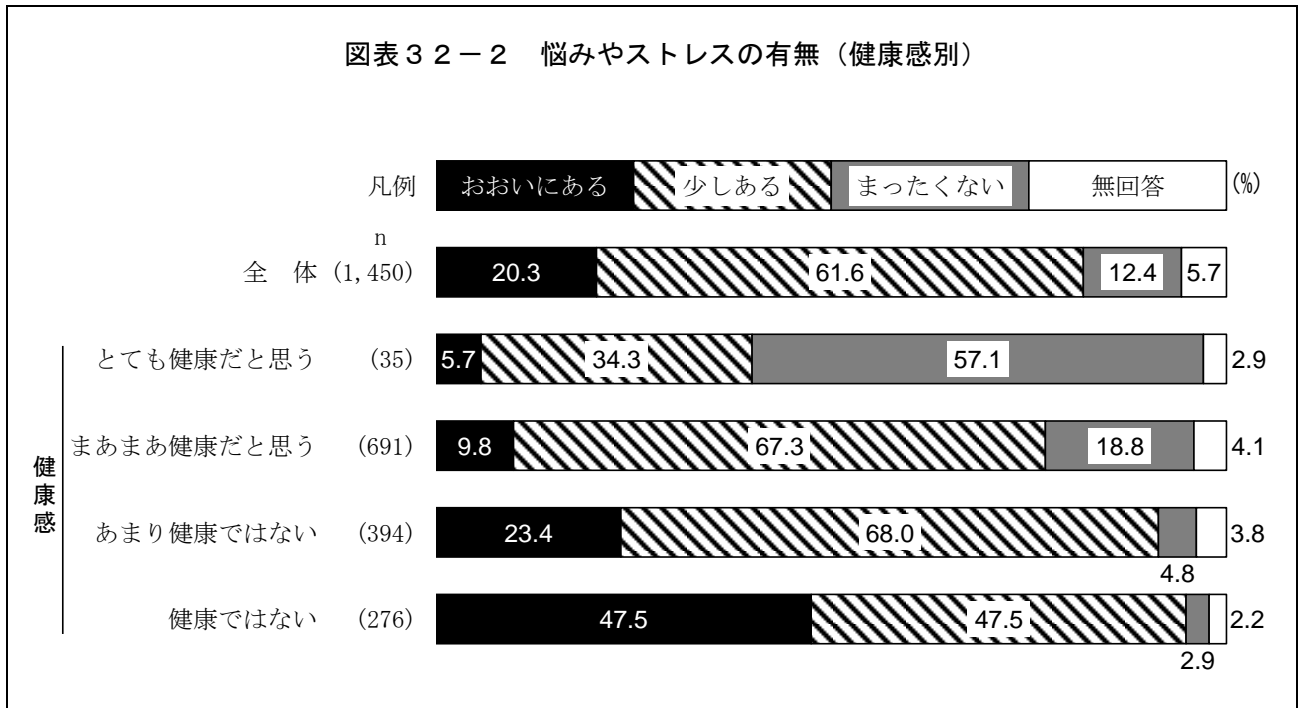
悩みやストレスの有無について、「少しある」が61.6%と最も多く、次いで「おおいにある」(20.3%)、「まったくない」(12.4%)の順になっている。

年齢別でみると、「おおいにある」は、65～69歳が37.2%、95歳以上が18.8%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。「少しある」は、85～89歳が64.8%と、他の年齢に比べ多くなっており、「まったくない」は、90～94歳が20.2%と他の年齢に比べ多くなっている。

世帯構成別でみると、一人暮らしは、「おおいにある」が23.2%と、他の世帯構成の夫婦のみ及び高齢者のみ世帯(19.5%)、それ以外(17.7%)に比べ多くなっている。(図表3 2-1)



図表32-2 悩みやストレスの有無（健康感別）



健康感別にみると、「おおいいある」は、とても健康だと思う人で5.7%、健康ではないと回答した人が47.5%と5割近くを占め、健康ではないと感じている人ほど、ストレスを強く感じている傾向がみられる。一方、「まったくない」は、とても健康だと思う人で57.1%と、6割近くを占めている。(図表32-2)

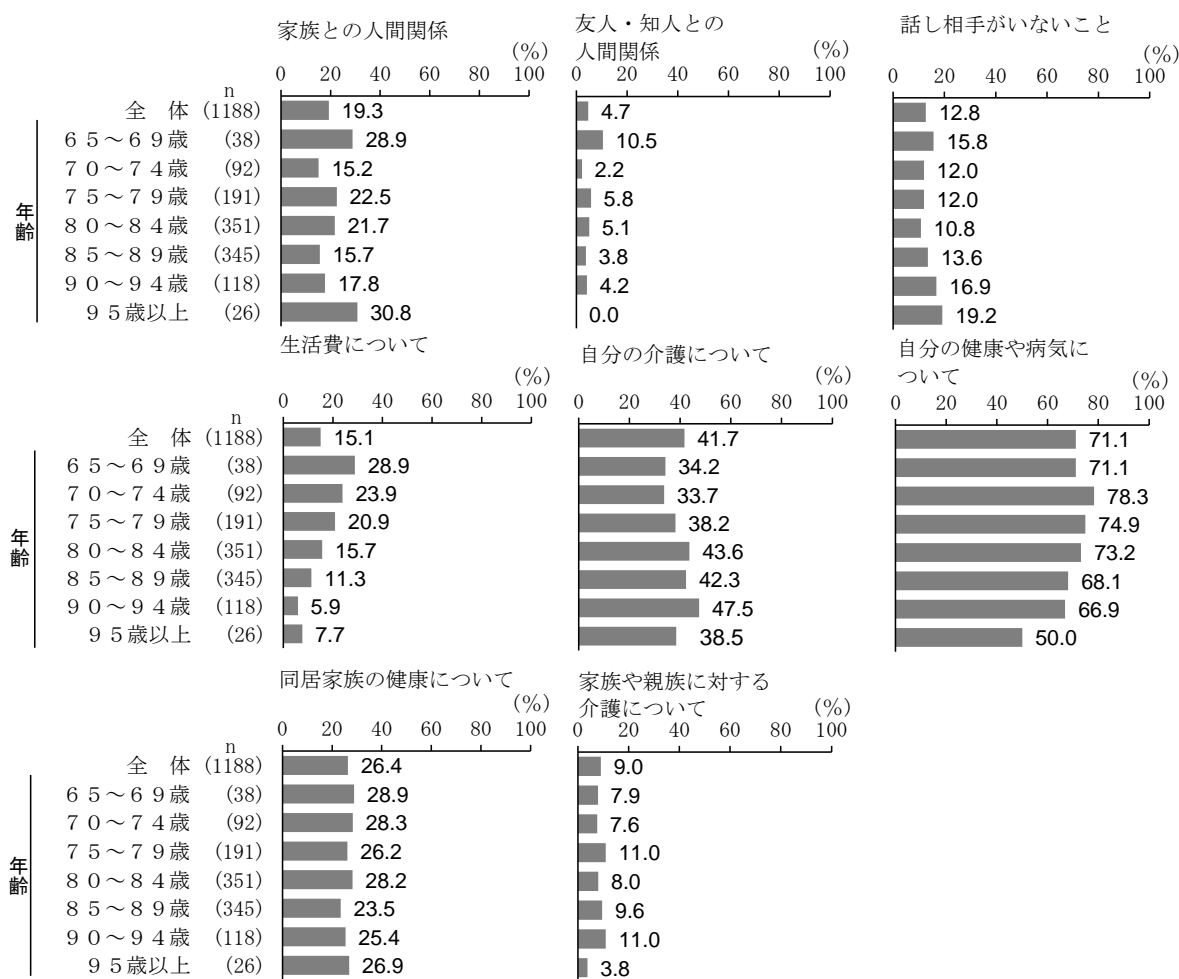
### (4) 悩みやストレスの原因

問33 (問32で「1」「2」と回答された方におたずねします。)

その原因は何ですか。(いくつでも○)

「自分の健康や病気について」が71.1%、「自分の介護について」が41.7%。

図表33-1 悩みやストレスの原因(年齢別)



悩みやストレスの原因について、「自分の健康や病気について」が71.1%と最も多く、次いで「自分の介護について」(41.7%)、「同居家族の健康について」(26.4%)の順となっている。

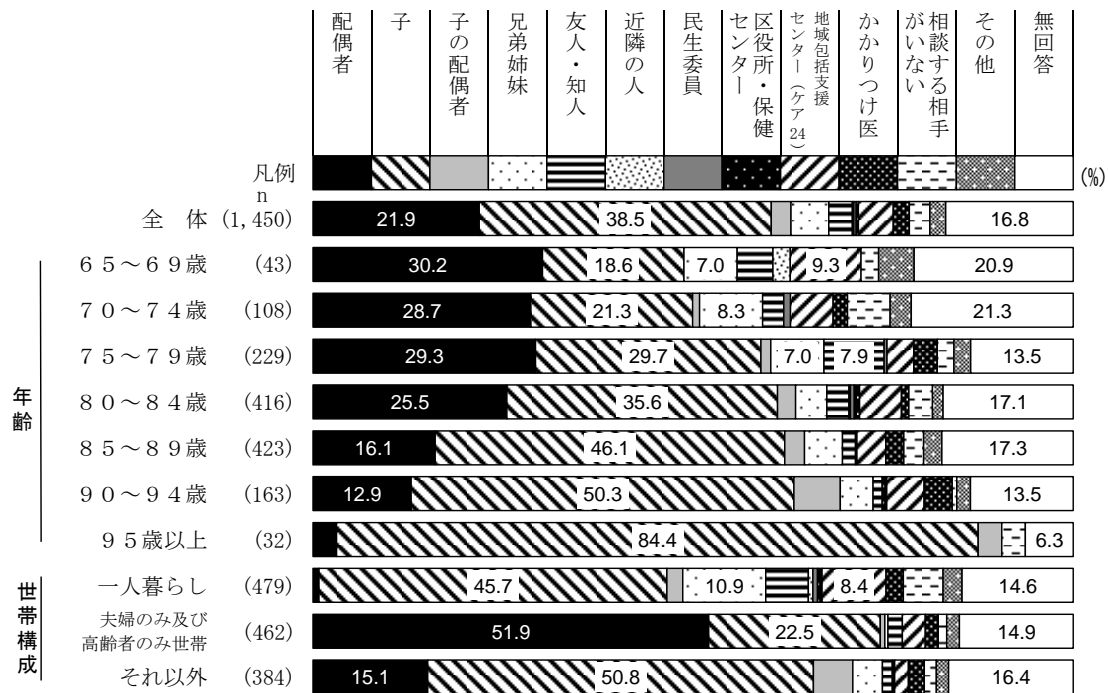
年齢別にみると、「生活費について」は、65~69歳が28.9%、90~94歳が5.9%と、年齢が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。また、「自分の健康や病気について」は、70歳以上についてみると、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。一方、「自分の介護について」は、65~69歳が34.2%、90~94歳が47.5%とおおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表33-1)

### (5) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問3 4 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。(もっともよくあてはまるもの1つに○)

「子」が38.5%、「配偶者」が21.9%。年齢が高くなるにつれ「子」の割合が多くなる。

図表3 4-1 生活の中で不安に思ったときの相談先(年齢別/世帯構成別)



	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人	近隣の人	民生委員	区役所・保健センター	地域包括支援センター(ケア24)	かかりつけ医	相談する相手がいない	その他	無回答
全体 (1,450)	21.9	38.5	2.6	5.0	3.1	0.2	0.3	0.3	4.6	2.1	2.7	2.1	16.8
65~69歳 (43)	30.2	18.6	-	7.0	4.7	2.3	-	-	9.3	-	2.3	4.7	20.9
70~74歳 (108)	28.7	21.3	0.9	8.3	2.8	-	0.9	-	5.6	1.9	5.6	2.8	21.3
75~79歳 (229)	29.3	29.7	1.3	7.0	7.9	-	0.4	-	3.5	3.1	2.2	2.2	13.5
80~84歳 (416)	25.5	35.6	2.4	4.1	2.9	0.2	0.5	0.7	5.5	1.0	3.1	1.4	17.1
85~89歳 (423)	16.1	46.1	2.6	5.0	1.7	0.2	-	-	3.8	2.4	2.6	2.4	17.3
90~94歳 (163)	12.9	50.3	6.1	4.3	1.2	-	-	0.6	4.9	3.7	0.6	1.8	13.5
95歳以上 (32)	3.1	84.4	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-
一人暮らし (479)	0.8	45.7	2.1	10.9	5.6	0.6	0.6	0.6	8.4	2.3	5.2	2.5	14.6
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (462)	51.9	22.5	0.6	0.4	1.9	-	-	-	3.0	1.7	1.1	1.7	14.9
それ以外 (384)	15.1	50.8	5.2	3.9	1.3	-	-	0.3	1.8	2.1	1.6	1.6	16.4

生活の中で不安に思ったときの相談先について、「子」が38.5%と最も多く、次いで「配偶者」(21.9%)、「兄弟姉妹」(5.0%)となっている。

年齢別でみると、「子」は、65~69歳が18.6%、95歳以上が84.4%と、年齢が高くなるにつれ多くなる傾向がみられる。一方、「配偶者」は、65~69歳が30.2%、95歳以上が3.1%と、おおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

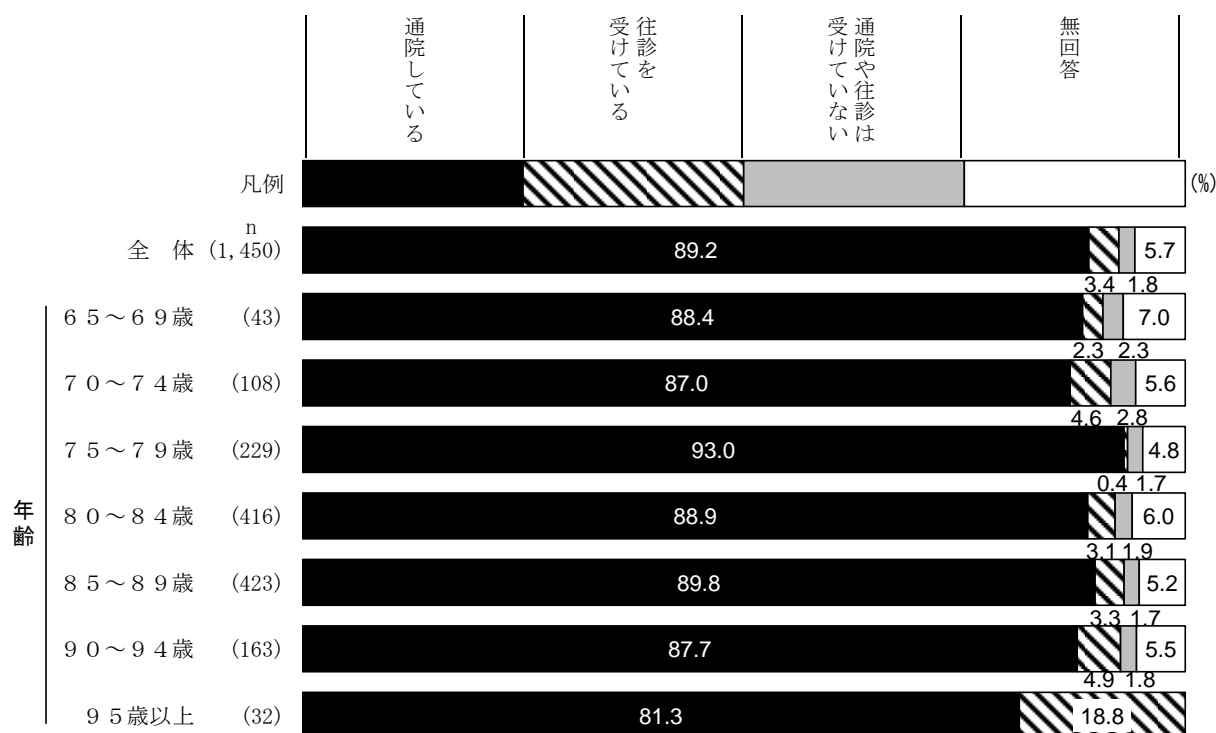
世帯構成別でみると、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯においては、「配偶者」が51.9%と5割を超え、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図表3 4-1)

## (6) 通院・往診の状況

問35 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が89.2%、「往診を受けている」が3.4%。

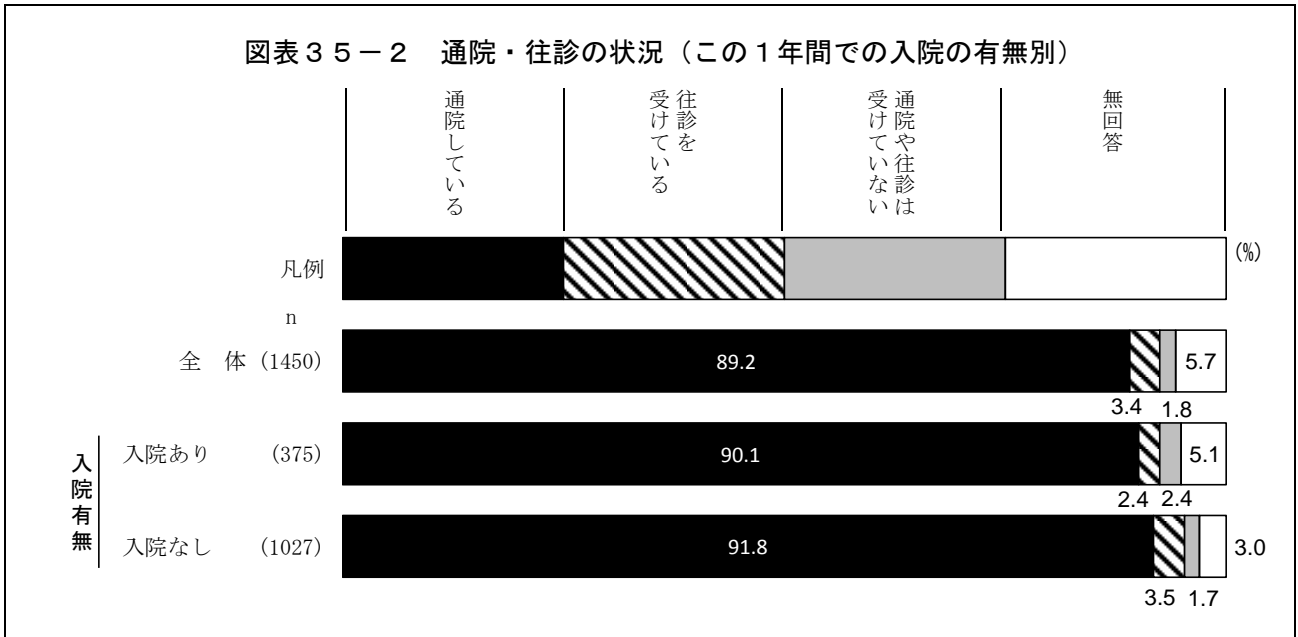
図表35-1 通院・往診の状況（年齢別）



通院・往診の状況について「通院している」が89.2%と最も多く9割近くを占めており、次いで「往診を受けている」(3.4%)、「通院や往診は受けていない」(1.8%)の順となっている。

年齢別でみると、「通院している」は、75～79歳が93.0%と他の年齢に比べ最も多くなっており、「往診を受けている」は95歳以上が18.8%と最も多くなっている。(図表35-1)

図表35-2 通院・往診の状況（この1年間での入院の有無別）



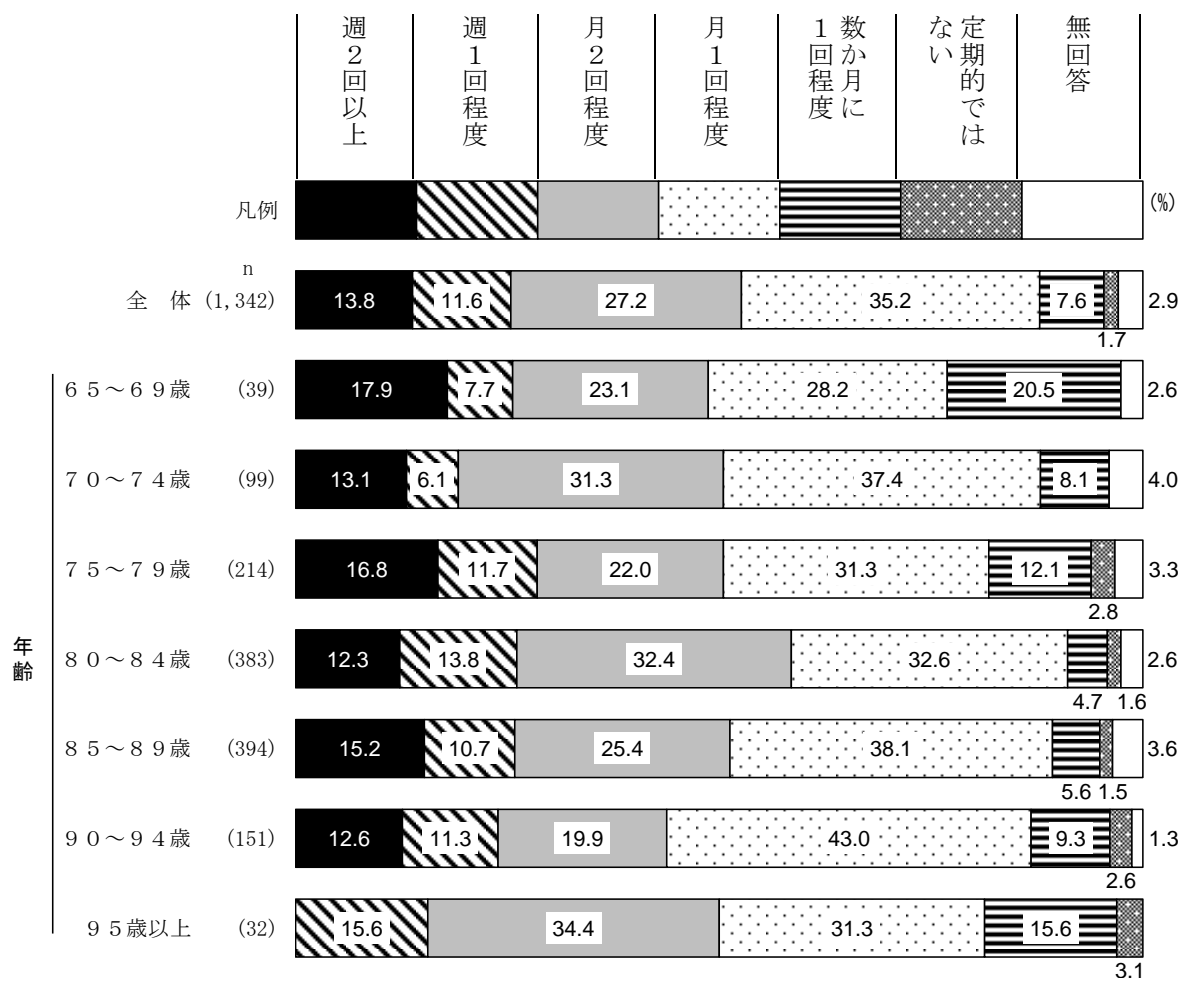
この1年間での入院有無別で見ると、「通院している」は、入院ありと入院なしのいずれも9割を超えており、入院の有無による通院・往診の状況の大きな違いは見られなかった。（図表35-2）

### (7) 通院・往診の頻度

問36 (問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。)  
通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)

「月1回程度」が35.2%、「月2回程度」が27.2%。

図表36-1 通院・往診の頻度(年齢別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が35.2%と最も多く、次いで「月2回程度」(27.2%)、「週2回以上」(13.8%)の順となっている。

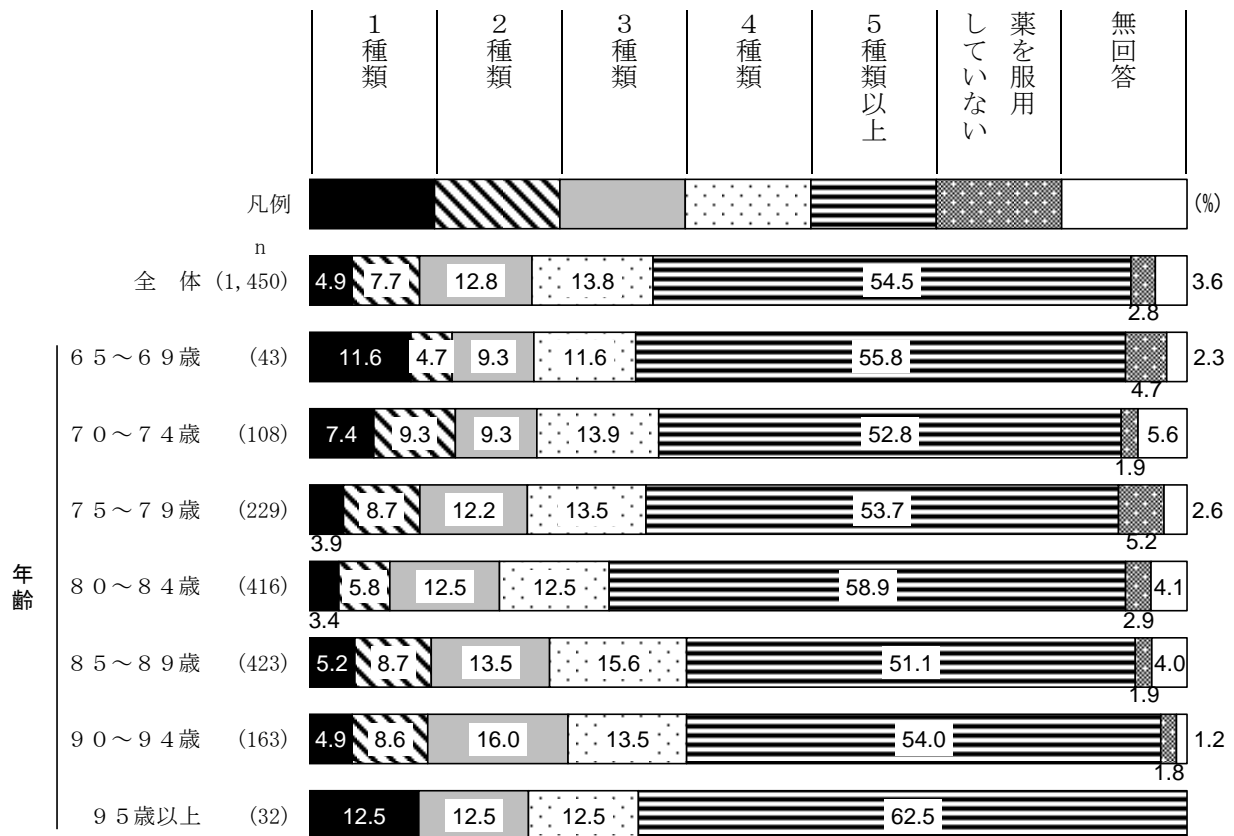
年齢別でみると、65～69歳において、「週2回以上」は17.9%、「数か月に1回程度」は20.5%と、いずれも他の年齢に比べ多くなっている。(図表36-1)

### (8) 服用している薬の種類

問37 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つに○)

「5種類以上」が54.5%、「4種類」が13.8%。

図表37-1 服用している薬の種類（年齢別）



服用している薬の種類について、「5種類以上」が54.5%と最も多く、次いで「4種類」(13.8%)、「3種類」(12.8%)の順となっている。

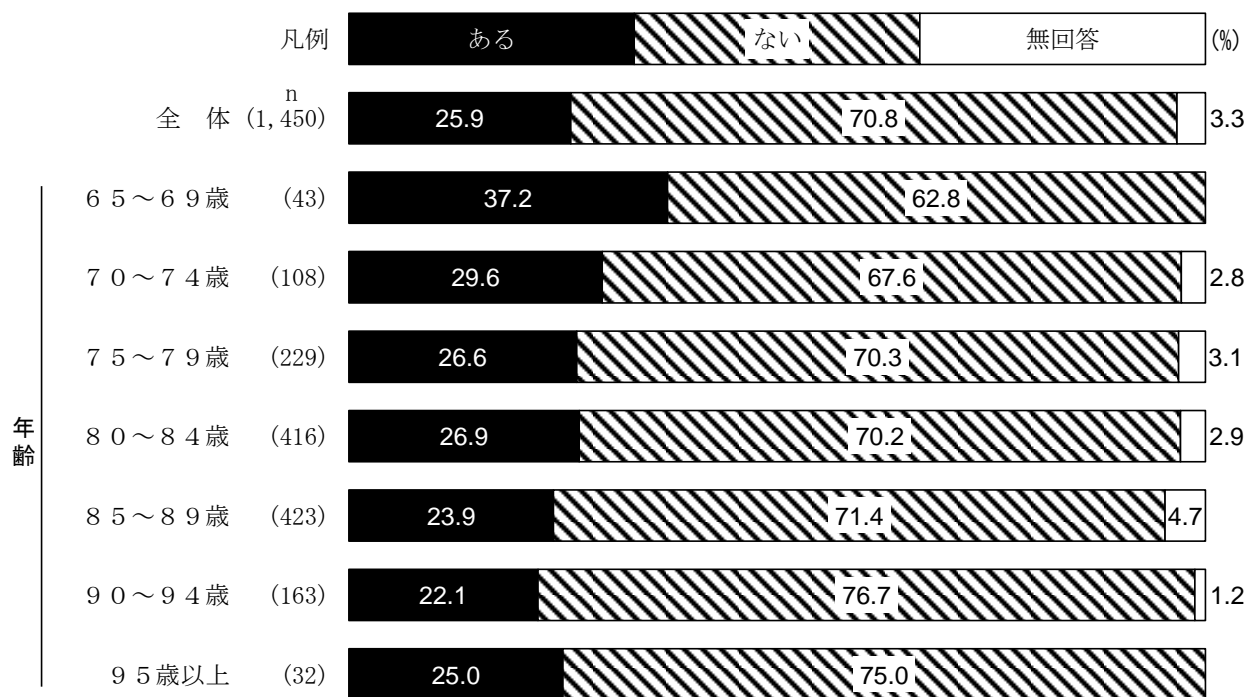
年齢別で見ると、「5種類以上」は、いずれの年齢も5割を超え、中でも95歳以上が62.5%と、他の年齢に比べ多くなっている。一方、「薬を服用していない」は75～79歳が5.2%と、他の年齢に比べ多くなっている。(図表37-1)

### (9) 1年間での入院有無

問38 この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)

「ある」が25.9%、「ない」が70.8%。

図表38-1 1年間での入院有無(年齢別)



1年間での入院有無について、「ある」が25.9%、「ない」が70.8%となっている。

年齢別でみると、「ある」は、65～69歳が37.2%、90～94歳が22.1%と、年齢が高くなるにつれおおむね少なくなっている。(図表38-1)



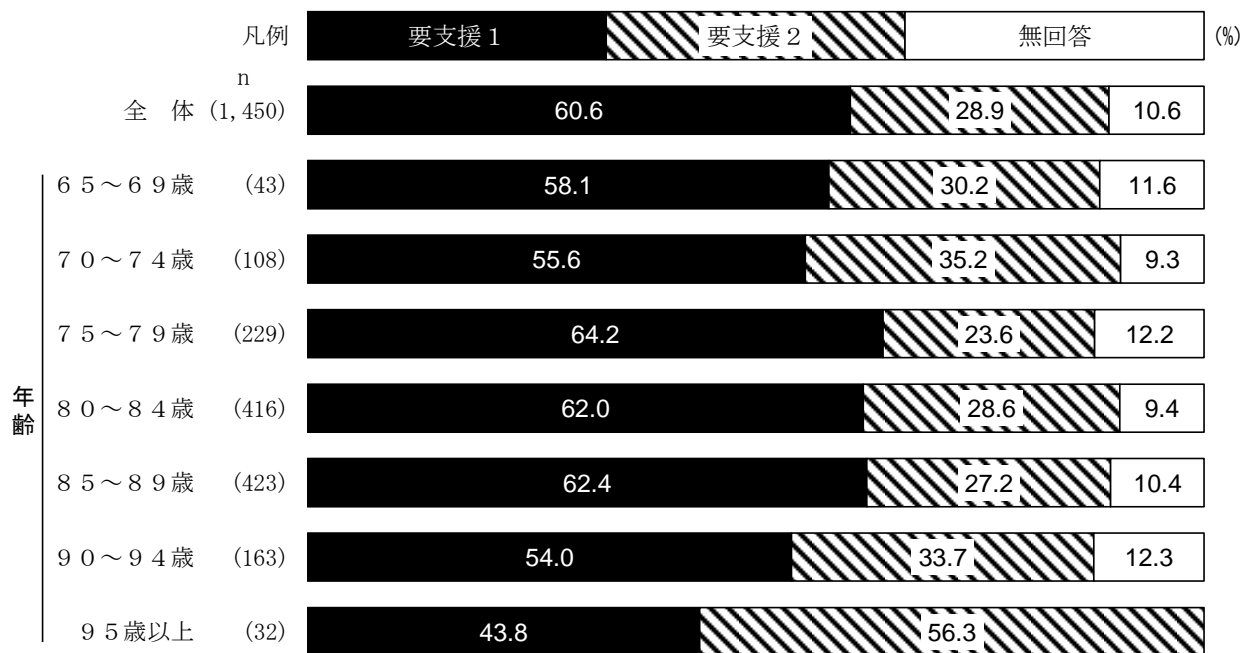
## 9. 介護保険サービスの利用・制度について

### (1) 介護保険の認定

問39 現在の認定状況をおしえてください。(1つに○)

「要支援1」が60.6%、「要支援2」が28.9%。

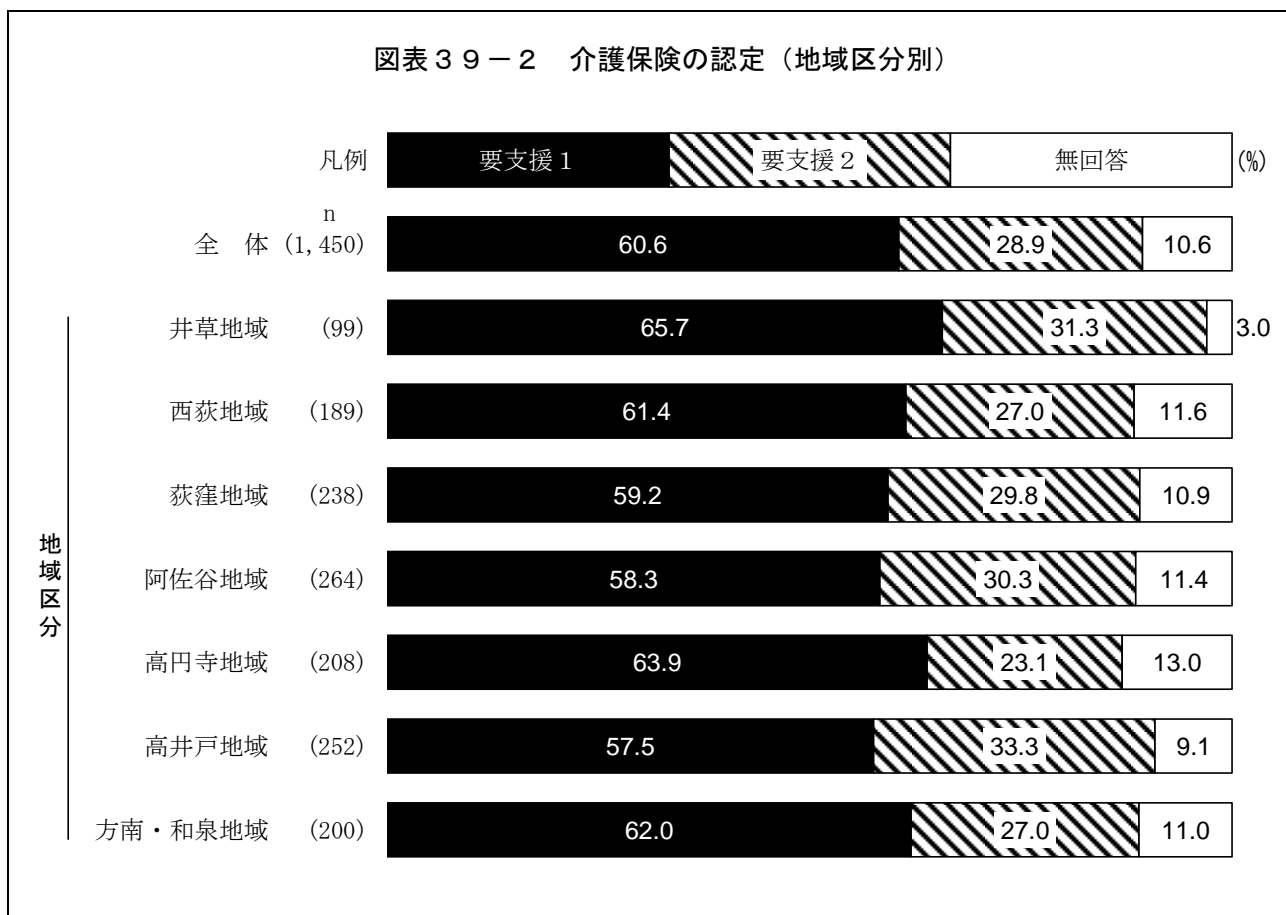
図表39-1 介護保険の認定（年齢別）



介護保険の認定について、「要支援1」が60.6%、「要支援2」が28.9%となっている。

年齢別でみると、95歳以上において、「要支援1」は他の年齢に比べ少なく、「要支援2」は他の年齢に比べ多くなっている。(図表39-1)

図表 3 9 - 2 介護保険の認定（地域区分別）



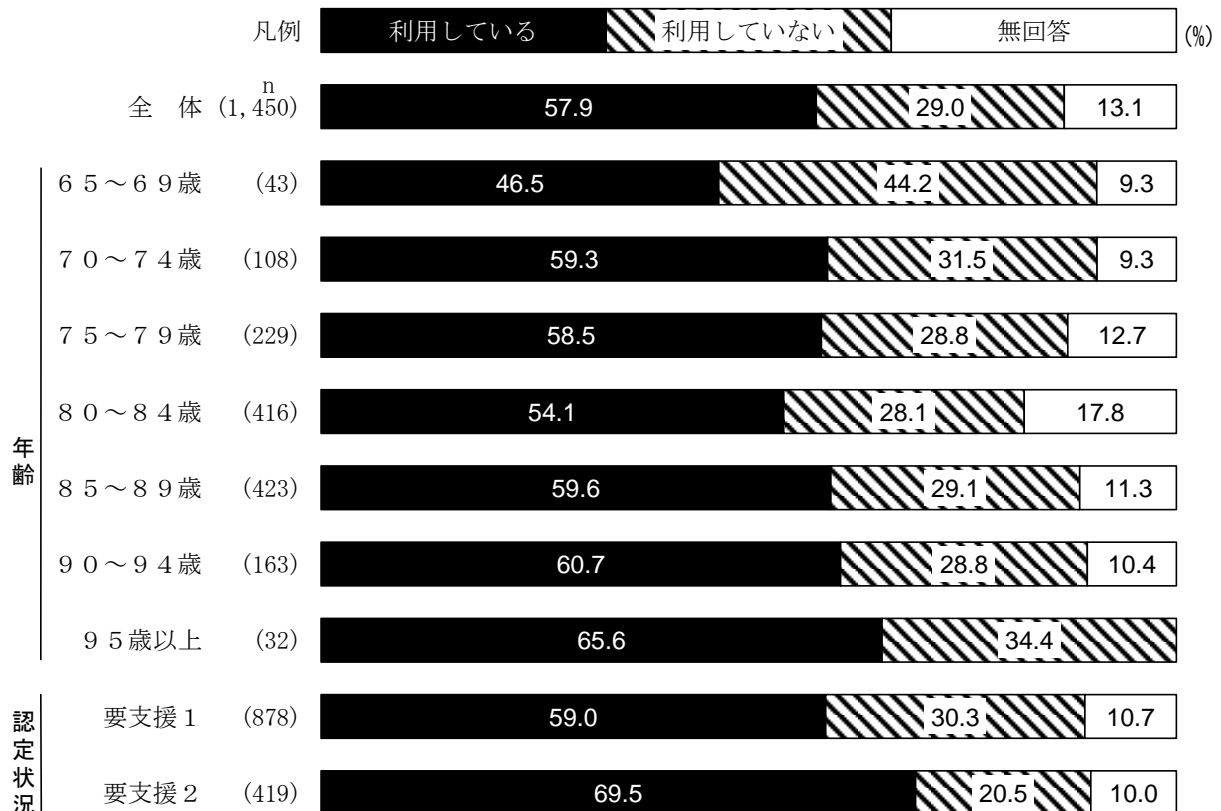
地域区分別でみると、「要支援1」は、井草地域が65.7%と他の地域に比べて多く、高井戸地域が57.5%と他の地域に比べて少なくなっている。一方、「要支援2」は高井戸地域が33.3%と他の地域に比べ多く、高円寺地域が23.1%と少なくなっている。(図表39-2)

## (2) 介護保険サービスの利用有無

問40 介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

「利用している」が57.9%、「利用していない」が29.0%。

図表40-1 介護保険サービスの利用有無（年齢別／認定状況別）



介護保険サービスの利用有無について、「利用している」が57.9%、「利用していない」が29.0%となっている。

年齢別でみると、「利用している」は、65～69歳が46.5%と他の年齢に比べ少なく、95歳以上で65.6%と他の年齢に比べ多くなっている。

認定状況別でみると、要支援2は69.5%と、要支援1（59.0%）に比べ、「利用している」が多くなっている。（図表40-1）

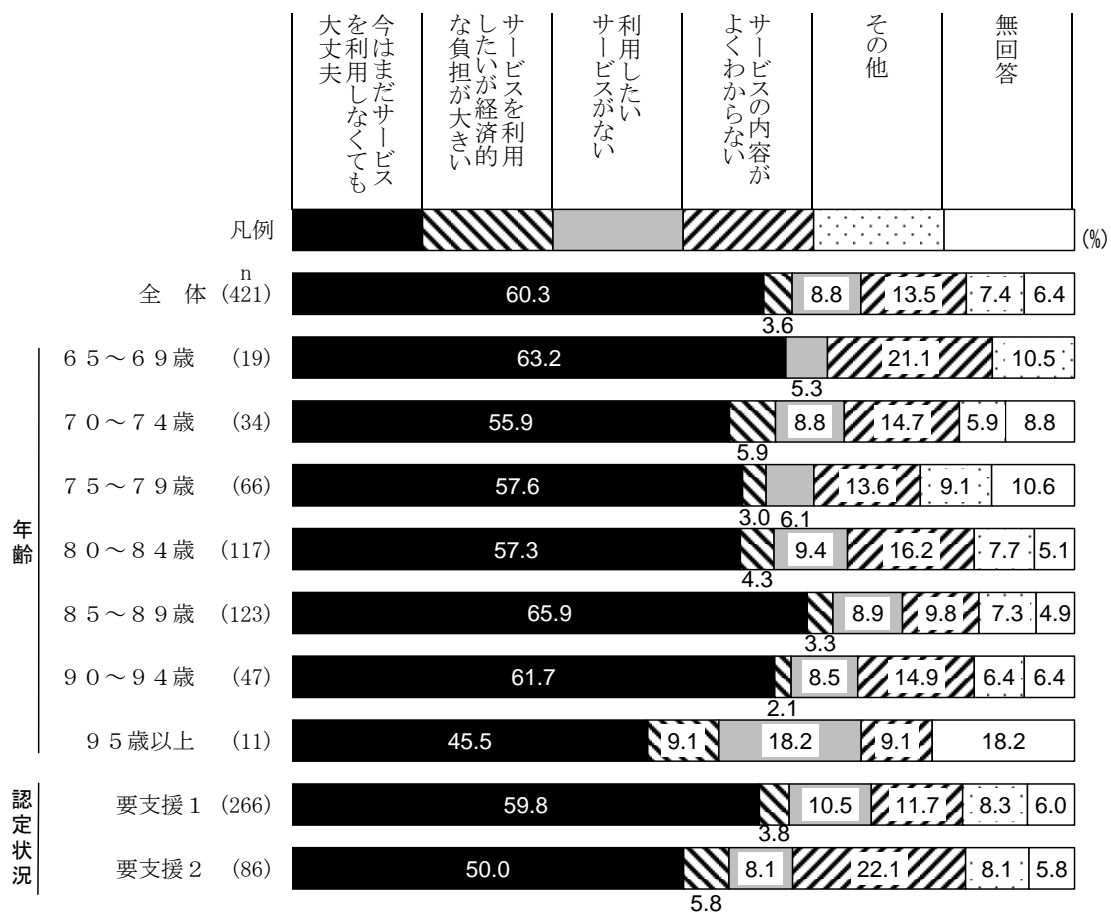
### (3) 介護保険サービスを利用していない理由

問41 (問40で「2」と回答された方におたずねします。)

サービスを利用していない理由をおしえてください。(1つに○)

「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」が60.3%、「サービスの内容がよくわからない」が13.5%。

図表41-1 介護保険サービスを利用していない理由(年齢別/認定状況別)



介護保険サービスを利用していない理由について、「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」が60.3%と最も多く、次いで「サービスの内容がよくわからない」(13.5%)、「利用したいサービスがない」(8.8%)となっている。

年齢別でみると、「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」は、85~89歳が65.9%と、他の年齢に比べ多くなっている。

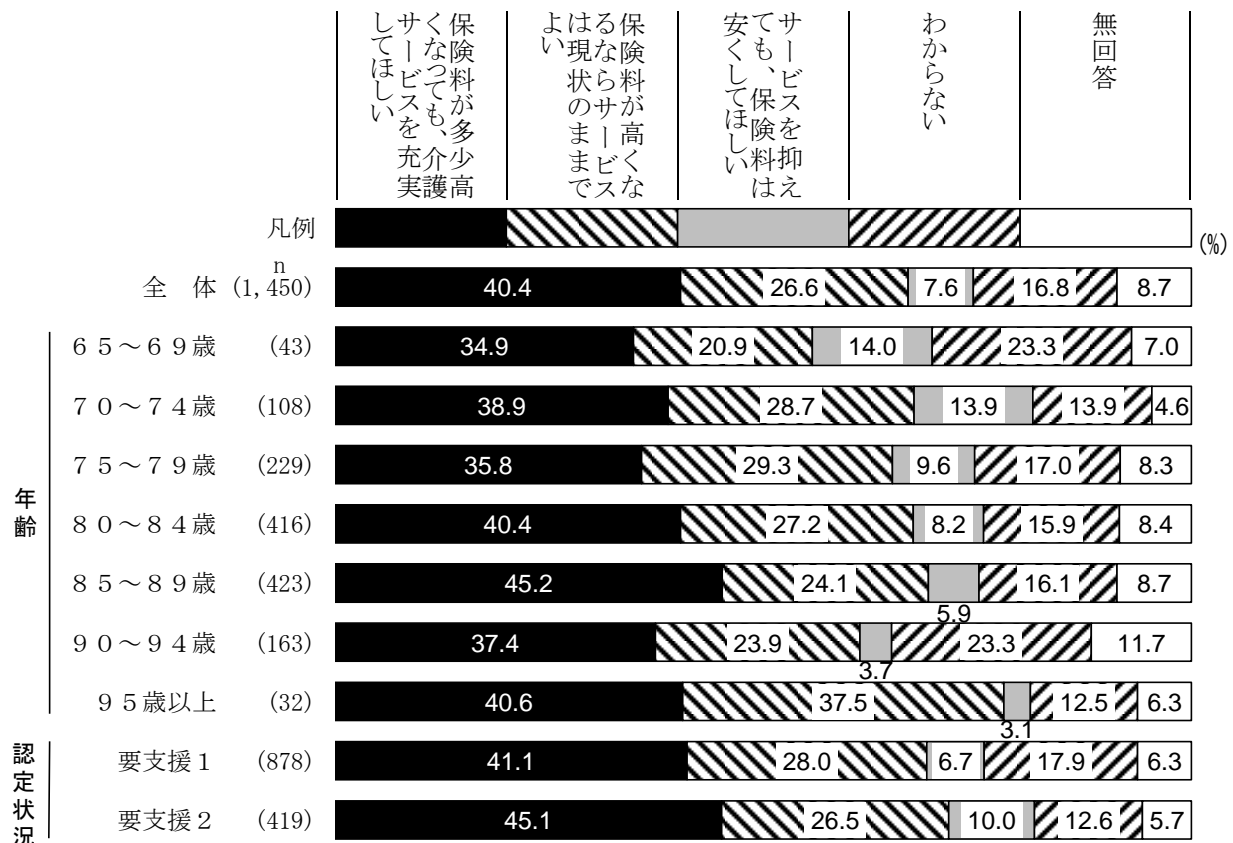
認定状況別では、「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」は、要支援1が要支援2に比べ、多くなっている。(図表41-1)

### (4) 介護保険料とサービスのあり方について

問4-2 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか（1つに○）

「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が40.4%、「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」が26.6%。

図表4-2-1 介護保険料とサービスのあり方について（年齢別／認定状況別）



「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が40.4%、次いで「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」(26.6%)、「サービスを抑えても、保険料は安くしてほしい」(7.6%)の順となっている。

年齢別でみると、「サービスを抑えても、保険料は安くしてほしい」は、65～69歳が14.0%、95歳以上が3.1%と、年齢が高くなると少なくなる傾向がみられる。

認定状況別でみると、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」は、要支援2が45.1%と、要支援1(41.1%)に比べ、多くなっている。(図表4-2-1)

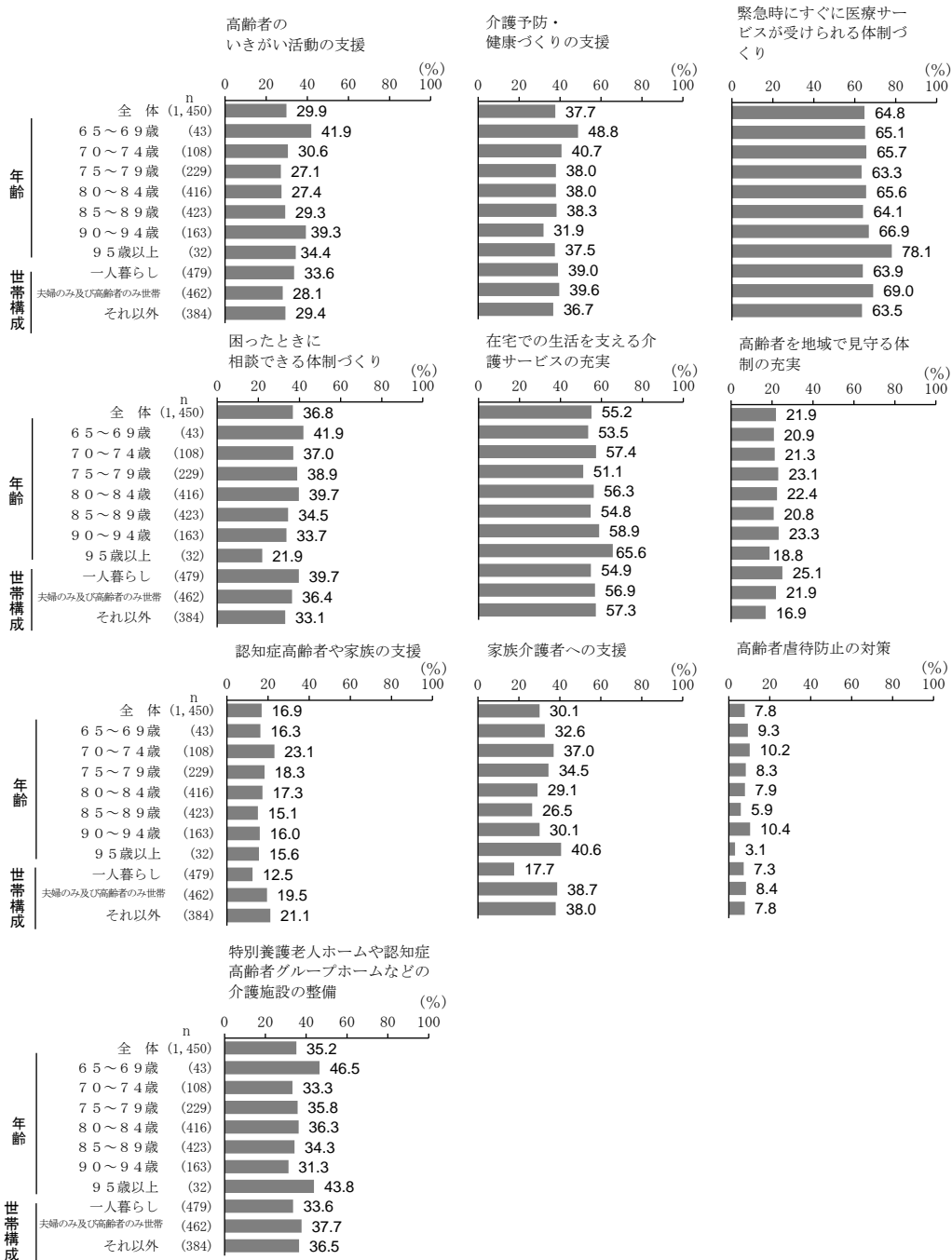
# 10. その他

## (1) 今後充実した方が良いと思う高齢者施策について

問43 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。(いくつでも○)

「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が64.8%、「在宅での生活を支える介護サービスの充実」が55.2%。

図表43-1 今後充実した方が良いと思う高齢者施策について（年齢別／世帯構成別）



今後充実した方が良いと思う高齢者施策について、「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が64.8%と最も多く、次いで「在宅での生活を支える介護サービスの充実」(55.2%)、「介護予防・健康づくりの支援」(37.7%)の順になっている。

年齢別でみると、95歳以上において、「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が78.1%、「在宅での生活を支える介護サービスの充実」が65.6%、「家族介護者への支援」が40.6%と、他の年齢に比べ多くなっている。

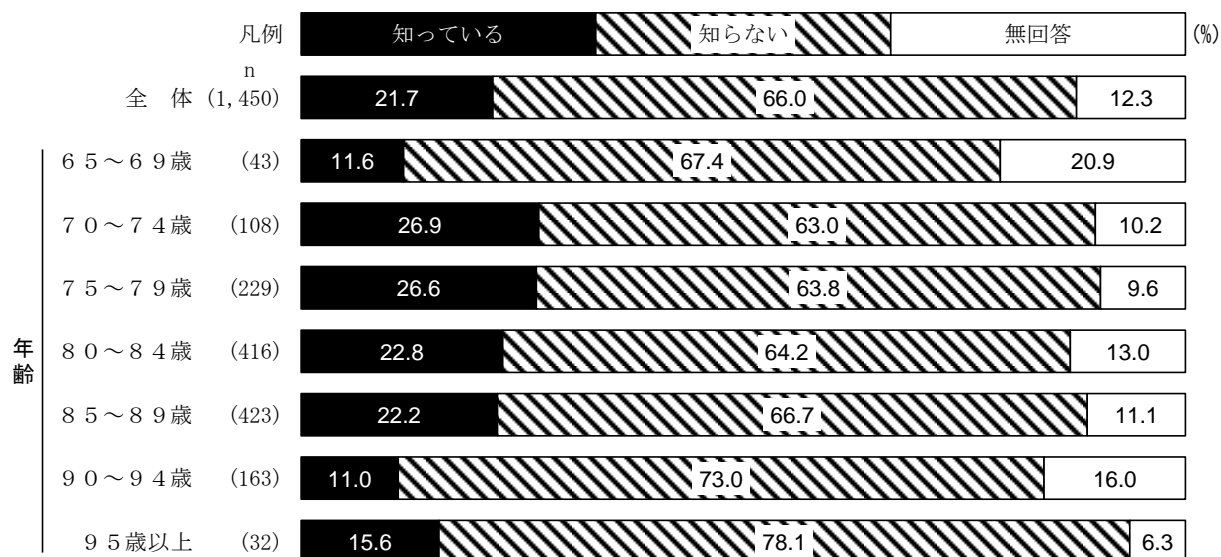
世帯構成別でみると、「高齢者の生きがい活動の支援」「困ったときに相談できる体制づくり」「高齢者を地域で見守る体制の充実」は、一人暮らしにおいてそれぞれ33.6%、39.7%、25.1%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図表43-1)

## (2) 長寿応援ポイント事業の認知度

問4-4 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

「知っている」が21.7%、「知らない」が66.0%。

図表4-4-1 長寿応援ポイント事業の認知度（年齢別）

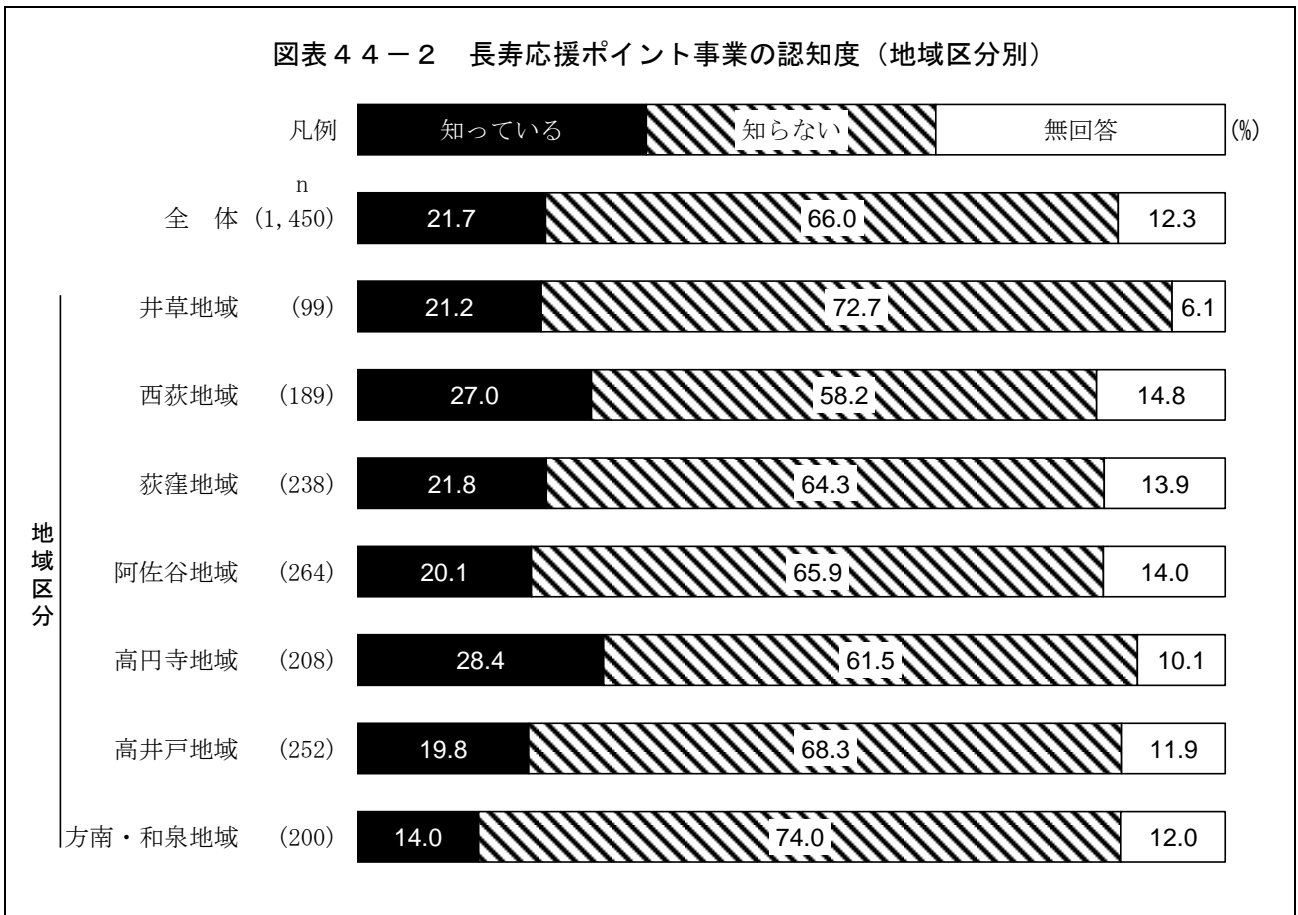


長寿応援ポイント事業の認知度について、「知っている」が21.7%、「知らない」が66.0%となっている。

年齢別でみると、「知っている」は、70～74歳が26.9%、90～94歳が11.0%となっており、70～94歳において、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。（図表4-4-1）



図表 4 4 - 2 長寿応援ポイント事業の認知度（地域区分別）



地域区分別でみると、「知っている」は、高円寺地域で28.4%と他の地域に比べ多く、方南・和泉地域で14.0%と他の地域に比べ少なくなっている。(図表44-2)

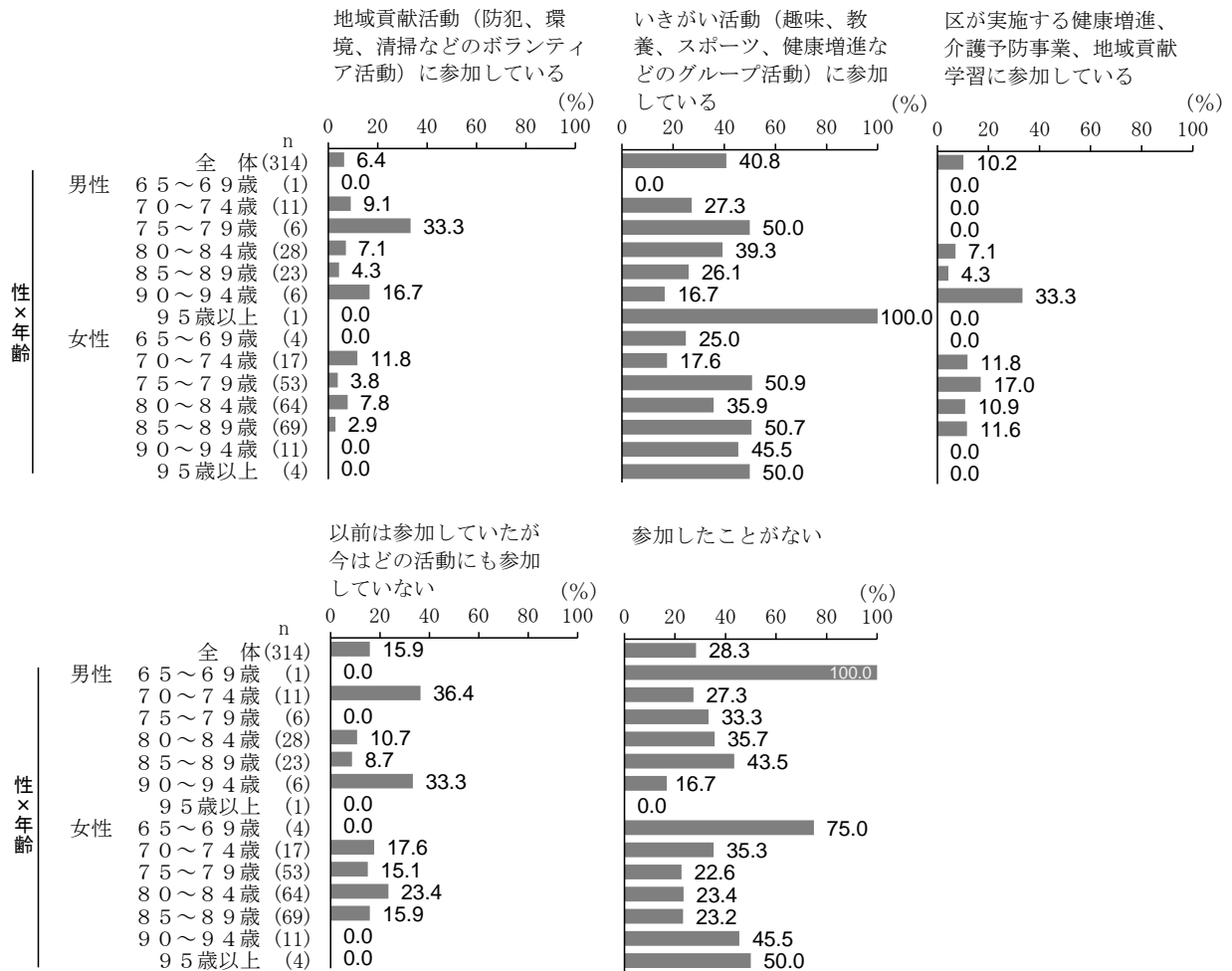
### (3) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無

問45 (問44で「1」と回答された方におたずねします。)

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。(いくつでも○)

「いきがい活動に参加している」が40.8%、「参加したことがない」が28.3%。

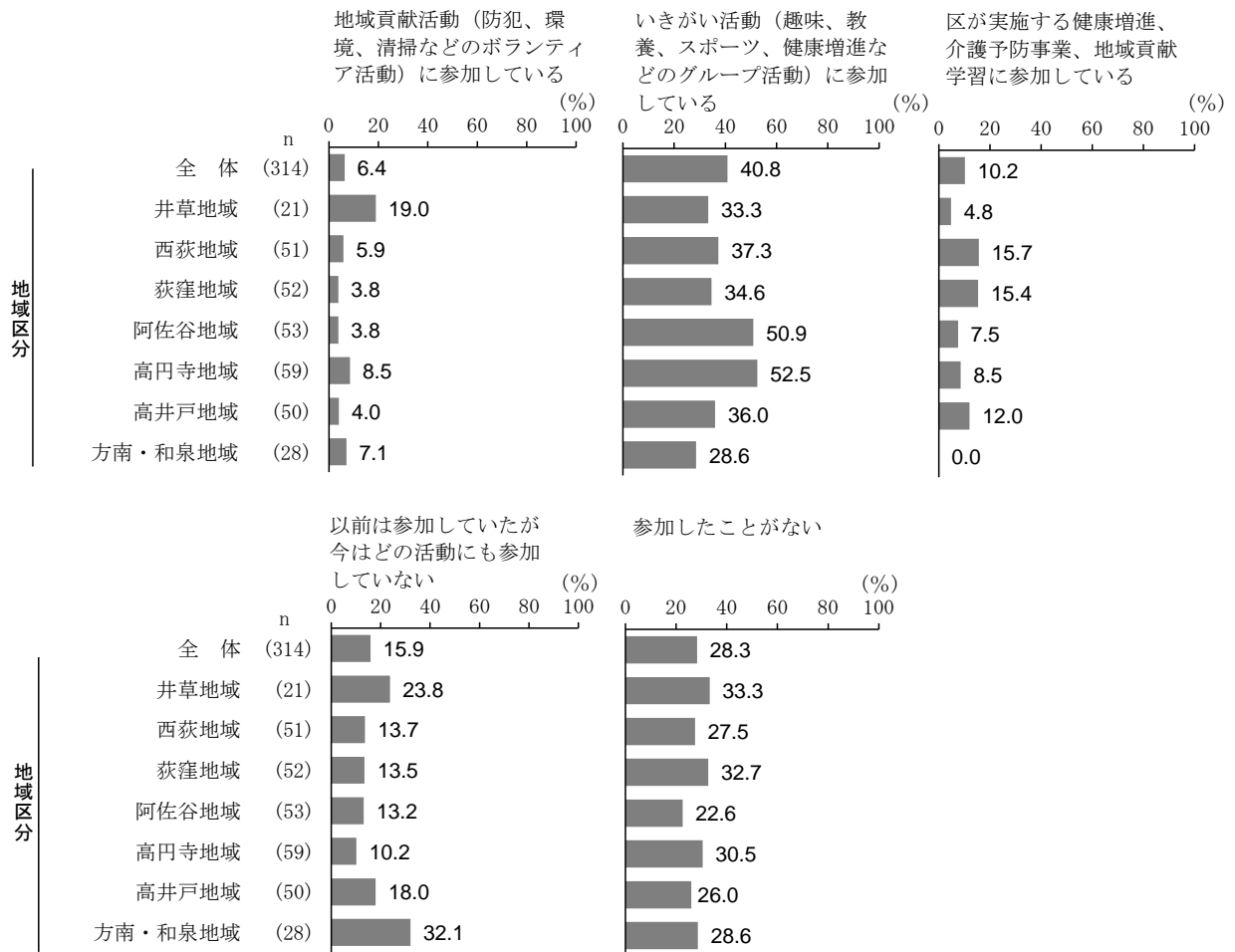
図表45-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無(性×年齢別)



長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無について、「いきがい活動に参加している」が40.8%と最も多く、次いで「参加したことがない」(28.3%)、「以前は参加していたが今ほどの活動にも参加していない」(15.9%)の順になっている。

性×年齢別でみると、女性において80～84歳は、「以前は参加していたが今ほどの活動にも参加していない」が23.4%と他の年齢に比べ多い。(図表45-1)

図表45-2 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無（地域区分別）



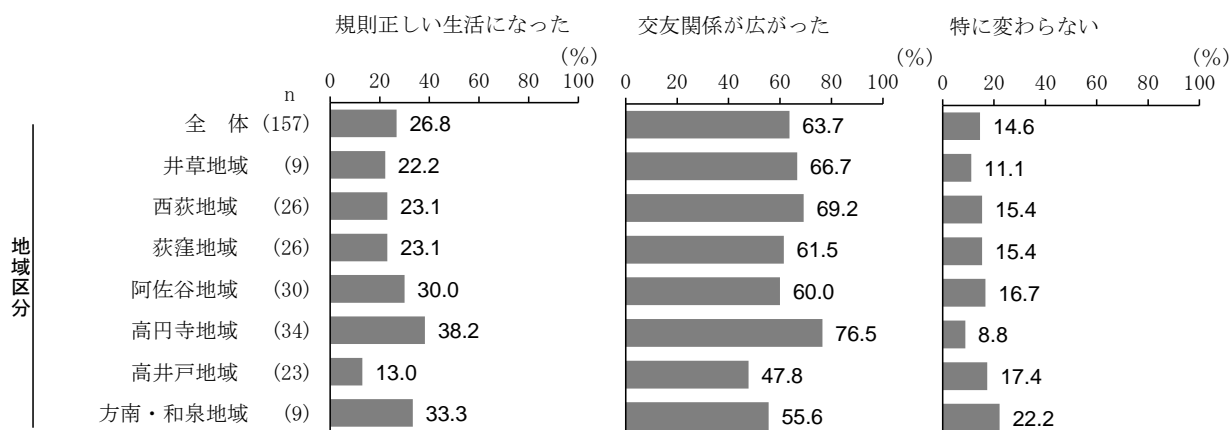
地域区分別でみると、阿佐谷地域および高円寺地域において、「いきがい活動に参加している」は、それぞれ50.9%、52.5%と、いずれも5割を超えており、他の地域よりも多くなっている。井草地域において、「地域貢献活動に参加している」は19.0%と、他の地域に比べ多くなっている。（図表45-2）

### (4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化

問46 (問45で「1」～「3」と回答された方におたずねします)  
参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

「交友関係が広がった」が63.7%、「規則正しい生活になった」が26.8%。

図表46-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化(地域別)



長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化について、「交友関係が広がった」が63.7%、「規則正しい生活になった」が26.8%となっている。

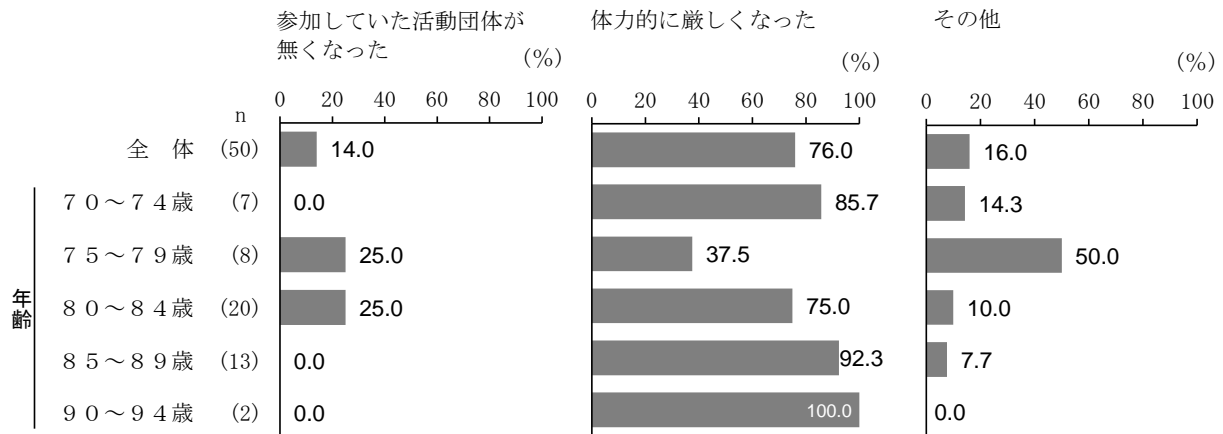
地域区分別で見ると、高円寺地域は、「交友関係が広がった」(76.5%)、「規則正しい生活になった」(38.2%)が、他の地域よりも多くなっている。(図表46-1)

(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動へ参加していない理由

問47 (問45で「4」と回答された方におたずねします)  
 今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

「体力的に厳しくなった」が76.0%、「参加していた活動団体が無くなった」が14.0%。

図表47-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動へ参加していない理由(年齢別)



65~69歳、95歳以上は回答者がいなかったため、表示しないものとする。

長寿応援ポイントシールがもらえる活動へ参加していない理由について、「体力的に厳しくなった」が76.0%、「参加していた活動団体が無くなった」が14.0%となっている。

年齢別については、各属性別の回答者数が少ないため、参考としてグラフの記載にとどめることとする。(図表47-1)

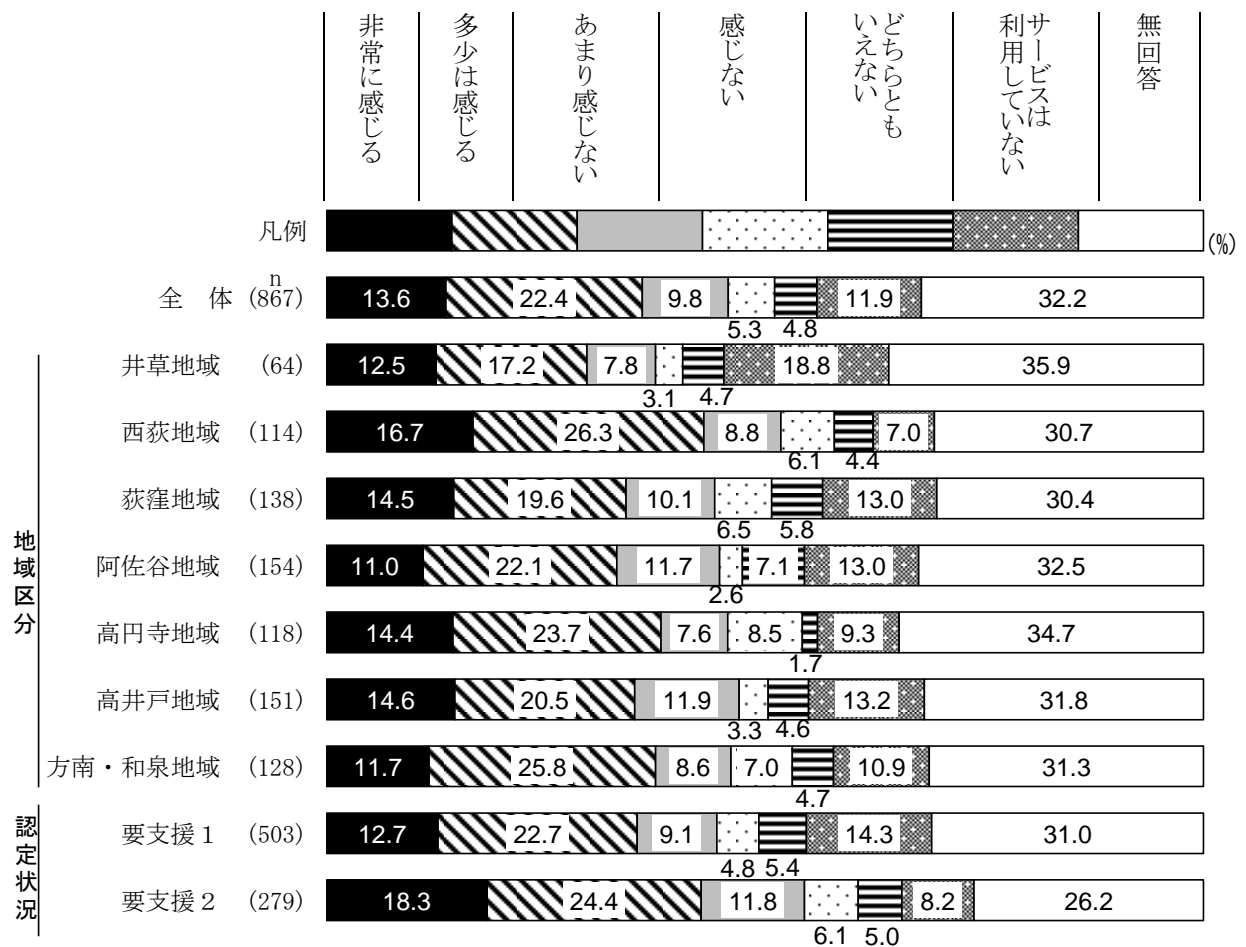
## 1.1. 介助・介護者への設問

### (1) 介護保険サービスによる負担の軽減感

問48 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。  
(1つに○)

「多少は感じる」が22.4%、「非常に感じる」が13.6%。

図表48-1 介護保険サービスによる負担の軽減感（地域区分別／認定状況別）



介護保険サービスによる負担の軽減感について、「多少は感じる」が22.4%と最も多く、次いで「非常に感じる」(13.6%)、「サービスは利用していない」(11.9%)の順となっている。

地域区分別でみると、負担の軽減を感じると回答した人の合計は、西荻地域において4割以上と、他の地域よりも多くなっている。

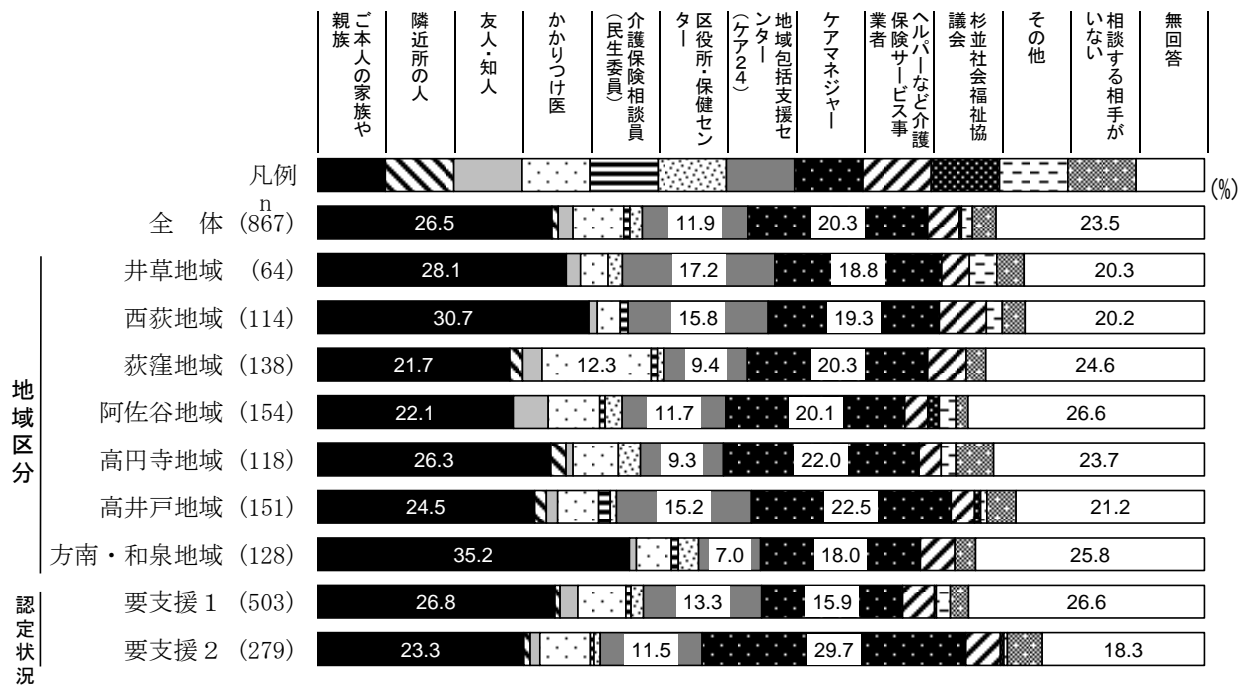
認定状況別でみると、要支援2は、要支援1に比べ、「非常に感じる」および「多少は感じる」を合わせた回答が多くなっている。(図表48-1)

## (2) 介助・介護のことで困ったときの相談先

問49 介助・介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(1つに○)

「ご本人の家族や親族」が26.5%、「ケアマネジャー」が20.3%。

図表49-1 介助・介護のことで困ったときの相談先（地域区分別／認定状況別）



	ご本人の家族や親族	隣近所の人	友人・知人	かかりつけ医	介護保険相談員 (民生委員)	区役所・保健センター	地域包括支援センター(ケア24)	ケアマネジャー	ヘルパーなど 介護保険サービス事業者	杉並社会福祉協議会	その他	相談する相手がない	無回答
全体 (867)	26.5	0.7	1.7	5.7	0.7	1.4	11.9	20.3	3.5	0.3	1.2	2.7	23.5
井草地域 (64)	28.1	-	1.6	3.1	-	1.6	17.2	18.8	3.1	-	3.1	3.1	20.3
西荻地域 (114)	30.7	-	0.9	2.6	0.9	-	15.8	19.3	5.3	-	1.8	2.6	20.2
荻窪地域 (138)	21.7	1.4	2.2	12.3	0.7	0.7	9.4	20.3	4.3	-	-	2.2	24.6
阿佐谷地域 (154)	22.1	-	3.9	5.8	0.6	1.9	11.7	20.1	2.6	1.3	1.9	1.3	26.6
高円寺地域 (118)	26.3	1.7	0.8	5.1	-	2.5	9.3	22.0	2.5	-	1.7	4.2	23.7
高井戸地域 (151)	24.5	1.3	1.3	4.6	1.3	0.7	15.2	22.5	2.6	0.7	0.7	3.3	21.2
方南・和泉地域 (128)	35.2	-	0.8	3.9	0.8	2.3	7.0	18.0	3.9	-	-	2.3	25.8
要支援1 (503)	26.8	0.6	2.0	5.4	0.6	1.4	13.3	15.9	3.6	0.2	1.6	2.0	26.6
要支援2 (279)	23.3	0.7	1.1	5.7	0.4	0.7	11.5	29.7	3.9	0.4	0.4	3.9	18.3

介助・介護のことで困ったときの相談先について、「ご本人の家族や親族」が26.5%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」(20.3%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(11.9%)の順となっている。

地域区分別でみると、方南・和泉地域は「ご本人の家族や親族」が35.2%と他の地域に比べ多くなっており、同様に「かかりつけ医」は荻窪地域が12.3%、「地域包括支援センター(ケア24)」は井草地域が17.2%と、他の地域に比べ多くなっている。

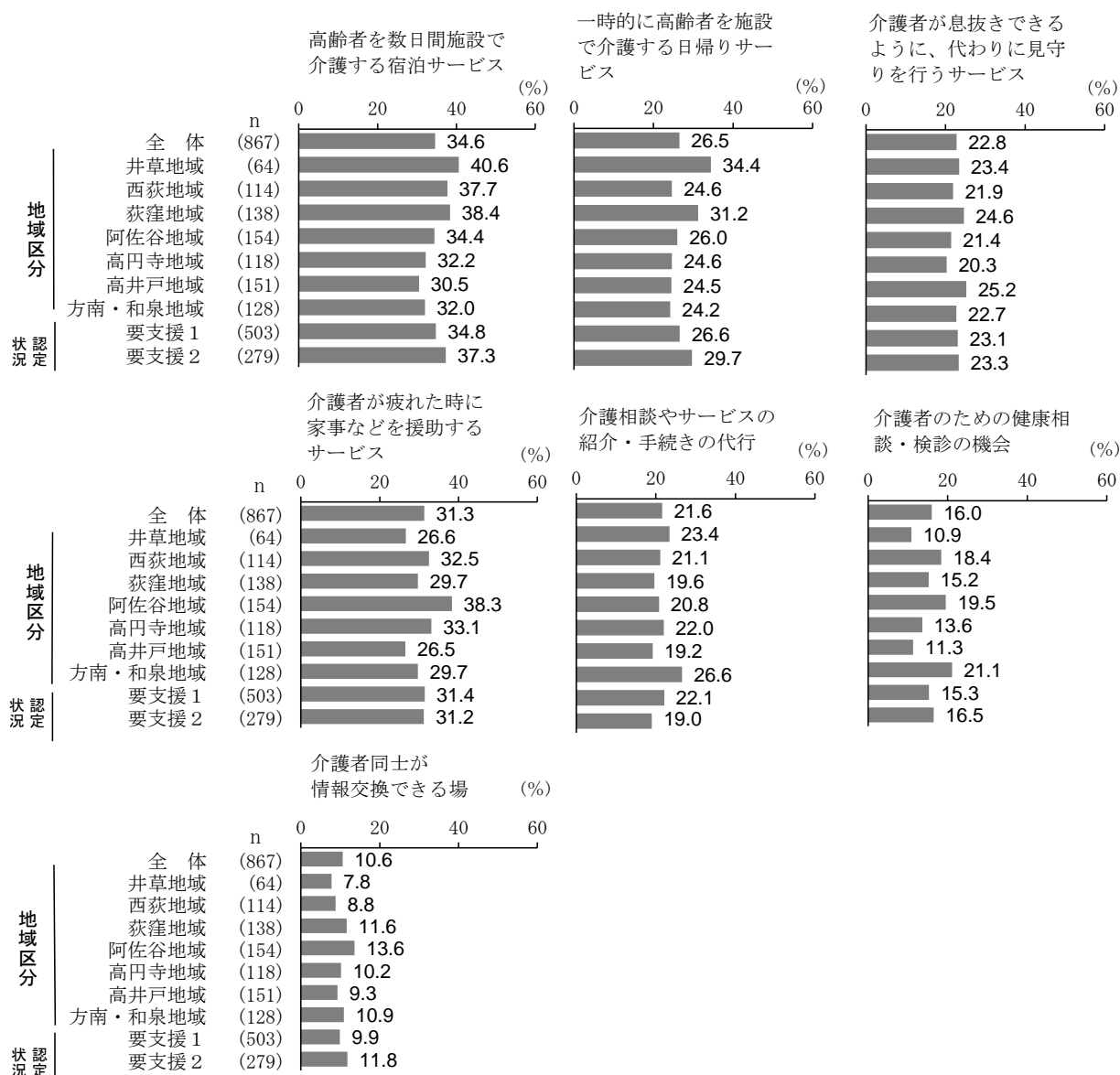
認定状況別でみると、「ご本人の家族や親族」は要支援1(26.8%)が要支援2(23.3%)より多く、「ケアマネジャー」は要支援1(15.9%)が要支援2(29.7%)より少なくなっている。(図表49-1)

### (3) 介助・介護者が必要とするサービス

問50 介助・介護をしているあなたが必要とするサービスはなんですか。(いくつでも○)

「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が34.6%、「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」が31.3%。

図表50-1 介助・介護者が必要とするサービス（地域区分別／認定状況別）





介助・介護者が必要とするサービスについて、「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が34.6%と最も多く、次いで「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」(31.3%)、「一時的に高齢者を施設で介護する日帰りサービス」(26.5%)となっている。

地域区分別でみると、「高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」は、井草地域が40.6%と他の地域に比べ多く、「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」は阿佐谷地域が38.3%と、他の地域に比べ多くなっている。

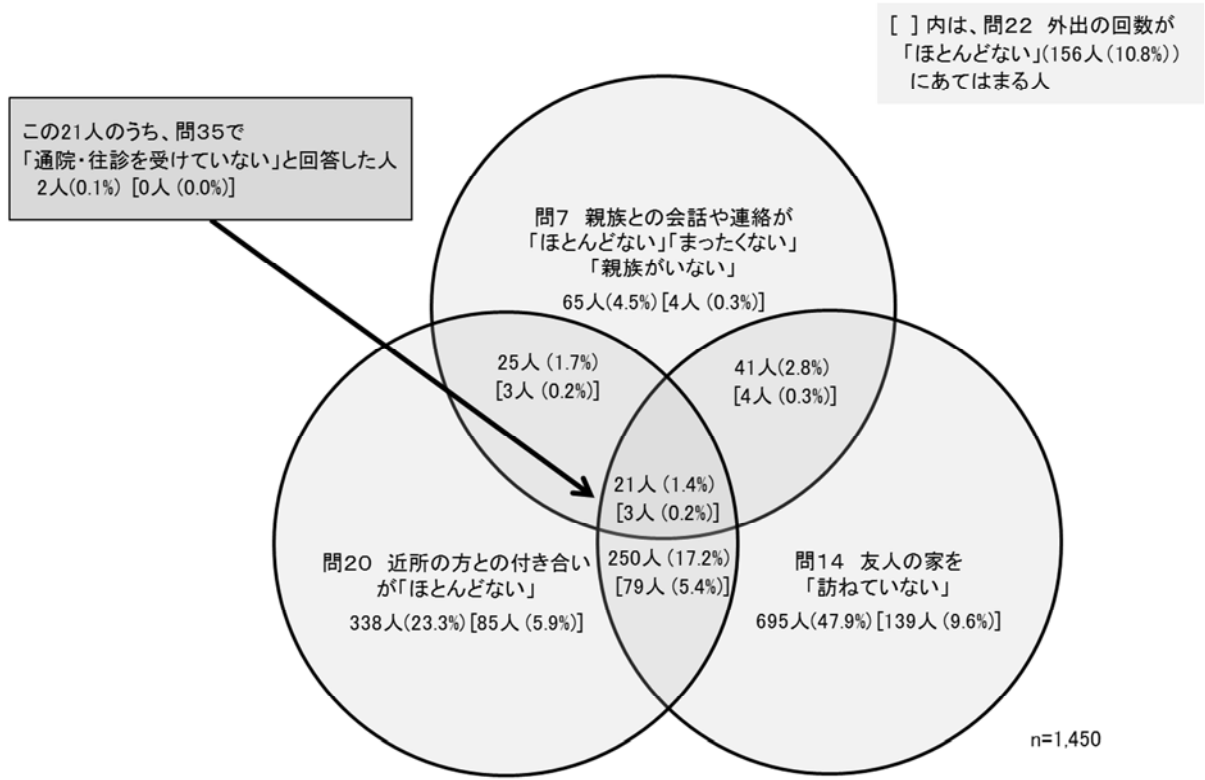
認定状況別でみると、要支援1は、「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」「介護相談やサービスの紹介・手続きの代行」がそれぞれ31.4%、22.1%と、要支援2よりも多くなっている(図表50-1)

## 1 2. 社会的孤立の状況について

- 問7 親族とどのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡していますか  
 問14 友人の家を訪ねていますか  
 問20 近所の方と会話をするなど、お付き合いはありますか  
 問22 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）  
 問35 現在、通院や往診を受けていますか

**親族の方との会話や連絡がなく、友人宅の訪問、近所の方との付き合いがない人は 21 人 (1.4%) となっている。**

図表 d-1 社会的孤立の状況について



親族の方との会話や連絡の頻度（問7）、友人の家への訪問の有無（問14）、近所の方との付き合いの頻度（問20）、外出の回数（問22）、通院・往診の有無（問35）の社会的孤立にかかわる5項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者1,450人のうち、親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いの3項目がすべてない人は21人（1.4%）であり、さらに外出の回数がほとんどない人は3人（0.2%）、通院・往診を受けていない人はみられない。また、5項目すべてがない人はみられない。（図表d-1）

### 13. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉については、377人からの回答があった。記載内容を区分し、いくつかの意見について以下に示す。

#### 【施設の基盤整備について (36人)】

- ・年金収入の範囲内で入所できる特別養護老人ホームを建設してほしい。
- ・高齢者活動支援センターのような施設の拡充を希望する。

#### 【福祉施策について (20人)】

- ・老老介護の世帯に対しての福祉施策を考えてほしい。
- ・介護保険に入らないサービスに目を向けて、充実させてほしい。

#### 【情報、相談について (26人)】

- ・困った時に、どこに相談したらよいかわからない。
- ・介護保険の制度が変わるので、不安を感じる。わかりやすい情報の提供を望む。
- ・個人の状態を把握したうえで、生活の改善などをケアマネージャーから積極的に提案してほしい。

#### 【医療、医療費、病院について (25人)】

- ・リハビリのための言語療法士が見つからない。専門性の高い分野での指導を望んでいる。
- ・往診できる医師を増やしてほしい。

#### 【生きがい、社会参加について (20人)】

- ・家に引きこもりがちの人が参加しやすい活動、集会が必要だと思う。

#### 【今後の介護について (30人)】

- ・今はなんとかがんばれているが、身体の調子が悪くなったときにどうしたらよいのか心配。

#### 【介護保険制度について (29人)】

- ・家族の同居が理由で支援が受けられないのは納得できない。
- ・要介護認定の基準が不明確である。
- ・サービスが必要な時に、短期間でも簡単な手続きで利用できると良いと思う。(認定が決定するまで時間がかかる。)

#### 【サービス、スタッフの質について (56人)】

- ・要支援サービスが、今後どうなるのか不安。
- ・要介護から要支援に変更になったため、おむつの支給が停止された。必要なのに、一律で停止されるのは納得できない。
- ・高齢者の体調は急に変わることが多いので、臨機応変な援助をお願いしたい。
- ・配食サービスを受けているが、普通食でないメニュー（消化の良いメニュー）も扱ってほしい。

【介護保険料について (7人)】

- ・年金受給額の減額、介護保険料の増額に不安を感じる。
- ・保険料を安くしてほしい。

【健康増進、予防について (2人)】

- ・健康についての講座を増やしてほしい。

【在宅サービスについて (3人)】

- ・夜間のみ見守り、夜間のみ宿泊サービスがあると良い。(日中は通いで介護をしている。)

【介護職の待遇改善について (4人)】

- ・介護の仕事に対して、報酬がもっと多くてもよい。

【アンケートについて (17人)】

- ・設問が多すぎる。調査の手法を再考してほしい。

【経済的負担等について (21人)】

- ・介護保険料、医療保険料、所得税等が高く、年金生活では経済的に苦しい。

【上記以外の制度・施策について、その他 (81人)】

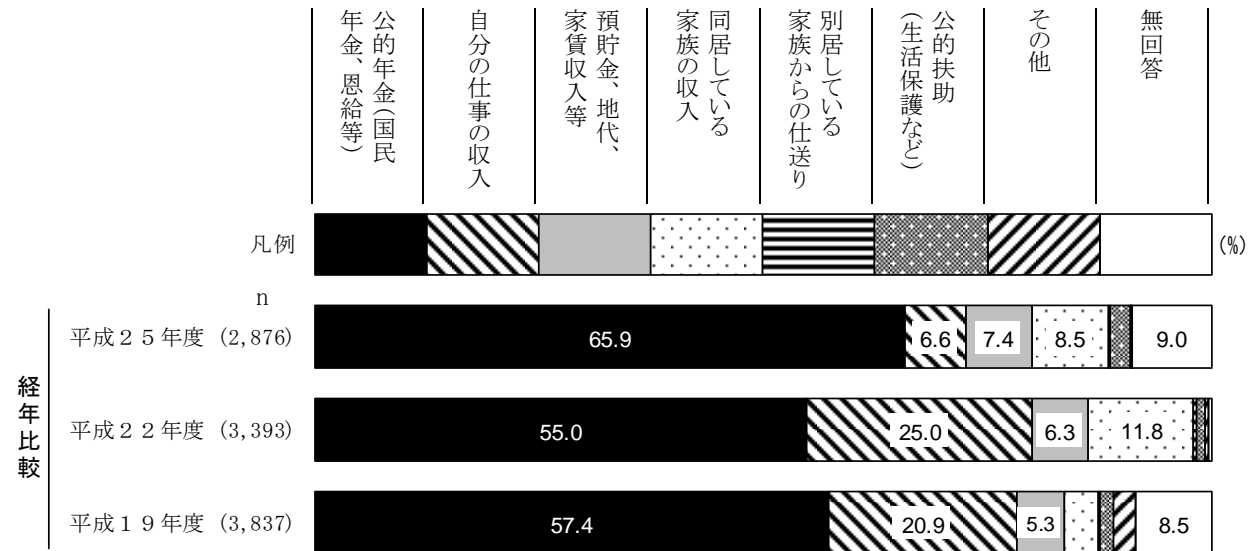
- ・災害時の避難に不安を感じている。
- ・小さくても良いので「すぎまる」のようなバスの路線が、たくさんあると良い。

# 1. ニーズ調査の経年比較

## （1）主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。（1つに○）

図表1-1 主な収入の種類



	公的年金 (国民年金、 恩給等)	自分の仕事 の収入	預貯金、 地代、 家賃収入等	同居している 家族の収入	別居している 家族からの 仕送り	公的扶助 (生活保護 など)	その他	無回答
平成25年度(2,876)	65.9	6.6	7.4	8.5	0.3	2.1	0.2	9.0
平成22年度(3,393)	55.0	25.0	6.3	11.8	0.4	0.9	0.3	0.4
平成19年度(3,837)	57.4	20.9	5.3	3.9	0.2	1.5	2.4	8.5

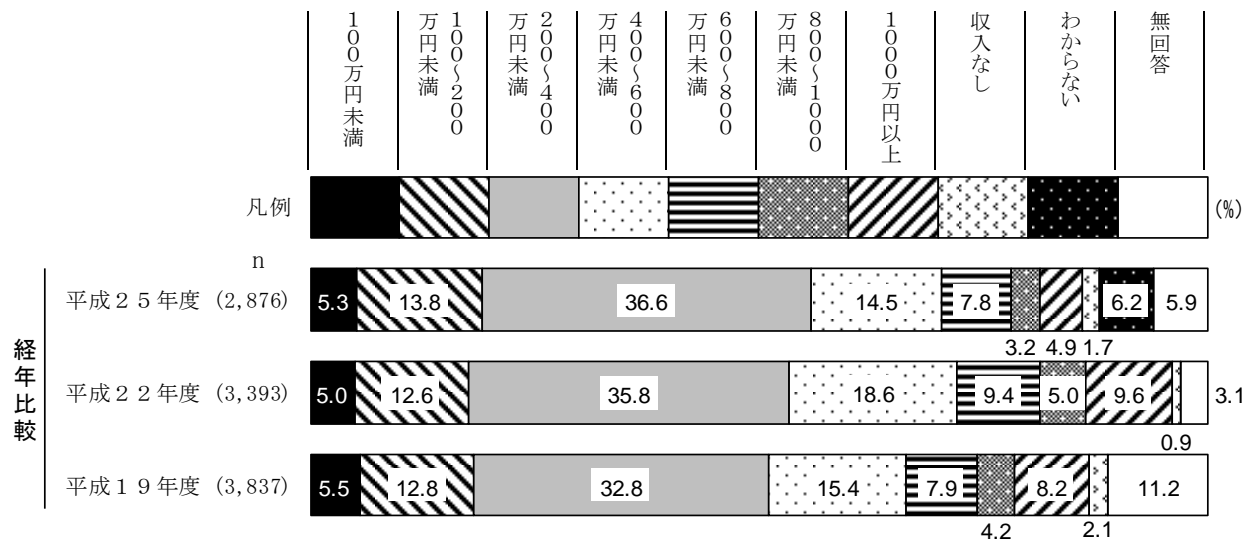
※平成19年度における「自分や配偶者の仕事の収入」は、「自分の仕事の収入」として集計した。

主な収入の種類について、「公的年金（国民年金、恩給等）」は平成25年度で65.9%と、過年度に比べて多く、「自分の仕事の収入」は6.6%と少なくなっている。「預貯金、地代、家賃収入等」は、平成19年度は5.3%、平成22年度は6.3%、平成25年度は7.4%と、年度とともに多くなっている。「同居している家族の収入」は、平成22年度は11.8%と、他の年度よりも多くなっている。（図表1-1）

## （2）世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。（1つに○）

図表2-1 世帯の収入額



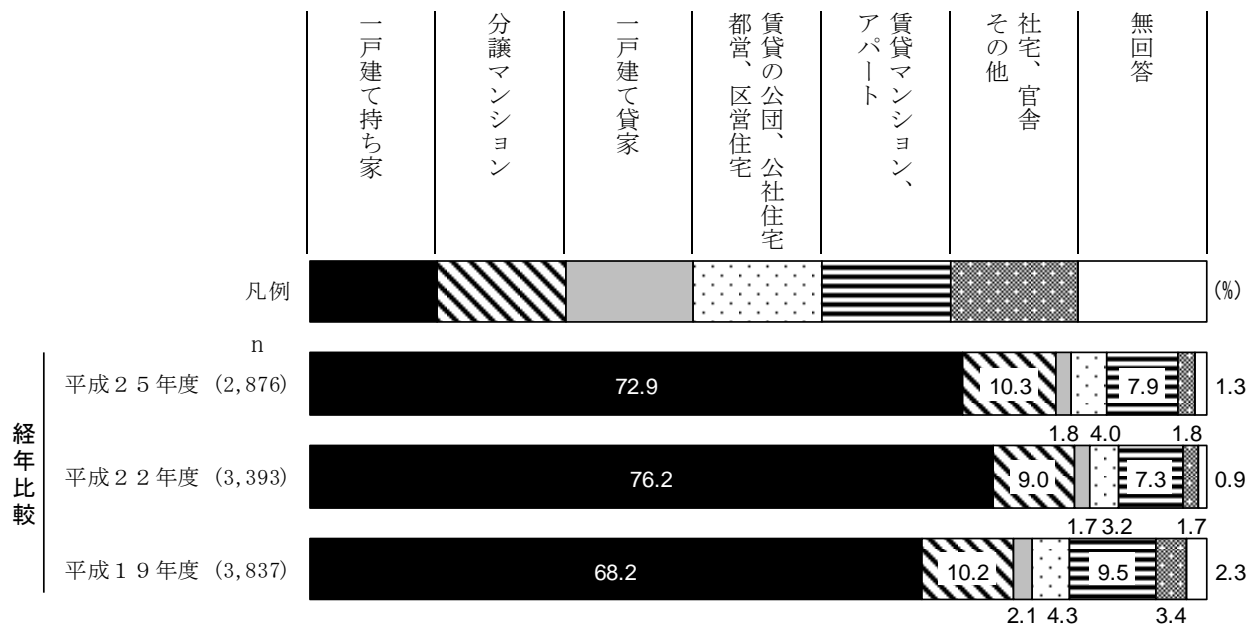
※「わからない」は平成25年度より追加。

世帯の収入額について、「200～400万円未満」は、平成19年度は32.8%、平成22年度は35.8%、平成25年度は36.6%と、年度とともに多くなっている。「1000万円以上」は、平成25年度は4.9%と、過年度に比べ少なくなっている。（図表2-1）

### （3）居住形態

問10 お住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

図表3-1 居住形態



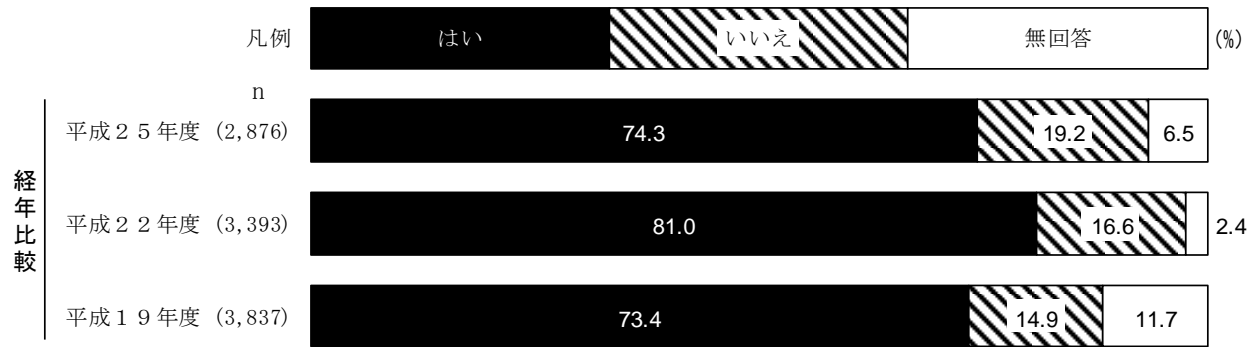
※平成22年度以前における「賃貸マンション」、「民間鉄筋・鉄骨アパート」、「民間木造アパート」は、合計して「賃貸マンション、アパート」とし、「間借り・住み込み等」は、「その他」へ合算して集計した。

居住形態について「一戸建て持ち家」は、平成19年度は68.2%、平成22年度は76.2%、平成25年度は72.9%と、いずれの年度においても7割前後となっている。「分譲マンション」は1割前後で、年度の違いによる大きな変化はみられない。（図表3-1）

### （4）生きがいを感じるかについて

問18 生きがいを感じていますか。

図表4-1 生きがいを感じるか



※平成22年以前における「感じている」、「感じていない」はそれぞれ「はい」、「いいえ」として集計した。

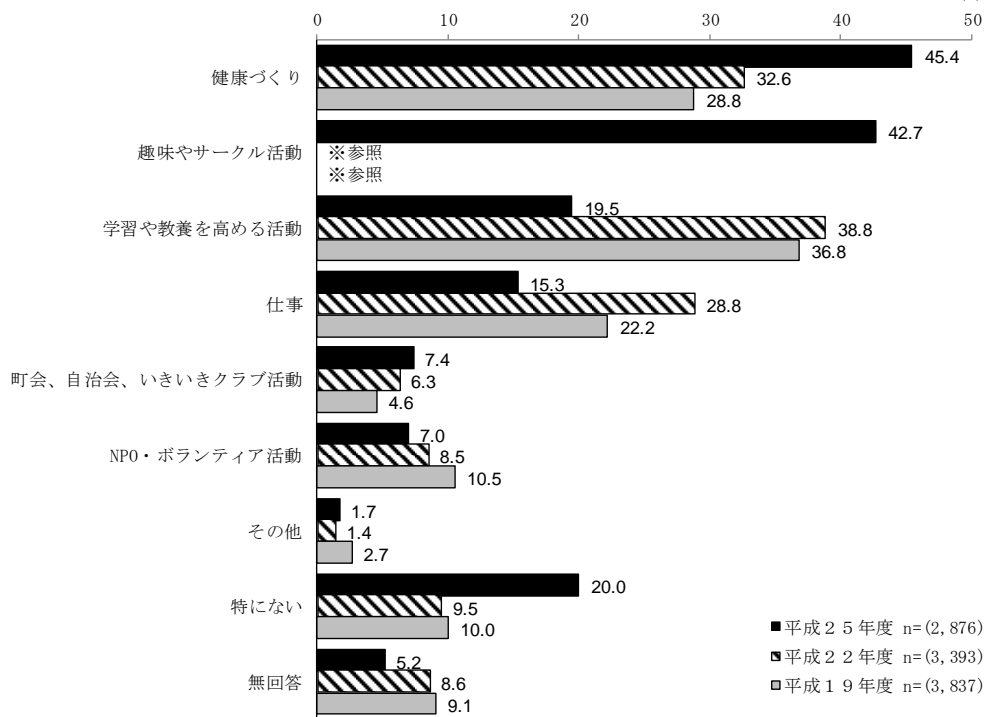
生きがいを感じるかについて、「いいえ」は、平成19年度は14.9%、平成22年度は16.6%、平成25年度は19.2%と、年度とともに多くなっている。「はい」は、平成22年度は81.0%と、他の年度に比べ多くなっている。（図表4-1）



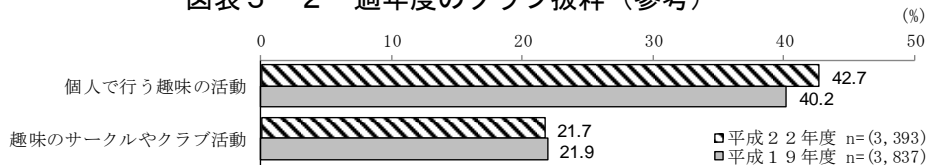
（5）現在やっている、または今後やってみたいこと

問19 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。（いくつでも○）

図表5-1 現在やっている、または今後やってみたいこと



図表5-2 過年度のグラフ抜粋（参考）



※平成22年度以前における項目は以下のように再分類した。

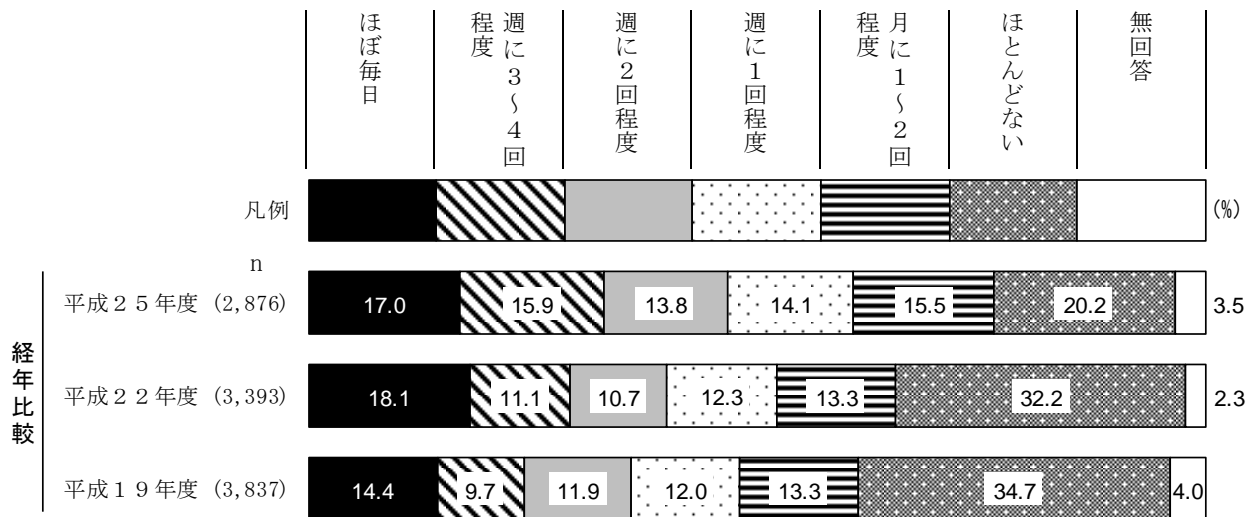
「働くこと」、「健康づくり・介護予防」の値は、それぞれ「仕事」、「健康づくり」として集計した。平成25年度では「個人で行う趣味の活動」、「趣味のサークルやクラブ活動」を合わせて「趣味やサークル活動」としたため、上記2項目の過年度のグラフを別図とした。

現在やっている、または今後やってみたいことについて、「健康づくり」は、平成19年度は28.8%、平成22年度は32.6%、平成25年度は45.4%と、年度とともに多くなっている。「NPO・ボランティア活動」は、平成19年度は10.5%、平成22年度は8.5%、平成25年度は7.0%と、年度とともに少なくなっている。「学習や教養を高める活動」は、平成25年度は19.5%と、過年度に比べ少なくなっている。（図表5-1）

（6）近所の方との付き合いの有無

問20 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。（1つに○）

図表6-1 近所の方との付き合いの有無

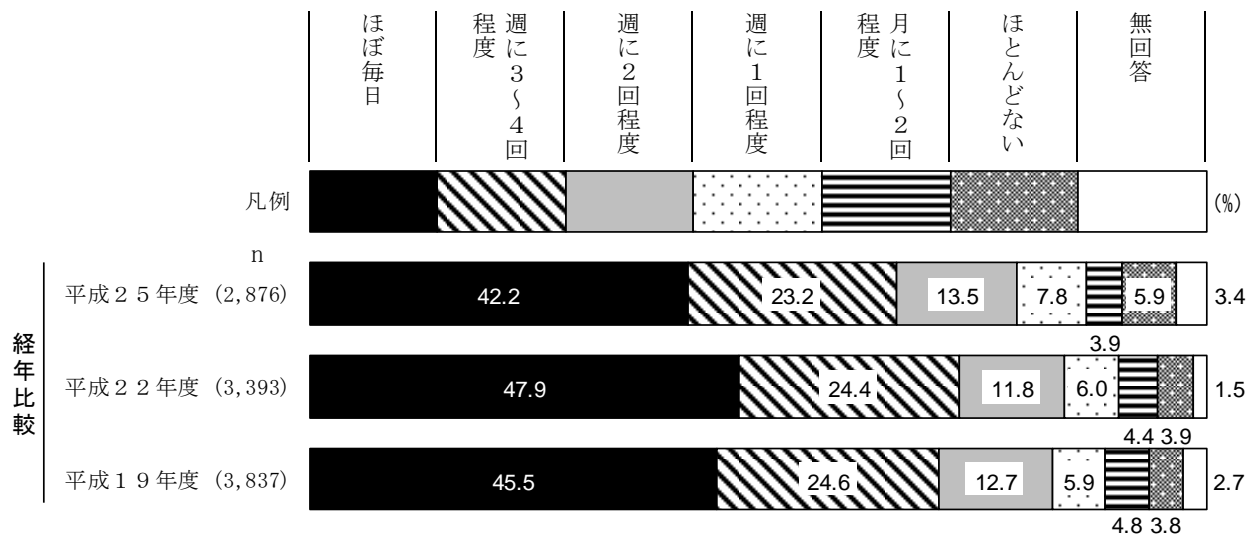


近所の方との付き合いの有無について、「週に3～4回程度」から「月に1～2回程度」の各項目において、平成25年度は過年度に比べ多く、「ほとんどない」は、平成19年度は34.7%、平成22年度は32.2%、平成25年度は20.2%と、年度とともに少なくなっており、近所との付き合いの頻度が高くなっている。（図表6-1）

（7）外出の頻度

問22 散歩や買い物など、外出の回数ほどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

図表7-1 外出の頻度

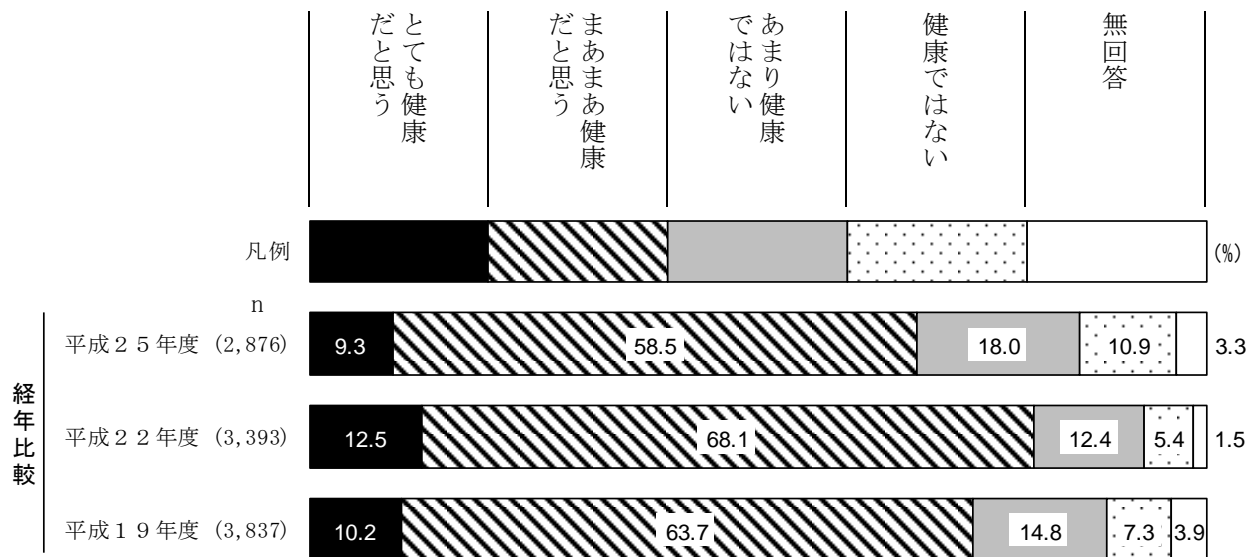


外出の頻度について、「ほぼ毎日」は、平成25年度は42.2%と過年度に比べ少なくなっている。「週に1〜2回程度」は、平成25年度は過年度に比べ多くなっている。（図表7-1）

（8）主観的な健康感について

問30 ご自分で健康だと思いますか。（1 つに○）

図表8-1 主観的な健康感について

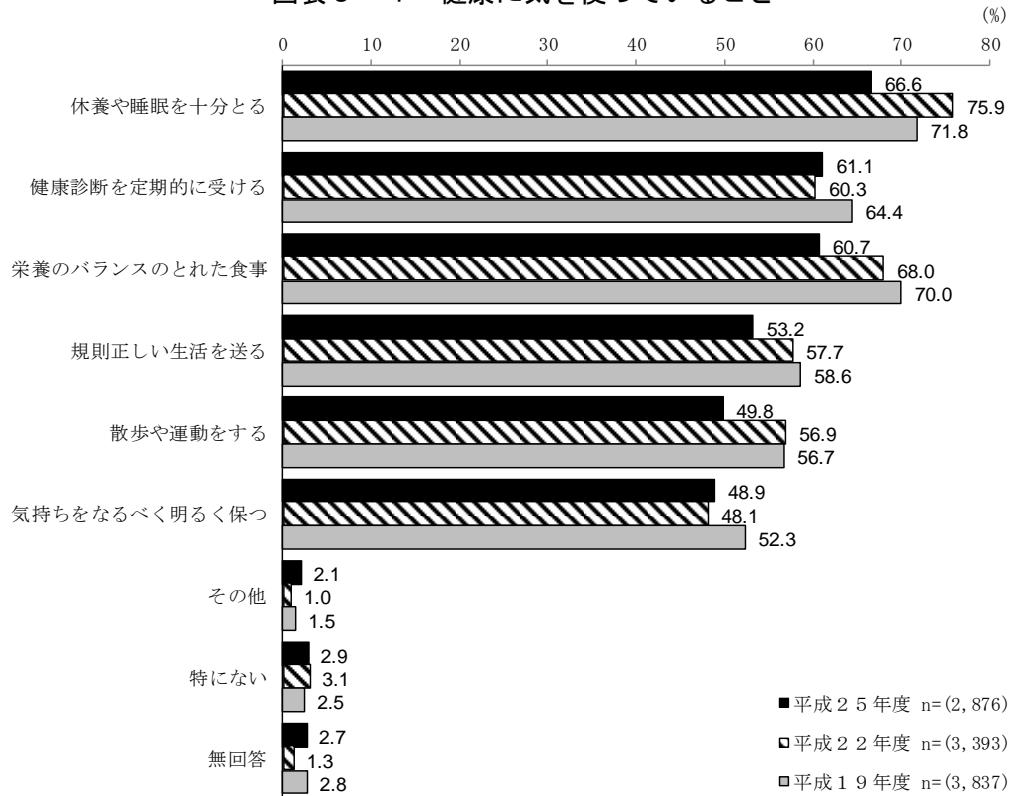


主観的な健康感について、「とても健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」は、平成25年度は過年度に比べ少なくなっている。「あまり健康ではない」「健康ではない」は過年度に比べ多くなり、健康だと感じている人が減っている。（図表8-1）

## （9）健康に気を使っていること

問3 1 健康に気を使っていることはありますか（いくつでも○）

図表9-1 健康に気を使っていること

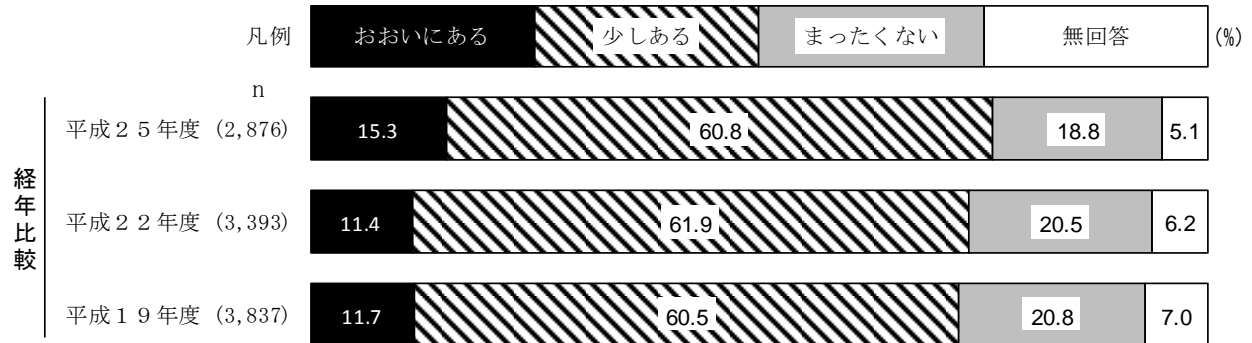


健康に気を使っていることについて、「栄養のバランスのとれた食事」は、平成19年度は70.0%、平成22年度は68.0%、平成25年度は60.7%と、年度とともに少なくなっている。その他の項目においても、過年度より回答割合が下回る結果となった。（図表9-1）

## （10）悩みやストレスの有無

問32 悩みやストレスはありますか。（1つに○）

図表10-1 悩みやストレスの有無

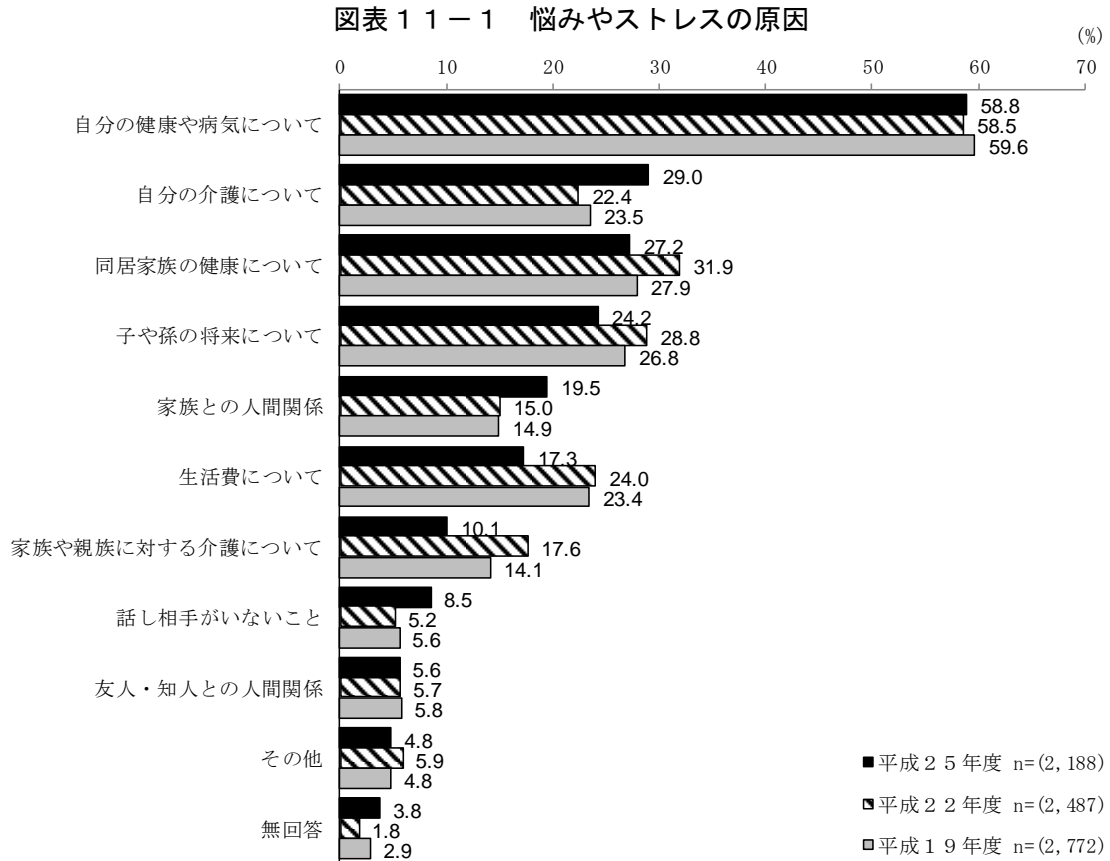


悩みやストレスの有無について、「おおいにある」が平成25年度は15.3%と、過年度に比べ多くなっている。「まったくない」は、平成19年度は20.8%、平成22年度は20.5%、平成25年度は18.8%と、年度とともに少なくなっている。（図表10-1）

### （11）悩みやストレスの原因

（問32で「1」「2」と回答された方におたずねします。）

問33 その原因は何ですか。（いくつでも○）

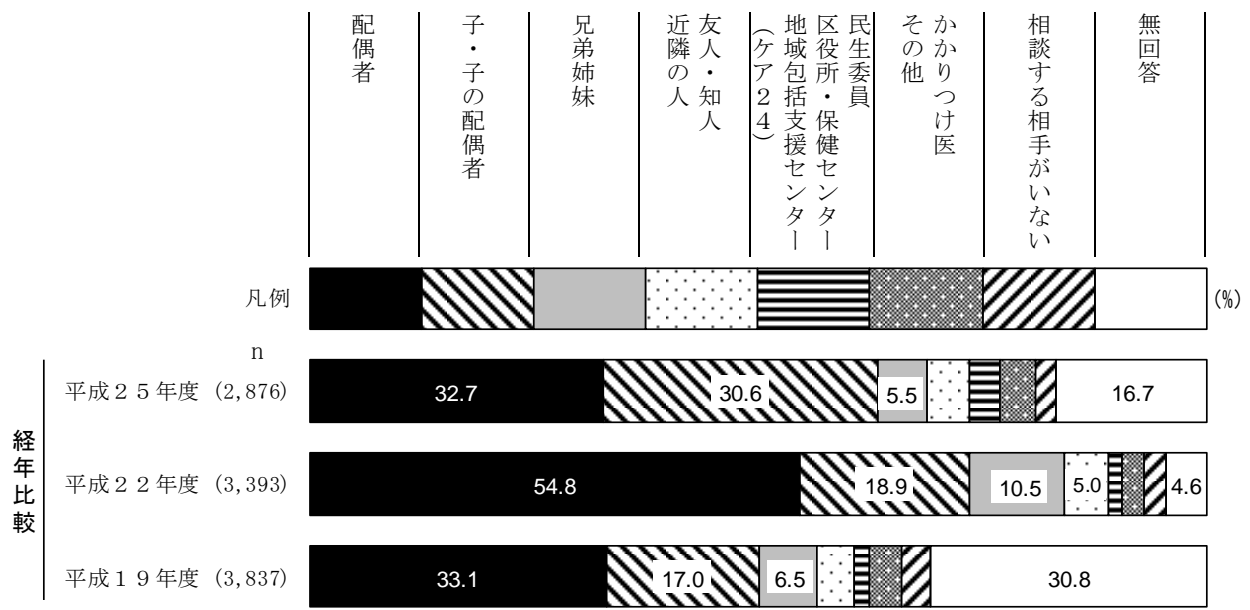


悩みやストレスの原因について、平成25年度は、「自分の介護について」は29.0%、「家族との人間関係」は19.5%と過年度に比べ多くなっている。「生活費について」「家族や親族に対する介護について」は過年度に比べ少なくなっている。（図表11-1）

（12）生活の中で不安に思った時の相談先

問34 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。（もっともよくあてはまるもの1つに○）

図表12-1 生活の中で不安に思った時の相談先



	配偶者	子・子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人 近隣の人	民生委員・区役所・保健センター・地域包括支援センター (ケア24)	かかりつけ医 その他	相談する相手がいない	無回答
平成25年度 (2,876)	32.7	30.6	5.5	4.8	3.4	3.9	2.3	16.7
平成22年度 (3,393)	54.8	18.9	10.5	5.0	1.4	2.5	2.4	4.6
平成19年度 (3,837)	33.1	17.0	6.5	4.2	1.6	3.7	3.1	30.8

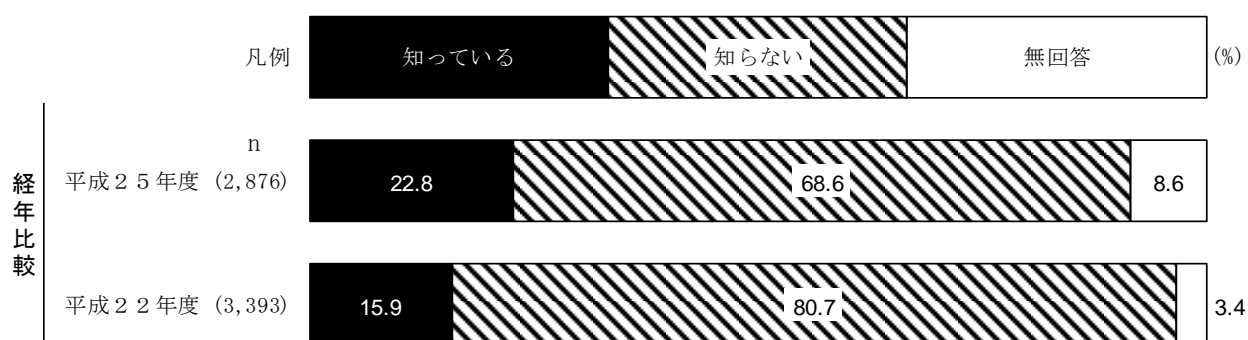
生活の中で不安に思った時の相談先について、「子・子の配偶者」は、平成19年度は17.0%、平成22年度は18.9%、平成25年度は30.6%と、年度とともに多くなっている。「配偶者」は、平成25年度は32.7%と、過年度に比べ少なくなっている。(図表12-1)



### （13）長寿応援ポイント事業の認知度

問4 1. 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1 つに○) (※)

図表 1 3 - 1 長寿応援ポイント事業の認知度



※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問4 1、問4 4としている。

長寿応援ポイント事業の認知度について、「知っている」は、平成25年度は22.8%と、平成22年度の15.9%に比べ多くなっている。(図表1 3 - 1)



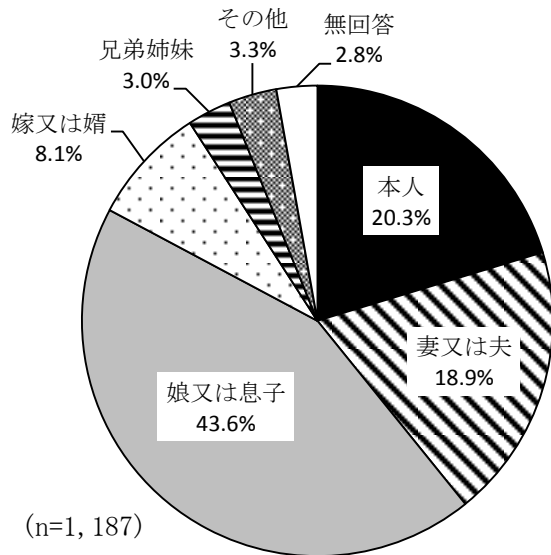
# 1. 回答者の属性

## (1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

### ○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

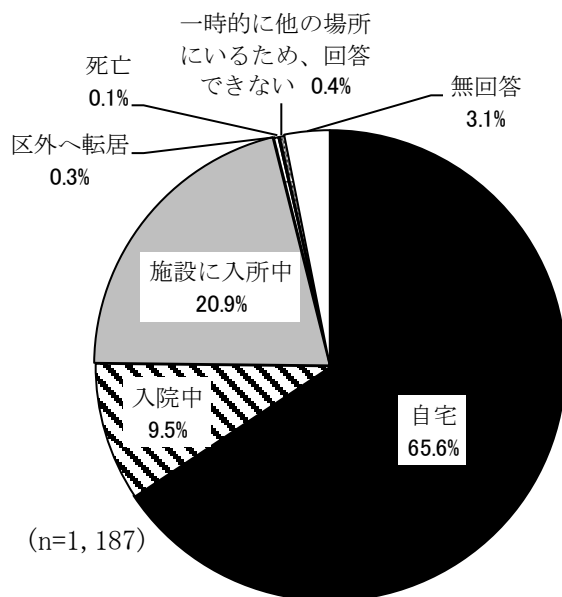


	基数	構成比 [%]
本人	241	20.3
妻又は夫	224	18.9
娘又は息子	518	43.6
嫁又は婿	96	8.1
兄弟姉妹	36	3.0
その他	39	3.3
無回答	33	2.8
全 体	1187	100.0

### ○対象者の生活場所

問2 ご本人は今どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

図表2-1 対象者の生活場所

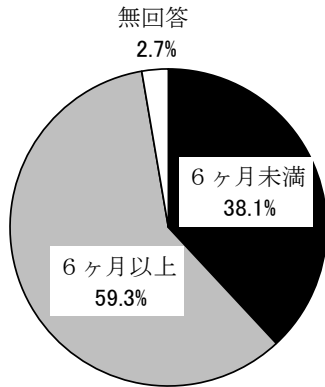


	基数	構成比 [%]
自宅	779	65.6
入院中	113	9.5
施設に入所中	248	20.9
区外へ転居	4	0.3
死亡	1	0.1
一時的に他の場所にいるため、回答できない	5	0.4
無回答	37	3.1
全 体	1187	100.0

### ○対象者の入院期間

問3 入院期間はどのくらいですか。(1つに○)

図表3-1 対象者の入院期間



	基数	構成比[%]
6ヶ月未満	43	38.1
6ヶ月以上	67	59.3
無回答	3	2.7
全体	113	100.0

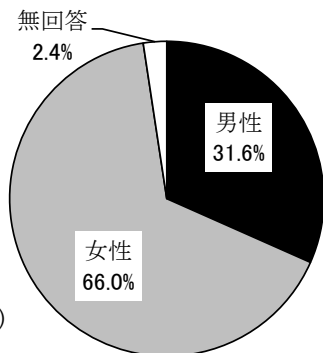
(n=113)

※「6ヶ月以上」と回答した人は、問3で調査終了

### ○対象者の性別、年齢

問4 あなたの性別は。

図表4-1 対象者の性別

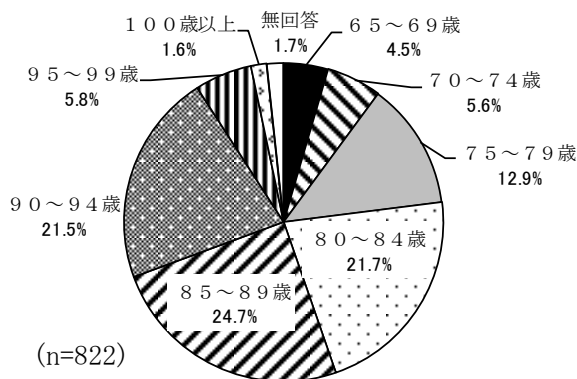


(n=822)

	基数	構成比[%]
男性	260	31.6
女性	542	66.0
無回答	20	2.4
全体	822	100.0

問5 あなたの年齢は。

図表5-1 対象者の性別と年齢



(n=822)

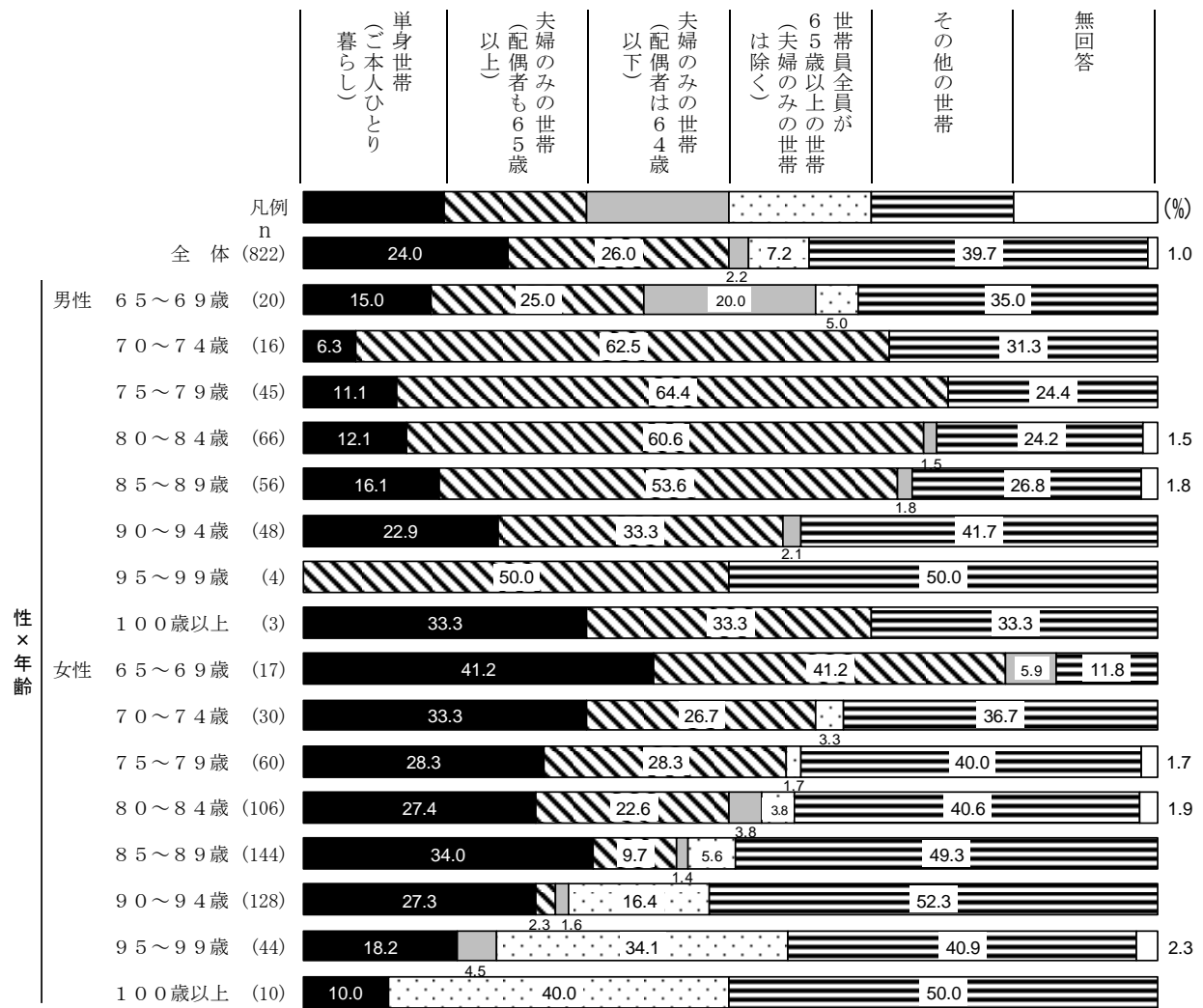
	基数	構成比[%]
65~69歳	37	4.5
70~74歳	46	5.6
75~79歳	106	12.9
80~84歳	178	21.7
85~89歳	203	24.7
90~94歳	177	21.5
95~99歳	48	5.8
100歳以上	13	1.6
無回答	14	1.7
全体	822	100.0

## (2) 家族構成

問6 ご本人と一緒に暮らしている家族の構成をお答えください。(1つに○)

「夫婦のみの世帯(配偶者も65歳以上)」が26.0%、「単身世帯」が24.0%。

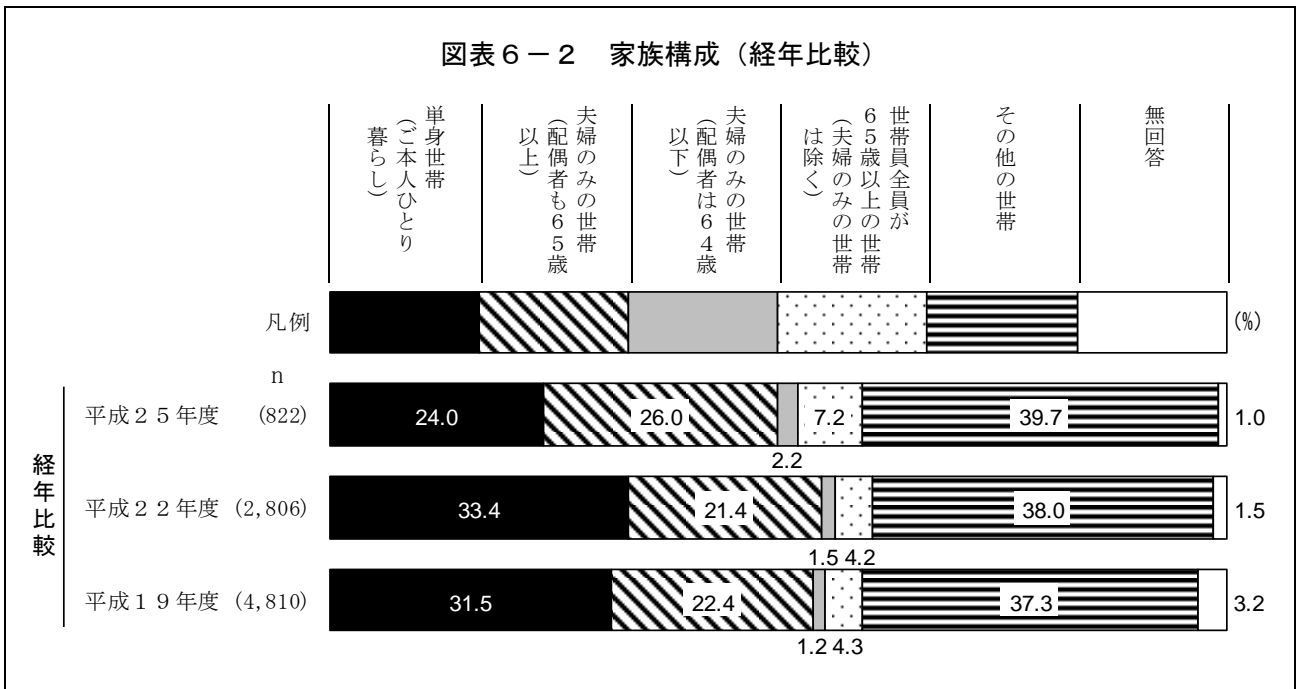
図表6-1 家族構成(性×年齢別)



家族構成について、「夫婦のみの世帯(配偶者も65歳以上)」が26.0%で最も多く、次いで「単身世帯」(24.0%)、「世帯全員が65歳以上」(7.2%)となっている。

性×年齢別でみると、男性は年齢が高くなるにつれ「単身世帯」が多くなり、「夫婦のみの世帯(配偶者も65歳以上)」が少なくなる傾向がみられる。女性は多くの年齢において「単身世帯」が男性の同年齢を上回っている一方で、年齢が高くなるにつれ「世帯員全員が65歳以上の世帯」の割合が多くなっている。(図表6-1)

図表6-2 家族構成（経年比較）



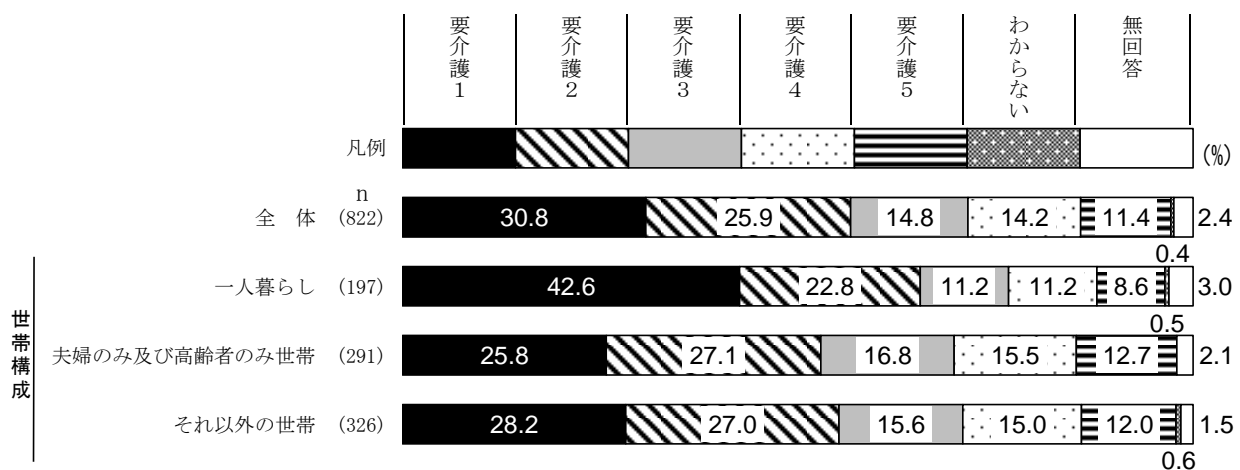
経年比較でみると、「単身世帯」は24.0%と、過年度（平成19年度31.5%、平成22年度33.4%）に比べ少なくなっている。「夫婦のみの世帯（配偶者も65歳以上）」は26.0%と、過年度（平成19年度22.4%、平成22年度21.4%）に比べ多くなっている。「その他の世帯」は、平成19年度は37.3%、平成22年度は38.0%、平成25年度は39.7%と、各年度とも38%前後となっている。（図表6-2）

### (3) 現在の要介護度

問7 ご本人の現在の要介護度をお答えください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(1つに○)

「要介護1」が30.8%、「要介護2」が25.9%、「要介護3」が14.8%。

図表7-1 現在の要介護度(世帯構成別)



現在の要介護度について、「要介護1」が30.8%で最も多く、次いで「要介護2」(25.9%)、「要介護3」(14.8%)と、要介護度が上がるにつれ割合が低くなっている。

世帯構成別では、「要介護1」で一人暮らしが42.6%となっており、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯の25.8%、それ以外の世帯の28.2%に比べ多くなっている。一方、「要介護2」以上の要介護度において、一人暮らしが他の世帯構成と比べ少なくなっている。(図表7-1)

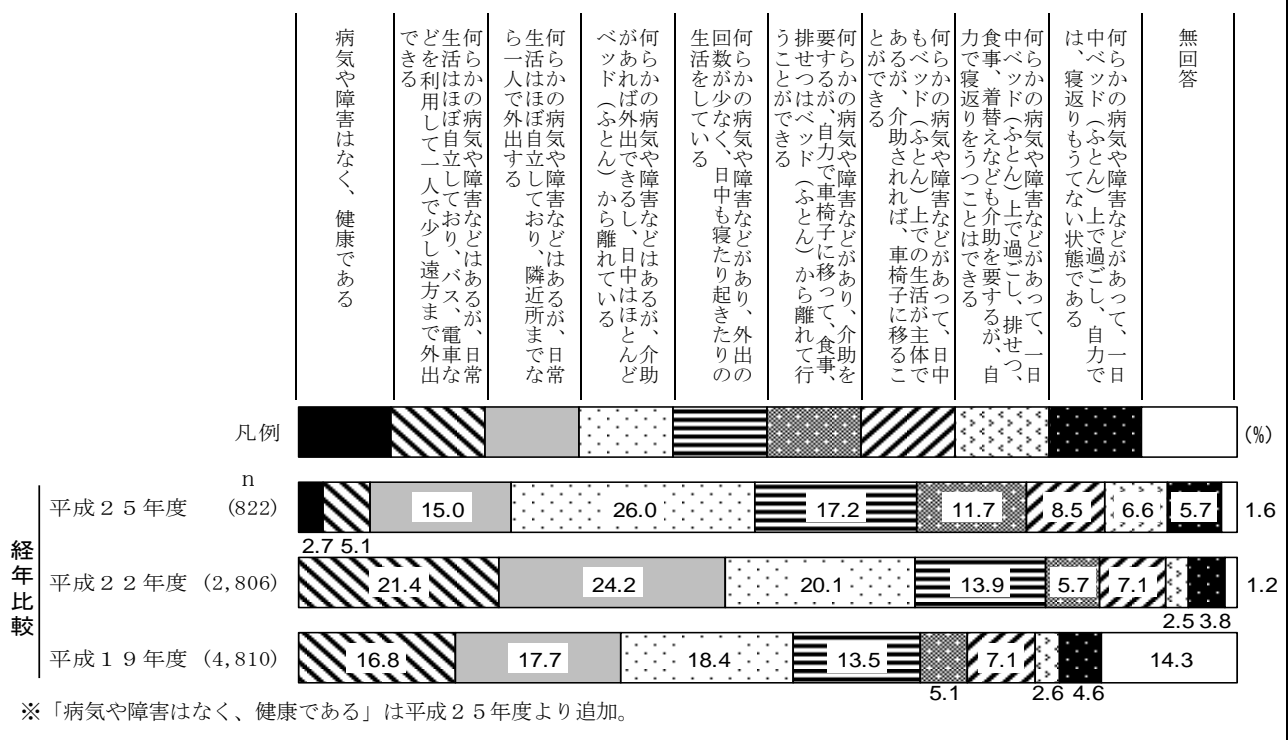
## 2. 日常生活の状況について

### (1) 日常生活における自立度

問8 ご本人の生活の状況について、もっとも近いものはどれですか（1つに○）

「何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」が26.0%、「何らかの病気や障害などがあり、外出の回数が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」が17.2%。

図表8-1 日常生活における自立度（経年比較）



日常生活における自立度について、「何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」が26.0%と最も多く、次いで「何らかの病気や障害などがあり、外出の回数が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」（17.2%）、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、バス、電車などを利用して一人で少し遠方まで外出できる」（15.0%）の順となっている。

「病気や障害はなく、健康である」は2.7%と最も少なくなっており、また、日常生活において介助なしで自立している割合（「病気や障害はなく、健康である」、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、バス、電車などを利用して一人で少し遠方まで外出できる」、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所までなら一人で外出する」の合計）は22.8%となっている。

経年比較でみると、「何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」は、平成19年度は18.4%、平成22年度は20.1%、平成25年度は26.0%と、年度とともに多くなっている。（図表8-1）

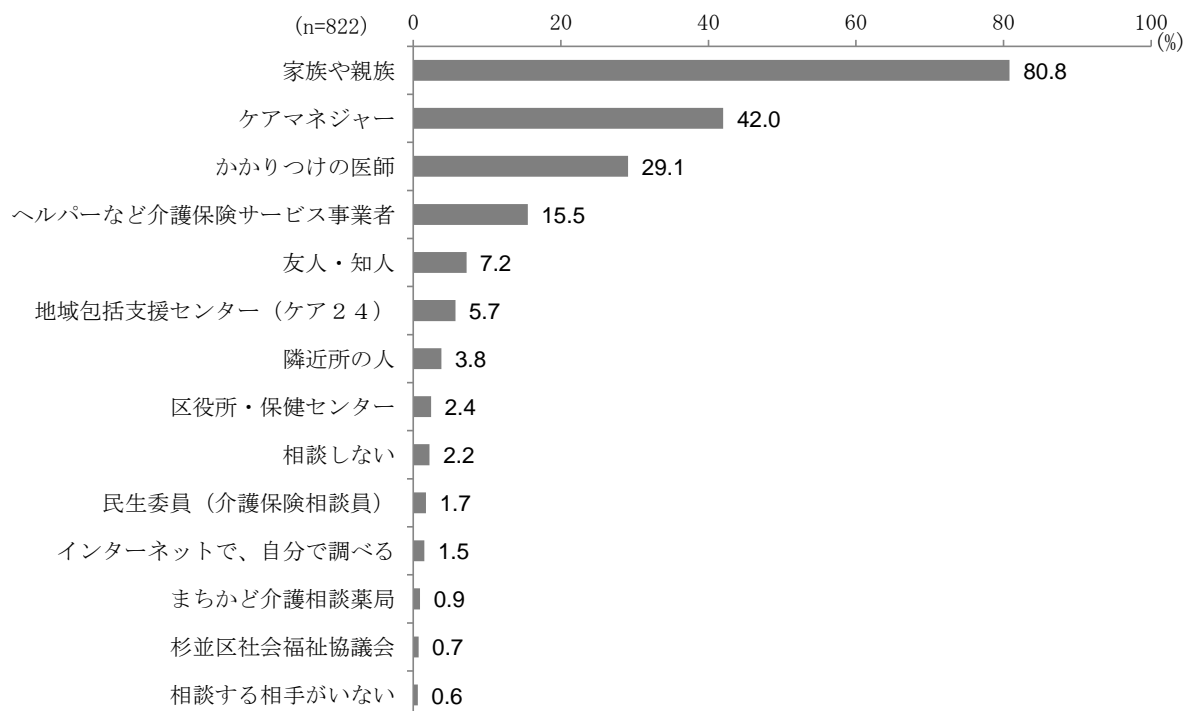


## (2) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問9 ご本人は、生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

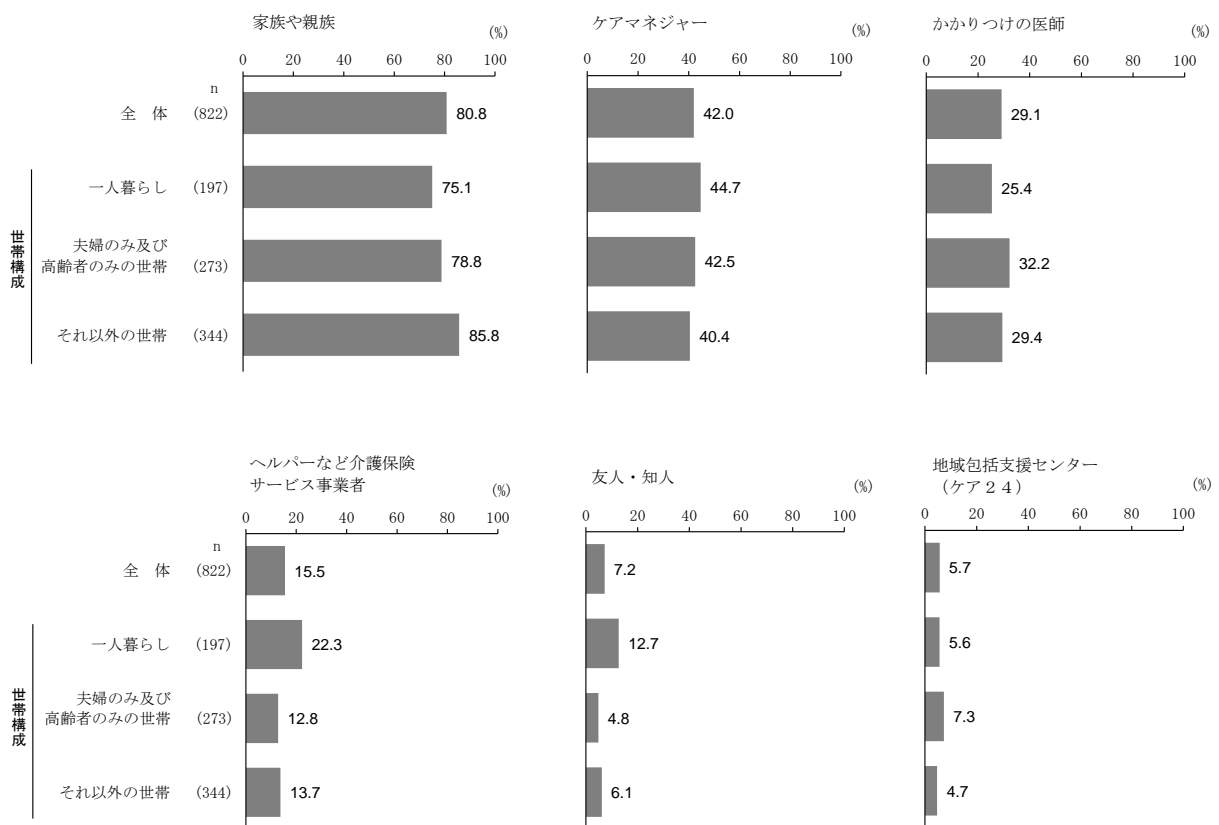
**「家族や親族」が80.8%、「ケアマネジャー」が42.0%、「かかりつけの医師」が29.1%。**

図表9-1 生活の中で不安に思ったときの相談先



生活の中で不安に思ったときの相談先について、「家族や親族」が80.8%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」（42.0%）、「かかりつけの医師」（29.1%）の順となっている。（図表9-1）

図表9-2 生活の中で不安に思ったときの相談先（世帯構成別）（上位6位まで）



世帯構成別についてみると、「家族や親族」「かかりつけの医師」は一人暮らしがそれぞれ75.1%、25.4%と、他の世帯構成に比べ最も少なくなっているが、「ケアマネジャー」「ヘルパーなど介護保険サービス事業者」「友人・知人」では一人暮らしが、それぞれ44.7%、22.3%、12.7%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図表9-2)

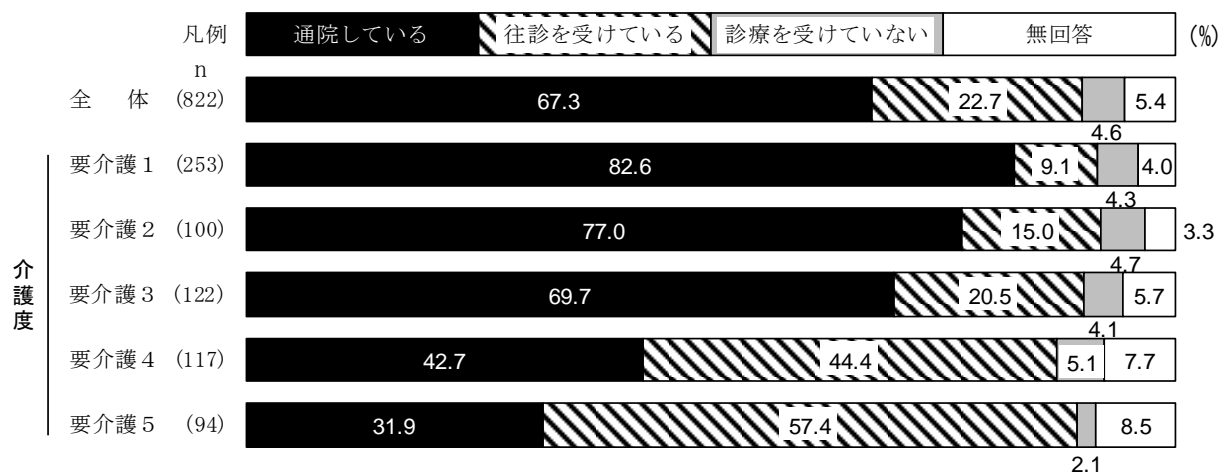
### 3. 健康について

#### (1) 通院・往診の状況

問10 ご本人は現在、通院（病院・医院・診療所）や往診で診療を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が67.3%、「往診を受けている」が22.7%、「診療を受けていない」が4.6%。

図表10-1 通院・往診の状況（介護度別）



通院・往診の状況について、「通院している」が67.3%と最も多く、次いで「往診を受けている」(22.7%)、「診療を受けていない」(4.6%)の順となっている。

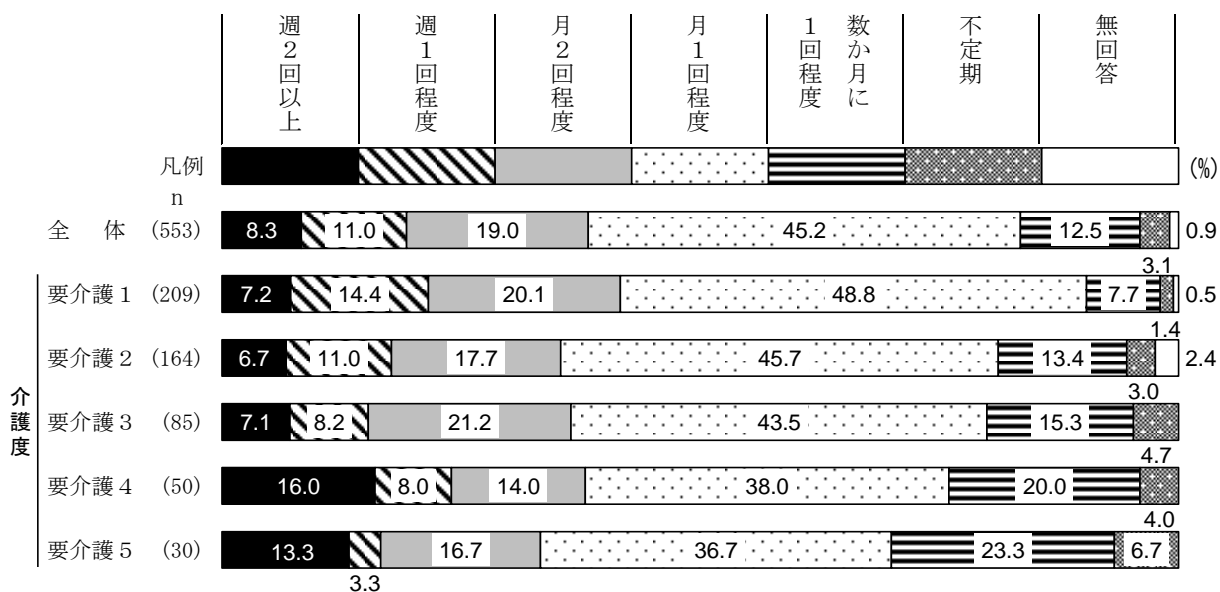
介護度別で見ると、要介護1では「通院している」が82.6%と8割以上、「往診を受けている」が9.1%と1割未満となっている。介護度が高くなるにつれ「通院している」の割合が少なくなり、「往診を受けている」の割合が多くなっている。要介護4以上では「通院している」の方が、「往診を受けている」よりも少なくなっている。(図表10-1)

(2) 通院・往診の頻度

問11 (問10で「1 通院している」と答えた方におたずねします。) 通院の回数ほどのくらいですか。(1つに○)

「月1回程度」が45.2%、「月2回程度」が19.0%、「数か月に1回程度」が12.5%。

図表11-1 通院・往診の頻度(介護度別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が45.2%と最も多く、次いで「月2回程度」(19.0%)、「数か月に1回程度」(12.5%)の順となっている。

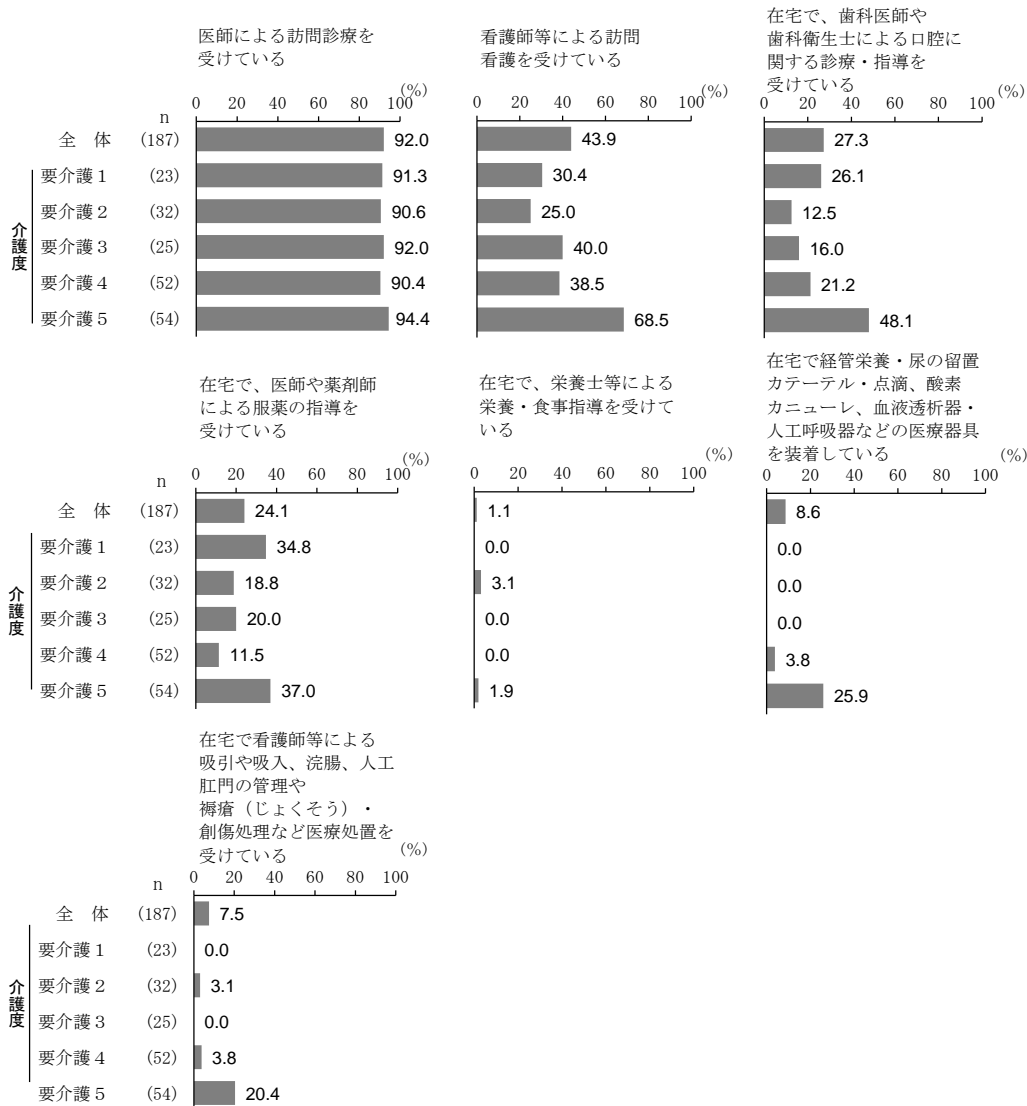
介護度別でみると、「週2回以上」は要介護1から要介護3では約7%であるのに対して、要介護4・5ではそれぞれ16.0%、13.3%と多くなっている。また、介護度が高くなるにつれ「月1回程度」が少なくなり「数か月に1回程度」が多くなる傾向がみられる。(図表11-1)

### (3) 往診の内容

問12 往診を受けているのは、どのような内容ですか。(現在受けているものすべてに○)

「医師による訪問診療を受けている」が92.0%、「看護師等による訪問看護を受けている」が43.9%、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」が27.3%。

図表12-1 往診の内容（介護度別）



往診の内容について、「医師による訪問診療を受けている」が92.0%と最も多く、「看護師等による訪問看護を受けている」(43.9%)、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」(27.3%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護5は「看護師等による訪問看護を受けている」で68.5%、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」で48.1%となっている他、多くの項目において他の介護度より多くなっている。(図表12-1)

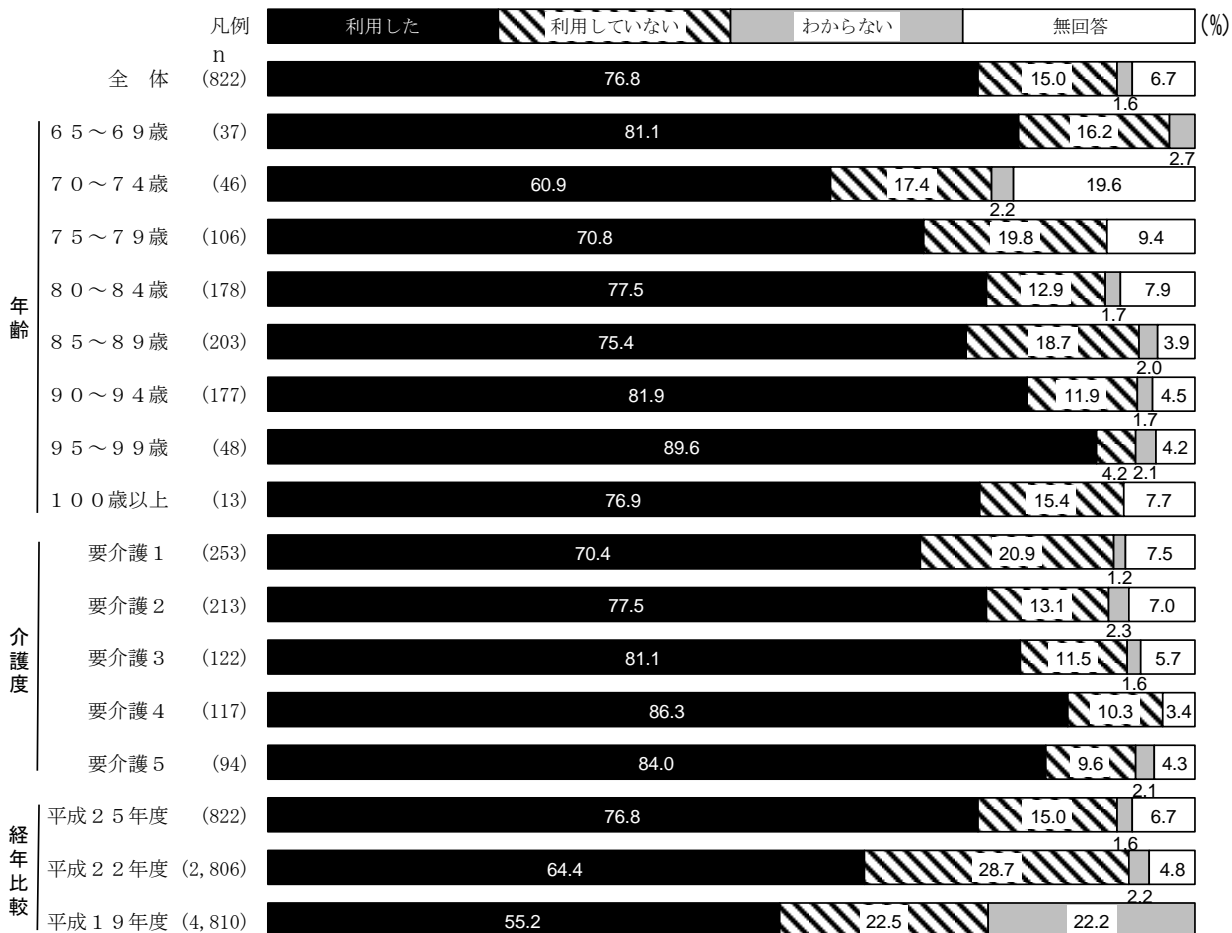
## 4. サービスの利用状況

### (1) 介護保険サービスの利用有無

問13 8月中に、介護保険サービスを実際に利用しましたか。(1つに○)

「利用した」が76.8%、「利用していない」が15.0%。

図表13-1 介護保険サービスの利用有無（年齢別／介護度別／経年比較）



介護保険サービスの利用有無について、「利用した」が76.8%、「利用していない」が15.0%となっている。

年齢別でみると、「利用した」は、95～99歳が89.6%と最も多く、次いで90～94歳(81.9%)、65～69歳(81.1%)の順となっている。また、70～74歳から95～99歳にかけては、年齢が上がるにつれて、「利用した」がおおむね多くなっている。

介護度別でみると、「利用した」は、要介護4で86.3%と最も多く、次いで要介護5(84.0%)、要介護3(81.1%)の順となっており、おおむね介護度が高くなるにつれ「利用した」が多くなっている。

経年比較でみると、「利用した」は、平成19年度は55.2%、平成22年度は64.4%、平成25年度は76.8%と、年度とともに多くなっている。(図表13-1)

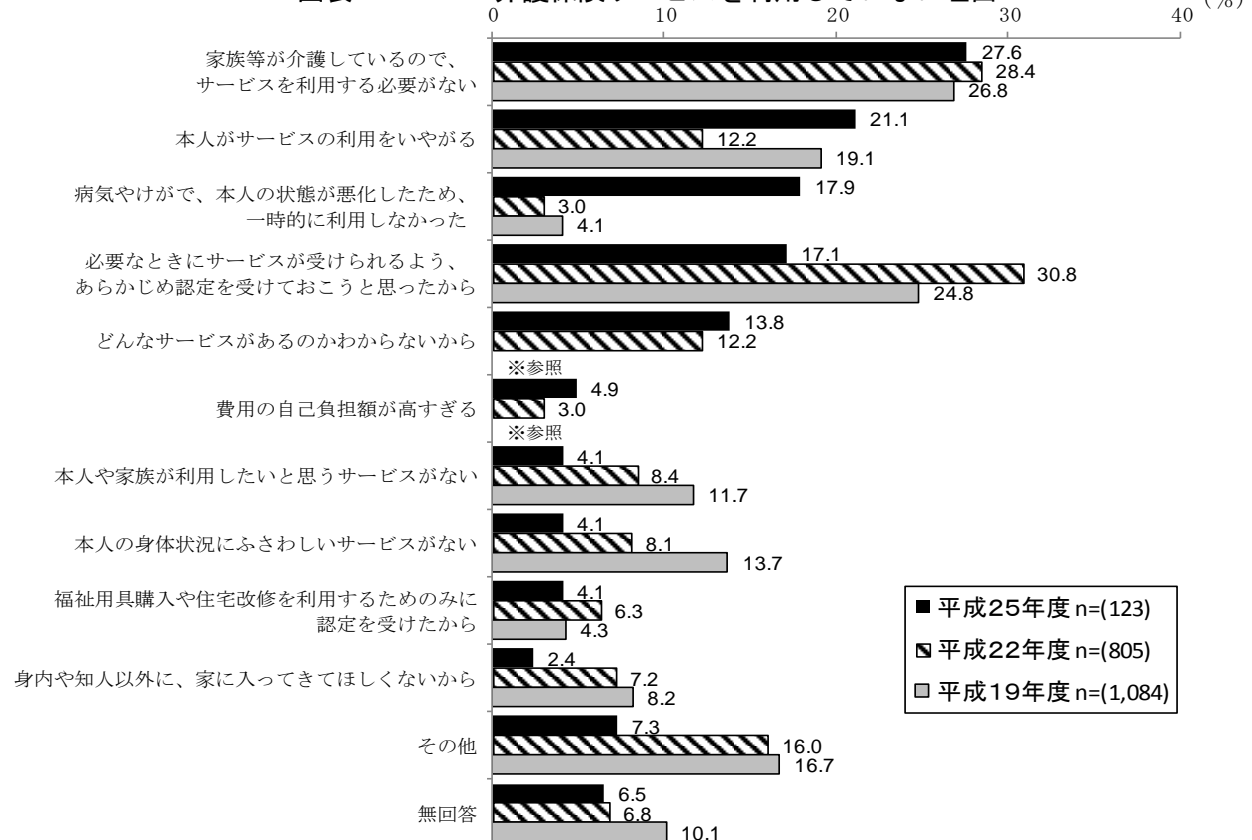
## (2) 介護保険サービスを利用していない理由

問14 (問13で「2 利用していない」と答えた方におたずねします。)

8月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(2つまで○)

「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が27.6%、「本人がサービスの利用をいやがる」が21.1%、「病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった」が17.9%。

図表14-1 介護保険サービスを利用していない理由

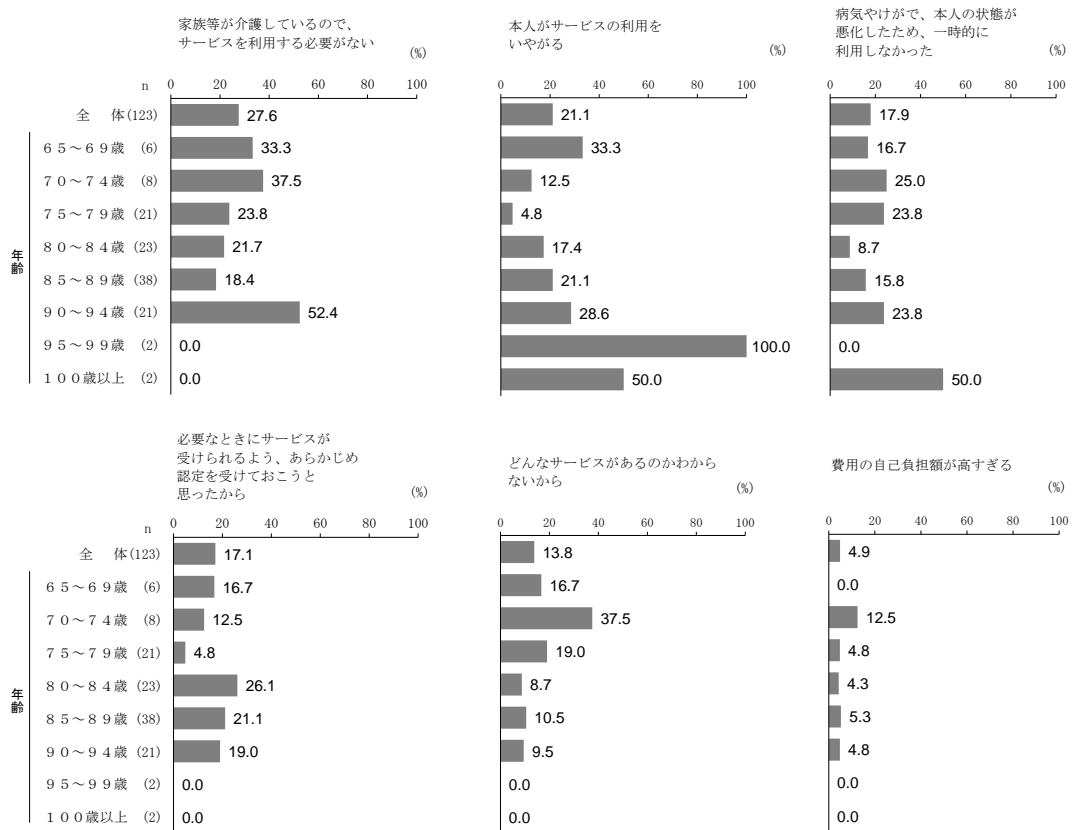


※「どんなサービスがあるかわからないから」「費用の自己負担額が高すぎる」は平成22年度より追加。

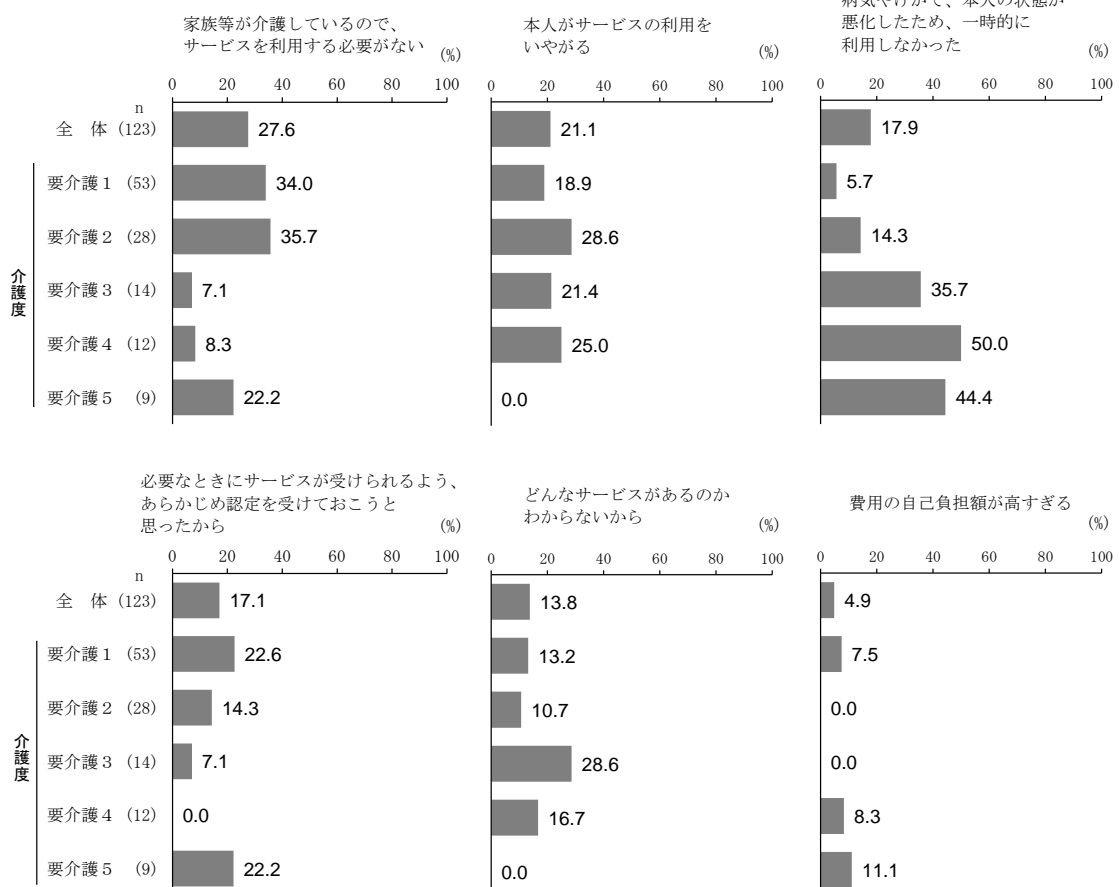
介護保険サービスを利用していない理由について、「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が27.6%と最も多く、次いで「本人がサービスの利用をいやがる」(21.1%)、「病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった」(17.9%)の順となっている。

経年比較でみると、「病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった」は17.9%と、過年度(平成19年度4.1%、平成22年度3.0%)に比べ多くなっている。「必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから」は17.1%と、過年度(平成19年度24.8%、平成22年度30.8%)に比べ少なくなっている。「本人や家族が利用したいと思うサービスがない」は、平成19年度は11.7%、平成22年度は8.4%、平成25年度は4.1%と、年度とともに少なくなっており、「本人の身体状況にふさわしいサービスがない」「身内や知人以外に、家に入ってきてほしくないから」についても同様の傾向となっている。(図表14-1)

図表 1 4 - 2 介護保険サービスを利用していない理由（年齢別）（上位6位まで）



図表 1 4 - 3 介護保険サービスを利用していない理由（介護度別）（上位6位まで）



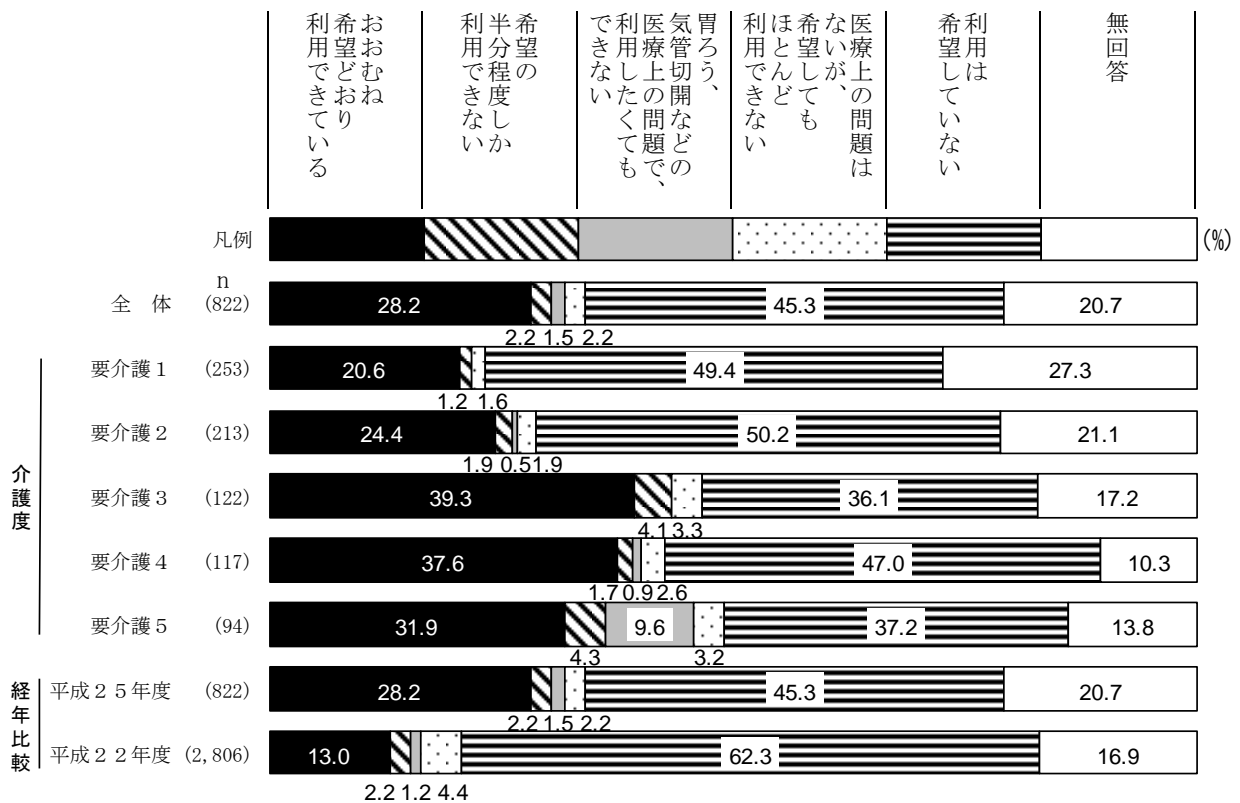


### (3) ショートステイの利用有無

問15 ここ半年間に、短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できましたか。（1つに○）

「利用は希望していない」が45.3%、「おおむね希望どおり利用できている」が28.2%。

図表15-1 ショートステイの利用有無（介護度別／経年比較）



ショートステイの利用有無について、「利用は希望していない」が45.3%と最も多く、次いで「おおむね希望どおり利用できている」(28.2%)、「希望の半分程度しか利用できない」「医療上の問題はないが、希望してもほとんど利用できない」(各2.2%)の順となっている。

介護度別でみると、「おおむね希望どおり利用できている」は要介護3で39.3%と最も多く、次いで、要介護4(37.6%)、要介護5(31.9%)の順となっている。「胃ろう、気管切開などの医療上の問題で、利用したくてもできない」は多くの介護度では1%に満たないものの、要介護5では9.6%と割合が多くなっている。

経年比較でみると、「利用は希望していない」は45.3%と、平成22年度の62.3%に比べ少なくなっている。「おおむね希望どおり利用できている」は28.2%と、平成22年度の13.0%に比べ多くなっている。(図表15-1)

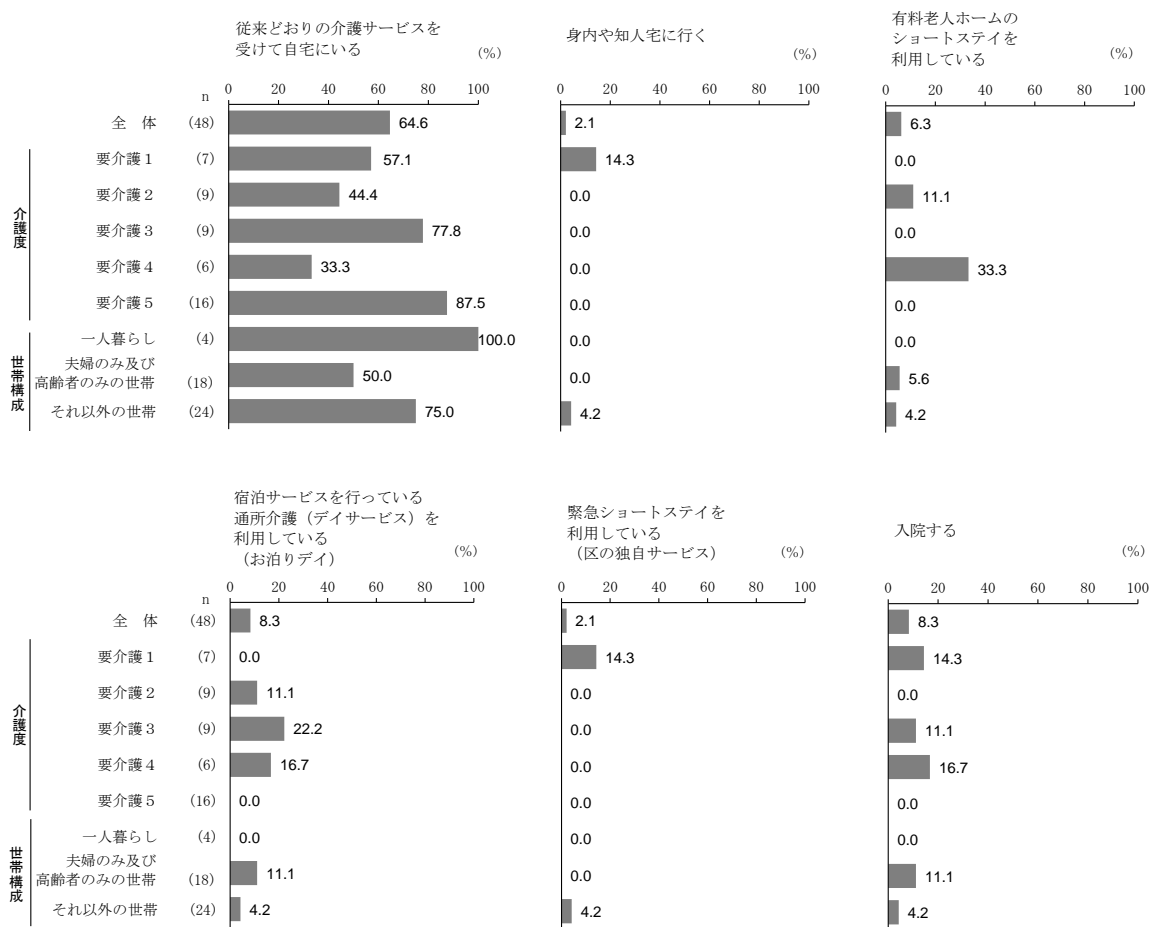
### (4) ショートステイを利用できないときの対応

問16 (問15で2～4に答えた方におたずねします。)

短期入所生活・短期入所療養介護(ショートステイ)を希望どおり利用できない場合は、どのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる」が64.6%、「宿泊サービスを行っている通所介護(デイサービス)を利用している(お泊りデイ)」「入院する」が各8.3%。

図表16-1 ショートステイを利用できないときの対応(介護度別/世帯構成別)



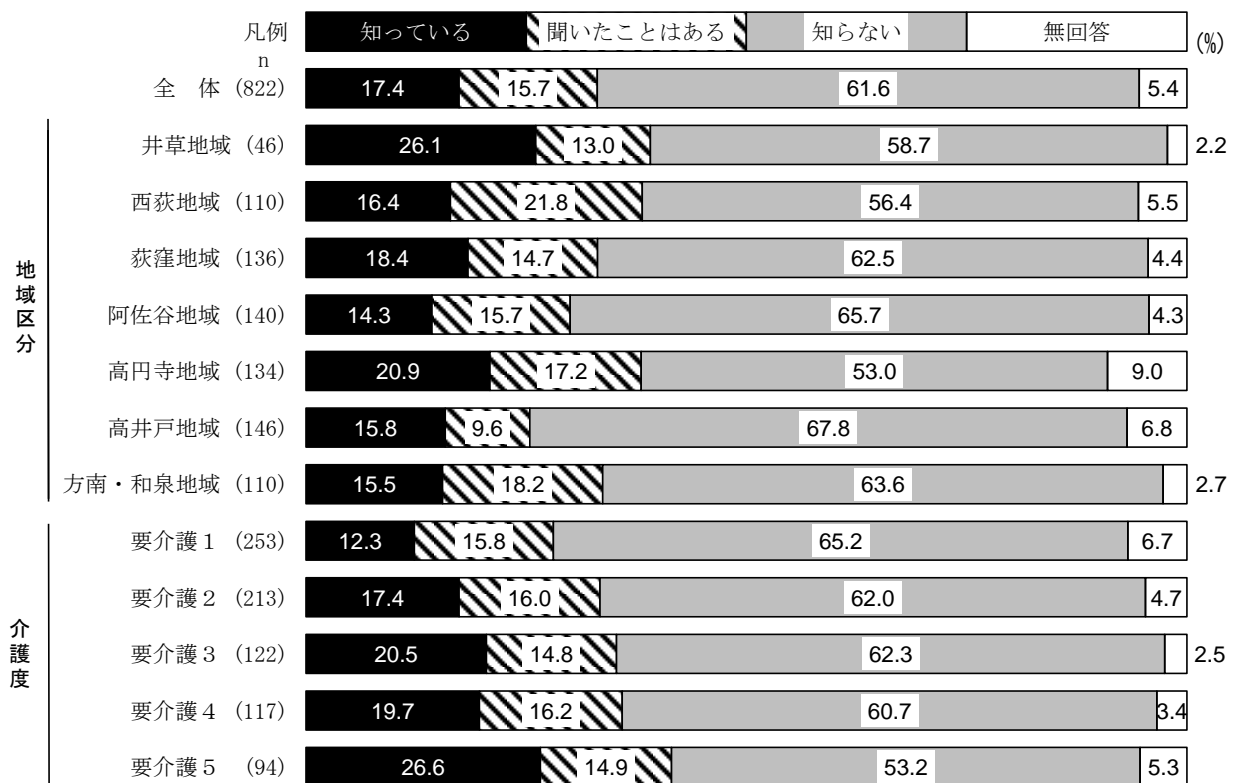
ショートステイを利用できないときの対応について、「従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる」が64.6%と最も多く、次いで「宿泊サービスを行っている通所介護(デイサービス)を利用している」「入院する」(各8.3%)、「有料老人ホームのショートステイを利用している」(6.3%)の順となっている。(図表16-1)

(5) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の認知度

問17 平成24年4月から「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスが開始されました。このサービスを知っていますか。(1つに○)

「知らない」が61.6%、「知っている」が17.4%、「聞いたことはある」が15.7%。

図表17-1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の認知度(地域区分別/介護度別)



「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の認知度について、「知っている」が17.4%、「聞いたことはある」が15.7%と、「知らない」の61.6%よりも少なくなっている。

地域区分別でみると、「知っている」は井草地域で26.1%と最も多く、次いで高円寺地域(20.9%)、荻窪地域(18.4%)の順となっている。また、「知っている」と「聞いたことはある」の合計は、井草地域の39.1%が最も多く、西荻地域(38.2%)、高円寺地域(38.1%)の順となり上位は4割弱を占めているが、高井戸地域では25.4%にとどまっている。

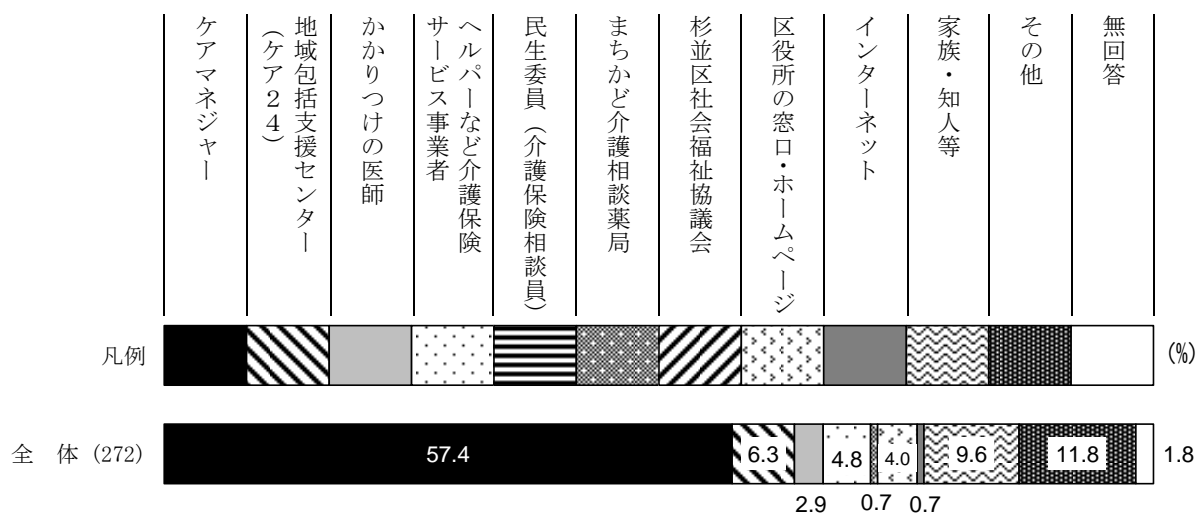
介護度別でみると、介護度が高くなるにつれ「知っている」「聞いたことはある」の割合がおおむね多くなっている。(図表17-1)

### (6) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を知った経緯

問18 (問17で「1 知っている」または「2 聞いたことはある」と答えた方におたずねします。) どのようにして知りましたか。(1つに○)

「ケアマネジャー」が57.4%、「家族・知人等」が9.6%、「地域包括支援センター(ケア24)」が6.3%。

図表18-1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を知った経緯



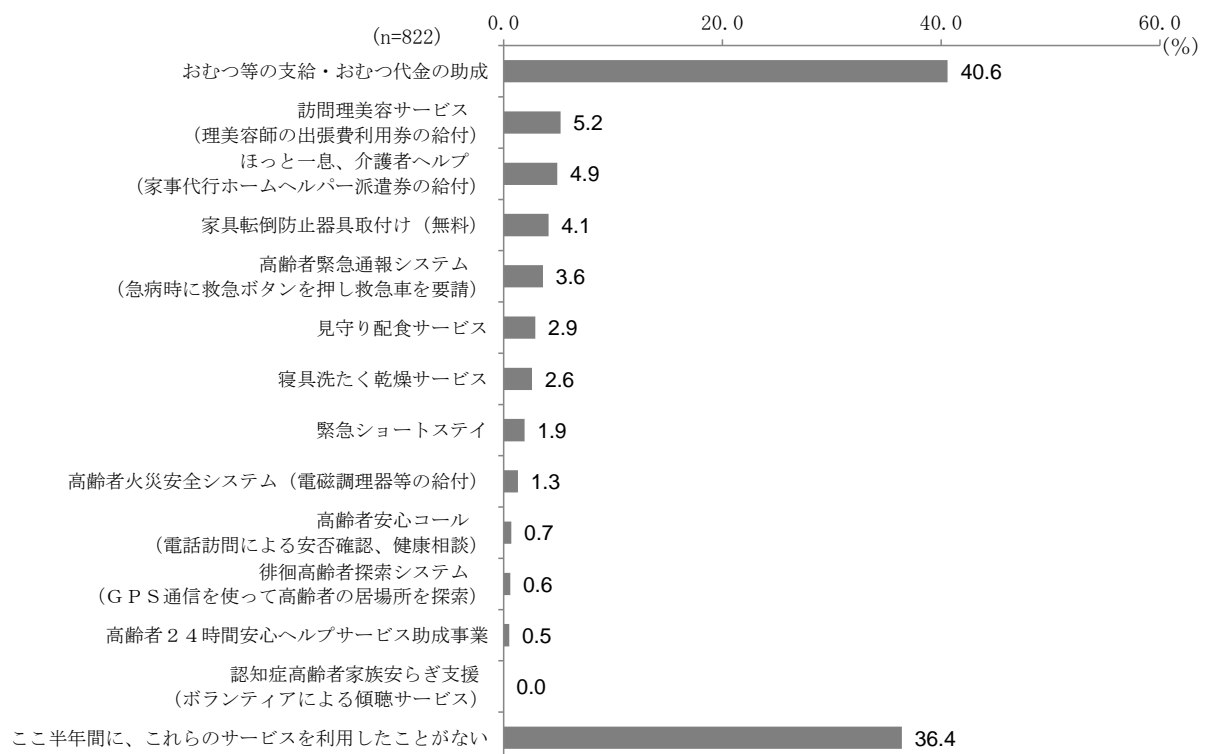
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を知った経緯は、「ケアマネジャー」が57.4%で半数以上と最も多く、次いで「家族・知人等」(9.6%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(6.3%)の順となっている。(図表18-1)

## (7) 高齢者在宅サービスの利用有無

問19 ここ半年間に、高齢者在宅サービス(区の独自サービス)を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

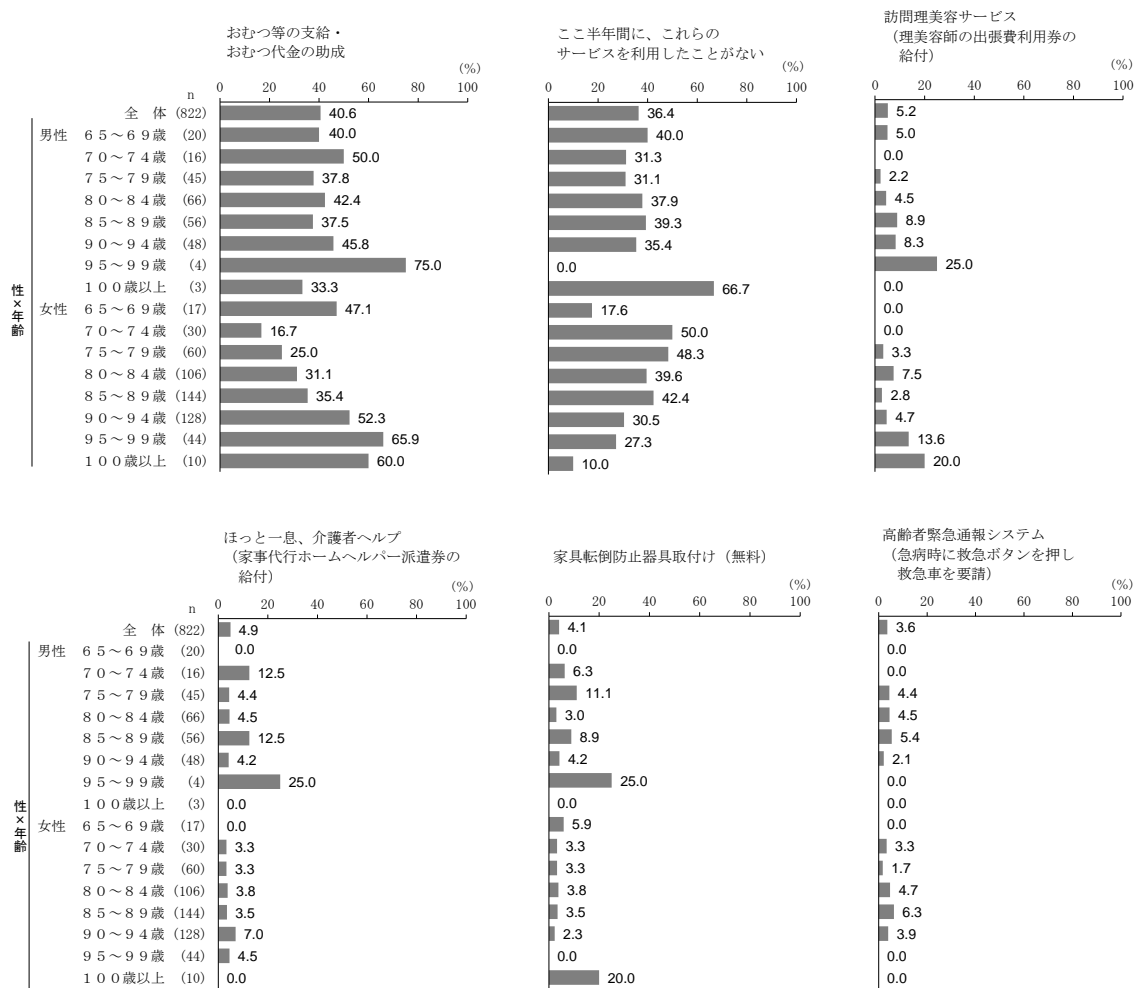
「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が40.6%、「ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない」が36.4%。

図表19-1 高齢者在宅サービスの利用有無



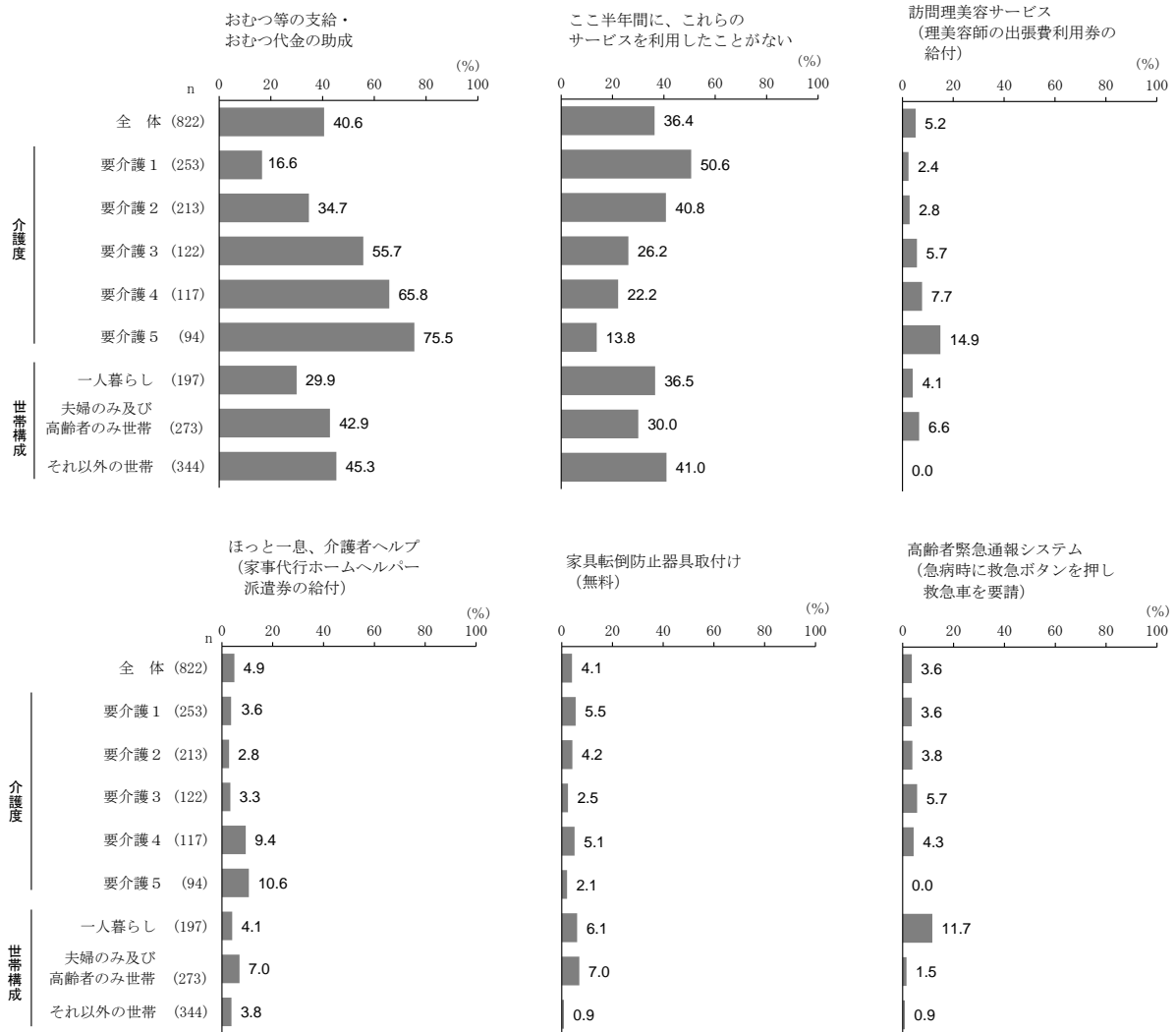
高齢者在宅サービスの利用有無について、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が40.6%と最も多く、次いで「ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない」(36.4%)、「訪問理美容サービス(理美容師の出張費利用券の給付)」(5.2%)の順となっている。(図表19-1)

図表 19-2 高齢者在宅サービスの利用有無（性×年齢別）（上位6位まで）



性×年齢別でみると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」について、女性の場合、70～74歳で16.7%、75～79歳で25.0%とおおむね年齢が高くなるにつれ利用の割合が多くなる傾向がみられる。また、「ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない」は女性の場合、70～74歳で50.0%、75～79歳で48.3%とおおむね年齢が高くなるにつれその割合が少なくなっている。(図表19-2)

図表 19-3 高齢者在宅サービスの利用有無（介護度別／世帯構成別）（上位6位まで）



介護度別で見ると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」は介護度が高くなるにつれ割合が多くなり、要介護5では75.5%と他の介護度に比べ最も多くなっている。また、「訪問理美容サービス（理美容師の出張費利用券の給付）」や「ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣券の給付）」もわずかではあるが介護度が高くなるにつれ多くなる傾向となっている。一方、「ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない」は介護度が高くなるにつれ割合が少なくなっている。

世帯構成別で見ると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」では、一人暮らしが29.9%と他の世帯構成と比べやや少ない一方で、「高齢者緊急通報システム（急病時に救急ボタンを押し救急車を要請）」は11.7%と他の世帯構成と比べ割合が多くなっている。（図表19-3）

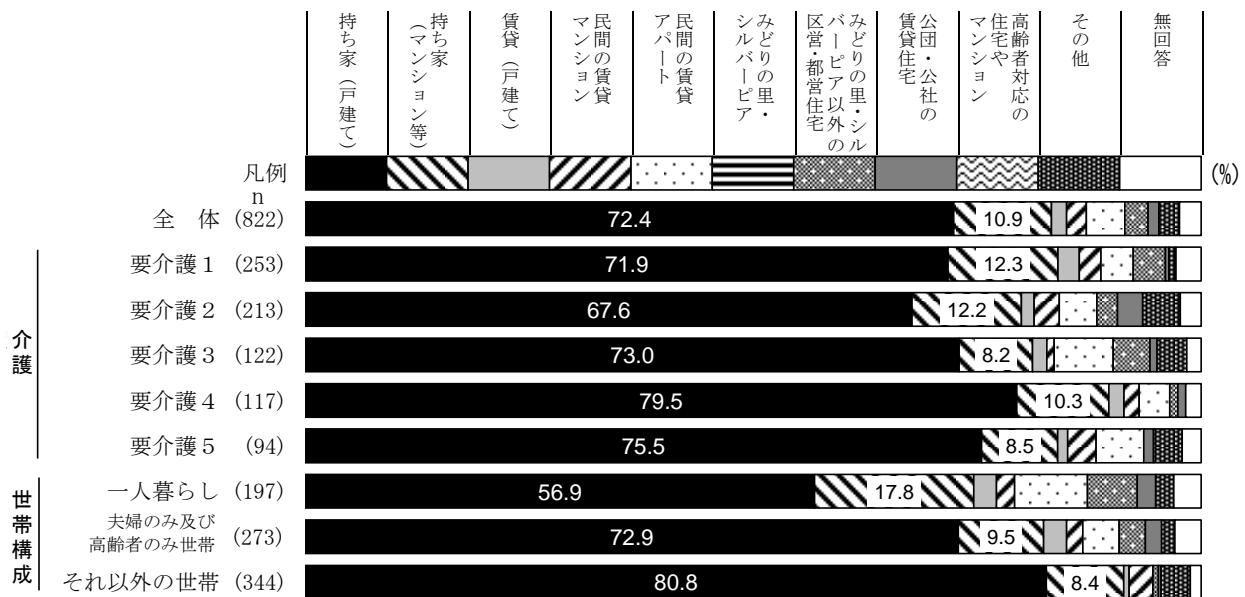
## 5. 住まいについて

### (1) 住居形態

問20 ご本人の現在のお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「持ち家(戸建て)」が72.4%、「持ち家(マンション等)」が10.9%。

図表20-1 住居形態(介護度別/世帯構成別)



	持ち家(戸建て)	持ち家(マンション等)	賃貸(戸建て)	民間の賃貸マンション	民間の賃貸アパート	みどりの里・シルバーピア	みどりの里・シルバーピア以外の区営・都営住宅	公団・公社の賃貸住宅	高齢者対応の住宅やマンション	その他	無回答
全体 (822)	72.4	10.9	1.7	2.2	4.3	-	2.6	1.2	-	2.3	2.4
要介護1 (253)	71.9	12.3	2.4	2.4	3.6	-	3.6	0.4	-	0.8	2.8
要介護2 (213)	67.6	12.2	1.4	2.8	4.2	-	2.3	2.8	-	4.2	2.3
要介護3 (122)	73.0	8.2	1.6	0.8	6.6	-	4.1	0.8	-	3.3	1.6
要介護4 (117)	79.5	10.3	1.7	1.7	3.4	-	0.9	0.9	-	-	1.7
要介護5 (94)	75.5	8.5	1.1	3.2	5.3	-	-	1.1	-	3.2	2.1
一人暮らし (197)	56.9	17.8	2.5	2.0	8.1	-	5.6	2.0	-	2.0	3.0
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (273)	72.9	9.5	2.6	1.8	4.0	-	2.9	1.8	-	1.5	2.9
それ以外の世帯 (344)	80.8	8.4	0.6	2.6	-	-	0.6	0.3	-	3.2	1.2

住居形態について、「持ち家(戸建て)」が72.4%で最も多く、次いで「持ち家(マンション等)」(10.9%)、「民間の賃貸アパート」(4.3%)の順となっている。

介護度別で見ると、「持ち家(戸建て)」では、要介護4と要介護5が79.5%と75.5%と、7割以上となっている。また、「持ち家(マンション等)」では、要介護1と要介護2がそれぞれ12.3%、12.2%と、要介護3～要介護5に比べ割合が多くなっている。

世帯構成別で見ると、「持ち家(戸建て)」では夫婦のみ及び高齢者のみ世帯が72.9%、それ以外の世帯が80.8%であるのに対して、一人暮らしでは56.9%と割合が少なくなっている。一方、「持ち家(マンション等)」や「民間の賃貸アパート」では一人暮らしの割合が最も多くなっている。(図表20-1)

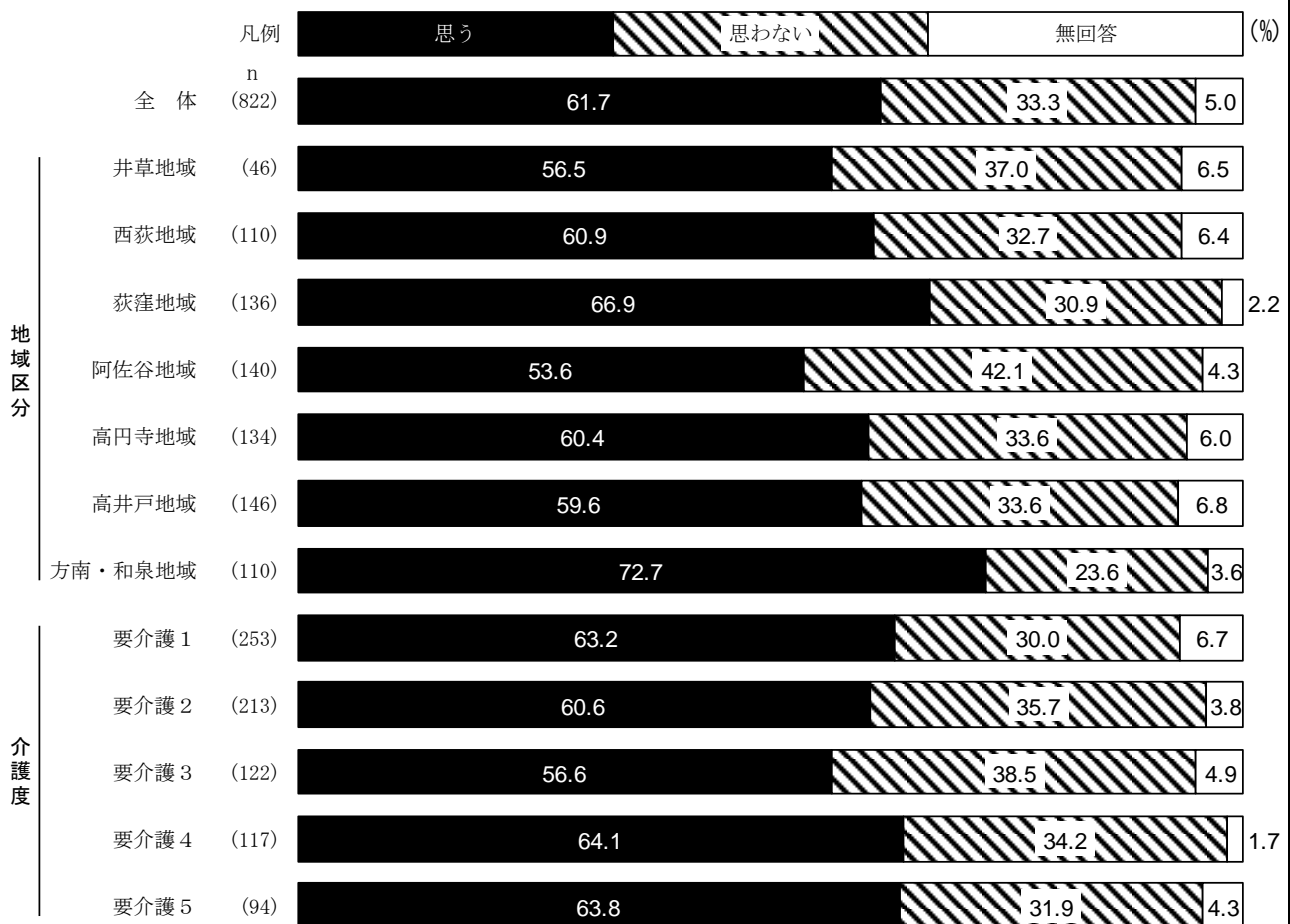


## (2) 現在の住居が在宅生活に適しているかについて

問 2 1 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(1つに○)

「思う」が61.7%、「思わない」が33.3%。

図表 2 1 - 1 現在の住居が在宅生活に適しているかについて (地域区分別/介護度別)

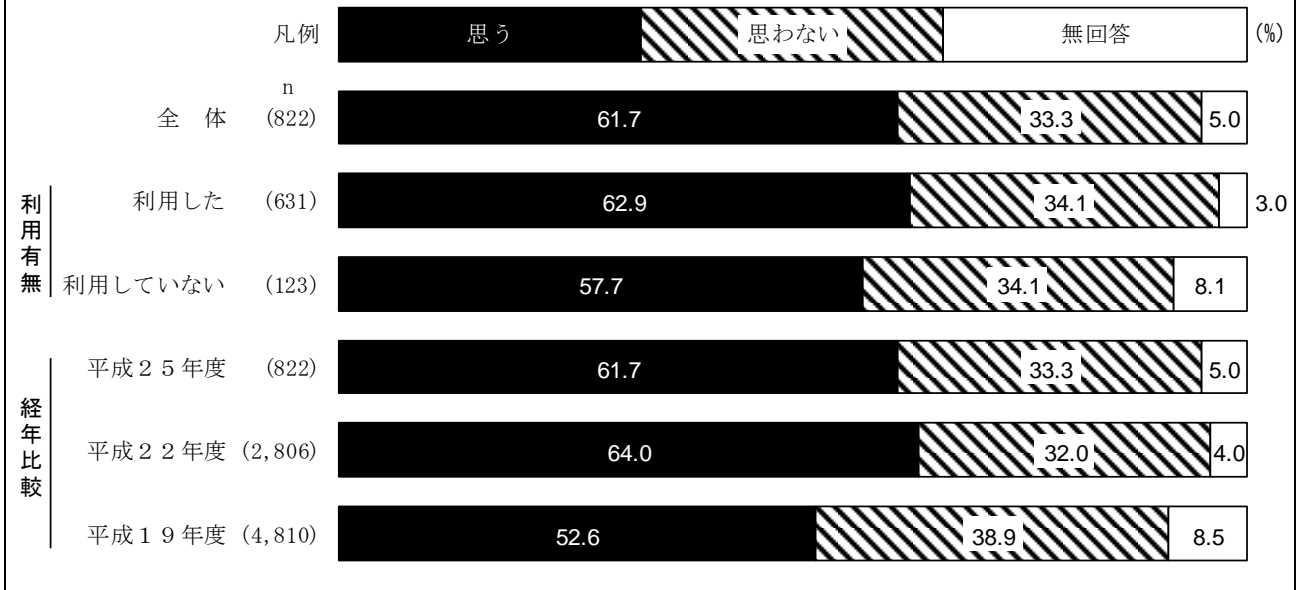


現在の住居が在宅生活に適しているかについて、「思う」が61.7%、「思わない」が33.3%となっている。

地域区分別でみると、「思う」の割合は方南・和泉地域で72.7%と他の地域に比べ最も多く、次いで荻窪地域(66.9%)、西荻地域(60.9%)の順となっている。また、最も割合の多い方南・和泉地域(72.7%)と最も少ない阿佐谷地域(53.6%)の差は19.1ポイントとなっている。

介護度別でみると、要介護1から要介護3にかけては「思う」の割合がそれぞれ63.2%、60.6%、56.6%と、ゆるやかに少なくなっているが、要介護4と要介護5においては他の介護度に比べ割合が多くなっている。(図表21-1)

図表 2 1 - 2 現在の住居が在宅生活に適しているかについて  
(介護保険サービスの利用有無別／経年比較)



介護保険サービスの利用有無別で見ると、「思う」では介護保険サービスを利用した人が62.9%と利用していない人(57.7%)よりもやや多くなっている。「思わない」は、それぞれ34.1%となっている。

経年比較で見ると、「思う」は、平成19年度は52.6%、平成22年度は64.0%、平成25年度は61.7%となっている。(図表21-2)

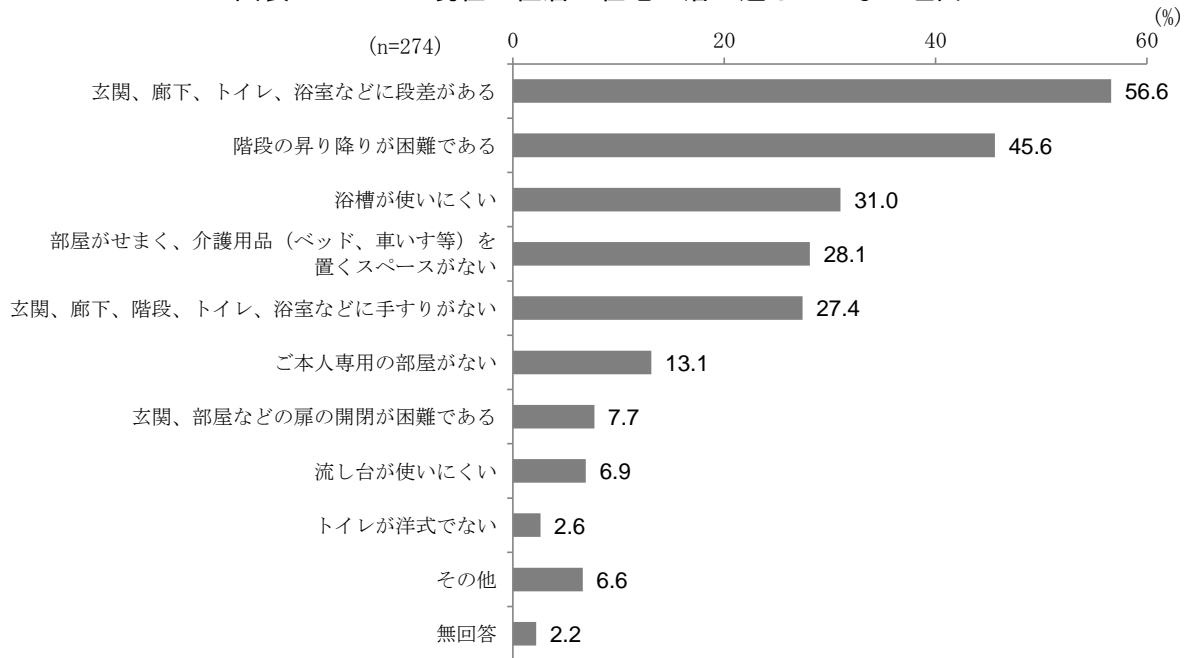
## (3) 現在の住居が在宅生活に適していない理由

問22 (問21で「2 思わない」と答えた方におたずねします。)

在宅生活に適していると思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」が56.6%、「階段の昇り降りが困難である」が45.6%、「浴槽が使いにくい」が31.0%。

図表22-1 現在の住居が在宅生活に適していない理由



現在の住居が在宅生活に適していない理由は、「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」が56.6%と最も多く、次いで「階段の昇り降りが困難である」(45.6%)、「浴槽が使いにくい」(31.0%)、「部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない」(28.1%)、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」(27.4%)と続いている。(図表22-1)

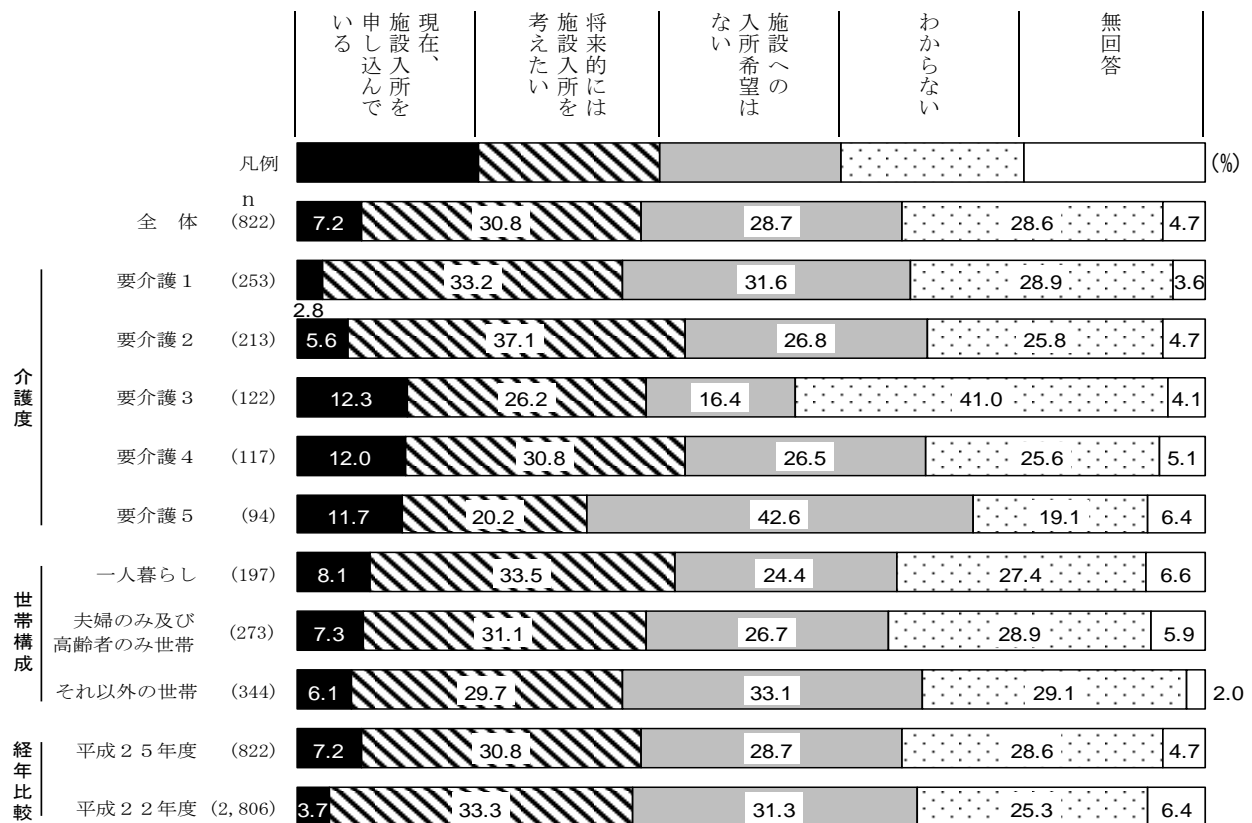
## 6. 施設入所について

### (1) 施設入所の希望

問 2 3 介護保険施設や有料老人ホーム等に入所（居）希望がありますか。（1つに○）

「将来的には施設入所を考えたい」が30.8%、「施設への入所希望はない」が28.7%。

図表 2 3 - 1 施設入所の希望（介護度別／世帯構成別／経年比較）



施設入所の希望について、「将来的には施設入所を考えたい」が30.8%と最も多く、次いで「施設への入所希望はない」(28.7%)、「わからない」(28.6%)の順となっている。

介護度別でみると、「現在、施設入所を申し込んでいる」は要介護3～5で1割以上となっており、要介護1・2に比べ多くなっている。また、「施設への入所希望はない」は要介護5が42.6%、「わからない」は要介護3が41.0%と他の介護度に比べ最も多くなっている。

世帯構成別でみると、「現在、施設入所を申し込んでいる」「将来的には施設入所を考えたい」は一人暮らしが最も多くなっており、「施設への入所希望はない」「わからない」はそれ以外の世帯で最も多くなっている。

経年比較でみると、「将来的には施設入所を考えたい」「施設への入所希望はない」は平成22年度よりも平成25年度のほうが少なくなっている。一方、「わからない」について、平成25年度のほうが多くなっている。(図表23-1)

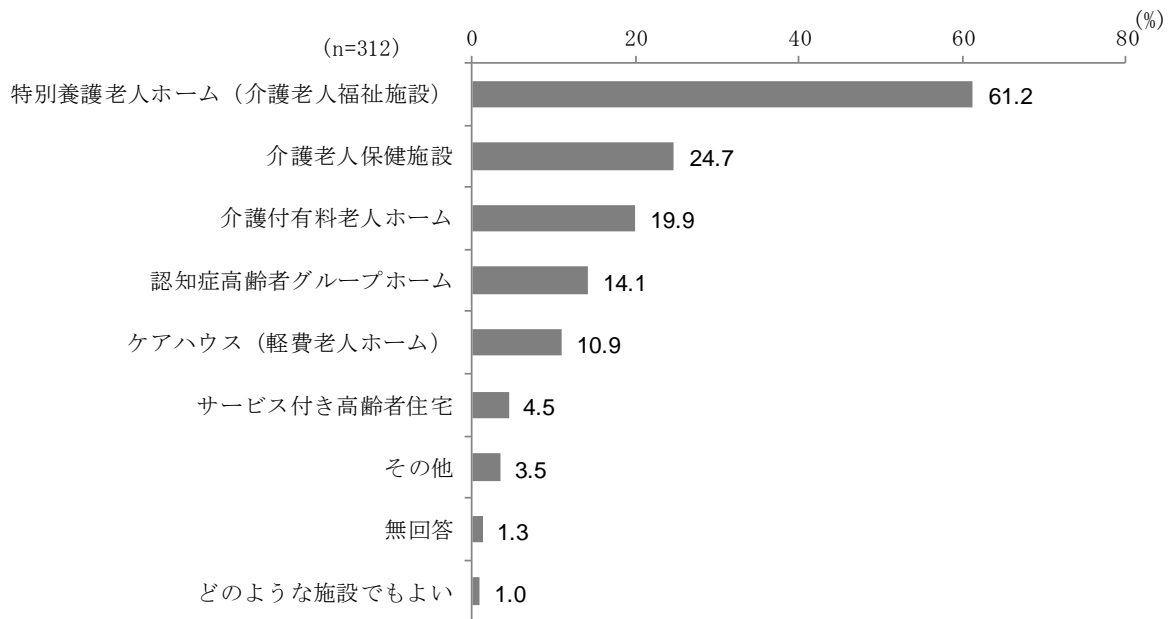
## (2) 入所を希望する施設

問24 (問23で「1」または「2」と答えた方におたずねします。)

入所(居)を希望されている施設はどのような施設ですか。(希望するもの2つまで○)

「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)」が61.2%、「介護老人保健施設」が24.7%、「介護付有料老人ホーム」が19.9%。

図表24-1 入所を希望する施設



入所を希望する施設について、「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)」が61.2%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」(24.7%)、「介護付有料老人ホーム」(19.9%)、「認知症高齢者グループホーム」(14.1%)、「ケアハウス(軽費老人ホーム)」(10.9%)の順となっている。(図表24-1)

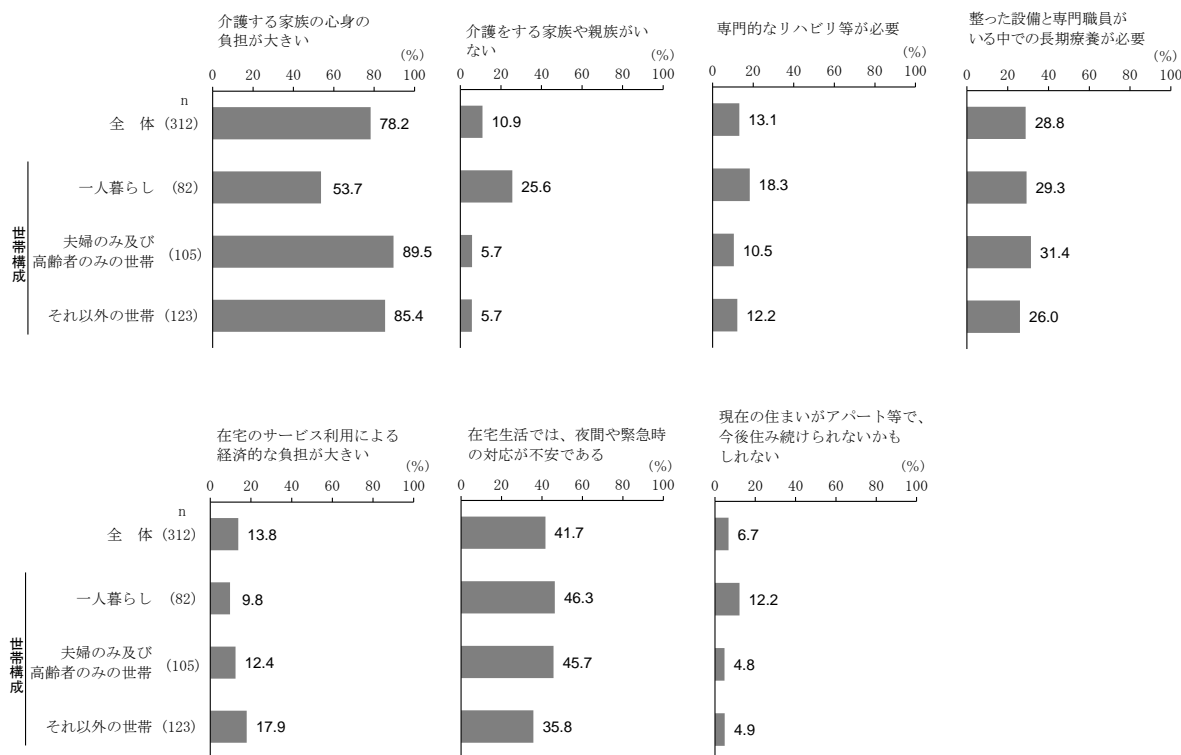
### (3) 入所を希望する理由

問25 (問23で「1」または「2」と答えた方におたずねします。)

現在、または将来において施設に入所したいとお考えの理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護する家族の心身の負担が大きい」が78.2%、「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」が41.7%。

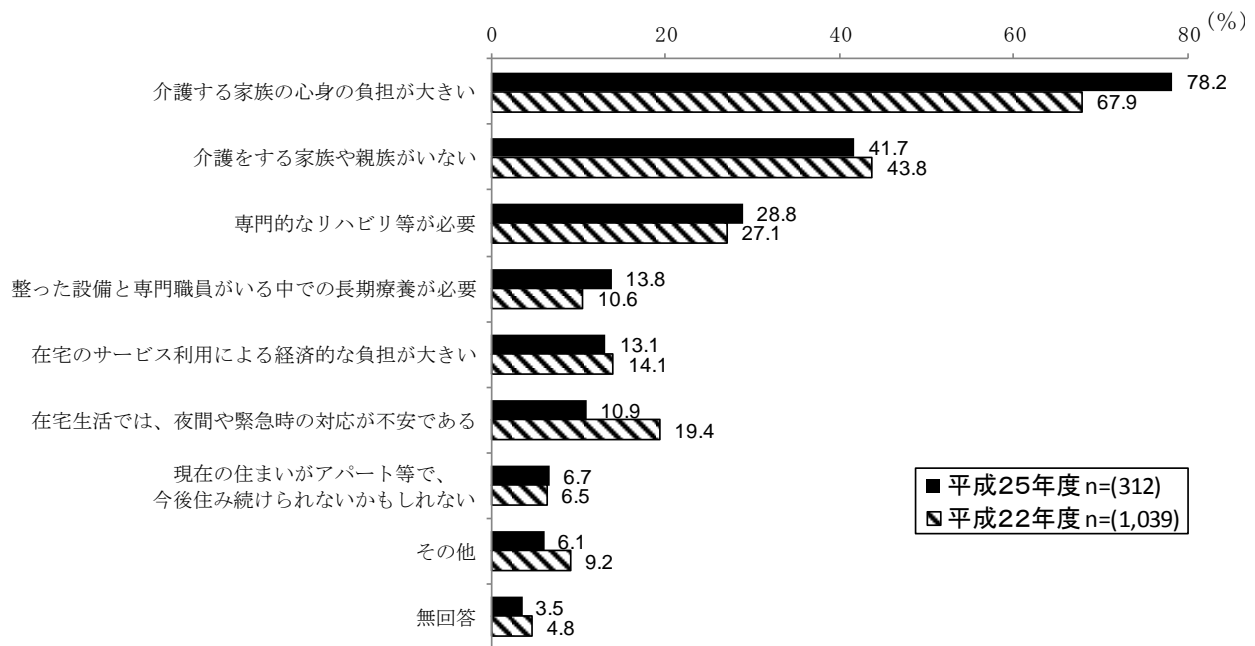
図表25-1 入所を希望する理由(世帯構成別)



入所を希望する理由は、「介護する家族の心身の負担が大きい」が78.2%と最も多く、「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」(41.7%)、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」(28.8%)の順となっている。

世帯構成別でみると、「介護する家族の心身の負担が大きい」では、夫婦のみ及び高齢者のみの世帯の89.5%、それ以外の世帯の85.4%と比べ、一人暮らしは53.7%と少なくなっている。一方、「介護をする家族や親族がない」では一人暮らしが25.6%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図表25-1)

図表 25-2 入所を希望する理由（経年比較）



経年比較でみると、「介護する家族の心身の負担が大きい」（78.2%）、「専門的なりハビリ等が必要」（28.8%）、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」（13.8%）は、過年度に比べ多くなっている。「介護をする家族や親族がいない」（41.7%）、「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」（10.9%）、「在宅のサービス利用による経済的な負担が大きい」（13.1%）は、過年度に比べ少なくなっている。（図表 25-2）

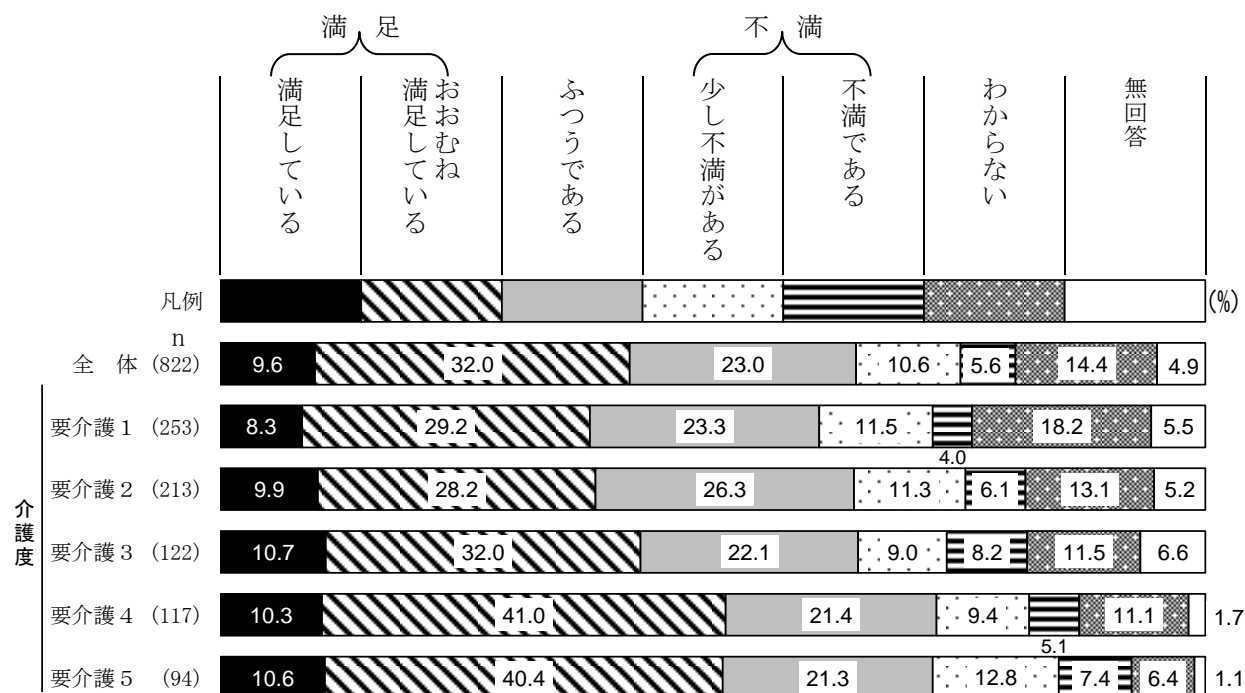
## 7. 介護保険制度について

### (1) 介護保険サービスの満足度

問 2 6 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(1つに○)

『満足』(「満足している」+「おおむね満足している」)は41.6%。『不満』(「少し不満である」+「不満である」)は16.2%。

図表 2 6 - 1 介護保険サービスの満足度 (介護度別)

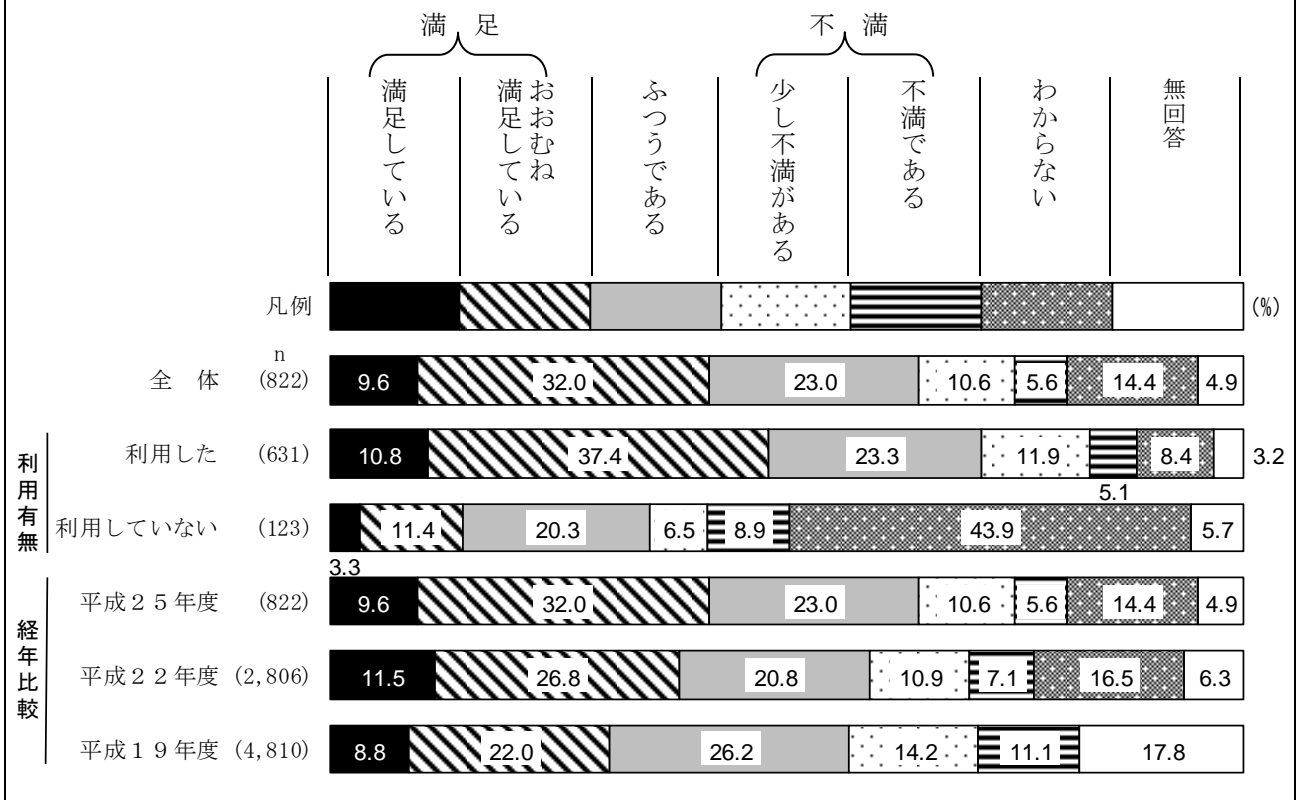


介護保険サービスの満足度について、『満足』(「満足している」+「おおむね満足している」)の41.6%が、『不満』(「少し不満である」+「不満である」)の16.2%を大きく上回っている。個別にみると「おおむね満足している」が32.0%と最も多く、次いで「ふつうである」(23.0%)、「わからない」(14.4%)、「少し不満がある」(10.6%)の順となっている。

介護度別でみると、介護度が上がるにつれて、『満足』がおおむね増加しており、要介護4および要介護5では51.3%、51.0%と、ともに50%以上となっている。(図表26-1)



図表 2 6 - 2 介護保険サービスの満足度（介護保険サービスの利用有無別／経年比較）



介護保険サービスの利用有無別で見ると、『満足』は利用したで48.2%、利用していないで14.7%となっている。利用したでは「おおむね満足している」が37.4%と最も多く、次いで「ふつうである」(23.3%)、「少し不満がある」(11.9%)と続くのに対して、利用していないでは「わからない」が43.9%で最も多く、次いで「ふつうである」(20.3%)、「おおむね満足している」(11.4%)と続いている。

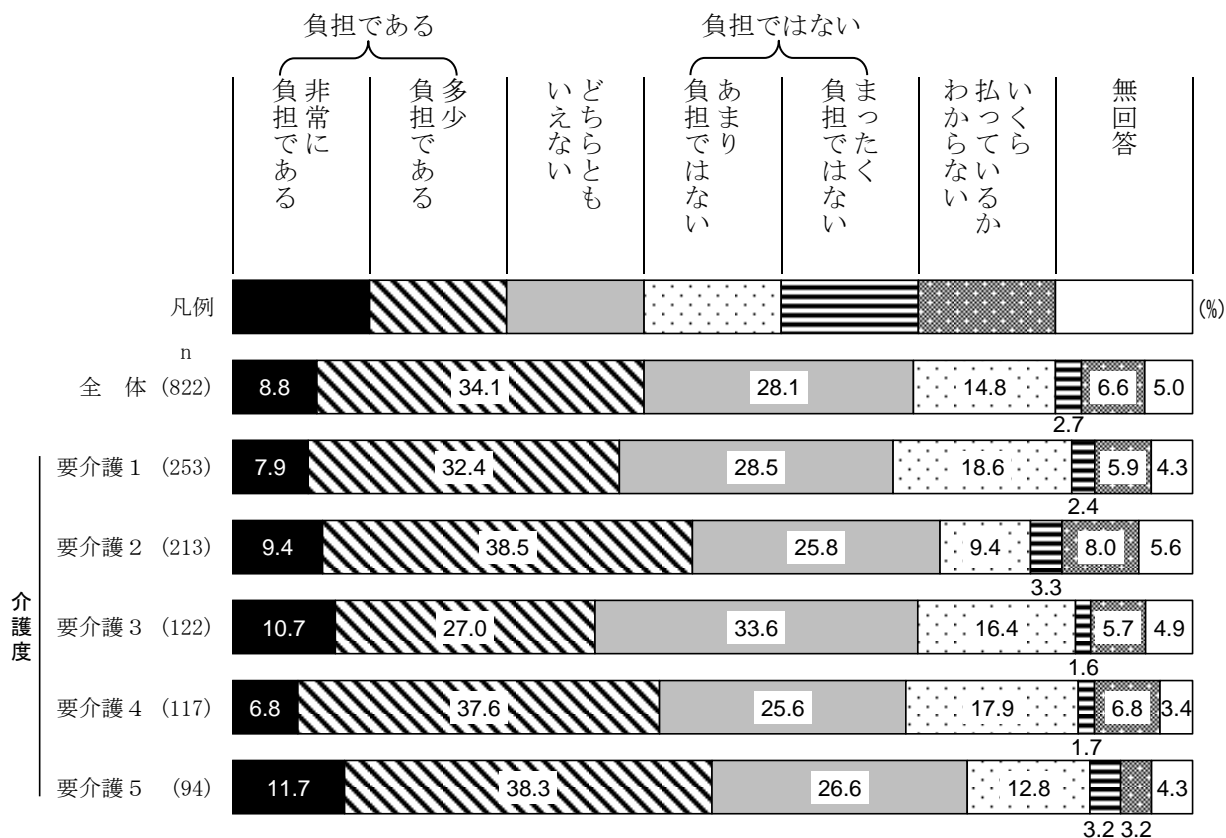
経年比較で見ると、『満足』は、平成19年度は30.8%、平成25年度は41.6%と、年度とともに多くなっており、『不満』は、平成19年度は35.3%、平成25年度は16.2%と、年度とともに少なくなっている。(図26-2)

## (2) 介護保険料の負担感

問27 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(1つに○)

「多少負担である」が34.1%、「どちらともいえない」が28.1%、「あまり負担ではない」が14.8%。

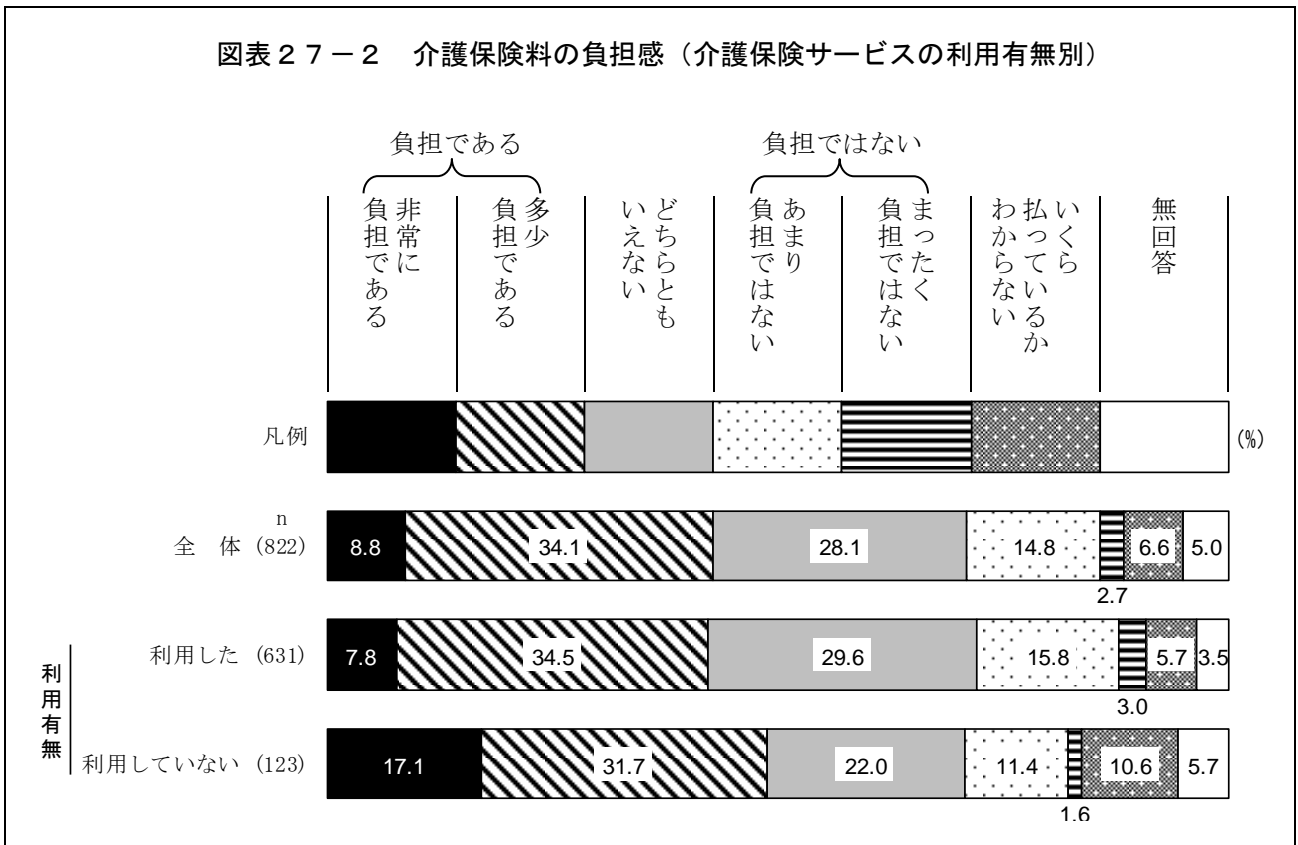
図表27-1 介護保険料の負担感(介護度別)



介護保険料の負担感について、『負担である』(「非常に負担である」+「多少不安である」)が42.9%となっており、『負担ではない』(「あまり負担ではない」+「まったく負担ではない」)の17.5%を上回っている。個別にみると「多少負担である」が34.1%と最も多く、「どちらともいえない」(28.1%)、「あまり負担ではない」(14.8%)、「非常に負担である」(8.8%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護2と要介護5は、他の介護度と比べ『負担である』が多くなっている。また、要介護3を除くその他の介護度では「多少負担である」がそれぞれ3割以上と最も多くなっている。(図27-1)

図表 27-2 介護保険料の負担感（介護保険サービスの利用有無別）



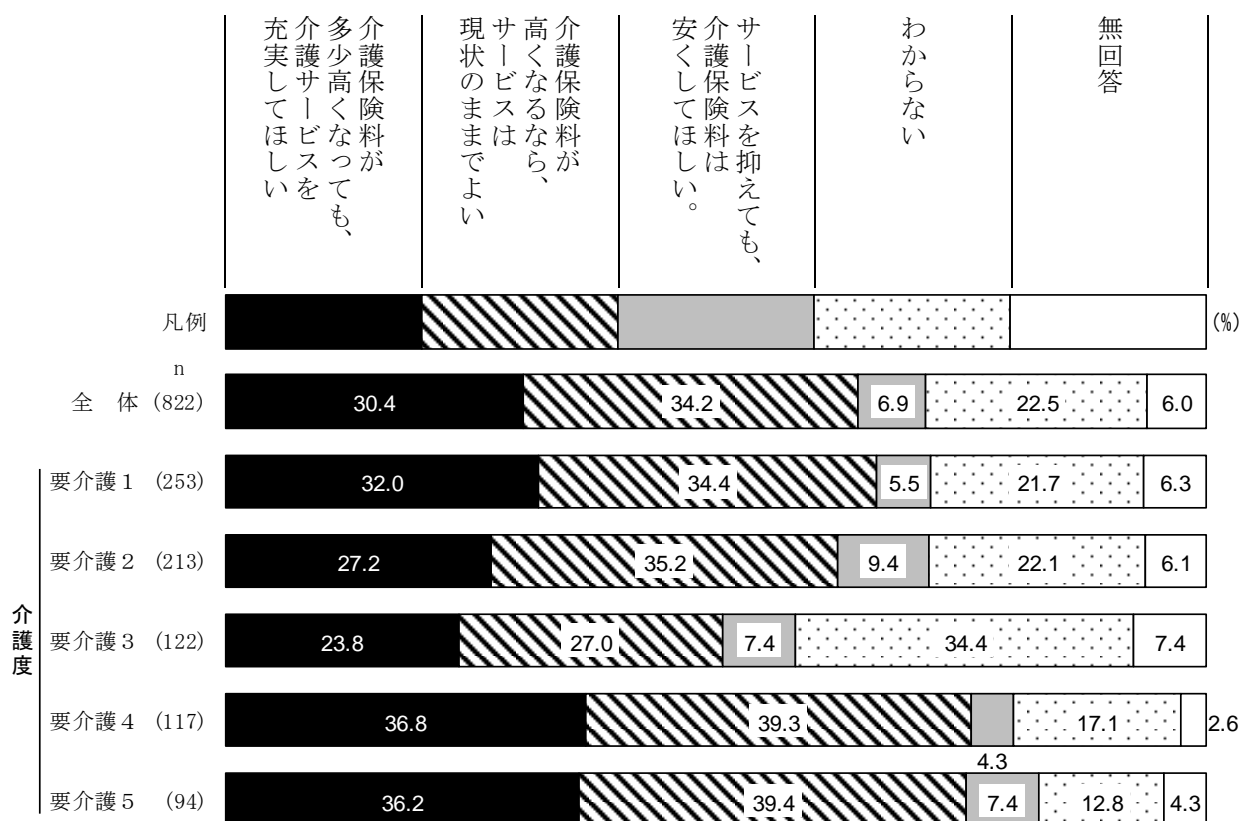
介護保険サービスの利用有無別でみると、「多少負担である」と「どちらともいえない」は、利用した人のほうが、回答が多い。「非常に負担である」は利用していないが17.1%と、利用した（7.8%）を上回っている。また、『負担である』（「非常に負担である」＋「多少負担である」）の割合は、利用したが42.3%に対して、利用していないが48.8%となっている。さらに、『負担ではない』（「あまり負担ではない」＋「まったく負担ではない」）の割合は、利用したが18.8%に対して、利用していないが13.0%となっている。サービスの利用がない人ほど、負担感を強く感じている傾向がある。（図27-2）

### (3) 介護保険料とサービスのあり方について

問28 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(1つに○)

「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が34.2%、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が30.4%。

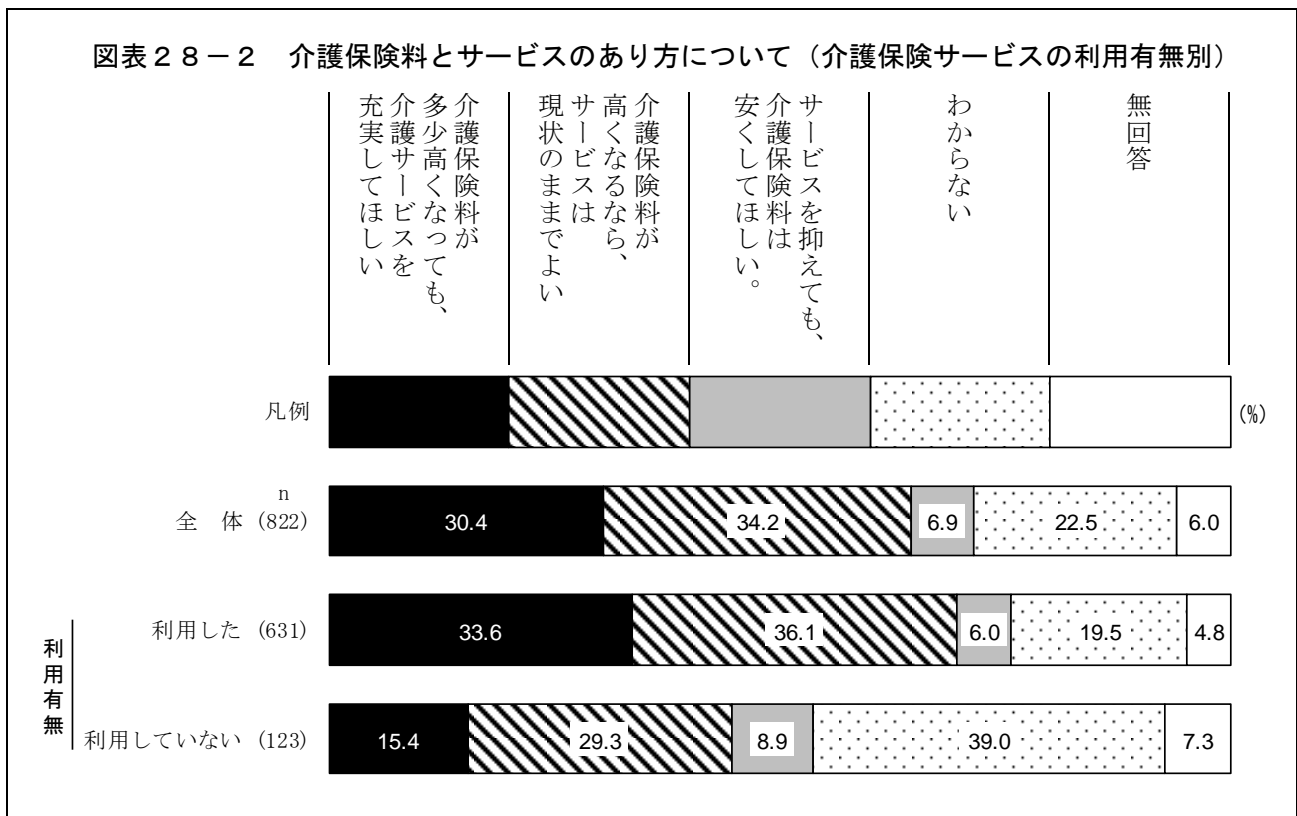
図表28-1 介護保険料とサービスのあり方について（介護度別）



介護保険料とサービスのあり方について、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が34.2%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」(30.4%)、「わからない」(22.5%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護1から要介護3にかけては、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」は介護度が高くなるにつれおおむね少なくなっている。要介護4と要介護5では、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」がそれぞれ他の介護度に比べ多くなっている。(図表28-1)

図表 28-2 介護保険料とサービスのあり方について（介護保険サービスの利用有無別）



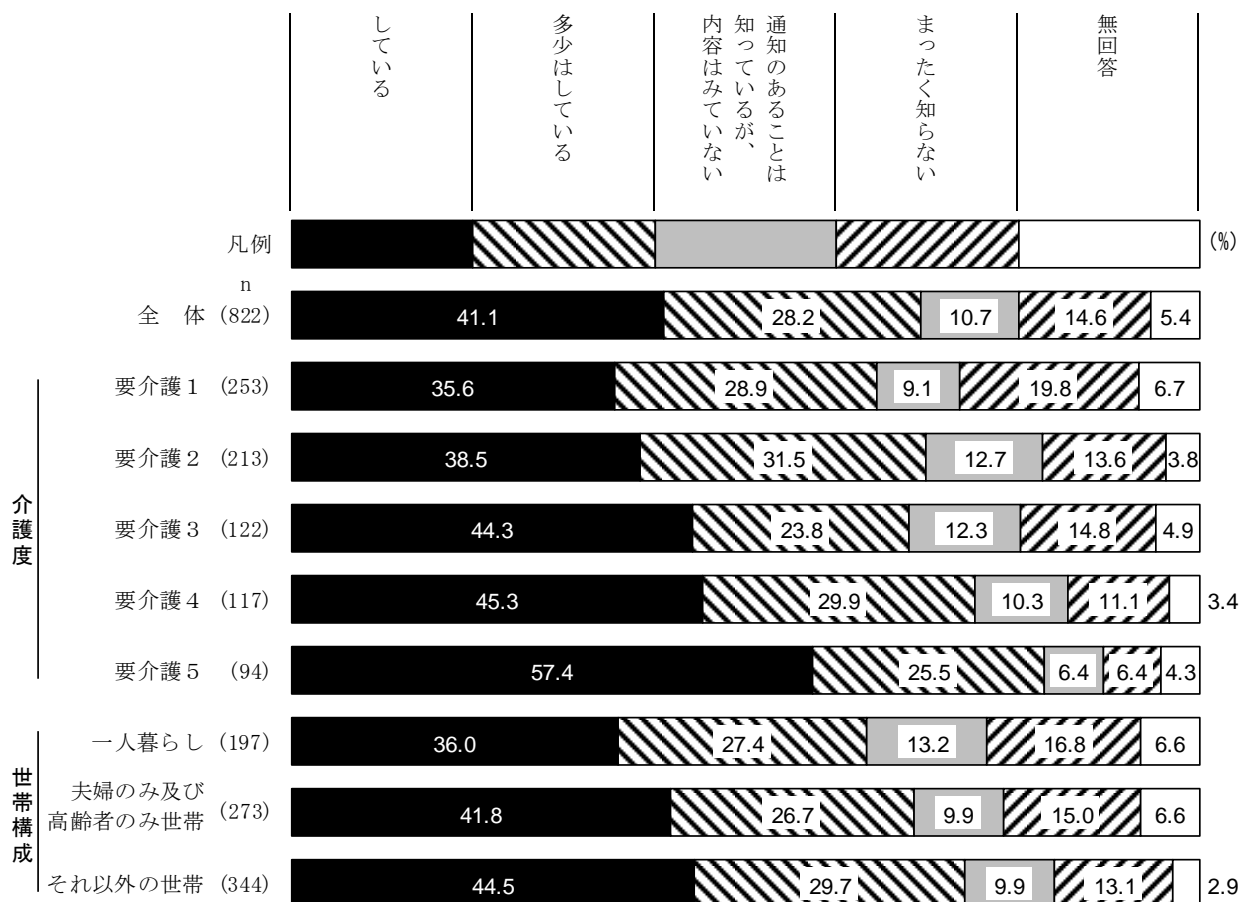
介護保険サービス利用別でみると、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が、利用したでは33.6%、利用していないでは15.4%と差がみられる。「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」では、利用したでは36.1%であるのに対し、利用していないでは29.3%と少なくなっている。(図表28-2)

### (4) 介護保険サービス利用費お知らせの確認について

問29 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせしていますが、内容を確認していますか。(1つに○)

「している」が41.1%、「多少はしている」が28.2%、「まったく知らない」が14.6%。

図表29-1 介護保険サービス利用費お知らせの確認有無(介護度別/世帯構成別)



介護保険サービス利用費お知らせの確認有無について、「している」が41.1%と最も多く、次いで「多少はしている」(28.2%)、「まったく知らない」(14.6%)、「通知のあることは知っているが、内容はみていない」(10.7%)の順となっている。

介護度別で見ると、介護度が高くなるにつれて、「している」の割合が多くなる傾向がみられ、要介護5では57.4%と半数以上になっている。また、「通知のあることは知っているが、内容はみていない」「まったく知らない」は、介護度が高くなるにつれておおむね減少している。

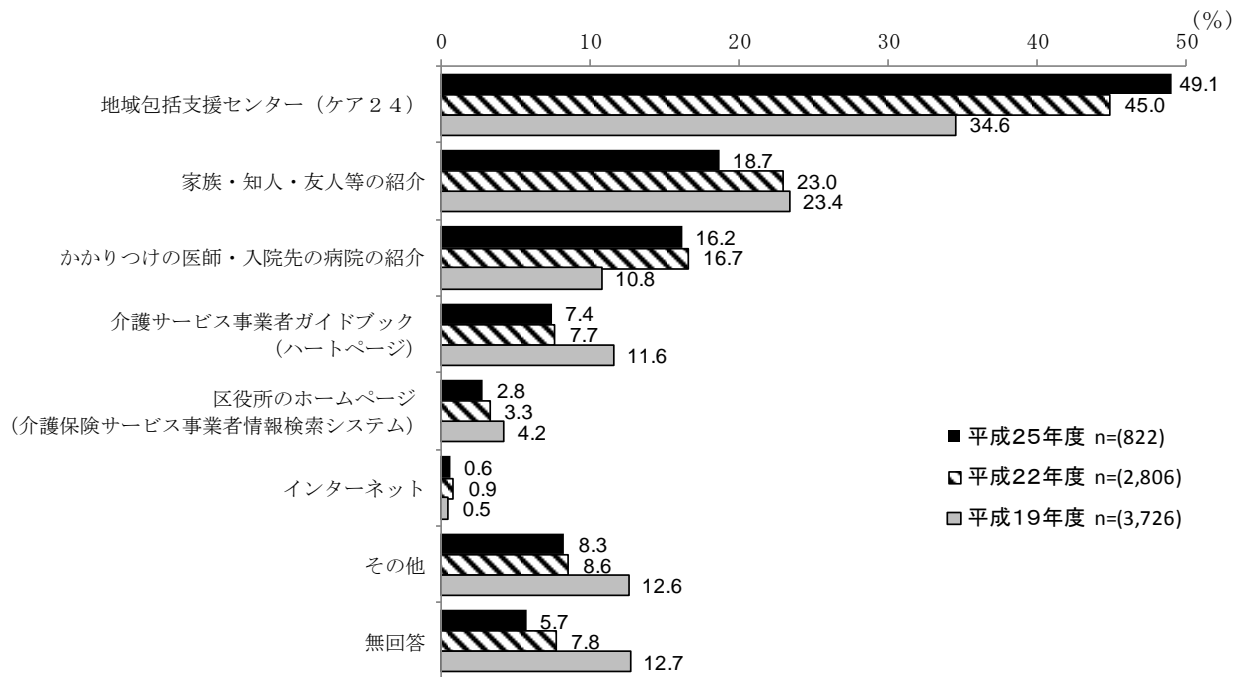
世帯構成別で見ると、「している」は、それ以外の世帯では44.5%と最も多く、一人暮らしでは36.0%と最も少なくなっている。一方、「まったく知らない」は、それ以外の世帯で13.1%と最も少なく、一人暮らしでは16.8%と最も多くなっている。(図表29-1)

## (5) ケアマネジャーの事業所を知った経緯

問30 ケアマネジャーと契約をするとき、その事業所を何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

「地域包括支援センター（ケア24）」が49.1%、「家族・知人・友人等の紹介」が18.7%、「かかりつけの医師・入院先の病院の紹介」が16.2%。

図表30-1 ケアマネジャーの事業所を知った経緯



ケアマネジャーの事業所を知った経緯について、「地域包括支援センター（ケア24）」が49.1%と最も多く、次いで「家族・知人・友人等の紹介」（18.7%）、「かかりつけの医師・入院先の病院の紹介」（16.2%）の順となっている。また、「区役所のホームページ（介護保険サービス事業者情報検索システム）」が2.8%、「インターネット」が0.6%と、インターネットを利用した情報入手は他の項目に比べ割合が少なくなっている。

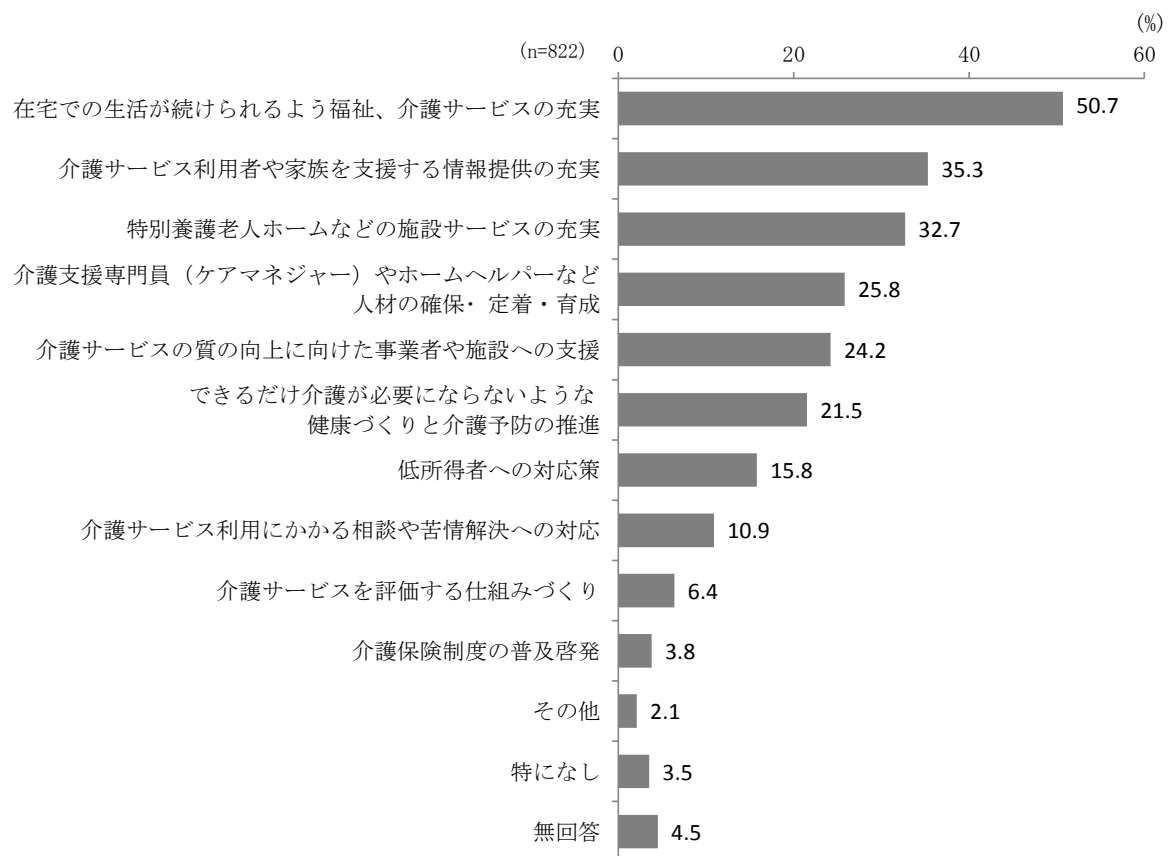
経年比較でみると、「地域包括支援センター（ケア24）」は、平成19年度は34.6%、平成22年度は45.0%、平成25年度は49.1%と、年度とともに多くなっている。「家族・知人・友人等の紹介」は18.7%と、過年度（平成19年度23.4%、平成22年度23.0%）に比べ少なくなっている。「区役所のホームページ（介護保険サービス事業者情報検索システム）」は、平成19年度が4.2%、平成22年度が3.3%、平成25年度が2.8%と、年度とともに少なくなっている。（図表30-1）

## (6) 今後、区が力を入れていくべきと思う施策

問3 1 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

「在宅での生活が続けられるよう福祉、介護サービスの充実」が50.7%、「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」が35.3%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が32.7%。

図表3 1-1 今後、区が力を入れていくべきと思う施策



今後、区が力を入れていくべきと思う施策について、「在宅での生活が続けられるよう福祉、介護サービスの充実」が50.7%と最も多く、次いで「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」(35.3%)、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」(32.7%)、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成」(25.8%)、「介護サービスの質の向上に向けた事業者や施設への支援」(24.2%)の順となっている。(図表3 1-1)



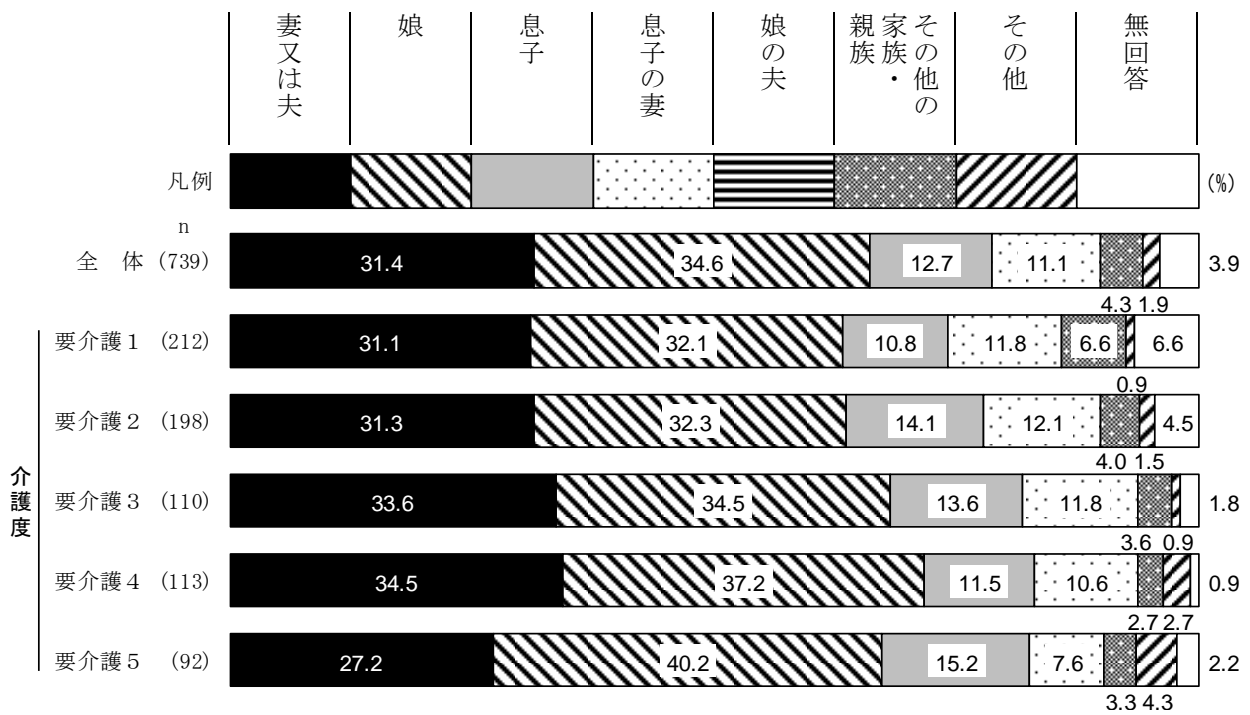
## 8. 介助・介護者への設問

### (1) 主な介護者

問32 ふだん主に介護やお世話をしているのはどなたですか。(1つに○)  
 介護保険の認定を受けているご本人からみた続柄でご回答ください。

「娘」が34.6%、「妻又は夫」が31.4%、「息子」が12.7%。

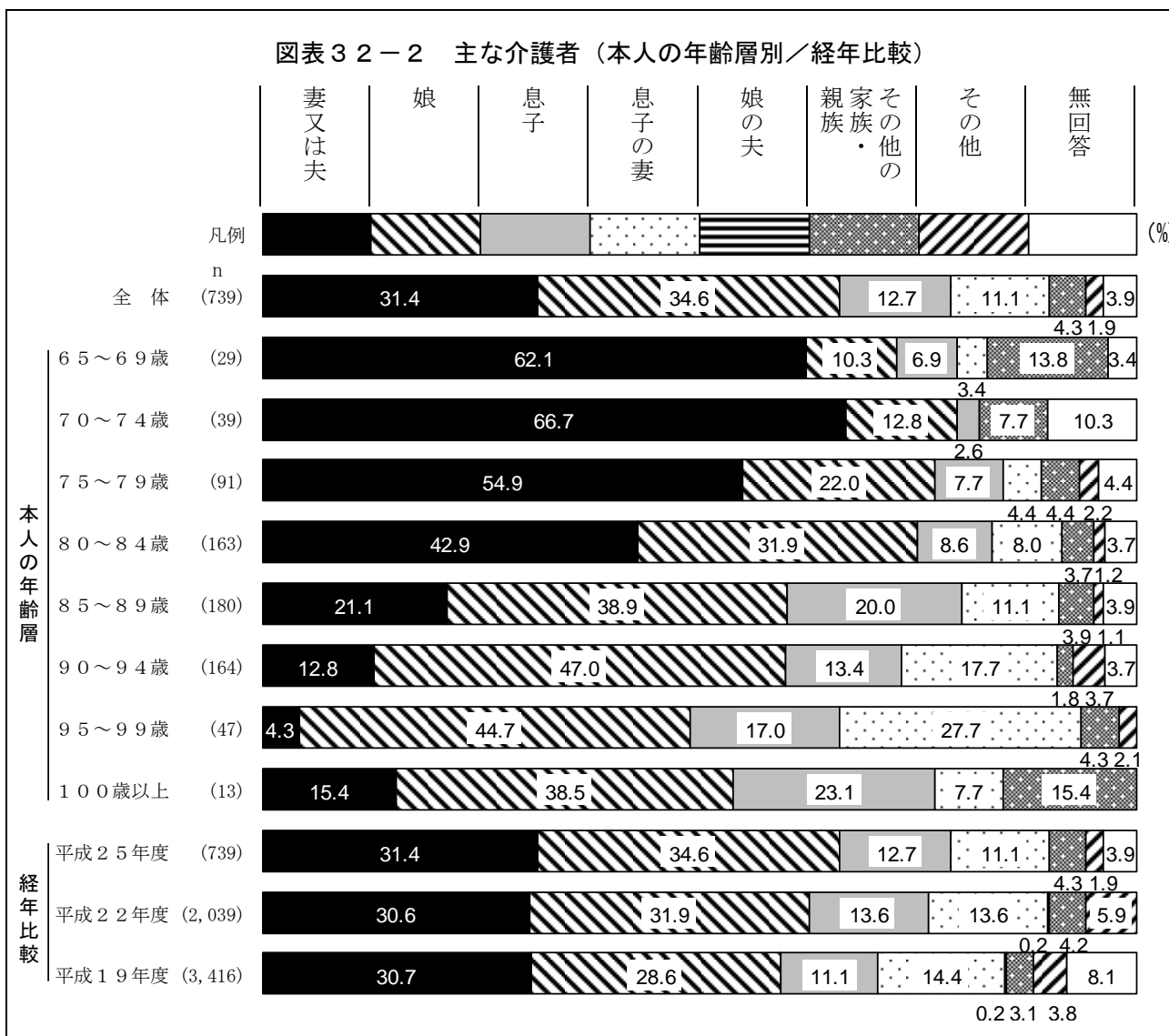
図表32-1 主な介護者（介護度別）



主な介護者は、「娘」が34.6%と最も多く、次いで「妻又は夫」(31.4%)、「息子」(12.7%)、「息子の妻」(11.1%)の順となっている。

介護度別で見ると、「娘」は介護度が高くなるにつれて割合が多くなっている。「妻又は夫」は要介護1～要介護4では3割以上であるのに対し、要介護5では27.2%と少なくなっている。(図表32-1)

図表32-2 主な介護者（本人の年齢層別／経年比較）



本人の年齢層別で見ると、「妻又は夫」は65～69歳が62.1%、95～99歳が4.3%とおおむね年齢が高くなるにつれ少なくなっている。一方、「娘」はおおむね年齢層が高くなるにつれ割合が多くなり、70～74歳が12.8%であるのに対し、90～94歳は47.0%とおおよそ半数となっている。また、「息子の妻」も年齢層が高くなるにつれ多くなる傾向がみられ、95～99歳では27.7%と各年齢層と比べ最も多くなっている。

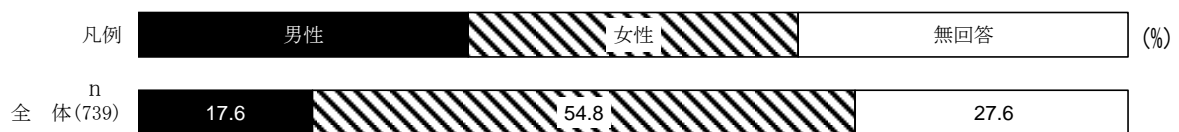
経年比較で見ると、「娘」は、平成19年度は28.6%、平成22年度は31.9%、平成25年度は34.6%と、年度とともに多くなっている。「妻又は夫」は、平成19年度は30.7%、平成22年度は30.6%、平成25年度は31.4%と、いずれの年度においても約3割を占めている。「息子の妻」は、平成19年度は14.4%、平成22年度は13.6%、平成25年度は11.1%と、年度とともに少なくなっている。(図表32-2)

## (2) 主な介護者の性別

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (1) 性別

「女性」が54.8%、「男性」が17.6%。

図表33-1 主な介護者の属性（性別）



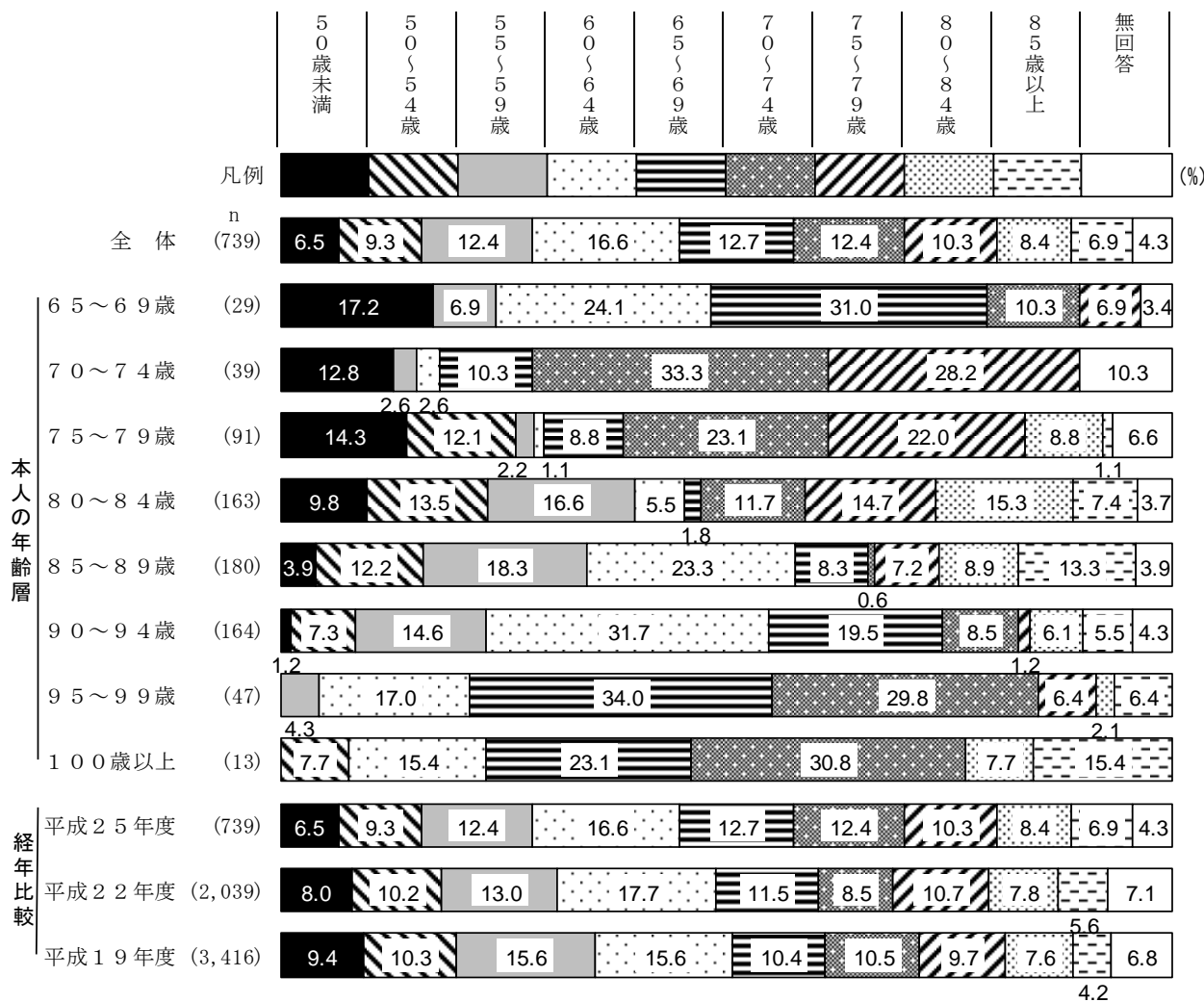
主な介護者の性別は、「女性」が54.8%、「男性」が17.6%と、半数以上を「女性」が占めている。（図表33-1）

### (3) 主な介護者の年齢

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (2) 年齢

「60～64歳」が16.6%、「65～69歳」が12.7%、「55～59歳」「70～74歳」がそれぞれ12.4%。

図表33-2 主な介護者の年齢（本人の年齢層別／経年比較）



主な介護者の年齢は、「60～64歳」が16.6%と最も多く、次いで「65～69歳」（12.7%）、「55～59歳」「70～74歳」（各12.4%）、「75～79歳」（10.3%）の順となっている。

本人の年齢層別で見ると、70～74歳の人に対する介護者の年齢は、「70～79歳」が多くなっている。一方で、95～99歳の人に対する介護者の年齢は、「65～74歳」が多くなっている。

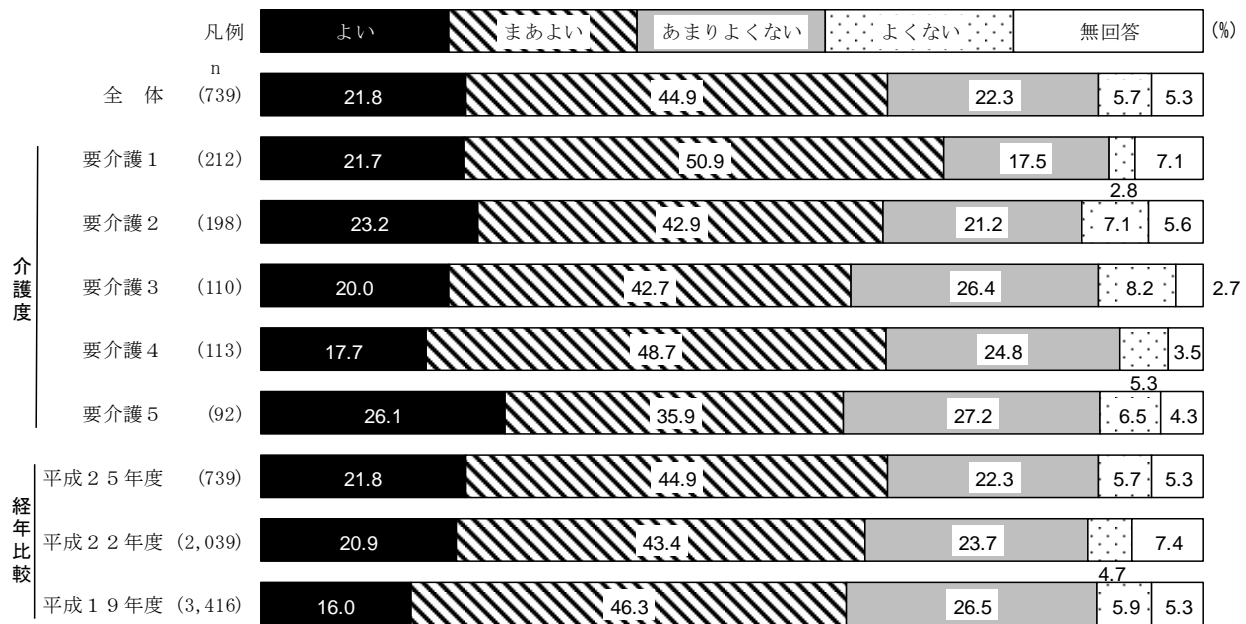
経年比較で見ると、「50歳未満」「50～54歳」「55～59歳」においては年度とともにやや少なくなっており、「65～69歳」より上の年齢層においては、やや多くなっている。（図表33-2）

### (4) 主な介護者の健康状態

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (3) 健康状態

「まあよい」が44.9%、「あまりよくない」が22.3%、「よい」が21.8%。

図表33-3 主な介護者の健康状態（介護度別／経年比較）



主な介護者の健康状態について、「まあよい」が44.9%と最も多く、次いで「あまりよくない」(22.3%)、「よい」(21.8%)の順となっている。

介護度別で見ると、「あまりよくない」では要介護3から要介護5の割合が要介護1・2に比べ多くなっている。「あまりよくない」と「よくない」の合計は、要介護3から要介護5にかけて30%を超えている。

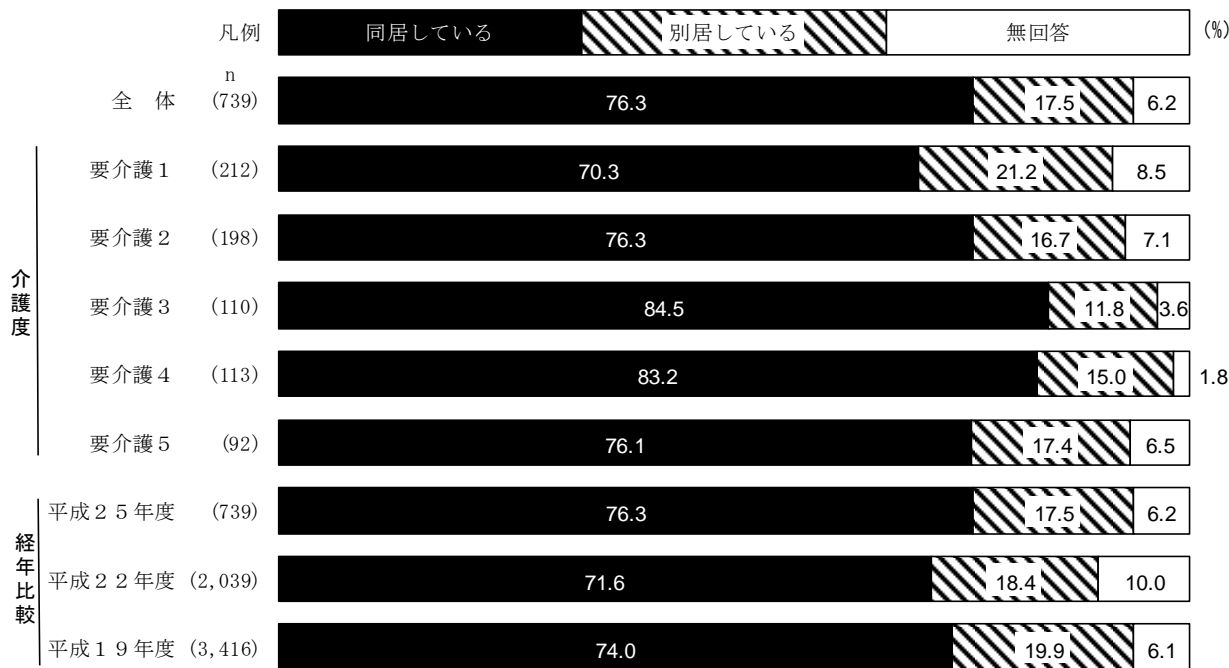
経年比較で見ると、「よい」「まあよい」を合計した割合は、平成19年度が62.3%、平成22年度が64.3%、平成25年度が66.7%と、年度とともに多くなっている。「あまりよくない」は、平成19年度が26.5%、平成22年度が23.7%、平成25年度が22.3%と、年度とともに少なくなっている。(図表33-3)

### (5) 主な介護者のご本人との同居の状況

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (4) 高齢者ご本人との同居の状況

「同居している」が76.3%、「別居している」が17.5%。

図表33-4 主な介護者のご本人との同居の状況（介護度別／経年比較）



主な介護者のご本人との同居の状況について、「同居している」が76.3%と大半を占め、「別居している」が17.5%となっている。

介護度別で見ると、要介護1の「同居している」が70.3%と、他の介護度に比べ少なくなっている。

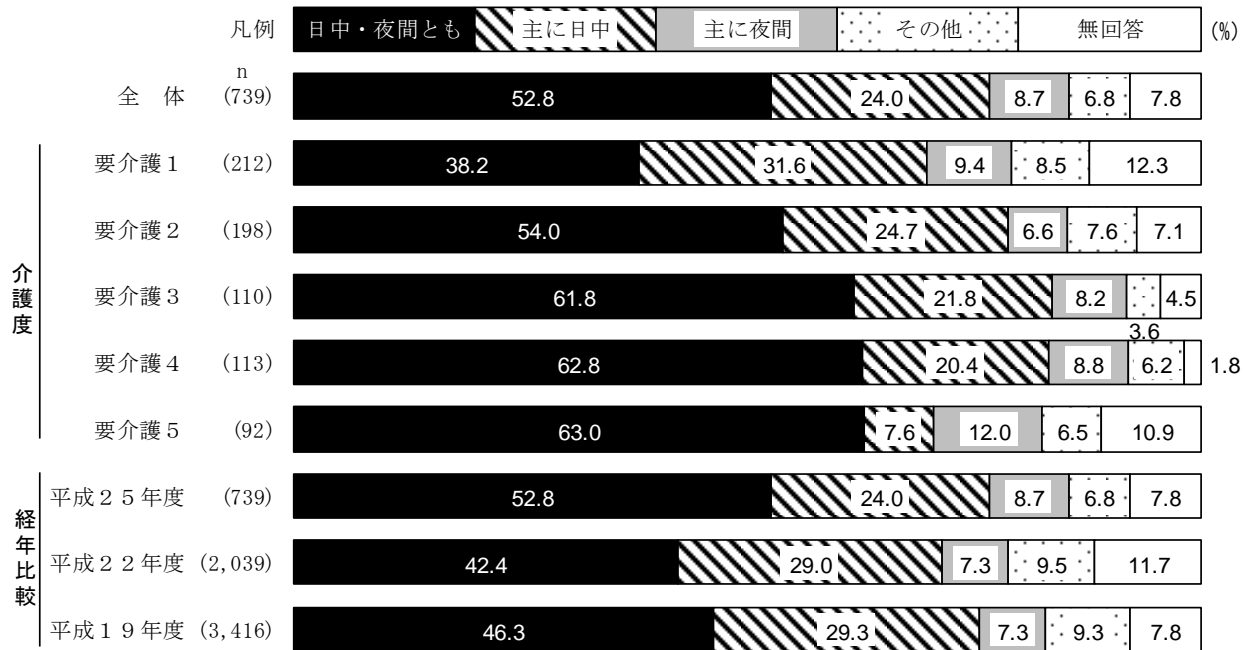
経年比較で見ると、「同居している」は76.3%と、過年度（平成19年度74.0%、平成22年度71.6%）に比べ多くなっている。「別居している」は、平成19年度は19.9%、平成22年度は18.4%、平成25年度は17.5%と、年度とともに少なくなっている。（図表33-4）

## (6) 主な介護者の介護の時間帯

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (5) 介護の時間帯

「日中・夜間とも」が52.8%、「主に日中」が24.0%、「主に夜間」が8.7%。

図表33-5 主な介護者の介護の時間帯（介護度別／経年比較）



主な介護者の介護の時間帯について、「日中・夜間とも」が52.8%と半数以上で最も多く、次いで「主に日中」(24.0%)、「主に夜間」(8.7%)の順となっている。

介護度別で見ると、「日中・夜間とも」は介護度が高くなるにつれて多くなり、「主に夜間」も介護度が高くなるにつれておおむね多くなっているが、「主に日中」は介護度が高くなるにつれて少なくなる傾向がみられる。

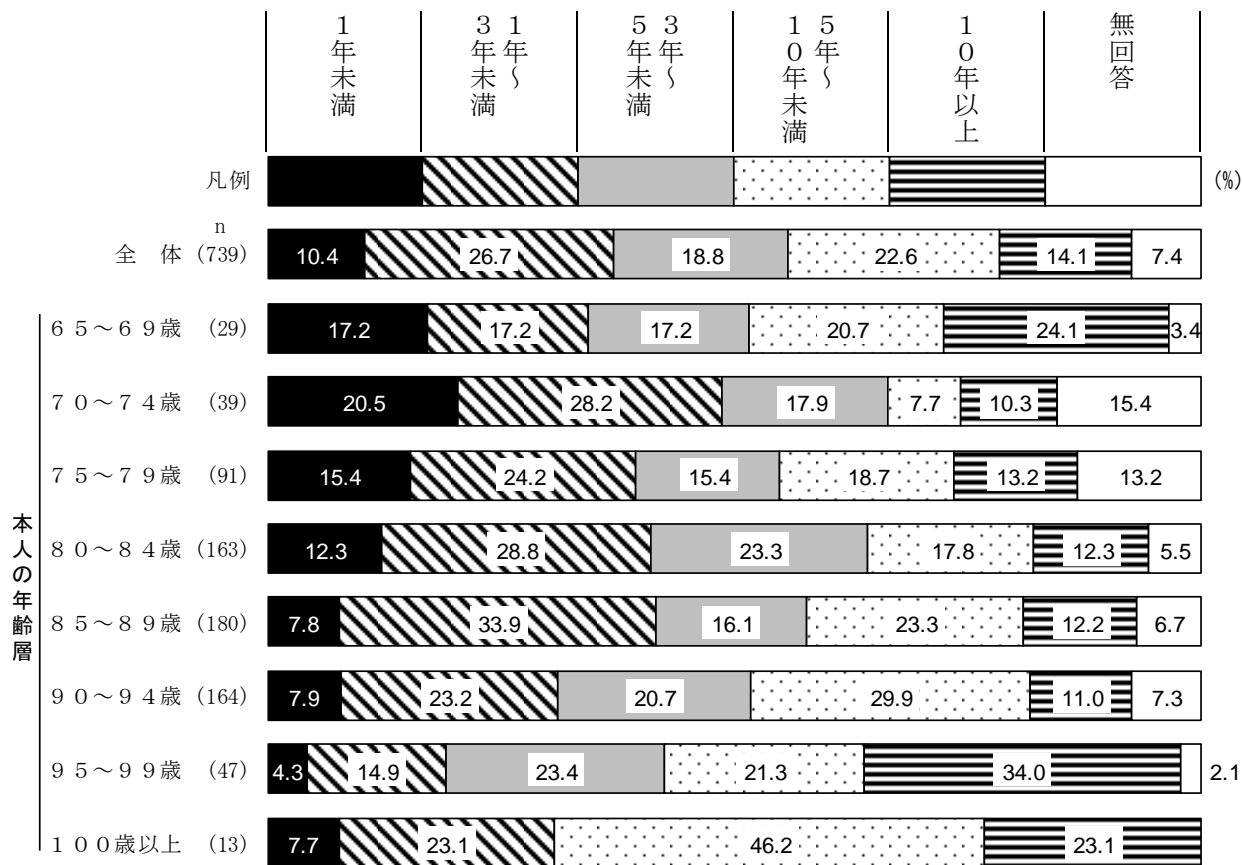
経年比較で見ると、「日中・夜間とも」は52.8%と、過年度(平成19年度46.3%、平成22年度42.4%)に比べ多くなっている。「主に日中」は、平成19年度は29.3%、平成22年度は29.0%、平成25年度は24.0%と、年度とともに少なくなっている。「主に夜間」は8.7%と、過年度(平成19年度7.3%、平成22年度7.3%)に比べ多くなっている。(図表33-5)

### (7) 主な介護者の介護年数

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。  
 (6) 介護年数

「1年～3年未満」が26.7%、「5年～10年未満」が22.6%、「3年～5年未満」が18.8%。

図表33-6 主な介護者の介護年数（本人の年齢層別）

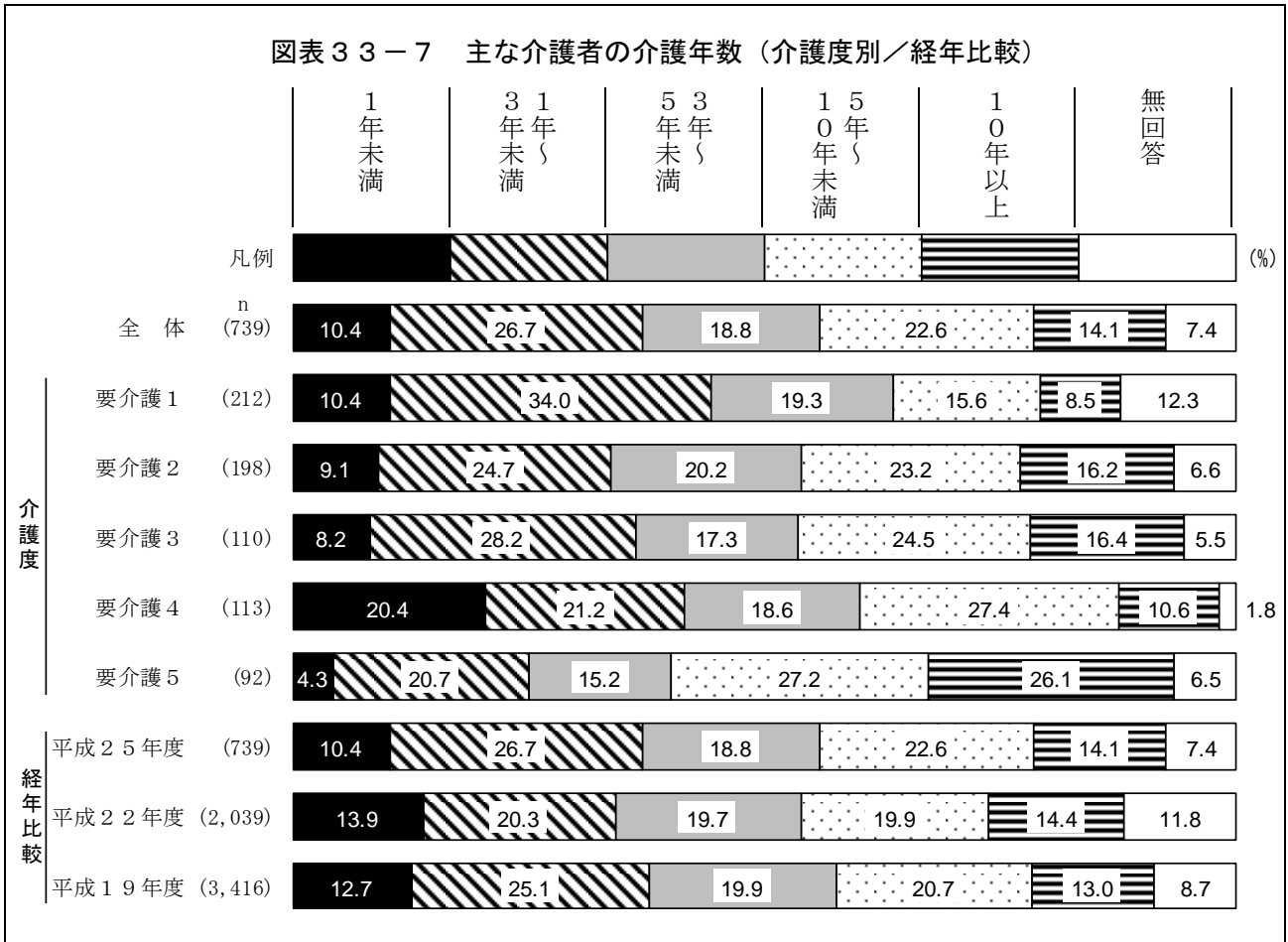


主な介護者の介護年数は、「1年～3年未満」が26.7%と最も多く、次いで「5年～10年未満」(22.6%)、「3年～5年未満」(18.8%)、「10年以上」(14.1%)の順となっている。

本人の年齢層別で見ると、70～89歳では「1年～3年未満」の割合が最も多くなっているが、90～94歳では「5年～10年未満」、95～99歳では「10年以上」が最も多くなっている。また、「1年未満」の割合は本人の年齢が高くなるにつれて、おおむね少なくなっている。(図表33-6)



図表 3 3 - 7 主な介護者の介護年数（介護度別／経年比較）



介護度別で見ると、「1年未満」は、要介護4が他の介護度と比べ多くなっている。また、「5年～10年未満」は介護度が高くなるにつれおおむね多くなっている。

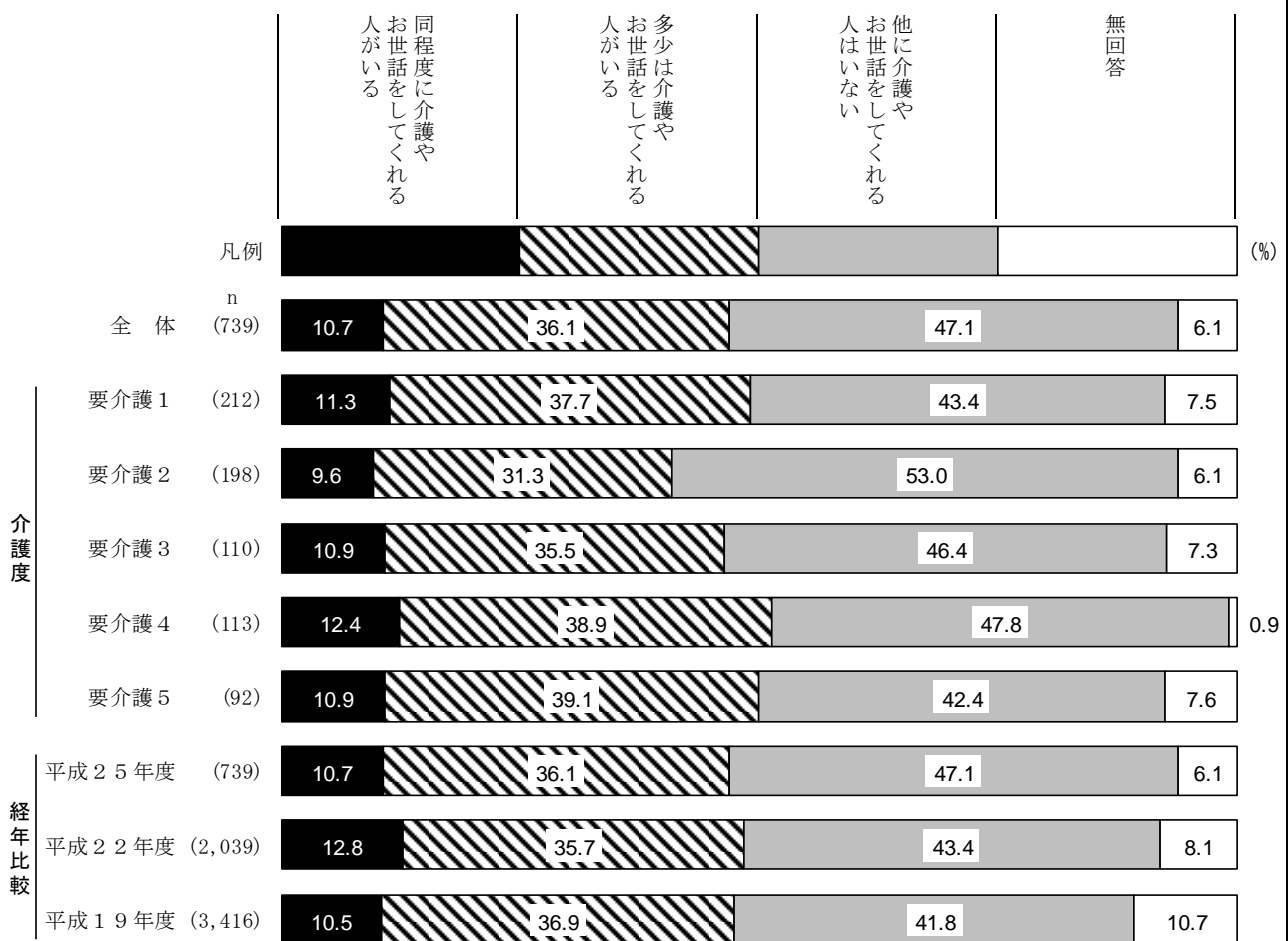
経年比較で見ると、平成25年度は、「1年～3年未満」、「5年～10年未満」、「10年以上」が過年度と比べやや多くなっている。(図表33-7)

### (8) 主な介護者以外の介護者の有無

問34 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。（1つに○）

「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」が47.1%、「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」が36.1%。

図表34-1 主な介護者以外の介護者の有無（介護度別／経年比較）



主な介護者以外の介護者の有無について、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」が47.1%と最も多く、次いで「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」(36.1%)、「同等度（同程度）に介護やお世話をしてくれる人がある」(10.7%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護5において「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」の割合が39.1%と他の介護度に比べ多くなっている。また、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」の割合は、要介護2が他の介護度に比べ多くなっている。

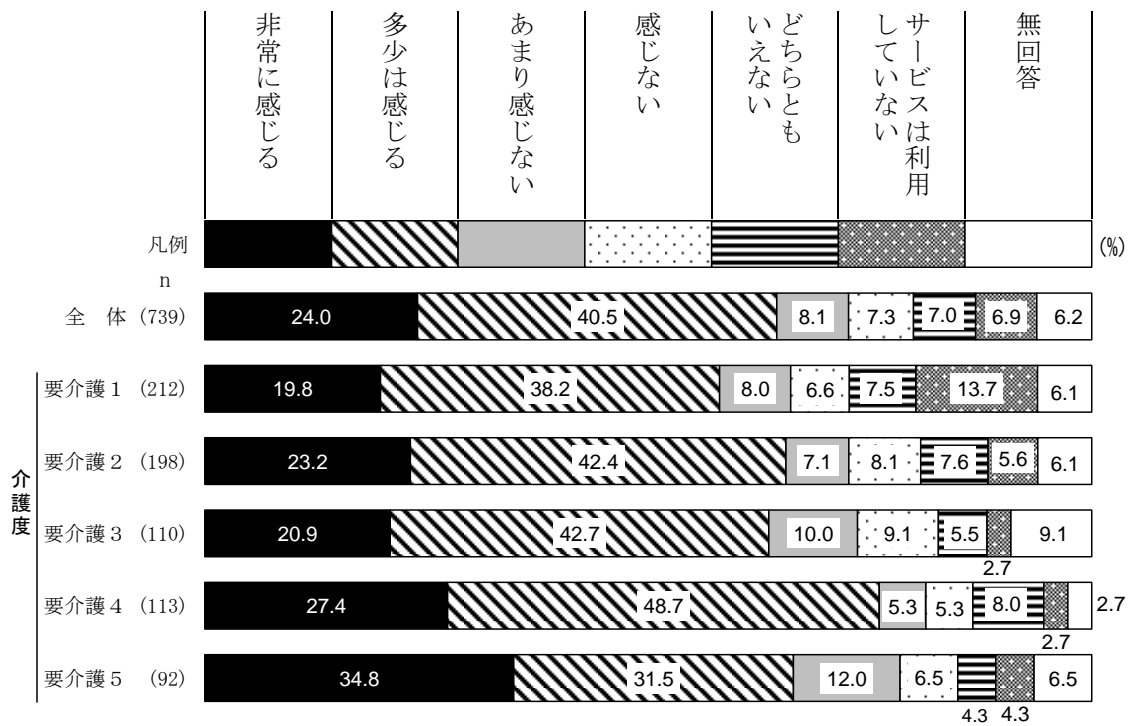
経年比較でみると、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」は、平成19年度は41.8%、平成22年度は43.4%、平成25年度は47.1%と、年度とともに多くなっている。(図表34-1)

(9) 介護保険による介護負担の軽減感

問35 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(1つに○)

「多少は感じる」が40.5%、「非常に感じる」が24.0%、「あまり感じない」が8.1%。

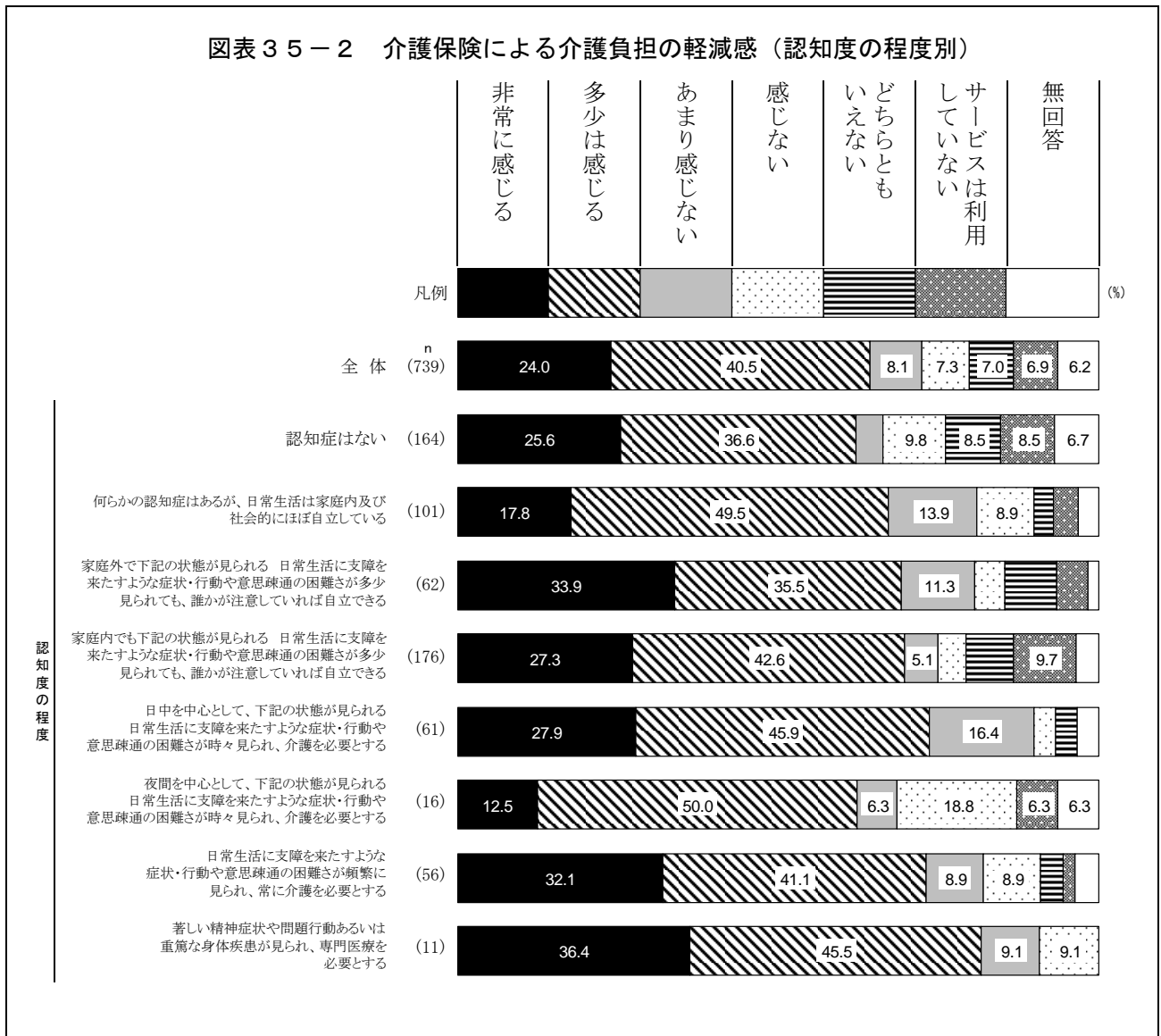
図表35-1 介護保険による介護負担の軽減感（介護度別）



介護保険による介護負担の軽減感について、「多少は感じる」が40.5%と最も多く、次いで「非常に感じる」(24.0%)、「あまり感じない」(8.1%)、「感じない」(7.3%)の順となっている。

介護度別でみると、「非常に感じる」は介護度が高くなるにつれておおむね多くなり、要介護5においては34.8%と、最も多くなっている。また、「非常に感じる」と「多少は感じる」の合計は要介護4で76.1%と、他の介護度と比べ多くなっている。(図表35-1)

図表 35-2 介護保険による介護負担の軽減感（認知度の程度別）



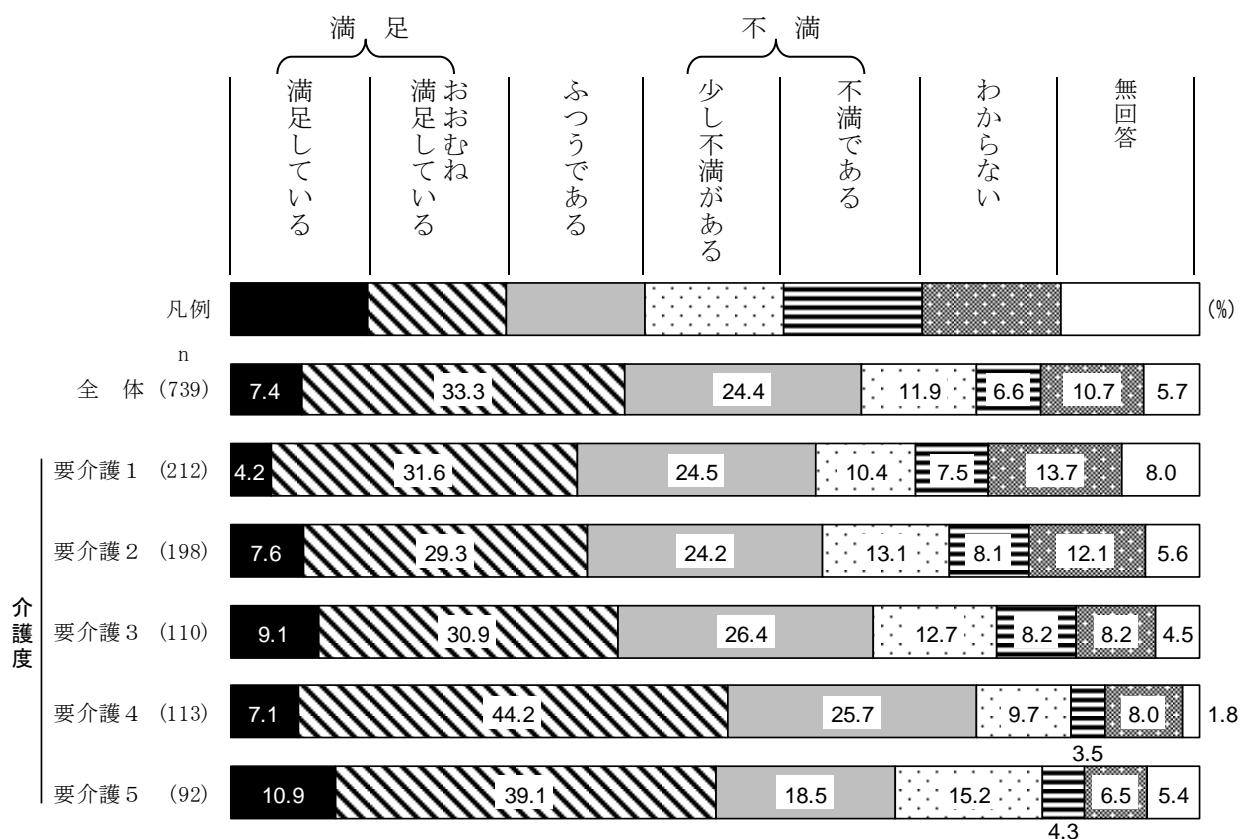
認知度の程度別でみると、「非常に感じる」は、『家庭外で日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる』や、『日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする』でいずれも約3割と、他の認知度の程度に比べ多くなっている。「非常に感じる」と「多少は感じる」の合計は、『認知症はない』をのぞいた全ての認知度の程度で、おおむね7割前後となっている。(図表 35-2)

## (10) 介護者から見た介護保険の満足度

問36 主に介護をしている方から見て、介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(1つに○)

『満足』（「満足している」＋「おおむね満足している」）は40.7%。『不満』（「少し不満がある」＋「不満である」）は18.5%。

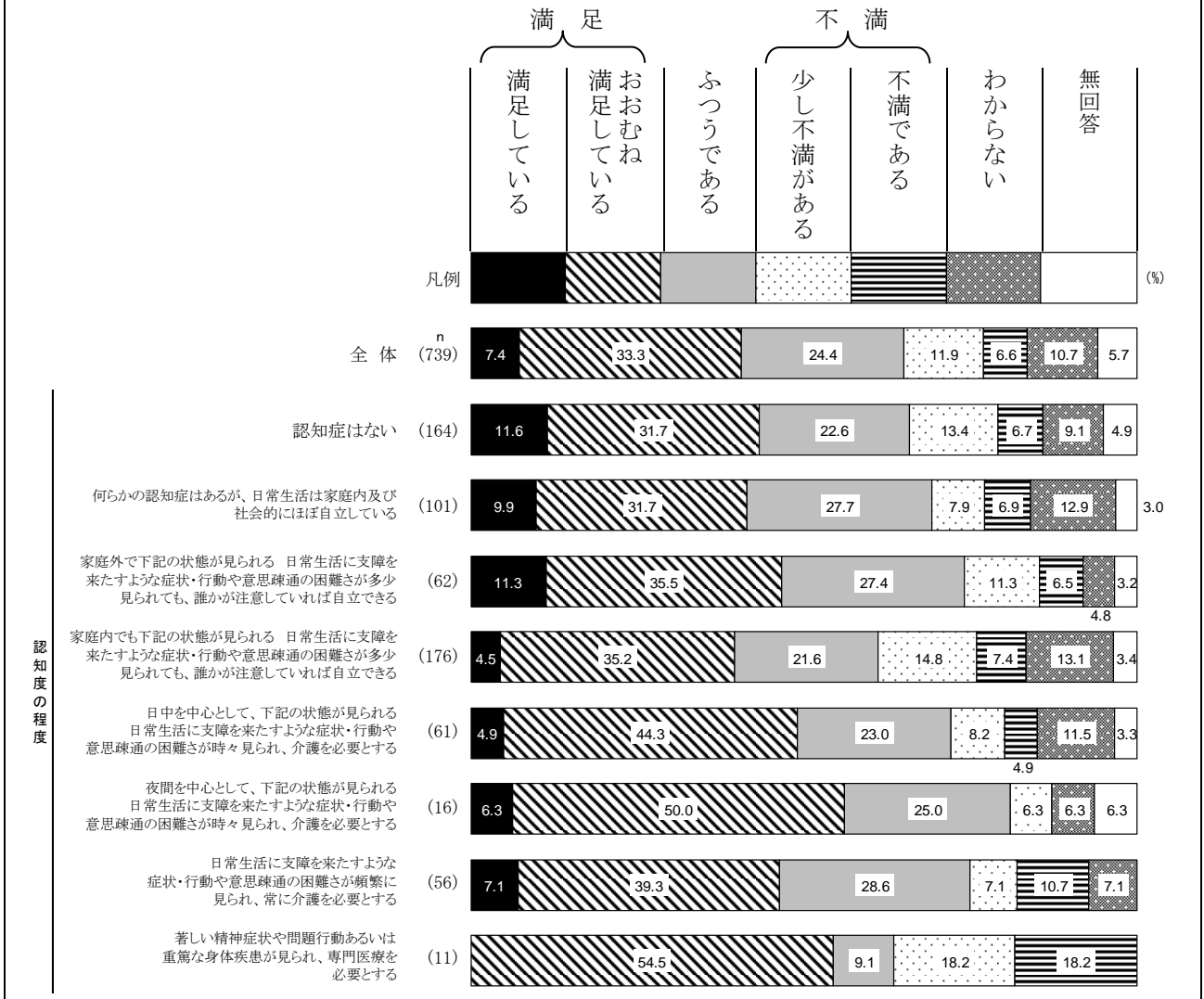
図表36-1 介護者から見た介護保険の満足度（介護度別）



介護者から見た介護保険の満足度について、『満足』（「満足している」＋「おおむね満足している」）は40.7%と、『不満』（「少し不満がある」＋「不満である」）の18.5%と上回っている。個別にみると、「おおむね満足している」が33.3%と最も多く、次いで「ふつうである」(24.4%)、「少し不満がある」(11.9%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護4と要介護5では「おおむね満足している」が他の介護度と比べ割合が多くなっており、『満足』は50%以上を占めている。また、要介護5では、他の介護度と比べ「ふつうである」が最も少なく、「少し不満である」が最も多くなっている。(図表36-1)

図表36-2 介護者から見た介護保険の満足度（認知度の程度別）



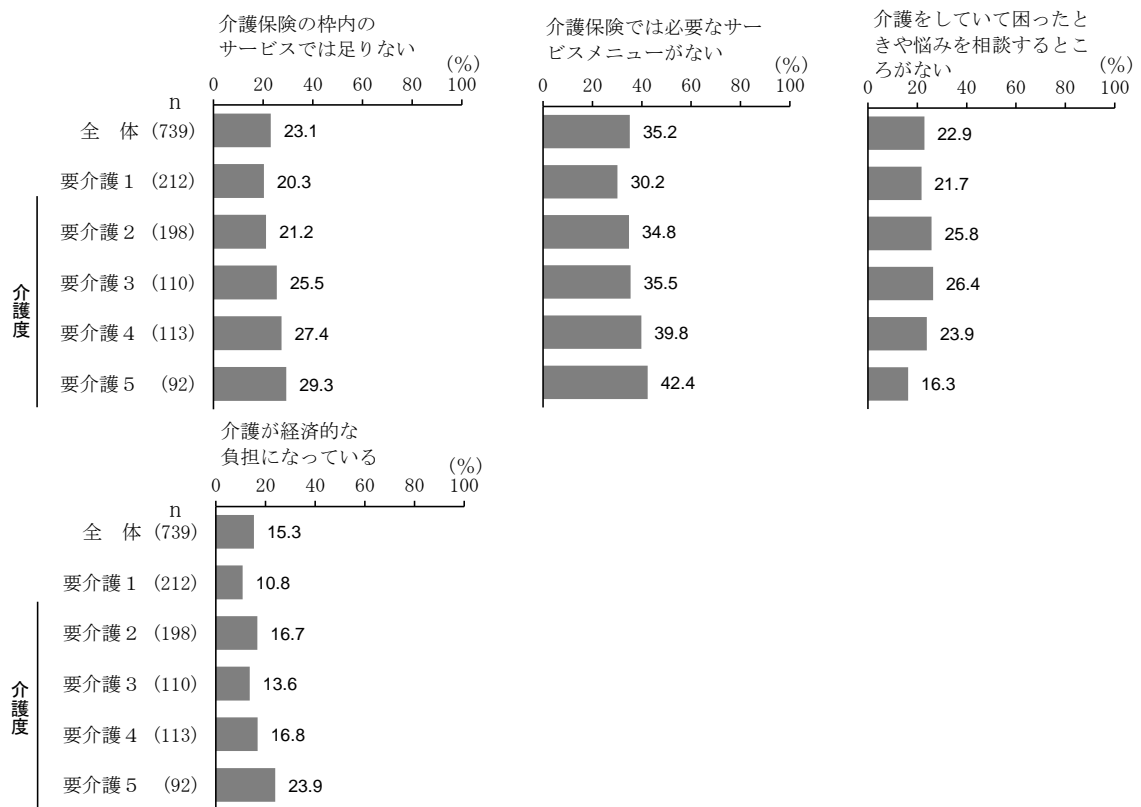
認知度の程度別でみると、『夜間を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする』では『満足』が56.3%と、他の認知度の程度と比べ最も多くなっている。(図表36-2)

## (11) 介護をする上で困っていること

問37 介護者のあなたが介護をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険では必要なサービスメニューがない」が35.2%、「介護保険の枠内のサービスでは足りない」が23.1%、「介護をしていて困ったときや悩みを相談するところがない」が22.9%。

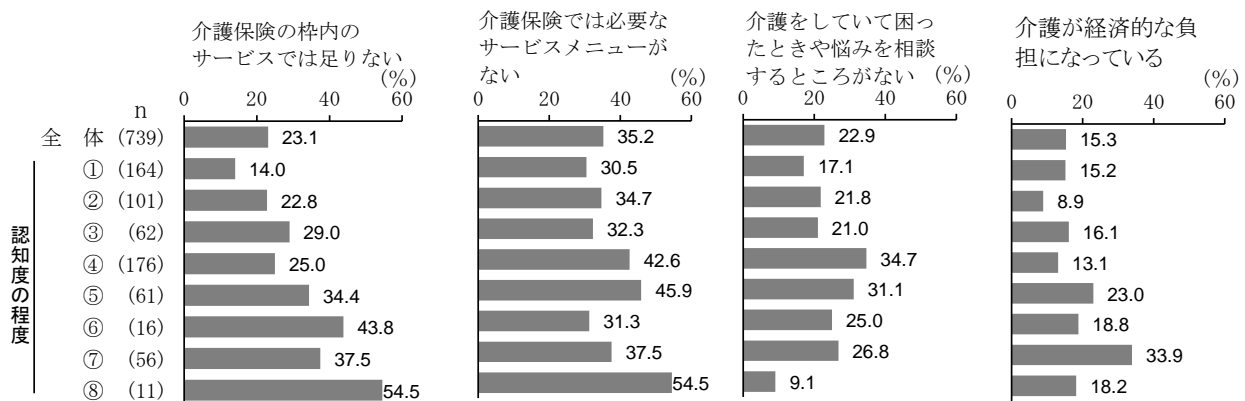
図表37-1 介護をする上で困っていること（介護度別）



介護をする上で困っていることについて、「介護保険では必要なサービスメニューがない」が35.2%と最も多く、次いで「介護保険の枠内のサービスでは足りない」(23.1%)、「介護をしていて困ったときや悩みを相談するところがない」(22.9%)、「介護が経済的な負担になっている」(15.3%)の順となっている。

介護度別でみると、全ての介護度において「介護保険の枠内のサービスでは足りない」の割合が最も多くなっており、「介護保険では必要なサービスメニューがない」「介護保険の枠内のサービスでは足りない」、「介護が経済的な負担になっている」では、介護度が高くなるにつれおおむね割合が多くなっている。(図表37-1)

図表37-2 介護をする上で困っていること（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、 介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、 日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、 介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、 誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、 常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、 誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、 専門医療を必要とする

認知度の程度別でみると、「介護保険の枠内のサービスでは足りない」と「介護保険では必要なサービスメニューがない」で、⑧がともに54.5%と半数を超えて多くなっている。「介護をしていて困ったときや悩みを相談するところがない」では、④が34.7%と、他の認知度の程度と比べ最も多くなっている。また、「介護が経済的な負担になっている」では、⑦が33.9%と、他の認知度の程度と比べ多くなっている。（図表37-2）

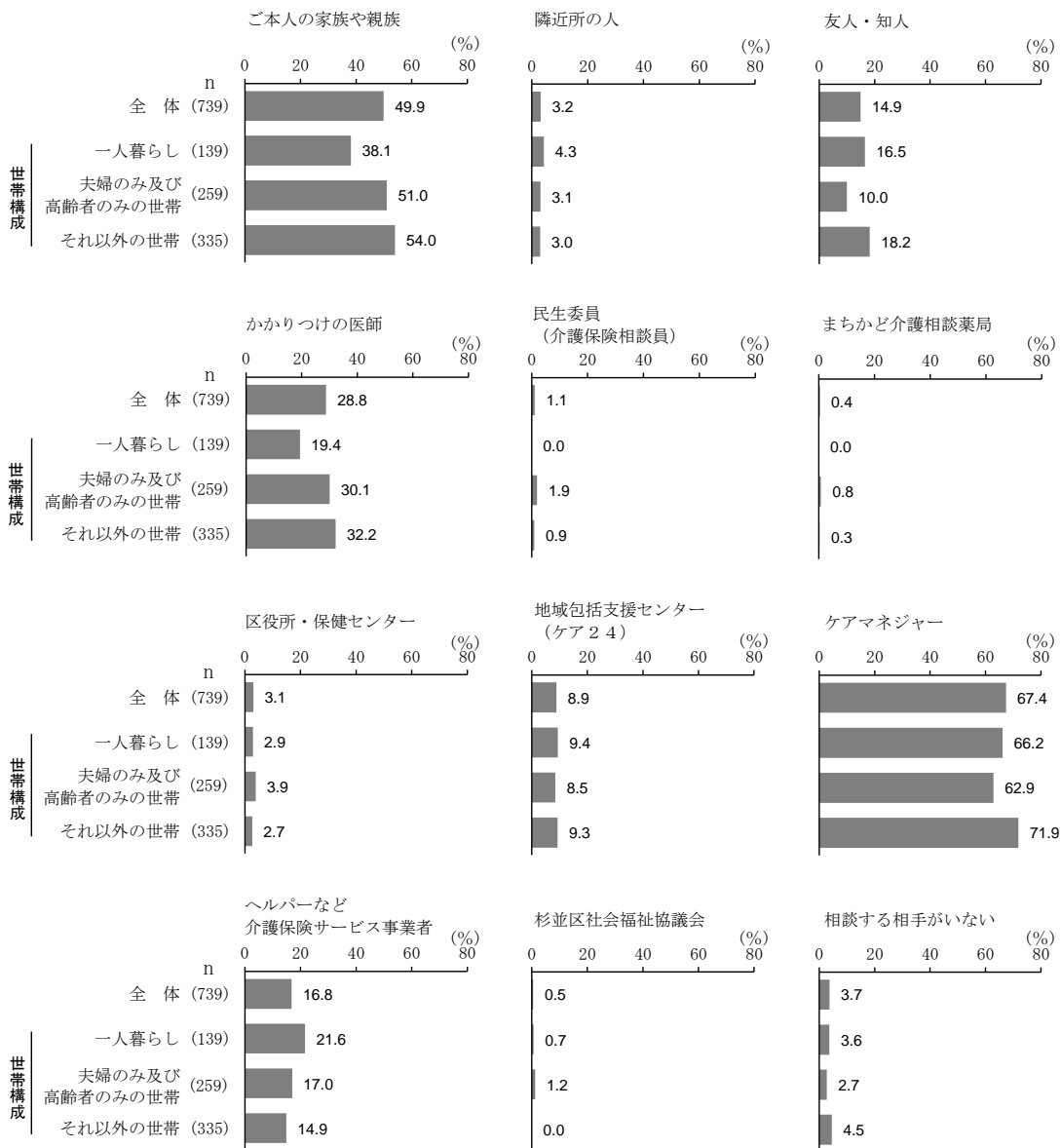


(12) 介護に関する相談先

問38 介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」が67.4%、「ご本人の家族や親族」が49.9%、「かかりつけの医師」が28.8%。

図表38-1 介護に関する相談先（世帯構成別）



介護に関する相談先は、「ケアマネジャー」が67.4%と最も多く、「ご本人の家族や親族」(49.9%)、「かかりつけの医師」(28.8%)の順となっている。

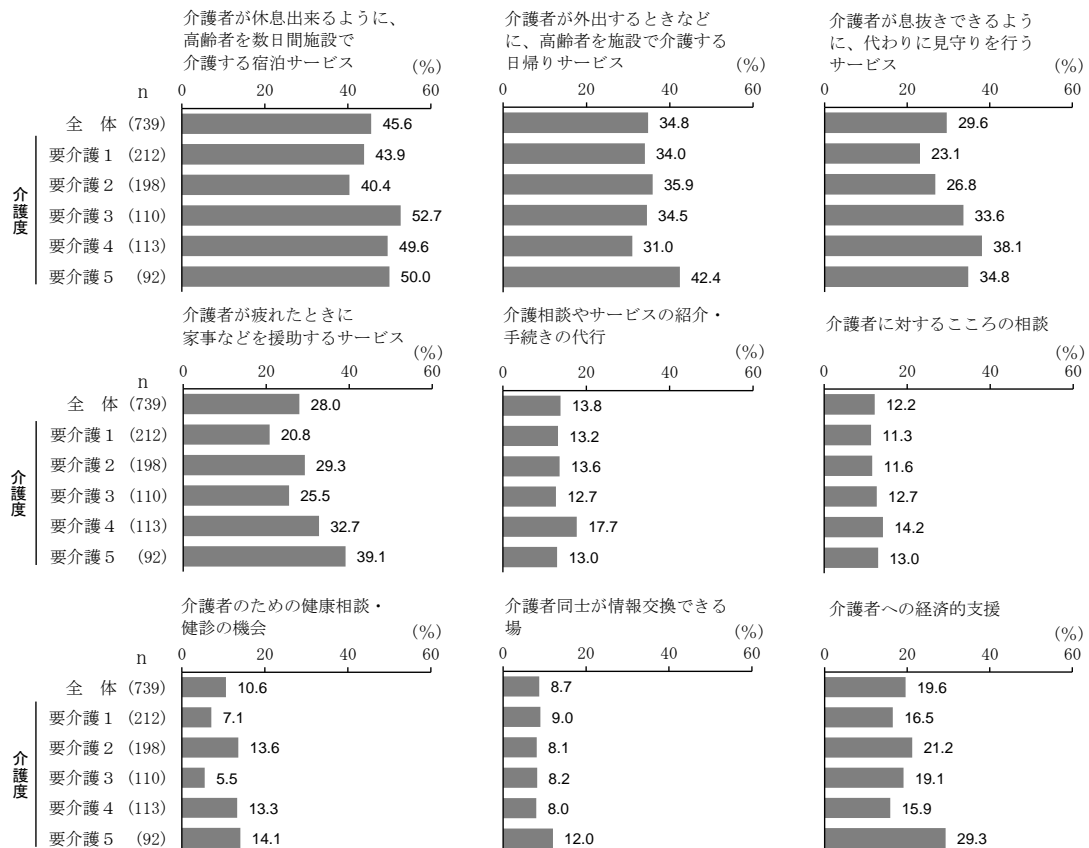
世帯構成別でみると、一人暮らしが「ヘルパーなど介護保険サービス事業者」において他の世帯構成に比べ最も多くなっているが、「ご本人の家族や親族」と「かかりつけの医師」では、やや少なくなっている。(図表38-1)

### (13) 介護者が必要とするサービス

問39 介護者のあなたが必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護宿泊サービス」が 45.6%、「介護日帰りサービス」が 34.8%、「見守りサービス」が 29.6%。

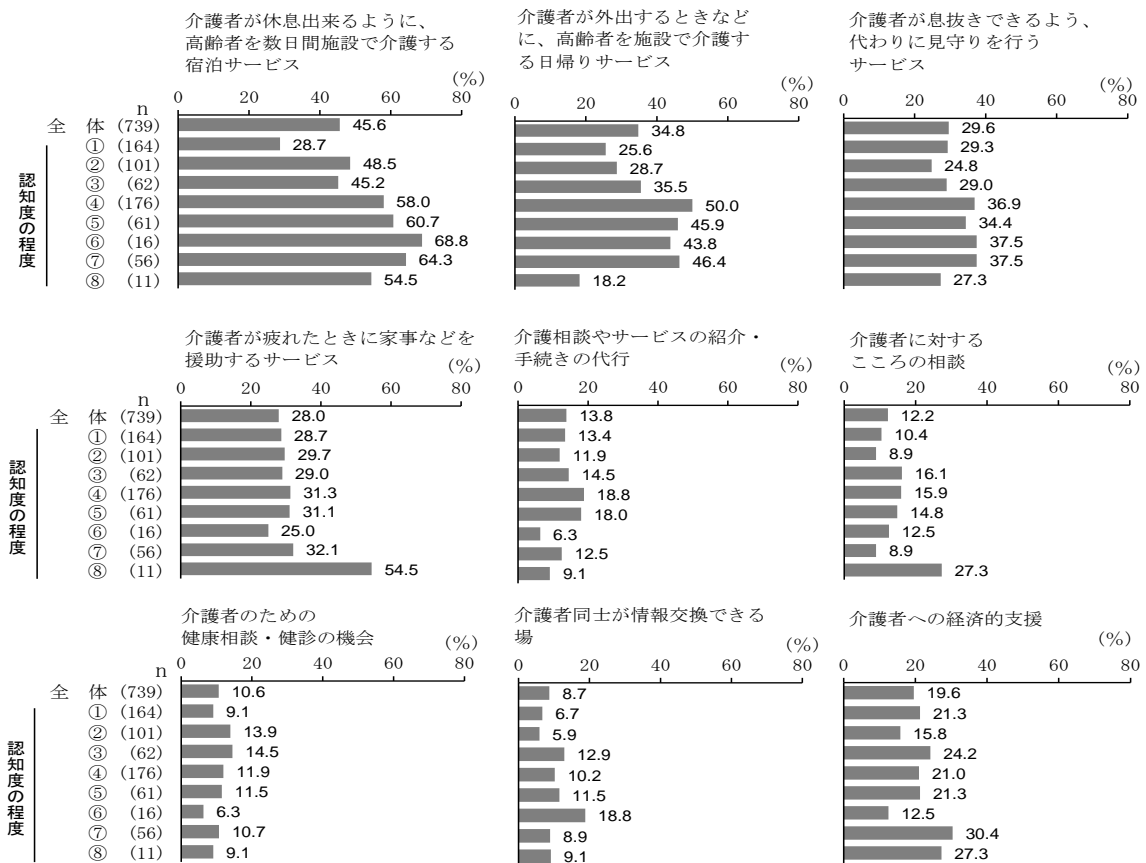
図表39-1 介護者が必要とするサービス（介護度別）



介護者が必要とするサービスについて、「介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が 45.6%と最も多く、次いで「介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス（介護日帰りサービス）」(34.8%)、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」(29.6%)、「介護者が疲れたときに家事などを援助するサービス（家事等援助サービス）」(28.0%)の順となっている。

介護度別でみると、「介護日帰りサービス」「家事等援助サービス」「介護者への経済的支援」では、要介護5がそれぞれ 42.4%、39.1%、29.3%と、他の介護度に比べ最も多くなっている。(図表39-1)

図表39-2 介護者が必要とするサービス（認知度の程度別）



① 認知症はない	⑤ 日中を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、 介護を必要とする
② 何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥ 夜間を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、 介護を必要とする
③ 家庭外で下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、 誰かが注意していれば自立できる	⑦ 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、 常に介護を必要とする
④ 家庭内でも下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、 誰かが注意していれば自立できる	⑧ 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、 専門医療を必要とする

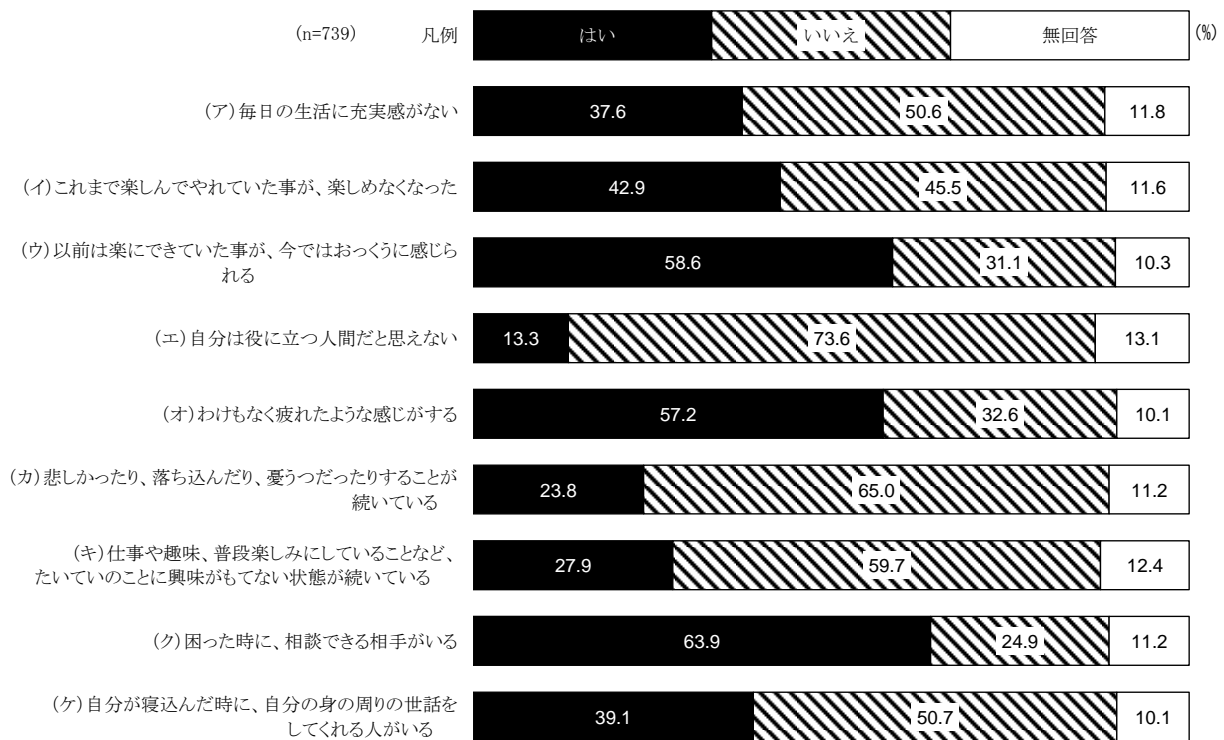
認知度の程度別でみると、「介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」では⑥が68.8%と最も多くなっており、①が28.7%と少なくなっている。「介護者への経済的支援」では⑦が30.4%と、他の認知度の程度に比べ割合が多くなっている。(図表39-2)

(14) 介護者の状態

問40 主に介護している方の最近2週間のことについておたずねします。ア～ケのすべての質問にご回答ください。「1 (はい)」または「2 (いいえ)」のどちらかに○

『以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる』、『わけもなく疲れたような感じがする』、『困った時に、相談できる相手がいる』は、「はい」が半数以上。

図表40-1 介護者の状態

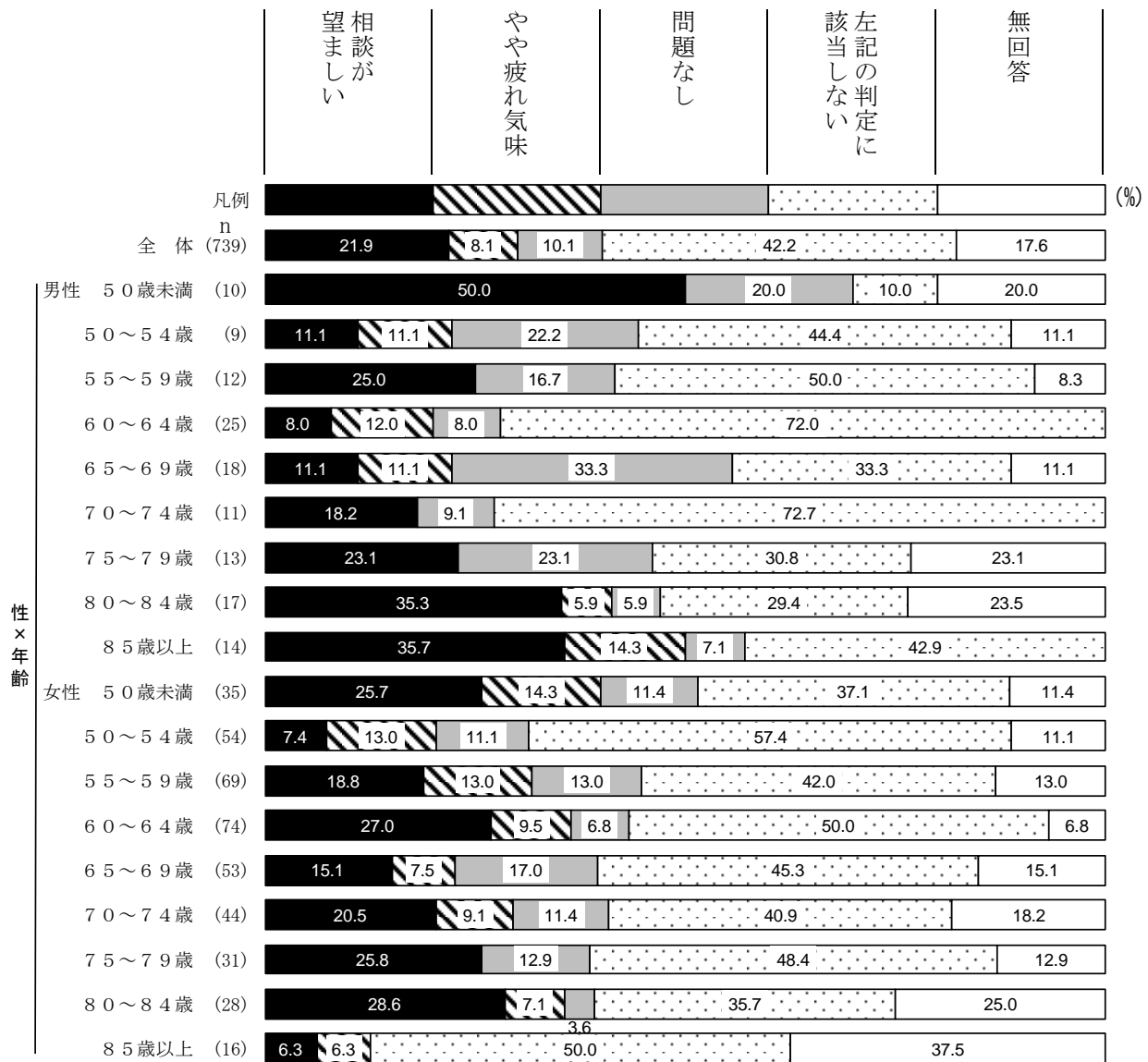


介護者の状態について、「はい」は『困った時に、相談できる相手がいる』が63.9%と最も多く、次いで『以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる』(58.6%)、『わけもなく疲れたような感じがする』(57.2%)の順となっている。一方、「いいえ」は『自分は役に立つ人間だと思えない』が73.6%と最も多く、『悲しかったり、落ち込んだり、憂うつだったりすることが続いている』(65.0%)、『仕事や趣味、普段楽しみにしていることなど、たいていのことに興味がもてない状態が続いている』(59.7%)と続いている。(図表40-1)

(15) 「こころの健康チェック」の分析結果

「相談が望ましい」が21.9%、「問題なし」が10.1%、「やや疲れ気味」が8.1%。

図表 a-1 「こころの健康チェック」の分析結果



問40の回答の組み合わせにより、抑うつ状態の評価（こころの健康チェック）を行った。その結果、「左記の判定に該当しない」（境界層）が42.2%と最も多く、次いで「相談が望ましい」（21.9%）、「問題なし」（10.1%）の順となっている。

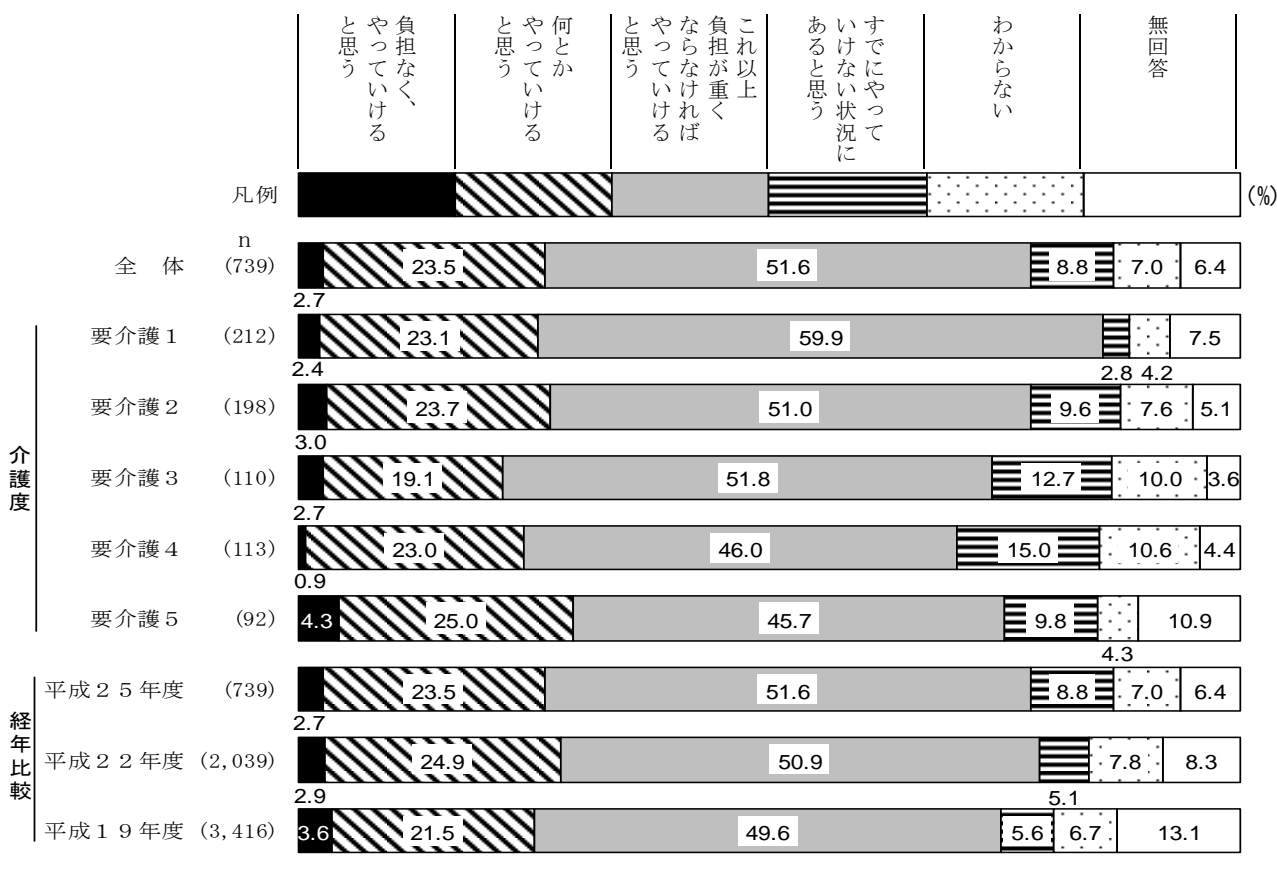
性×年齢別でみると、女性の50歳未満、60～64歳、75～79歳において「相談が望ましい」が25%程度を占めている。（図表 a-1）

### (16) 今後の在宅介護の見通し

問4-1 身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けていけると感じますか。(1つに○)

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が51.6%、「何とかやっていけると思う」が23.5%、「すでにやっていけない状況にあると思う」が8.8%。

図表4-1-1 今後の在宅介護の見通し（介護度別／経年比較）

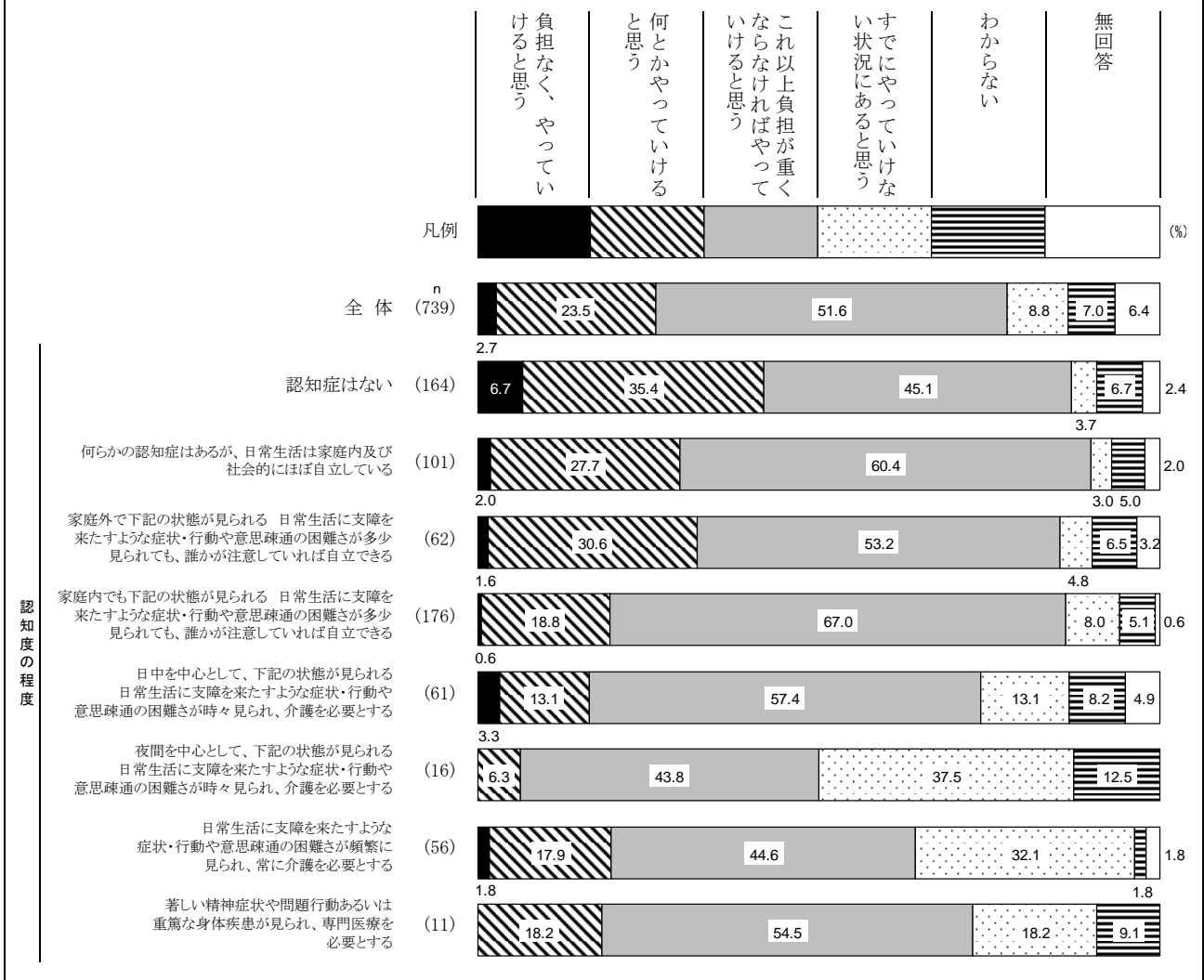


今後の在宅介護の見通しについて、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が51.6%と最も多く、次いで「何とかやっていけると思う」(23.5%)、「すでにやっていけない状況にあると思う」(8.8%)、「負担なく、やっていけると思う」(2.7%)の順となっている。

介護度別でみると、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」の割合は、おおむね介護度が上がるにつれて少なくなっている。

経年比較でみると、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」は、平成19年度は49.6%、平成22年度は50.9%、平成25年度は51.6%と、年度とともに多くなっている。「すでにやっていけない状況にあると思う」についても、年度とともに多くなっている。(図表4-1-1)

図表 4 1 - 2 今後の在宅介護の見通し（認知度の程度別）



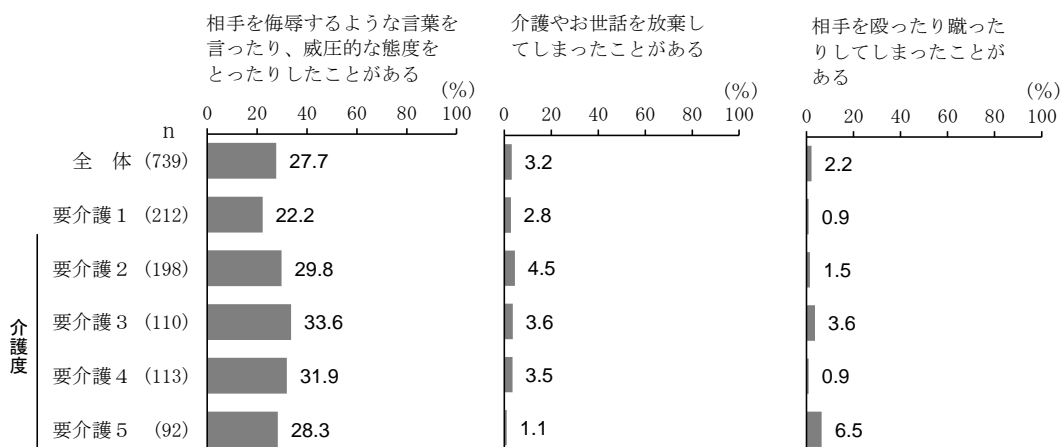
認知度の程度別でみると、おおむね認知度の程度が高くなる（必要な介護の度合いが上がる）につれて「すでにやっつけられない状況にあると思う」の割合が多くなっている。また、「負担なく、やっつけられると思う」は、『認知症はない』において6.7%と、他の認知度の程度に比べ最も多くなっている。（図4 1 - 2）

## (17) 本人と衝突した経験

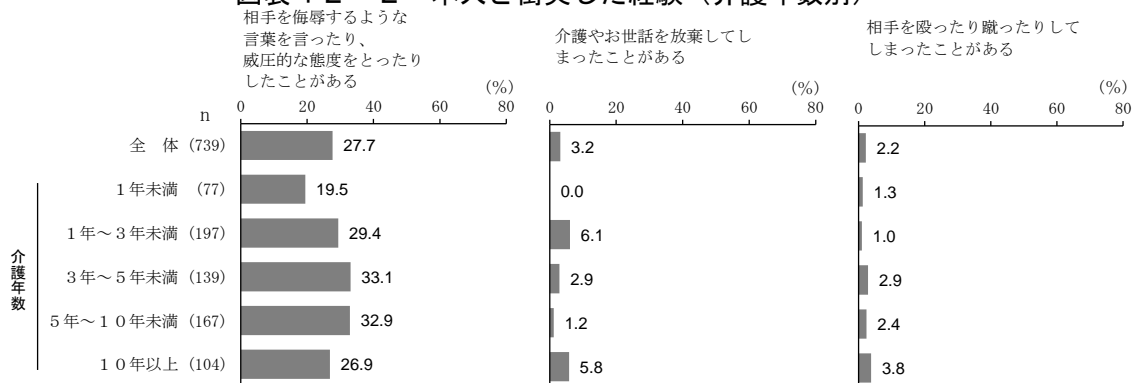
問4-2 最近6か月の間に、介護が原因で、介護保険の認定を受けているご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が27.7%、「介護やお世話を放棄してしまったことがある」が3.2%、「相手を殴ったり蹴ったりしてしまっただことがある」が2.2%。

図表4-2-1 本人と衝突した経験（介護度別）



図表4-2-2 本人と衝突した経験（介護年数別）



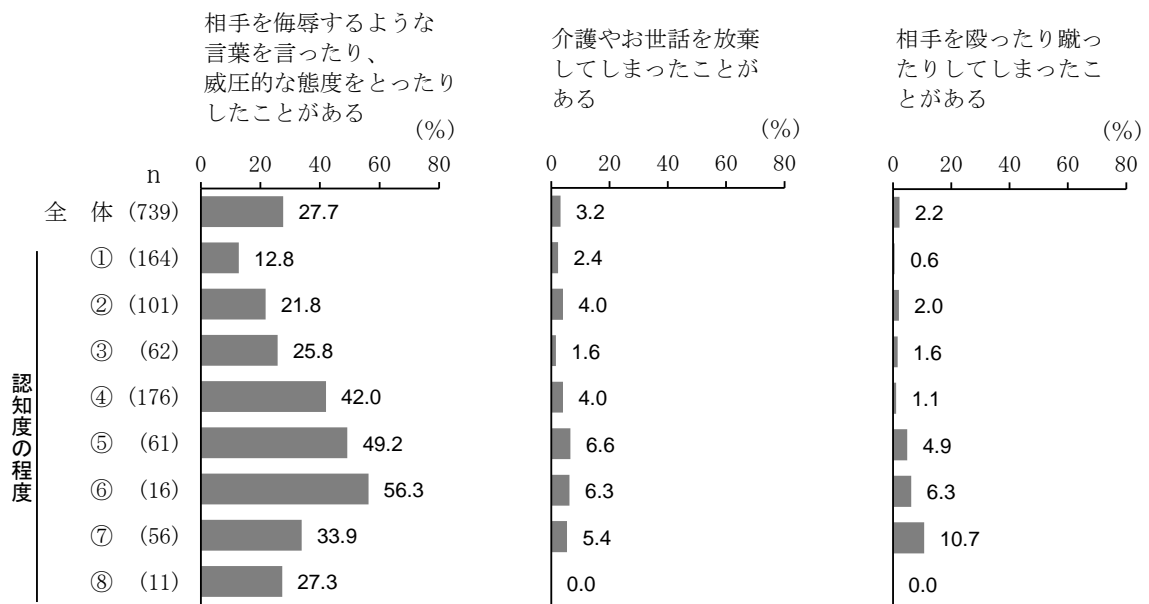
本人と衝突した経験について、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が27.7%と最も多く、次いで「介護やお世話を放棄してしまっただがある」(3.2%)、「相手を殴ったり蹴ったりしてしまっただがある」(2.2%)の順となっている。

介護度別では、「相手を殴ったり蹴ったりしてしまっただがある」は、要介護3が3.6%、要介護5が6.5%と、他の介護度に比べ多くなっている。また、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」は要介護3が33.6%と、他の介護度に比べ多くなっている。

介護年数別では、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」は、3年~5年未満が33.1%、5年~10年未満が32.9%と、他の介護年数に比べ多くなっている。(図表4-2-1)



図表 4 2 - 3 本人と衝突した経験（認知度の程度別）



① 認知症はない	⑤ 日中を中心として、下記の状態が見られる日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
② 何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥ 夜間を中心として、下記の状態が見られる日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③ 家庭外で下記の状態が見られる日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦ 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④ 家庭内でも下記の状態が見られる日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧ 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

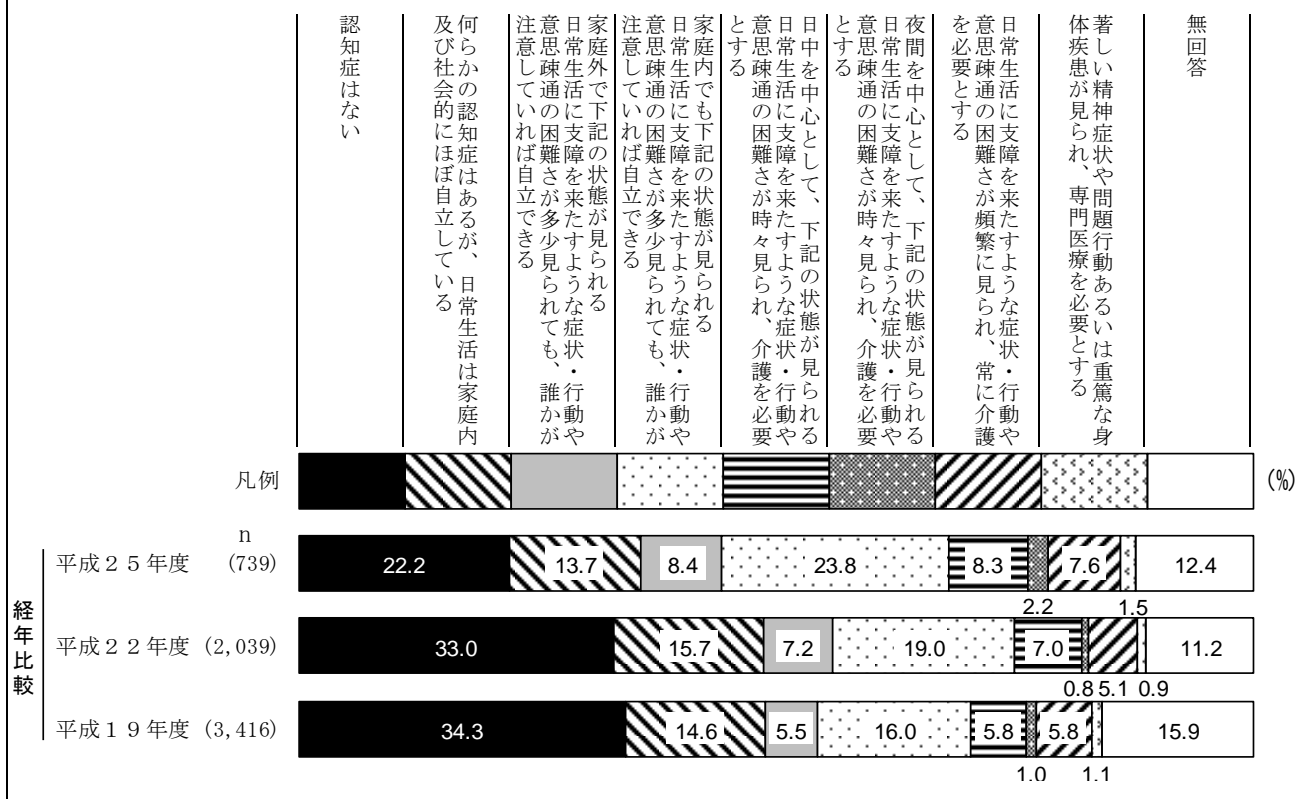
認知度の程度別では、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」は①～⑤では認知度の程度が高くなるにつれ多くなっており、⑤では半数近くになっている。「介護やお世話を放棄してしまったことがある」は、⑤～⑦で割合が多くなっている。「相手を殴ったり蹴ったりしてしまったことがある」は、⑦が10.7%と、他の認知度の程度と比べ多くなっている。(図表4 2 - 3)

(18) 本人の認知状況について

問43 介護保険の認定を受けているご本人の認知症の状況について、1～8までの番号のうち、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

「家庭内で日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が23.8%、「認知症はない」が22.2%。

図表43-1 本人の認知状況について



本人の認知状況について、「家庭内で日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が23.8%と最も多く、次いで「認知症はない」が22.2%、「何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が13.7%の順となっている。

経年比較でみると、「家庭外で日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」「家庭内で日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」を合計した割合は、平成19年度は21.5%、平成22年度は26.2%、平成25年度は32.2%と、年度とともに多くなっている。「認知症はない」は22.2%と、過年度(平成19年度34.3%、平成22年度33.0%)に比べ少なくなっている。

「日中を中心として日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」は、平成19年度は5.8%、平成22年度は7.0%、平成25年度は8.3%と、年度とともに多くなっている。(図表43-1)

## 9. 社会的孤立の状況について

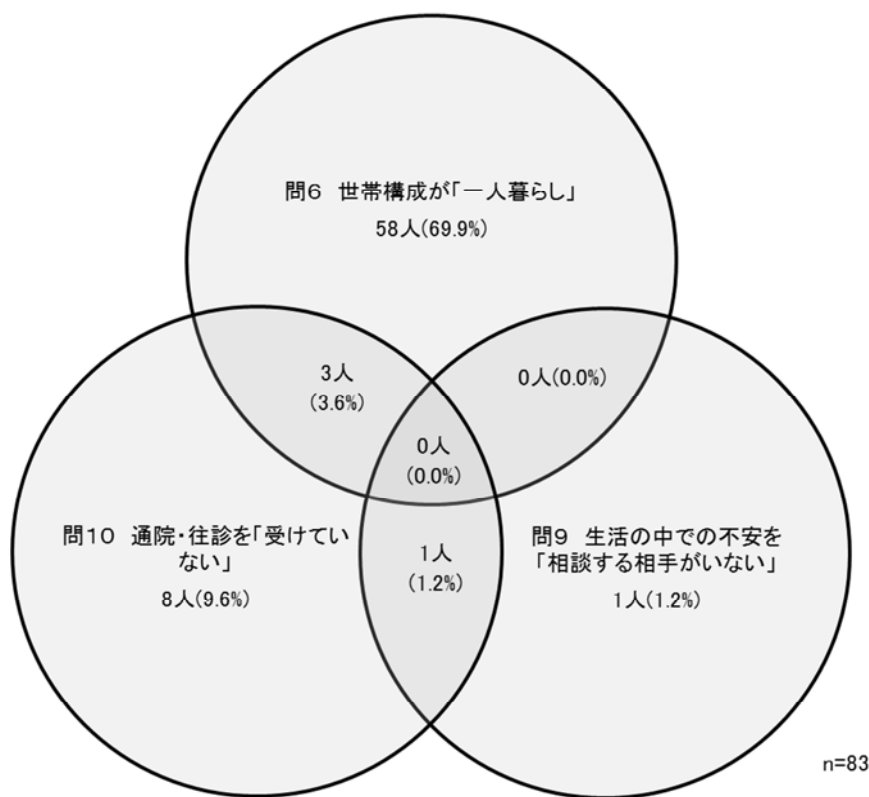
問6 一緒に暮らしている家族の構成をお答えください

問9 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか

問10 現在、通院（病院・医院・診療所）や往診で診療を受けていますか

一人暮らしで、生活の中での不安を相談する人がおらず、通院・往診を受けていない人はみられない。

図表 b-1 社会的孤立の状況について



介護者がいない人について、世帯構成（問6）、生活の中での不安を相談する相手（問9）、通院・往診の有無（問10）といった社会的孤立にかかわる3項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者83人のうち、世帯構成が、通院・往診、生活の中での不安の相談相手の3項目がすべてない人はみられない。（図表b-1）

## 10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、330人からの回答があった。記載内容を区分し、いくつかの意見について以下に示す。

### 【施設の基盤整備について (46件)】

- ・有料老人ホームは金額が高すぎるので特養を希望するが、なかなか入れる状況ではない。
- ・ねたきりや認知症の人を家庭で介護し続けるのは無理だと思う。家庭が壊れてしまう。施設を増やしてほしい。
- ・入れる特養ホームを増やしてほしい。デイサービスの充実より施設整備のほうが大事。

### 【福祉施策について (74件)】

- ・ケアマネジャーが適切なサービス案内をしてくれない。教育、研修が行き届いていないのではないかな。
- ・現役世代の介護者に対する支援が何もない。職を失う状況にならないよう支援枠を増やしてほしい。
- ・現役世代の同居家族がいることでサービスに制限があるのはおかしい。できるだけのことをしようとしている家族が追い詰められることに、苦痛を感じている。
- ・介護者が通院する際の、見守りサービスを導入してほしい。(介護者がそばにいない状態でも見守りをしてほしい。)

### 【情報、相談について (29件)】

- ・制度やサービスについて、日頃から知る機会があれば良いと思う。
- ・介護保険、福祉サービスにどのようなものがあるのか、一覧表が欲しい。サービス内容も変わっていくので、新しい情報が欲しい。(情報が足りない旨の意見は多い)
- ・介護者の精神的負担を軽減するよう、カウンセリングがあればよいと思う。

### 【医療、医療費、病院について (13件)】

- ・往診してくれる医師が少なく、探すのが大変。
- ・療養型病院の費用がとても高い。老健くらいの料金で入所できるとありがたい。

### 【生きがい、社会参加について (3件)】

- ・活動できる人のためにサークル等を作って欲しい。

### 【今後の介護について (15件)】

- ・日に日に身体状況が悪くなっていくのを見ていると、今後どのようなサービスを受けられるのか不安。

**【介護保険制度について (21件)】**

- ・医療行為が必要な人のショートステイを、もっと多くの施設で利用できるようにしてほしい。
- ・ありがたい制度であるが手続きや仕組みが複雑で、結局ケアマネまかせになってしまう。
- ・身体的な理由だと、認知症に比べて介護度が高くない。サービスの内容も、実費負担しないと不足する状況で、役に立たない。

**【サービス、スタッフの質について (25件)】**

- ・ケアマネジャーを一度決めると変更しづらく、比較や評価ができない。
- ・ショートステイを時々利用しているが、施設職員の質を高めてほしい。

**【介護保険料について (9件)】**

- ・ニュースで、利用料の負担割合増加言われていて不安である。
- ・保険料もサービス利用料も高い。

**【健康増進、予防について (4件)】**

- ・福祉サービスの充実はありがたいが、サービスを必要としない人を増やすことが大事だと思う。

**【在宅サービスについて (15件)】**

- ・同居家族がいてもホームヘルプサービスが受けられるようにしてほしい。
- ・夜間のサービスを充実してほしい。

**【介護職の待遇改善について (6件)】**

- ・ヘルパー、デイサービス従事者の待遇をもっと良くしてほしい。

**【アンケートについて (11件)】**

- ・質問の数が多く判断しにくいものがある、字が小さい。
- ・調査のための調査にならないよう、アンケート結果を無駄にしないでほしい。

**【経済的負担等について (14件)】**

- ・多少の蓄えはあるが、介護費用がかさみ年金収入のみでの生活は経済的に苦しい。これ以上サービスを増やすことができず不安。
- ・今でも切りつめて生活しているのに、消費税が上がり年金が少なくなったら、介護サービスを利用できなくなると思う。

**【制度・施策に満足している (20件)】**

- ・今の保険制度に満足しております。

【その他 (25件)】

- ・デイサービスを利用し始め、同年代の人との接点が増えてから、母の表情がいきいきしてきた。
- ・判断力が落ちてきた高齢者を狙う悪徳業者がいて不安。
- ・いろいろなサービスがあっても本人が受け入れてくれないので困っている。

# 地域包括ケアモデル実態調査

平成25年8月

## 【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。区では、住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。このたび、今後の高齢社会に向け地域のニーズを把握するために、平成25年7月28日現在、杉並区にお住まいの75歳以上の方2,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族や周りの方がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。そのときはあて名ご本人の立場にたってお答えください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 問40～42は、封筒のあて名ご本人を介助・介護されている方への質問となっています。
- 6 ご回答いただいた調査票は、**9月2日(月)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 7 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係  
電話：03-3312-2111 (大代表) 内線 1162

問 1. この調査票を記入するのはどなたですか。(あて名のご本人からみた関係)

- |            |         |            |
|------------|---------|------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. 配偶者  | 3. 子       |
| 4. 子の配偶者   | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他 ( ) |

※ 以下の質問の中での「あなた」は、お送りした封筒のあて名の方になります。

問 2. あなた（封筒のあて名ご本人）の性別は。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 3. あなたの年齢は。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 満 75～79 歳 | 2. 満 80～84 歳 | 3. 満 85～89 歳 |
| 4. 満 90～94 歳 | 5. 満 95 歳以上  |              |

問 4. あなたは要支援・要介護の認定を受けていますか。

- |                     |
|---------------------|
| 1. 受けている → 問 5 へ進む  |
| 2. 受けていない (問 7 へ進む) |

問 5. 問 4 で「1. 受けている」と回答された方におたずねします  
あなたの現在の認定状況を教えてください。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 | 7. 要介護 5 |          |

問 6. あなたは介護サービスを利用していますか。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問 8 へ進む

問 7. 問 4 で要支援・要介護を「2. 受けていない」と回答された方におたずねします。普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1 つに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 介助・介護は必要ない               |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 家族などの介助・介護を受けている         |



**【ご家族や生活状況についておたずねします】**

**問 8. 家族構成を教えてください。(1つに○)**

1. 一人暮らし (問10へ進む)

2. 夫婦のみ (配偶者65歳以上)

3. 夫婦のみ (配偶者64歳以下)

4. 2世代家族 (全員が65歳以上)

5. 2世代家族

6. 3世代家族

7. 兄弟姉妹

8. その他 ( )

**問9へ進む**

**問 9. 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)**

1. よくある

2. たまにある

3. ない

**問11へ進む**

→ **問10. 問8で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。**

**お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)**

1. ほとんど毎日

2. 週に3～4回

3. 週に2回程度

4. 週に1回程度

5. 月に1～2回程度

6. ほとんどない

7. まったくない

8. 親族がいない

9. その他 ( )



**問 1 4. 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1 つに○）**

1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい
2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい
3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい
4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい
5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい
6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい
7. その他（                      ）
8. わからない

**1、2、7、8の方は問16へ進む**

**問 1 5. 問 1 4 で「3・4・5・6」と回答された方におたずねします。  
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。（1 つに○）**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 10万円未満    | 2. 10～15万円未満 |
| 3. 15～20万円未満 | 4. 20～25万円未満 |
| 5. 25～30万円未満 | 6. 30万円以上    |
| 7. わからない     |              |

**問 1 6. できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。（一番必要と思うもの1 つに○）**

1. 在宅でいつでも医療が受けられるサービス
2. 食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス
3. 掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス
4. 緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス
5. その他（                      ）

※ 問5で要介護1～要介護5の認定を受けているとご回答の方は  
以下の問17～問32は回答せずに9頁の問33へお進みください

【社会参加についておたずねします】

問17. 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問18. 家族や友人の相談にのっていますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問19. 病人を見舞うことができますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問20. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問21. 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。  
(いくつでも○)

- |                     |
|---------------------|
| 1. 仕事               |
| 2. 趣味やサークル活動        |
| 3. 学習や教養を高める活動      |
| 4. NPO・ボランティア活動     |
| 5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動 |
| 6. 健康づくり            |
| 7. 特にない             |
| 8. その他 ( )          |

**【日常生活についておたずねします】**

**問22. 次の(1)～(10)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。**

	<b>いずれかに必ず○をつける</b>
(1) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(2) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
(4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。	1. はい 2. いいえ
(6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で日用品の買物ができますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分でお金の管理(預貯金の出し入れなど)ができますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で請求書の支払いができますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 自分で食事の用意ができますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

**問23. 食事は自分で食べられますか。**

- |   |
|---|
| <p>1. できる</p> <p>2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる</p> <p>3. 全面的な介助が必要</p> |
|---|

【記憶・判断についておたずねします】

問24. 5分前のことが思い出せますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問25. その日の活動(食事をする、衣類を選ぶなど)を自分で決めていますか。  
(1つに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 困難なくできる              |
| 2. いくらか困難ではあるが、できる      |
| 3. 判断する時に他人からの合図や見守りが必要 |
| 4. ほとんど判断できない           |

問26. 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 伝えられる             |
| 2. いくらか困難ではあるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない         |
| 4. ほとんど伝えられない        |

【転倒予防についておたずねします】

問27. この1年間に転んだことはありますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問28. この1年間で、背中が丸くなってきましたか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問29. この1年間で、歩く速度が遅くなってきましたか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問30. 杖を使っていますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|



**※全ての方におたずねします。**

**(要介護認定を受けている方もここからはお答えください。)**

**【健康についておたずねします】**

**問33. 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。  
（1つに○）**

1. 通院している

2. 往診を受けている

3. 通院や往診は受けていない

→ 10ページの間36へ進む

1、2の方は問34へ進む

**問34. 通院や往診の頻度を教えてください。（1つに○）**

1. 週2回以上

2. 週1回程度

3. 月2回程度

4. 月1回程度

5. 数か月に1回程度

6. 定期的ではない（不定期）

**問35. 問33で「2. 往診を受けている」と回答された方におたずねします。  
往診を受けているのは、どのような内容ですか。（いくつでも○）**

1. 点滴

2. 酸素療法

3. 人工呼吸器

4. 気管切開の処置

5. 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）

6. 経管栄養（胃ろうなど）

7. じょくそう（床ずれ）の処置

8. 導尿の管理（カテーテルなど）

9. インスリンの自己注射

10. その他（ ）



**問36. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つに○)**

- |        |          |              |
|--------|----------|--------------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類   | 3. 3種類       |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 薬を服用していない |

**問37. この1年間で入院したことがありますか。**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

**【その他】**

**問38. 地域包括支援センター（ケア24）を知っていますか。**

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 業務内容を含めて知っている | 2. 名前は知っている |
| 3. 知らない          |             |

**問39. 地域包括支援センター（ケア24）を利用したことはありますか。**

- |       |               |       |
|-------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. ないが今後利用したい | 3. ない |
|-------|---------------|-------|





**【高齢者の福祉について、ご意見・ご要望などございましたら自由にご記入ください】**

貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて  
9月2日（月）までにご返送ください。



# ■日常生活圏域ニーズ調査■

平成25年9月

## 【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

区では、住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。

このたび、今後の高齢社会に向け地域のニーズを把握するために、平成25年8月26日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方4,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族や周りの方がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。そのときはあて名ご本人の立場にたってお答えください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 ご回答いただいた調査票は、**9月30日(月)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 6 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係  
電話：03-3312-2111(大代表) 内線1162

**【はじめにおききます】**

問 1. この調査票を記入するのはどなたですか（あて名のご本人からみた関係）  
（1 つに○）

- |            |         |                                |
|------------|---------|--------------------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. 配偶者  | 3. 子                           |
| 4. 子の配偶者   | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（                      ） |

※ 以下の質問の中での「あなた」は、お送りした封筒のあて名の方になります。

問 2. あなた（封筒のあて名ご本人）の性別は。（1 つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 3. あなたの年齢は。（1 つに○）

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 満 6 5 ～ 6 9 歳 | 2. 満 7 0 ～ 7 4 歳 | 3. 満 7 5 ～ 7 9 歳 |
| 4. 満 8 0 ～ 8 4 歳 | 5. 満 8 5 ～ 8 9 歳 | 6. 満 9 0 ～ 9 4 歳 |
| 7. 満 9 5 歳以上     |                  |                  |

問 4. 普段、どなたかの介助・介護が必要です。（1 つに○）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 介助・介護は必要ない               |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 家族などの介助・介護を受けている         |

**【ご家族や生活状況についておたずねします】**

問 5. 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください（1 つに○）

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| 1. 一人暮らし                       | →(問 7 へ進む) |
| 2. 夫婦のみ（配偶者 6 5 歳以上）           |            |
| 3. 夫婦のみ（配偶者 6 4 歳以下）           |            |
| 4. 2 世代家族（全員が 6 5 歳以上）         | →(問 6 へ進む) |
| 5. 2 世代家族（6 4 歳以下の方が同居）        |            |
| 6. 3 世代家族                      |            |
| 7. 兄弟姉妹                        |            |
| 8. その他（                      ） |            |

**問6. 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)**

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

**問8へ進む**

**問7. 問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。**

**お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)**

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日   | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度   | 4. 週に1回程度   |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない   |
| 7. まったくない   | 8. 親族がいない   |
| 9. その他 ( )  |             |

**問8. あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)**

- |                   |
|-------------------|
| 1. 公的年金（国民年金、恩給等） |
| 2. 自分の仕事の収入       |
| 3. 預貯金、地代、家賃収入等   |
| 4. 同居している家族の収入    |
| 5. 別居している家族からの仕送り |
| 6. 公的扶助（生活保護など）   |
| 7. その他 ( )        |

**問9. 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)**

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満     | 2. 100～200万円未満  |
| 3. 200～400万円未満 | 4. 400～600万円未満  |
| 5. 600～800万円未満 | 6. 800～1000万円未満 |
| 7. 1000万円以上    | 8. 収入なし         |
| 9. わからない       |                 |

**【住まいについておたずねします】**

**問 1 0. お住まいは次のうちどれですか。(1 つに○)**

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 分譲マンション      |
| 3. 一戸建て貸家  | 4. 賃貸の公団、公社住宅   |
| 5. 都営、区営住宅 | 6. 賃貸マンション、アパート |
| 7. 社宅、官舎   | 8. その他 ( )      |

**問 1 1. 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想と思う) 居住形態について一番近いものはどれですか。(1 つに○)**

- |   |
|---|
| 1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい            |
| 2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい                          |
| 3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい         |
| 4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい |
| 5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい   |
| 6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい       |
| 7. その他 ( )                                  |
| 8. わからない                                    |

1、2、7、8の方は問13へ進む

**問 1 2. 問 1 1 で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1 つに○)**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 10万円未満    | 2. 10～15万円未満 |
| 3. 15～20万円未満 | 4. 20～25万円未満 |
| 5. 25～30万円未満 | 6. 30万円以上    |
| 7. わからない     |              |



問 1 3. できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

1. 在宅でいつでも医療が受けられるサービス
2. 食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス
3. 掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス
4. 緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス
5. 必要時に短期間の施設入所ができるショートステイサービス
6. その他 ( )

【社会参加についておたずねします】

問 1 4. 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

1. はい
2. いいえ

問 1 5. 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 6. 病人を見舞うことができますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 7. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 8. 生きがいを感じていますか。

1. はい
2. いいえ



問19. 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。  
(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 (                    )

問20. 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない



**【日常生活についておたずねします】**

**問 2 1. 次の (1) ~ (10) の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。**

	<u>いずれかに必ず○をつける</u>
(1) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(2) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
(4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。	1. はい 2. いいえ
(6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分でお金の管理（預貯金の出し入れなど）をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

**問 2 2. 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）。  
(1つに○)**

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度	4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度	6. ほとんどない

**問 2 3. 1日の食事の回数は何回ですか（普段の生活から平均的な回数）  
（1つに○）**

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 朝昼晩 3 回    | 2. 朝晩 2 回                      |
| 3. 朝昼 2 回     | 4. 昼夜 2 回                      |
| 5. いずれか 1 食のみ | 6. その他（                      ） |

**問 2 4. 自分一人ではなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか  
（1つに○）**

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない  |            |

**問 2 5. 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか（3つまで○）**

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ                    | 2. ちょっとした買い物やゴミ出し    |
| 3. 食事の提供（配食・会食など）              | 4. 食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い |
| 5. 通院や外出の手助け                   | 6. 電球交換や簡単な大工仕事      |
| 7. 話し相手や相談相手                   | 8. 災害時の手助け           |
| 9. その他（                      ） |                      |
| 10. 特にない                       |                      |

**【記憶・判断についておたずねします】**

**問 2 6. その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。  
（1つに○）**

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 困難なくできる              |
| 2. いくらか困難ではあるが、できる      |
| 3. 判断する時に他人からの合図や見守りが必要 |
| 4. ほとんど判断できない           |

問27. 5分前のことが思い出せますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問28. 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 伝えられる             |
| 2. いくらか困難ではあるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない         |
| 4. ほとんど伝えられない        |

**【転倒予防についておたずねします】**

問29. 次の(1)～(4)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
(1) この1年間に転んだことはありますか。	1. はい 2. いいえ
(2) この1年で背中が丸くなってきましたか。	1. はい 2. いいえ
(3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。	1. はい 2. いいえ
(4) この1年で杖を使っていますか。	1. はい 2. いいえ

**【健康についておたずねします】**

問30. ご自分で健康だと思えますか。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. とても健康だと思う | 2. まあまあ健康だと思う |
| 3. あまり健康ではない | 4. 健康ではない     |

問31. 健康に気を使っていることはありますか(いくつでも○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分とる    | 2. 規則正しい生活を送る    |
| 3. 栄養のバランスのとれた食事 | 4. 健康診断を定期的に受ける  |
| 5. 散歩や運動をする      | 6. 気持ちをなるべく明るく保つ |
| 7. その他 ( )       | 8. 特にない          |

**問3 2. 悩みやストレスはありますか。(1つに○)**

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. おおいにある | 2. 少しある    |
| 3. まったくない | →(問3 4へ進む) |

→**問3 3. 問3 2で「1」「2」と回答された方におたずねします。  
その原因は何ですか。(いくつでも○)**

- |                    |
|--------------------|
| 1. 家族との人間関係        |
| 2. 友人・知人との人間関係     |
| 3. 話し相手がないこと       |
| 4. 生活費について         |
| 5. 自分の介護について       |
| 6. 自分の健康や病気について    |
| 7. 同居家族の健康について     |
| 8. 家族や親族に対する介護について |
| 9. 子や孫の将来について      |
| 10 その他 ( )         |

**問3 4. あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。  
(もっともよくあてはまるもの1つに○)**

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. 配偶者              | 2. 子          |
| 3. 子の配偶者            | 4. 兄弟姉妹       |
| 5. 友人・知人            | 6. 近隣の人       |
| 7. 民生委員             | 8. 区役所・保健センター |
| 9. 地域包括支援センター(ケア24) | 10. かかりつけ医    |
| 11. 相談する相手がない       | 12. その他 ( )   |

問35. 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。

（1つに○）

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 通院している       | 2. 往診を受けている |
| 3. 通院や往診は受けていない | → (問37へ進む)  |

問36. 問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。  
通院や往診の頻度をおしえてください。（1つに○）

- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度    | 3. 月2回程度   |
| 4. 月1回程度 | 5. 数か月に1回程度 | 6. 定期的ではない |

問37. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（1つに○）

- |        |          |              |
|--------|----------|--------------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類   | 3. 3種類       |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 薬を服用していない |

問38. この1年間で入院したことがありますか。（1つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【その他】

問39. 地域包括支援センター（ケア24）を知っていますか。（1つに○）

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 知っている（業務も含めて） | 2. 名前は知っている |
| 3. 知らない          |             |

問40. 地域包括支援センター（ケア24）を利用したことはありますか。  
（1つに○）

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1. ある | 2. ないが今後利用したい |
| 3. ない |               |

問 4 1. 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1 つに○)

1. 知っている → (問 4 2 へ進む)

2. 知らない → (問 4 5 へ進む)

問 4 2. 問 4 1 で「1」と回答された方におたずねします。

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。  
(いくつでも○)

1. 地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)に参加している

2. いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)に参加している

3. 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している

4. 以前は参加していたが今ほどの活動にも参加していない

→ (問 4 4 へ進む)

5. 参加したことがない → (問 4 5 へ進む)

▶ 問 4 3. 問 4 2 で「1」～「3」と回答された方におたずねします。

参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

1. 規則正しい生活になった

2. 交友関係が広がった

3. 特に変わらない

4. その他 ( )

問 4 5 へ進む

問 4 4. 問 4 2 で「4」と回答された方におたずねします。

今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

1. 参加していた活動団体が無くなった

2. 体力的に厳しくなった

3. その他 ( )



**問 4 5. あなたはこれまでに介護保険の認定を申請したことがありますか。  
(いくつでも○)**

1. 申請したことはない。申請する予定もない。
2. 現在申請中、または申請する予定である。
3. 申請したが「自立」と判定された。
4. 申請して要支援、要介護と認定されたことがある

**問 4 6. 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか (1つに○)**

1. 保険料が多少高くてなっても、介護サービスを充実してほしい
2. 保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい
3. サービスを抑えても保険料は安くしてほしい
4. わからない

**問 4 7. 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。  
(いくつでも○)**

1. 高齢者のいきがい活動の支援
2. 介護予防・健康づくりの支援
3. 緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
4. 困ったときに相談できる体制づくり
5. 在宅での生活を支える介護サービスの充実
6. 高齢者を地域で見守る体制の充実
7. 認知症高齢者や家族の支援
8. 家族介護者への支援
9. 高齢者虐待防止の対策
10. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
11. その他 ( )

**【高齢者の福祉について、ご意見・ご要望などございましたら自由にご記入ください】**

**貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。**

**ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて  
9月30日（月）までにご返送ください。**



# ●日常生活圏域ニーズ調査●

平成25年9月

## 【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

区では、住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。このたび、今後の高齢社会に向け地域のニーズを把握するために、平成25年8月26日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方4,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっておりますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 【調査票の記入にあたってのお願い】



- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族や周りの方がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。そのときはあて名ご本人の立場にたってお答えください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 問48～50は、封筒のあて名ご本人を介助・介護されている方への質問となっております。
- 6 ご回答いただいた調査票は、**9月30日(月)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 7 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係  
電話：03-3312-2111 (大代表) 内線 1162

**【はじめにおききます】**

問 1. この調査票を記入するのはどなたですか（あて名のご本人からみた関係）  
（1 つに○）

- |            |         |                                |
|------------|---------|--------------------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. 配偶者  | 3. 子                           |
| 4. 子の配偶者   | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（                      ） |

※ 以下の質問の中での「あなた」は、お送りした封筒のあて名の方になります。

問 2. あなた（封筒のあて名ご本人）の性別は。（1 つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 3. あなたの年齢は。（1 つに○）

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 満 6 5 ～ 6 9 歳 | 2. 満 7 0 ～ 7 4 歳 | 3. 満 7 5 ～ 7 9 歳 |
| 4. 満 8 0 ～ 8 4 歳 | 5. 満 8 5 ～ 8 9 歳 | 6. 満 9 0 ～ 9 4 歳 |
| 7. 満 9 5 歳以上     |                  |                  |

問 4. 普段、どなたかの介助・介護が必要です。（1 つに○）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 介助・介護は必要ない               |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 家族などの介助・介護を受けている         |

**【ご家族や生活状況についておたずねします】**

問 5. 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください（1 つに○）

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| 1. 一人暮らし                       | →(問 7 へ進む) |
| 2. 夫婦のみ（配偶者 6 5 歳以上）           |            |
| 3. 夫婦のみ（配偶者 6 4 歳以下）           |            |
| 4. 2 世代家族（全員が 6 5 歳以上）         | →(問 6 へ進む) |
| 5. 2 世代家族（6 4 歳以下の方が同居）        |            |
| 6. 3 世代家族                      |            |
| 7. 兄弟姉妹                        |            |
| 8. その他（                      ） |            |

**問6. 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)**

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

**問8へ進む**

**問7. 問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。**

**お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)**

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日   | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度   | 4. 週に1回程度   |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない   |
| 7. まったくない   | 8. 親族がいない   |
| 9. その他 ( )  |             |

**問8. あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)**

- |                   |
|-------------------|
| 1. 公的年金（国民年金、恩給等） |
| 2. 自分の仕事の収入       |
| 3. 預貯金、地代、家賃収入等   |
| 4. 同居している家族の収入    |
| 5. 別居している家族からの仕送り |
| 6. 公的扶助（生活保護など）   |
| 7. その他 ( )        |

**問9. 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)**

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満     | 2. 100～200万円未満  |
| 3. 200～400万円未満 | 4. 400～600万円未満  |
| 5. 600～800万円未満 | 6. 800～1000万円未満 |
| 7. 1000万円以上    | 8. 収入なし         |
| 9. わからない       |                 |

**【住まいについておたずねします】**

**問 1 0. お住まいは次のうちどれですか。(1 つに○)**

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 分譲マンション      |
| 3. 一戸建て貸家  | 4. 賃貸の公団、公社住宅   |
| 5. 都営、区営住宅 | 6. 賃貸マンション、アパート |
| 7. 社宅、官舎   | 8. その他 ( )      |

**問 1 1. 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想と思う) 居住形態について一番近いものはどれですか。(1 つに○)**

- |   |
|---|
| 1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい            |
| 2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい                          |
| 3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい         |
| 4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい |
| 5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい   |
| 6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい       |
| 7. その他 ( )                                  |
| 8. わからない                                    |

1、2、7、8の方は問13へ進む

▶ **問 1 2. 問 1 1 で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1 つに○)**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 10万円未満    | 2. 10～15万円未満 |
| 3. 15～20万円未満 | 4. 20～25万円未満 |
| 5. 25～30万円未満 | 6. 30万円以上    |
| 7. わからない     |              |

**問 1 3. できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)**

1. 在宅でいつでも医療が受けられるサービス
2. 食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス
3. 掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス
4. 緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス
5. 必要時に短期間の施設入所ができるショートステイサービス
6. その他 ( )

**【社会参加についておたずねします】**

**問 1 4. 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)**

1. はい
2. いいえ

**問 1 5. 家族や友人の相談にのっていますか。**

1. はい
2. いいえ

**問 1 6. 病人を見舞うことができますか。**

1. はい
2. いいえ

**問 1 7. 若い人に自分から話しかけることがありますか。**

1. はい
2. いいえ

**問 1 8. 生きがいを感じていますか。**

1. はい
2. いいえ

問19. 現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。  
(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 (                    )

問20. 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない





**【日常生活についておたずねします】**

**問 2 1. 次の (1) ~ (10) の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。**

	<u>いずれかに必ず○をつける</u>
(1) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(2) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
(4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。	1. はい 2. いいえ
(6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分でお金の管理（預貯金の出し入れなど）をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

**問 2 2. 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）。  
(1つに○)**

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度	4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度	6. ほとんどない

**問 2 3. 1日の食事の回数は何回ですか（普段の生活から平均的な回数）  
（1つに○）**

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 朝昼晩 3 回    | 2. 朝晩 2 回                      |
| 3. 朝昼 2 回     | 4. 昼夜 2 回                      |
| 5. いずれか 1 食のみ | 6. その他（                      ） |

**問 2 4. 自分一人ではなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか  
（1つに○）**

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない  |            |

**問 2 5. 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか（3つまで○）**

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ                    | 2. ちょっとした買い物やゴミ出し    |
| 3. 食事の提供（配食・会食など）              | 4. 食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い |
| 5. 通院や外出の手助け                   | 6. 電球交換や簡単な大工仕事      |
| 7. 話し相手や相談相手                   | 8. 災害時の手助け           |
| 9. その他（                      ） |                      |
| 10. 特にない                       |                      |

**【記憶・判断についておたずねします】**

**問 2 6. その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。  
（1つに○）**

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 困難なくできる              |
| 2. いくらか困難ではあるが、できる      |
| 3. 判断する時に他人からの合図や見守りが必要 |
| 4. ほとんど判断できない           |

**問 27. 5分前のことが思い出せますか。**

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**問 28. 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)**

- |                      |
|----------------------|
| 1. 伝えられる             |
| 2. いくらか困難ではあるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない         |
| 4. ほとんど伝えられない        |

**【運動機能についておたずねします】**

**問 29. 次の(1)～(8)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。**

	<u>いずれかに必ず○をつける</u>
(1) この1年間に転んだことはありますか。	1. はい    2. いいえ
(2) この1年で背中が丸くなってきましたか。	1. はい    2. いいえ
(3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。	1. はい    2. いいえ
(4) この1年で杖を使っていますか。	1. はい    2. いいえ
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。	1. はい    2. いいえ
(6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしていますか。	1. はい    2. いいえ
(7) 椅子に座った状態から何も捕まらずに立ち上がっていますか。	1. はい    2. いいえ
(8) 15分くらい続けて歩いていますか。	1. はい    2. いいえ

**【健康についておたずねします】**

**問30. ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)**

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. とても健康だと思う | 2. まあまあ健康だと思う |
| 3. あまり健康ではない | 4. 健康ではない     |

**問31. 健康に気を使っていることはありますか(いくつでも○)**

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分とる    | 2. 規則正しい生活を送る    |
| 3. 栄養のバランスのとれた食事 | 4. 健康診断を定期的に受ける  |
| 5. 散歩や運動をする      | 6. 気持ちをなるべく明るく保つ |
| 7. その他 ( )       | 8. 特にない          |

**問32. 悩みやストレスはありますか。(1つに○)**

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. おおいにある | 2. 少しある    |
| 3. まったくない | → (問34へ進む) |

→ **問33. 問32で「1」「2」と回答された方におたずねします。  
その原因は何ですか。(いくつでも○)**

- |                    |
|--------------------|
| 1. 家族との人間関係        |
| 2. 友人・知人との人間関係     |
| 3. 話し相手がないこと       |
| 4. 生活費について         |
| 5. 自分の介護について       |
| 6. 自分の健康や病気について    |
| 7. 同居家族の健康について     |
| 8. 家族や親族に対する介護について |
| 9. 子や孫の将来について      |
| 10. その他 ( )        |

**問34. あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。  
(もっともよくあてはまるもの1つに○)**

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. 配偶者              | 2. 子          |
| 3. 子の配偶者            | 4. 兄弟姉妹       |
| 5. 友人・知人            | 6. 近隣の人       |
| 7. 民生委員             | 8. 区役所・保健センター |
| 9. 地域包括支援センター(ケア24) | 10. かかりつけ医    |
| 11. 相談する相手がいない      | 12. その他( )    |

**問35. 現在、通院(病院・医院・診療所など)や往診を受けていますか。  
(1つに○)**

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 通院している       | 2. 往診を受けている |
| 3. 通院や往診は受けていない | → (問37へ進む)  |

→ **問36. 問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。  
通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)**

- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度    | 3. 月2回程度   |
| 4. 月1回程度 | 5. 数か月に1回程度 | 6. 定期的ではない |

**問37. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つに○)**

- |        |          |              |
|--------|----------|--------------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類   | 3. 3種類       |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 薬を服用していない |

**問38. この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|



【その他】

問 4 3. 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。  
(いくつかでも○)

1. 高齢者のいきがい活動の支援
2. 介護予防・健康づくりの支援
3. 緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
4. 困ったときに相談できる体制づくり
5. 在宅での生活を支える介護サービスの充実
6. 高齢者を地域で見守る体制の充実
7. 認知症高齢者や家族の支援
8. 家族介護者への支援
9. 高齢者虐待防止の対策
10. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
11. その他 ( )

問 4 4. 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている → (問 4 5 へ進む)
2. 知らない → (15頁 へ進む)



問45. 問44で「1」と回答された方におたずねします。

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。

(いくつでも○)

1. 地域貢献活動（防犯、環境、清掃などのボランティア活動）に参加している
2. いきがい活動（趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動）に参加している
3. 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している

4. 以前は参加していたが今はどの活動にも参加していない

→ (問47へ進む)

5. 参加したことがない → (15頁へ進む)

▶問46. 問45で「1」～「3」と回答された方におたずねします。

参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

1. 規則正しい生活になった
2. 交友関係が広がった
3. 特に変わらない
4. その他 ( )

(15頁へ進む)

問47. 問45で「4」と回答された方におたずねします。

今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

1. 参加していた活動団体が無くなった
2. 体力的に厳しくなった
3. その他 ( )





**問50. 介助・介護をしているあなたが必要とするサービスはなんですか。  
(いくつでも○)**

1. 高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス
2. 一時的に高齢者を施設で介護する日帰りサービス
3. 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス
4. 介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス
5. 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
6. 介護者のための健康相談・検診の機会
7. 介護者同士が情報交換できる場
8. その他 ( )

**【高齢者の福祉について、ご意見・ご要望などございましたら自由にご記入ください】**

貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて  
**9月30日（月）**までにご返送ください。

# 杉並区 介護保険に関する調査

平成25年9月

## 【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
区では、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。

このたび、『第6期介護保険事業計画（平成27年～29年度）』策定の基礎資料とするため、平成25年9月10日現在、杉並区にお住まいの要介護認定を受けている65歳以上の方2,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ご記入は、ボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
- 2 ご本人（封筒の宛名の方）が、記入できない場合は、ご本人をよく知っているご家族の方や、介護をされている方が、ご本人の立場に立ってご記入ください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」に○をつけた場合は、なるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印（→）など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 問32～43は、ご本人（封筒の宛名の方）を介護している方（ヘルパーを除く）への質問となっています。
- 6 ご回答いただいた調査票は、**10月16日(水)まで**に同封の返信用の封筒（切手は不要です）にて、ご返送ください。
- 7 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係  
電話：03-3312-2111（大代表） 内線1162

**調査票の記入者をご本人の生活場所についておたずねします。**

**問1** 調査票（問3 1まで）を記入される方は、どなたですか。（1つに○）  
介護保険の認定を受けているご本人（封筒の宛名の方）からみた続柄でご回答  
ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。

- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| 1 本人   | 2 妻又は夫 | 3 娘又は息子  |
| 4 嫁又は婿 | 5 兄弟姉妹 | 6 その他( ) |

**問2** ご本人は今どちらにいらっしゃいますか。（1つに○）

- |                        |     |   |
|------------------------|-----|---|
| 1 自宅 ⇒ <u>問4</u> へ進む   | } → | 3～6にご回答の方はこれで調査は終了です。ありがとうございました。調査票をご返送ください。なお、ご意見・ご要望などございましたら、 <u>16</u> 頁の <u>問44</u> にご記入ください。 |
| 2 入院中 ⇒ <u>問3</u> へ進む  |     |   |
| 3 施設に入所中（入所先：          |     |   |
| 4 区外へ転居                |     |   |
| 5 死亡                   |     |   |
| 6 一時的に他の場所にいるため、回答できない |     |   |

（問2で「2 入院中」と答えた方におたずねします。）

**問3** 入院期間はどのくらいですか。（1つに○）

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| 1 6ヶ月未満 ⇒ <u>問4</u> へ進む | 2 6ヶ月以上 |
|-------------------------|---------|

↓  
これで調査は終了です。ありがとうございました。調査票をご返送ください。なお、ご意見・ご要望などございましたら、16頁の問44にご記入ください。

（以下の設問は、問2で「1 自宅」と答えた方・問3で「1 6ヶ月未満」と答えた方におたずねします。）

**問4** ご本人の性別をお答えください。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

**問5** ご本人の年齢はおいくつですか。（1つに○）

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 満65～69歳 | 2 満70～74歳 | 3 満75～79歳 |
| 4 満80～84歳 | 5 満85～89歳 | 6 満90～94歳 |
| 7 満95～99歳 | 8 満100歳以上 |           |

**問6 ご本人と一緒に暮らしている家族の構成をお答えください。(1つに○)**

- 1 単身世帯 (ご本人ひとり暮らし)
- 2 夫婦のみの世帯 (配偶者も65歳以上)
- 3 夫婦のみの世帯 (配偶者は64歳以下)
- 4 世帯員全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみの世帯は除く)
- 5 その他の世帯

**問7 ご本人の現在の要介護度をお答えください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(1つに○)**

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 要介護1 | 2 要介護2 | 3 要介護3  |
| 4 要介護4 | 5 要介護5 | 6 わからない |

**ご本人の日常生活についておたずねします。**

**問8 ご本人の生活の状況について、もっとも近いものはどれですか(1つに○)**

- 1 病気や障害はなく、健康である
- 2 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、バス、電車などを利用して一人で少し遠方まで外出できる
- 3 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所までなら一人で外出する
- 4 何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド(ふとん)から離れている
- 5 何らかの病気や障害などがあり、外出の回数が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
- 6 何らかの病気や障害などがあり、介助を要するが、自力で車椅子に移って、食事、排せつはベッド(ふとん)から離れて行うことができる
- 7 何らかの病気や障害などがあって、日中もベッド(ふとん)上での生活が主体であるが、介助されれば、車椅子に移ることができる
- 8 何らかの病気や障害などがあって、一日中ベッド(ふとん)上で過ごし、排せつ、食事、着替えなども介助を要するが、自力で寝返りをうつことはできる
- 9 何らかの病気や障害などがあって、一日中ベッド(ふとん)上で過ごし、自力では、寝返りもうてない状態である

**問9** ご本人は、生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 家族や親族         | 2 隣近所の人              |
| 3 友人・知人         | 4 かかりつけの医師           |
| 5 民生委員（介護保険相談員） | 6 まちかど介護相談薬局         |
| 7 区役所・保健センター    | 8 地域包括支援センター（ケア24）   |
| 9 ケアマネジャー       | 10 ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 11 杉並区社会福祉協議会   | 12 インターネットで、自分で調べる   |
| 13 相談する相手がいない   | 14 相談しない             |
| 15 その他（ ）       |                      |

**ご本人の健康についておたずねします。**

**問10** ご本人は現在、**通院**（病院・医院・診療所）や**往診**で診療を受けていますか。（1つに○）

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1 通院している    | ⇒問11へ進む |
| 2 往診を受けている  | ⇒問12へ進む |
| 3 診療を受けていない | ⇒問13へ進む |

（問10で「1 通院している」と答えた方におたずねします。）

**問11** **通院**の回数ほどのくらいですか。（1つに○）

- |         |            |         |
|---------|------------|---------|
| 1 週2回以上 | 2 週1回程度    | 3 月2回程度 |
| 4 月1回程度 | 5 数か月に1回程度 | 6 不定期   |



(問10で「2 往診をうけている」と答えた方におたずねします。)

**問12 往診を受けているのは、どのような内容ですか。**

(現在受けているものすべてに○)

- 1 医師による訪問診療を受けている
- 2 看護師等による訪問看護を受けている
- 3 在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている
- 4 在宅で、医師や薬剤師による服薬の指導を受けている
- 5 在宅で、栄養士等による栄養・食事指導を受けている
- 6 在宅で経管栄養・尿の留置カテーテル・点滴、酸素カニューレ、血液透析器・人工呼吸器などの医療器具を装着している
- 7 在宅で看護師等による吸引や吸入、浣腸、人工肛門の管理や褥瘡（じょくそう）・創傷処理など医療処置を受けている

**サービスの利用状況についておたずねします。**

**問13 8月中に、介護保険サービスを実際に利用しましたか。（1つに○）**

- 1 利用した ⇒ **問15へ進む**
- 2 利用していない ⇒ **問14へ進む**
- 3 わからない ⇒ **問15へ進む**

(問13で「2 利用していない」と答えた方におたずねします。)

**問14 8月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。（2つまで○）**

- 1 病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった
- 2 家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない
- 3 本人の身体状況にふさわしいサービスがない
- 4 本人や家族が利用したいと思うサービスがない
- 5 本人がサービスの利用をいやがる
- 6 どんなサービスがあるのかわからないから
- 7 費用の自己負担額が高すぎる
- 8 身内や知人以外に、家に入ってきてほしくないから
- 9 福祉用具購入や住宅改修を利用するためのみに認定を受けたから
- 10 必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから
- 11 その他（ )

**問15** ここ半年間に、短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できましたか。（1つに○）

- 1 おおむね希望どおり利用できている ⇒**問17**へ進む
- 2 希望の半分程度しか利用できない
- 3 胃ろう、気管切開などの医療上の問題で、利用したくてもできない
- 4 医療上の問題はないが、希望してもほとんど利用できない
- 5 利用は希望していない ⇒**問17**へ進む

2～4を選択⇒**問16**へ進む

（問15で2～4に答えた方におたずねします。）

**問16** 短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できない場合は、どのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる
- 2 身内や知人宅に行く
- 3 有料老人ホームのショートステイを利用している
- 4 宿泊サービスを行っている通所介護（デイサービス）を利用している（お泊りデイ）
- 5 緊急ショートステイを利用している（区の独自サービス）
- 6 入院する
- 7 その他（ ）

**問17** 平成24年4月から「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスが開始されました。このサービスを知っていますか。（1つに○）

- 1 知っている
  - 2 聞いたことはある
  - 3 知らない
- ⇒**問18**へ進む  
⇒**問19**へ進む

※「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスとは、日中・夜間を通じて24時間、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが連携しながら定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスです。





(問17で「1 知っている」または「2 聞いたことはある」と答えた方におたずねします。)

**問18** どのようにして知りましたか。(1つに○)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 ケアマネジャー       | 2 地域包括支援センター(ケア24)  |
| 3 かかりつけの医師      | 4 ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 5 民生委員(介護保険相談員) | 6 まちかど介護相談薬局        |
| 7 杉並区社会福祉協議会    | 8 区役所の窓口・ホームページ     |
| 9 インターネット       | 10 家族・知人等           |
| 11 その他( )       |                     |

**問19** ここ半年間に、高齢者在宅サービス(区の独自サービス)を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 おむつ等の支給・おむつ代金の助成                  |
| 2 ほっと一息、介護者ヘルプ(家事代行ホームヘルパー派遣券の給付)   |
| 3 高齢者緊急通報システム(急病時に救急ボタンを押し救急車を要請)   |
| 4 寝具洗たく乾燥サービス                       |
| 5 訪問理美容サービス(理美容師の出張費利用券の給付)         |
| 6 緊急ショートステイ                         |
| 7 見守り配食サービス                         |
| 8 家具転倒防止器具取付け(無料)                   |
| 9 認知症高齢者家族安らぎ支援(ボランティアによる傾聴サービス)    |
| 10 高齢者安心コール(電話訪問による安否確認、健康相談)       |
| 11 高齢者火災安全システム(電磁調理器等の給付)           |
| 12 徘徊高齢者探索システム(GPS通信を使って高齢者の居場所を探索) |
| 13 高齢者24時間安心ヘルプサービス助成事業             |
| 14 ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない        |

**お住まいについておたずねします。**

**問20** ご本人の現在のお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 持ち家(戸建て)       | 2 持ち家(マンション等)  |
| 3 賃貸(戸建て)        | 4 民間の賃貸マンション   |
| 5 民間の賃貸アパート      | 6 みどりの里・シルバーピア |
| 7 6以外の区営・都営住宅    | 8 公団・公社の賃貸住宅   |
| 9 高齢者対応の住宅やマンション | 10 その他( )      |

**問21** 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(1つに○)

- |   |      |         |
|---|------|---------|
| 1 | 思う   | ⇒問23へ進む |
| 2 | 思わない | ⇒問22へ進む |

(問21で「2 思わない」と答えた方におたずねします。)

**問22** 在宅生活に適していると思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                                 |
|----|---------------------------------|
| 1  | ご本人専用の部屋がない                     |
| 2  | 部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない |
| 3  | 階段の昇り降りが困難である                   |
| 4  | 玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない        |
| 5  | 玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある            |
| 6  | 玄関、部屋などの扉の開閉が困難である              |
| 7  | トイレが洋式でない                       |
| 8  | 流し台が使いにくい                       |
| 9  | 浴槽が使いにくい                        |
| 10 | その他 ( )                         |

**施設の入所についておたずねします。**

**問23** 介護保険施設や有料老人ホーム等に入所(居)希望がありますか。(1つに○)

- |   |                 |           |
|---|-----------------|-----------|
| 1 | 現在、施設入所を申し込んでいる | } ⇒問24へ進む |
| 2 | 将来的には施設入所を考えたい  |           |
| 3 | 施設への入所希望はない     | } ⇒問26へ進む |
| 4 | わからない           |           |



(問23で「1」または「2」と答えた方におたずねします。)

**問25** 現在、または将来において施設に入所したいとお考えの理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護する家族の心身の負担が大きい
- 2 介護をする家族や親族がない
- 3 専門的なりハビリ等が必要
- 4 整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要
- 5 在宅のサービス利用による経済的な負担が大きい
- 6 在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である
- 7 現在の住まいがアパート等で、今後住み続けられないかもしれない
- 8 その他 ( )

### 介護保険制度についておたずねします。

**問26** 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(1つに○)

- |           |              |          |
|-----------|--------------|----------|
| 1 満足している  | 2 おおむね満足している | 3 ふつうである |
| 4 少し不満がある | 5 不満である      | 6 わからない  |

**問27** 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(1つに○)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 非常に負担である   | 2 多少負担である        |
| 3 どちらともいえない  | 4 あまり負担ではない      |
| 5 まったく負担ではない | 6 いくら払っているかわからない |

**問28** 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(1つに○)

- 1 介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
- 2 介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
- 3 サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい。
- 4 わからない

**問29** 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせしていますが、内容を確認していますか。(1つに○)

- 1 している
- 2 多少はしている
- 3 通知のあることは知っているが、内容はみていない
- 4 まったく知らない

**問30** ケアマネジャーと契約をするとき、その事業所を何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・知人・友人等の紹介
- 2 かかりつけの医師・入院先の病院の紹介
- 3 地域包括支援センター(ケア24)
- 4 インターネット
- 5 区役所のホームページ(介護保険サービス事業者情報検索システム)
- 6 介護サービス事業者ガイドブック(ハートページ)
- 7 その他( )

**問31** 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- 1 介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実
- 2 介護サービス利用にかかる相談や苦情解決への対応
- 3 介護サービスを評価する仕組みづくり
- 4 在宅での生活が続けられるよう福祉、介護サービスの充実
- 5 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 6 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成
- 7 介護サービスの質の向上に向けた事業者や施設への支援
- 8 介護保険制度の普及啓発
- 9 低所得者への対応策
- 10 できるだけ介護が必要にならないような健康づくりと介護予防の推進
- 11 その他( )
- 12 特になし

**(以下の問32～問43までは、介護をしている方(ヘルパーを除く)にお  
たずねします。介護者がいない方は16頁の間44へお進みください。)**

**問32** ふだん主に介護やお世話をしているのはどなたですか。(1つに○)  
介護保険の認定を受けているご本人からみた続柄でご回答ください。

- |           |       |             |
|-----------|-------|-------------|
| 1 妻又は夫    | 2 娘   | 3 息子        |
| 4 息子の妻    | 5 娘の夫 | 6 その他の家族・親族 |
| 7 その他 ( ) |       |             |

**問33** 主に介護をしている方(問32でお答えいただいた方)の状況について  
おたずねします。(選択肢があるものは、1つに○)

<b>性別</b>	1 男性	2 女性
<b>年齢</b>	1 満50歳未満	2 満50～54歳
	3 満55～59歳	4 満60～64歳
	5 満65～69歳	6 満70～74歳
	7 満75～79歳	8 満80～84歳
	9 満85歳以上	
<b>健康状態</b>	1 よい	2 まあよい
	3 あまりよくない	4 よくない
<b>高齢者ご本人との同居の状況</b>	1 同居している	2 別居している
<b>介護の時間帯</b>	1 日中・夜間とも	2 主に日中
	3 主に夜間	4 その他 ( )
<b>介護年数</b>	1 1年未満	2 1年～3年未満
	3 3年～5年未満	4 5年～10年未満
	5 10年以上	

**問34** 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方(ヘルパーを除く)  
はいますか。(1つに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 同程度に介護やお世話をしてくれる人がいる |
| 2 多少は介護やお世話をしてくれる人がいる  |
| 3 他に介護やお世話をしてくれる人はいない  |

**問35 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(1つに○)**

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 非常に感じる    | 2 多少は感じる       |
| 3 あまり感じない   | 4 感じない         |
| 5 どちらともいえない | 6 サービスは利用していない |

**問36 主に介護をしている方から見て、介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(1つに○)**

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1 満足している | 2 おおむね満足している |
| 3 ふつうである | 4 少し不満がある    |
| 5 不満である  | 6 わからない      |

**問37 介護者のあなたが介護をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |   |
|---|
| 1 介護保険の枠内のサービスでは足りない<br>(例：もっとホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービス等の介護サービスを利用したい等)                       |
| 2 介護保険では必要なサービスメニューがない<br>(例：介護者が休息や外出するときに見守りのサービスが欲しい、外出時に付き添いが欲しい、自分のほかに介護をしてくれる人がほしい等)    |
| 3 介護をしていて困ったときや悩みを相談するところがない<br>(例：自分の健康が保てない、ストレスがたまっている、介護サービスを本人が使いたがらない、本人と意思疎通がうまく出来ない等) |
| 4 介護が経済的な負担になっている<br>(例：介護のため、働くことが困難である等)  |
| 5 特に困っていることはない  |
| 6 その他 ( )   |

**問38 介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 ご本人の家族や親族     | 2 隣近所の人              |
| 3 友人・知人         | 4 かかりつけの医師           |
| 5 民生委員(介護保険相談員) | 6 まちかど介護相談薬局         |
| 7 区役所・保健センター    | 8 地域包括支援センター(ケア24)   |
| 9 ケアマネジャー       | 10 ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 11 杉並区社会福祉協議会   | 12 その他 ( )           |
| 13 相談する相手がいない   |                      |

**問39 介護者のあなたが必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |    |                                   |
|----|-----------------------------------|
| 1  | 介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス |
| 2  | 介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス  |
| 3  | 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス      |
| 4  | 介護者が疲れたときに家事などを援助するサービス           |
| 5  | 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行               |
| 6  | 介護者に対するこころの相談                     |
| 7  | 介護者のための健康相談・健診の機会                 |
| 8  | 介護者同士が情報交換できる場                    |
| 9  | 介護者への経済的支援                        |
| 10 | その他 ( )                           |

**問40 主に介護している方の最近2週間のことについておたずねします。ア～ケのすべての質問にご回答ください。「1 (はい)」または「2 (いいえ)」のどちらかに○)**

	質問項目	はい	いいえ
ア	毎日の生活に充実感がない	1	2
イ	これまで楽しんでやれていた事が、楽しめなくなった	1	2
ウ	以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる	1	2
エ	自分は役に立つ人間だと思えない	1	2
オ	わけもなく疲れたような感じがする	1	2
カ	悲しかったり、落ち込んだり、憂うつだったりすることが続いている	1	2
キ	仕事や趣味、普段楽しみにしていることなど、たいていのことに興味をもてない状態が続いている	1	2
ク	困った時に、相談できる相手がいる	1	2
ケ	自分が寝込んだ時に、自分の身の周りの世話をしてくれる人がいる	1	2

**問41 身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けたいと思いますか。(1つに○)**

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 負担なく、やっていけると思う           |
| 2 | 何とかやっていけると思う             |
| 3 | これ以上負担が重くならなければやっていけると思う |
| 4 | すでにやっていけない状況にあると思う       |
| 5 | わからない                    |



**問42 最近6か月の間に、介護が原因で、介護保険の認定を受けているご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある |
| 2 | 介護やお世話を放棄してしまったことがある                 |
| 3 | 相手を殴ったり蹴ったりしてしまったことがある               |
| 4 | その他の行為 ( )                           |
| 5 | ない                                   |

**問43 介護保険の認定を受けているご本人の認知症の状況について、1～8までの番号のうち、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)**

		見られる症状・行動例
1	認知症はない	
2	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	
3	家庭外で下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	たびたび道に迷う、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスがめだつ 等
4	家庭内でも下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との応対など一人で留守番ができない 等
5	日中を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする	着替え、食事、排せつが上手にできない・時間がかかる やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、火の不始末、不潔な行為、性的行為 等
6	夜間を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする	上記に同じ
7	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	上記に同じ
8	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷、他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態

